

令和6年度 人権尊重教育推進事業計画

川崎市立さくら学校

校長名 治田 直美

担当 平野 理紗

1 今年度の人権尊重教育のねらい

○ちがいを生かし、一人一人が輝くために行動することができる子の育成

○お互いのちがいやよさを見つけ、認め合う子の育成

○かかわりを大切にし、仲間と共に考えようとする子の育成

2 今年度の人権尊重教育推進にかかわる計画

内容	実施時期、回数、学年等
① 人権尊重教育学習の実践 [子どもの権利学習] 「かがやき」 「みんな輝いているかい」 「子どもの権利条例」 [国際理解教育] 韓国の楽器に触れてみよう ブンムルノリ フィリピンとなかよし [各教科] <総合的な学習の時間> 韓国・朝鮮の文化にふれよう 福祉体験をしよう みんななかよし～さくら学級との交流～ 世界の人々とのつながりを広げよう <学活> さくらタイム	全学年　１１月 １・２年　１０月 運動会、希望児童が参加 １・２年　１２月 ３年　１１月 ４年　９月 ４年さくら学級　通年 ６年　１１月 全学年　１１月
② 職員研修 ・人権にかかわる研修 ・さくら交流部会 ・共生＊共育プログラム効果測定研修会の実施 ・校内委員会 ・国際教室部会 ・ケース会議	６月 年間を通して 月 年５回 ７月 随時
③ 地域とのかかわりを深める活動 ・ハルモ二との交流（キムチ作り） ・人権共生教育協議会 ・在日の思いに語る会参加	１月 教職員　年間２回

3 「川崎市差別のない人権のまちづくり条例」に関わる取組

3年 総合的な学習の時間「外国の文化に触れよう」

4年 総合的な学習の時間「みんななかよし」

4 人権尊重教育推進にかかわる本校の課題

- ・職員一人ひとりが意識をして、人権を大切にした教育活動を行う。
- ・心の教育を充実させて、安心して楽しく過ごせる学校づくり、学級づくりに取り組む。

第1学年 図画工作科学習指導案

指導者 川崎市立さくら小学校

1年1組 村松 啓

1. 日時・場所 令和6年11月6日(水)5時間目 場所 1年1組教室

2. 題材名 「はこがへんしん!」 A表現 (2) 立体に表す 4時間扱い

3. 題材目標と評価基準

○題材の目標

(1) ・自分の感覚や行為を通して、箱の形や色などに気付く。(知識)

・様々な形や大きさ・色の箱、それらの接着の仕方に十分に慣れるとともに、手や体全体の感覚などを働かせ、表したいことをもとに表し方を工夫して表す。(技能)

(2) ・様々な形や大きさの箱を積んだり並べたりする活動を通して感じたこと、想像したことから表したいことを見付け、好きな形や色を選んだり、組み合わせ方を考えたりしながら、どのように表すかについて考える。(発想や構想)

・自分たちの作品や箱を組み合わせでできる形の造形的な面白さや楽しさ、表したいこと、表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。(鑑賞)

(3) ・楽しく表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しい生活を創造しようとする態度を養う。(学びに向かう力、人間性)

○題材の評価基準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
知 自分の感覚や行為を通して、箱の形や色などに気付いている。 技 様々な形や大きさ・色の箱、それらの接着の仕方に十分に慣れるとともに、手や体全体の感覚などを働かせ、表したいことをもとに表し方を工夫して表している。	発 様々な形や大きさの箱を積んだり並べたりする活動を通して感じたこと、想像したことから表したいことを見付け、好きな形や色を選んだり、組み合わせ方を考えたりしながら、どのように表すかについて考えている。 鑑 自分たちの作品や箱を組み合わせでできる形の造形的な面白さや楽しさ、表したいこと、表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。	主 つくりだす喜びを味わい、楽しみながら、箱を用いて表したり、作品を鑑賞したりする活動に取り組もうとしている。

4. 単元構想

○児童の実態

図工が好きで、図工の時間を楽しみにしている児童が多数いる。「もっとやりたい。」「こんなふうにやってみたよ。」と、様々な活動に前向きに取り組む児童もまた多くいる。

「ひもひもねんど」では、粘土をひも状にすることから思い付いたことを表した。教室での個人の活動から、図工室での小グループの活動へと発展させることで、自然と友だちと作品をつなげたりする姿が見られた。鑑賞の時間では、「〇〇さんは、ひもを長くしてかたつむりを作っていてすごいと思いました。」「〇〇さんの作品はいろいろな太さのひもで作ってあるのがいいなと思いました。」など、友だちの作品の良さを伝え合っていた。「チョキチョキかざり」では、はさみの使い方を知り、折り紙を折ったり重ねたりして紙の切り方を工夫しながら飾り作りをおこなった。折り紙を広げて出来上がった模様を見て歓声をあげたり、「見て見て。」と友だち同士で見せ合う姿が見られた。

つくりたいもののイメージをもちながら活動に取り組む児童がいる一方で、「何をつくればいいのかわからない。」「どうやってつくればいいのか。」と自分の作品づくりに自信がもてずに手が止まってしまったり、題材のめあてに沿った活動が出来ずにいたりする児童もいる。また、はさみや糊の使い方に慣れていない児童も見られる。そこで、この題材を通して、箱という身近な材料から表したいものを考え、自由な発想でつくり出すことの喜びを感じられるようにしたい。そのためには、つくりたいものを立体に表せた喜びや達成感を味わえたり、友だち同士の関わりの中で自信をもって作品作りに取り組んだりできるように、活動を工夫していく必要があると考える。

○題材と育てたい力

本題材では、子どもたちに身近にある箱を組み合わせて、元の形から変身させていくことで立体にする活動をおこなう。箱の積み方、並べ方、接着の仕方を工夫して作品に表していく。そこで、本題材の前に、算数科で「かたちあそび」をおこない、様々な形や色、大きさの箱に親しみ、積んだり並べたりする活動を十分におこなった。その中で、大きな箱、細長い箱、薄い箱、筒の形、青っぱい箱など、造形的な視点で箱と関わられるようにした。

そして本題材では、その経験を生かして、立体に表していく。箱を並べたり積んだりすることを楽しむ活動から発展して、表したいもののイメージをもち、組み合わせ方や接着の仕方を工夫して立体に表す。使わなくなった空き箱に自分たちの発想で手を加えることで、箱を変身させて新たなものを作り出せたという喜びを感じてほしい。箱の組み合わせ方を試す時間を設定したり、様々な接着の仕方を提示したり、友だちと作品を見合ってその良さを伝え合ったりする活動を通して、思いを形に表せた喜びを感じたり、創造的な技能を発揮できる資質や能力を育成することができるのではないかと考える。そして本題材を通して感じた喜びや自信を今後の活動につなげていけるようにしたい。

○手立て

①算数科とのつながり

本題材前に算数科「かたちあそび」で箱を積んだり並べたりする活動を十分におこなって、箱に親しむことができるようにした。その中で箱の形や大きさ、色などに着目して活動できるように声かけをおこない、本題材につなげられるようにした。

②材料・用具について

児童が集めてきた材料だけでは足りないことも考えられるので、教師のほうでも箱や身边材を材料コーナーに用意しておき、子どもたちが必要に応じて選べるようにする。また、第1時で自分が持って来た箱を並べたり積んだりして、表したい形を考える活動をおこなった後、第2時まで時間を取り、さらに必要な材料を集めるように声をかける。

③児童の思いを実現するための接着の仕方の提示

子どもたちは接着の経験が少なく、簡単につけられるセロテープを使用しがちである。そこで、ボンドや両面テープなどを使った接着の仕方を提示し、箱の形や大きさ、組み合わせ方によって、自分の思いに合った接着の仕方を選んで活動できるようにする。

④グループでの活動

グループで活動をおこなうようにによって、いつでも友だちの作品づくりの様子を見たり、対話をしたりしながら活動できるようにする。そのことを通して、友だちの作品の良さを見つけたり、自分の作品づくりに生かしたりすることにつながると考える。

⑤完成した作品の鑑賞の仕方

楽しみながら主体的に作品を鑑賞できるように、「へんしんパーク」と題して、作品で遊ぶ活動を取り入れる。動物の作品同士で遊んだり、遊びながら会話をしたりすることで、自分の作品に愛着をもったり、友だちの作品に親しんだりして、そのよさに気づくことができると考える。

5. 指導計画

	◎学習計画 ☆評価	○人権尊重教育を通して育てたい力
1 次	はこをならべたりつんだりして、つくりたいものをかんがえよう ◎算数科「かたちあそび」の学習をふり返る。 ・高く積むために、大きい箱から順番に積んでいったら、背よりも高く積めたよ。・箱の道をつくったよね。 ◎教師が箱を組み合わせて変身させる様子を見て、本題材の大まかな活動内容を知る。 ・何に変身するのかな。・あれは、鼻かな。・あ、ゾウに変身したよ。・同じ箱で、戦車もできるなんてすごい。 ◎様々な箱を使って組み合わせ方を試し、何に変身させられるかを考える。 ・うすい箱は、鳥の羽みたいだよ。・この筒を使えばタイヤができるよ。・耳をつくるのにいい箱はないかな。 ☆つくりだす喜びを味わい、楽しみながら、箱を用いて表したり、作品を鑑賞したりする活動に取り組んでいる。(主) ☆様々な形や大きさの箱を積んだり並べたりする活動を通して感じたこと、想像したことから、表したいことを見付け、どのように表すかについて考えている。(発)	○自分とは違う考えや意見を大切にしようとする。

2 次 90 分 本 時	はこをくっつけて、へんしんさせよう ◎前時の活動を振り返り、箱をどのように変身させたいかをグループごとに伝え合う。 ◎接着の仕方を知る。 ・接着剤・粘着テープを輪にして・両面テープ・ビニールテープ ◎表したい形に合わせて、箱のつなぎ方や組み合わせ方、接着の仕方を工夫して表す。 ・おしゃれな車をつくりたいな。・この箱は、ロボットの手になりそうだ。・トイレトペーパーの芯は、ボンドでうまくつかないな。切り込みを入れてつけてみよう。 ☆様々な形や大きさ・色の箱、それらの接着の仕方に十分に慣れるとともに、手や体全体の感覚などを働かせ、表したいことをもとに工夫して表している。(技)	○集団や友だちに対して自分の考えを発表できる。
3 次 45 分	へんしんパークであそび、さくひんをたのしもう ◎グループで自分の作品について紹介する。 ・ぼくは、細長い箱をたくさんつないで不思議な生き物に「によによ」をつけました。箱を少し切って貼り付けたらへびみたいに曲げることができました。 ◎「へんしんパーク」で、変身させた作品を見合い、作品を使って遊んだり、お話づくりをしたりして楽しむ。 ・箱が電車に変身しているよ。かっこいいね。 ・わたし、うさぎのぴょんたんだよ。一緒に遊ぼうよ。 ◎自分の作品づくりの感想や友だちの作品のすてきなところを伝え合う。 ・〇〇さんの作品は、耳が動くようについていて、すごいと思いました。 ☆自分たちの作品や箱を組み合わせでできる形の造形的な面白さや楽しさ、表したいこと、表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。(鑑) ☆つくりだす喜びを味わい、楽しみながら、箱を用いて表したり、作品を鑑賞したりする活動に取り組もうとしている。(主)	○集団や友だちに対して自分の考えを発表できる。 ○自分や友だちのよいところがわかる。(知)

6. 本時の授業(2/4)

(1) 人権尊重教育を通して育てたい力

- ・集団や友だちに対して自分の考えや思いを発表できる。

(2) 目標

- ・様々な形や大きさ、色の箱、それらの接着の仕方に十分に慣れるとともに、手や体全体の感覚などを働かせ、自分のイメージに合わせて工夫して表すことができる。

(3) 展開

学習活動	・支援 ☆評価 ○人権
はこをくっつけて、へんしんさせよう ◎本時のめあてを知る。 ・前の時間に試してできた恐竜をつくりたいな。 ・もう一回箱を組み合わせて考えてみようかな。 ・うまく鼻をくっつけられるかな。 ◎グループごとに箱をどのように変身させたいか伝え合う。 ・かっこいい車を作りたいから、トイレットペーパーの芯と、この箱をつなげるよ。 ・この箱はロボットの手になるように、ななめになるようにくっつけるよ。 ◎箱の接着の仕方を知る。 ◎表したい形に合わせて、箱のつなぎ方や組み合わせ方、接着の仕方を工夫して表す。 ・かっこいい車をつくりたいな。 ・この箱はロボットの手にぴったりだな。 ・鳥の羽をパタパタするようにつけるにはどうすればいいかな。 ・トイレットペーパーの芯は、ボンドでうまくつかないな。切り込みを入れてつけてみよう。 ・前時の活動を振り返り、箱を積んだり、並べたりすることで、箱を変身させたことを思い出せるようにし、めあてにつなげる。 ・どのように変身させたいかを共有することで、活動への意欲づけになるようにする。 ○集団や友だちに対して自分の考えを発表できる。 ・箱の形や大きさ、組み合わせ方によって、自分の思いに合った接着の仕方を選んで活動できるように、写真やイラストなどの掲示資料や見本を提示する。 ・困っている児童には、必要に応じて子どもたちの思いを聞き、材料コーナーから思いに合う形や色、大きさの材料を一緒に探したり、接着の仕方を考えたりする。 ・グループで活動することによって、友だちの作品づくりの様子を見たり、対話したりして、友だちの作品のよさを見つけたり、自分の作品づくりに生かしたりすることができるようにする。	

◎片づけをする。	・材料や用具の置き場の配置を工夫できるようにしておく。 ・形や色などの箱の特徴を生かしたり、接着の仕方に工夫が見られる作品を紹介し、表し方の工夫や接着の仕方の参考になるようにする。 ☆様々な形や大きさ、色の箱、それらの接着の仕方に十分に慣れるとともに、手や体全体の感覚などを働かせ、自分のイメージに合わせて工夫して表すことができている。(技能) ・使える箱とそうでない箱に分け、種類ごとに分けることで、形や大きさ、色の感じを見ながら次時への意欲をもてるようにする。
-----------------	---

第2学年 図画工作科学習指導案

指導者 川崎市立さくら小学校

2年 2組 担任名 中川 李恵

1. 日時・場所 令和6年11月6日(水) 5時間目 場所 音楽ホール

2. 单元名 「いろ かたち い～ろいろ」 B鑑賞(1)ア 共通事項(1)アイ 3時間扱い

3. 題材目標と評価基準

○題材の目標

- (1) 透明色紙を使って、新しい見え方を見つけるときの感覚や行為を通して、いろいろな色や形などに気付くことができる。(知識及び技能)
- (2) 透明色紙や透明色紙でできる形や色などの造形的な面白さや楽しさについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げることができる。(思考力、判断力、表現力)
- (3) 楽しく透明色紙を使って、楽しい見え方を見つける学習活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しい生活を創造しようとする。(学びに向かう力、人間性)

○題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
知 透明色紙を使って、見え方を見つけるときの感覚や行為を通して、いろいろな形や色に気付いている。	発 色や形などを基に、自分のイメージをもちながら、透明色紙や透明色紙でできる形や色から表したいことを見付け、好きな色を選んだり、いろいろな画たちを考えたりしながら、どのように表すかについて考えている。 鑑 色や形などを基に、自分のイメージをもちながら、透明色紙や透明色紙でできる形や色などの造形的な面白さや楽しさについて、感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を深めている。	主 つくりだす喜びを味わい主体的に透明色紙を使って、見え方を見つける活動に取り組もうとしている。

4. 単元構想

○2年2組 学級目標について「2—2 ハートプロジェクト」

みんなが気持ちよく生活できるクラスってどんなクラスだろう。みんなのハートが温くなる行動ってどんなだろう。自分のハートが熱くなるってどんな時だろう。毎日一人一人が意識して生活してみることで見えること、分かること、感じることもあるはず。「〇〇を頑張ろう」と縛らず、一人一人が様々な角度から意識して毎日取り組める学級目標になっています。また、一人一人が意識して1年間取り組めるようシールを貼っていく掲示物にしています。

○2年2組 児童の実態について

新しいことに興味関心があり、「学びたい。」「出来るようになりたい。」「褒められたい。」「認められたい。」という思いが強い児童が多い。そのため自分の思いをはっきり言葉にできる児童が多いクラスである。その反面、友だちの意見や考えに耳を傾けることに課題があると感じている。一人一人に思いがあっていい事や、一緒に活動することで新たな発見があることに気づき、互いの良さを認め合うことができる児童に育てていきたいと考え、学習内容や活動を工夫している。

○題材について

本題材は、透明色紙を材料とし、並べたり重ねたりする中で生まれる色や形を楽しむ活動である。自らの働きかけによって生まれた色や形から新たな刺激を受けてさらにやってみたいことを思い付き、何度も試しながら、感じ方や見方を広げていく内容となっている。また、GIGA端末を活用することで、いいなと思った色や形を記録していくことができる。そのことによって児童は安心して何度も試行錯誤をしていくことができるようになると思う。

この単元の中で、子どもたちは自分一人での発見はもちろんのこと、友だちが発見した透明色紙の不思議や面白さを交流し合うことで、自他の良さに自然と気付いていくのではと考えている。

失敗しても何度も試行錯誤できる内容であることや、一人でも友達とでも交流しながら活動できる場の設定、伝えあう時間の設定などにより、育てたい人権尊重教育の目標に大きくつながっていると思う。

○手立て

①導入の工夫

題材名を変更することで、子どもたちがこれから始まる学習に興味をもって取り組んでほしいと考えた。また題字の掲示方法を工夫し導入につなげる。ここで「色」に注目させることで、わくわくするような透明色紙との出会いにつなげていけるようにする。その他にもステンドグラスの画像を見せ、今後の活動のヒントとなるようにする。

②白の上で

白い机を利用したり、机の上や床、壁に白い布や紙を敷いたり、ホワイトボードを使用したりすることで、透明色紙の美しさや面白さに気付けるようにする。

③GIGA 端末の導入

何度も試行錯誤していく中で面白い色や形に出会う活動であるため、いいなと思ったものはその

都度写真を撮って残す方法をとる。そのことによって、児童の安心感、交流の時間、鑑賞の時間につながると考える。

④活動人数、場所の工夫

あえて人数などを固定せず、一人でも数人でも、机の上でも床でも、壁でも窓でもできるような活動場所の設定をする。そのことにより、自分の思いで黙々と考えたい児童と友達と一緒に楽しみながら発見したい児童、途中から交流したい児童など、多様な方法、角度から透明色紙の色や形を発見できると考えた。

⑤鑑賞方法

教室を「透明色紙の世界」とすることで、子どもたちの作品がたくさん詰まった空間ができ、鑑賞もしやすいと考えた。またどんな形で残したいかも児童によって選ばせる形をとろうと思っている。GIGA 端末を使う児童、作品として画用紙や壁に残す児童とそれぞれの表現方法を選んでほしいと考えている。

5. 指導計画

	◎学習計画 ☆評価	○人権尊重教育を通して育てたい力
1 本 時	◎透明色紙と出会い、たくさん色や形を発見する。 ☆透明色紙を並べたり重ねたりして生まれる様々な色や形に気付いている。(知)	○友だちとコミュニケーションをとることの大切さを理解している。
2	◎透明色紙で色と形の模様を見つけよう。 ☆透明色紙を使って、楽しい見え方を見付ける学習活動に取り組もうとしている。(主)	○友だちとコミュニケーションをとることの大切さを理解している。 ○自分や友達と必要に応じてかかわろうとする。
3	◎透明色紙の世界を楽しもう。 ☆自分や友だちの見つけた色や形の面白さや楽しさを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。(思)	○友だちの話を最後まで聞くことができる。

6. 本時の授業(1/3)

(1) 人権尊重教育を通して育てたい力

友だちとコミュニケーションをとることの大切さを理解している。

(2) 目標

透明色紙を並べたり重ねたりしながら、様々な色や形を見つけて楽しむ。

(3) 展開

学習活動	・支援 ☆評価 ○人権
◎題字からイメージを膨らませる。 ◎重なった透明色紙を見る。 ・紫っぽい黒い色に見える。 ・何かの紙かな？ ・何枚も重なっていたんだ。 ・透明になっているから色が変わるんだ。	・題字の見せ方を工夫し、これから学習内容に興味をもたせる。 ・透明色紙を10色ほど重ねた状態で見せ、何色に見えるか、何に見えるか聞く。 ・背面を白くすることで色に注目できるようにする。 ・透明色紙を一枚ずつ抜き取って、並べていくことで児童の興味を引き付ける。 ・今回使うものが透明色紙であることを伝える。
透明色紙の不思議な世界に入ってみよう！	
◎散らばせた透明色紙を見る。 ・重なっているところと重なっていないところで色が違う。 ・形も違って見える。 ・模様になっている。 ◎透明色紙を並べたり重ねたりして透明色紙の面白さを味わう。 ・この色が好きだな。 ・並べ方を工夫すると模様になった。 ◎発見したことを交流し合う。 ・色が似ている順番に並べました。 ・重ねて模様を作りました。 ・光を当ててみたいです。	・透明色紙を床に盛大に散らばせ、偶然できた形や色に注目させる。 ・床一面を白くし、その上に盛大にばらまき、偶然できる色や形の面白さに気付けるようにする。 ・透明色画用紙を使い、様々な形や色を見つけてみることを伝える。 ・ステンドグラスの画像を見せ、活動のイメージをもたせる。 ○机の上でも、床でも、また一人でも友達と協力してもよいように、場の設定を工夫する。 ○固定するわけではないので、作品をギガ端末で撮影して後で見えるようにする。 ○実際にできた作品や写真を使って不思議な発見をできた作品を交流できるようにする。 ・透明色紙の不思議や良さについて発見できている作品を紹介できるようにする。 ☆透明色紙を並べたり重ねたりして生まれる様々な色や形に気付いている。【知】 (観察・対話・作品)

第3学年 学級活動(2) 学習指導案

指導者 川崎市立さくら小学校

T1 吉田 舞

T2 小島 美紀

1. 日時・場所 令和6年11月6日(水)5時間目 場所 3年1組

2. 題材名 「さくらタイム」

3. 題材目標と評価規準 学級活動(2)

よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
日常生活への自己の適応に関する諸課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解し、よりよい生活を送るための知識や行動の仕方を身に付けている。	日常生活への自己の適応に関する諸課題に気づき、解決方法などについて話し合い、自分に合ったよりよい解決方法を意思決定して実践している。	自己の生活をよりよくするために、見通しをもったり振り返ったりしながら、意欲的に課題解決に取り組み、他者と協力し合ってよりよい人間関係を形成しようとしている。

4. 単元構想

○クラスの実態

支援級児童3名含む26名。支援級児童と自然に関わることができる児童が多く、日常的に話をしたり、分からないところを教えたりすることができる。その一方で、支援級児童の特性が理解できなかったり、どう接していいか分からずトラブルになったりしてしまうこともある。

○さくらタイムについて

さくらタイムとは、さくら学級(支援級+分教室)の教員が年に1回、通常学級で行う特別な授業のことである。この活動は、さくら小が創設された時から現在まで継続して行われており、学校全体で児童の相互理解や多様性への意識を深める重要な機会とされている。学年ごとに授業の目的や内容は異なる。(以下参照)

この授業を通じて、通常学級の児童たちはさくら学級の児童に対する理解を深め、互いの違いを認め合う気持ちが自然と育まれていくと考える。また、さくら学級の教員も、通常学級の教員と連携し、授業内容を一緒に考えるプロセスを通して、教師同士の連帯感が深まるという効果もある。

学年	目標	内容
1 年	さくら学級の子どもたちの学習や生活の様子を知り、お互いに理解しあうきっかけをつくる。	・さくら学級はどんなところ？一日の紹介 ・さくら学級1年生の紹介、先生の紹介、さくらのうた
2 年		・1年生の内容にプラスして、さくら学級の児童の苦手なことやその対応などについて紹介する。
3 年		「さくら学級の物知り博士になろう」 ・さくら学級児童への具体的な対応の仕方を伝えたり、4 年時におこなう「みんななかよし」について紹介したりする。
4 年	様々ななかかわりあい方について知り、手助けを必要とする子どもの生活や思いに関心をもつ。	・さくら学級の児童への具体的ななかかわり方を学ぶ。 ・言葉を使わずに意思を伝える方法やその読み取りの練習をして実際のかかわりに活かせるようにする。
5 年	学習や生活の困り感を体験したり知ったりすることで、相手を理解しようとする気持ちが育つ機会とする。	・自分と他者では違う気持ちや感覚をもつことを実感するためのワークを行い、感想交流をする。
6 年	身近なところに課題を見つけたり、町や社会の取り組みを知ったりすることで、自分にできることを考えたりする。	・6年間のまとめとしてこれまでのさくら学級との交流をふりかえる。 ・「ユニバーサルデザイン」「バリアフリー」をテーマにしたワークを行う。

5. 本時の授業

(1) 人権尊重教育を通して育てたい力

○友だちの生活を知り、その様子を認めようとしている。

(2) 目標

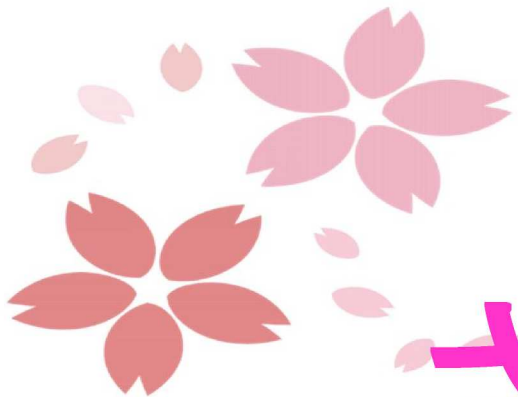
○さくら学級の児童がどのような学習をしているかを知り、交流しているさくら学級の児童に親しみを感ずるとともに、理解を深める。

○さくら学級の友だちに自分から積極的にかかわろうとする気持ちをもつ。

(3) 展開

学習活動	・支援 ☆評価 ○人権
1. はじめのあいさつをする。 「これから5時間目のべんきょうをはじめます。」 2. さくら学級の児童や生活の様子について知っていることを発表する。 「朝の挨拶に来るよ。」「バスで学校に来ているよ。」 「学習発表会に向けて一緒に練習したし、発表会も一緒に出たね。」 「さくら1組の友だちと理科や図工など一緒に勉強しているよ。」	○さくら学級のあいさつの方法である手話での挨拶を一緒に行い、理解を深められるようにする。 《準備するもの》 □スライド ・知っていること、今までに一緒にしたこと思い出せるように声をかける。
さくら学級の ものしりはかせに なろう！	
3. さくら学級のことや同じ学年のさくら学級の友だちの学習の様子、4年生での「みんななかよし」について知り、もっと知りたいことについて意見を出し合う。 「運動会でバルーンを一緒にやっていたよ。」 「さくら学級の友だちとあそぶよ。」 エビカニクスを踊る。	・動画や写真などを見ながら理解を深められるようにする。 ・児童の反応を見ながらゆっくりと進める。

4. 今日のふりかえり 今から何かできることがあるのか考え、グループで話し合う。 友だちの話を聞いて、今から自分がやろうと思ったことを書く。 5. おわりの挨拶をする。	・来年度のみんななかよしにつながるよう、今からやっておくとよいことがあるのか、何かできることがあるのか考えるように声をかける。 ☆友だちの生活の様子を認め、これからどのようなことができるか考えている。 ○さくら学級のあいさつの方法である手話での挨拶を一緒に行い、理解を深められるようにする。
--	--



さくらタイム



3年生



さくら学級のこと、

どれくらい
知ってるかな？



さくら学級 ものしりはかせに なろう！

- ① さくら学級は何組まである？
- ② どんな お友達がいるの？
- ③ どんなおべんきょうをしているの？
- ④ 「みんななかよし」 ってなに？

さくら学級は
何組まである？



A



組

B



組

C



組

各クラスの人数は・・・

く み		子ども(人)	先生(人)
	1	14	3
分教室	2	4	2
	3	4	3
	4	4	3

さくら学級の先生を紹介します

さくら 1組

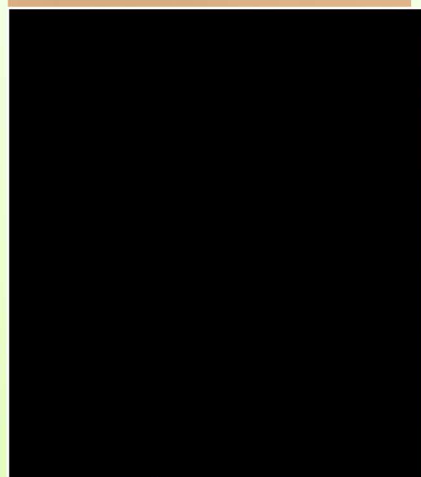
平野先生
ひらの

仲田先生
なかだ

吉田先生
よしだ

さくらがっきゅうのせんせい

さくら 2くみ



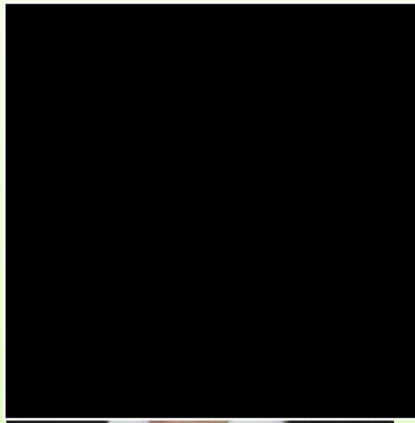
みぞた せんせい
溝田先生



しもじま せんせい
霜島先生

さくらがっきゅうのせんせい

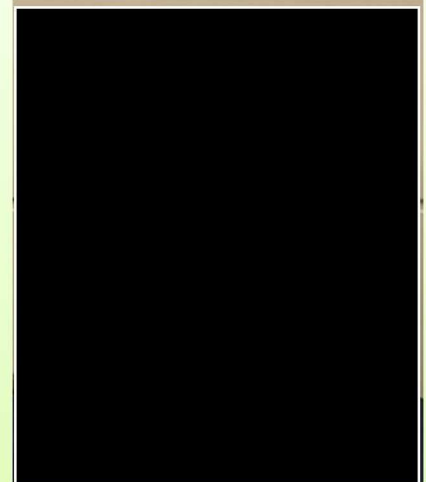
さくら 3くみ



おくやま せんせい
奥山先生



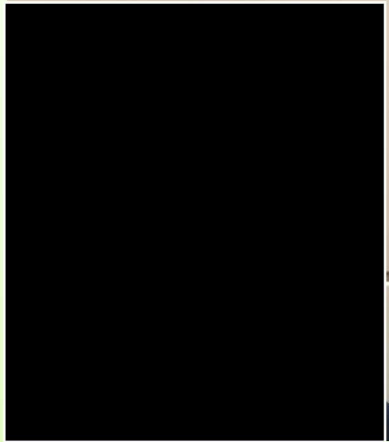
うえだ せんせい
上田先生



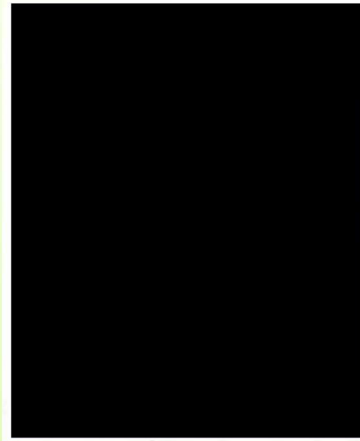
いしやま せんせい
石山先生

さくらがっきゅうのせんせい

さくら 4くみ



とりい せんせい
鳥井先生

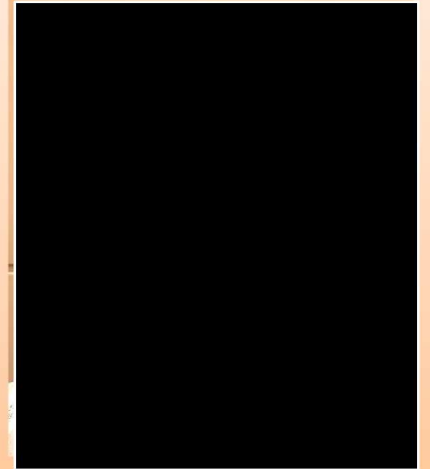


さとう せんせい
佐藤先生



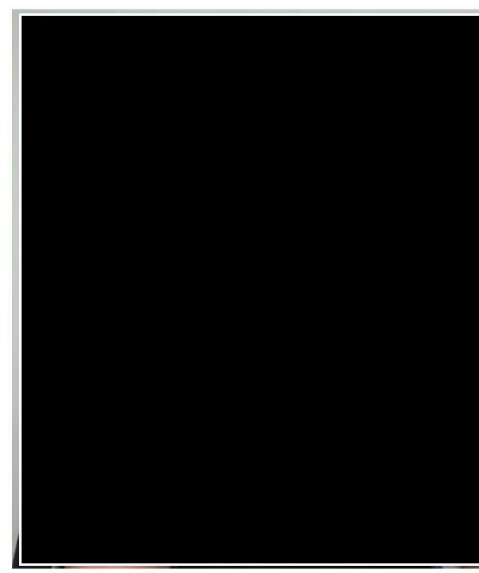
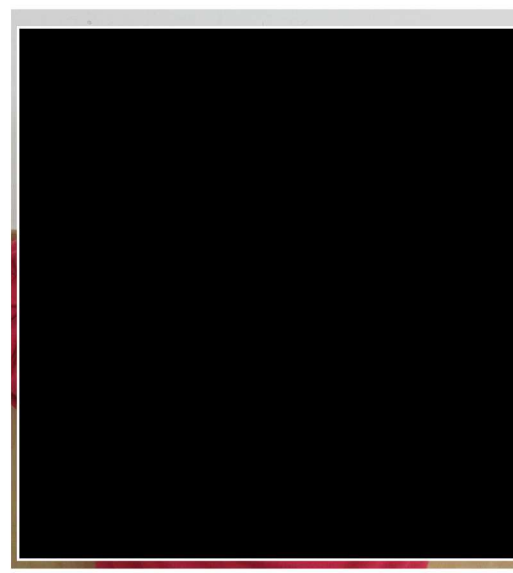
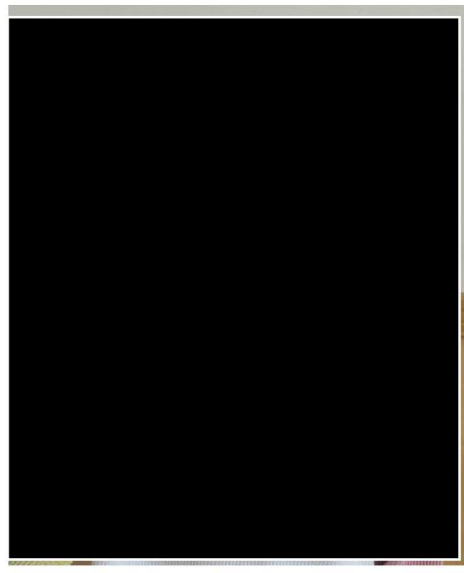
いわた せんせい
岩田先生

ほけんしつ



うじょう せんせい
宇條先生

さくら学級の3年生は、**4人**いるよ

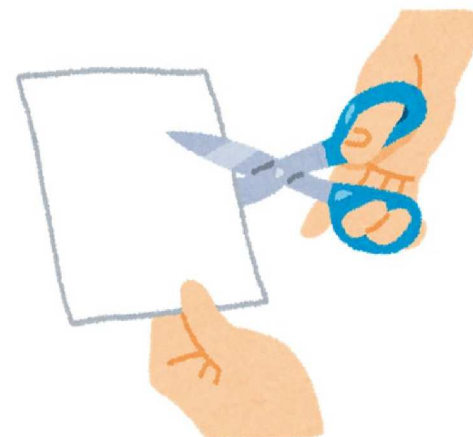
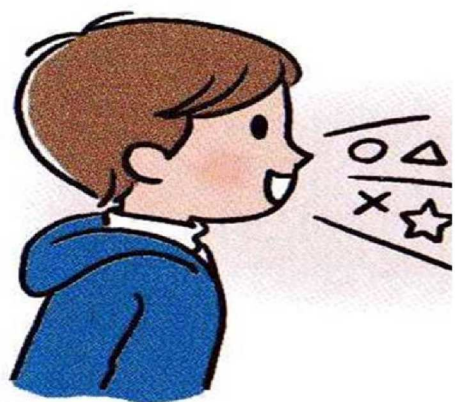


どんな お友達が
さくら学級に
いるの？





どんな子がさくら学級にいるの？

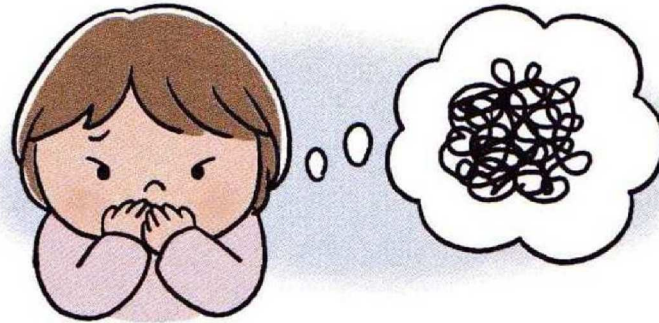




どんな子がさくら学級にいるの？



もちろん、



苦手なこともあります。



どんな子がさくら学級にいるの？



大きな
声や音

とつぜんの
よていへんこう
予定変更



たくさんの
人がいる場
所



に が て かつどう
苦手な活動

日常生活や勉強をする時に
サポートが必要



どんな
べんきょうを
しているの？



個別の学習

さくら図工

グループでの学習

話し合い活動

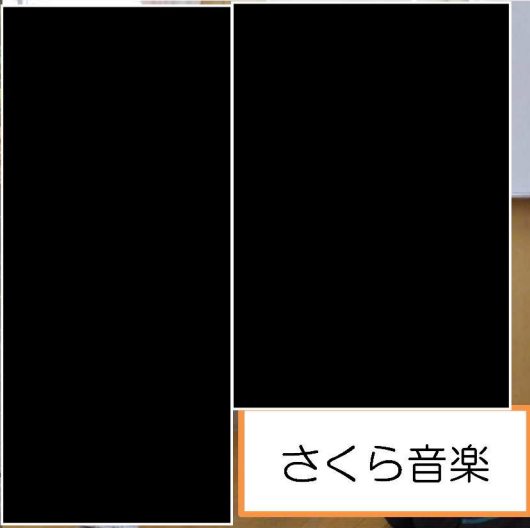
校外学習



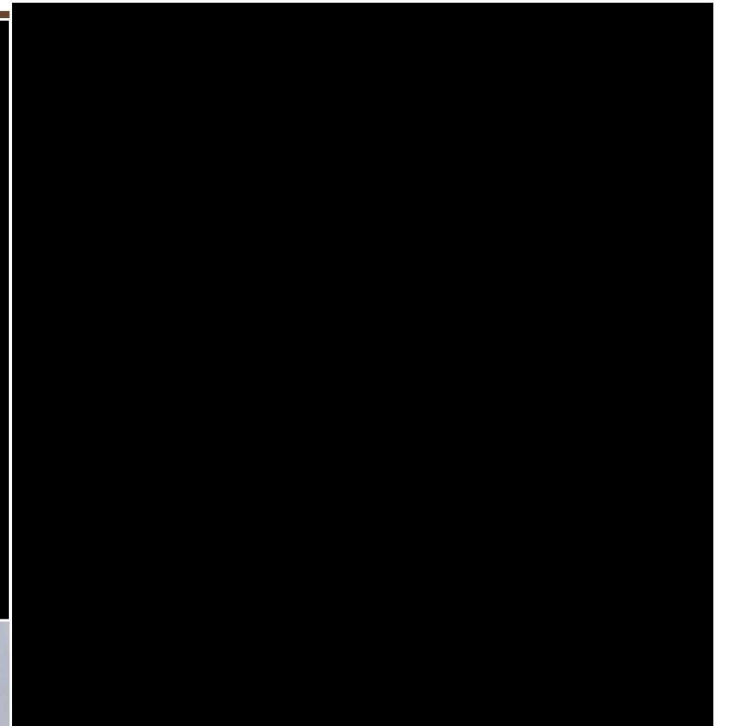
生活・町探検



2024/04



さくら音楽



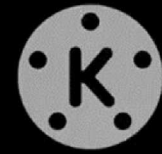
レストラン学習

4年生の学習

「みんな なかよし」

って???

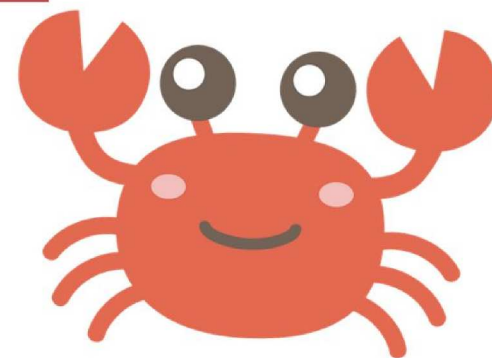
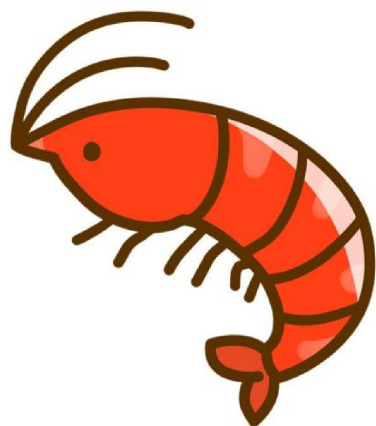




KINEMASTER

みんなでおどろう！

エビカニクス



エビカニクス

ケロポンズ



今、どんなことが
できるかな？





今、どんなことができる？



1. 「今からしておくとよいこと」をかく。
2. グループではなす。
 - ① じゅんばんを きめる。
 - ② はっぴょうする。
3. 「自分が今からできそうなこと」をかく。

第4学年 図画工作科学習指導案

指導者 川崎市立さくら小学校

4年 2組 小枝 直人

1. 日時・場所 令和6年11月6日(水)5時間目 場所 4年2組教室

2. 題材名 「太郎さんと友だち」B鑑賞(1)イ 共通事項(1)アイ 2時間扱い

3. 題材目標と評価規準

○題材の目標

・岡本太郎さんの美術作品をみんなで見て、話し合ったり表現したりして、形や色などの感じを捉えながら、その美術作品のよさや面白さを味わう。

○題材の評価規準

知識・理解	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
知 岡本太郎さんの美術作品を見るときの感覚や行為を通して、形の感じ、色の感じ、それらの組み合わせによる感じ、色の明るさなどが分かっている。	鑑 形の感じ、色の感じ、それらの組み合わせによる感じ、色の明るさなどを基に、自分のイメージをもちながら、岡本太郎さんの美術作品の造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。	主 つくりだす喜びを味わい、進んで岡本太郎さんの美術作品を見て、どのような造形的なよさかを考えながら、よさを味わう学習活動に取り組もうとしている。

4. 単元構想

○題材について

「太郎さんと友だちになってみよう」と投げかけて、鑑賞活動を展開することを構想した。

岡本太郎さんの美術作品を扱う題材では、6年生で「太郎さんになったろう」を行っている。本校では今までそれより下の学年では岡本太郎さんに触れてこなかったが、3年生の民家園見学、4年生の宙と緑の科学館や長沢浄水場見学と兼ねる形で、岡本太郎美術館に訪れ、中学年で作品を鑑賞することもよくあると思われる。そこで、中学年で岡本太郎さんの作品を鑑賞する学習、中でも美術館に行かず学校内でできる鑑賞活動を考案したいと考えた。

今回は作品を鑑賞する中で、「顔」が特徴的な作品や明るめのテーマ・色調の作品など、中学年にも親しみやすい作品に焦点を当てていき、「太郎さんと友だち」と投げかけて鑑賞活動を行う。その上で、一人一人が「生きる」ことを肯定していたように思える岡本太郎さんについて、ものの見方や感じ方は多様であることを知るための参考にもしてきたい。

○児童の実態

素直で屈託のない子どもたちである。学力が低い児童は多いが、新しいことに前向きに取り組んだり、友だちと仲良く話し合い協力したりする姿が多く見られる。集団として、論理的な言葉で話し合いを組み立て考えを深めることは苦手だが、素直な気持ちで感じたことや思ったことを交流することはできるように見受けられる。児童には素直で前向きな気持ちで、楽しみながら岡本太郎さんの作品を味わってほしいと願っている。

○教科として工夫する手立て

①岡本太郎美術館の貸出教材の活用

岡本太郎美術館では、無料で教材を貸し出しされている(送料別途)。その中から「作品プリント(A3 パウチ加工)」と「作品カード(アートカード)」、「《子どもの樹》カード」(初出)をお借りし、岡本太郎さんの人柄を知る導入としたり、美術作品の鑑賞教材として活用したりする。

②「子どもの樹」を題材に自分たちの「子どもの樹」をかく

岡本太郎さんの作品を「作品カード(アートカード)」や「作品プリント(A3)」で鑑賞した後、「子どもの樹」に焦点を当て、鑑賞をもとに表現する活動を行う。「子どもの樹」の丸い形の顔を、クレパスで自由な色・形で表現することで、岡本太郎さんを身近に感じながら一人一人の見方感じ方の違いを知ることができるようにする(元は2年生を対象として想定された表現活動である)。

5. 指導計画(2時間扱い)

	◎学習計画 ☆評価	○人権尊重教育の資質・能力
45分	◎「作品カード(アートカード)」を使って鑑賞活動を行う。 ・「神経衰弱」と「推理ゲーム」を行う。 ◎岡本太郎さんの「作品プリント(A3)」の展示を見て、代表的な美術作品を鑑賞する。 ・心にのこった作品を選び、どんなところが心に残ったかスケッチブックに言葉で書いたり、友達と話し合ったりする。 ☆進んで岡本太郎さんの美術作品を見て、その造形的なよさを考える。(態度) ☆岡本太郎さんの美術作品の造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて自分なりに見方や感じ方を広げている。(思考)	○それぞれの価値観を尊重し、違う意見に対しても、尊重したり自分の意見を伝えたりしようとする。 ○友だちや他の人の気持ちを想像したり、その人の立場にたって考えたりしようとする。 ○相手の権利を侵害することなく、誰とも分け隔てなくコミュニケーションをとろうとする。
45分 本時	◎「子どもの樹」とそこに表現されている「顔」を紹介し、児童と交流する。 ◎自分の「子どもの樹」をかく。 ・自分の気持ちや表したい表情を色や形で表現する。 ☆岡本太郎さんの美術作品を見るときに感覚や行為を通して、形の感じ、色の感じ、それらの組み合わせによる感じ、色の明るさなどを知る。(知識)	○自分や友だち、他の人たちも大切な存在だと理解している。 ○友だちと意見が違っていても、友だちの意見の大切さを理解している。

6. 本時の授業(2/2)

(1) 人権尊重教育を通して育てたい力

- ・自分や友だち、他の人たちも大切な存在だと理解し、たとえ意見が違っていても、それぞれの考えや思いの大切さを理解している。

(2) 目標

- ・岡本太郎さんの「顔」を表した美術作品を見て、形や色などの感じを捉えながら自分で表現することを通し、その美術作品のよさや面白さを味わう。

(3) 展開

学習活動	・支援 ☆評価 ○人権
◎「子どもの樹」とそこに表現されている「顔」を紹介し、児童と交流する。 ・作品を見て気になること、不思議・面白いと思うことを話し合う。 ・「子どもの樹」について、色や形からどんな表情に見えるのか、どこからそう見えるのかについて交流する。 ◎自分の「子どもの樹」をかく。 ・岡本太郎さんのように、自分の思いに正直に、自分の気持ちや表したい表情を色や形で表現することを目指す。 ・○をはみ出したり、何度もかいたりしてもよいことを伝える。 ・しっかりと色を塗るようにする。 ・自分の「子どもの樹」をかいた感想を交流する。	・授業者が作品を紹介するコーディネーターとなり、子どもたちの呟きに対し必要に応じて、作品の説明を添える。 ・今までの鑑賞活動と同様、同じものを見ていても感じ方は多様であることに気づき、自分と違う感じ方や考え方も認め合えるよう声をかけて支援する。 ・それぞれの表現する色や形を認め、受容的に声かけをして支援する。 ・上手いかなかったとき、どうしたかったか聞きながら、かき直してもよいことを伝える。 ・意欲に合わせて数枚かいたりしてもよいことを伝える。 ・それぞれの「子どもの樹」の表現の違いによる多様性を認め合うことの大切さをつたえる。 ☆岡本太郎さんの美術作品を見るとき感覚や行為を通して、形の感じ、色の感じ、それらの組み合わせによる感じ、色の明るさなどを知る。(知識) ○自分や友だち、他の人たちも大切な存在だと理解し、たとえ意見が違っていても、それぞれの考えや思いの大切さを理解している。

第5学年 かわさき共生＊共育プログラム学習指導案

指導者 川崎市立さくら小学校

5年 2組 霜島 健雄

平野 理紗

1. 日時・場所 令和6年11月6日(水)5時間目 場所 校庭(雨天時:体育館)

2. 題材名 「みんなであそぼう」(友達づくり)

3. 題材のねらい

・いろいろな遊びを通して、友達のよさに気付いたり、友達と協力して遊ぶことの楽しさや喜びを味わったりする。

4. 単元構想

4月の初め、児童同士の関わりは希薄で、男女が一緒に遊ぶ際に十分な協調性が見られない状況が顕著だった。何か問題が生じると、すぐに口論に発展することが多く、担任の前では表立って悪いことは言わないものの、自己主張が強い児童が目立った。このような状況を改善し、相互の妥協や協力を通じて円滑な人間関係を構築するために、児童たちがどうすれば互いに理解し合い、共に成長できるかを話し合う機会を積極的に設けてきた。

その中で大切にしたのは、個々の問題に対して「誰が悪いか」を追及するのではなく、今後どう行動すべきかを全員で考え、解決策を模索する姿勢である。特に、能力の高い児童には、無関心を装うのではなく、周囲の友人を助け、協力の輪を広げるよう働きかけてきた。また、クラス全体で問題意識を共有することを目指し、児童たちが一丸となって取り組む環境を整えてきた。

半年が経過し、ようやく児童たちは個々の課題を「クラス全体の問題」として捉えられるようになりつつある。この成長は、体育の授業におけるアイスブレイク活動など、日々の関わりを通じた積み重ねの結果である。本題材は、そのような日常の取り組みを共生共育の授業の中で扱い、めあてや振り返りを児童が意識しながら活動ができるように設定した。今後も、児童同士の関係性を深める指導を重視し、クラス全体の調和を育んでいきたい。

また、手つなぎ鬼を選ぶのには意図がある。まず、手をつないで行動することによって、自分と他者とのタイミングが合わず、思い通りにいかない。そうすると、自然と友達と声をかけ合う機会が増え、作戦を立てたり、鬼同士でコミュニケーションをとったりすることになる。また、高学年になると、「あの子とは手をつなぎたくない。」という児童が増えるが、この遊びを通し、教員が声をかけていくことで、手をつなぐのが誰であろうと楽しんでいくことができる。また、友達と連動して行動できると心が通じ、そこでかかわりが深まっていくと考えられる。

5. 本時の授業

(1) 人権尊重教育を通して育てたい力

・分け隔てなく、誰とでも協力し、ともに活動することの楽しさや喜びを味わう。

(2) 目標

・いろいろな遊びを通して、友達のよさに気付いたり、友達と協力して遊ぶことの楽しさや喜びを味わったりする。

(3) 展開

学習活動	・支援 ○人権
1. 今日の内容と4つの基本のルールを確認する。 2. アイスブレーキング ふえおに をしよう 3. めあての確認をする。 ○みんなで協力しよう ○一人一人を大切にしよう ○ルールをみんなで守ろう ○困ったときは、話し合って解決しよう 4. 活動 手つなぎ鬼 をしよう ○一回目が終わったら、一度分かち合いの時間をする。 ○うまくいったことと、うまくいかなかったことを出し合い、どのような言葉をかければうまくいくか話し合う。	・基本のルール 悪ふざけやからかいはしない・友達の意見や考えを認めること・無理強いはしない・秘密は守る ・本時のめあてを明確にする。 ・参加者全員が納得できるルールを最初に確認し、全員が公平に扱われるようにする。 ・二人で一組の鬼を四組を作る。 ・みんなで楽しむために、進んで鬼役をやろうとしている態度を見つけたら、認める。 ・積極的に声をかけ合っている様子があれば価値づける。 ・児童同士が手をつなぐのを躊躇しているときには声をかける。 ・声をかけ合う時は、「～はだめ」。というよりも「～しよう。」という肯定的な言葉遣うように伝える。 ・逃げていて人全滅をさせることがゴールなのではなく、全員が参加できることに意味がある、という意識をもつ。 ○分け隔てなく、誰とでも協力し、ともに活動することの楽しさや喜びを味わう。

5. 分かち合い ○自分がどう感じたか？ ○今日の遊びで、友だちのどんなところが素敵だったか。 ○友だちがどんなときに楽しそうだったか、どんな表情をしていたか。 ○もし今日の遊びをもう一度するとしたら、もっと友だちと仲良くするためにどうしたいか。	・互いの良いところや友だちの気持ちや表情を観察することで、他者の感情に寄り添えるように支援する。 ・誰かが不快な思いをした場合、それをみんなでどう改善できるかを話し合い、問題解決の意識をもたせる。
--	--

第6学年 図画工作科学学習指導案

指導者 川崎市立さくら小学校

6年1組 奥田 哲史

6年2組 渡邊 翼

6年3組 今井 結

1. 日時 令和6年11月6日(水)5時間目 場所:1組(教室・廊下)・2組(図工室)・3組(教室)

2. 題材名 「これぞ わたしの自分看板!~This is me~」 A 表現(2) 工作に表す 8時間扱い

3. 題材目標と評価基準

○題材の目標

- (1)・自分のことを看板に表現するという活動を通して、形や色などの造形的な特徴を理解する。(知識)
 - ・表現方法に応じて段ボールを活用するとともに、前学年までの経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして、表したいことに合わせて表し方を工夫して表す。(技能)
- (2)・自分を表現するために、自分自身を見つめ、形や色、材料の特徴、用途などを考えながら、どのように主題を表すかについて考える。(発想や構想)
 - ・自分たちの作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深める。(鑑賞)
- (3)・つくりだす喜びを味わうとともに、自分のよさを考え、思いをこめて自分を表す看板をつくる学習活動に取り組もうとする。(学びに向かう力、人間性等)

○題材の評価基準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
知 ・自分のことを看板に表現するという活動を通して、形や色などの造形的な特徴を理解している。 技 ・表現方法に応じて段ボールを活用するとともに、前学年までの経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして、表したいことに合わせて表し方を工夫している。	発 ・自分を表現するために、自分自身を見つめ、形や色、材料の特徴、用途などを考えながら、どのように主題を表すかについて考えている。 鑑 ・自分たちの作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めている。	主 ・つくりだす喜びを味わうとともに、自分のよさを考え、思いをこめて自分を表す看板をつくる学習活動に取り組もうとしている。

4. 単元構想

学年目標について

- ・あきらめずに取り組んで、「面白い!」に会おう!
- ・時間やルールを守って生活しよう!
- ・責任感があって頼られる6年生になろう!

○児童の実態

意欲的で活発な児童が多く、苦手なことにも諦めずに取り組める児童が多い。友だち同士の繋がりをとても大切にし、お互いの良さを認め合い、自分の思いを素直に伝えられる。また、困っている友だちや下級生に対して、自然と周りにいる友だちが一人だけでなく、みんなで助けてあげるといった思いやりの行動を取れる姿が見られるようになってきた。たてわり活動や委員会、1年生との休み時間や掃除の交流など、6年生として下級生をまとめる立場として活動していく中で、「自分たちが学校を動かしていくんだ!」「自分たちがしっかりしないとみんなが困ってしまう。」と、最高学年としての自覚も芽生えてきた。しかし、まだまだ成功体験や社会経験が乏しいという実態もあるので、普段の学習や校外学習などを集団で活動することで、集団で生活することの楽しさや難しさを少しずつ経験できるようにしてきた。

一方で仲間意識が強く、互いに素直に伝えすぎるが故にトラブルになってしまうことも少なくはない。友だちのことに対しては素直によさを伝えられるが、自分のことになると自信をもてなかったり、自分の良さに気づけなかったりする児童も多い。

図画工作の学習が好きで、意欲的に取り組める児童が多く見られる。造形活動においては個人での制作や友だちとの共同制作などを通して、意見を伝え合う中でその思いを作品に取り入れていく姿が多い。「それどうやってやったの?」「うまい!」など友だちの作品の良いところを見つけ、伝えることができる児童が多いが、自分の作品に対しての自信がもてず思いを伝えられないことがある。

これらの実態から、本学習では、自分の良さを考えるきっかけにして、自分を見つめ直す時間にしていきたい。

○題材と育てたい力

このような実態から、本題材では自分と向き合い、今の自分・これからなりたい自分を考えるきっかけをつくりたい。そしてその中で他人と比べない自分らしさに気付いてほしいと考える。そして造形活動を通じて「これでいいや。」で終わるのではなく「これがいいな。」と思えるように自分の作品に愛着をもってほしいと考える。

また、作品が完成した後は「これぞ、自分だ!」と自分を表現できるような鑑賞時間を設けていきたい。その中で、自分に少しでも自信をもち、友だちのよさや個性に気付いてほしいと考える。

技法としては、看板の下地になる段ボールを用いる中で、段ボールカッターの使い方に触れていくとともに、既習の学習を活かして段ボールへの着色・接着をしながら作品に表していく。

○手立て

- ①題材の導入では、いくつかの看板を紹介し、看板を構成する色や形・文字のよさに気付かせる。そして看板は「見る人にメッセージを伝えるもの」であることを伝え、今回は自分らしさを人に伝えることを確認する。
- ②参考作品は「今ががんばっていること」「将来こんな人になりたい」「こんな職業を目指す」など、テーマ別に複数用意することで、自分が参考にしたいものを自己決定できるようにする。
- ③自信をもって作品づくりに向き合えるようにワークシートをもとにデザインを考えていく。自分で思いをもてない児童には、対話を重ねる中で、自分を見つめる手助けをしていく。
- ④自分の思いを表現する方法を選べるような場の設定をする。水彩絵の具、ポスターカラー、筆や刷毛などを準備し、児童自身で選択、決定して自分らしさを表現することができるようにする。
- ⑤総合の「This is me!」では、これまでの12年間の自分の成長や今の自分を見つめ、自分の未来について考える学習をしてきた。自分の好きなものや苦手なもの、家族や友達からどんな人だと思われるか、自分が長所や短所、興味のある職業などを深めていく。総合で見つめ直した自分を、この題材に結びつけ、自分を表現できるようにしていきたい。

5. 指導計画(8時間扱い) ★1組は 8/8、2組は2次の時間、3組は1/8、

	◎活動内容 ・予想される子どもの姿	○教師の手立てとかかわり	評価規準【 】評価方法() ○人権尊重教育を通して育てたい力
1次 90分 ★ 3組	◎お店の看板の写真を見る。 ・「目立つ色にしているね」 ・「文字がなくても伝わるね」 ・「お客にアピールしているよ」 ◎参考作品を見て、自分看板のイメージをもつ。 イメージしよう 自分かん板 ◎自分自身を見つめて、イメージシートに書き出す。 ・「サッカー選手になりたい」 ・「けん玉が得意だ」 ・「挨拶をがんばっている」 ・「友だちと笑うのが好き」 ・「理科が得意だ」 ◎その中から、今回看板に表すテーマを選択する。 ◎看板にどんなイラスト、文字を入れるか考え、イメージシートに書く。 ・「本の形にしようかな」 ・「手を挙げている自分をかこうかな」 ・「下地は何色にしようかな？」	○看板によって色や形・文字に特徴があること、見る人にメッセージがあることに気付かせる。 ○思いつくまま考えさせ、その中から題材にするものを選択させる。 ○なかなか書けない子には、友だちからその子ががんばっていることやよさを発表してもらう。 ○自分を表現するのにふさわしいテーマを考えさせる。 ○児童と対話をする中で、イメージを確認していく。 ○書きたい絵を想像できるように、イラスト集を置いておく。	○自分や友だち、家族、身近な人も大切な存在だと理解しようとしている。 【主】 自分の良さを考え、思いを込めて自分を表す看板をつくろうとしている。(イメージシート・活動)
2次 225分 ★ 2組	形にしよう 自分かん板 ◎白ダンボール(下地)に鉛筆で下書きをする。 ◎下地を好きな形に切る。 ・車の形 ・そのまま四角 ・本の形 ◎下地に色をつける ◎素材(ピース)を描く ・「スパイクとボールを作ろう」 ・「けん玉と自分の顔」	○段ボールカッターの使い方を指導する。 ○段ボールの向きによって切りやすさがあることに気付かせる。 ○塗る場所の広さによってはけや筆を選ばせる。 ○段ボールを使って自分を表現する素材を下地に飾っていく。	○自他のよさを多面的に見付け、進んで思いを伝えようとするができる。 【思・判・表】 自分を表現するために、自分自身を見つめ、看板の構想を考えている。 (作品・活動)

	・「大きな吹き出し」 など ◇看板にフレーズを書く ・「生き物 だーい好き!」 ・「日本一の FW!」 ・「現在算数ががんばり中!」 ・「ゆっくりでも丁寧に!」 ・「努力!」	○フレーズはシンプル・ユーモラス・インパクト・10文字以内くらいのものがよい。1文字でもよいことを伝える。 ○下地に直接書かず、ピースとし飾ってもよいことを伝える。	【知・技】 段ボールの特性を生かし、デザインや色を工夫している。 (作品・活動)
3次 45分 ★1組	自分かん板を伝えあおう ◎グループで作品を紹介しあう。 ◎おすすめ作品を推薦しあって、選ばれた子はみんなの前で作品を掲げて、紹介する。 ・「ぼくはサッカーが好きです! 将来は…」	○看板に入れたフレーズから作品名を考えさせる。 ○鑑賞カードを使って、友だちの良さを記録できるようにする。	○違う意見に対しても尊重したり、自分の意見や思いを伝えたりしようとする。 【知・技】 自分の看板に込めた思いを進んで伝えている。 友だちの看板の良さに気付き伝えている。 (活動・つぶやき)

※「主体的に学習に取り組む態度」については題材全体を通して評価する。

※本時案は、なし。

<参考1> 第1時 看板について考える。



看板の役割って？

見る人にアピール
している！

たくさんお客が
集まりそう。

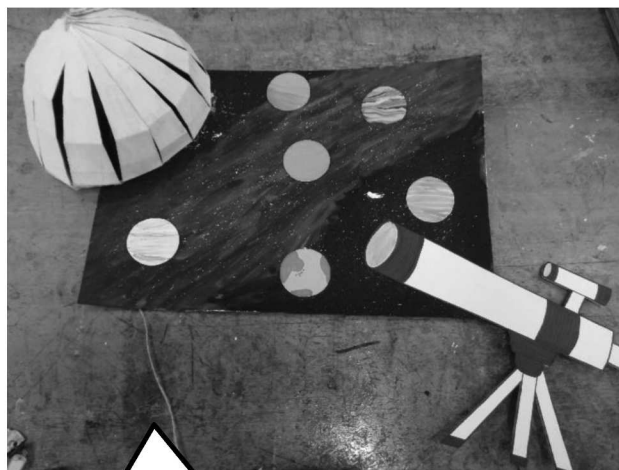
字が読めない小さい子や、
ほかの国の人にも伝わりそう。



<参考2> 第1時 先生たちの作品紹介。



サッカー選手を支えるホペイロ
[用具の整備係]になりたい。
[将来の夢]



天体観測が好き
[自分が好きなこと]
[フリースなし ver]

**今の自分を支えてきたもの
たち**

[今の自分ができるまで]



第1学年 さくらタイム学習指導案

指導者：上田 千裕（1－1）
平野 理紗（1－2）

1 日時・場所 9月12日（木）4校時 1－1教室
9月 日（ ） 4校時 1－2教室

2 本時 「さくら学級ってどんなところ？」

3 本時のねらい

さくら学級の一日の流れやさくら学級の児童がどのような学習をしているかを知り、
さくら学級の児童に親しみを覚える。

4 本時の展開

	主な学習活動	・指導上の留意点
25分	1 始めのあいさつをする。	・ さくら学級のあいさつの方法で手話をつけたあいさつを一緒に行う。
	2 さくら学級の児童やさくら学級の一日の流れを知る。 【PPT、動画】 （ さくら級の先生の紹介 「さくらの歌」を歌う。 さくら学級の紹介動画 ）	・ 学習や生活の様子をまとめたパワーポイントを用意する。自分たちが普段何気なくしていることがさくら学級では大事な学習であるということを押さえる。 ・ さくら学級の子どもたちが朝の会で歌っている歌をみんなで歌う。一緒に歌うことで、楽しみながらさくら学級の友だちに親しみを覚えられるようにする。（手話付き）
5分	3 「校歌」（手話付）を見る。（歌う。）	
10分	4 疑問に思ったことを質問したり感想を発表したりする。	・ 交流する児童と関わる時のコミュニケーションの仕方や好きなものなどを教員が具体的に伝えることで、よりよく関わろうとする態度を育てることができるようにする。 ・ 個人にかかわることは前もって保護者に許可を得たうえで返答する。 ・ 感想を聞き、繰り返したり膨らませたりすることで、さくら学級の児童により親しみがもてるようにする。
5分	5 終わりのあいさつをする。	・ もっと知りたいという気持ちを、分教室の朝の会見学につなげられるようにする。 ・ さくら学級のあいさつの方法で手話をつけたあいさつを一緒に行う。

準備物：テレビ、パソコン

1. あおいそら しろいくも

さくらしようにの きょうしつ あかるく つつむ
ともだち いっぱい うたごえ ひびき
はじける はじける はじける えがお
あたたかな まちに はげまされ

みんなで まなび あそぶ

そして そして そして

おおきなところと おおきなゆめを そだてよう
あたらしい あしたに むかって

2.

みどりのは そよぐ やわらかな かぜ

さくらしようにの ひとりひとり ここに います

やさしさ いっぱい あいさつ かわし

ひろがる ひろがる ひろがる なかま

ふれあう ひとに ささえられ

すなおな じぶん しんじ

そして そして そして

つよい ところと おおきな ゆめを そだてよう
あたらしい せかいに むかって

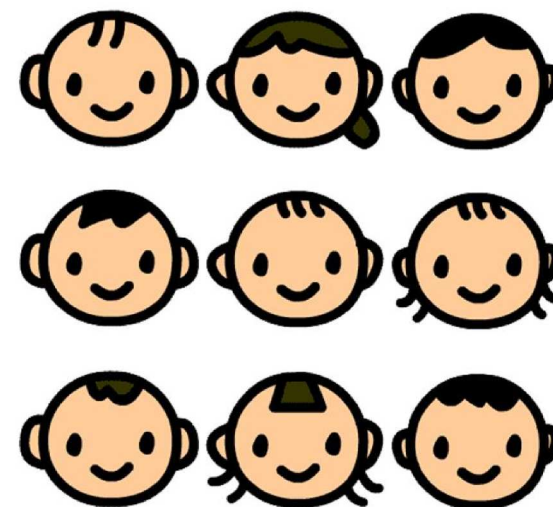


さくらタイム

～さくらがっきゅうと なかよし～

さくらがっきゅうの　ともだち

- 1ねんせい　3にん
- 2ねんせい　3にん
- 3ねんせい　4にん
- 4ねんせい　5にん
- 5ねんせい　3にん
- 6ねんせい　6にん



あわせて **2 4** にん

さくらがっきゅう 1ねんせい

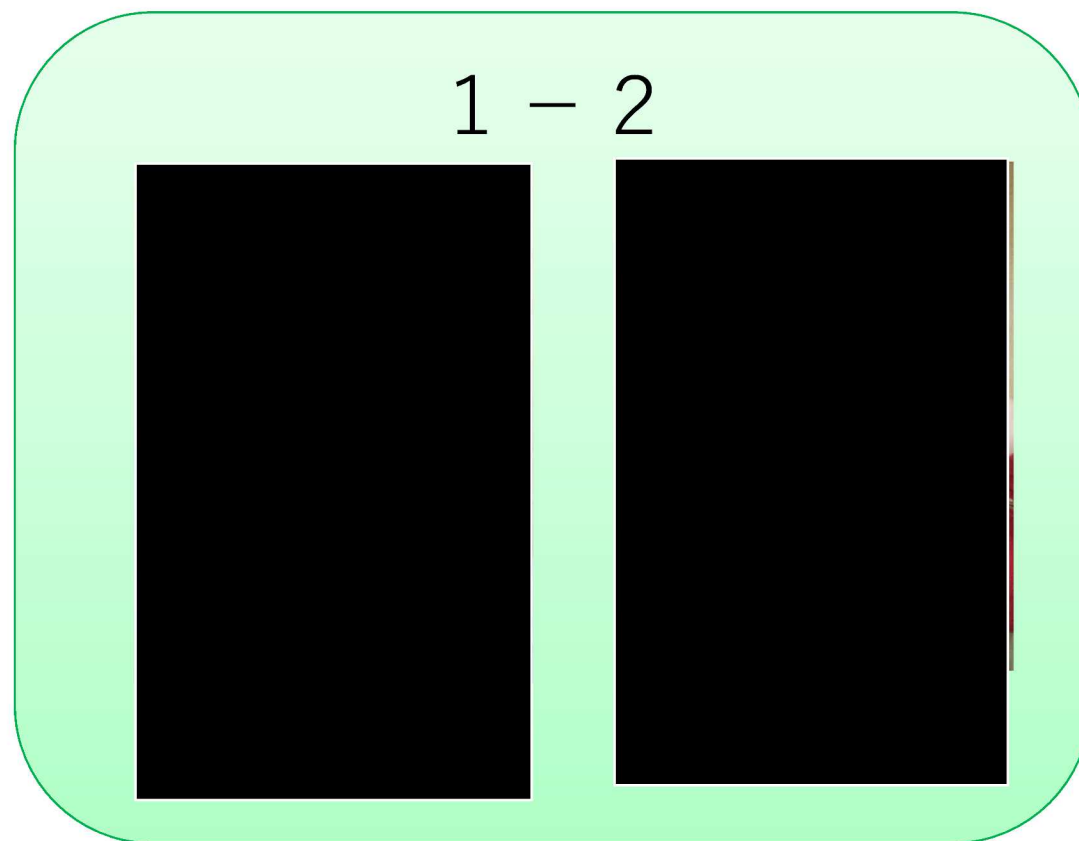
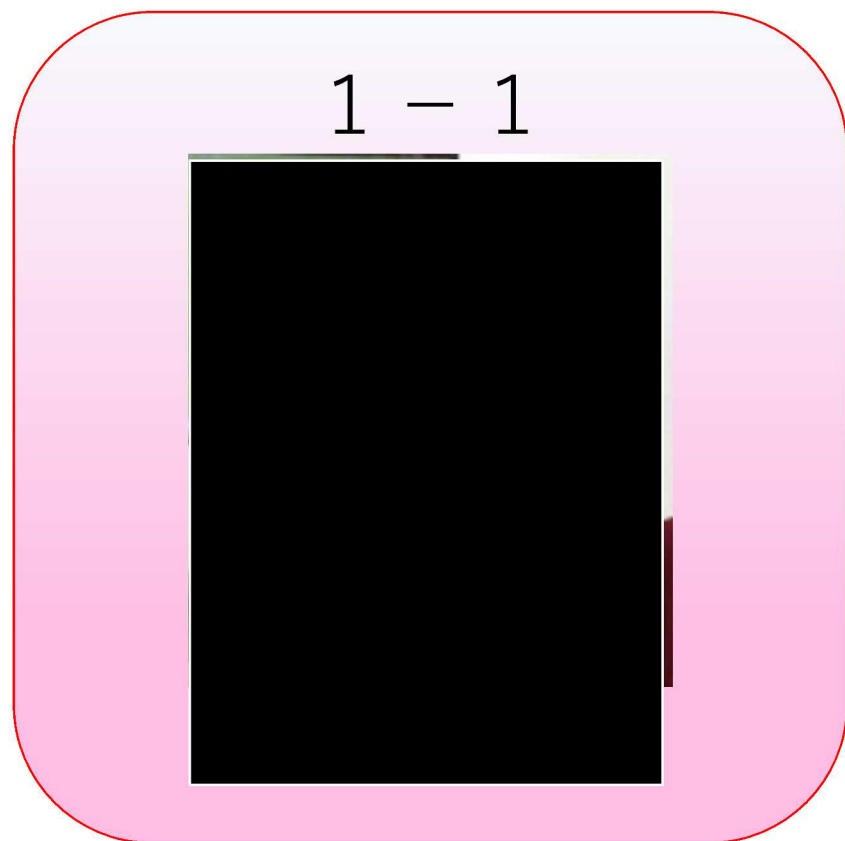
さくら
1くみ

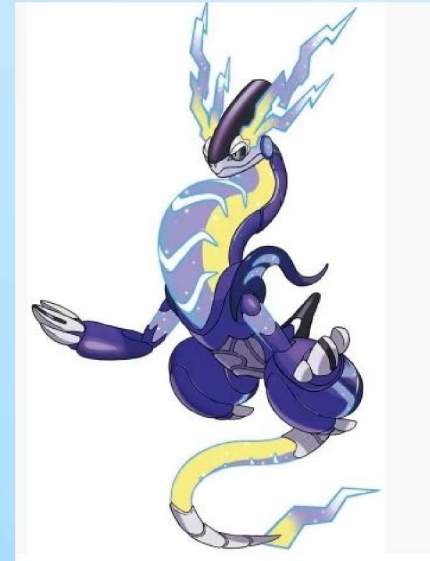
さくら
2くみ

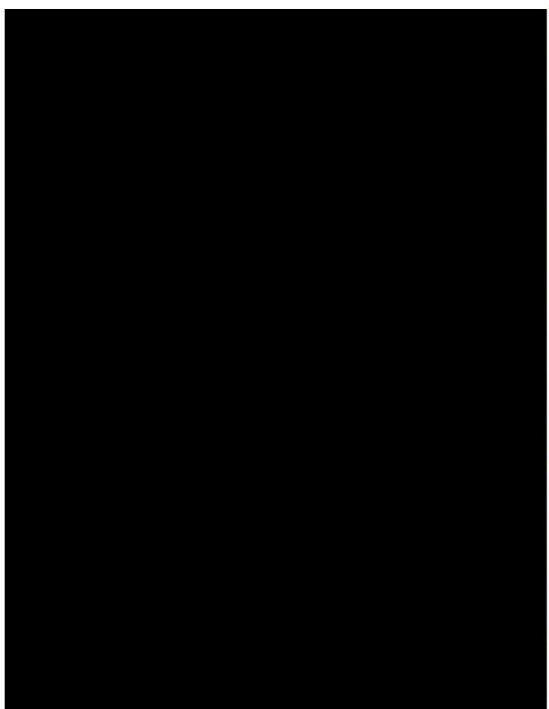
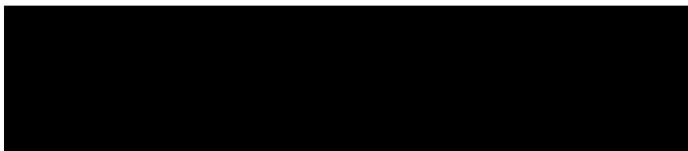
さくら
3くみ

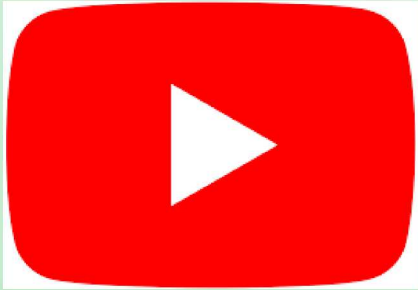
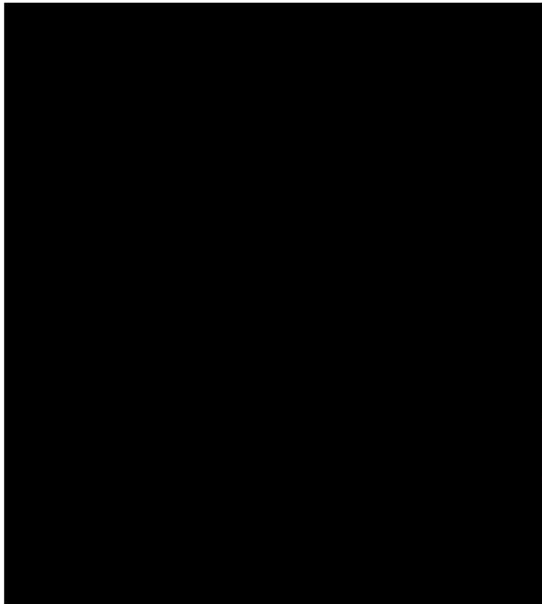
さくら
4くみ

こうりゅうきゅう 1ねんせい









それぞれのクラスに なんにん いるかな？

クラス	こども	せんせい
1くみ	12にん	3にん
2くみ	4にん	3にん
3くみ	4にん	3にん
4くみ	4にん	3にん

さくらがっきゅうのせんせい

さくら 1組

なかだ せんせい

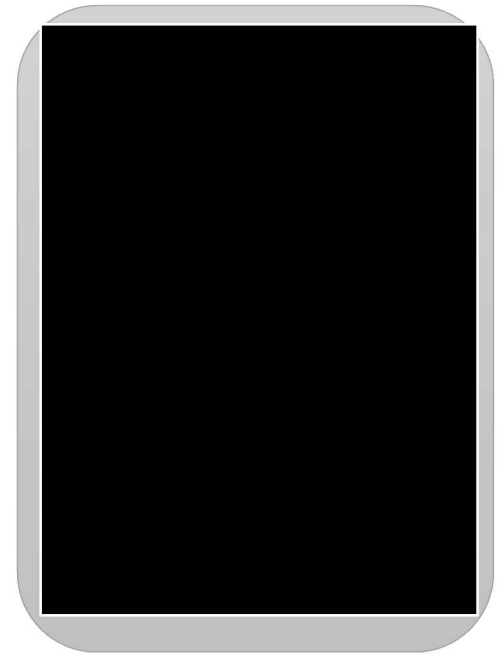
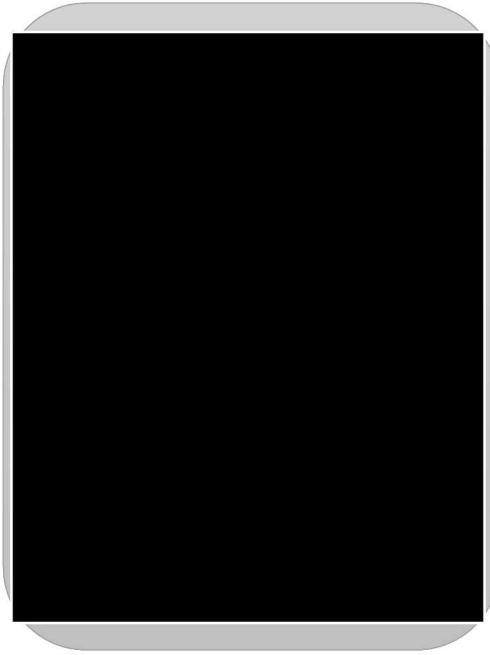
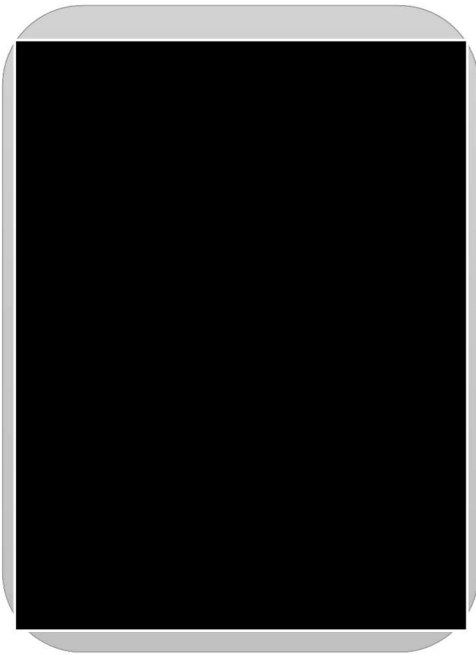
まり せんせい

ひらの せんせい

よしだ せんせい

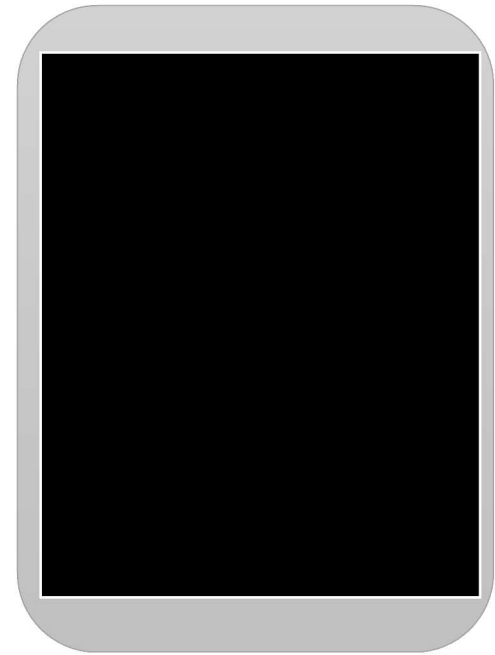
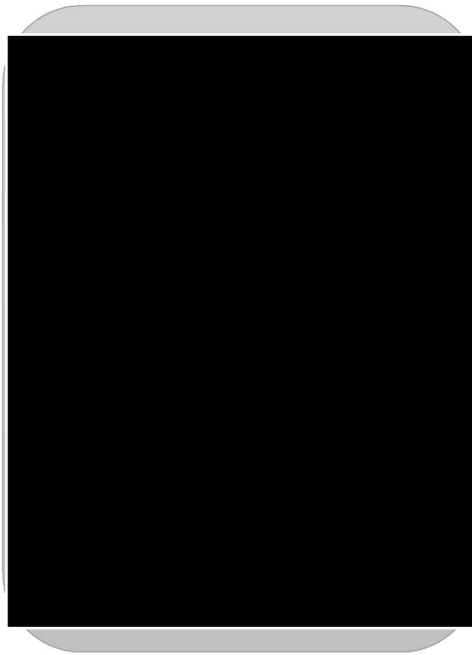
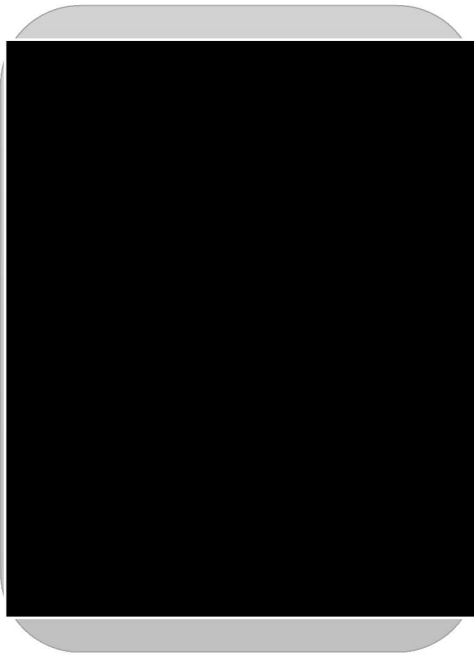
さくらがっきゅうのせんせい

さくら 2くみ



さくらがっきゅうのせんせい

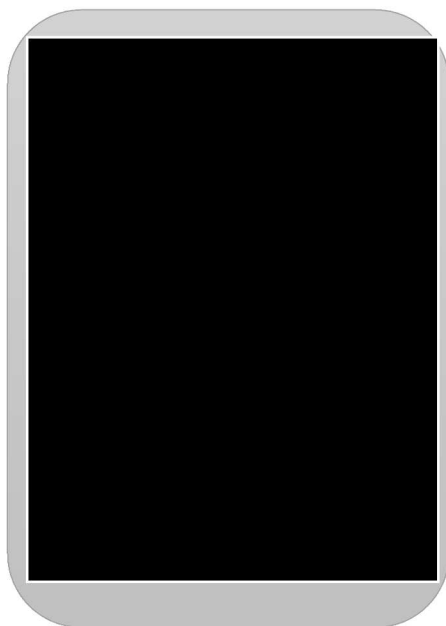
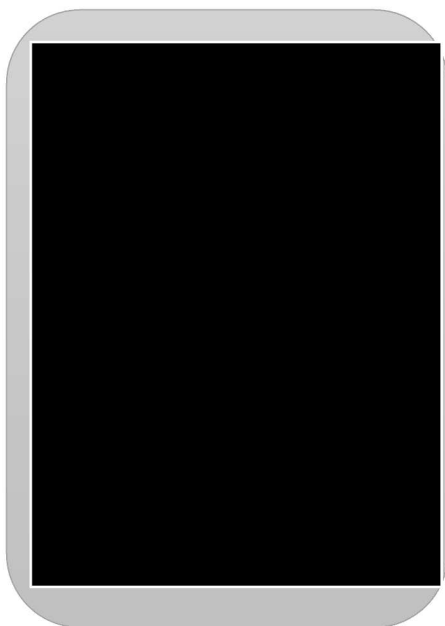
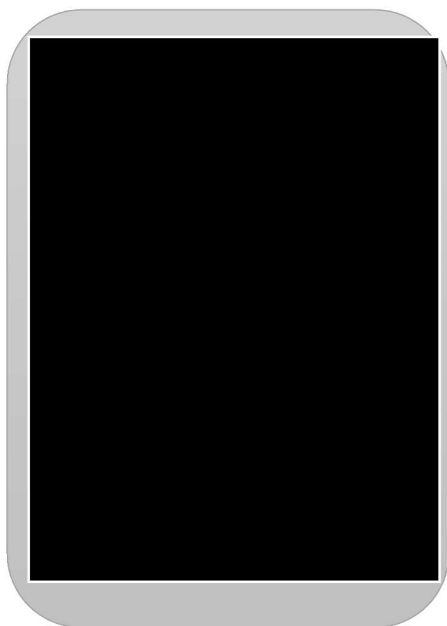
さくら 3くみ



さくらがっきゅうのせんせい

さくら 4くみ

ほけんしつ



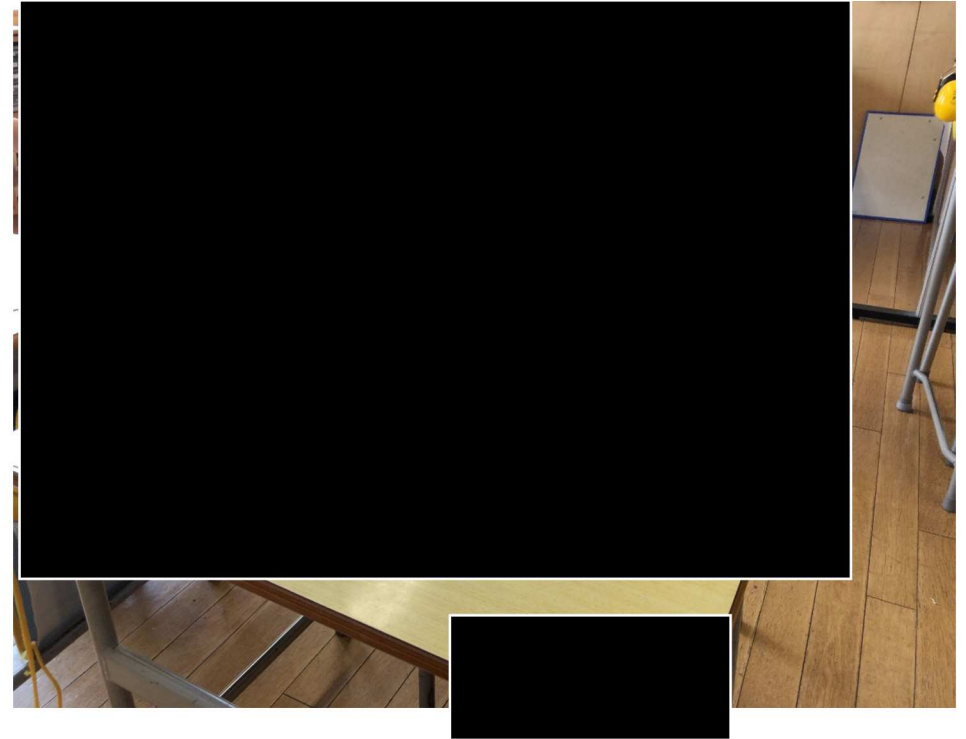
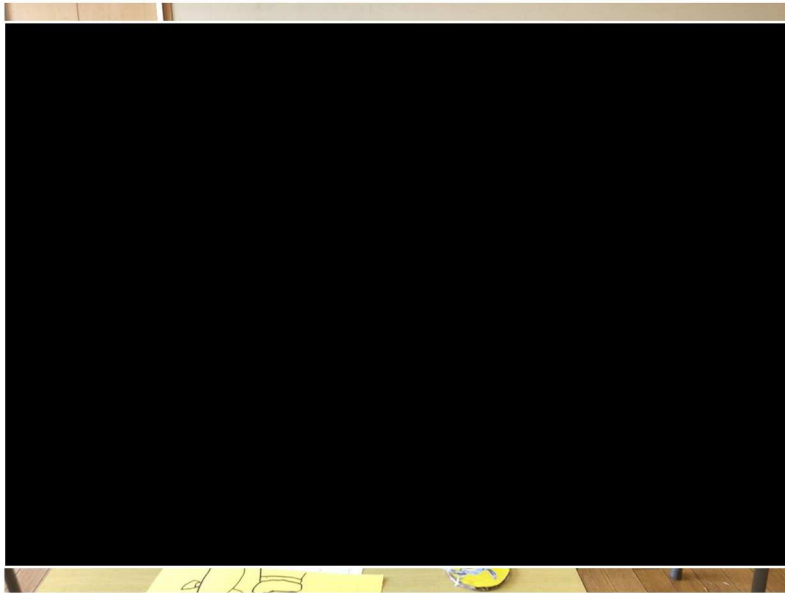
さくら1くみ

きょうしつが2つあります

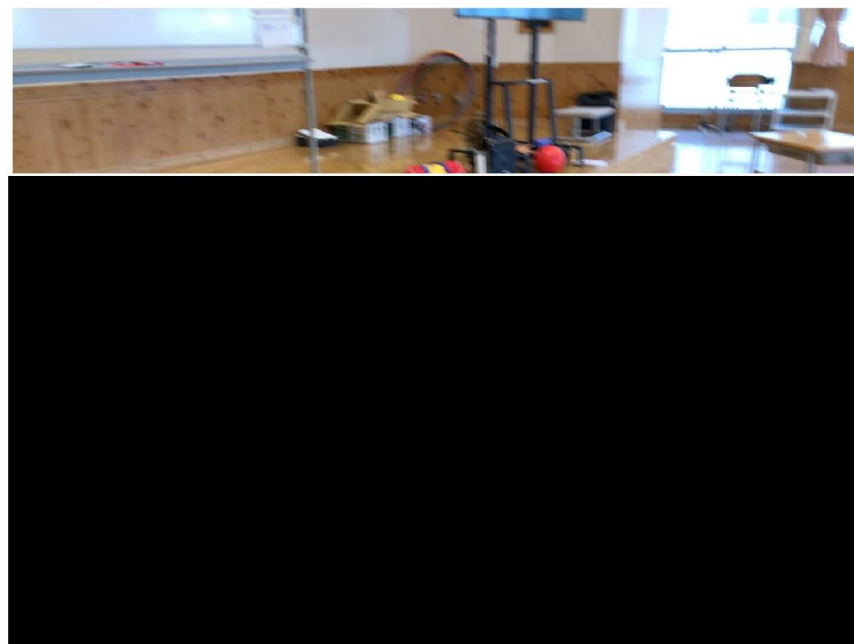
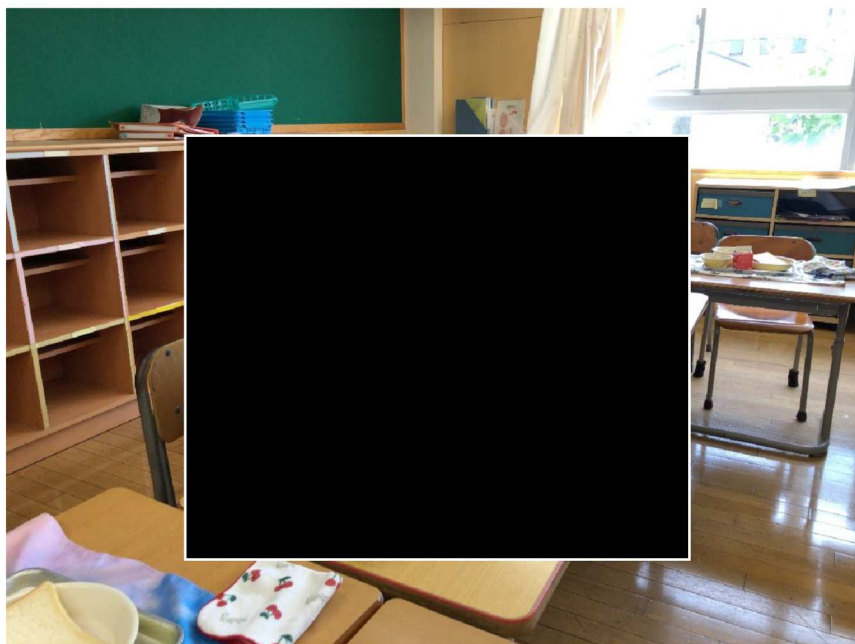


Bとう 2かい

がくしゅう



ひとりひとりにあった べんきょうや
ぐるうぷでの かつどうをしています



**さくら1くみで こうがい がくしゅうに いったい、
たいいくなどの がくしゅうを したり します！**

さくら2・3・4くみ



びい
Bとう 1かい



とうこう

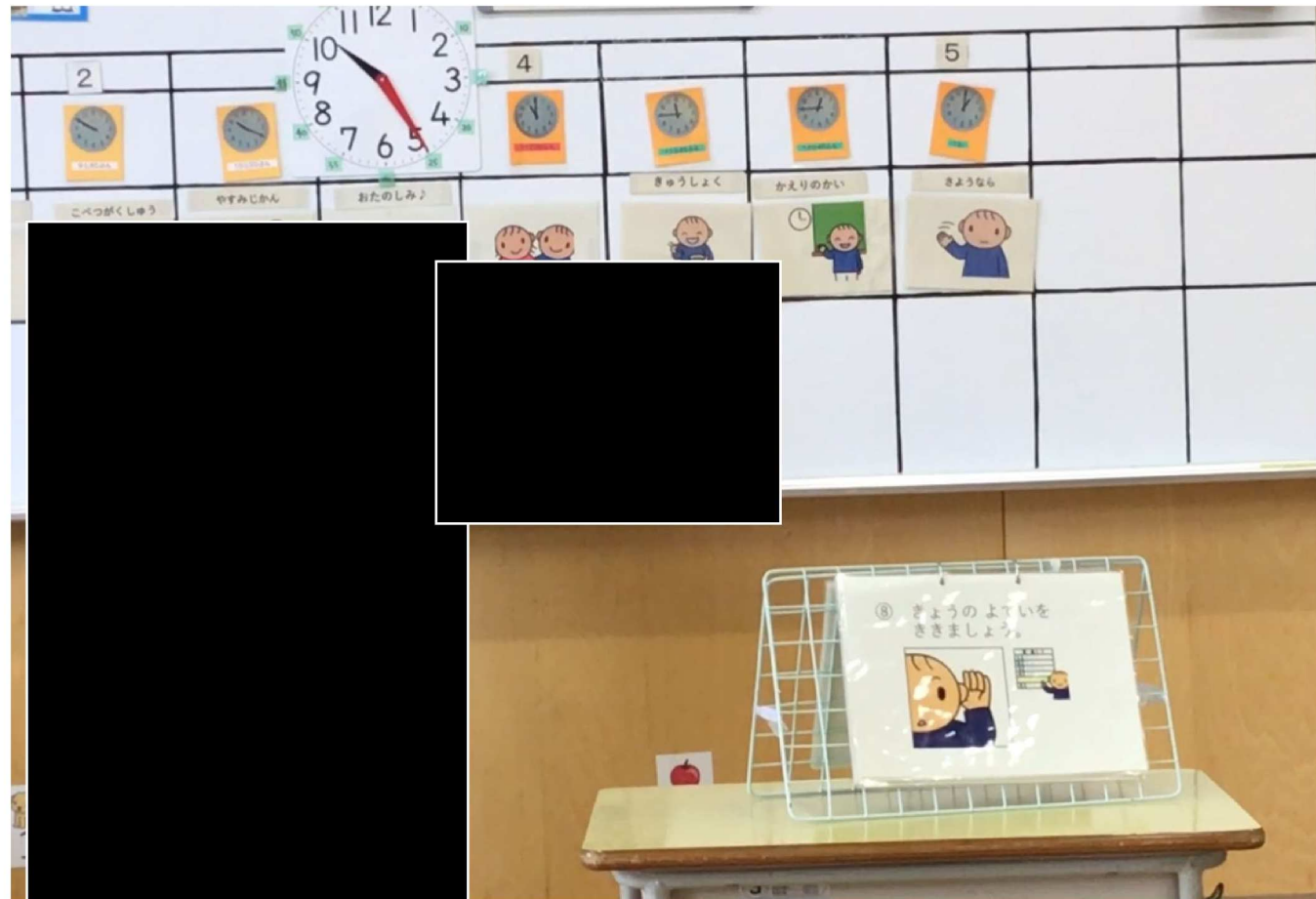
こすもす ごと

ばすにのって
くるひともいるよ

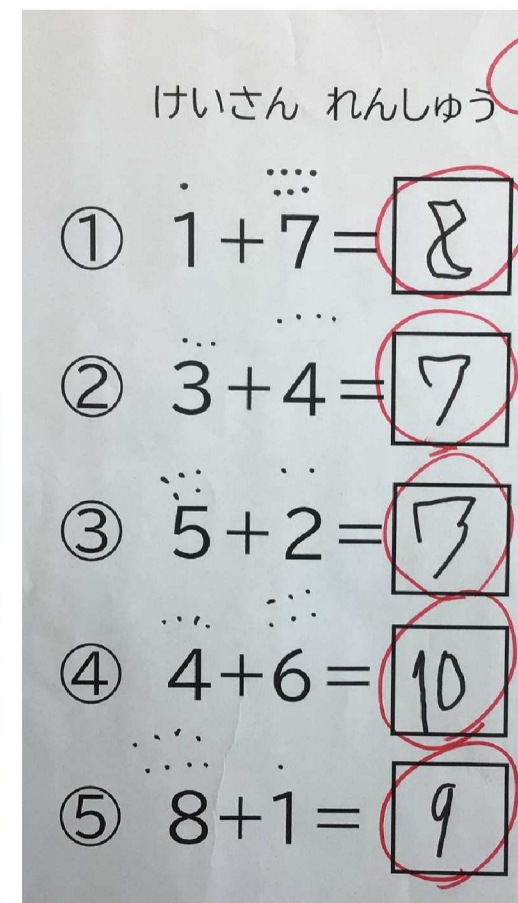
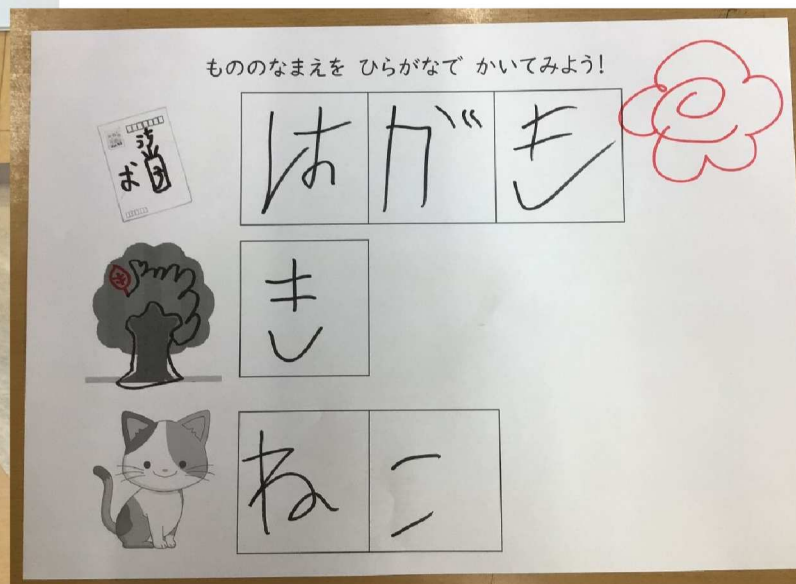
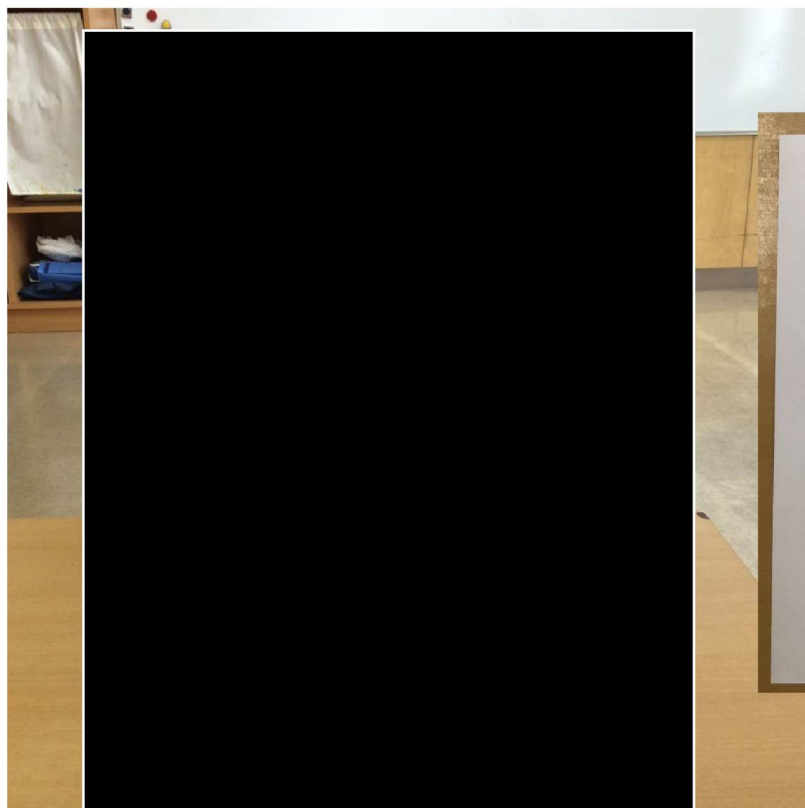


あさのかい

しゃしんや えのかあどを つかって
いちにちの よていを かくにんします

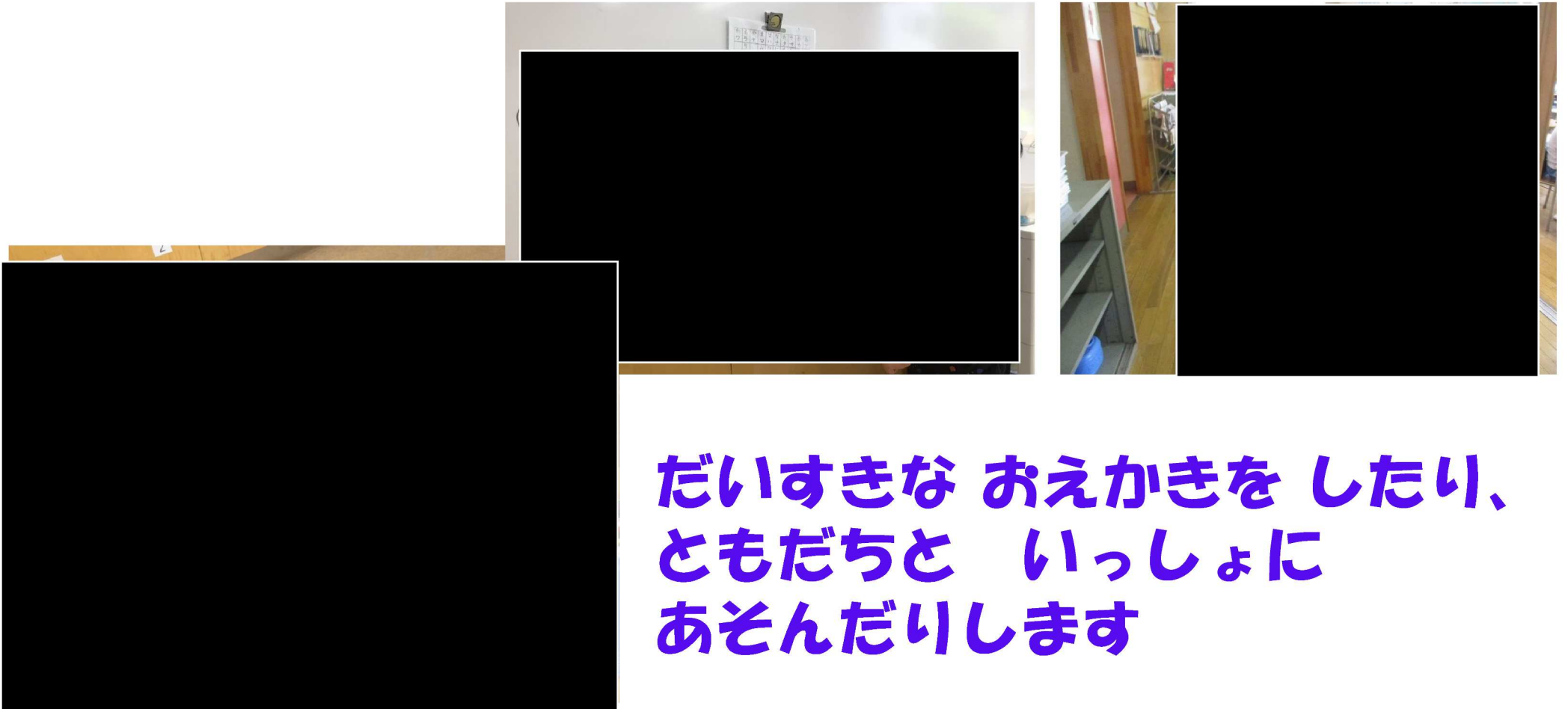


こべつがくしゅう



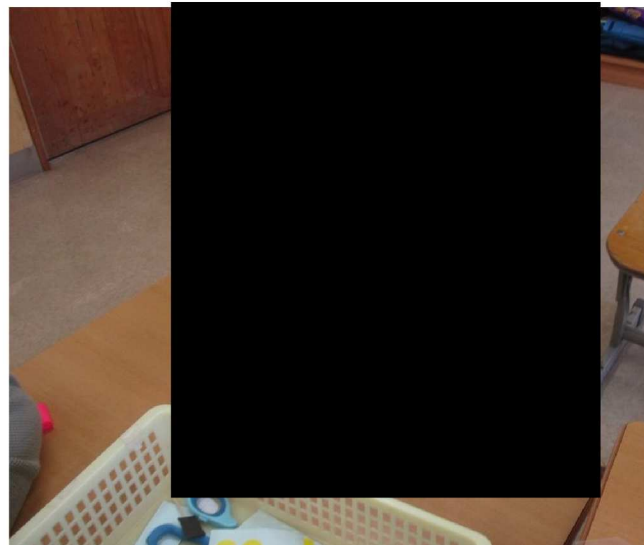
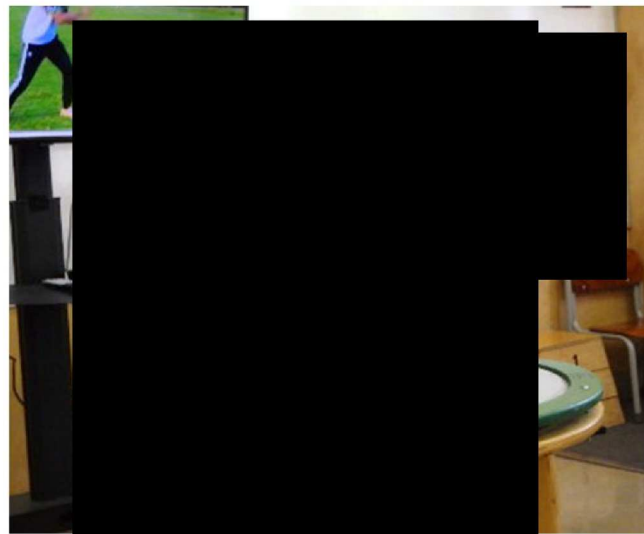
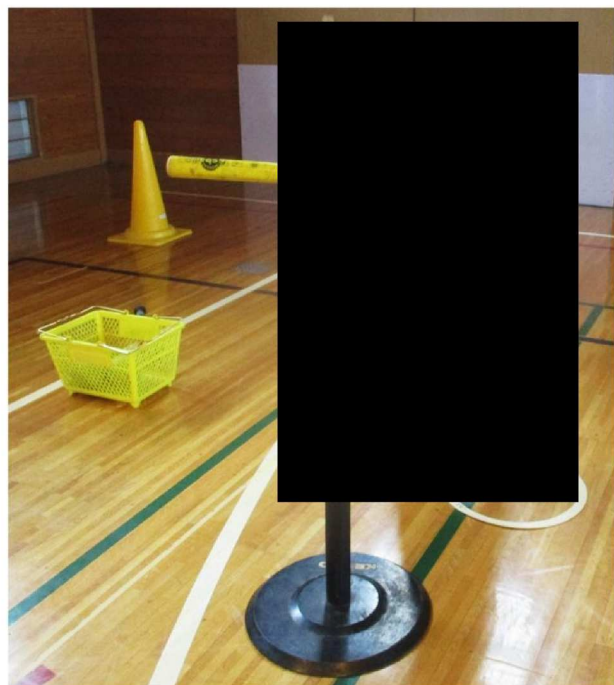
こくごや さんすうは ひといずつ
べんきょうをしています

やすみじかん

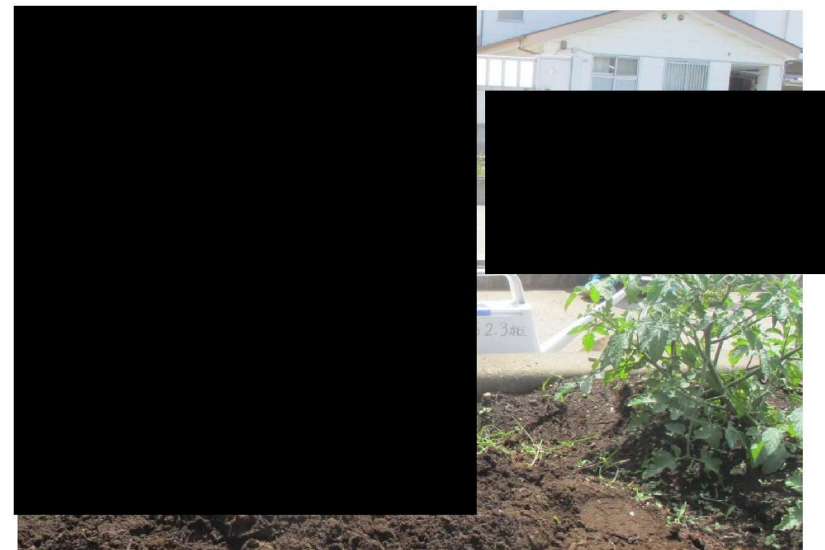


だいすきな おえかきを したり、
ともだちと いっしょに
あそんだりします

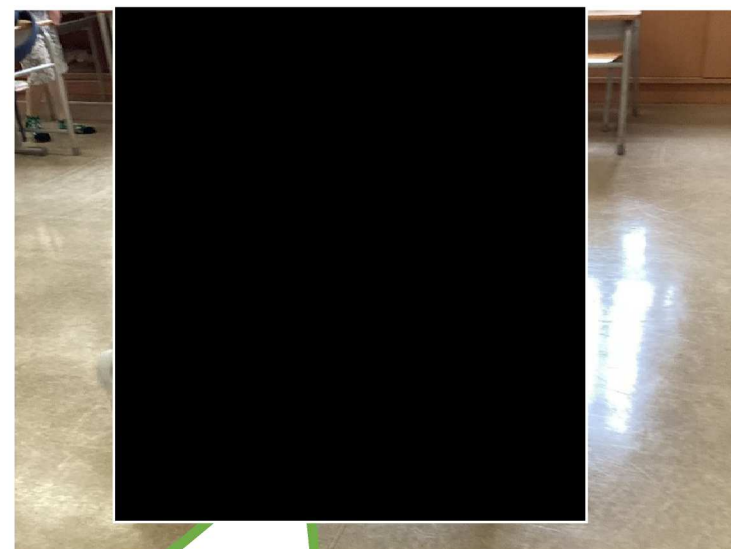
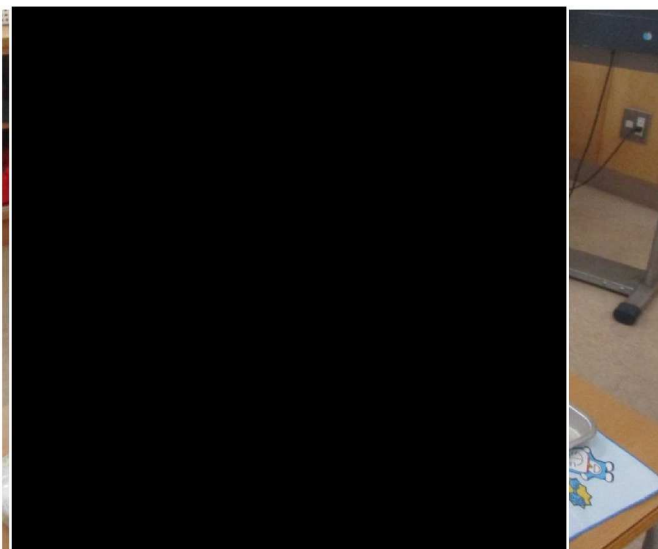
がくしゅう



くらすや ぐるうぷで
かつどうしています

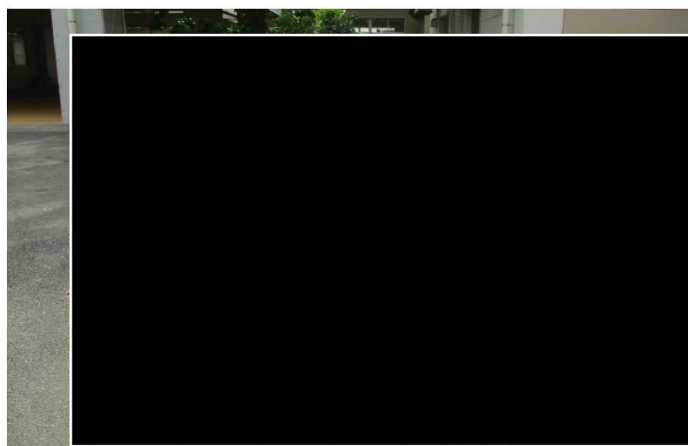
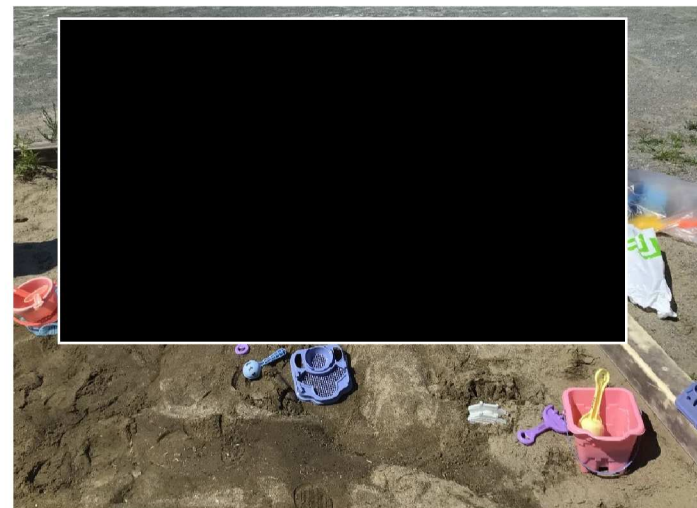
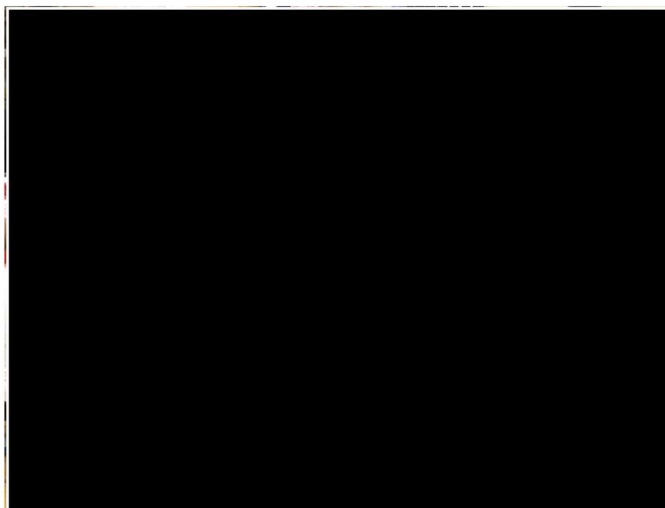
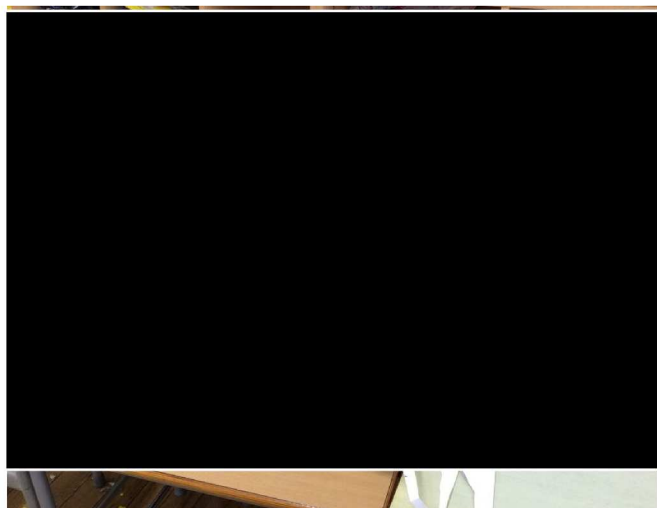


きゅうしょく・そうじ



ほうきとぞうきんを
つかって
そうじをします

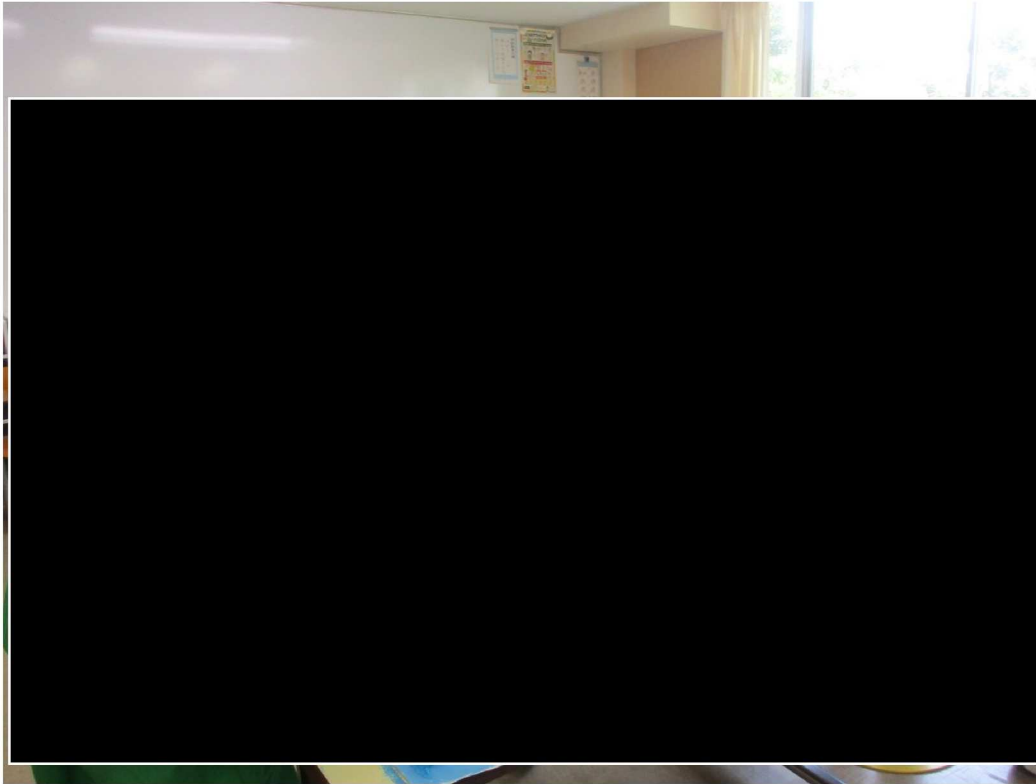
こうりゅう



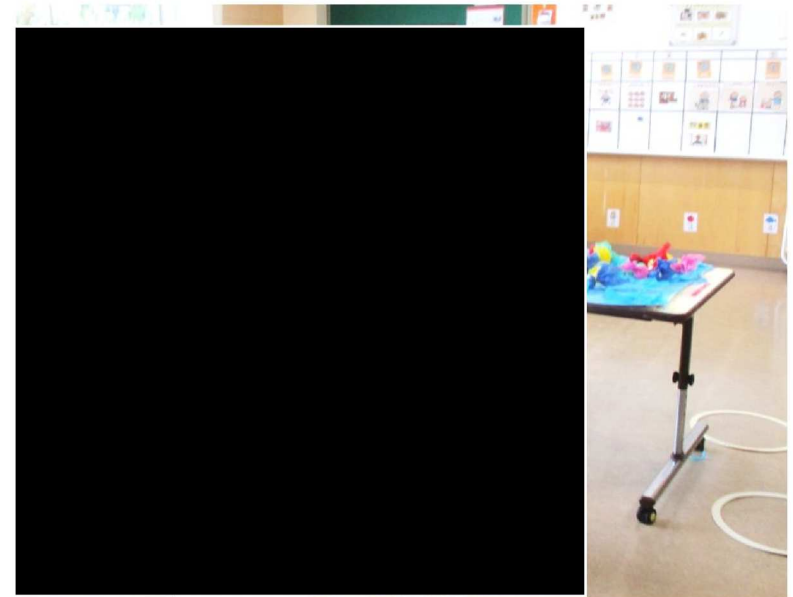
せいかつや ずこの じかんに
こうりゅうきゅうで
がくしゅうします

ごうどうのがくしゅう

さくら 1組
さくら 2組
さくら 3組
さくら 4組

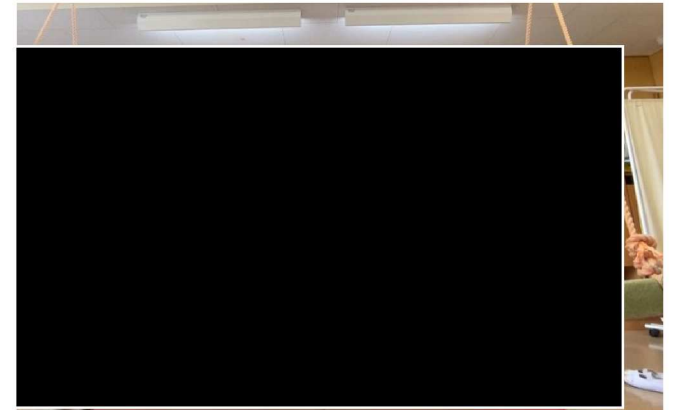
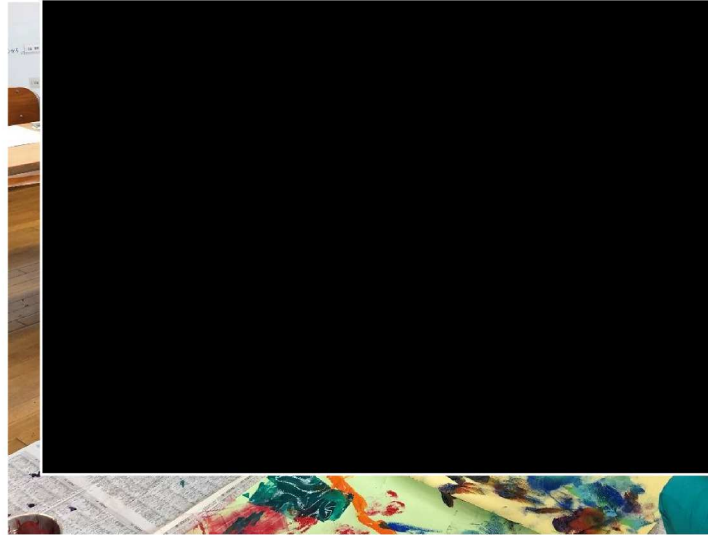


なつまつり をしました



ごうどうのがくしゅう

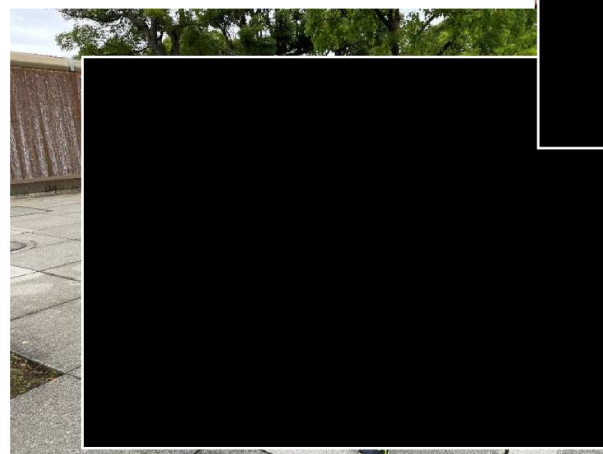
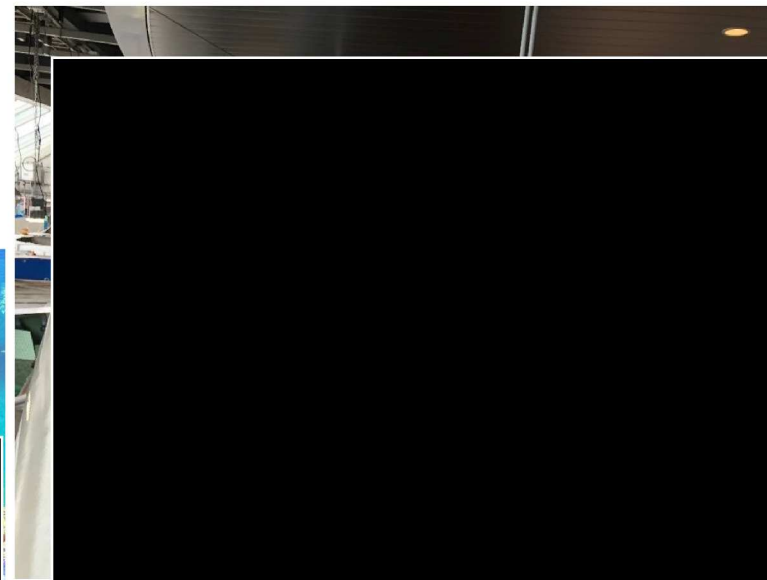
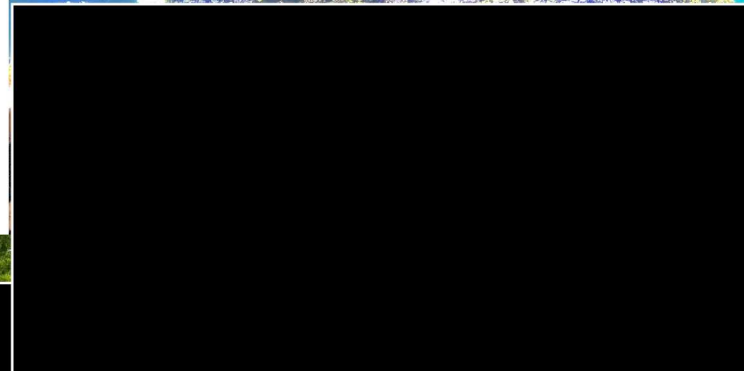
さくら 1 組
さくら 2 組
さくら 3 組
さくら 4 組



さくらおんがく
をしています

みんななかよし
をしています

えんそく



**1・2ねんせいの みんなと いっしょに
かさい りんかい すいぞくえんに いったね**



さくらのうた

みんな ともだち てをつなごう

にこにこえがおが うれしいね

みんなのえがおが あつまって

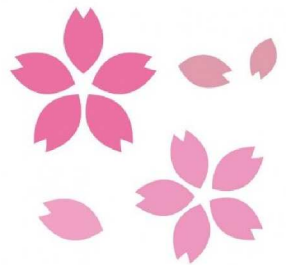
おおきなすてきな はながさく

さみしいときも てをつなごう

だいじょうぶ だいじょうぶ だいじょうぶ

さくら さくら さくらのなかま

さくら さくら みんなだいすき





これからも なかよくしてね

第2学年 さくらタイム学習指導案

1 日時・場所 令和6年9月12日(木)6時間目 2-1 (吉田) 2-2 (溝田)

2 本時 「さくら学級のともだちやさくら学級のことを知ろう」

3 本時のねらい

○さくら学級の友だちに興味をもち、相手を知ろうとする。

○さくら学級の活動の様子を知り、親しみをを感じる。

4 本時の展開

主な学習活動	・指導上の留意点
1 始めのあいさつをする。 2 さくら学級の児童やさくら学級の一日の流れを知る。 【PPT】 1年生の内容との違い ○なぜさくら学級に在籍をしているのか、苦手としていることも伝える ○どんなふうに声をかければいいのかも伝えたい 3 やってみよう ① 「さくらのうた」を聞く。 ② エビカニクスを踊る。 (時間がない時は省略) 4 疑問に思ったことを質問したり感想を発表したりする。 5 終わりのあいさつ	・さくら学級のあいさつの方法で手話をつけたあいさつを一緒に行う。 ・さくら学級の人数や一日の様子などを、パワーポイントを使って紹介する。 ・クイズを取り入れながら、楽しく学習ができるようにする。 ・さくら学級2年生児童の好きなもの得意なことなどを、写真などを使って分かりやすく説明し、親しみがもてるようにする。 ・さくら学級児童についての部分に時間をかけて丁寧に説明をする。 ・だれにでも得意なこと、苦手なことがあることに触れる。 ・4年生になったら「みんななかよし」があることにふれる。 ① 「さくらのうた」を聞きながら、手話で表現できるように手本を示す。 ② 机はそのまま、楽しく踊る。 ・感想を聞き、繰り返したり膨らませたりすることで、さくら学級の児童により親しみがもてるようにする。 ・これを機会にかかわりをもっていけるよう話をする。 (給食交流など) ・さくら学級のあいさつの方法で手話をつけたあいさつを一緒に行う。



さくらタイム

～さくら学級と なかよし～

クイズです！

さくら学級はぜんぶ
で何組まであるので
しょうか？

A

3
~~組~~

B

4
組

C

5
~~組~~

せいかい

各クラスの人気は・・・

くみ	子ども (人)	先生 (人)
1	1 2	3
2	4	2
3	4	3
4	4	3

さくら学級の先生を紹介します

さくら 1組

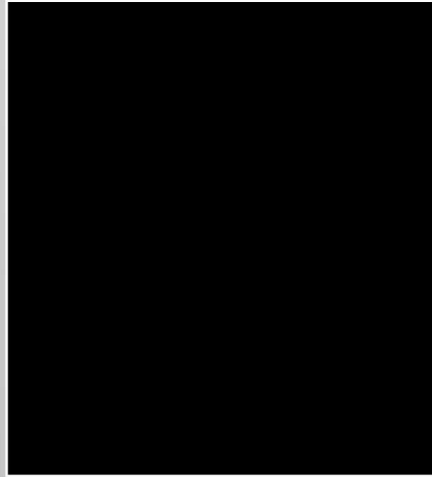
平野先生
ひらの

仲田先生
なかだ

吉田先生
よしだ

さくらがっきゅうのせんせい

さくら 2くみ



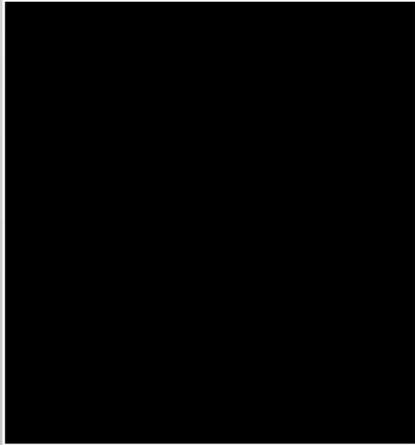
みぞた せんせい
溝田先生



しもじま せんせい
霜島先生

さくらがっきゅうのせんせい

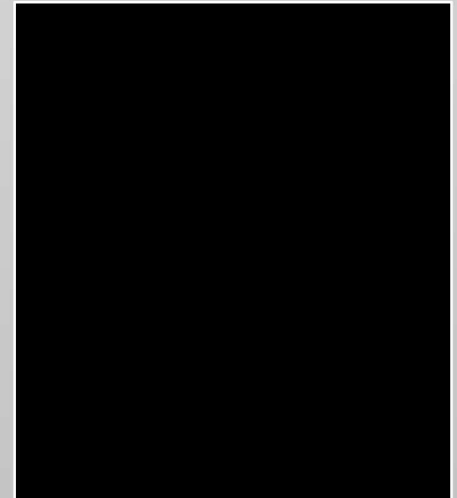
さくら 3くみ



おくやま せんせい
奥山先生



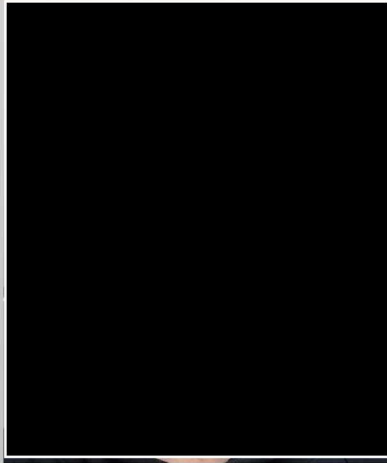
うえだ せんせい
上田先生



いしやま せんせい
石山先生

さくらがっきゅうのせんせい

さくら 4くみ



とりい せんせい
鳥井先生

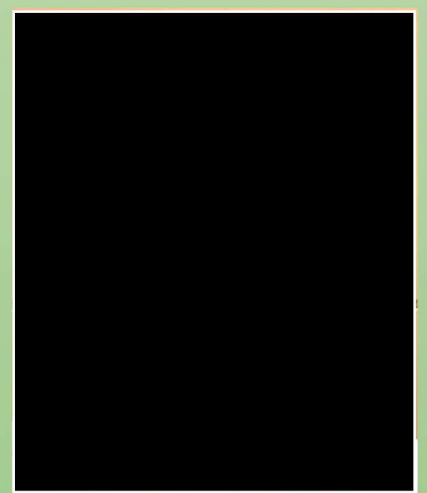


さとう せんせい
佐藤先生



いわた せんせい
岩田先生

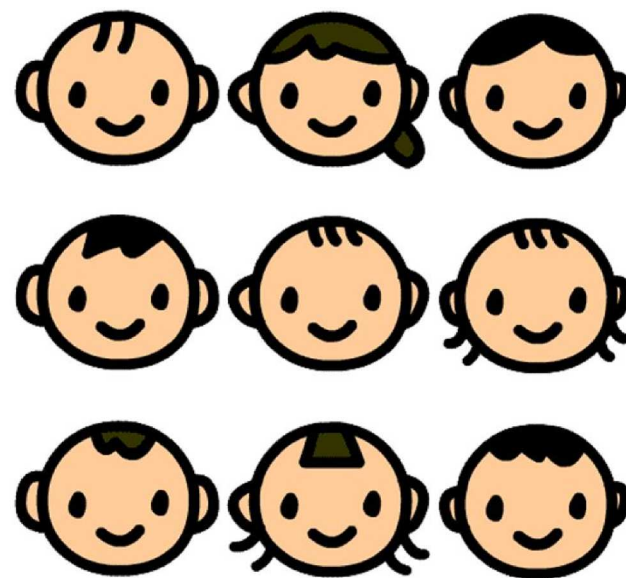
ほけんしつ



うじょう せんせい
宇條先生

さくら学級の 友だちの 学年

- 1年生 3人
- 2年生 3人
- 3年生 4人
- 4年生 5人
- 5年生 3人
- 6年生 6人



みんなで 24人！



どんな子がさくら学級にいるの？

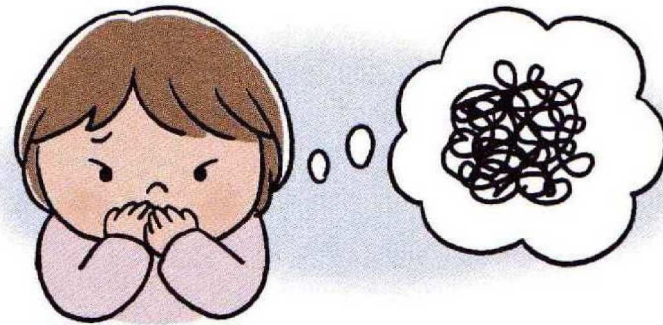




どんな子がさくら学級にいるの？



もちろん、



苦手なこともあります。



どんな子がさくら学級にいるの？



大きな
こえや音

にがてな
かつどう



たくさんの
人がいる



きんちょう



目

キ

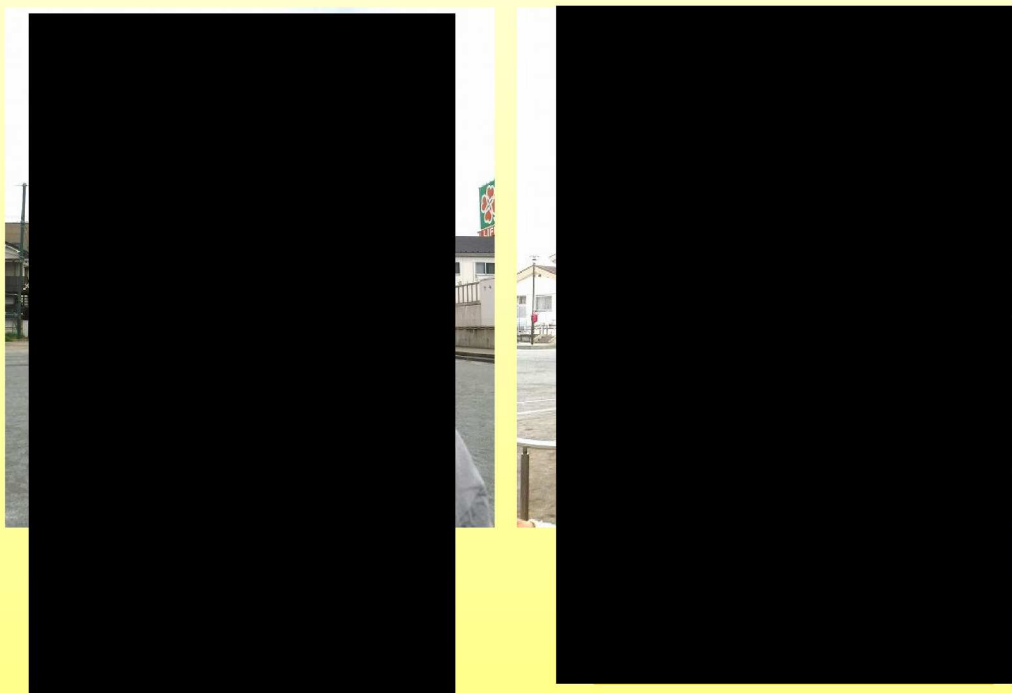
け

先生や 友だちの たすけが ひつよう



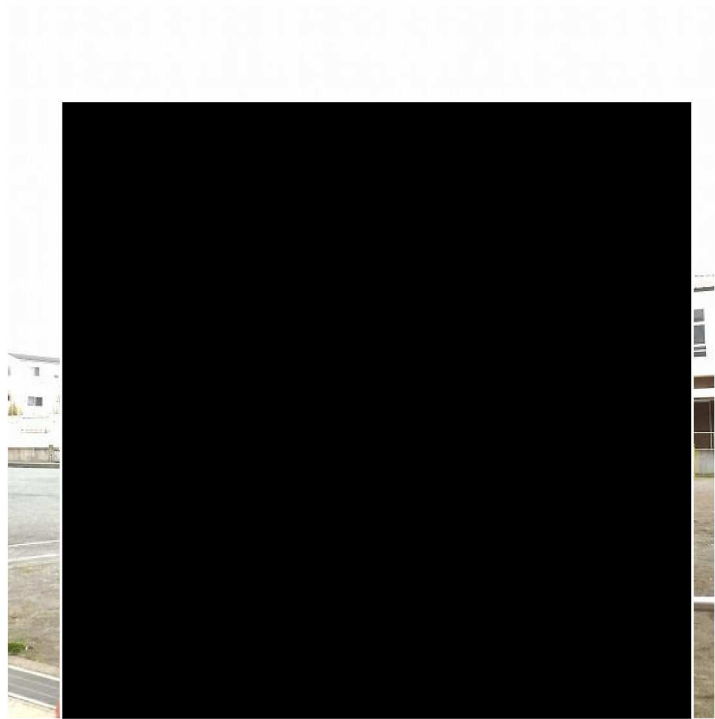
さくら学級の 2 年生

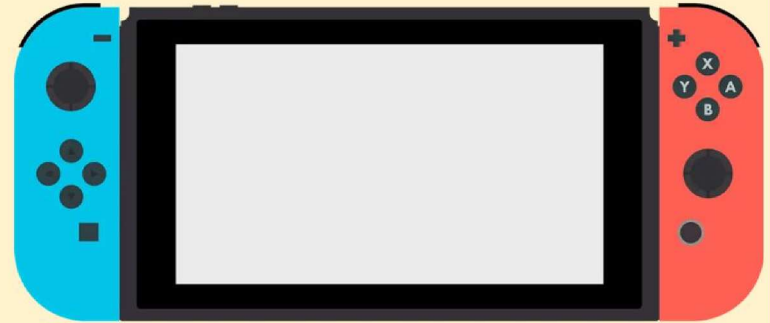
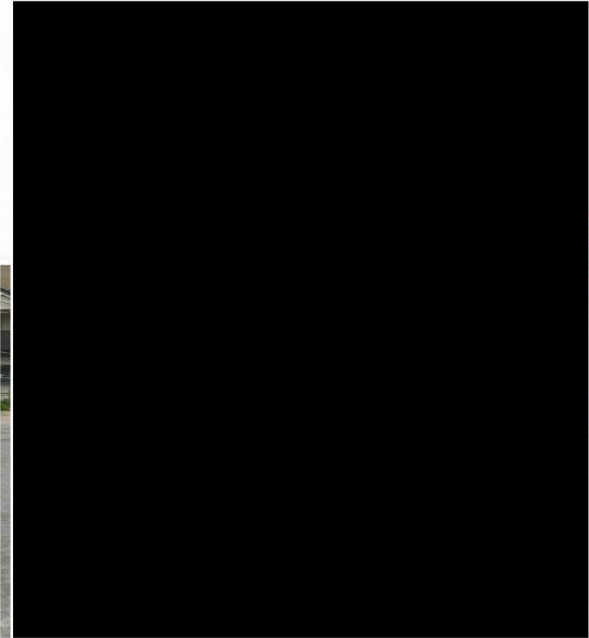
2 - 1

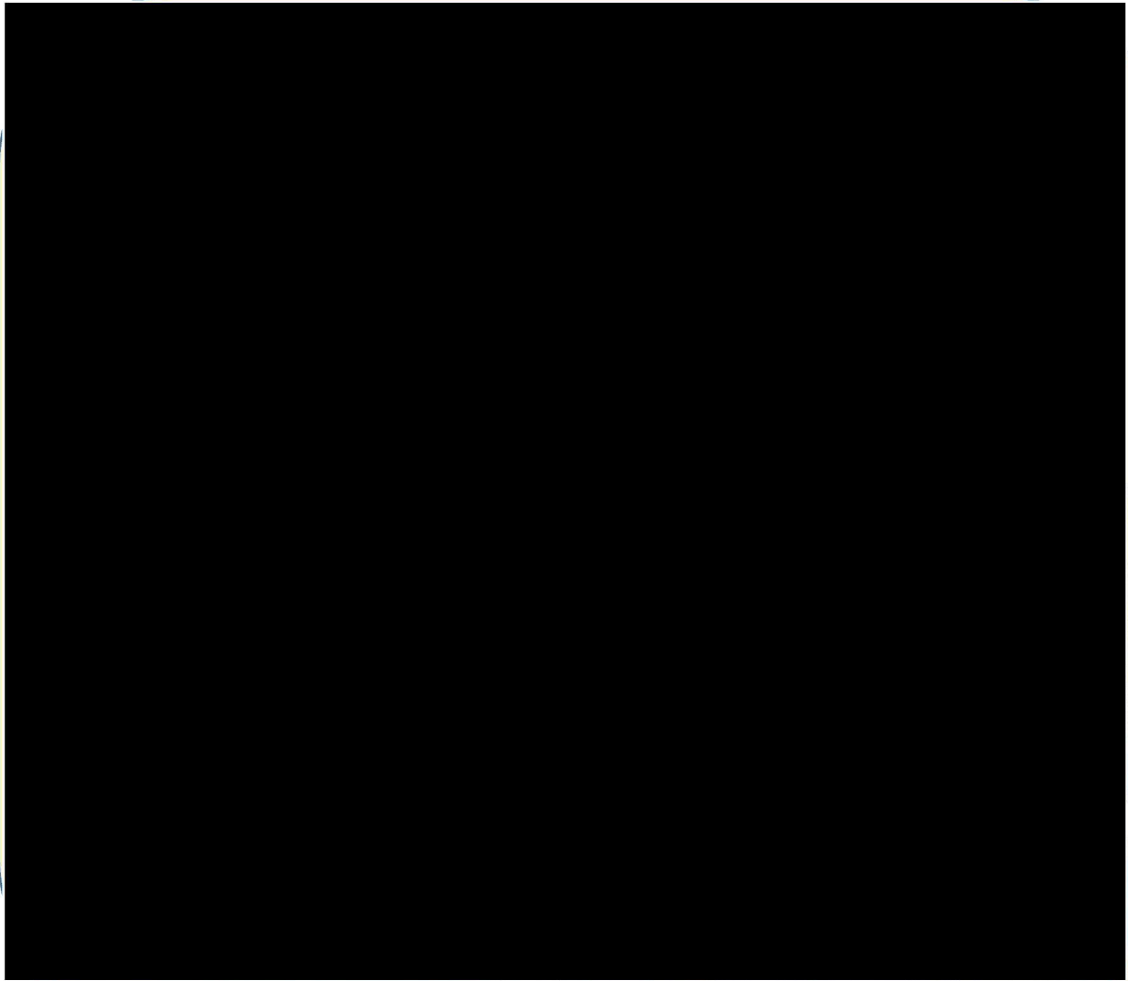


2 - 2









クイズ

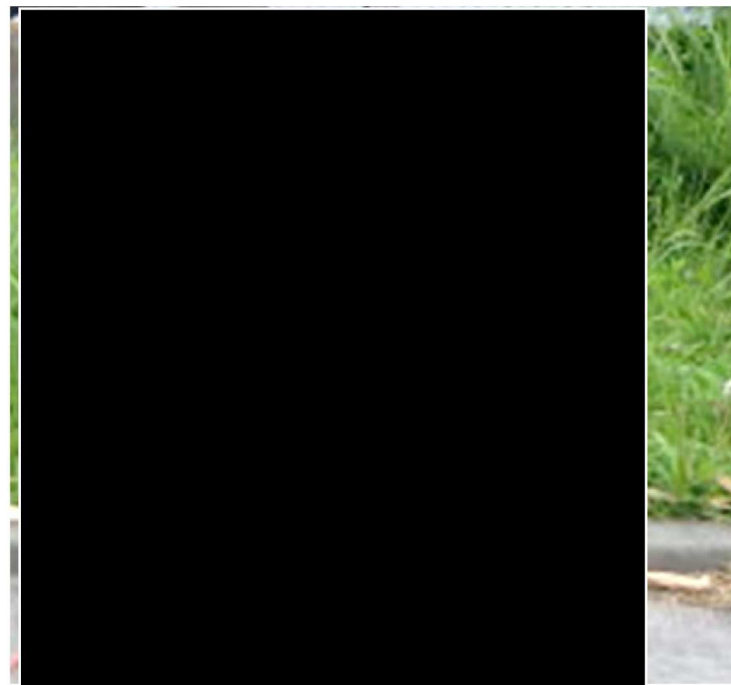
ぼくの すきな べんきょうは なんでしょう。

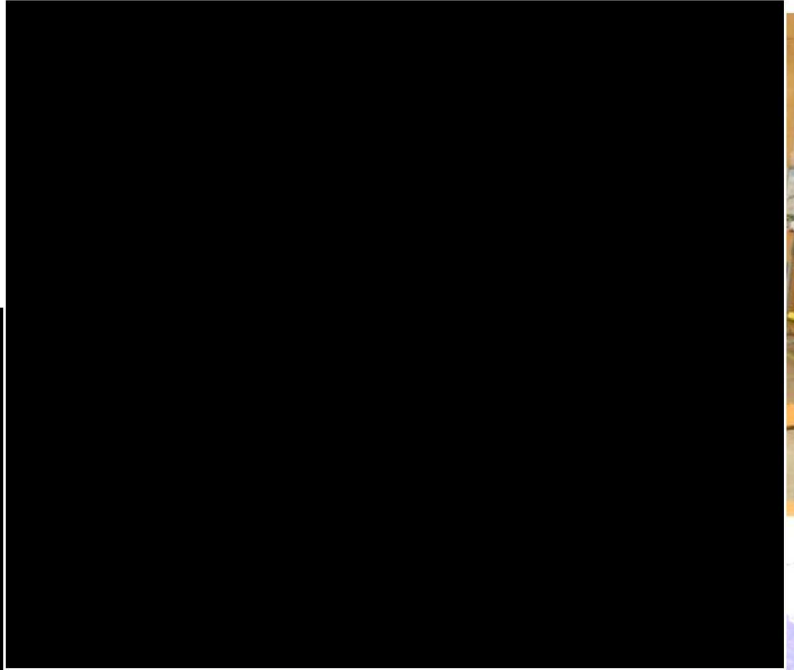
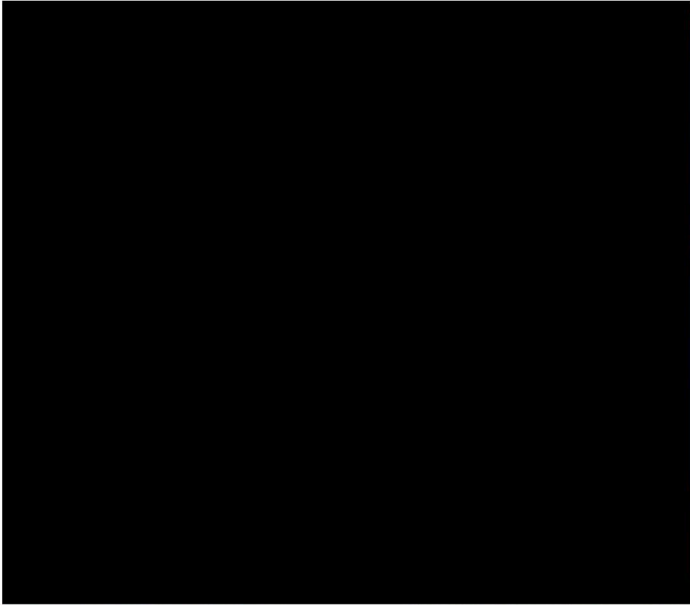
①おんがく

②たいいく

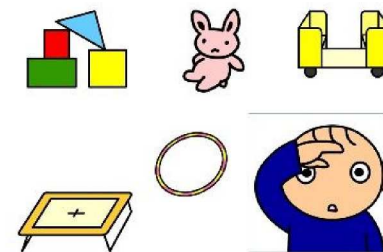
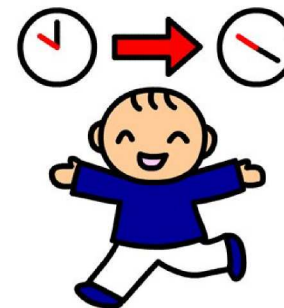
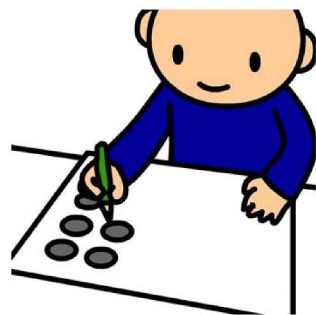
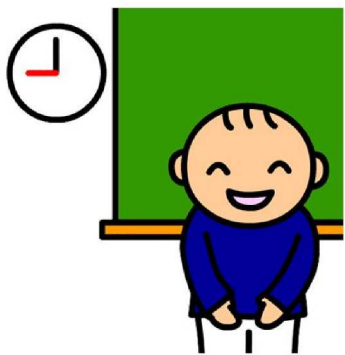
③ずこう

③ずこう



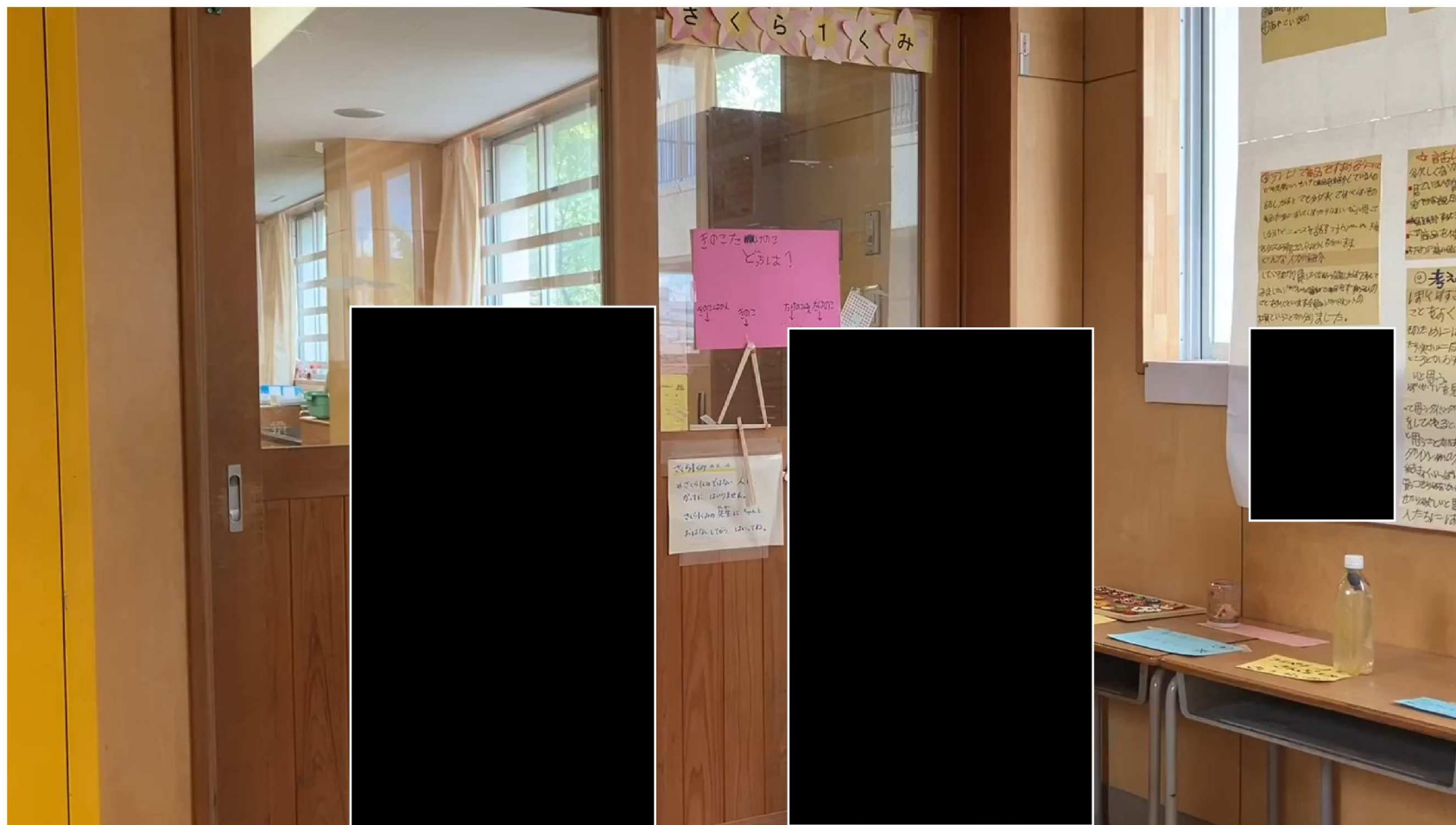


さくら学級の1日をしよう

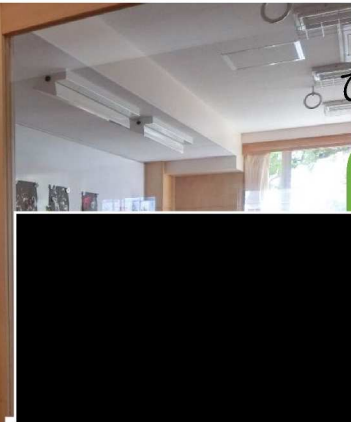


さくら1くみ

どうがで しょうかいするよ



さくら2・3・4くみ



びい

Bとう 1かい
だよ



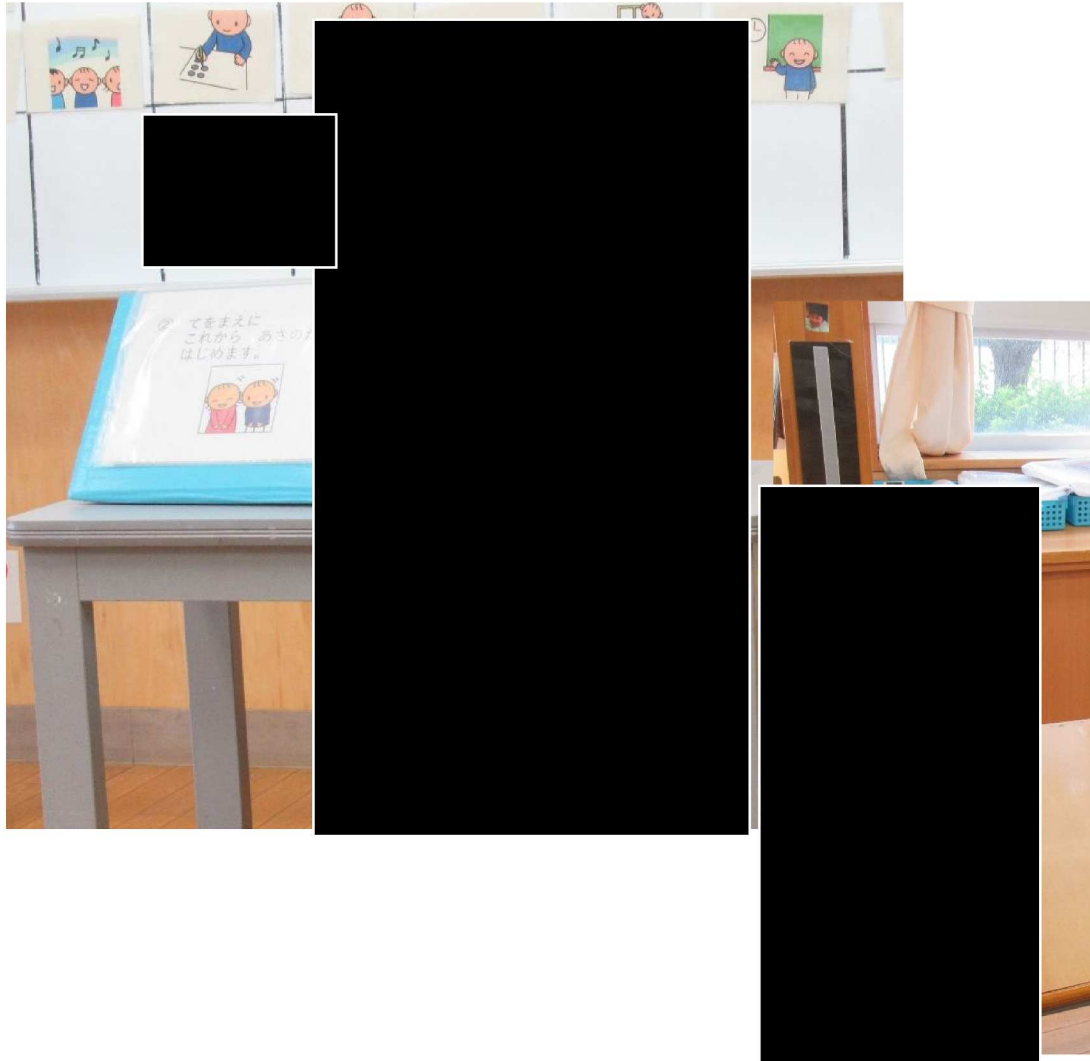
とうこう

コスモス ごと

バスにのって
くるひともいるよ



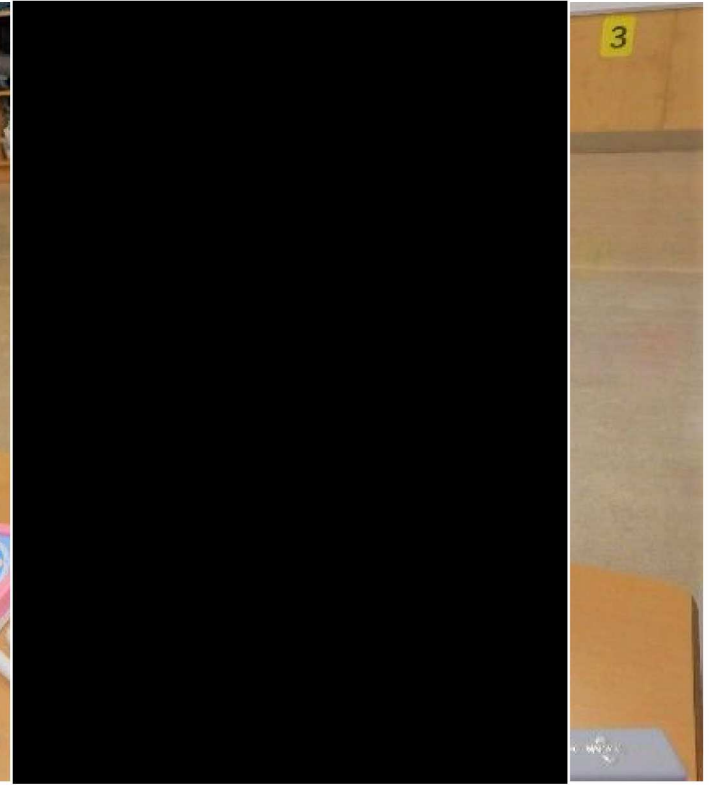
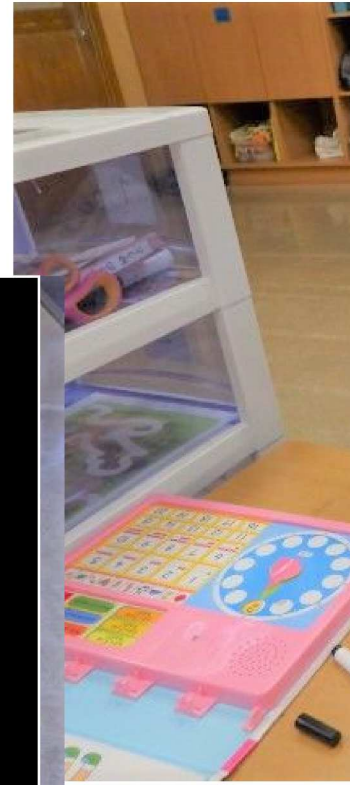
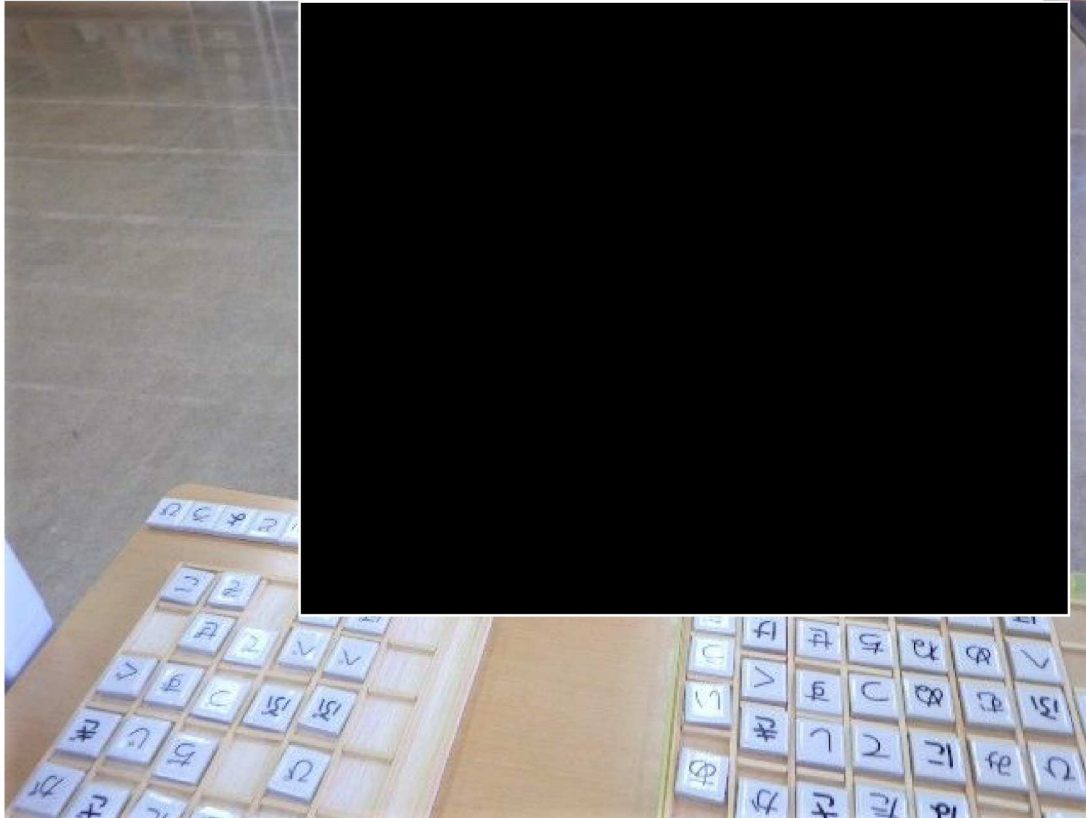
あさのかい



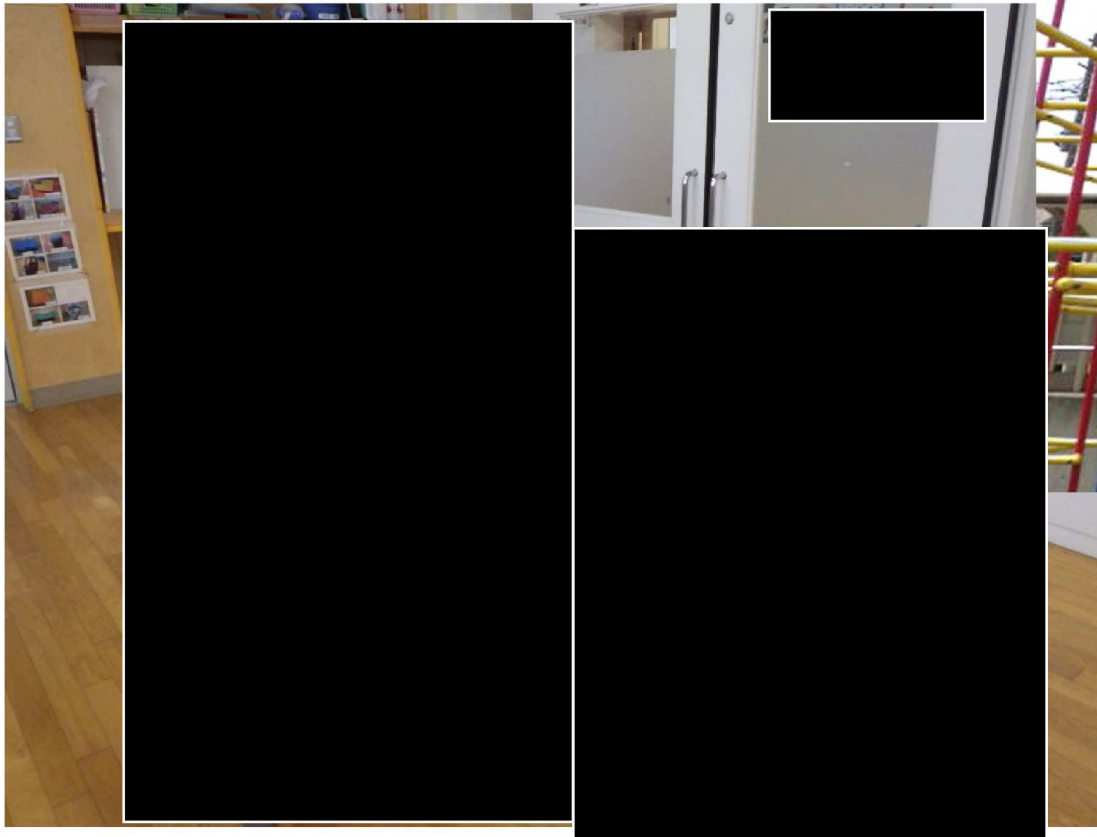
きかいをつかう
ともだちもいます



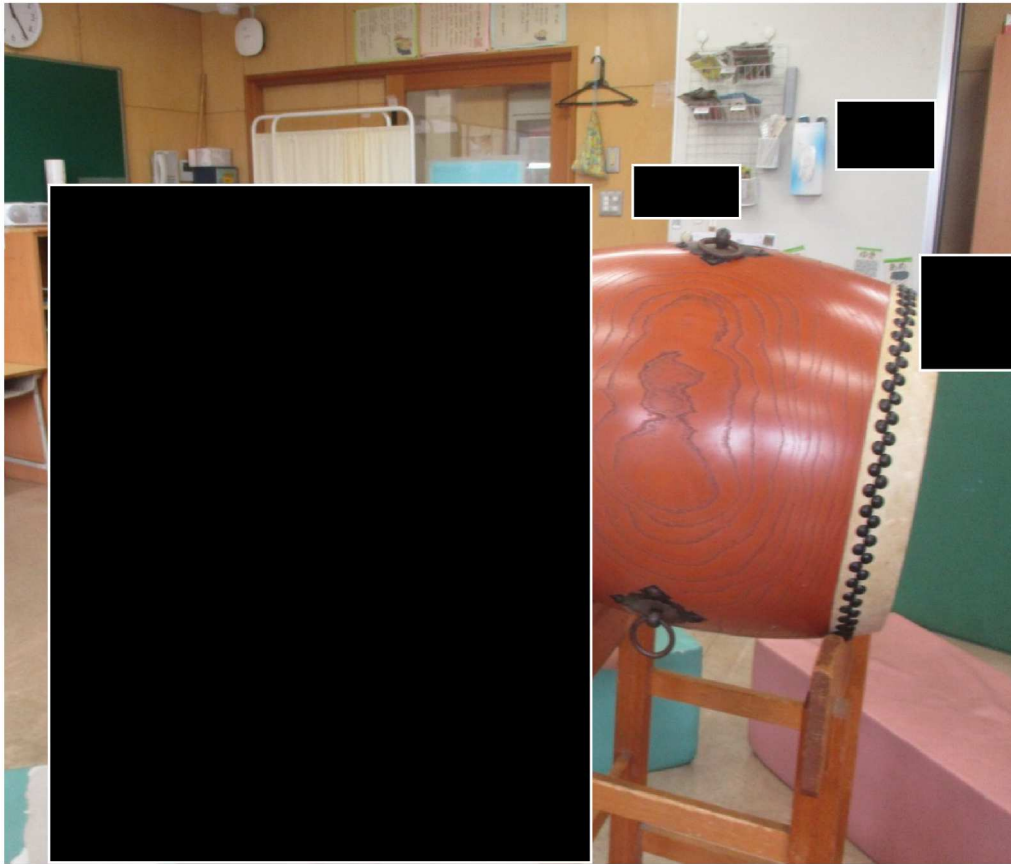
こべつがくしゅう



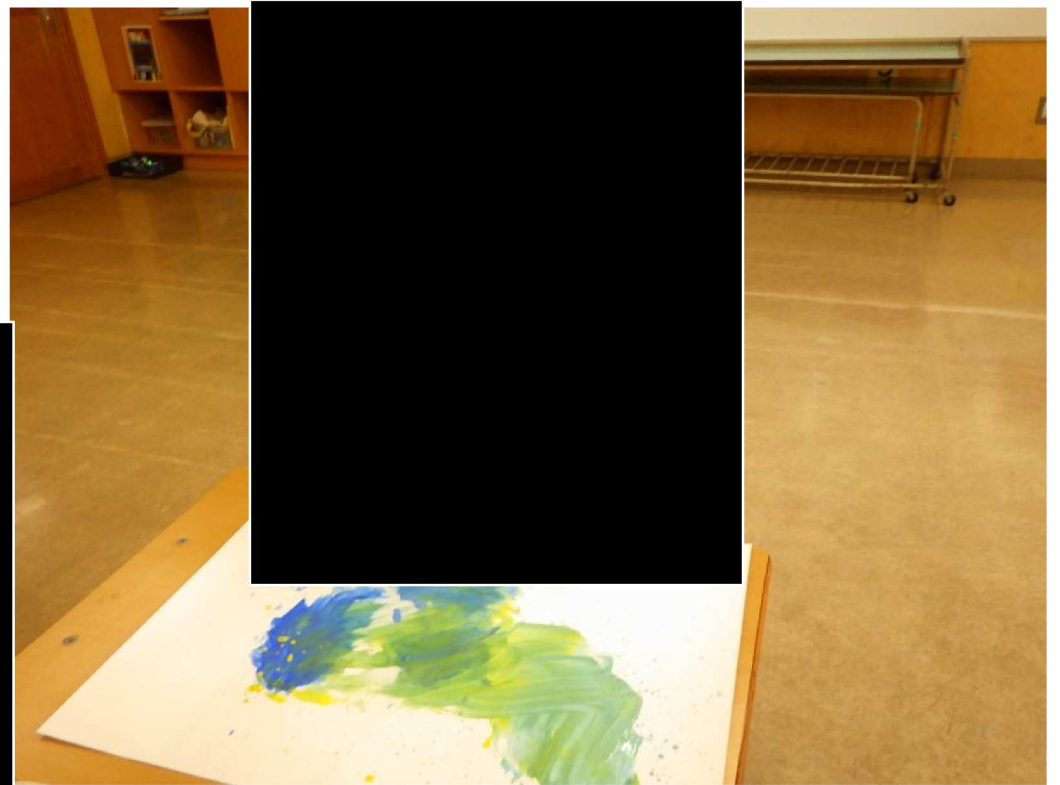
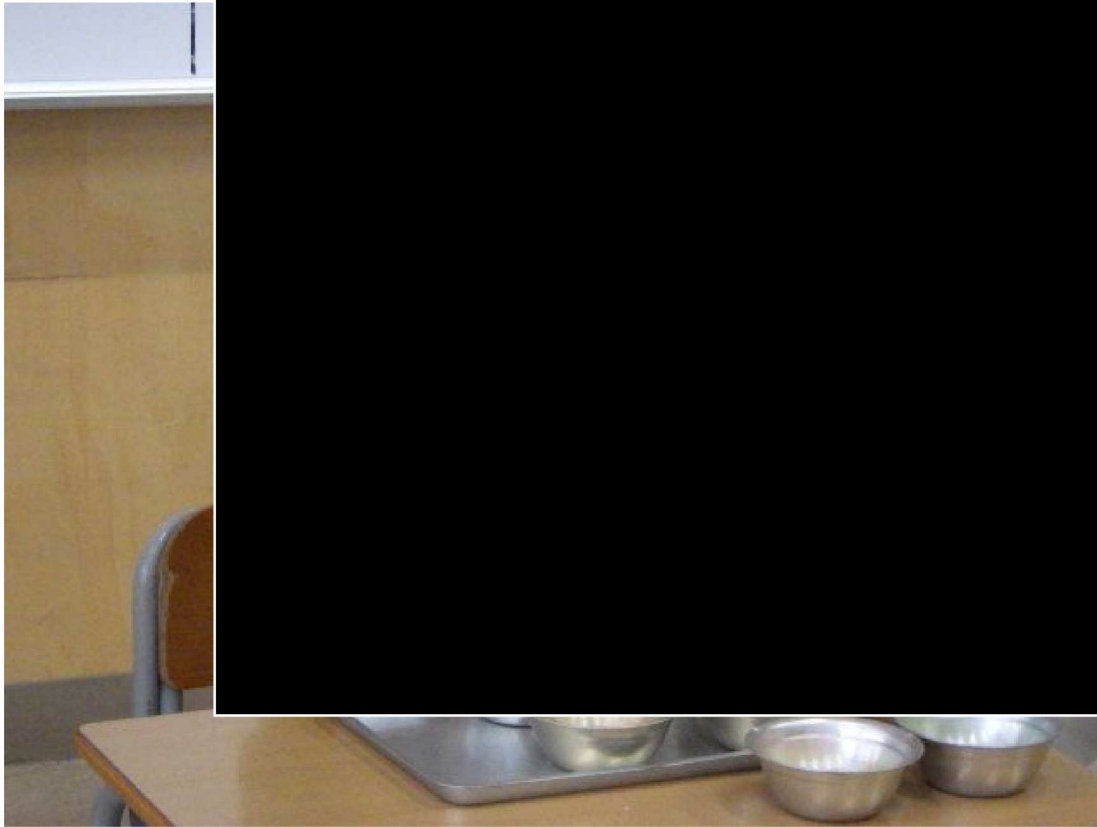
やすみじかん



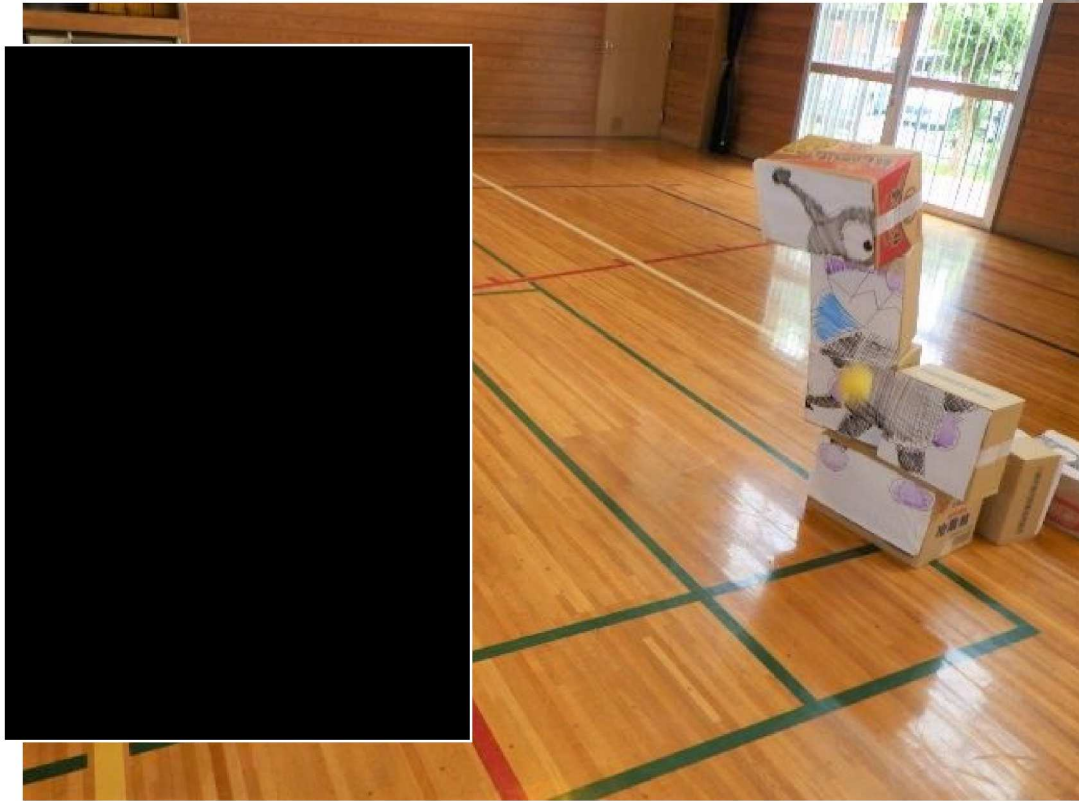
おんがく



ずこう

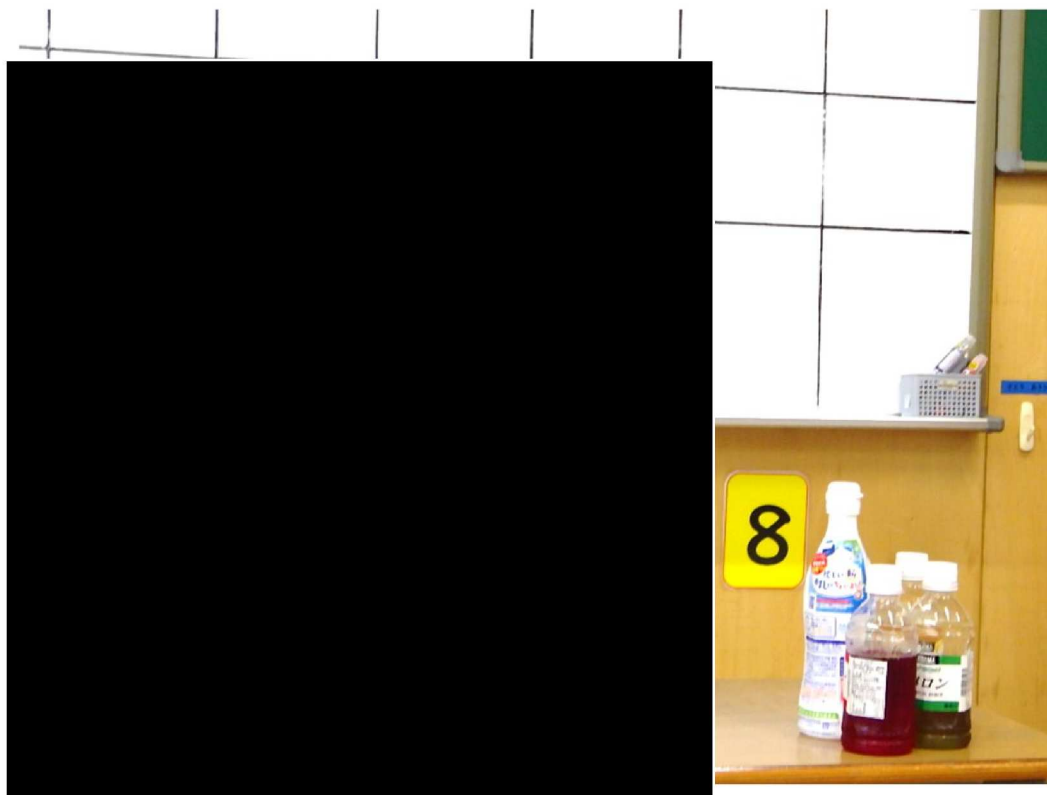


たいいく

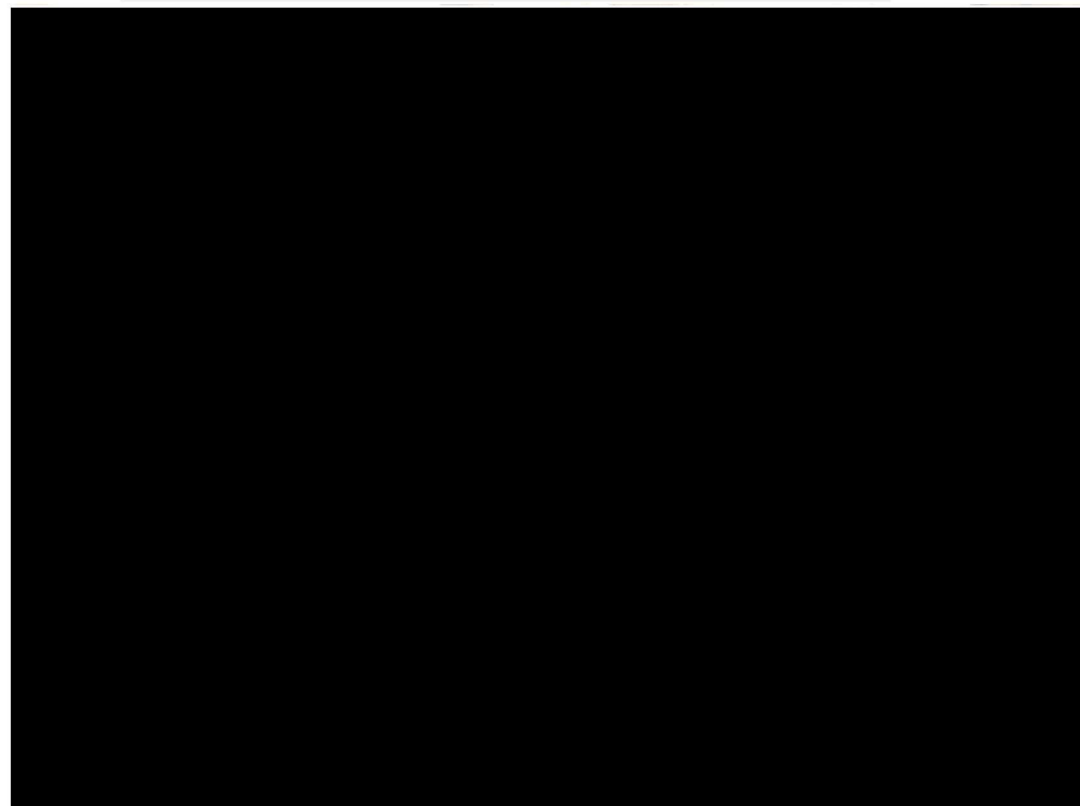


せいかつ

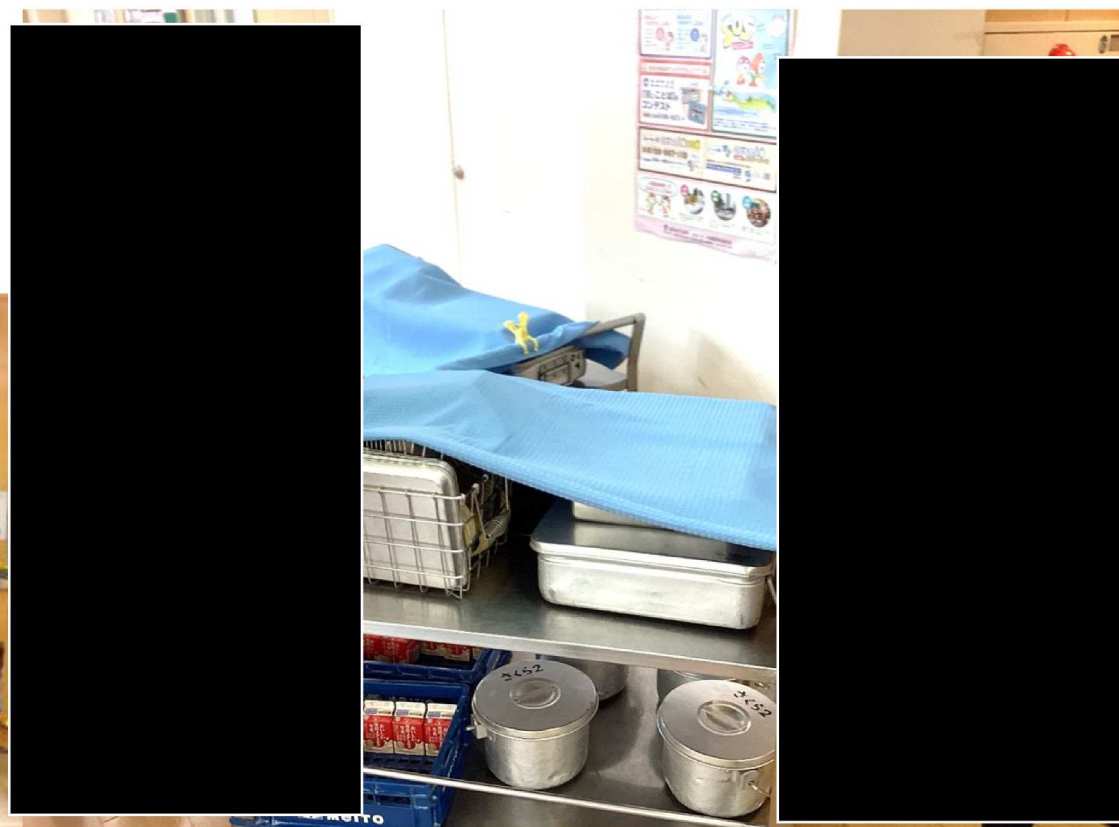
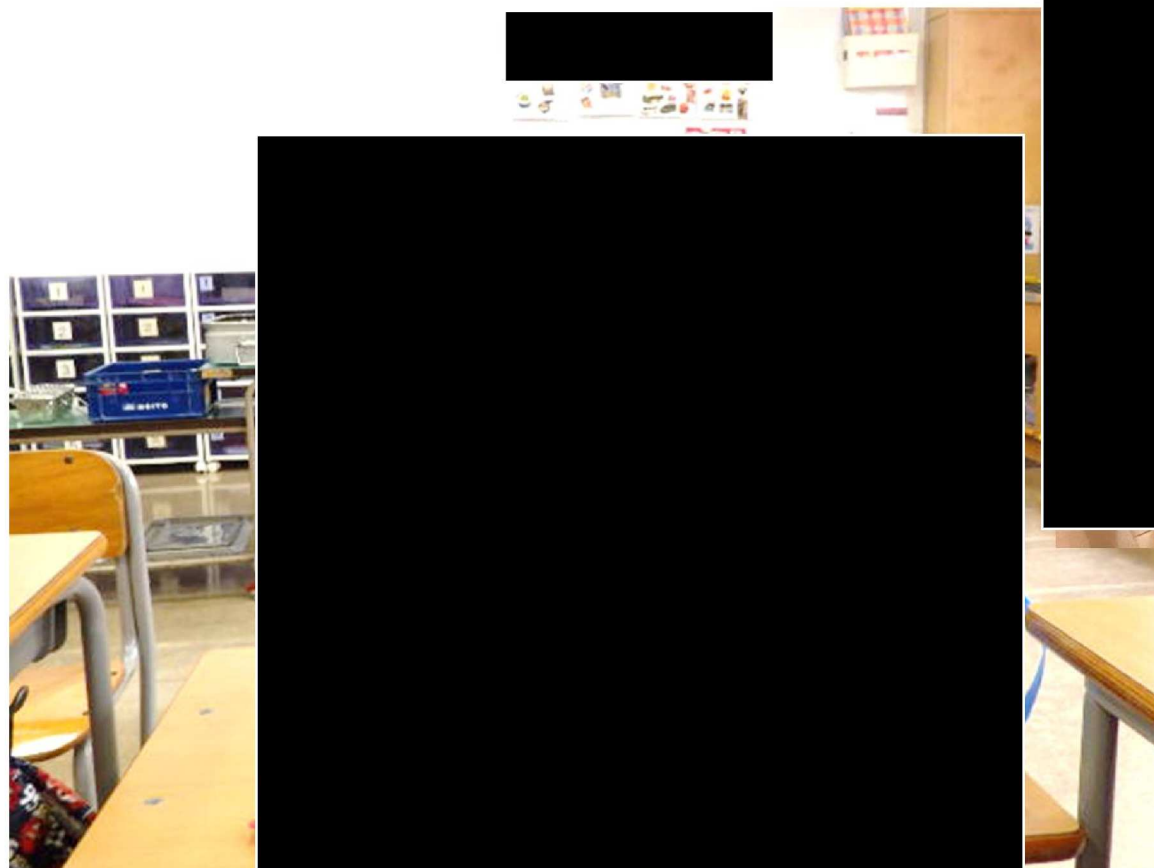
かきごおりづくり



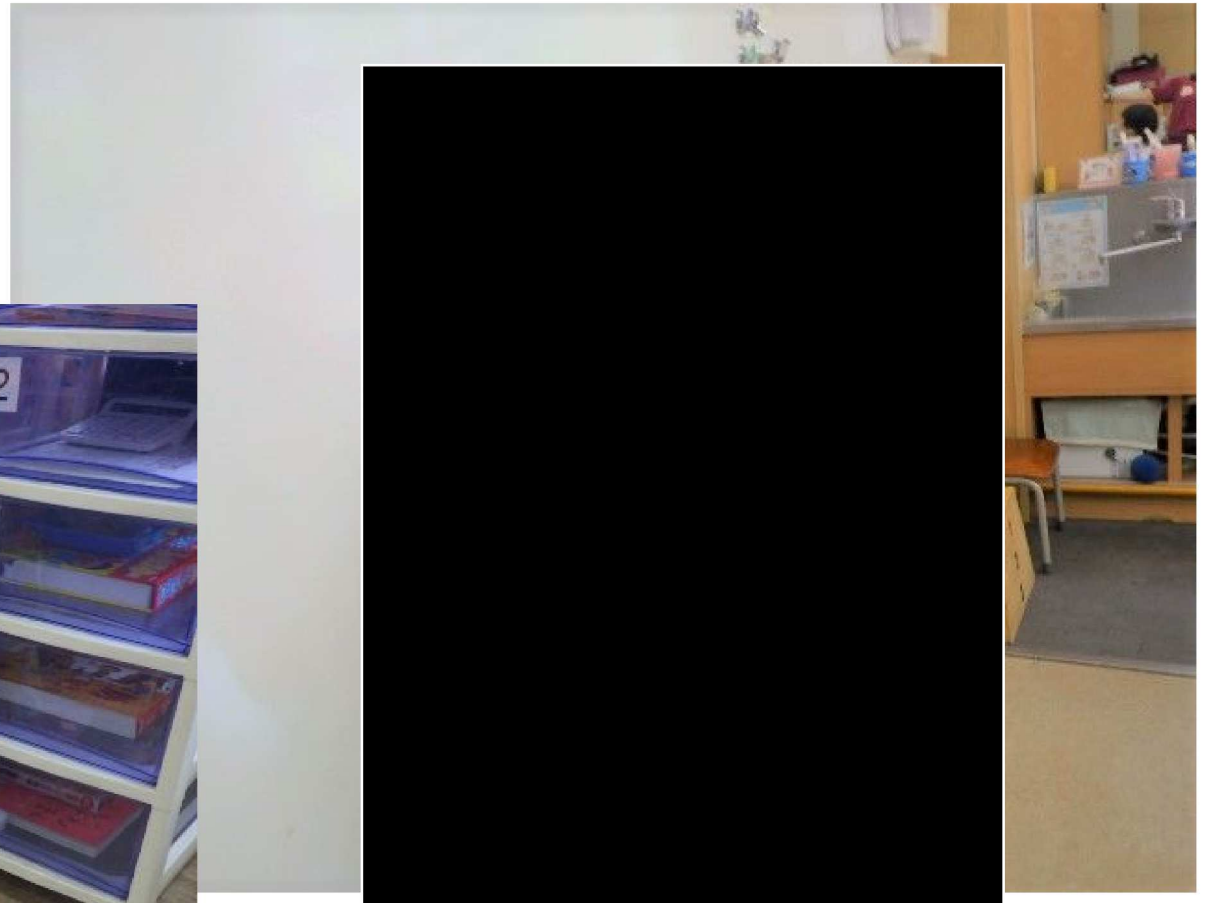
なつまつり



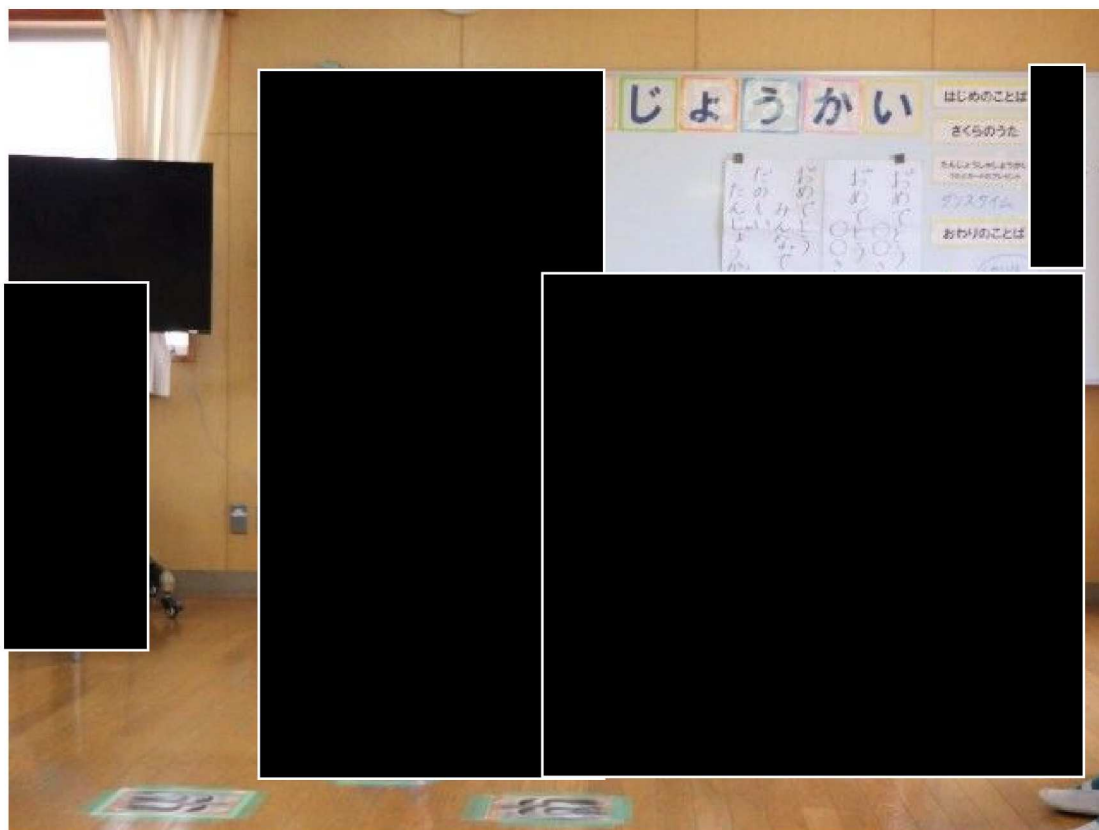
きゅうしょく



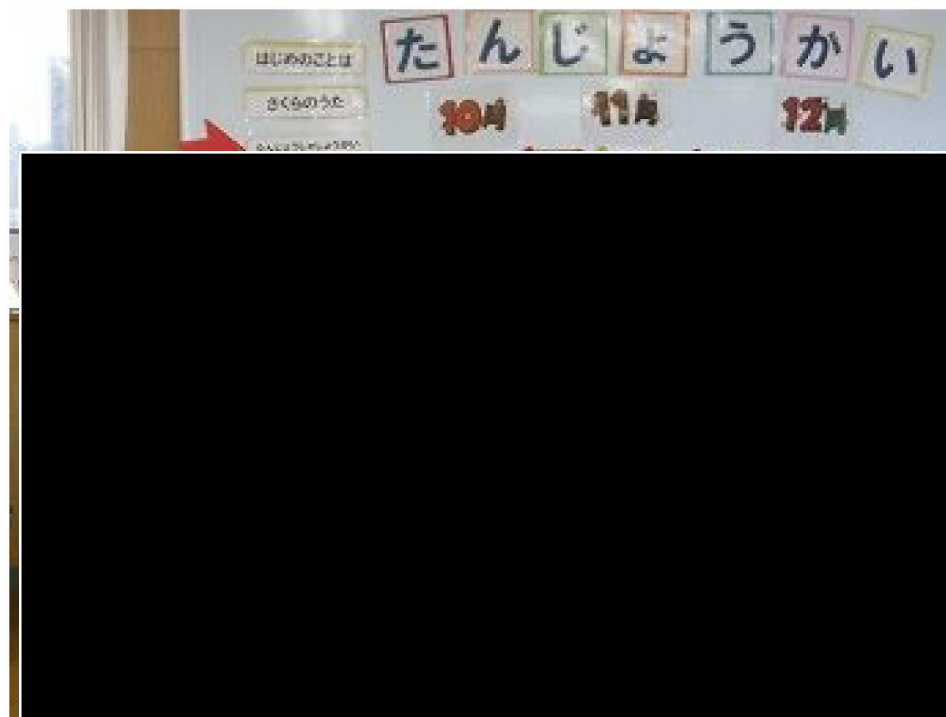
そうじ



ごうどうのがくしゅう



さくら 1 組
さくら 2 組
さくら 3 組
さくら 4 組



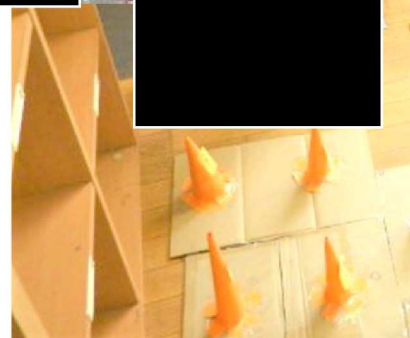
たんじょうかい をしました。

ごうどうのがくしゅう

さくら 1 組
さくら 2 組
さくら 3 組
さくら 4 組



なつまつり をしました。

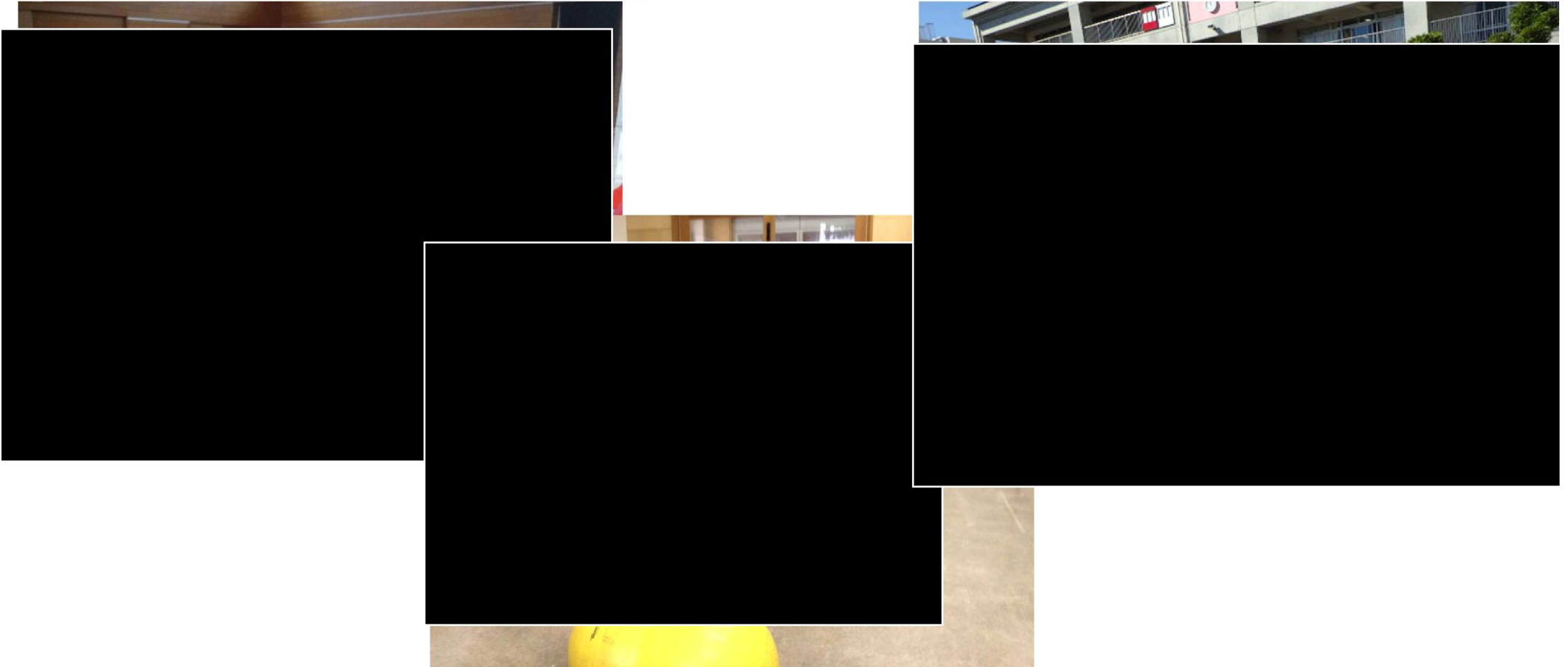


ごうどうのがくしゅう

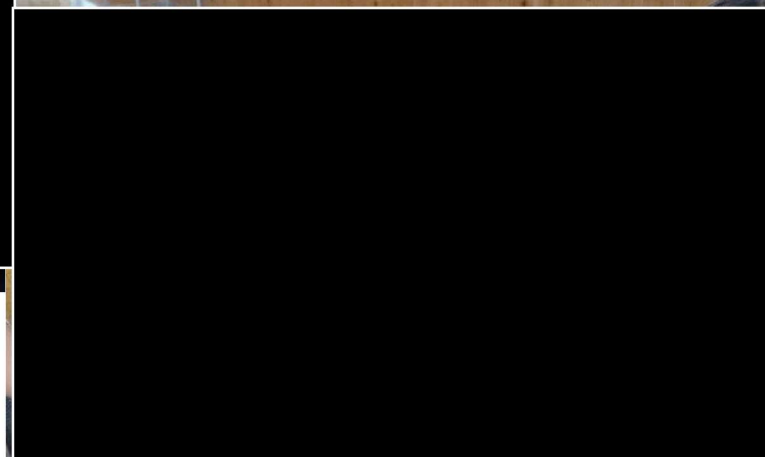
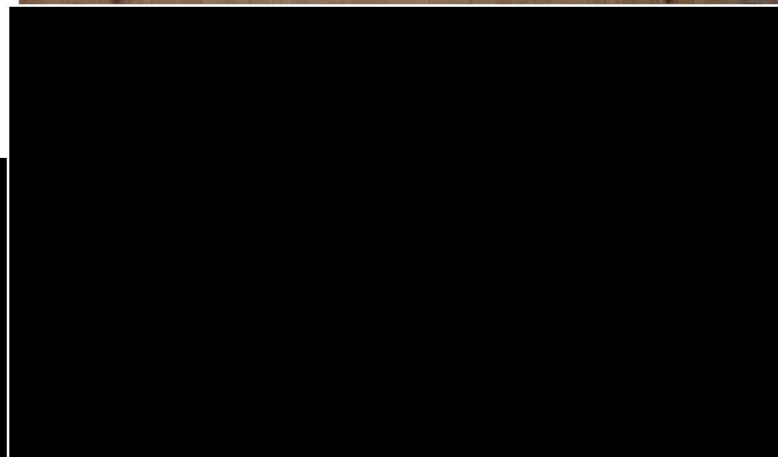
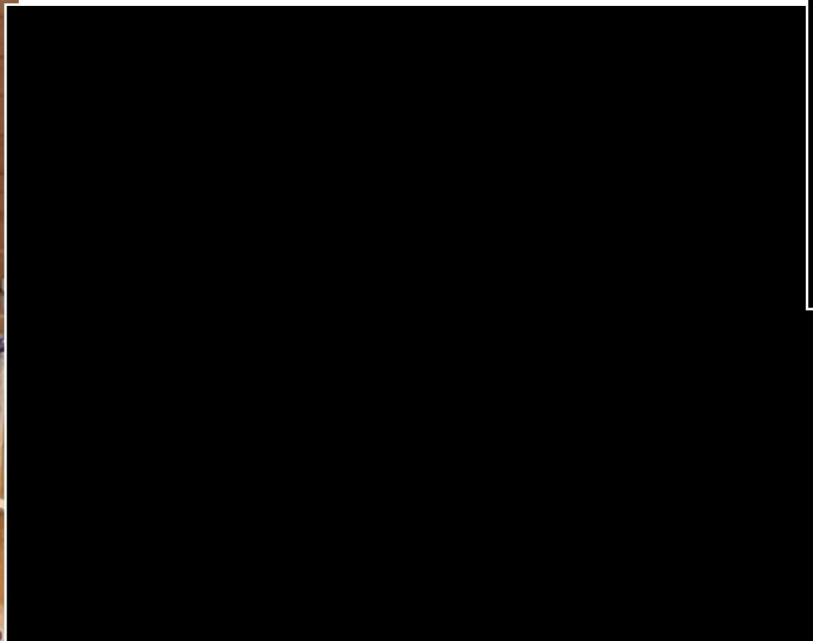
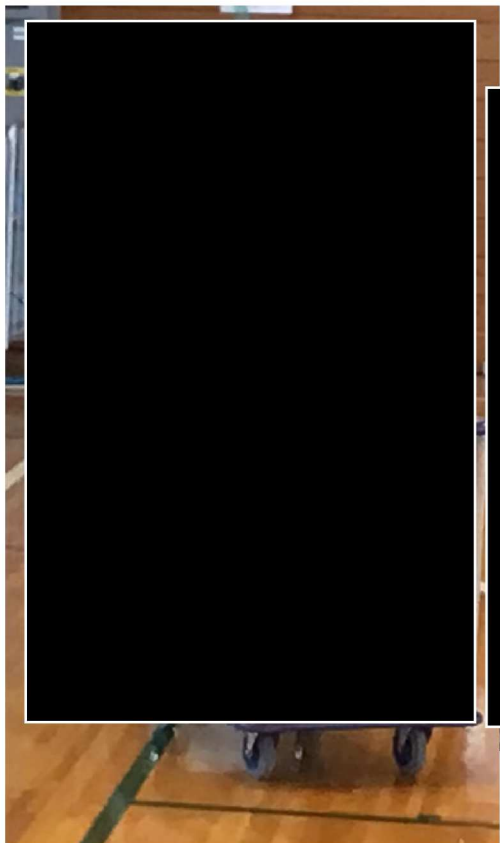
さくら 1 組
さくら 2 組
さくら 3 組
さくら 4 組

さくらおんがくをしています。

4ねんせいになったら
「**みんななかよし**」というかつどうがあるよ



いっしょに あそぼう！



さくら学級のこと、
わかったかな？

つぎは、クイズでふりかえろう！

さくら 学級 クイズ

①さくら学級には、何人の友だちがいるでしょうか。

① 2 2 人

② 2 4 人

③ 2 6 人

② 2 4 人

さくら 学級クイズ

② 2年生のさくら学級の友だちは、何人いるでしょうか。

① 2人

② 3人

③ 4人

② 3人

さくら 学級クイズ

③スクールバスの名前は、何でしょうか。

①さくら号

②たんぽぽ号

③コスモス号



③コスモス号

さくら 学級クイズ

④わたしは、だれでしょうか。

①みぞた先生

②ひらの先生

③とりい先生

①みぞた先生

さくら 学級クイズ

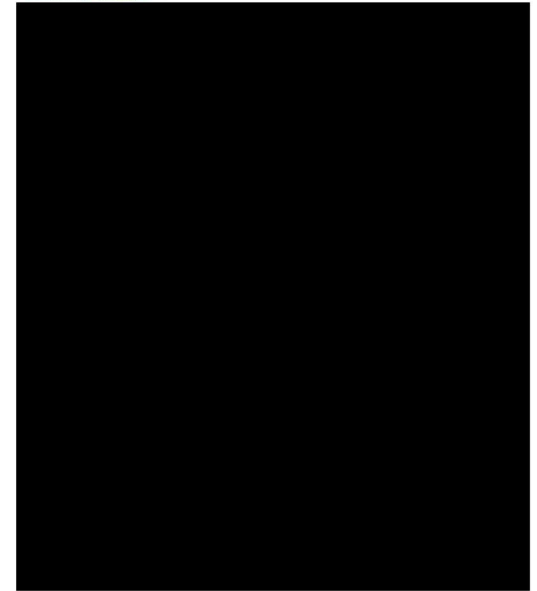
⑤わたしは、だれでしょうか。

①ひらの先生

②よしだ先生

③なかだ先生

②よしだ先生



さくら 学級クイズ

⑥ 4ねんせいでさくらのともだちといっしょにあそぶじゅぎょうのなまえは何でしょうか。

① みんなあつまれ

② みんなだいすき

③ みんななかよし

③ みんななかよし



みんななかよしを
たいけんしよう！！

- ・ さくらのうた
- ・ エビカニクス



みんなで
やって
みよう！

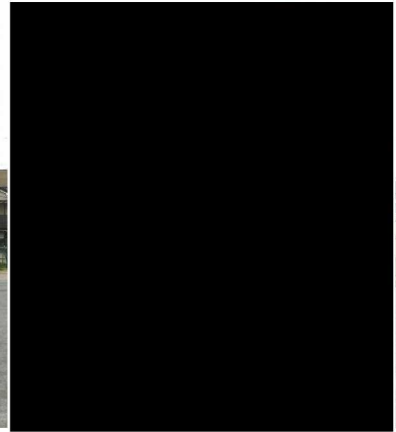


さくらのうた

みんな　ともだち　てをつなごう
に　こ　に　こ　え　が　お　が　　うれしいね
みんなのえがおが　あつまって
おおきなすてきな　はながさく
さみしいときも　てをつなごう
だいじょうぶ　だいじょうぶ　だいじょうぶ
さくら　さくら　さくらのなかま
さくら　さくら　みんなだいすき



これからも なかよくしてね



第3学年 学級活動(2) 学習指導案

指導者 川崎市立さくら小学校

T1 吉田 舞

T2 小島 美紀

1. 日時・場所 令和6年11月6日(水)5時間目 場所 3年1組

2. 題材名 「さくらタイム」

3. 題材目標と評価規準 学級活動(2)

よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
日常生活への自己の適応に関する諸課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解し、よりよい生活を送るための知識や行動の仕方を身に付けている。	日常生活への自己の適応に関する諸課題に気づき、解決方法などについて話し合い、自分に合ったよりよい解決方法を意思決定して実践している。	自己の生活をよりよくするために、見通しをもったり振り返ったりしながら、意欲的に課題解決に取り組み、他者と協力し合ってよりよい人間関係を形成しようとしている。

4. 単元構想

○クラスの実態

支援級児童3名含む26名。支援級児童と自然に関わることができる児童が多く、日常的に話をしたり、分からないところを教えたりすることができる。その一方で、支援級児童の特性が理解できなかったり、どう接していいか分からずトラブルになったりしてしまうこともある。

○さくらタイムについて

さくらタイムとは、さくら学級(支援級+分教室)の教員が年に1回、通常学級で行う特別な授業のことである。この活動は、さくら小が創設された時から現在まで継続して行われており、学校全体で児童の相互理解や多様性への意識を深める重要な機会とされている。学年ごとに授業の目的や内容は異なる。(以下参照)

この授業を通じて、通常学級の児童たちはさくら学級の児童に対する理解を深め、互いの違いを認め合う気持ちが自然と育まれていくと考える。また、さくら学級の教員も、通常学級の教員と連携し、授業内容を一緒に考えるプロセスを通して、教師同士の連帯感が深まるという効果もある。

学年	目標	内容
1 年	さくら学級の子どもたちの学習や生活の様子を知り、お互いに理解しあうきっかけをつくる。	・さくら学級はどんなところ？一日の紹介 ・さくら学級1年生の紹介、先生の紹介、さくらのうた
2年		・1年生の内容にプラスして、さくら学級の児童の苦手なことやその対応などについて紹介する。
3 年		「さくら学級の物知り博士になろう」 ・さくら学級児童への具体的な対応の仕方を伝えたり、4 年時におこなう「みんななかよし」について紹介したりする。
4 年	様々ななかかわりあい方について知り、手助けを必要とする子どもの生活や思いに関心をもつ。	・さくら学級の児童への具体的ななかかわり方を学ぶ。 ・言葉を使わずに意思を伝える方法やその読み取りの練習をして実際のかかわりに活かせるようにする。
5 年	学習や生活の困り感を体験したり知ったりすることで、相手を理解しようとする気持ちが育つ機会とする。	・自分と他者では違う気持ちや感覚をもつことを実感するためのワークを行い、感想交流をする。
6年	身近なところに課題を見つけたり、町や社会の取り組みを知ったりすることで、自分にできることを考えたりする。	・6年間のまとめとしてこれまでのさくら学級との交流をふりかえる。 ・「ユニバーサルデザイン」「バリアフリー」をテーマにしたワークを行う。

5. 本時の授業

(1) 人権尊重教育を通して育てたい力

○友だちの生活を知り、その様子を認めようとしている。

(2) 目標

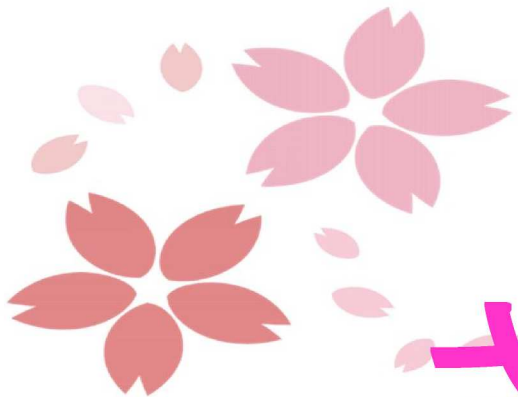
○さくら学級の児童がどのような学習をしているかを知り、交流しているさくら学級の児童に親しみを感ずるとともに、理解を深める。

○さくら学級の友だちに自分から積極的にかかわろうとする気持ちをもつ。

(3) 展開

学習活動	・支援 ☆評価 ○人権
1. はじめのあいさつをする。 「これから5時間目のべんきょうをはじめます。」 2. さくら学級の児童や生活の様子について知っていることを発表する。 「朝の挨拶に来るよ。」「バスで学校に来ているよ。」 「学習発表会に向けて一緒に練習したし、発表会も一緒に出たね。」 「さくら1組の友だちと理科や図工など一緒に勉強しているよ。」	○さくら学級のあいさつの方法である手話での挨拶を一緒に行い、理解を深められるようにする。 《準備するもの》 □スライド ・知っていること、今までに一緒にしたこと思い出せるように声をかける。
さくら学級の ものしりはかせに なろう！	
3. さくら学級のことや同じ学年のさくら学級の友だちの学習の様子、4年生での「みんななかよし」について知り、もっと知りたいことについて意見を出し合う。 「運動会でバルーンを一緒にやっていたよ。」 「さくら学級の友だちとあそぶよ。」 エビカニクスを踊る。	・動画や写真などを見ながら理解を深められるようにする。 ・児童の反応を見ながらゆっくりと進める。

4. 今日のふりかえり 今から何かできることがあるのか考え、グループで話し合う。 友だちの話を聞いて、今から自分がやろうと思ったことを書く。 5. おわりの挨拶をする。	・ 来年度のみんななかよしにつながるよう、今からやっておくとよいことがあるのか、何かできることがあるのか考えるように声をかける。 ☆友だちの生活の様子を認め、これからどのようなことができるか考えている。 ○さくら学級のあいさつの方法である手話での挨拶を一緒に行い、理解を深められるようにする。
--	---



さくらタイム



3年生



さくら学級のこと、

どれくらい
知ってるかな？



さくら学級 ものしりはかせに なろう！

- ① さくら学級は何組まである？
- ② どんな お友達がいるの？
- ③ どんなおべんきょうをしているの？
- ④ 「みんななかよし」 ってなに？

さくら学級は
何組まである？



A



組

B



組

C



組

各クラスの人気は・・・

く み		子ども(人)	先生(人)
分教室	1	14	3
	2	4	2
	3	4	3
	4	4	3

さくら学級の先生を紹介します

さくら 1組

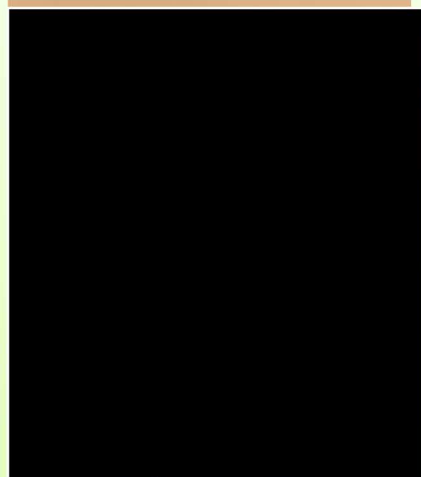
平野先生
ひらの

仲田先生
なかだ

吉田先生
よしだ

さくらがっきゅうのせんせい

さくら 2くみ



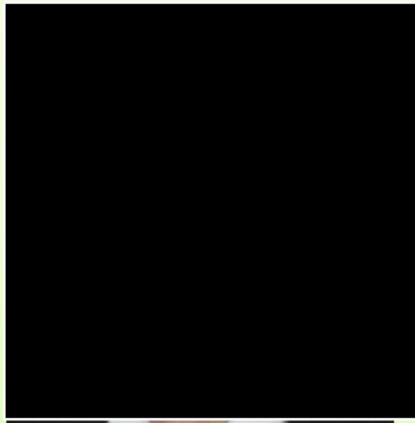
みぞた せんせい
溝田先生



しもじま せんせい
霜島先生

さくらがっきゅうのせんせい

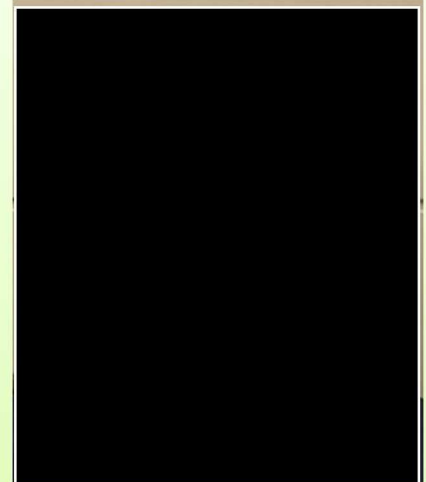
さくら 3くみ



おくやま せんせい
奥山先生



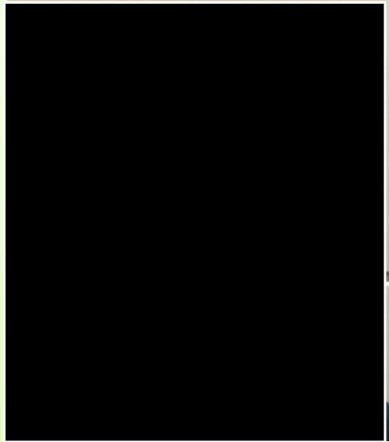
うえだ せんせい
上田先生



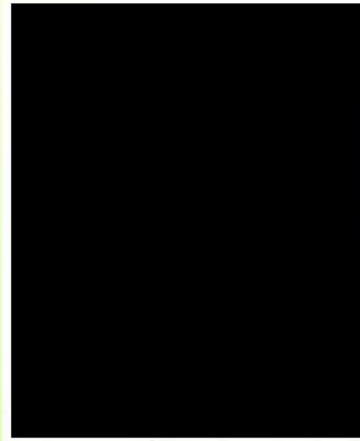
いしやま せんせい
石山先生

さくらがっきゅうのせんせい

さくら 4くみ



とりい せんせい
鳥井先生

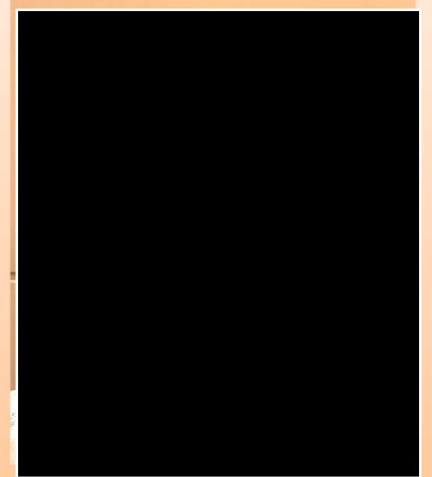


さとう せんせい
佐藤先生



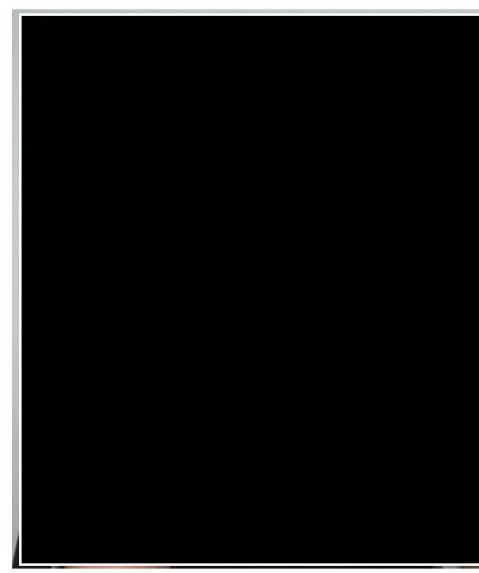
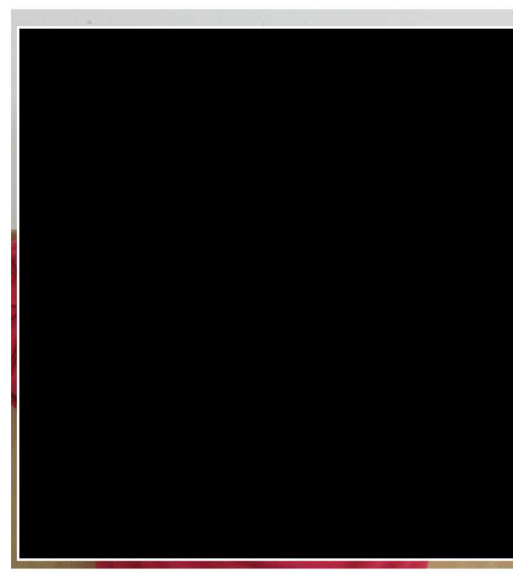
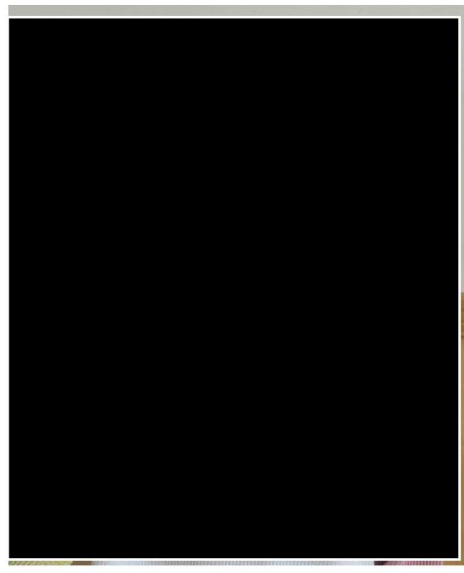
いわた せんせい
岩田先生

ほけんしつ



うじょう せんせい
宇條先生

さくら学級の3年生は、**4人**いるよ

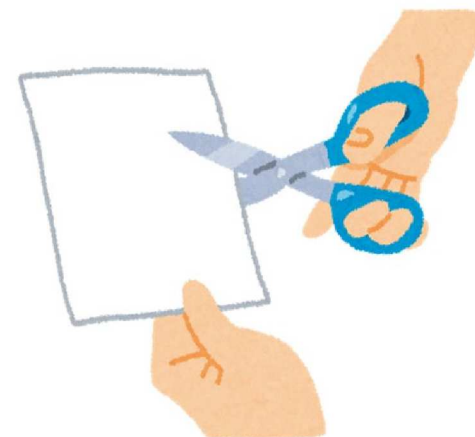
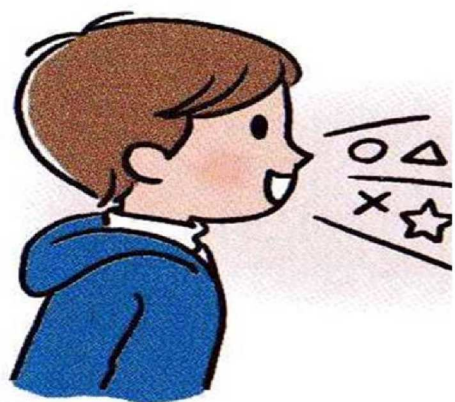


どんな お友達が
さくら学級に
いるの？





どんな子がさくら学級にいるの？

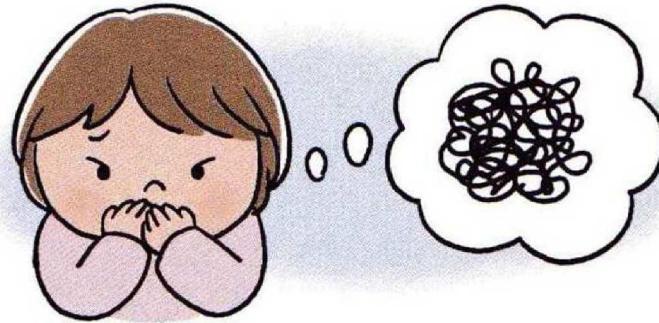




どんな子がさくら学級にいるの？



もちろん、



苦手なこともあります。



どんな子がさくら学級にいるの？



大きな
声や音

とつぜんの
よていへんこう
予定変更



たくさんの
人がいる場
所



に が て かっどう
苦手な活動

日常生活や勉強をする時に
サポートが必要



どんな
べんきょうを
しているの？



個別の学習

さくら図工

グループでの学習

話し合い活動

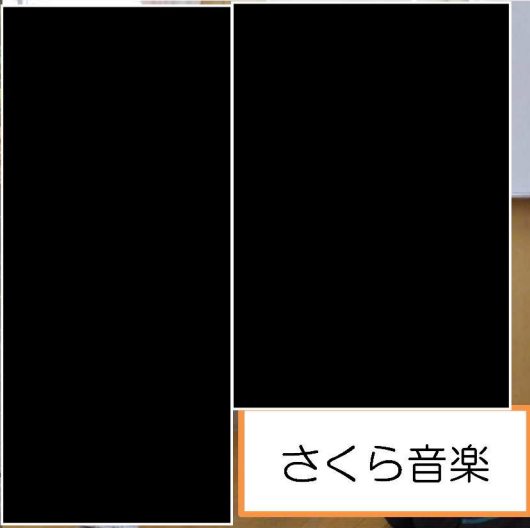
校外学習



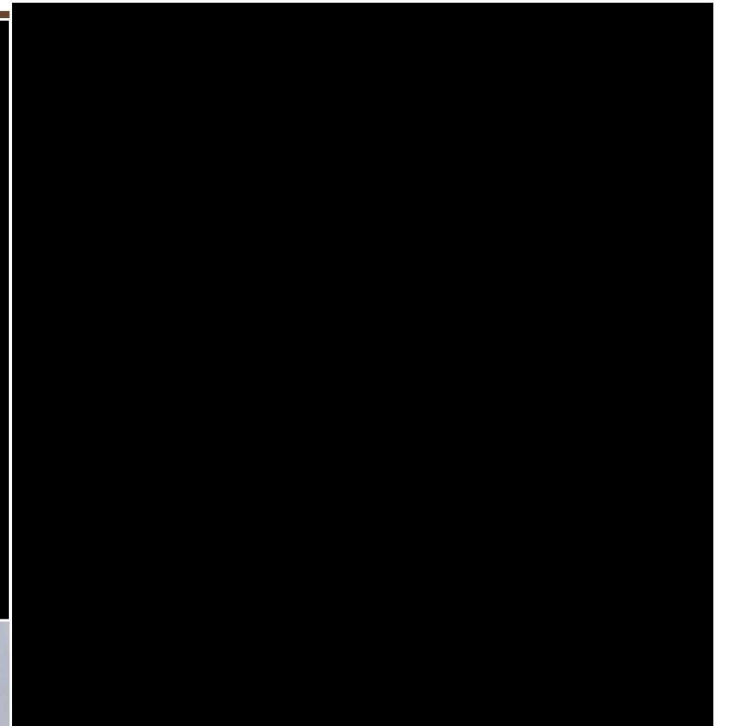
生活・町探検



2024/04



さくら音楽



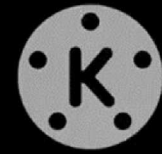
レストラン学習

4年生の学習

「みんな なかよし」

って???

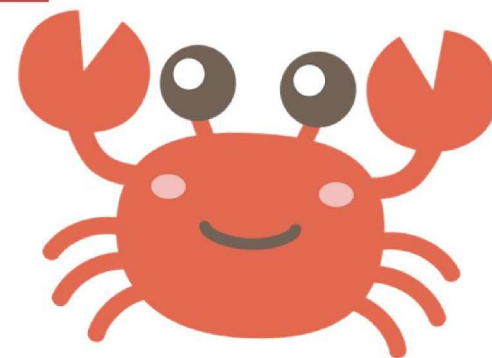
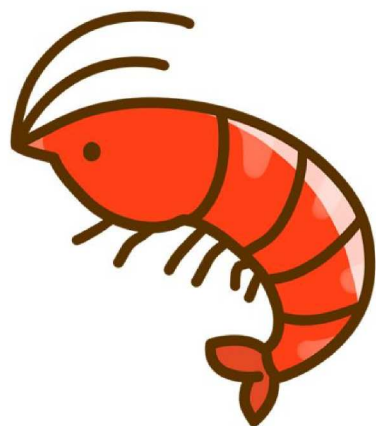




KINEMASTER

みんなでおどろう！

エビカニクス



エビカニクス

ケロポンズ



今、どんなことが
できるかな？



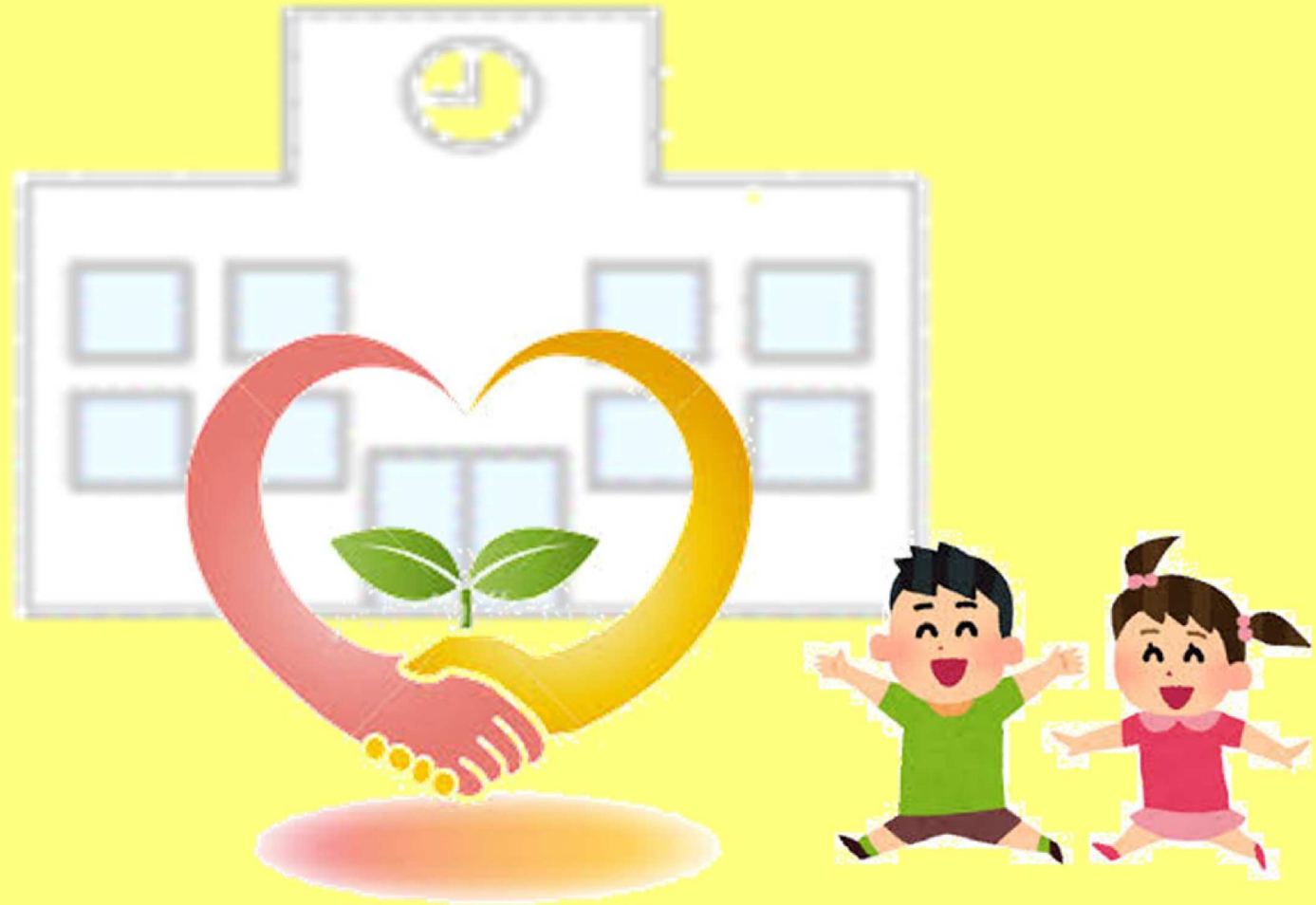


今、どんなことができる？



1. 「今からしておくとよいこと」をかく。
2. グループではなす。
 - ① じゅんばんを きめる。
 - ② はっぴょうする。
3. 「自分が今からできそうなこと」をかく。

さくら学級のはなし



クイズです！

さくら学級はぜんぶ
で何組まであるので
しょうか？

A

3
~~組~~

B

4
組

C

5
~~組~~

せいかい

各クラスの人数は・・・

くみ		子ども(人)	先生(人)
分教室	1	12	3
	2	4	3
	3	4	3
	4	4	3

さくら学級の先生を紹介します

さくら 1組

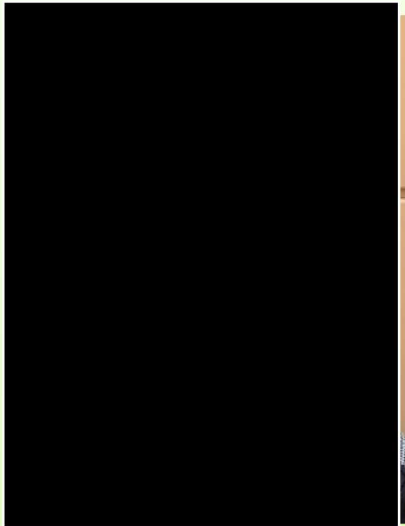
平野先生
ひらの

仲田先生
なかだ

吉田先生
よしだ

さくらがっきゅうのせんせい

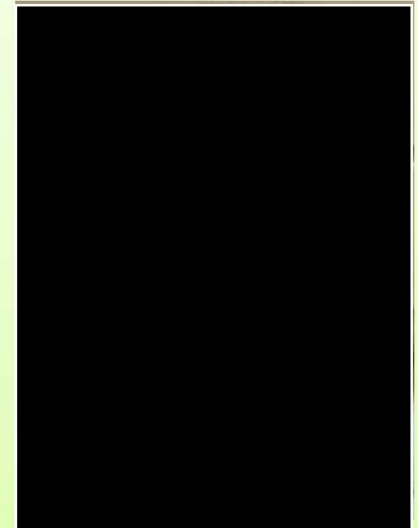
さくら 2くみ



みぞた せんせい
溝田 先生



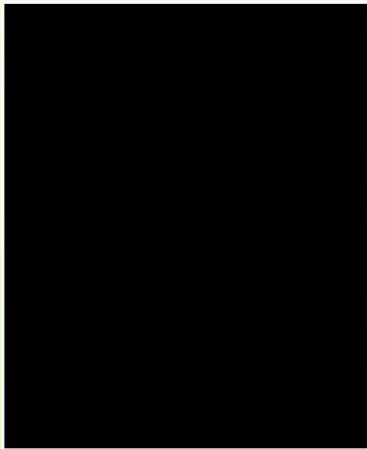
ありはら せんせい
有原 先生



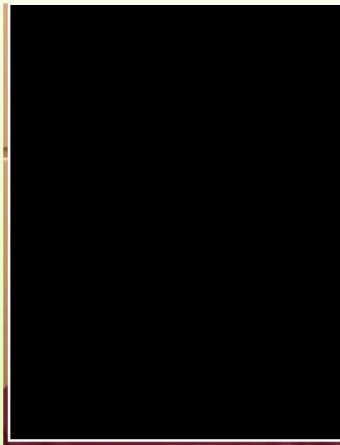
しもじま せんせい
霜島 先生

さくらがっきゅうのせんせい

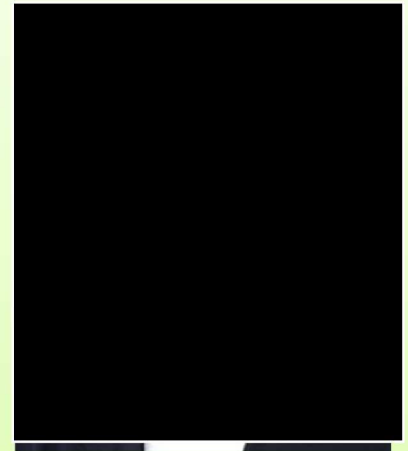
さくら 3くみ



おくやま せんせい
奥山 先生



うえだ せんせい
上田 先生



いしやま せんせい
石山 先生

さくらがっきゅうのせんせい

さくら 4くみ

ほけんしつ

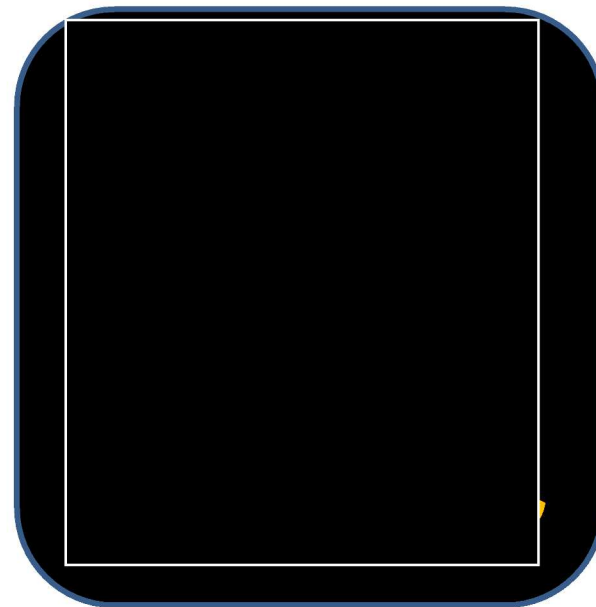
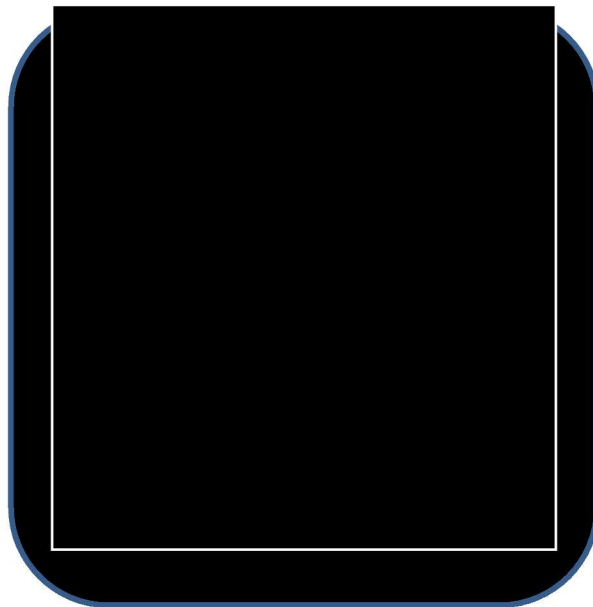
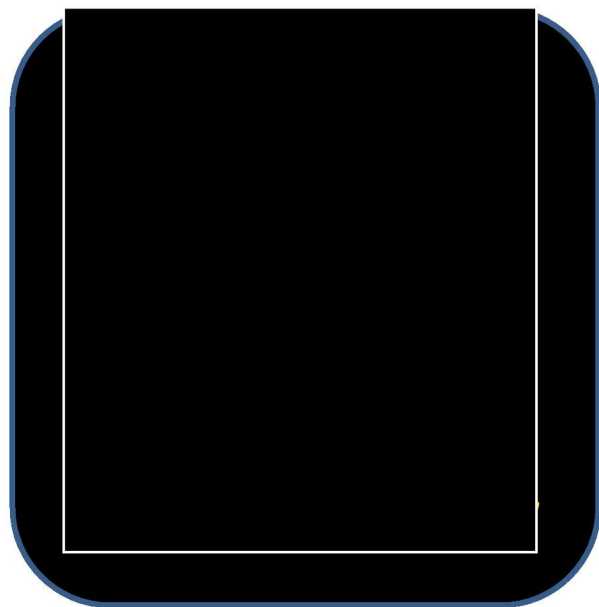
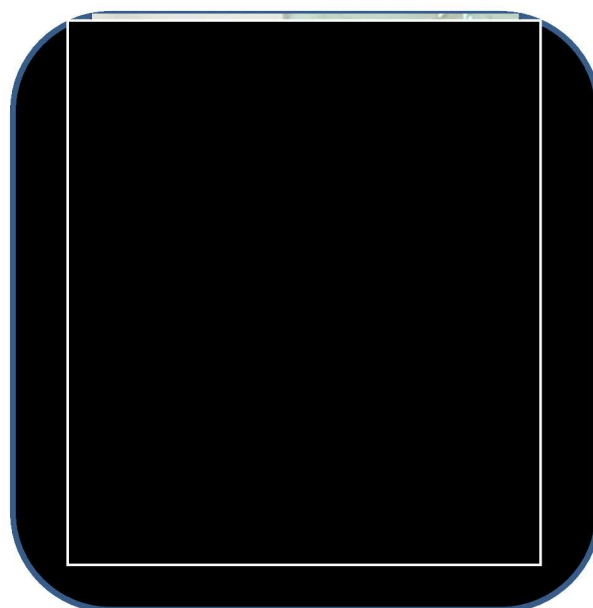
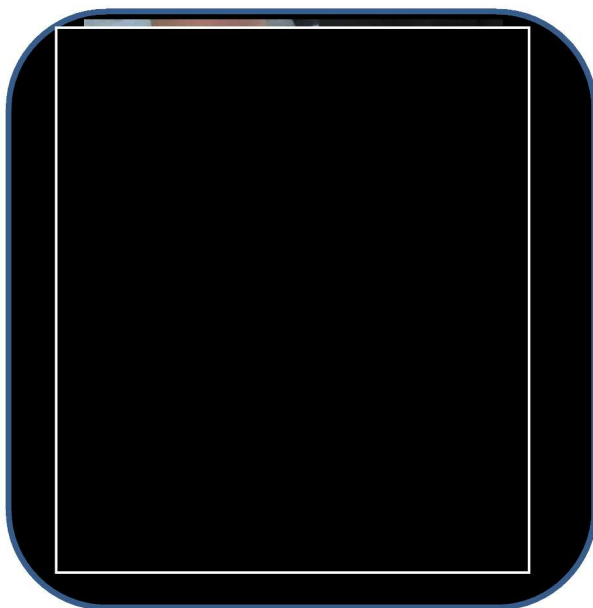
さとう せんせい
佐藤 先生

とりい せんせい
鳥井 先生

いわた せんせい
岩田 先生

うじょう せんせい
宇條 先生

さくら学級の4年生は、**5人**いるよ



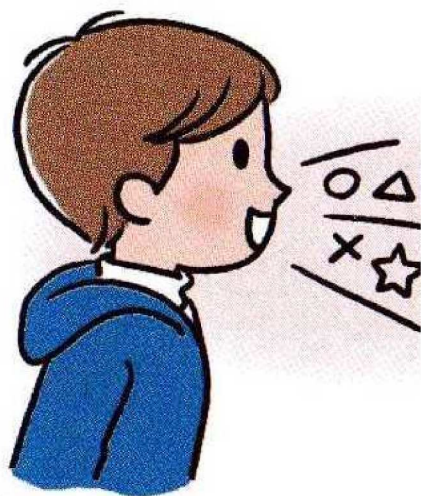
さくら学級ってどんなところ??

- ① どんな子がさくら学級にいるの？
- ② どんな勉強をしているの？
- ③ 言葉がでない子とどうやって話すの？





どんな子がさくら学級にいるの？

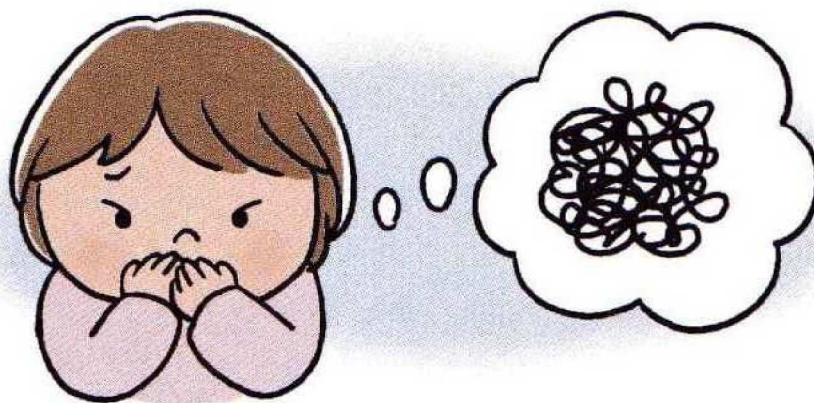




どんな子がさくら学級にいるの？



もちろん、



苦手なこともあります。



どんな子がさくら学級にいるの？



大きな
声や音

予定の
へんこう
変更



たくさんの
人がいる
場所



一日の
見通し



目

目

目

日常生活や勉強をする時に

サポートが必要

さくら学級ってどんなところ??

① どんな子がさくら学級にいるの?

② どんな勉強をしているの?

③ 言葉がでない子とどうやってお話するの?





どんな勉強をしているの？



○みんなと同じ数字や文字などの勉強。

・文字を読む、書く、聞く、話す、計算、図形 など、、、

○苦手なことができるようになる勉強。

・大きな音が苦手 ・スケジュールの変更が苦手 ・人が多い所が苦手

○お仕事に必要な勉強。

・パソコン ・掃除 ・何かを作る(図工) ・野菜を育てる(生活・理科)

○日常生活で必要なことの勉強。

・トイレ ・ごはん(お箸の持ち方) ・ルール(順番) ・手洗い

さくら学級ってどんなところ??

- ① どんな子がさくら学級にいるの？
- ② どんな勉強をしているの？
- ③ 言葉がでない子とどうやってお話
するの？



コミュニケーションのいろいろ

表じょう

視線

身ぶり
手ぶり

まば
たき

おしゃべり

スキンシップ

手話

指文字

点字

写真・絵カード



**さくら学級の子どもたちがとくいな
コミュニケーション方法は、人それぞれちがう！**



言葉がでない子とどうやってお話するの？



～体験しよう～

言葉（音声）がなくても
相手の伝えたいことがわ
かるようにするにはどう
したらよいでしょうか。



言葉がでない子とどうやってお話するの？



練習問題①

あたまが 痛いから

次の授業を 休みたい



言葉がでない子とどうやってお話するの？



練習問題 右

すきな ものを ペアの 人に

伝えて みよう。



言葉がでない子とどうやってお話するの？



練習問題 左

きれいな ものを ペアの 人に

伝えて みよう。



言葉がでない子とどうやってお話するの？



問題①

トイレに いきたい



言葉がでない子とどうやってお話するの？



問題②

お腹が 空いた



言葉がでない子とどうやってお話するの？



おまけ (目もつぶって)

わたしの名前は
「〇〇」を伝える。

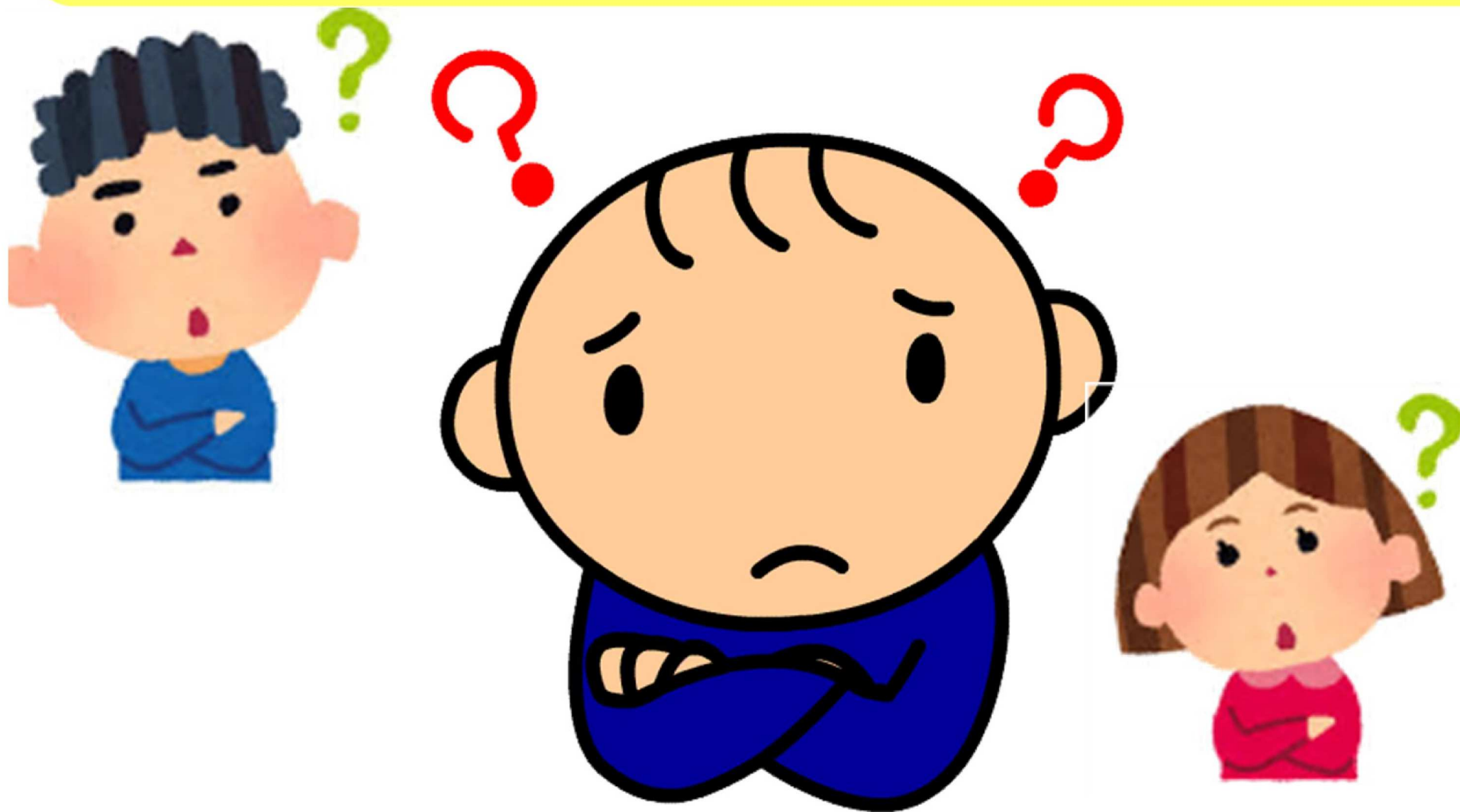
相手の思いを受け止める ためには・・・

- ① 相手のペースに合わせ、
- ② 相手の様子(表じょう)を
じっくりかんさつし、
- ③ 相手の心の声に耳を
かたむける。

※相手を【おもうこと】が大切!!



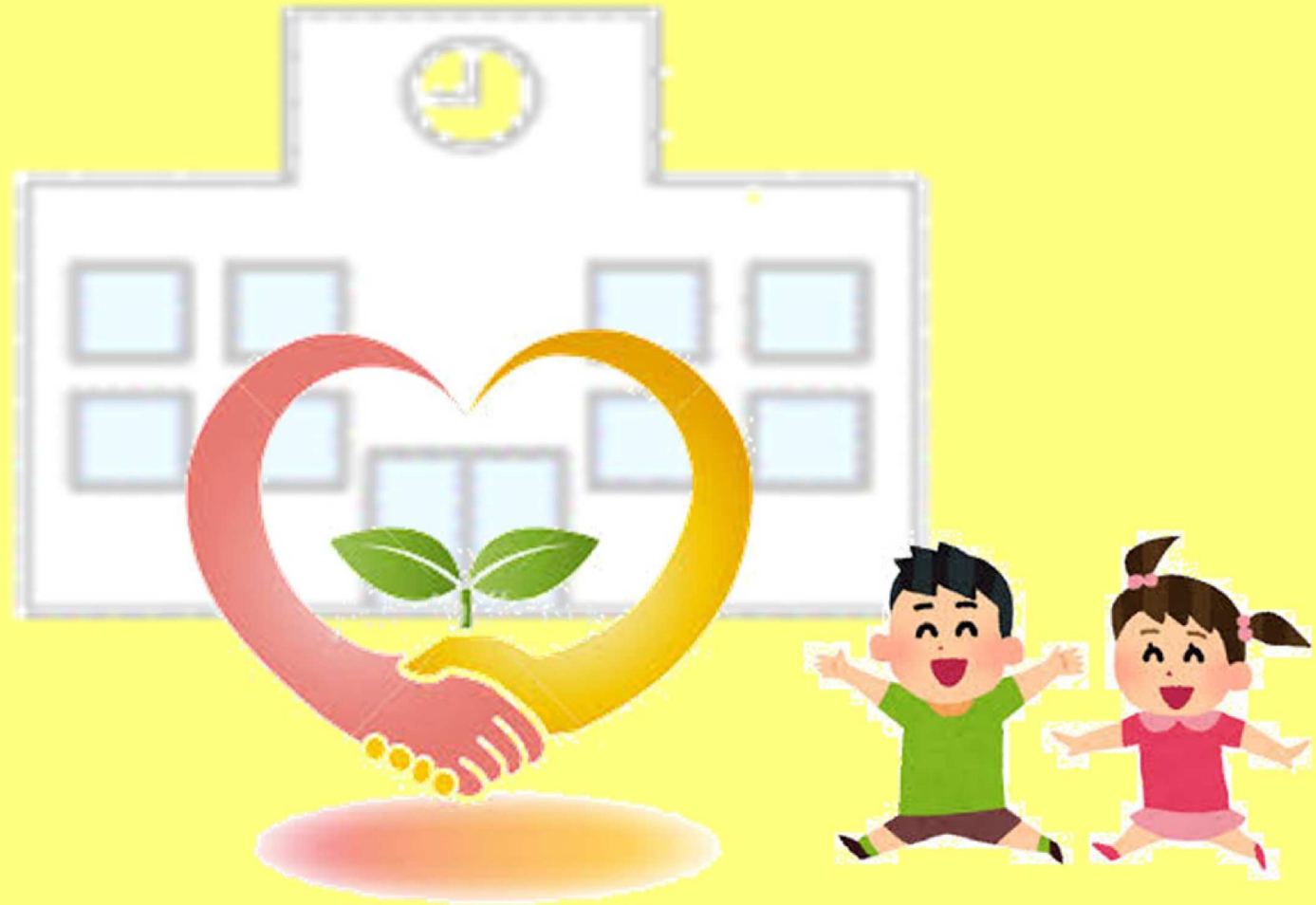
質問タイム👍



これから、よろしくね！



さくら学級のはなし



クイズです！

さくら学級はぜんぶ
で何組まであるので
しょうか？

A

3
~~組~~

B

4
組

C

5
~~組~~

せいかい

各クラスの人数は・・・

く み		子ども(人)	先生(人)
分教室	1	12	3
	2	4	3
	3	4	3
	4	4	3

さくら学級の先生を紹介します

さくら 1組

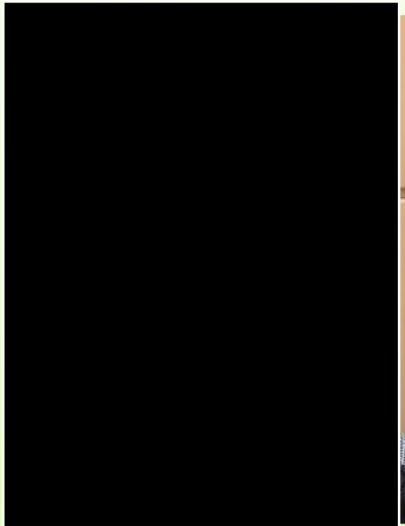
平野先生
ひらの

仲田先生
なかだ

吉田先生
よしだ

さくらがっきゅうのせんせい

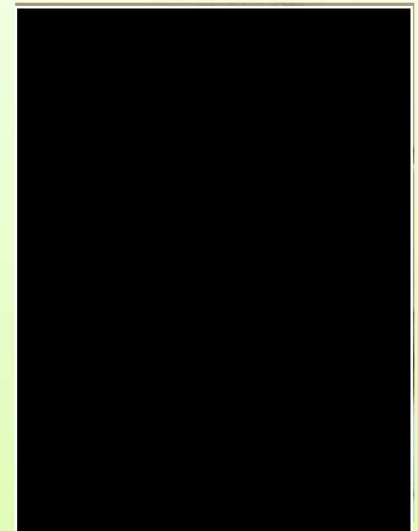
さくら 2くみ



みぞた せんせい
溝田 先生



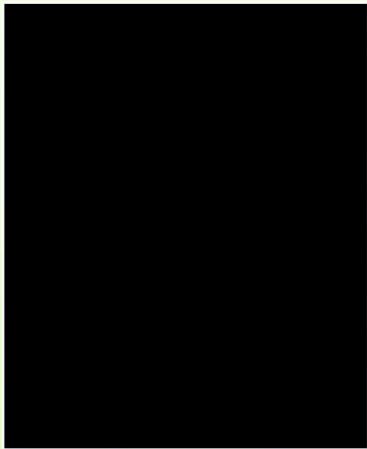
ありはら せんせい
有原 先生



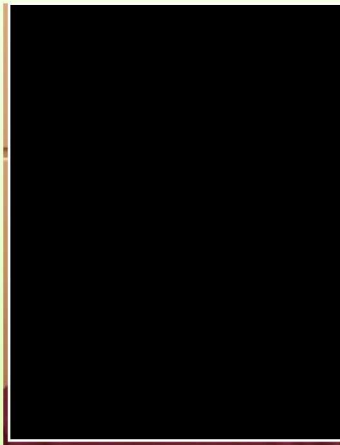
しもじま せんせい
霜島 先生

さくらがっきゅうのせんせい

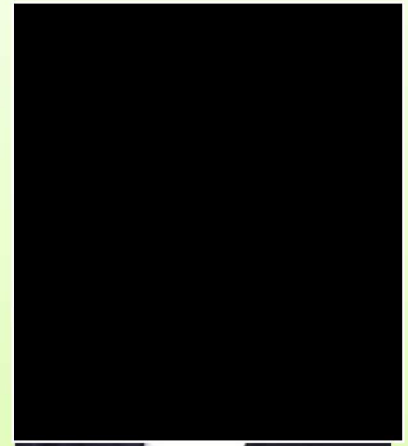
さくら 3くみ



おくやま せんせい
奥山 先生



うえだ せんせい
上田 先生



いしやま せんせい
石山 先生

さくらがっきゅうのせんせい

さくら 4くみ

ほけんしつ

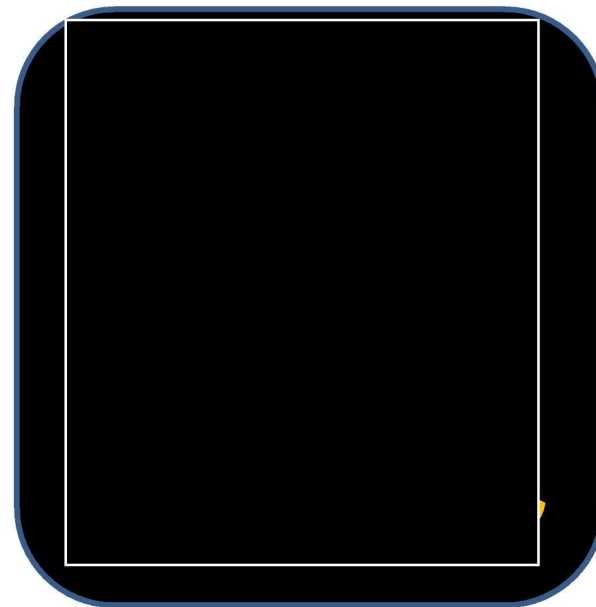
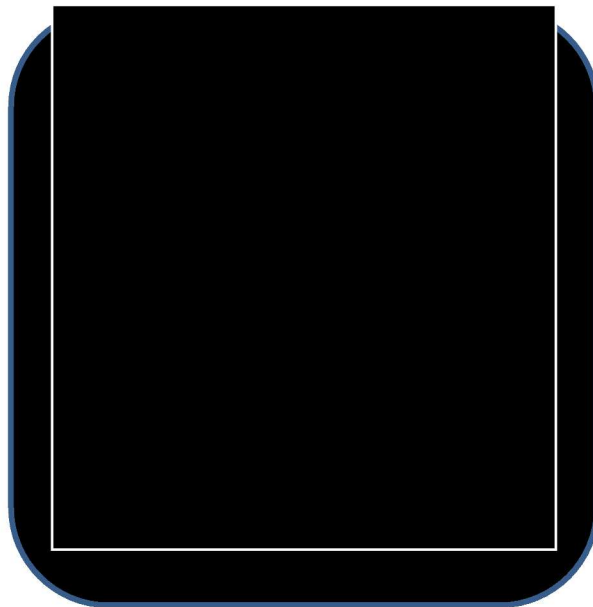
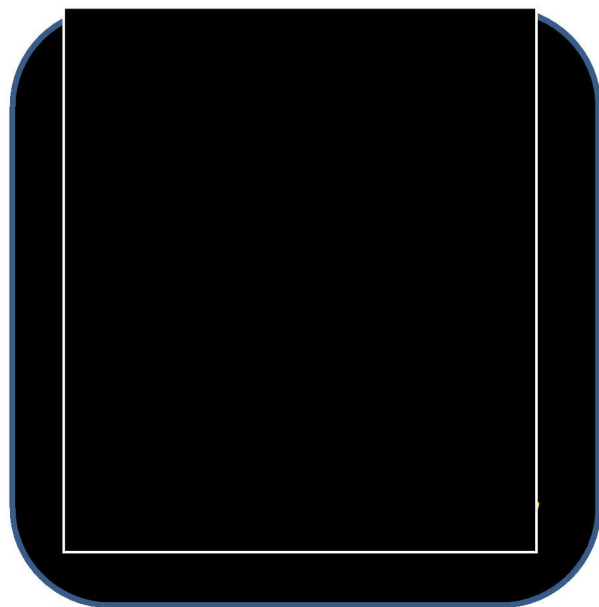
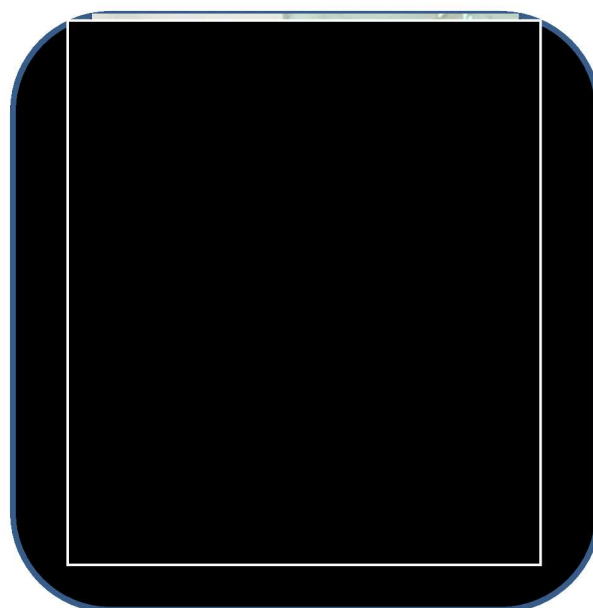
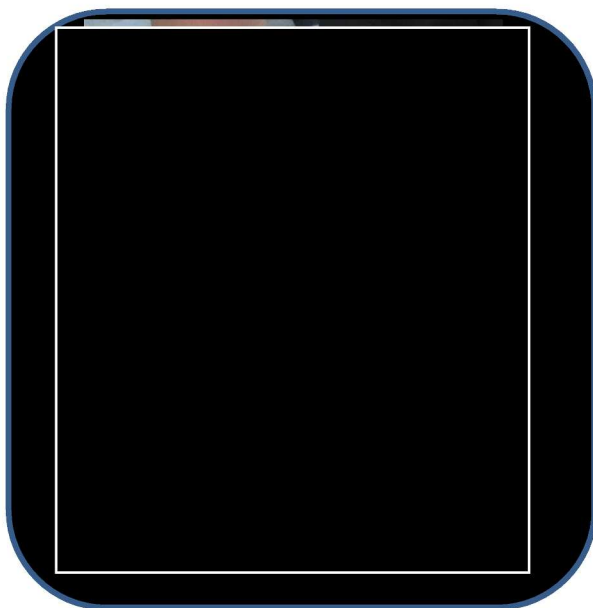
さとう せんせい
佐藤 先生

とりい せんせい
鳥井 先生

いわた せんせい
岩田 先生

うじょう せんせい
宇條 先生

さくら学級の4年生は、**5人**いるよ



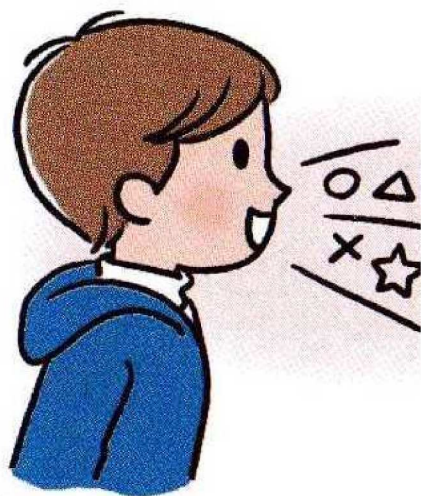
さくら学級ってどんなところ??

- ① どんな子がさくら学級にいるの？
- ② どんな勉強をしているの？
- ③ 言葉がでない子とどうやってお話
するの？





どんな子がさくら学級にいるの？

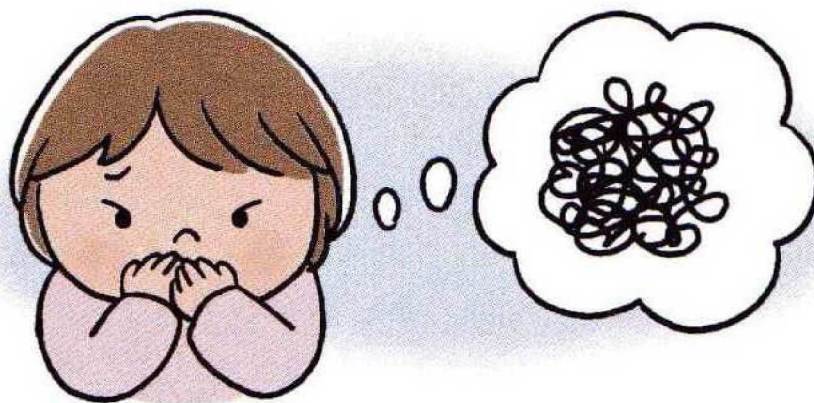




どんな子がさくら学級にいるの？



もちろん、



苦手なこともあります。



どんな子がさくら学級にいるの？



大きな
声や音

予定の
へんこう
変更



たくさんの
人がいる
場所



一日の
見通し



目

目

目

日常生活や勉強をする時に

サポートが必要

さくら学級ってどんなところ??

① どんな子がさくら学級にいるの？

② どんな勉強をしているの？

③ 言葉がでない子とどうやってお話するの？





どんな勉強をしているの？



○みんなと同じ数字や文字などの勉強。

・文字を読む、書く、聞く、話す、計算、図形 など、、、

○苦手なことができるようになる勉強。

・大きな音が苦手 ・スケジュールの変更が苦手 ・人が多い所が苦手

○お仕事に必要な勉強。

・パソコン ・掃除 ・何かを作る(図工) ・野菜を育てる(生活・理科)

○日常生活で必要なことの勉強。

・トイレ ・ごはん(お箸の持ち方) ・ルール(順番) ・手洗い

さくら学級ってどんなところ??

- ① どんな子がさくら学級にいるの？
- ② どんな勉強をしているの？
- ③ 言葉がでない子とどうやってお話
するの？



コミュニケーションのいろいろ

表じょう

視線

身ぶり
手ぶり

まば
たき

おしゃべり

スキンシップ

手話

指文字

点字

写真・絵カード



さくら学級の子どもたちがとくいな
コミュニケーション方法は、人それぞれちがう！



言葉がでない子とどうやってお話するの？



～体験しよう～

言葉（音声）がなくても
相手の伝えたいことがわ
かるようにするにはどう
したらよいでしょうか。



言葉がでない子とどうやってお話するの？



練習問題①

あたまが 痛いから

次の授業を 休みたい



言葉がでない子とどうやってお話するの？



練習問題 右

好きな ものを ペアの 人に

伝えて みよう。



言葉がでない子とどうやってお話するの？



練習問題 左

きれいな ものを ペアの 人に

伝えて みよう。



言葉がでない子とどうやってお話するの？



問題①

トイレに いきたい



言葉がでない子とどうやってお話するの？



問題②

お腹が 空いた



言葉がでない子とどうやってお話するの？



おまけ (目もつぶって)

わたしの名前は
「〇〇」を伝える。

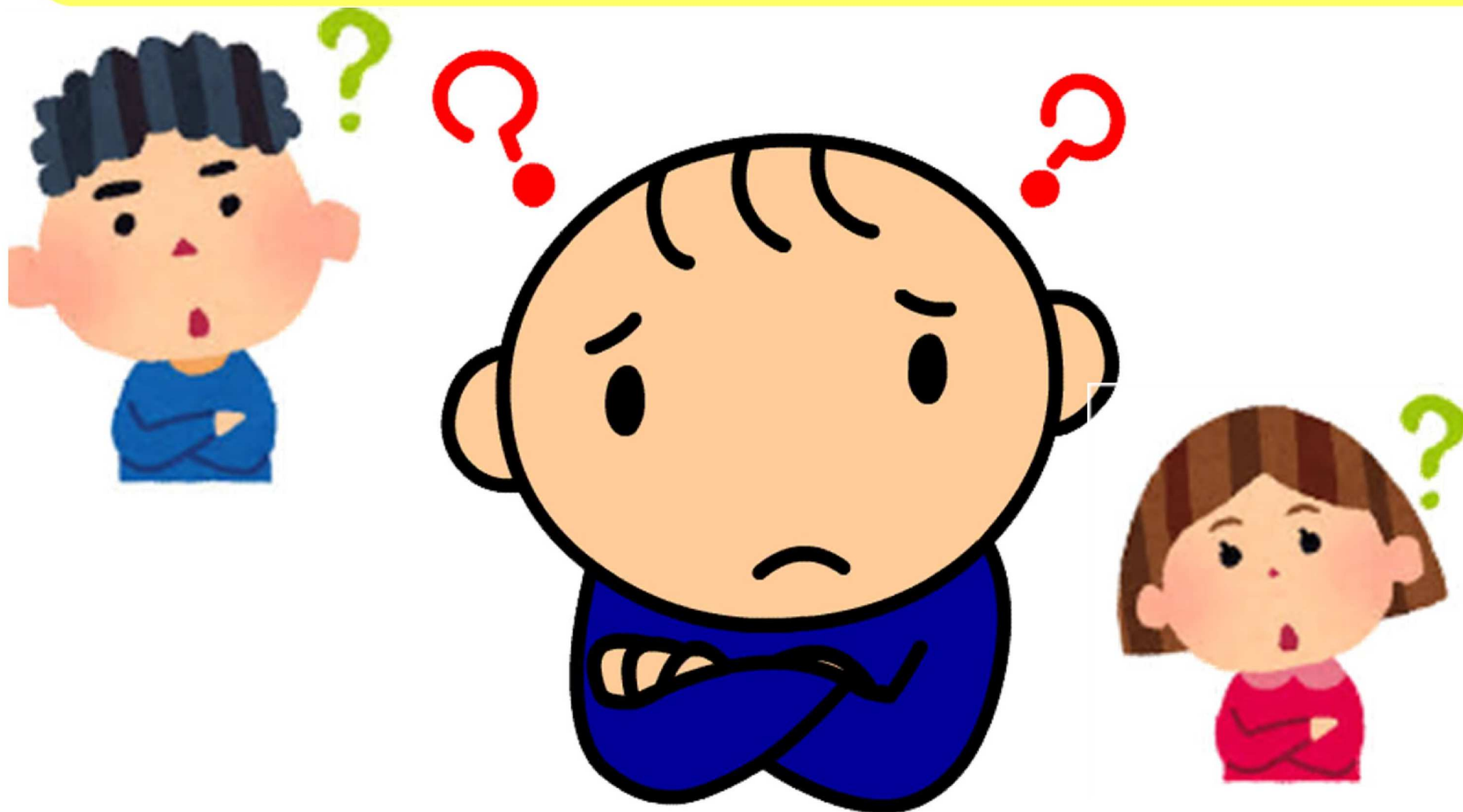
相手の思いを受け止める ためには・・・

- ① 相手のペースに合わせ、
- ② 相手の様子(表じょう)を
じっくりかんさつし、
- ③ 相手の心の声に耳を
かたむける。

※相手を【おもうこと】が大切!!



質問タイム👍



これから、よろしくね！



第5学年 さくらタイム学習指導案

5年1組 奥山

5年2組 平野

1. 日 時 11月 日() 校時 26日(火)6 校時
2. 場 所 5年各教室
3. 本 時 「相手との違いをみつけ、相手を理解する方法を考えよう」
4. 本時の目標 感じ方、考え方がそれぞれ違うことを知り、相手を理解しようとする気持ちを育てる。
5. 本時の流れ

	主な学習活動	○指導上の留意点・準備物
1分	1. はじめの挨拶をする。	
30分	2. いろいろな感じ方を体験する。 【体験1】不器用さ 軍手をつけて、紙を数える。  いつもより数えられない! 【体験2】聴覚処理の特異性 一斉に言葉を言って、聞き取る  聞き取れない! 【体験3】見通しのもてない不安や恐怖(☆指示は以下) ランダムにいつまでも指示を出す  いつまで続くの?先が見えない... 【体験4】視覚の特異性 たくさんの漢字の中から特定の字を見つける。  見つけるのが難しい。目が疲れる。 【体験5】うまく言葉にできない、表現できない 難しいイラストを言葉だけで伝える。  伝えたいのに、伝わらない!	・テレビ・パソコン・ワークシート・軍手・紙 ○わざと焦らす声掛けをする。 ・録音(スライド) ○簡単な問題から、徐々に難易度をあげていく。(単語→文章) ○教師が全体に指示を出す。 ・漢字一覧(スライド) ○焦らせる声掛けをする。 ・白紙 ○席の隣でペアになり、順番にお題を見せるようにする。お題は4つ(易→難)
5分	5. ふりかえり	○今日のワークについて、さくら学級児童の様子と関連付けて説明する。
8分	6. 感想を記入	・ワークシート ○何人か感想を発表してもらう。 ○今後の自分に活かせるような感想が出れば、価値づけしていく。
1分	7. 終わりの挨拶をする。	

☆指示内容→立ってください。ジャンプを10回してください。両手をあげてください。右手を下げてください。あ、左手も下げてください。座ってください。あ、やっぱり、立って、、、ぐるぐる回ってください。など

さくらタイム 感想用紙

5年 ()組 名前_____

○いろいろな感覚のちがいを、感じ取ることができましたか？(特にどの活動で？)

○今日の授業で、初めて知ったことや、驚いたこと、感じたことを教えてください。

さくらタイム 感想用紙

5年 ()組 名前_____

○いろいろな感覚のちがいを、感じ取ることができましたか？(特にどの活動で？)

○今日の授業で、初めて知ったことや、驚いたこと、感じたことを教えてください。



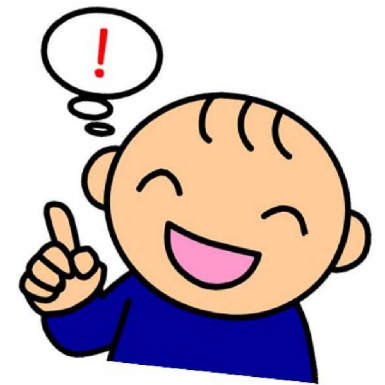


きょうの学習のめあて





いろいろな感じ方や
考え方があることを知ろう！





きょうのながれ



- ①体験してみよう
 - ②さくら学級のお友だちのこと
 - ③まとめ
- 
- 

体験してみよう！

体験①

手ぶくろをつけて紙を数えよう



1,2,3,4...

体験①

不器用さの体験



いつもより数えれない!

体験②

どんな言葉が聞こえるかな？

どんな言葉が聞こえるかな？①



どんな言葉が聞こえるかな？②



どんな言葉が聞こえるかな？③



どんな言葉が聞こえるかな？④



体験②

聞くことが苦手な人の体験



聞き取れない！

体験③

指示を聞いて動いてみよう！

体験③

見通しのもてない不安の体験



いつまで続くの...

体験④

同じ文字を見つけよう

れれれれれれれれれれれれれれれれ
れれれれれれれれれれれれれれれれ
れれれれわれれれれれれれれれれれ
れわれれれれれれれれれわれれれ
れれれれれれれれれれれれれれれ

魴 魶 魷 鮑 鰯 鮪 魴 魷 鰻 鰼 鰾
魴 魶 鰻 鰼 鰾 鰼 鰾 鰼 鰾 鰼 鰾
鰾 鰼 鰾 鰼 鰾 鰼 鰾 鰼 鰾 鰼 鰾
魴 魶 鰻 鰼 鰾 鰼 鰾 鰼 鰾 鰼 鰾
鰾 鰼 鰾 鰼 鰾 鰼 鰾 鰼 鰾 鰼 鰾
鰾 鰼 鰾 鰼 鰾 鰼 鰾 鰼 鰾 鰼 鰾

𩺰	𩺱	𩺲	𩺳	𩺴	𩺵	𩺶	𩺷	𩺸	𩺹	𩺺	𩺻
𩺼	𩺽	𩺾	𩺿	𩻀	𩻁	𩻂	𩻃	𩻄	𩻅	𩻆	𩻇
𩻈	𩻉	𩻊	𩻋	𩻌	𩻍	𩻎	𩻏	𩻐	𩻑	𩻒	𩻓
𩻔	𩻕	𩻖	𩻗	𩻘	𩻙	𩻚	𩻛	𩻜	𩻝	𩻞	𩻟
𩻠	𩻡	𩻢	𩻣	𩻤	𩻥	𩻦	𩻧	𩻨	𩻩	𩻪	𩻫
𩻬	𩻭	𩻮	𩻯	𩻰	𩻱	𩻲	𩻳	𩻴	𩻵	𩻶	𩻷

鯢	鮶	鰤	鮑	鰯	鮪	鮓	鰻	鱔	鰌	鮫
鮠	魷	鰕	鮒	鮎	鮣	鯉	鯨	鯽	鮭	蛟
𩚑	鮹	鰲	鮟	鮛	鮞	鱸	鮙	鮠	鯛	鮡
鮄	鮅	鮆	鮇	鮈	鮉	鮊	鮋	鮌	鮍	鮎
鮏	鮐	鮑	鮓	鮔	鮕	鮖	鮗	鮘	鮙	鮚
鮝	鮞	鮟	鮠	鮡	鮢	鮣	鮤	鮥	鮦	鮧

体験④

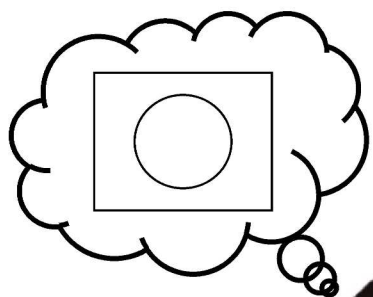
違いがすぐにわからない体験



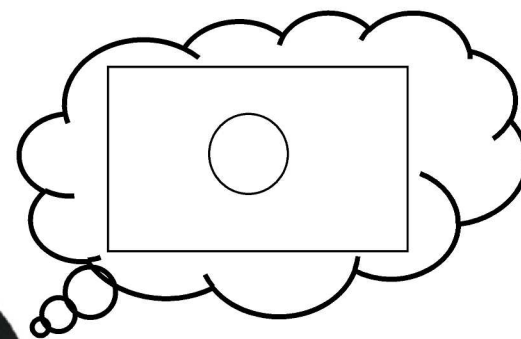
見つけるのが難しい...

体験⑤

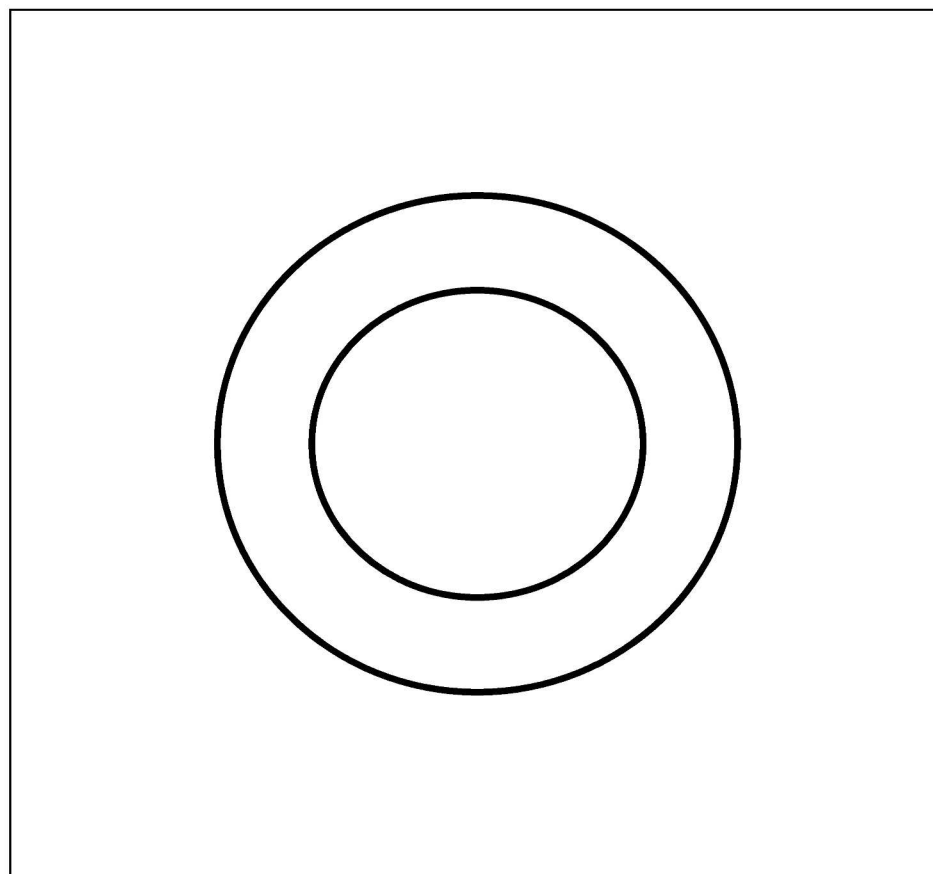
言葉で相手に伝えよう



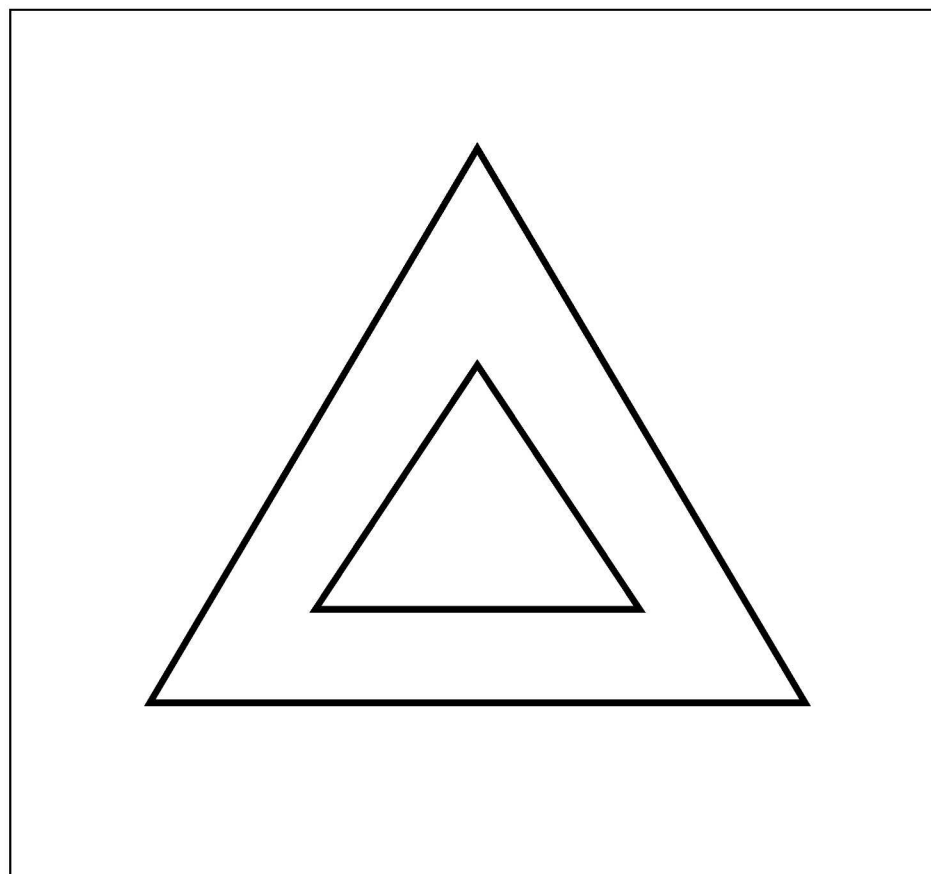
丸を書いてください



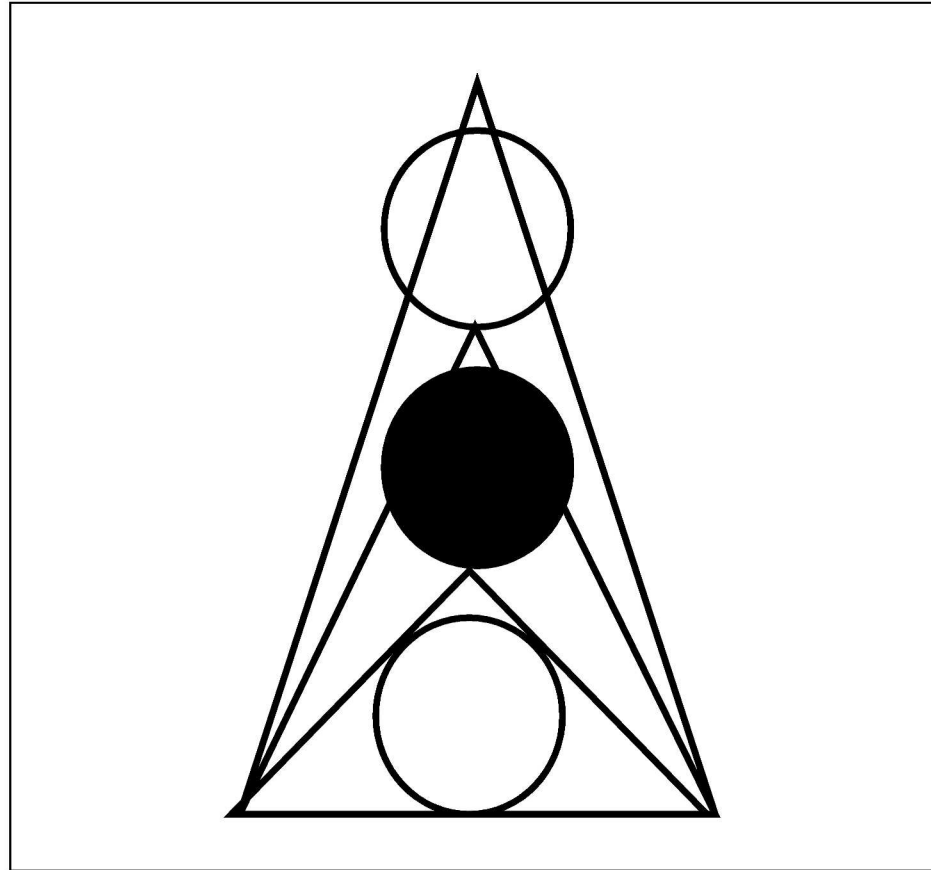
体験⑤-A



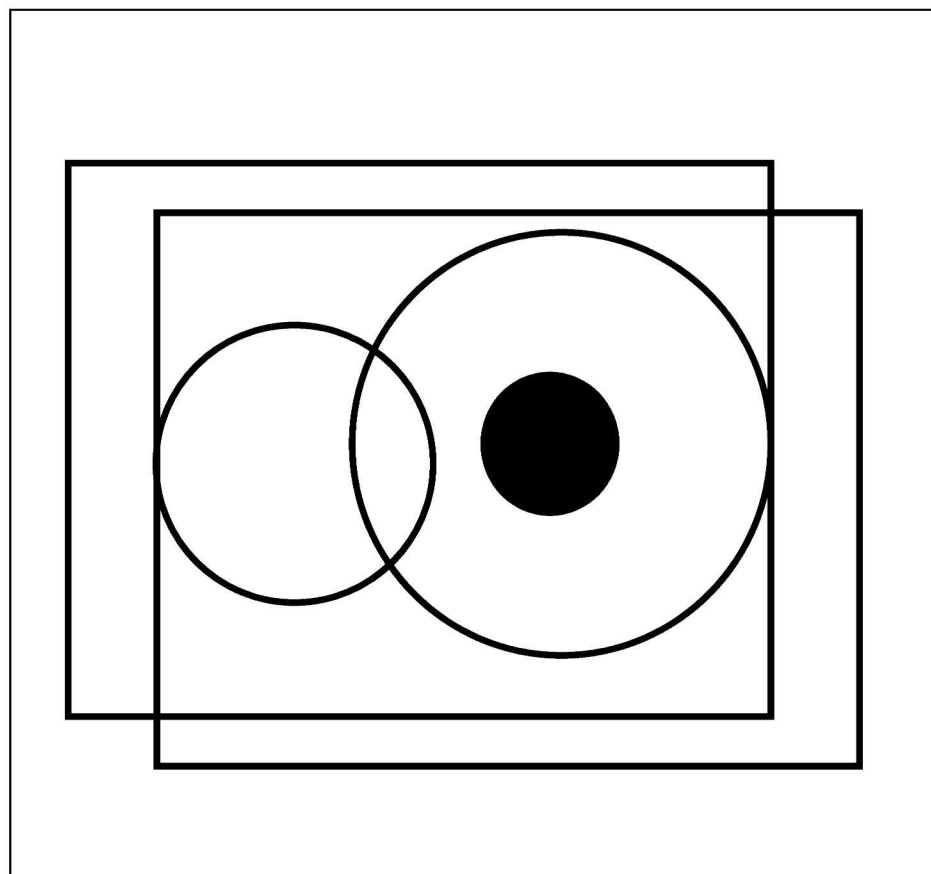
体験⑤-B



体験⑤-A



体験⑤-B



体験⑤

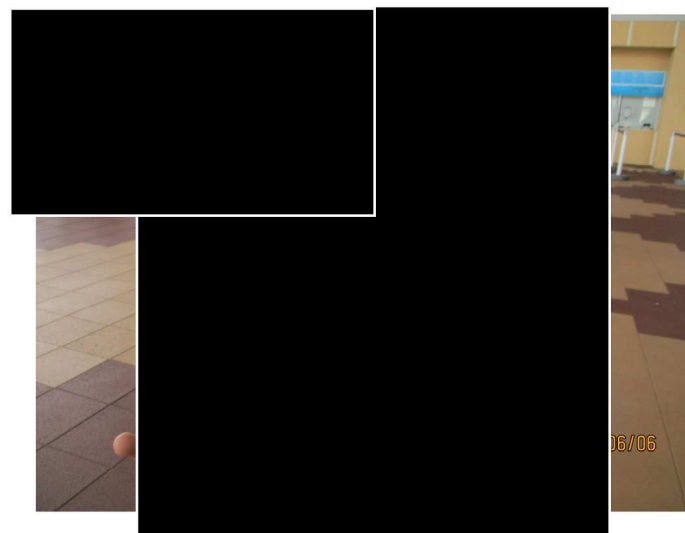
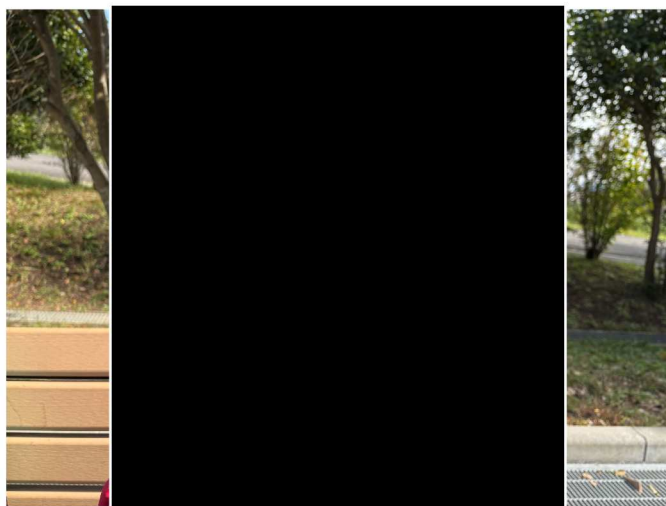
うまく説明できない体験



伝えたいのに、
伝わらない!!

○力加減ができない（不器用）

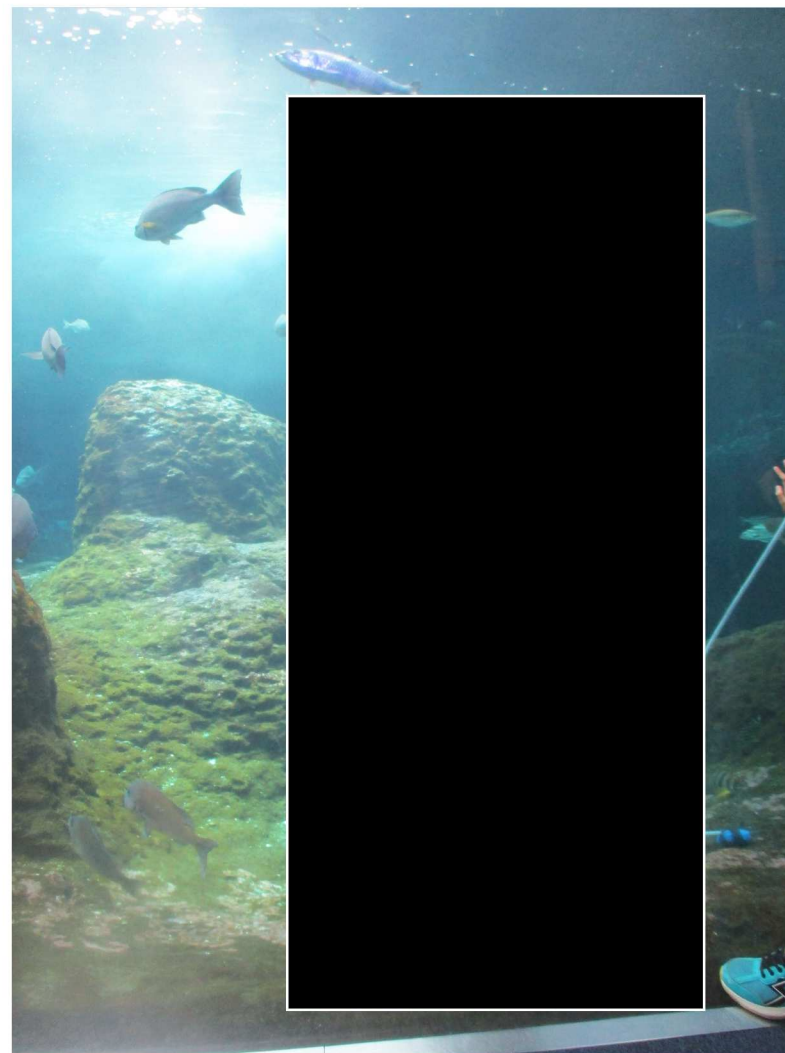
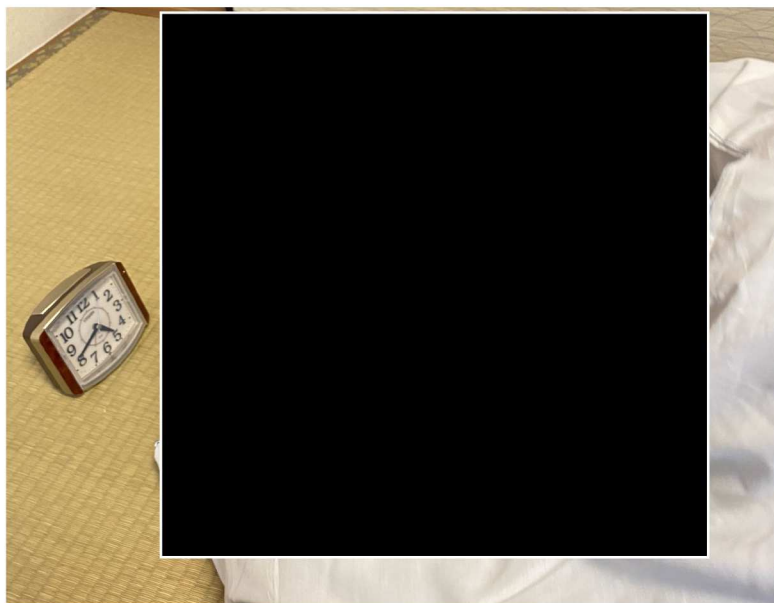
○説明できない



○話がうまく聞き取れない

○見通しがもてないと不安

○説明できない



体験① 不器用さの体験

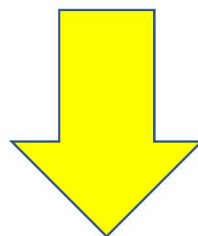
体験② 聞くことが苦手な人の体験

体験③ 見通しのもてない不安の体験

体験④ 違いがすぐにわからない体験

体験⑤ うまく説明できない体験

相手とちがうところを知る



相手の理解につながる



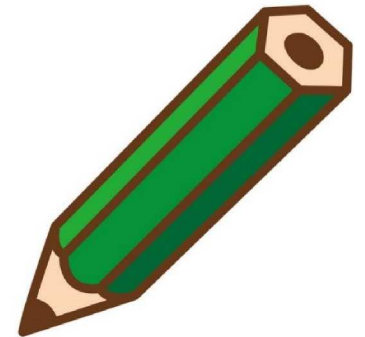
これからも

よろしくね！

今日の授業の感想を書きましょう

- ・初めて知ったこと
- ・驚いたこと
- ・感じたこと

などなど



さくらタイム 指導案

1 日時・場所 2月17日(月)・18日(火) 6校時 各6年 教室

2 本時 「さくらタイム6年間のまとめをしよう」

3 本時のねらい

○これまでのかかわりを振り返り、さまざまな触れ合いを積み重ねてきたことに気づく。

○学習や生活に困り感がある人たちを知ること、相手を理解しようとする気持ちを深める。

4 本時の展開

主な学習活動	・指導上の留意点
1 これまでの学習やかかわりを振り返る。 ・具体的に、どのような会話をしたか、どのようなコミュニケーションをとったかを思い出す。	・具体的な写真を見せる ・交流していたときのさくら学級児童の気持ちをさくら学級担任から伝えるなど、よい関わりができていたことを意識させる。
2 さくら学級の今 ・今年のさくら学級の様子【PPT】	・学級数や児童の様子をパワーポイントで紹介する。
3 いろいろな障害がある人がいること、また障害があっても工夫をすればみんなと同じように活動ができることを知る。 ★パラリンピックの紹介動画 ★アダプテッドスポーツの紹介動画	・動画を見ながら、さくら小学校にはいない(自閉・情緒障害や知的障害以外)障害がある人がいること、また、障害があっても工夫をすればみんなと同じように活動ができることが理解できるようにする。
4 アダプテッドスポーツについて、グループで考える。 ・バレーボール ・リレー (足が不自由な人と取り組む時) ・おにごっこ (視覚障害者と取り組む時)	・自分たちが取り組んだソフトバレーを思い出し、本当のバレーボールのルールとの違いを考え、バレーボールのルールを考えられるようにする。 ・「〇〇だからこういうルールにする」と考えた、「〇〇だから」という視点を大切にしよう話をする。
5 まとめ ・感想発表 ・今後の過ごし方	・さくら小で培ってきた、さくら学級の児童への自然なサポート・関わり方はとても大事だということをおさえ、これからのかかわり方について考えてみるよう言葉をかける。(スポーツに限らず日常生活でも「困っているかも…」「自分ならこれができる」と考え、接することができるようにする。)

6年生 さくらタイム

Colors,Future! いろいろって、未来。

今日のやること

- ① 今までのをふり返ろう。
- ② 多様性を知ろう。
- ③ アダプテッドスポーツを考えよう。

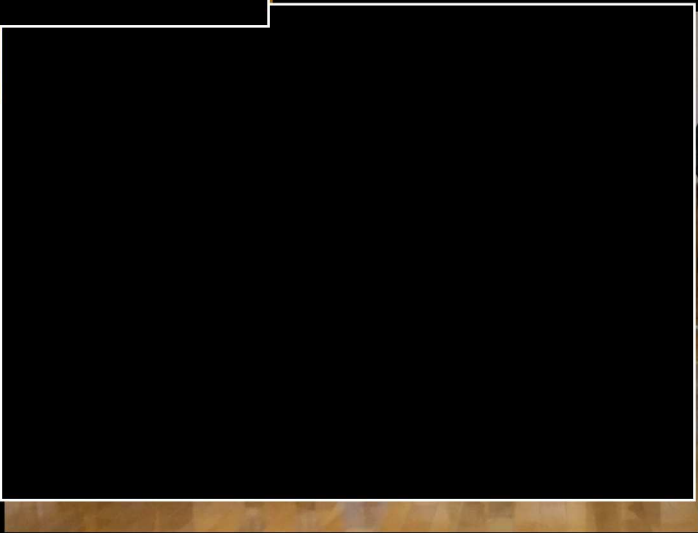
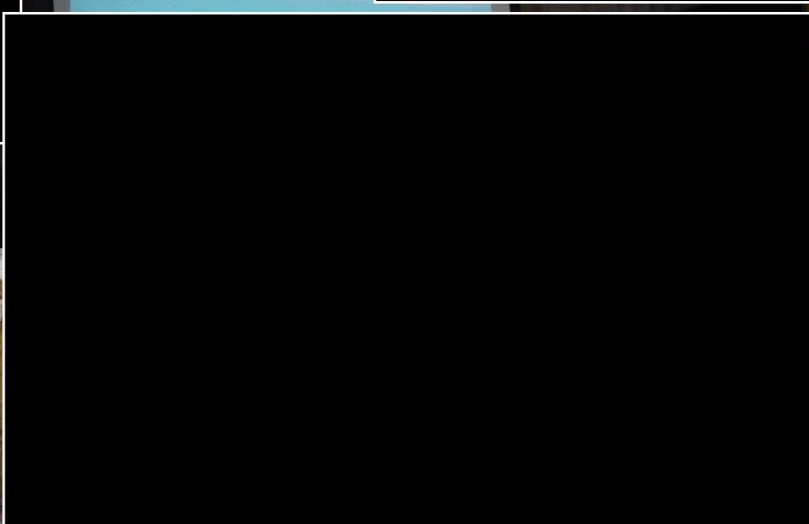
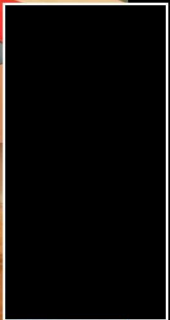
今日のやること

①今までをふり返ろう。

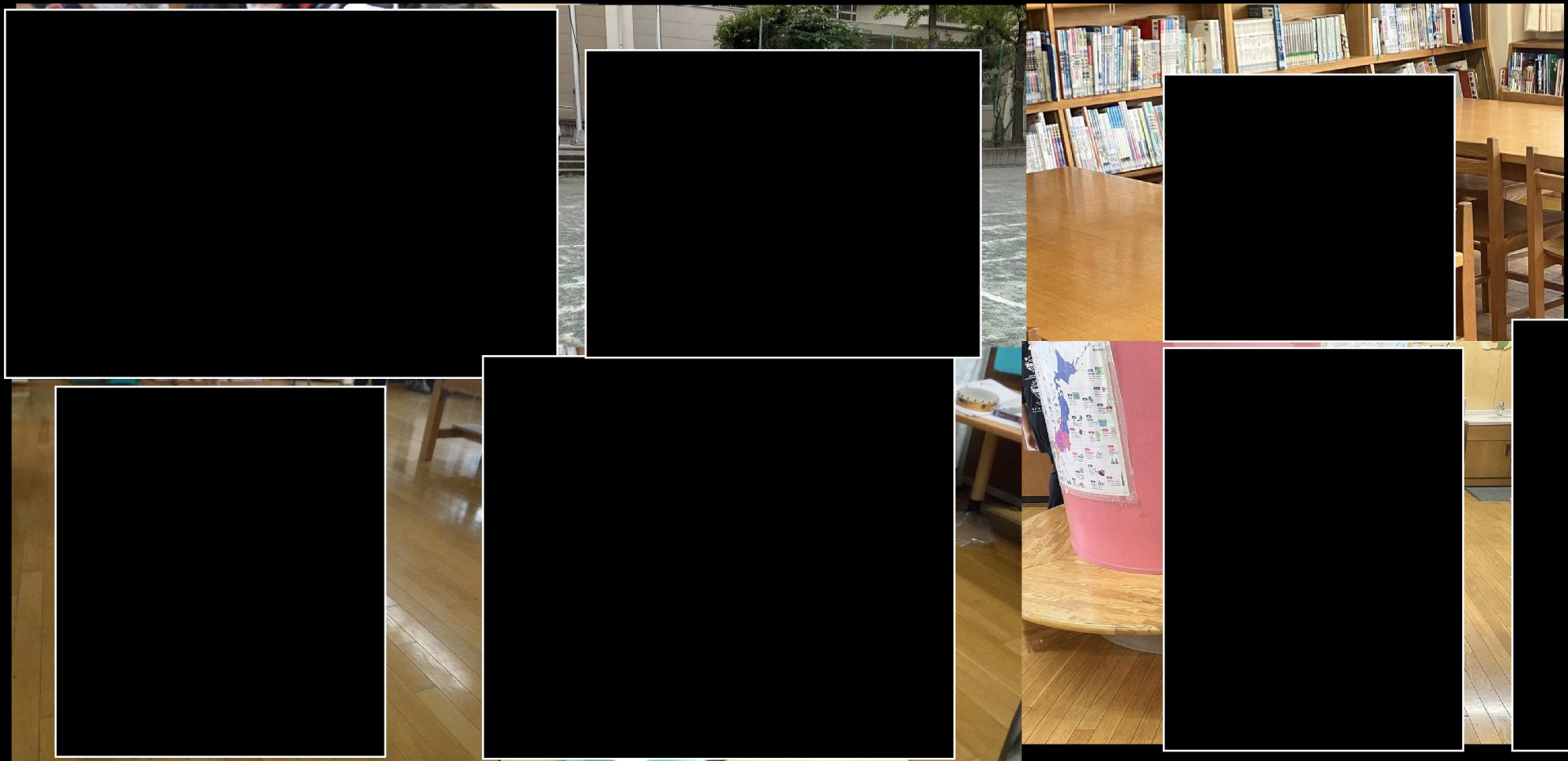
②多様性を知ろう。

③アダプテッドスポーツを考えよう。

どんなにかわりをしてきたかな？



どんななかかわりをしてきたかな？



各クラスの人気は...

くみ	子ども（人）	先生（人）
1	1 3	3
2	4	2
3	4	3
4	4	3

分教室

今日のやること

① 今までをふりかえろう。

② 多様性を知ろう。

③ アダプテッドスポーツを考えよう。

障害って？

第二条 この法律において、次の各号に掲げる用語の意義は、それぞれ当該各号に定めるところによる。

一 障害者 身体障害、知的障害、精神障害（発達障害を含む。）その他の心身の機能の障害（以下「障害」と総称する。）がある者であつて、障害及び社会的障壁により継続的に日常生活又は社会生活に相当な制限を受ける状態にあるものをいう。

二 社会的障壁 障害がある者にとって日常生活又は社会生活を営む上で障壁となるような社会における事物、制度、慣行、観念その他一切のものをいう。

- 全員が手話を使う世界だったら？
- 段差が一つもない。床が勝手に動く世界だったら？
- 明かりがなくて真っ暗な世界だったら？

多様性とは？

たよう-せい【タヤウ-】【多様性】

読み方：たようせい

いろいろな種類や傾向のものがあること。変化に富むこと。「生物の—を保つ」

weblio辞書

スポーツが好きな人。読書が好きな人。目が良い人。耳がいい人。足が速い人。
喋るのが得意な人。背の高い人。髪が長い人。勉強が得意な人。メガネをしている人。性別。年齢。趣味。コミュニケーション方法。



どんな多様性があった？

子ども、大人、 女性、男性、

義足、肌の色、服装

どんな多様性があった？

① 10

② 30

③ 50

④ 100以上

今日のやること

① 今までをふり返ろう。

② 多様性を知ろう。

③ アダプテッドスポーツを考えよう。

アダプテッドスポーツとは？

障害の有無にかかわらず、プレイヤー
に合わせてルールを適応（アダプト）
させるスポーツ。



アダプテッドスポーツを考えよう。

例: のあさんとバスケットボール

もの

- ドッジボールなど軽くて柔らかいものに変えてみる
- フラフープでゴールを低めにしてみよう

ルール

- 赤い線から入れたら10点 青い線5点 黄色い線3点
- 守りの人が入れない場所を作ろう

人

- 全員触らないと点数にならない
- 相手が決めた人はポイント半分

A、肢体不自由（車いす、腰より上は自由に動く）

リレー

B、視覚障害（目が見えづらい、ぼやけて見えている）

おにごっこ

C、今井先生、佐藤先生、奥田先生、渡辺先生

バレーボール

1 はん

リレー

物

○-----○
○-----○
○-----○

ルール

○-----○
○-----○
○-----○

人

○-----○
○-----○
○-----○

ふりかえり

- 授業の感想
- これからのかわり方について
考えたこと

さくら学級担任に相談（第1回「いっしょにあそぼう」）

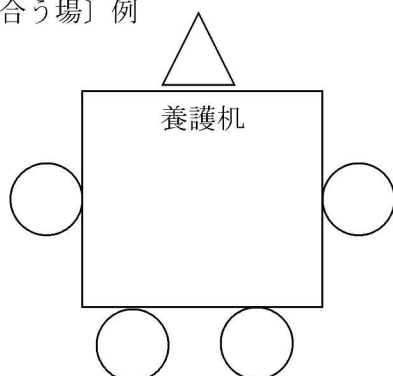
- 1 日時 6月20日（木）6時間目（14：30～15：00）
- 2 場所 さくら学級1、2、3、4組教室
- 3 単元 みんななかよし
- 4 本時 「遊びの計画を立てよう」
- 5 本時のねらい

楽しい遊びの活動にするために、さくら学級担任と遊びの計画を立てる。

6 展開

学習内容	*指導上の留意点
1 はじめのあいさつ	*あらかじめ決めてある教室に集まり、グループごとにはじめのあいさつをする。
2 遊びの計画を立て、かかわり方を知る。 (各グループ10～15分) ・グループごとに担当の大人と相談をする。 ・さくら学級の児童の興味のあることや個性、かかわり方、気を付けた方がよいことなどを教えてもらう。 ・決められた遊びにこだわらず、さくら学級の児童の表現や表情を大切に、一緒に楽しく過ごせればよいことを知る。 ・グループのめあてと必要な物、遊びの流れをワークシートに書き入れる。	*活動時間を確保するため、学習の流れと目的は教室で事前に指導しておく。 *指導者が重ならないよう、4年の担任がさくら学級にグループを送り出す。その他の児童は4年教室で待機する。 *話し合いができる場を用意する。 *基本、大人は自分が担当するグループと話し合いをする。 *大人は、担当する児童の適切な遊びやかかわり方について整理しておく。 *アドバイスをを行う時は、できる限り4年生の自主性を認めていくようにする。 *プレイルームは最初の計画にいれない。当日のさくら学級の児童の様子を見て必要な時にだけ使用する。 *話し合いの視点 ○準備するものは何か。 ○どういかかわり方をするとよいか。 「効果的な言葉かけ」や「接し方」について 4年生のめあてについて
3 おわりのあいさつ	*グループごとにおわりのあいさつをする。

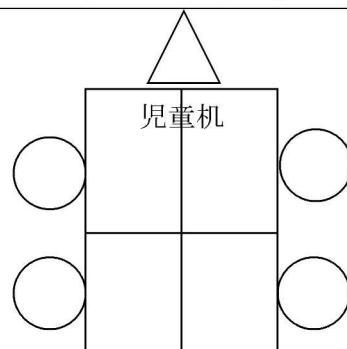
〔話し合う場〕例



○・・・4年生児童

△・・・指導者

もしくは



さくら学級・4年生 交流及び共同学習 「みんな なかよし」

- 1 日時・場所 2024年6月27日(木) 3時間目 体育館ほか
- 2 单元名 「みんな なかよし」
- 3 本時 「いっしょにあそぼう」(第1回)
- 4 目標

さくら学級	4年生
・4年生と一緒に活動することを楽しむ。 ・自分なりの表現の仕方で4年生に自分の思いを表したり伝えたりする。	・かかわりを通してそのよさや喜びを感じるとともに、所属感や仲間意識を高める。 ・みんなが楽しめる活動を通して、協力しながら活動する。

5 展開

時間	指導上の支援及び留意点 (さくら学級)	主な学習活動	指導上の支援及び留意点 (4年生)
10:50	・始まりがはっきりわかるよう身ぶりも取り入れたあいさつをする。	1. はじめのあいさつ 「これから、みんななかよしのべんきょうをはじめます。」	・司会はゆっくり間を取って話せるように事前に練習しておく。
いっしょにあそぼう (第1回)			
	・自然と体が動き、楽しで行えるよう、普段からクラスごとに繰り返し行っておく。	2. いっしょにうたおう 「♪さくら だいすき」 「♪おすしのうた」	・全員がさくら学級の児童と触れ合えるよう、手をつないだり手遊びをしたりする人を交代する。
11:00	・活動への見通しをもち、4年生と一緒に遊ぶことを楽しみにできるよう、個々に事前に言葉かけや指導をしておく。 ・4年生とさくら学級児童とのかかわりを大事にし、安全面で問題がない限り見守るようにする。	3. いっしょにあそぼう グループごとに遊ぶ ＊体育館 ＊体育館通路 ＊校庭 ＊さくら学級各教室 ＊ピロティエ ＊音楽ホール ＊バス車庫 (*プレイルーム)	・事前に遊びの内容を調整し、遊びに必要なものを準備しておく。 ・子どもたちの自主的な活動を見守り、必要に応じて支援する。 ・計画したことが終わらなくても決められた時間で動くように支援する。
		体育館に集合する時刻を伝える。 <u>11:25</u>	
11:25	・楽しく踊れる雰囲気をつくる。	4. みんなでおどろう 「♪エビカニクス」	・グループでまとまって踊るように促す。

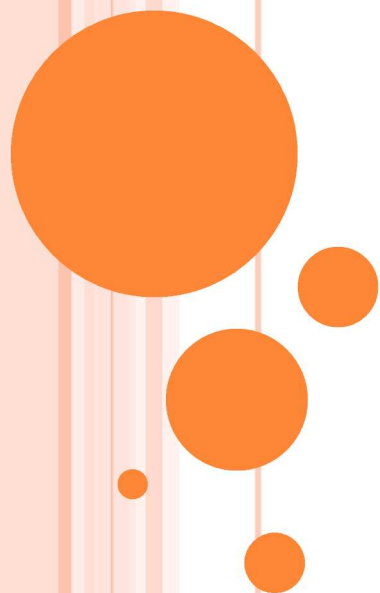
11:34	・4年生の方を向いて聞けるよう促す。 ・やりとりや会話が広がるように支援する。 ・必要に応じて、さくら学級児童の気持ちを代弁する。 ・終わりがはっきりわかるよう身ぶりも取り入れたあいさつをする。	5. おはなしタイム グループごとに感想交流をする *遊びを振り返る *会話を楽しむ *握手やタッチなどのやりとりをする 6. おわりのあいさつ 「これでみんななかよしのべんきょうをおわります。お、し、まい！」 次回の活動日を伝える。 <u>7月16日（火）</u> <u>（第2回いっしょにあそぼう）</u>	・相手の目を見て、話しかけるように伝えることを事前に指導する。 ・なにが楽しかったか、どういう活動ができたかなどふりかえりを話すように声をかける。 ・身ぶりも取り入れたあいさつをする。 ・グループごとに教室に戻る。
-------	---	---	---

※グループごとに円になって集合しておく

みんな なかよし

はじまりの会

クラスごとに
ならびましょう！



はじまいのかい

- みんななかよしって？
- ♪「さくらだいすき」
- じこしょうかいをする
- プレゼント
- 4年生からのことば・うた
- バルーンダンス
- ♪「エビカニクス」
- かんそうをはっぴょうする

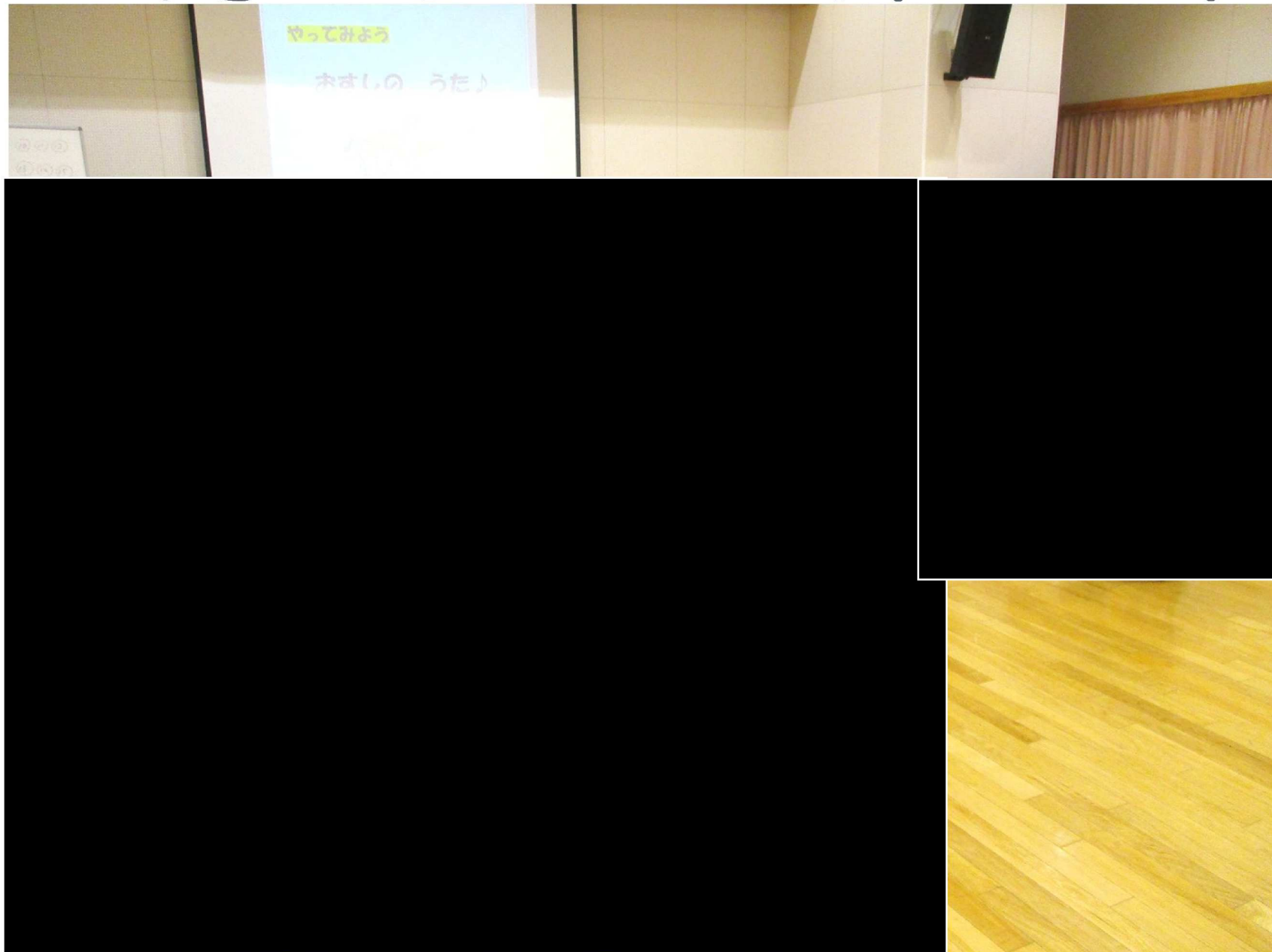


はじまりのかい

みんななかよし
どんなことをするのかな？



6月 よろしくねの会

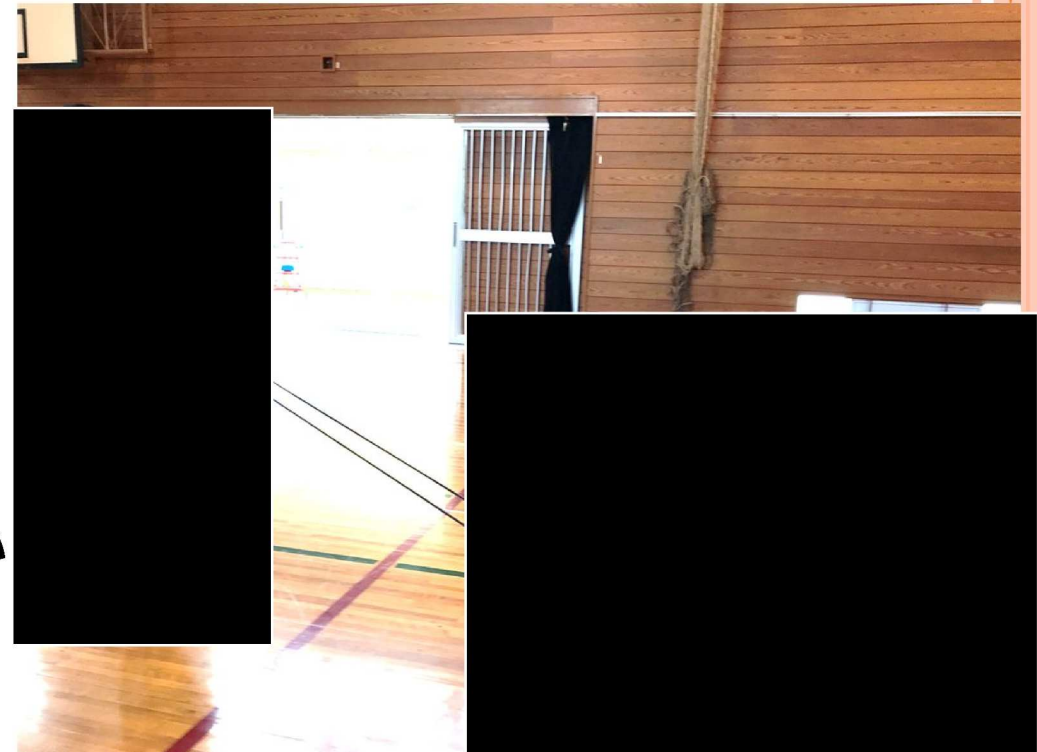


いっしょにあそぼう！



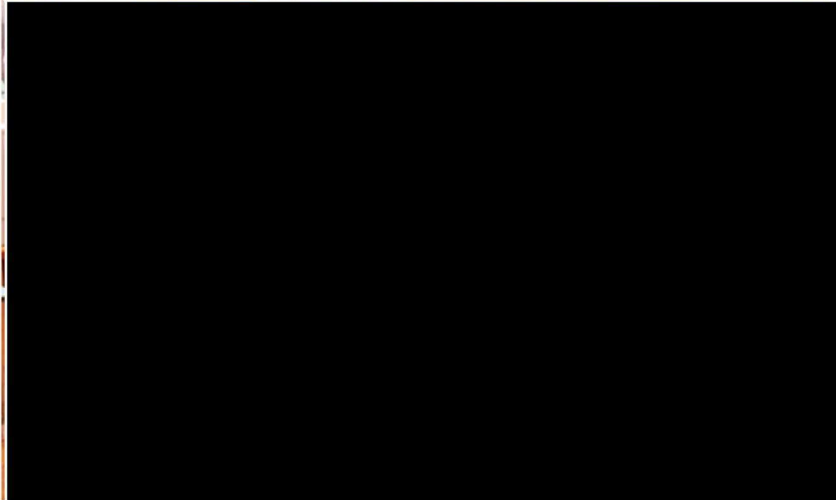
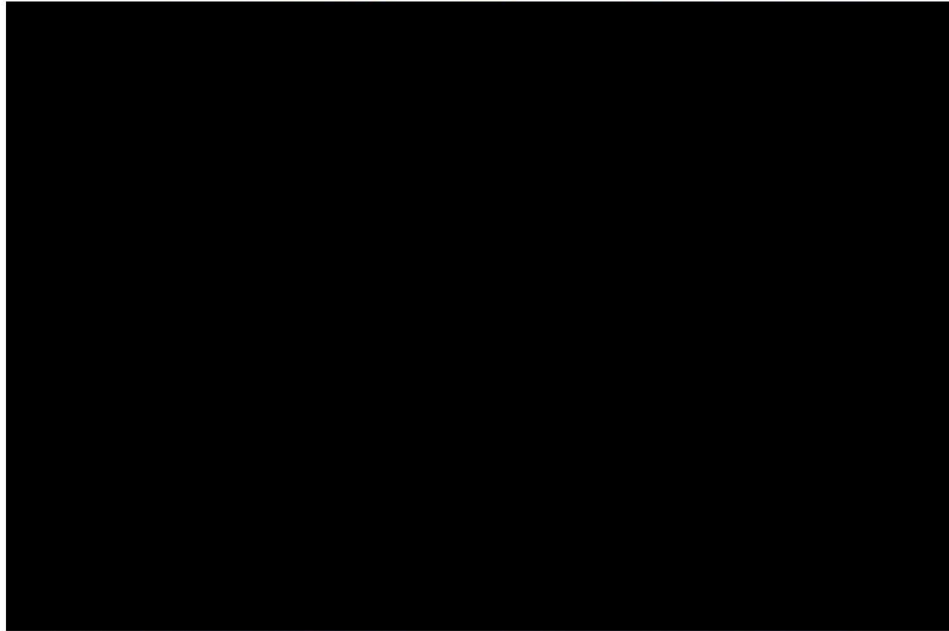
① 先生と4年生で話し合い

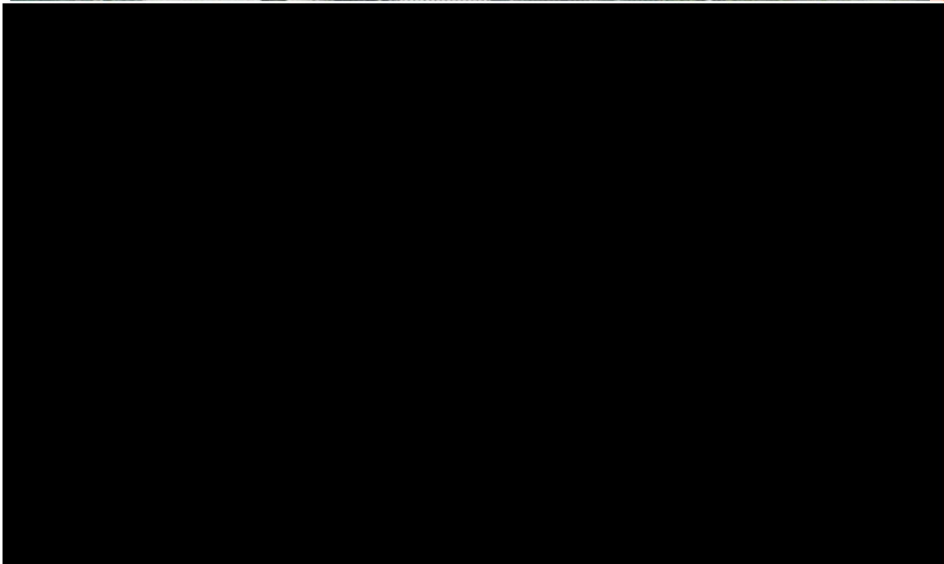
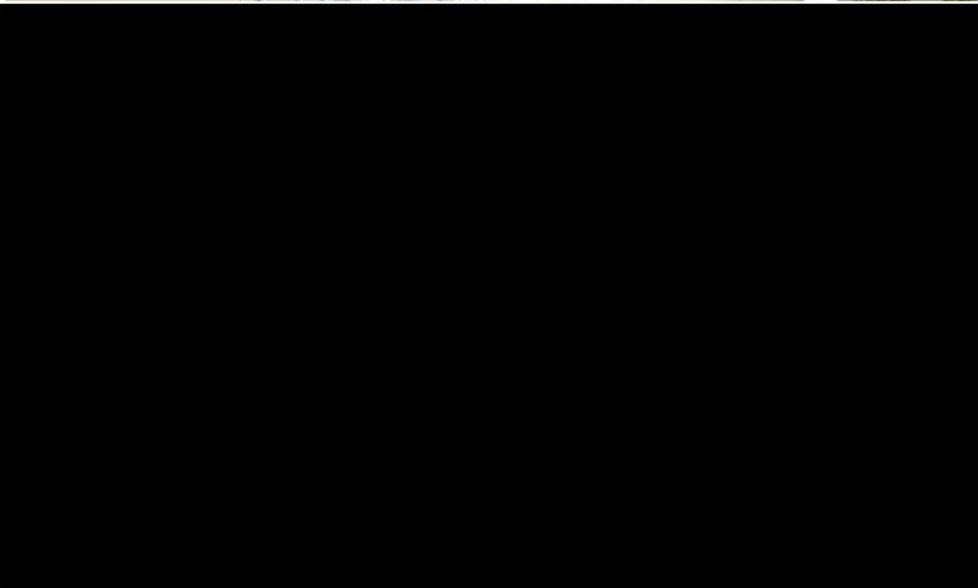
② あそぼう！



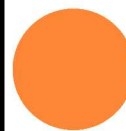
③ 次に向けて話し合い

いっしょにあそぼう

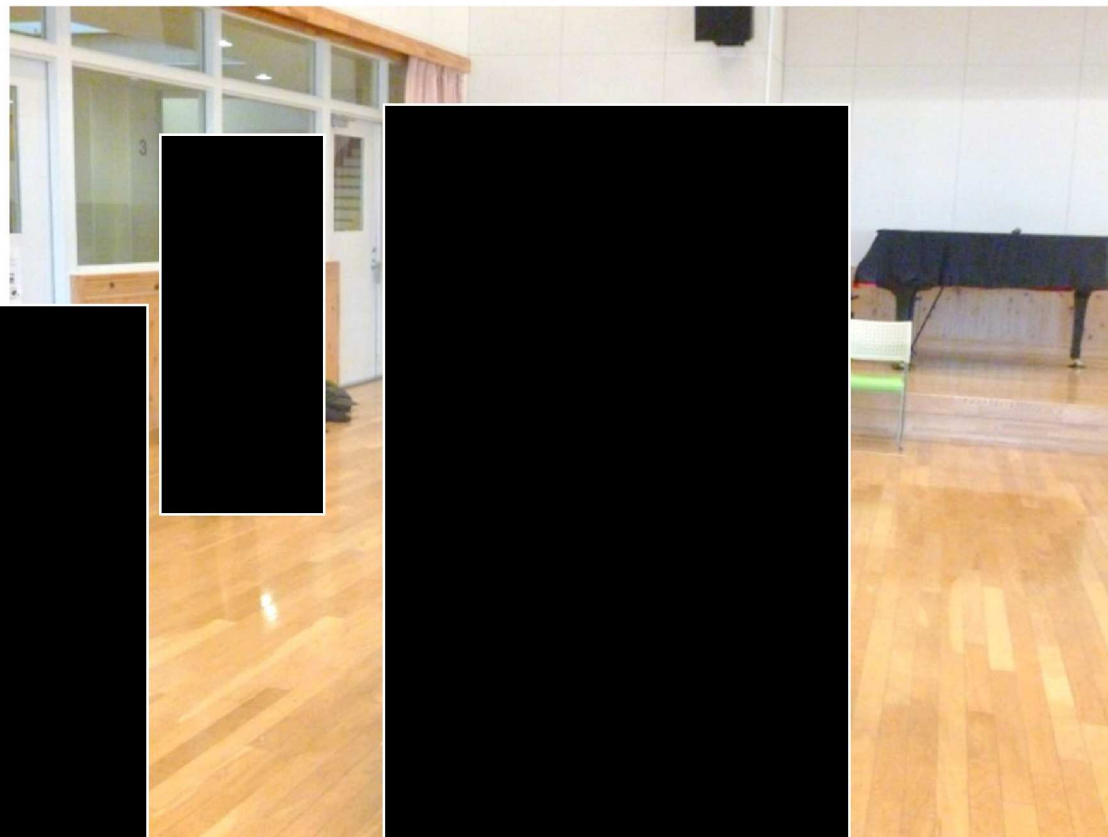




バルーンであそぼう



しゅうかい



ねらい

いっしょにあそんで
なかよくなろう！



わからないことは、
なんでもきいてね！



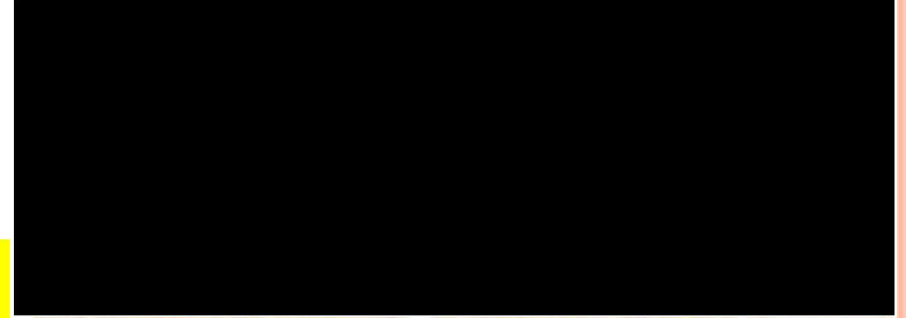
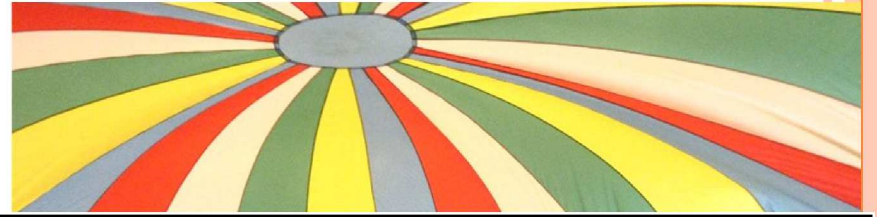
♪ 「さくらだいすき」

- みんなともだち てをつなごう
- にこにこえがおが うれしいね
- みんなのえがおが あつまって
- おおきなすてきな はながさく
- さみしいときも てをつなごう
- だいじょぶ だいじょぶ だいじょうぶ
- さくら さくら さくらのなかま
- さくら さくら みんな だいすき ●

さくらがっきゅうから

じこしょうかい
プレゼント





やってみよう



バレーンダンス♪



みんなでおどろう



エビカニクス ♪



ふいかえい



終わりのあいさつ



さくら学級担任とふりかえり（第1回「いっしょにあそぼう」）

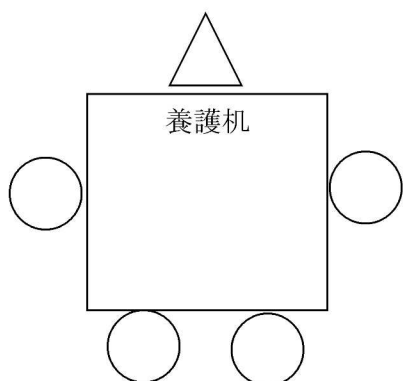
- 1 日時 6月27日（木）6時間目（14：30～15：00）
- 2 場所 さくら学級1、2、3、4組教室
- 3 単元 みんななかよし
- 4 本時 「活動のふりかえりをしよう」
- 5 本時のねらい

今後もよりよいかかわり方をするために、さくら学級担任と活動を振り返る。

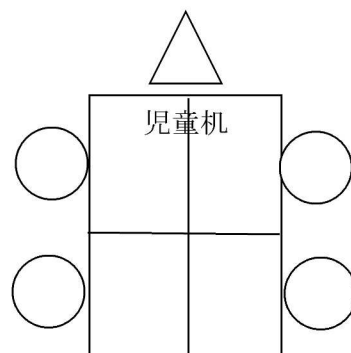
6 展開

学習内容	*指導上の留意点
1 はじめのあいさつ 2 遊びの活動を振り返る。 （10分～15分） ・4年生児童一人一人感想を発表する。 ・どんな言動がよかったのか、どうすればもっと楽しくかかわれるかなどのアドバイスを聞く。 ・次にどんな遊びをしてみたいか考える。 ・ワークシートのふりかえりの欄に記入する。	*大人は、伝える内容について整理しておく。 *4年生児童の一人一人の ① 大人が良いと感じた言動 ② よりよくかかわるためのアドバイス などを伝える。 *次に遊ぶことを話し合う。 *話し合いが終わったグループから順次教室に戻る。 *さくら学級児童が欠席した為にグループがばらばらになってしまった4年生児童は、遊びで入ったグループのところに入る。 *次回の活動につながるように、良かった点をたくさん褒めてあげてください。

〔話し合う場〕例



もしくは



さくら学級担任に相談（第2回「いっしょにあそぼう」）

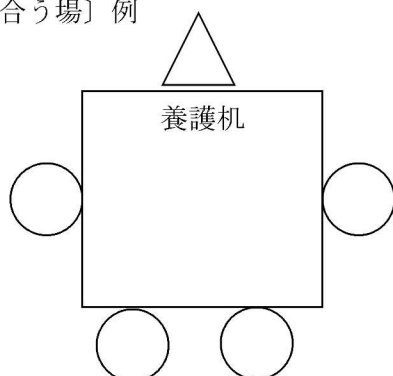
- 1 日時 7月9日（火）6時間目（14：30～15：00）
- 2 場所 さくら学級1、2、3、4組教室
- 3 単元 みんななかよし
- 4 本時 「遊びの計画を立てよう」
- 5 本時のねらい

楽しい遊びの活動にするために、さくら学級担任と遊びの計画を立てる。

6 展開

学習内容	*指導上の留意点
1 はじめのあいさつ	*あらかじめ決めてある教室に集まり、グループごとにはじめのあいさつをする。
2 遊びの計画を立て、かかわり方を知る。 (各グループ 10～15 分) ・グループごとに担当の大人と相談をする。 ・さくら学級の児童の興味のあることや個性、かかわり方、気を付けた方がよいことなどを教えてもらう。 ・決められた遊びにこだわらず、さくら学級の児童の表現や表情を大切に、一緒に楽しく過ごせればよいことを知る。 ・グループのめあてと必要な物、遊びの流れをワークシートに書き入れる。	*活動時間を確保するため、学習の流れと目的は教室で事前に指導しておく。 *指導者が重ならないよう、4年の担任がさくら学級にグループを送り出す。その他の児童は4年教室で待機する。 *話し合いができる場を用意する。 *基本、大人は自分が担当するグループと話し合いをする。 *大人は、担当する児童の適切な遊びやかかわり方について整理しておく。 *アドバイスをを行う時は、できる限り4年生の自主性を認めていくようにする。 *プレイルームは最初の計画にいれない。当日のさくら学級の児童の様子を見て必要な時にだけ使用する。 *話し合いの視点 ○準備するものは何か。 ○どういのかかわり方をするとよいか。 「効果的な言葉かけ」や「接し方」について 4年生のめあてについて
3 おわりのあいさつ	*グループごとにおわりのあいさつをする。

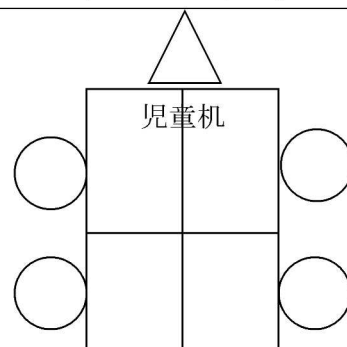
〔話し合う場〕例



○・・・4年生児童

△・・・指導者

もしくは



さくら学級・4年生 交流及び共同学習 「みんな なかよし」

- 1 日時・場所 2024年7月16日(火) 3時間目 体育館ほか
- 2 单元名 「みんな なかよし」
- 3 本時 「いっしょにあそぼう」(第2回)
- 4 目標

さくら学級	4年生
・4年生と一緒に活動することを楽しむ。 ・自分なりの表現の仕方で4年生に自分の思いを表したり伝えたりする。	・かかわりを通してそのよさや喜びを感じるとともに、所属感や仲間意識を高める。 ・みんなが楽しめる活動を通して、協力しながら活動する。

5 展開

時間	指導上の支援及び留意点 (さくら学級)	主な学習活動	指導上の支援及び留意点 (4年生)
10:50	・始まりがはっきりわかるよう身ぶりも取り入れたあいさつをする。	1. はじめのあいさつ 「これから、みんななかよしのべんきょうをはじめます。」	・司会はゆっくり間を取って話せるように事前に練習しておく。
いっしょにあそぼう (第2回)			
	・自然と体が動き、楽しで行えるよう、普段からクラスごとに繰り返し行っておく。	2. いっしょにうたおう 「♪さくら だいすき」 「♪おすしのうた」	・全員がさくら学級の児童と触れ合えるよう、手をつないだり手遊びをしたりする人を交代する。
11:00	・活動への見通しをもち、4年生と一緒に遊ぶことを楽しみにできるよう、個々に事前に言葉かけや指導をしておく。 ・4年生とさくら学級児童とのかかわりを大事にし、安全面で問題がない限り見守るようにする。	3. いっしょにあそぼう グループごとに遊ぶ ＊体育館 ＊体育館通路 ＊校庭 ＊さくら学級各教室 ＊ピロティエ ＊音楽ホール ＊バス車庫 (＊プレイルーム)	・事前に遊びの内容を調整し、遊びに必要なものを準備しておく。 ・子どもたちの自主的な活動を見守り、必要に応じて支援する。 ・計画したことが終わらなくても決められた時間で動くように支援する。
		体育館に集合する時刻を伝える。 <u>11:25</u>	
11:25	・楽しく踊れる雰囲気をつくる。	4. みんなでおどろう 「♪エビカニクス」	・グループでまとまって踊るように促す。

11:34	・4年生の方を向いて聞けるよう促す。 ・やりとりや会話が広がるように支援する。 ・必要に応じて、さくら学級児童の気持ちを代弁する。 ・終わりがはっきりわかるよう身ぶりも取り入れたあいさつをする。	5. おはなしタイム グループごとに感想交流をする *遊びを振り返る *会話を楽しむ *握手やタッチなどのやりとりをする 6. おわりのあいさつ 「これでみんななかよしのべんきょうをおわります。お、し、まい！」 次回の活動日を伝える。 <u>10月</u> <u>運動会に向けて</u> <u>バルーン練習</u>	・相手の目を見て、話しかけるように伝えることを事前に指導する。 ・なにが楽しかったか、どういう活動ができたかなどふりかえりを話すように声をかける。 ・身ぶりも取り入れたあいさつをする。 ・グループごとに教室に戻る。
-------	--	--	--

※グループごとに円になって集合しておく

さくら学級担任とふりかえり（第2回「いっしょにあそぼう」）

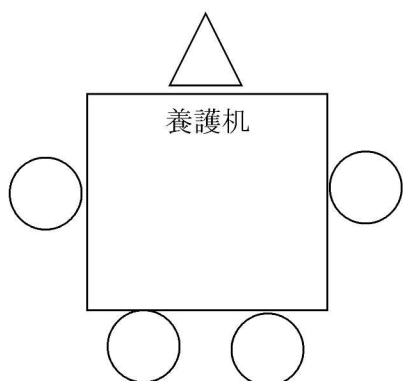
- 1 日時 7月16日（木）6時間目（14：30～15：00）
- 2 場所 さくら学級1、2、3、4組教室
- 3 単元 みんななかよし
- 4 本時 「活動のふりかえりをしよう」
- 5 本時のねらい

今後もよりよいかかわり方をするために、さくら学級担任と活動を振り返る。

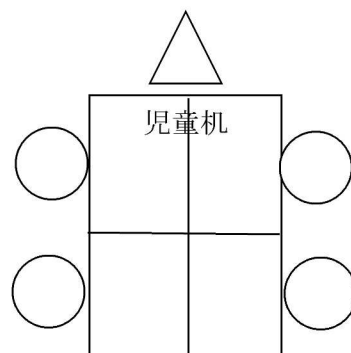
6 展開

学習内容	*指導上の留意点
1 はじめのあいさつ 2 遊びの活動を振り返る。 （10分～15分） ・4年生児童一人一人感想を発表する。 ・どんな言動がよかったのか、どうすればもっと楽しくかかわれるかなどのアドバイスを聞く。 ・次にどんな遊びをしてみたいか考える。 ・ワークシートのふりかえりの欄に記入する。	*大人は、伝える内容について整理しておく。 *4年生児童の一人一人の ① 大人が良いと感じた言動 ② よりよくかかわるためのアドバイス などを伝える。 *次に遊ぶことを話し合う。 *話し合いが終わったグループから順次教室に戻る。 *さくら学級児童が欠席した為にグループがばらばらになってしまった4年生児童は、遊びで入ったグループのところに入る。 *次回の活動につながるように、良かった点をたくさん褒めてあげてください。

〔話し合う場〕例



もしくは



さくら学級担任に相談（第3回「いっしょにあそぼう」）

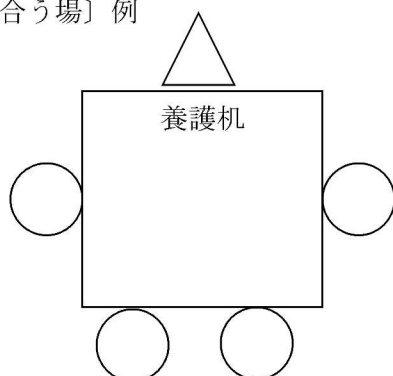
- 1 日時 11月21日（木）6時間目（14：30～15：00）
- 2 場所 さくら学級1、2、3、4組教室
- 3 単元 みんななかよし
- 4 本時 「遊びの計画を立てよう」
- 5 本時のねらい

楽しい遊びの活動にするために、さくら学級担任と遊びの計画を立てる。

6 展開

学習内容	*指導上の留意点
1 はじめのあいさつ	*あらかじめ決めてある教室に集まり、グループごとにはじめのあいさつをする。
2 遊びの計画を立て、かかわり方を知る。 (各グループ 10～15 分) ・グループごとに担当の大人と相談をする。 ・さくら学級の児童の興味のあることや個性、かかわり方、気を付けた方がよいことなどを教えてもらう。 ・決められた遊びにこだわらず、さくら学級の児童の表現や表情を大切に、一緒に楽しく過ごせればよいことを知る。 ・グループのめあてと必要な物、遊びの流れをワークシートに書き入れる。	*活動時間を確保するため、学習の流れと目的は教室で事前に指導しておく。 *指導者が重ならないよう、4年の担任がさくら学級にグループを送り出す。その他の児童は4年教室で待機する。 *話し合いができる場を用意する。 *基本、大人は自分が担当するグループと話し合いをする。 *大人は、担当する児童の適切な遊びやかかわり方について整理しておく。 *アドバイスをを行う時は、できる限り4年生の自主性を認めていくようにする。 *プレイルームは最初の計画にいれない。当日のさくら学級の児童の様子を見て必要な時にだけ使用する。 *話し合いの視点 ○準備するものは何か。 ○どういのかかわり方をするとよいか。 「効果的な言葉かけ」や「接し方」について 4年生のめあてについて
3 おわりのあいさつ	*グループごとにおわりのあいさつをする。

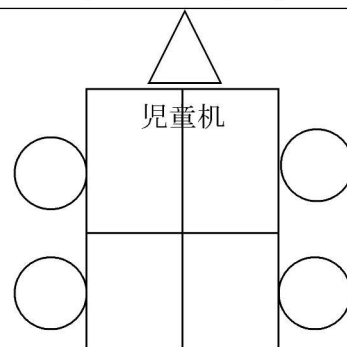
〔話し合う場〕例



○・・・4年生児童

△・・・指導者

もしくは



さくら学級・4年生 交流及び共同学習 「みんな なかよし」

- 1 日時・場所 2024年11月28日(火) 3時間目 体育館ほか
- 2 单元名 「みんな なかよし」
- 3 本時 「いっしょにあそぼう」(第2回)
- 4 目標

さくら学級	4年生
・4年生と一緒に活動することを楽しむ。 ・自分なりの表現の仕方で4年生に自分の思いを表したり伝えたりする。	・かかわりを通してそのよさや喜びを感じるとともに、所属感や仲間意識を高める。 ・みんなが楽しめる活動を通して、協力しながら活動する。

5 展開

時間	指導上の支援及び留意点 (さくら学級)	主な学習活動	指導上の支援及び留意点 (4年生)
10:50	・始まりがはっきりわかるよう身ぶりも取り入れたあいさつをする。	1. はじめのあいさつ 「これから、みんななかよしのべんきょうをはじめます。」	・司会はゆっくり間を取って話せるように事前に練習しておく。
いっしょにあそぼう (第3回)			
	・自然と体が動き、楽しで行えるよう、普段からクラスごとに繰り返し行っておく。	2. いっしょにうたおう 「♪さくら だいすき」 「♪おすしのうた」	・全員がさくら学級の児童と触れ合えるよう、手をつないだり手遊びをしたりする人を交代する。
11:00	・活動への見通しをもち、4年生と一緒に遊ぶことを楽しみにできるよう、個々に事前に言葉かけや指導をしておく。 ・4年生とさくら学級児童とのかかわりを大事にし、安全面で問題がない限り見守るようにする。	3. いっしょにあそぼう グループごとに遊ぶ ＊体育館 ＊体育館通路 ＊校庭 ＊さくら学級各教室 ＊ピロティエ ＊音楽ホール ＊バス車庫 (＊プレイルーム)	・事前に遊びの内容を調整し、遊びに必要なものを準備しておく。 ・子どもたちの自主的な活動を見守り、必要に応じて支援する。 ・計画したことが終わらなくても決められた時間で動くように支援する。
		体育館に集合する時刻を伝える。 <u>11:25</u>	
11:25	・楽しく踊れる雰囲気をつくる。	4. みんなでおどろう 「♪エビカニクス」	・グループでまとまって踊るように促す。

11:34	・4年生の方を向いて聞けるよう促す。 ・やりとりや会話が広がるように支援する。 ・必要に応じて、さくら学級児童の気持ちを代弁する。 ・終わりがはっきりわかるよう身ぶりも取り入れたあいさつをする。	5. おはなしタイム グループごとに感想交流をする *遊びを振り返る *会話を楽しむ *握手やタッチなどのやりとりをする 6. おわりのあいさつ 「これでみんななかよしのべんきょうをおわります。お、し、まい！」 次回の活動日を伝える。 <u>12月11日</u> <u>なかよし集会</u>	・相手の目を見て、話しかけるように伝えることを事前に指導する。 ・なにが楽しかったか、どういう活動ができたかなどふりかえりを話すように声をかける。 ・身ぶりも取り入れたあいさつをする。 ・グループごとに教室に戻る。
-------	--	---	--

※グループごとに円になって集合しておく

さくら学級担任とふりかえり（第3回「いっしょにあそぼう」）

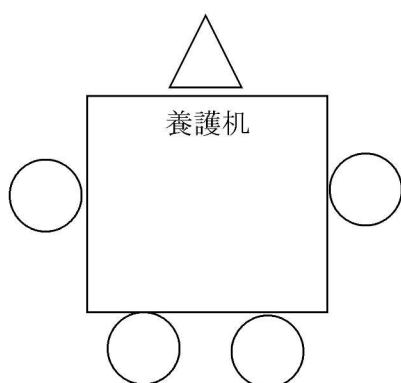
- 1 日時 11月28日（木）6時間目（14:30～15:00）
- 2 場所 さくら学級1、2、3、4組教室
- 3 単元 みんななかよし
- 4 本時 「活動のふりかえりをしよう」
- 5 本時のねらい

今後もよりよいかかわり方をするために、さくら学級担任と活動を振り返る。

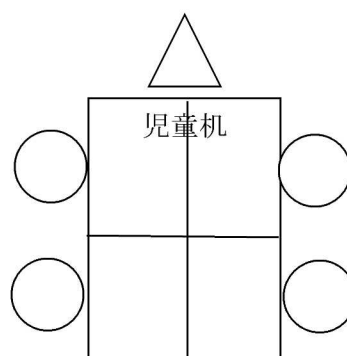
6 展開

学習内容	*指導上の留意点
1 はじめのあいさつ 2 遊びの活動を振り返る。 （10分～15分） ・4年生児童一人一人感想を発表する。 ・どんな言動がよかったのか、どうすればもっと楽しくかかわれるかなどのアドバイスを聞く。 ・次にどんな遊びをしてみたいか考える。 ・ワークシートのふりかえりの欄に記入する。	*大人は、伝える内容について整理しておく。 *4年生児童の一人一人の ① 大人が良いと感じた言動 ② よりよくかかわるためのアドバイス などを伝える。 *次に遊ぶことを話し合う。 *話し合いが終わったグループから順次教室に戻る。 *さくら学級児童が欠席した為にグループがばらばらになってしまった4年生児童は、遊びで入ったグループのところにいる。 *次回の活動につながるように、良かった点をたくさん褒めてあげてください。

〔話し合う場〕例



もしくは



さくら学級・4年生 交流及び共同学習 「みんな なかよし」

- 1 日時・場所 2025年1月30日(木) 3時間目 体育館ほか
- 2 单元名 「みんな なかよし」
- 3 本時 「いっしょにあそぼう」(第4回)
- 4 目標

さくら学級	4年生
・4年生と一緒に活動することを楽しむ。 ・自分なりの表現の仕方で4年生に自分の思いを表したり伝えたりする。	・かかわりを通してそのよさや喜びを感じるとともに、所属感や仲間意識を高める。 ・みんなが楽しめる活動を通して、協力しながら活動する。

5 展開

時間	指導上の支援及び留意点 (さくら学級)	主な学習活動	指導上の支援及び留意点 (4年生)
10:50	・始まりがはっきりわかるよう身ぶりも取り入れたあいさつをする。	1. はじめのあいさつ 「これから、みんななかよしのべんきょうをはじめます。」	・司会はゆっくり間を取って話せるように事前に練習しておく。
いっしょにあそぼう (第3回)			
	・自然と体が動き、楽しで行えるよう、普段からクラスごとに繰り返し行っておく。	2. いっしょにうたおう 「♪さくら だいすき」 「♪おすしのうた」	・全員がさくら学級の児童と触れ合えるよう、手をつないだり手遊びをしたりする人を交代する。
11:00	・活動への見通しをもち、4年生と一緒に遊ぶことを楽しみにできるよう、個々に事前に言葉かけや指導をしておく。 ・4年生とさくら学級児童とのかかわりを大事にし、安全面で問題がない限り見守るようにする。	3. いっしょにあそぼう グループごとに遊ぶ ＊体育館 ＊体育館通路 ＊校庭 ＊さくら学級各教室 ＊ピロティエ ＊音楽ホール ＊バス車庫 (＊プレイルーム)	・事前に遊びの内容を調整し、遊びに必要なものを準備しておく。 ・子どもたちの自主的な活動を見守り、必要に応じて支援する。 ・計画したことが終わらなくても決められた時間で動くように支援する。
		体育館に集合する時刻を伝える。 <u>11:25</u>	
11:25	・楽しく踊れる雰囲気をつくる。	4. みんなでおどろう 「♪エビカニクス」	・グループでまとまって踊るように促す。

11:34	・4年生の方を向いて聞けるよう促す。 ・やりとりや会話が広がるように支援する。 ・必要に応じて、さくら学級児童の気持ちを代弁する。 ・終わりがはっきりわかるよう身ぶりも取り入れたあいさつをする。	5. おはなしタイム グループごとに感想交流をする *遊びを振り返る *会話を楽しむ *握手やタッチなどのやりとりをする 6. おわりのあいさつ 「これでみんななかよしのべんきょうをおわります。お、し、まい！」 次回の活動日を伝える。 2月12日 <u>たのしかったね集会</u>	・相手の目を見て、話しかけるように伝えることを事前に指導する。 ・なにが楽しかったか、どういう活動ができたかなどふりかえりを話すように声をかける。 ・身ぶりも取り入れたあいさつをする。 ・グループごとに教室に戻る。
-------	--	---	--

※グループごとに円になって集合しておく

みんななかよし 学習指導案

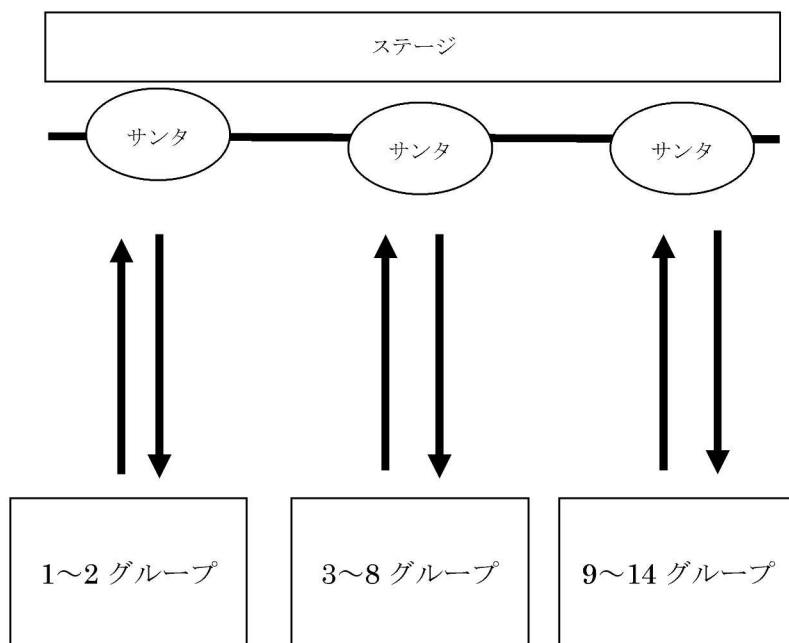
1. 日時 2024年12月11日(水) 3校時
2. 場所 音楽ホール
3. 単元 みんななかよし
4. 本時 「なかよし集会をしよう」
5. 本時のめあて
 - ・なかよし集会を通して、グループとの親睦を図ったりかかわりを深めたりする。(全体)
 - ・さくら学級の児童とかかわりながら、歌を歌ったりゲームをしたりする。(4年生)
 - ・人とかかわって過ごす楽しさを味わうと共に、相手に自分の思いを表したり伝えたりする。(さくら)

6. 本時の流れ *隊形については下記参照

時間	児童の活動	・留意点	*担当
10:35	①始めのあいさつ ②集会の流れの確認	・4年生はさくら学級へお迎え。 ・さくら学級の日直と4年生の代表が前に出る。	
10:40	③みんなで歌おう ♪「さくらの歌」	・さくら学級の大人は担当の児童のグループを見る。事前に分担しておく。	*音楽ながす (4年担任)
10:50	④みんなで遊ぼう ○「ためろ、なかよしボール!ゲーム」を行う。 →台車に乗ってプレゼントを取って戻ってくる。台車には2名乗り、残りの2~3名が押す。 台車①: 1~2グループ 台車②: 3~8グループ 台車③: 9~14グループ	・台車に乗る時の安全指導をする。 ・各グループ一名、サンタさん役を決める。 ・台車に乗る者やクラスの中での順番は各クラスで決めておく。 ・台車に乗る人がボールをもち、サンタさんの持っている袋にボールをいれる。(動きは裏面参照)	*ゲームの説明 (4年生)
11:10	⑥みんなで踊ろう ♪「エビカニクス」	・空いている先生は前で踊ってもらいたい!	
11:15	⑤さくら学級からプレゼントを渡す。		*音楽 (4年担任)
11:20	⑥終わりのあいさつ	・さくら学級の日直と4年生の代表が前に出る。見送る。	

＊グループごとの隊形

さくら学級はできるだけグループの場所近くに座る。
4年生は同じグループの友達と一緒に座る。



＊ゲーム時の隊形（上図↑）

＊景品について

- ・さくら学級からは、クリスマスカード
- ・4年生から担当の児童の子へ、（毎年任意です、なくても大丈夫です）

準備する物

- ・さくら学級からクリスマスカード
- ・台車 3 台
- ・音楽（さくら・エビカニ）
- ・音楽（レース中、ゆっくりめの曲）
- ・スピーカーとマイク
- ・テープ（スタートライン）
- ・サンタの帽子と袋 3 つ
- ・台車の人がつけるクリスマス飾りなど

前日までの仕事

4 年生

- ・当日の内容を伝え、グループごとにゲームで台車に乗る順番やサンタ役（2 名ほど）を決めておく。

さくら

- ・クリスマスカード
- ・司会の練習（4 年生実行委員・さくら 1）
- ・会場準備

司会の言葉

- () さくら学級の日直さん、でてきてください。
- () これから、みんななかよしのべんきょうを 始めます。
- () 今日の流れです。

さくら学級・4年生 交流及び共同学習 「みんな なかよし」

- 1 日時・場所 2024年6月14日（金）3校時 音楽ホール
- 2 単元名 「みんな なかよし」
- 3 本時 よろしくねの会
- 4 目標 ○グループのメンバーの顔や得意なことを知る。

5 展開 進行：4年生担任 司会：4年実行委員

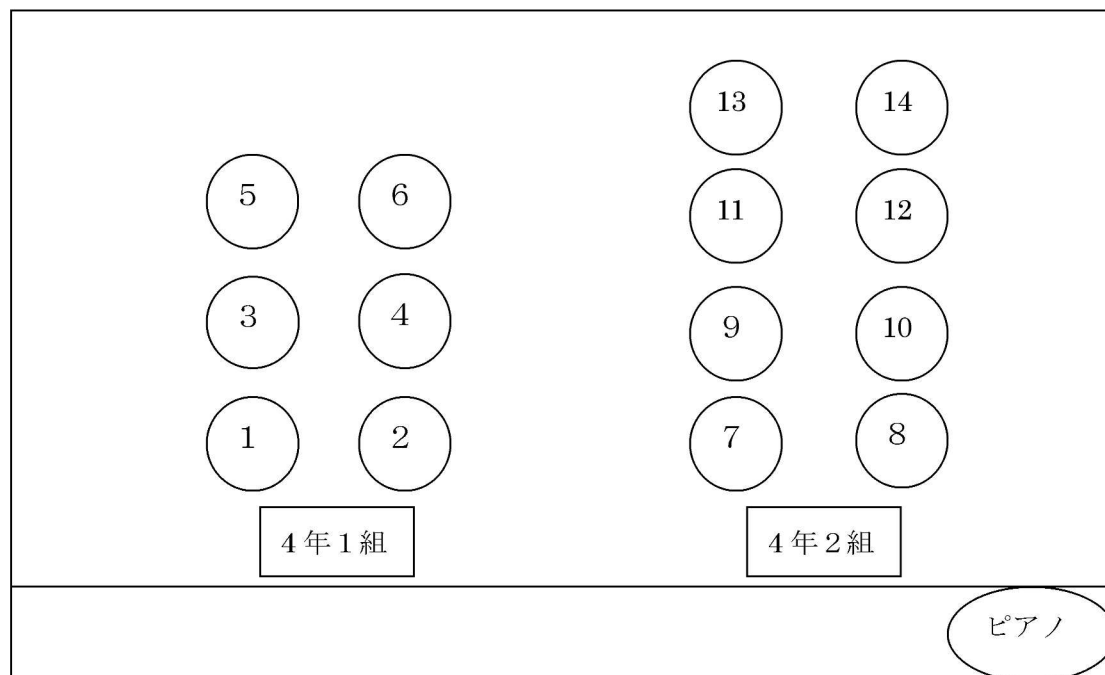
時間	学習活動	・指導上の留意点
10:40	※グループごとに集まった状態で始める。 1 はじめのあいさつをする。 「これからみんななかよしのべんきょうをはじめます。」 2 今日の活動内容を知る。 3 「さくらだいすき」を歌う。2回 4 「おすしのうた」の手遊びを行う。2回	・さくら学級、4年生の全クラスの日直（or 実行委員）が前に出られるようにする。 ・わかりやすいよう絵や映像で表示する。（パワーポイントなど） ・舞台に体を向ける。 ・グループごとに、円になり、手を繋いで行う。
10:50	5 互いのことを詳しく知るために自己紹介やクイズをする。 6 「エビカニクス」を踊る。 7 ふりかえりをする。	・さくら学級は、自己紹介カードを見せながら行う。 ・さくら学級の担任と4年の担任1名ずつ舞台で踊る。 ・各クラス代表から感想を聞き、楽しかったイメージを膨らませ、今後の活動に期待感や楽しさを持たせるようにする。 ・実態に応じて、事前に発表者を決めておく。（さくら各クラス1名ずつ・実行委員）
11:15	8 おわりのあいさつをする。 ・同じグループの友だちと教室まで一緒に戻る。	・各クラスの日直（実行委員）が前に出られるようにする。
11:20		

準備するもの

- ・学習活動の流れ・パワーポイント（平野） ・音源 CD（溝田）
- ・CD アンプ（溝田） ・パソコン・プロジェクター・マイク（平野、佐藤）
- ・さくら学級自己紹介カード ※A4カラー（各担任）

並び方

- ・活動1・2・3は、舞台に体を向け座る。
- ・活動4で、互いの発表を見えやすくするためにグループ内で向き合う。



自己紹介カードについて

- ・本時で使用した自己紹介カードは、縮小して4年廊下に1年間掲示してもらう。
- ・A4の白黒コピーを、グループの4年生に配布し、ファイルに保管してもらう。（白黒コピーは、活動後にさくら学級担任が4年生担任へ渡す。）
- ・カードにのせる情報は、今後の「いっしょにあそぼう」で参考になりそうな情報がよい。



さくら学級クイズについて

- ・さくら学級や児童個人に関するクイズを5問程度考えてくる。このクイズを通して、4年生がさくら学級児童との共通点を見い出したり、より興味をもってもらえるようになったりするとよい。

グループごとにあつまりましょう。

ピアノ

ぶたい

4-2

8

7

10

9

12

11

14

13

4-1

2

1

4

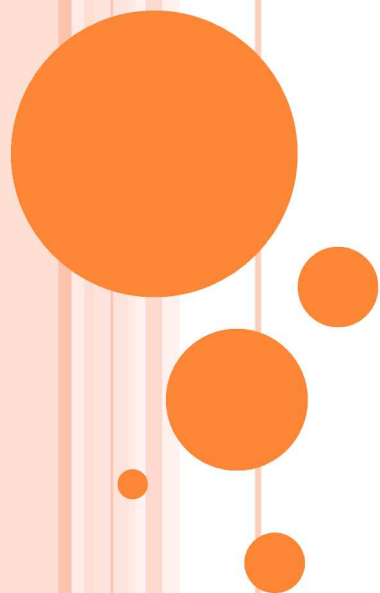
3

6

5

みんな なかよし

「よろしくねのかい」



よろしくねのかい

～きょうのながれ～

1. 「さくらだいすき♪」をうたう
2. 「おすしのうた♪」のてあそび
3. じこしょうかい&クイズをする
4. 「エビカニクス♪」をおどる
5. ふりかえりをする



「さくらだいすき ♪」

- みんなともだち てをつなごう
- にこにこえがおが うれしいね
- みんなのえがおが あつまって
- おおきなすてきな はながさく
- さびしいときも てをつなごう
- だいじょぶ だいじょぶ だいじょうぶ
- さくら さくら さくらのなかま
- さくら さくら みんな だいすき ●

「おすしのうた ♪」

おすし すし すし ごはんを パタパタ
おすし すし すし わさびを ツンツン
おすし すし すし おすし すし すし

1ばん 「はい トロいっちゃん！」

2ばん 「はい かっぱまき！」

3ばん 「はい ごちそうさま！」



じこしょうかい&クイズ

をしよう



みんなでおどろう



エビカニクス ♪

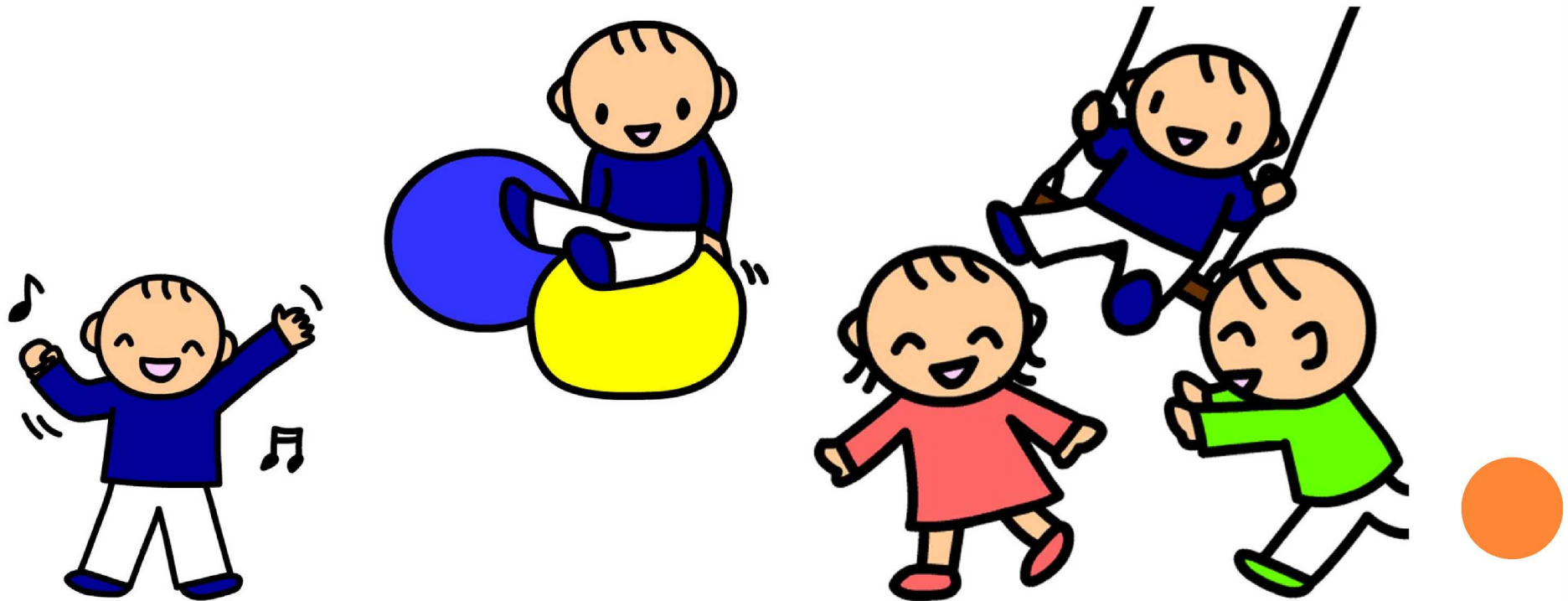


ふいかえい



じかいは ● ● ●

6 がっ 20 にち



さくら学級・4年生 交流及び共同学習「みんな なかよし」

1 日時・場所 2024年10月2日(水) 3校時・体育館

2 単元名 「みんな なかよし」

3 本時 「バルーンダンスを楽しもう①」

4 目標 ○4年生と一緒にバルーンダンスを楽しむ。

5 展開

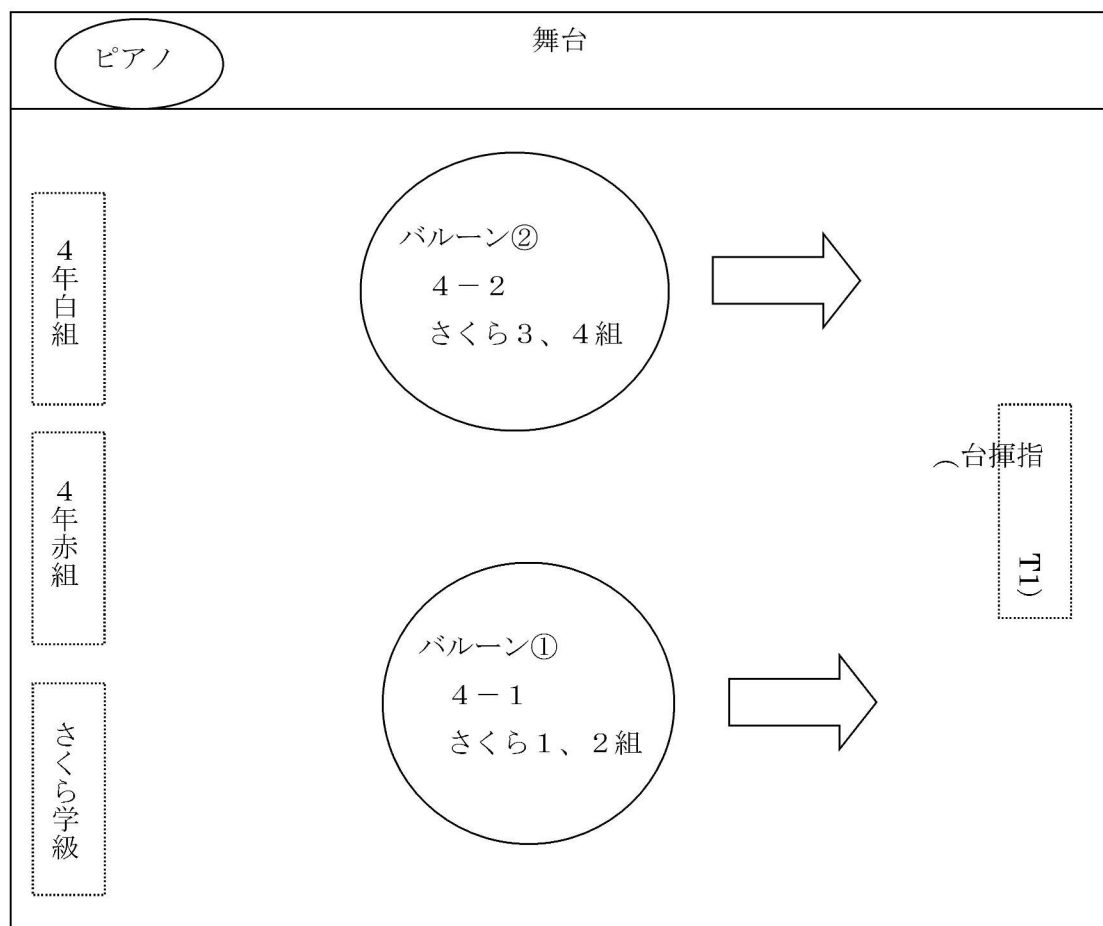
進行:平野

時間	学習活動	・指導上の留意点
10:40	0 さくら学級の友だちを迎えに行く。 1 はじめのあいさつをする。(実行委員) 「これから <u>みんな なかよし</u>の <u>勉強</u>を <u>始めます</u>。」 2 今日の学習内容を知る。 ①「さくらだいすき」を歌う。 ②バルーンダンスをする。 3 「さくらだいすき」を歌う。	・グループで座る。 ・さくら学級と4年生の日直が前に出られるようにする。 ・スライドで流れを表示する。
10:45	児童席の位置につく→バルーンを広げ、入場する。 4 バルーンダンスを踊る。♪「Magic」♪ ①合図とそれぞれの動き方を知る。(曲なし) ※実際にバルーンを動かしながら確認する。 ・ひよこ:しゃがんで小さく上下に動かす ・ペンギン:立って小さく上下に動かす ・鳥:左回りで右手をを伸ばして歩く ・上/下:頭より上まで、腰で止める ・右/真ん中/左:上下に動かせない ・かくれんぼ:中に入り、中から手でおさえる。 ・メリーゴーランド:中に棒を持った人が立ち、鳥。 ・ロケット:ふくらまして、前へ3歩、後ろへ3歩。 ・ケーキドーム:おしりで押さえる ②曲に合わせて、踊る。(1回)	※バルーンダンス注意事項※ ・優しく動かす ・バルーンの上に物をのせない ・動きを合わせる。
11:10	2回目ができればやる。	
11:15	5 グループごとに集まる。 終わりのあいさつをする。(実行委員) 「これで <u>みんな なかよし</u>の <u>勉強</u>を <u>終わります</u>。」	・次回は校庭で活動することを伝える。

準備するもの

- ・パソコン、学習の流れ…平野
- ・バルーン(大)2つ、アンプ(分教室教材室)、音源…分教室
- ・メリーゴーランド用の棒2本…分教室

ダンスの隊形(体育館)



さくら学級・4年生 交流及び共同学習 「みんな なかよし」

- 1 日時・場所 2023年10月31日（火）3校時・校庭（雨：体育館）
- 2 単元名 「みんな なかよし」
- 3 本時 「バルーンダンスを楽しもう②」
- 4 目標 ○4年生と一緒にバルーンダンスを楽しむ。

5 展開

進行：4年教員

時間	学習活動	指導上の留意点
10:50	0 さくら学級の友だちを迎えに行く 1 はじめのあいさつをする。	・バルーンの位置に座って待機をする。 ・さくら学級、4年生の日直が前に出るようにする
11:00	2 今日の学習内容を知る。 3 バルーンダンスをする。 ①ポイントを確認しながら踊る。 ②入場から通して踊る。	・バルーンをセットしておく。 ※バルーンダンス注意事項※ ・優しく動かす ・バルーンの中に入らない ・バルーンの上に物をのせない ・動きを合わせる。
11:25	4 振り返り 4年生希望者、さくら学級日直	・バルーンダンスをして楽しかったことや頑張ったことを発表。
11:35	5 おわりのあいさつをする。	・実行委員、さくら学級日直が前に出るようにする。

さくら学級・4年生 交流及び共同学習 「みんな なかよし」

- 1 日時・場所 2023年11月1日（水）3校時・校庭（雨：体育館）
- 2 単元名 「みんな なかよし」
- 3 本時 「バルーンダンスを楽しもう②」
- 4 目標 ○4年生と一緒にバルーンダンスを楽しむ。

5 展開

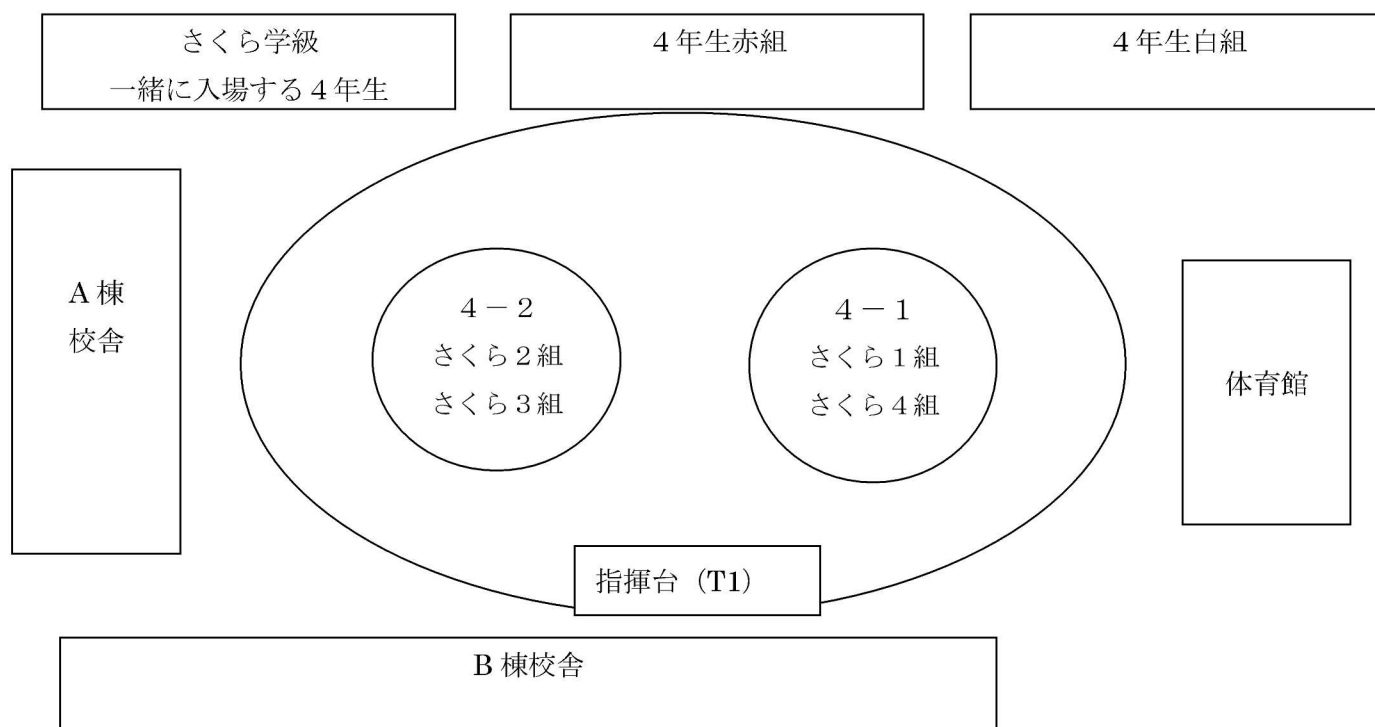
進行：4年教員

時間	学習活動	指導上の留意点
10:50	0 さくら学級の友だちを迎えに行く 1 はじめのあいさつをする。	・バルーンの<u>入場の位置</u>に座って待機をする。 ・さくら学級、4年生の日直が前に出るようにする
11:00	2 今日の学習内容を知る。 3 バルーンダンスをする。 入場から通して踊る。	・バルーンをセットしておく。 ※バルーンダンス注意事項※ ・優しく動かす ・バルーンの中に入らない ・バルーンの上に物をのせない ・動きを合わせる。
11:25	4 振り返り 4年生希望者、さくら学級日直	・バルーンダンスをして楽しかったことや頑張ったことを発表。
11:35	5 おわりのあいさつをする。	・実行委員、さくら学級日直が前に出るようにする。

準備するもの

- ・CD…分教室
- ・バルーン（大）2つ…分教室
- ・アンプ（職員室）…1組
- ・ワイヤレスマイク1本（校庭用）…1組

ダンスの隊形（校庭）※雨天時は体育館にて行う。



分教室のテントから入場する 4 年生

各グループ 2～3 人を目安に前プログラム(プンムルノリ)に出ない人が、分教室テントまでお迎えに行き一緒に入場する。退場は入場を一緒にしなかった児童 2～3 人で分教室テントに退場する。

分教室テントから入退場しない 4 年生は各組のテントから入退場する。

さくら 1 組は分教室テントから入場し、各組のテントに退場する。

4 年生にお願い

- ・力任せにバルーンを動かさない
- 低学年もいるため身長差がある。そのため 4 年生が思い切りバルーンを上を持ち上げると届かない子もいる。また、握力が弱い子もいるため激しく動かすとバルーンを持てない
- ・バルーン上にものをのせない。
- 特に外に出たとき、砂をのせる人がいます。

登校・朝の会見学

1 日時 9月 日 () 1・2時間目 (8:35～9:30) (4-1)

9月 日 () 1・2時間目 (8:35～9:30) (4-2)

2 場所 バス車庫、さくら学級2・3・4組、プレイルーム

3 単元 みんななかよし

4 本時 「さくら学級の登校や朝の会の見学をしよう」

5 本時のねらい

さくら学級の日常の様子を見学し、一日の始まりの流れを知り、さくら学級の児童の理解を深める。

6 展開

	学習内容	*指導上の留意点
8:35	1.はじめのあいさつ (バス車庫前に集合)	*バスから降りる様子が見えるようにバス車庫の体育館通路に沿った位置に2列で座る。(雨天の時はスロープ)
8:40	2.登校・朝の会の見学の仕方を知る。	*4年担任は予め3グループに分けられるようにしておく。
8:45	3.登校の様子・体づくりを見学する。 ・登校してきた児童と挨拶する。 ・ラジオ体操、ランニングをする。	(さくら2組/3組/4組グループ) *バスに乗って登校する児童と自宅から直接来る児童がいることを伝える。直接登校は保護者と一緒に登校する。 *本人なりの挨拶があることを伝える。 *体づくりについて説明をする。
8:50	4.さくら学級の教室に移動し、朝の支度の見学をする。 ・教室に入ってから荷物を所定の場所に置く様子を見る。	*各クラス10人前後入り、さくら学級の児童の動きを妨げない位置で見学できるよう、さくら学級担任が誘導する。 *さくら学級の児童の持ち物やその児童の動き方もよく見るよう言葉をかける。
9:15	5.朝の会を見学する。 (9:15～9:35) ※時間がずれることもある。 ・気づいたことをワークシートに記入する。	*教室の後方で座って見学できるよう誘導する。 *さくらの歌など知っている曲は4年も一緒に歌うように促す。 *それぞれの児童が会話をするときどんなツールを使っているのか、どのようにしたらコミュニケーションをとれるのか、観察するように言葉をかける。
9:30	6.さくら学級の児童と挨拶をして教室に戻る。	*4年生が一人ずつさくら学級の児童と挨拶ができるように支援する。

さくら学級教室・教具見学

1 日時 9月 5日(木) 6時間目(14:15~15:00)(4-1)

9月 日() 6時間目(14:15~15:00)(4-2)

2 場所 さくら学級各教室(2組、3組、4組)、プレイルーム

3 単元 みんななかよし

4 本時 「さくら学級の教室や教具を知ろう」

5 本時のねらい

見学を通して、さくら学級児童の生活や学習の様子を知る。

6 展開

14:25

に降りてきてもらう
(下校指導のため)

時間	学習内容	*指導上の留意点
14:25	1. はじめのあいさつをする(1分)	*クラスを3グループ(2組/3組/4組)に分けておく。さらに、各グループを前半/後半に分けておく。 *2組/3組/4組の前半グループ➡各教室からスタート *2組/3組/4組の後半グループ➡プレイルームからスタート *部屋ごとにはじめのあいさつをする。 *活動時間を確保するため、学習の流れと目的は4年生担任が事前に指導しておく。
14:26	2. 見学する(30分)	*20分で前半/後半を入れ替える。(交代の合図のホイッスルを鳴らす。)
14:36	・15分でプレイルームと教室に交代する。 ・基本的な流れは、	*効果的な活動になるよう、各部屋で話題にすることを決めておく。
14:41	さくら学級担任の話	<u>2組(みぞた)</u> <u>3組(うえだ)</u> <u>4組(さとう)</u> ・個別学習の教材、教具について ・絵カードや手話について ・教室環境について ホイッスル (うじょう) <u>プレイルーム</u> (おくやま・とりい) ・順番に体験する。 ・遊具の効果について
14:51	↓ 見る、ふれる	
	↓ 時間があれば質問	
	(10分見学、5分振り返り)	
15:00	3. おわりのあいさつをする(1分)	*最後の場所(教室)でおわりのあいさつをする。

さくら学級教室・教具見学

月 日 () 名前 ()

見学した日 11月 日 ()

はじめて知ったこと・わかったこと

[illegible]

感じたこと・考えたこと

[illegible]

メモ

名前 ()

[illegible]

さくら学級教室・教具見学

月 日 () 名前 ()

見学した日 9月 日 ()

めあて

さくら学級の教室や教具を知ろう。

はじめて知ったこと・わかったこと

[illegible]

感じたこと・考えたこと

[illegible]

メモ

名前 ()

[illegible]

さくら学級登校・朝の会見学

月 日 () 名前 ()

見学した日 9月 日 ()

めあて

さくら学級の登校や朝の会を知ろう。

はじめて知ったこと・わかったこと

感じたこと・考えたこと

[illegible]

メモ

名前 ()

[illegible]

知りたいこと・質問

知りたいこと・質問

知りたいこと・質問

知りたいこと・質問

たのしかったね集会 学習指導案

訂正版

1. 日時 2025年2月12日(水) 3校時
2. 場所 音楽ホール
3. 単元 4年生となかよし
4. 本時 「楽しかったね集会をしよう」
5. 本時のめあて
 - ・楽しかったね集会を通して、グループの友だちとの活動を振り返ったりかかわりを深めたりする。
 - ・さくら学級の児童とかかわりながら、歌を歌ったりお話やダンスをしたりする。(4年生)
 - ・人とかかわって過ごす楽しさを感じ、相手に自分の思いを表したり伝えたりする。(さくら)

6. 本時の流れ

時間	児童の活動	・留意点	*担当
10:40	☆グループごとにかたまって座る ①始めのあいさつ ②集会の流れの確認 ③♪「さくらの歌」 「おすしのうた」 「バスに乗って」	・さくら学級の日直と4年生の代表が前に出る。 ・スライドで流れを確認する。 ・グループごとに輪になることを伝える。 ・各グループで縦に並び、バスになる。	*司会(平野・4年実行委員) ♪佐藤 ♪佐藤 ♪平野
10:50	④4年生から、一年の振り返り	・これまでの活動を写真と共にふりかえる。	*スライド(平野) ♪平野
11:00	⑤♪「君にはくしゅ」 ♪「エビカニクス」	・最後の活動になるので、元気いっぱいに踊ることで楽しい気持ちで終われるようにする。	♪佐藤
11:10	④お手紙交換 4年生 さくらの友だちに一人一言 さくら 楽しかったことなどを話す。	・相手の目を見て、話しかけるように伝えることを事前に指導する。 ・やりとりや会話が広がるように支援する。	♪オルゴール(平野)
11:15	⑧終わりのあいさつ	・さくら学級の日直と4年生の代表が前に出る。 ・4年生はさくら学級の教室まで一緒に付き添う。	

準備する物

- ・CD・マイク・パソコン・プロジェクター・ワイヤレススピーカー・手紙
- ☆休み時間に4年生実行委員さんはホールでリハーサルをする。

みんな なかよし

「たのしかったねのかい」

たのしかったねのかい

～きょうのながれ～

1. 「さくらだいすき♪」 「おすしのうた♪」
「バスにのって♪」
2. いちねんの ふりかえり
3. ダンスタイム♪
4. おてがみタイム

「さくらだいすき ♪」

- ・みんなともだち てをつなごう
- ・にこにこえがおが うれしいね
- ・みんなのえがおが あつまって
- ・おおきなすてきな はながさく
- ・さびしいときも てをつなごう
- ・だいじょぶ だいじょぶ だいじょうぶ
- ・さくら さくら さくらのなかま
- ・さくら さくら みんな だいすき

「おすしのうた ♪」

おすし すし すし ごはんを パタパタ
おすし すし すし わさびを ツンツン
おすし すし すし おすし すし すし

1ばん 「はい トロいっちゃん！」

2ばん 「はい かっぱまき！」

3ばん 「はい ごちそうさま！」

「バスにのって」

バスにのって ゆられてる ゴーゴー
バスにのって ゆられてる ゴーゴー

- ①そろそろ みぎに まがります！
- ②そろそろ ひだりに まがります！
- ③そろそろ でこぼこみちです
- ④そろそろ とまります とうちゃく！

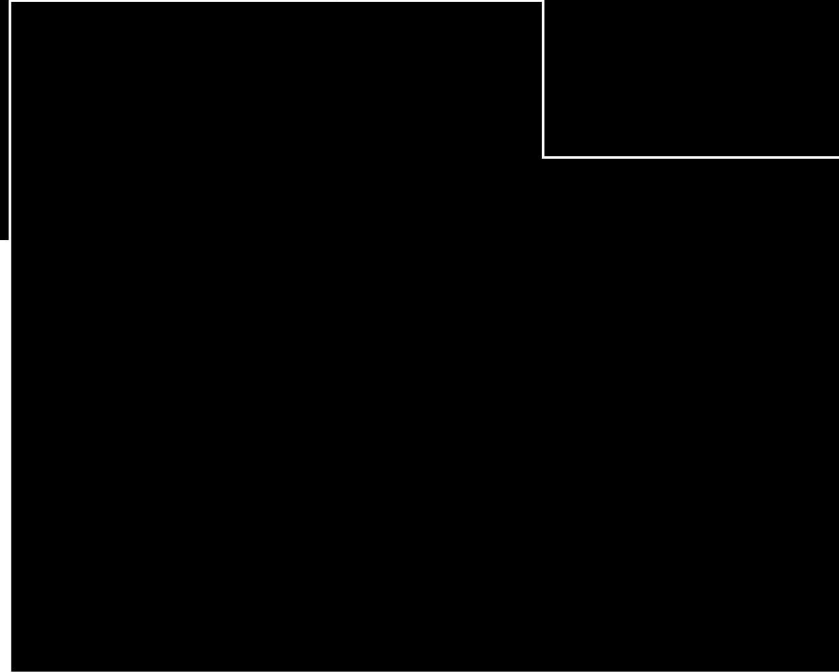
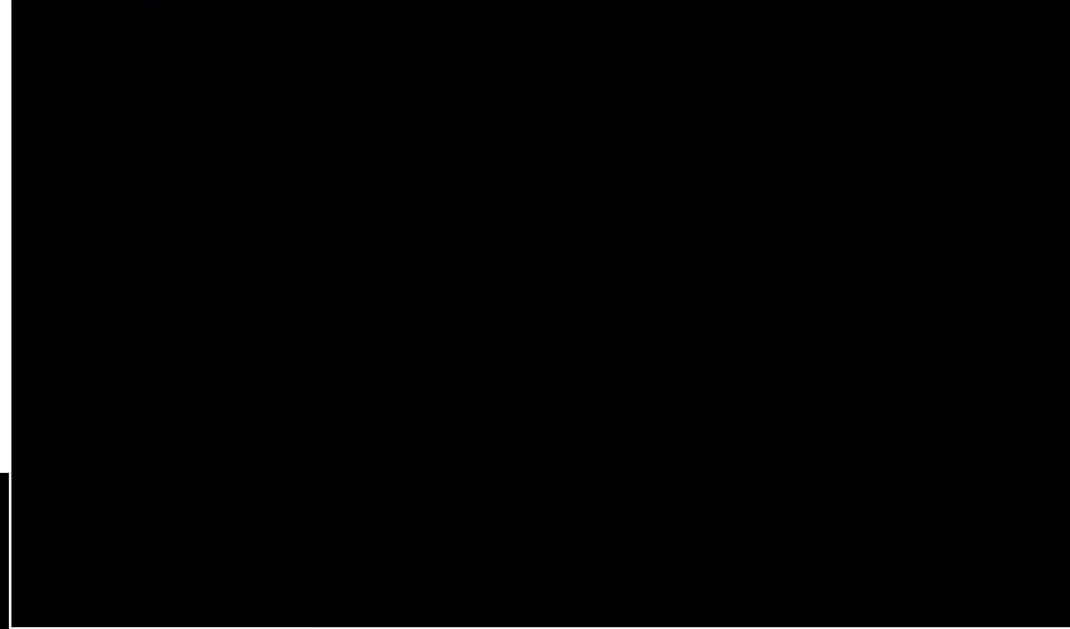
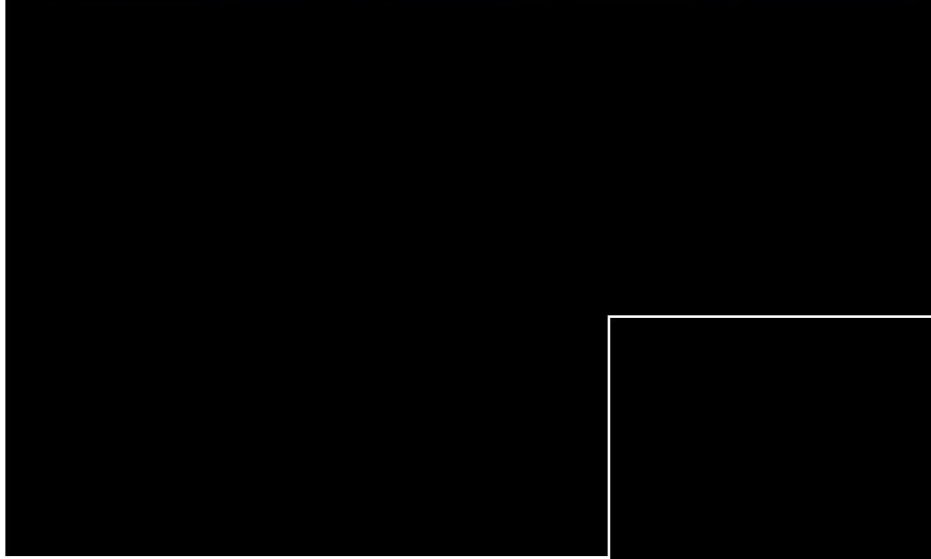
いちねんのふりかえり

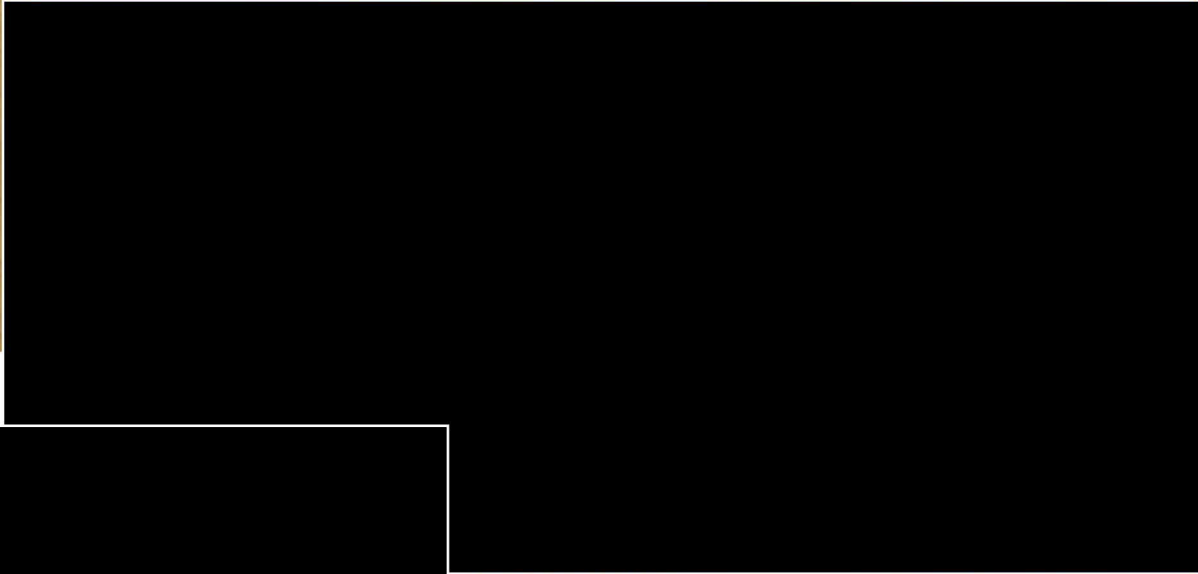
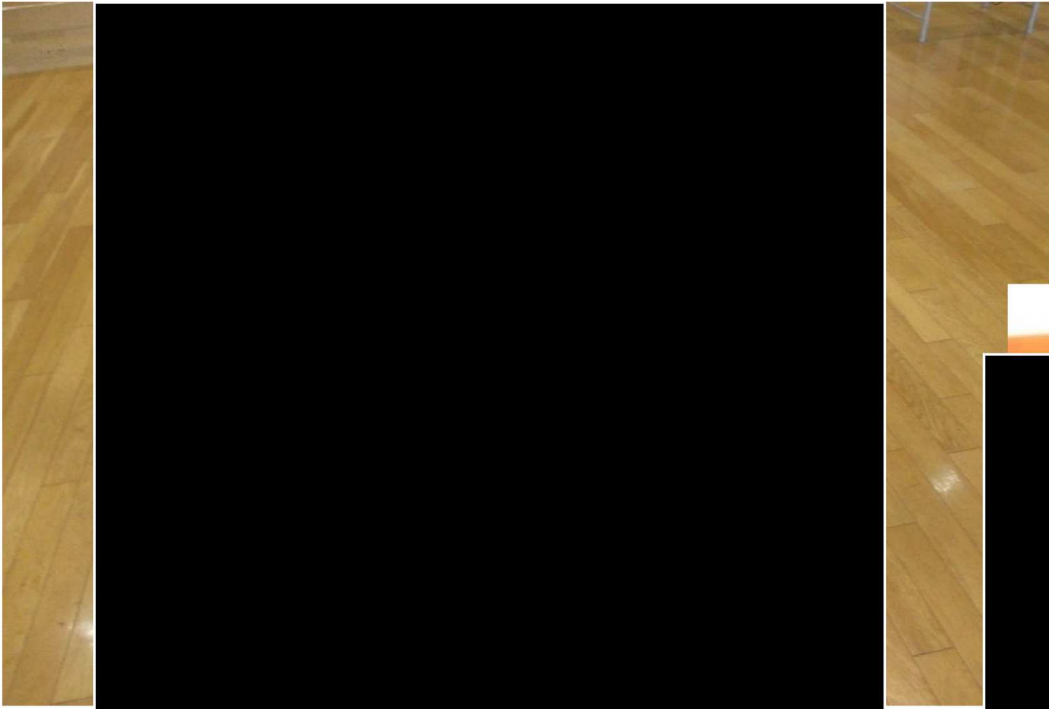


みんななかよし

一年間をふりかえって

よろしくねの会

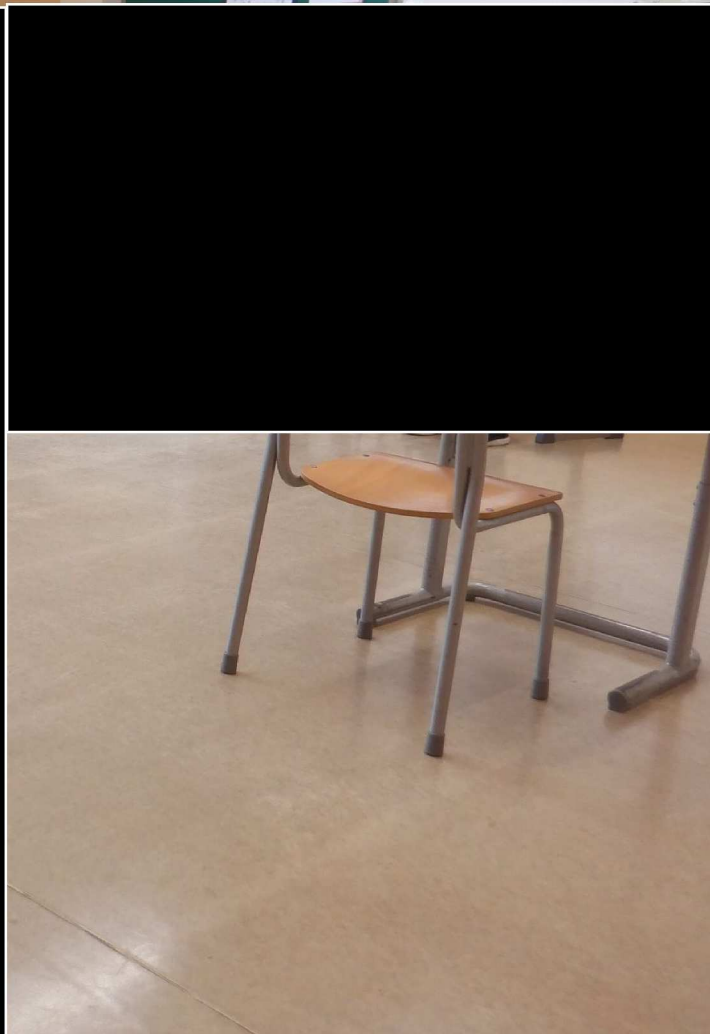
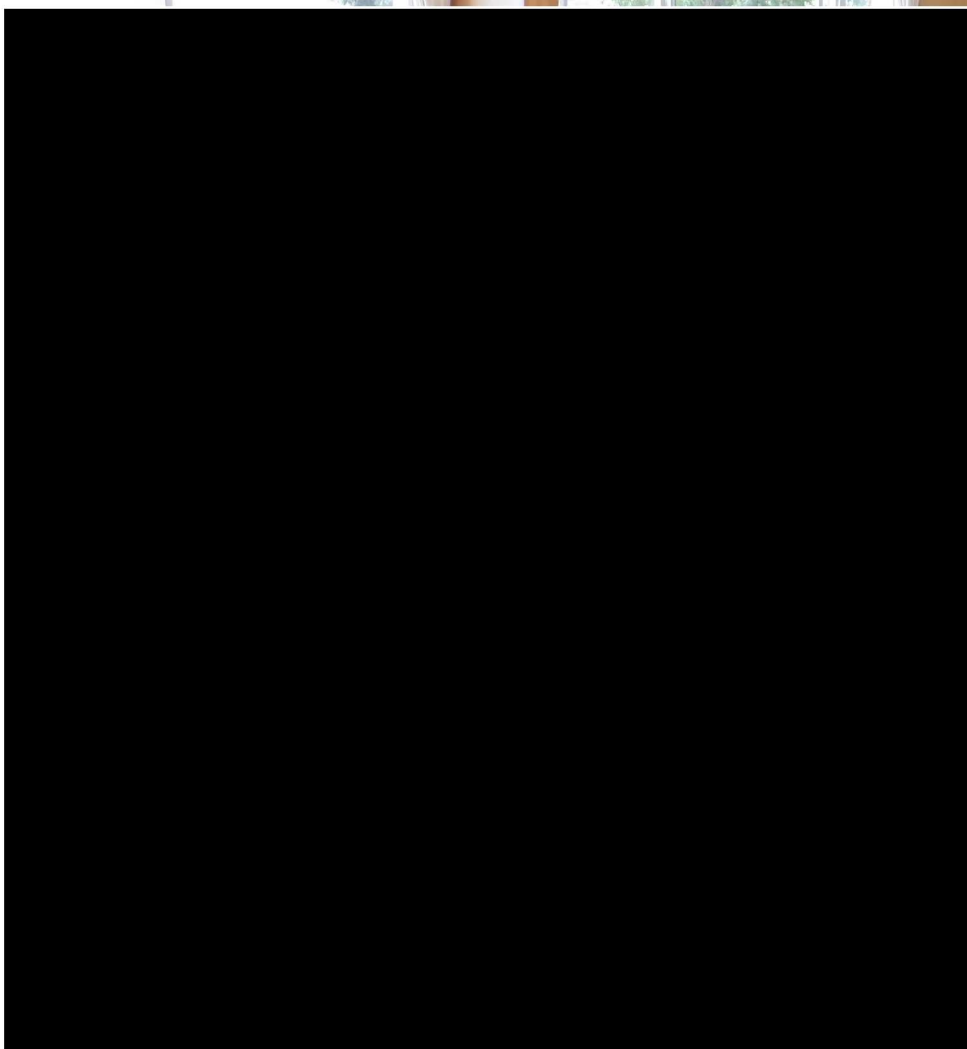




さくらタイム 朝の会や教材見学



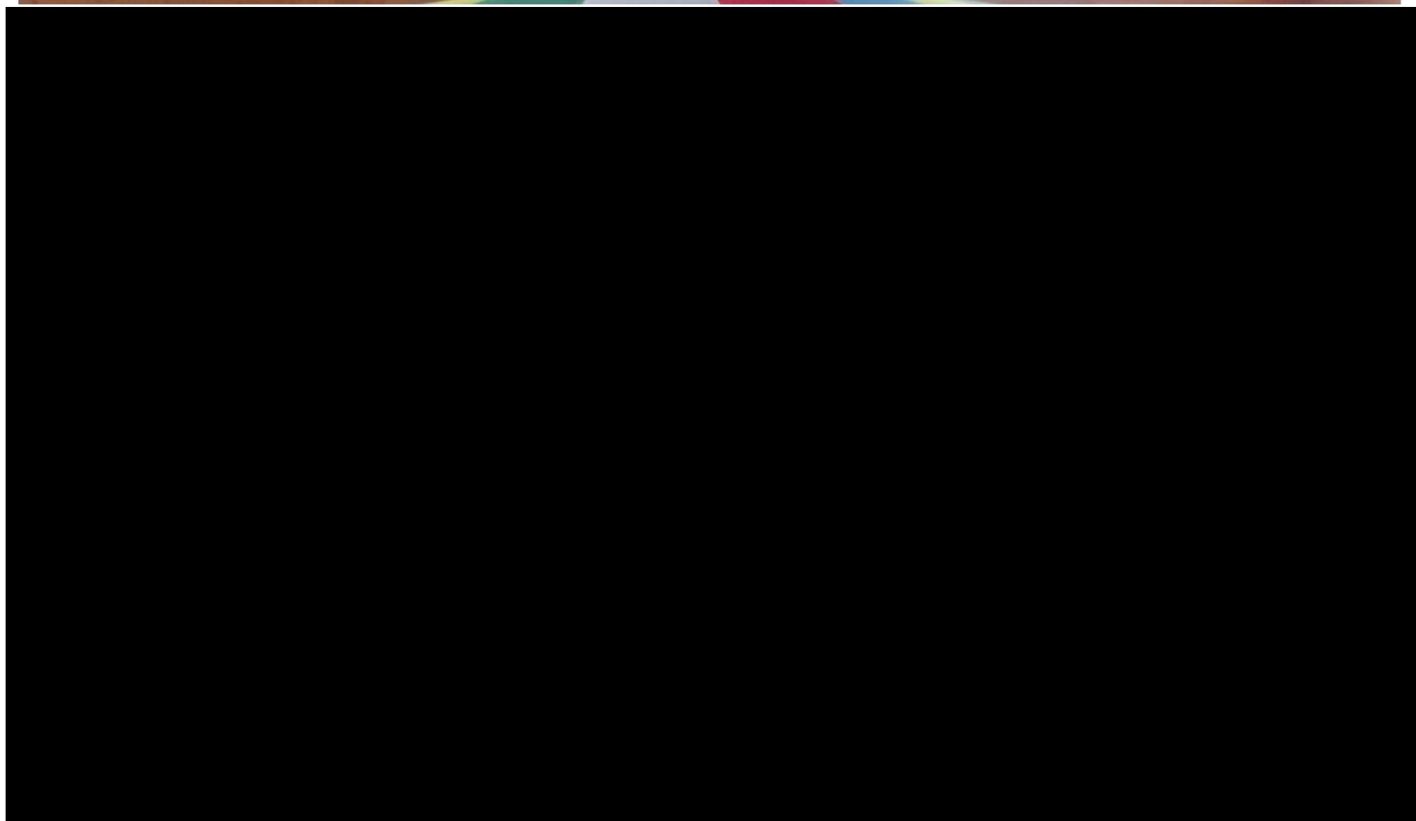


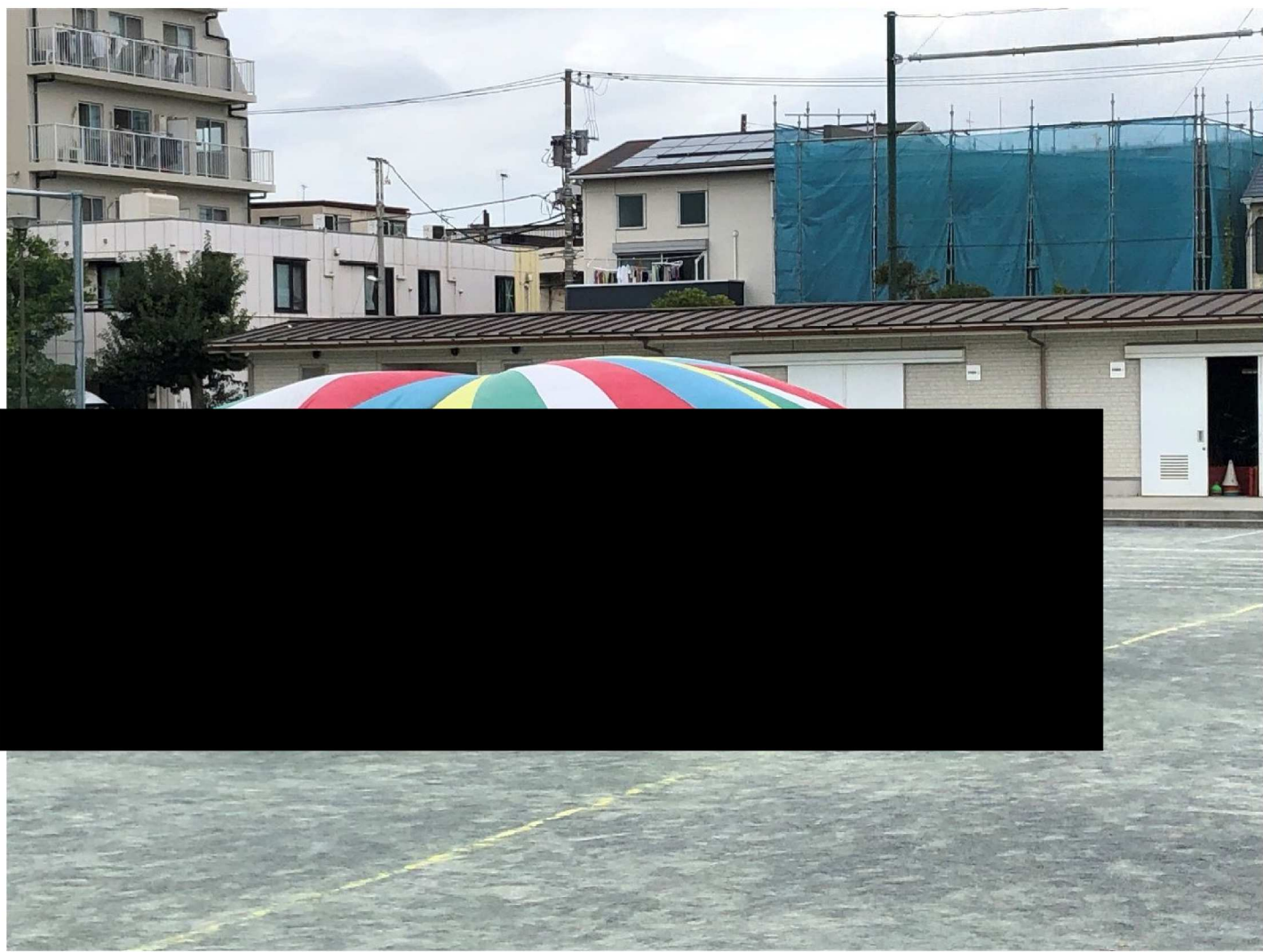


バルーン

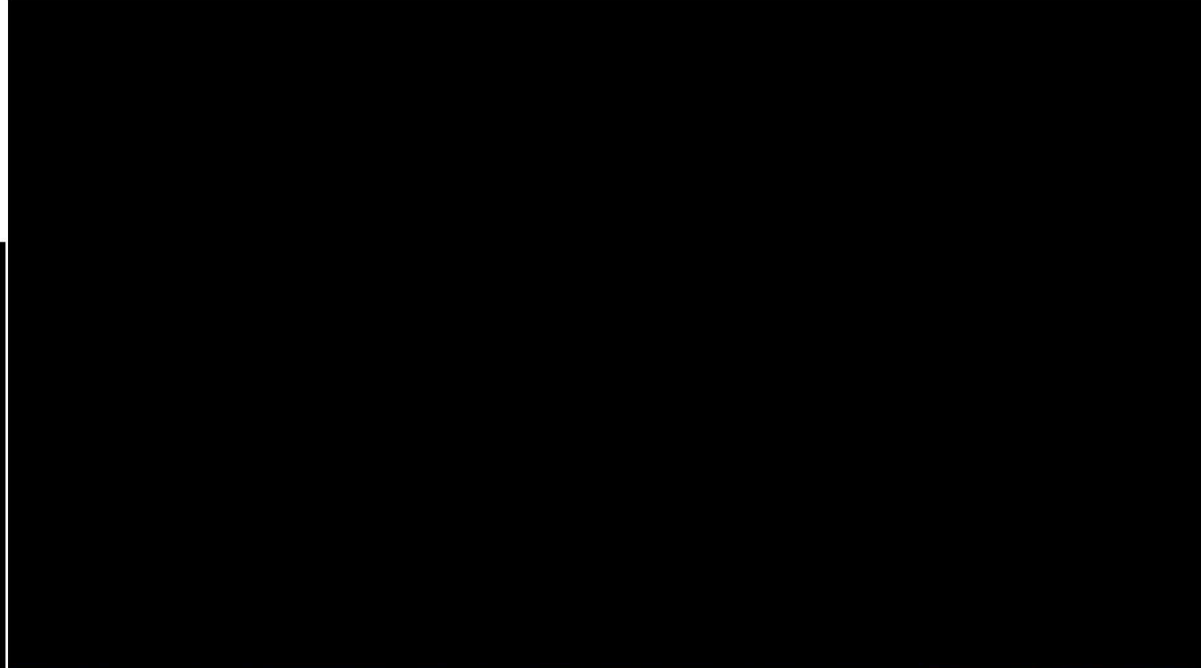
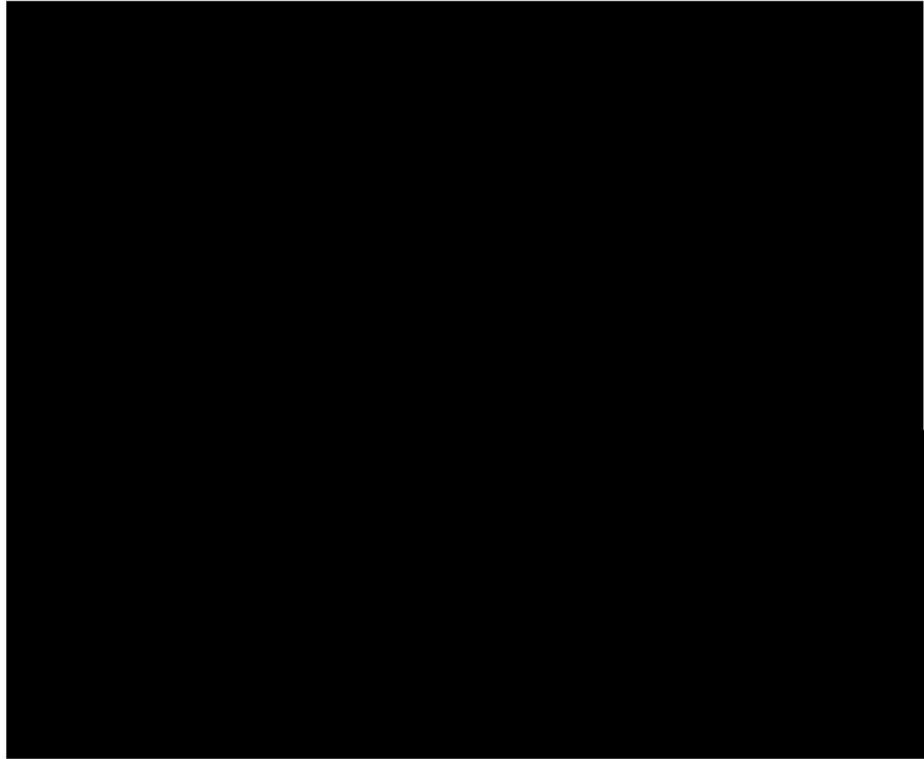


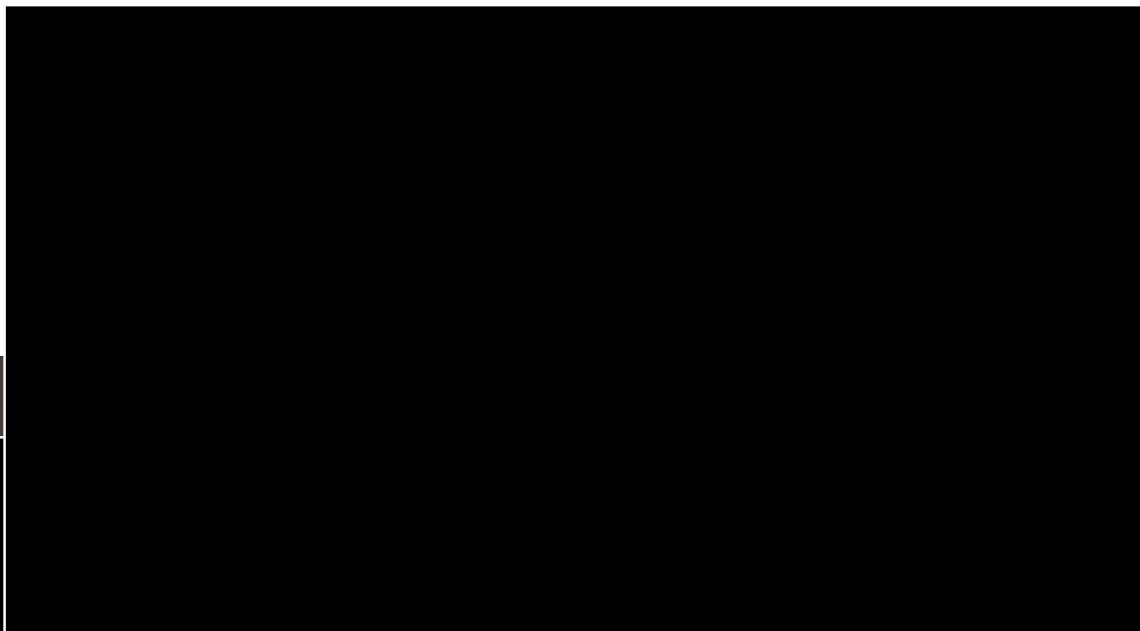


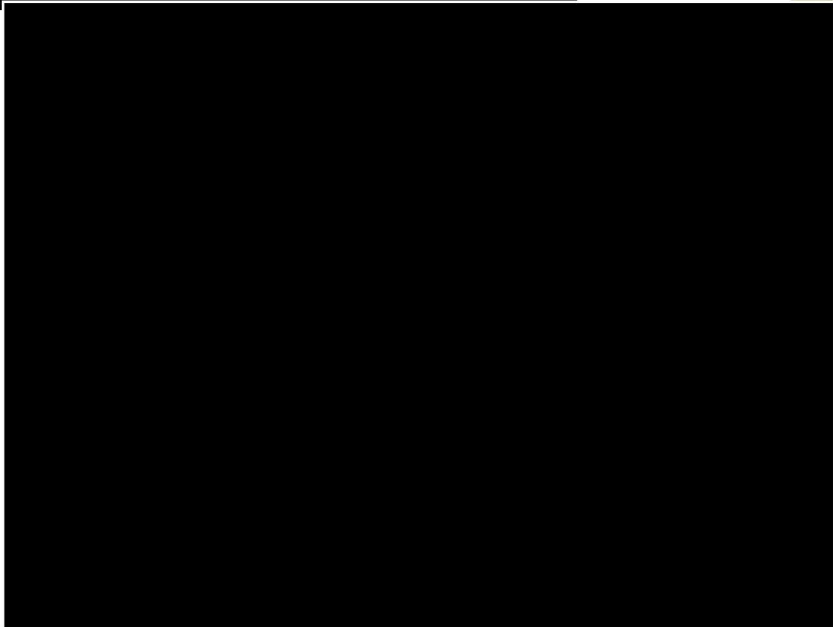
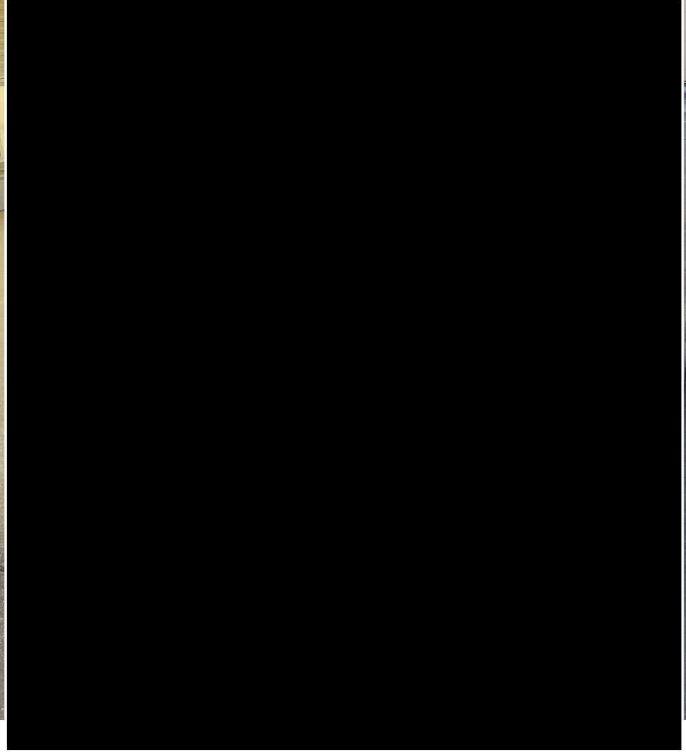




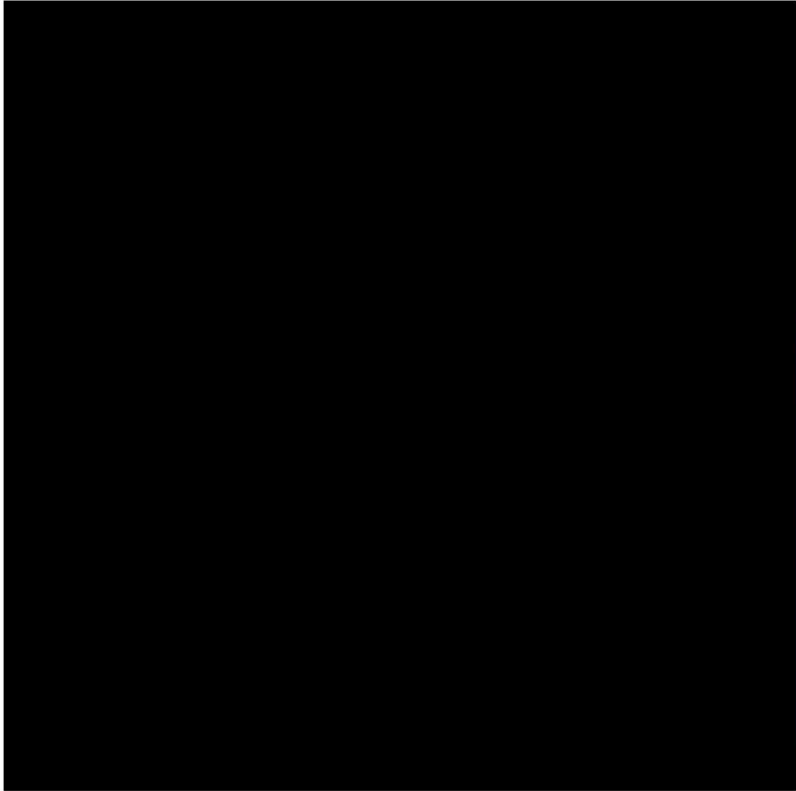
いっしょにあそぼう！

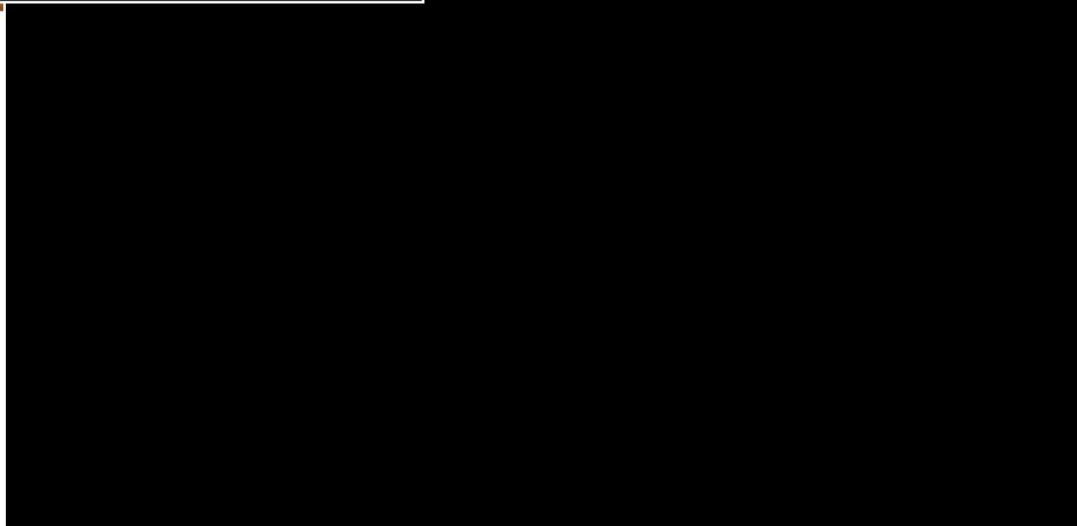
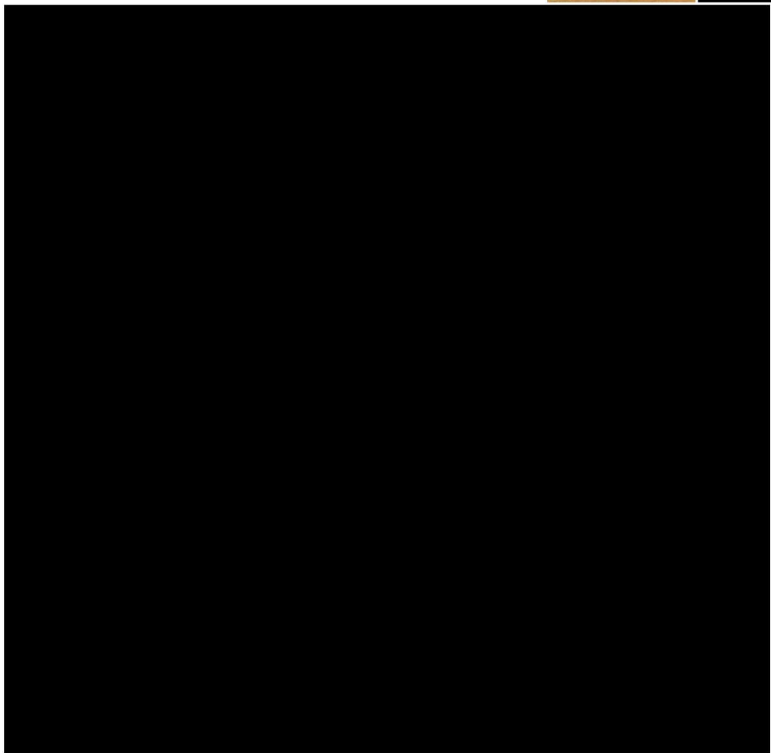






なかよし集会

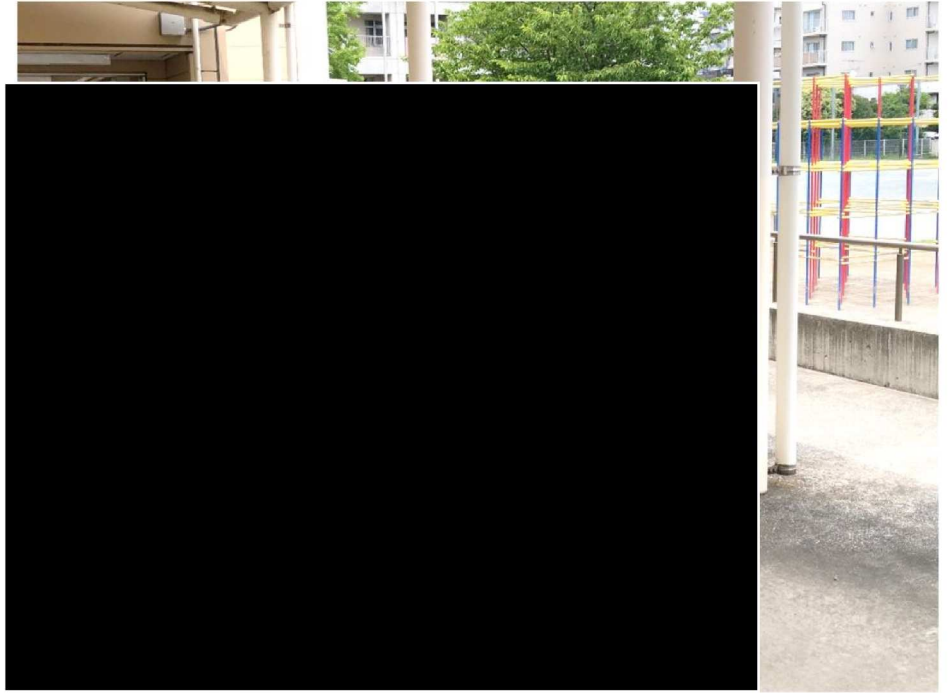




みんなであそぼう







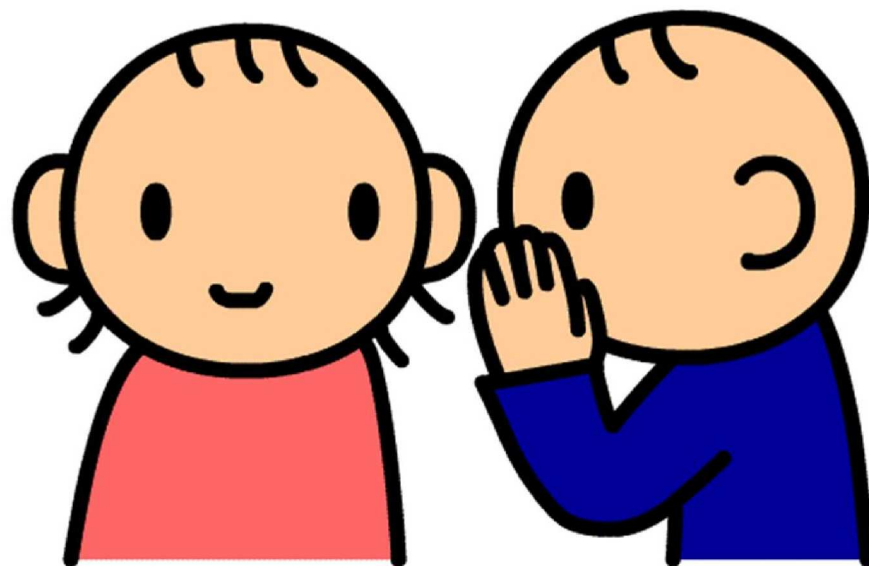
みんなでおどろう

きみにはくしゅ ♪

エビカニクス ♪



おてがみタイム

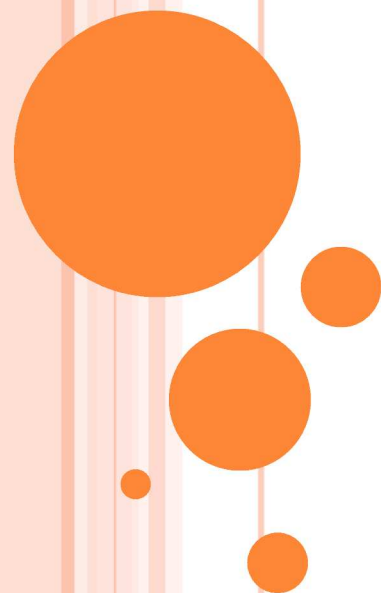


グループごとに
すわりましょう



みんな なかよし

「なかよししゅうかい」



なかよししゅうかい

～きょうのながれ～

1. 「さくらだいすき♪」をうたう
2. 「ためろ！なかよしボール」
ゲームをする
3. 「エビカニクス♪」をおどる



「さくらだいすき ♪」

- みんなともだち てをつなごう
- にこにこえがおが うれしいね
- みんなのえがおが あつまって
- おおきなすてきな はながさく
- さびしいときも てをつなごう
- だいじょぶ だいじょぶ だいじょうぶ
- さくら さくら さくらのなかま
- さくら さくら みんな だいすき ●

「ためろ！なかよしボール」 ゲームをしよう



みんなでおどろう



エビカニクス ♪



さくら学級から

フレッシュメント ♪

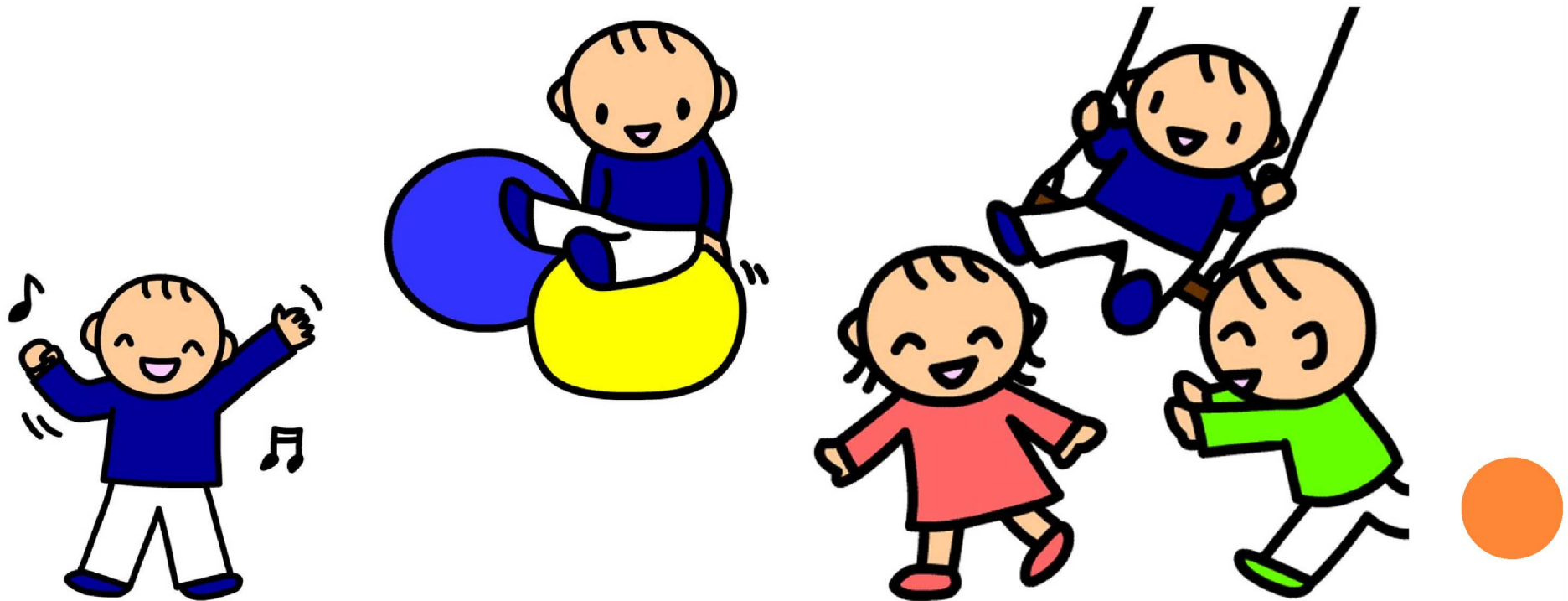


かんそう



じかいは ● ● ●

1 がっ 16 にち



みんななかよし



月 日 4 年 組 番名前

さんと遊ぶ計画を立てよう！！

☆自分のめあて☆

場所	遊び

○必要な物



使うもの	置いてある場所	分担

○ 4 5 分間の動き

	時間	やること
10 分間	0	・ 始まりのあいさつ
	10	・ 手遊び歌
25 分間	1 5	・ 遊び
	2 0	
	2 5	
	3 0	
10 分間	35	・ 体育館集合 ・ エビカニクス
	45	・ お話タイム ・ 終わりのあいさつ

○よかったこと・楽しかったこと

自分のめあてを振り返ろう！

○こまったこと・これから相だんしたいこと

○次回やってみたいこと

提出書類①

SAINS-WEB や classroom にデータがあります。

2024 年（令和 6 年）12 月 18 日

校種・学校番号

小学校・07

たぶんかきょうせい じぎょうけいかくしよ
多文化共生ふれあい事業計画書

でんわ 電話 044 - 266 - 4601/FAX044 - 287 - 4067 学校名〔川崎市立さくら小学校〕

たんとうきょうゆめい 担当教諭名〔中川 李恵〕 こうちようめい 校長名 治田直美

じっしにちじ 1. 実施日時 : 2024 年（令和 6 年）1 月 23 日（木曜日）

じっしじかんたい 実施時間帯 : 午前 9 時 30 分 ~ 11 時 45 分

きょうか たんげんめい 教科・単元名〔生活科「フィリピンとなかよし」〕

たいしょうじどうせいと 2. 対象児童生徒 学年〔1, 2 年〕 約 113 名（支援級 4 名、分教室 2 名含む）

くるま はんにゆうぐち 3. 車の搬入口 正門

かつどう たんげんもくひょう 4. 活動のねらい（単元目標）

さくらのまちが、フィリピンなどの外国の文化を大切にしていることを知り、自分たちも地域の一員として外国の文化に触れ、大切にしていこうとする態度を育てる。

かつどう なか てんかい 5. 活動の流れ（展開）

こうしとうちやく ①講師到着 9:00 正門より車 1 台

ぜんたいかい ②全体会 9:35~9:50 場所：音楽ホール

・はじめの会+クイズ（プロジェクターとマイク使用）

③（9:50~11:30）コーナーに分かれてのワークショップ

たんとう	ないよう	かつどうばしよ	にんずう
担当	内容	活動場所	人数
中川、川端、村松、寺島	あそび①	音楽ホール	約 30 名
中川、川端、村松、寺島	あそび②	1-2	約 30 名
中川、川端、村松、寺島	ことば	学習室	約 30 名
中川、川端、村松、寺島	衣装	家庭科室	約 30 名

④（11:35~11:45）全体会 場所：音楽ホール

しつぎおうとう れい ことば
質疑応答、お礼の言葉など

※仮のものを、事前打ち合わせの際にお持ちください（手書きでもかまいません）

実施日の 3 週間前までに、教育委員会人権・多文化共生教育担当には原本を提出してください。

実施日の 3 週間前までに、講師にはコピーを提出してください。

6. 活動の流れ

時間	活動の流れ（展開）	教師の支援と留意点
9:25	1. 児童は音楽ホールに集合	・ 児童の誘導と整列を行う。
9:35	2. 全体会①（はじめの会） ・ 講師の方の紹介 ・ クイズ 《ワークショップの場所に移動》	・ スケジュールの確認（中川）
9:50	3. ワークショップを開始 あそび① ・ ティニクリン、フットジャンプ あそび② ・ ジャック&ストーン ことば ・ あいさつや、名前の書き方 衣装 ・ 民族衣装を着る。 《活動を終えて音楽ホールに移動》	・ クラス担任と一緒に移動することで、子どもたちの把握、指導を行いやすいようにする。 ・ 各グループに教師がつき活動がスムーズに進むように補助を行う。 ・ 各体験の場所 【あそび①】：音楽ホール 【あそび②】：1－2 【ことば】：学習室 【衣装】：家庭科室 ※各20分ずつ、移動5分
11:35	5. 全体会②（おわりの会） ・ 質疑応答、お礼の言葉	
11:45	《活動終了》	

【事後の活動】

- ・ 活動の振り返り→当日もしくは後日、生活科の学習にて行う。

選んだ食事	【

世界の人々のつながりを広げよう②

6年 組 番 名前 _____

1. 桜本の特色について、イメージマップを使って考えよう。

桜本の特色(食文化)

2. 韓国の食文化について調べよう。

--

3. キムチの作り方について、PCや副読本を使って調べよう。

令和6年度 人権尊重教育実践報告書

川崎市立 さくら小学校

(校長名) 治田 直美

(担当者名) 平野 理紗

1 人権尊重教育にかかわる実践

○子どもが安心して過ごせる学級・学校づくりの取組

●今年度は実践推進校の公开发表があり、定期的に校内研修を実施した。研修では、職員同士で日頃の人権尊重教育の実践例を出し合い、共有する場を設けた。さらに、職員同士の絆を深め、チームの団結力を強めるために、簡単な遊びを取り入れたワークショップも実施した。

成果：人権尊重教育がよくわからないといった不安の声もあったが、アイデアを出し合う中で、日常の取組が実は児童同士の交流につながっていることや、日ごろの活動が実は一人一人を大切にしていることにつながるということを再確認することができた。

課題：今後も、実践共有や振り返りなど、職員同士による連携を図っていきたい。

2 職員研修で取り組んだ内容

○職員の人権感覚向上のためのチェックリストの活用

●職員の人権感覚の土台を築くために、さくら小オリジナルの『人権感覚チェックリスト』を作成し、取組を始めた。内容は、児童への声掛けや意識、学校環境、そして職員同士の関係に関する26項目に分類されており、毎月チェックを行うようにした。

成果：すべての項目に◎をつけることが目的ではなく、自分ができていることに自信を持ち、足りないと感じる部分には意識を向け、改善につなげることができた。

課題：振り返りをどう次に生かしていくか。今後も続けていきたい。

3 地域とのかかわりを深める活動等

○ふれあい共生事業の実施や、地域の「ふれあい館」との活動の取組

●3年生を対象に韓国朝鮮の伝統的な遊びや衣装・言葉を学ぶ「韓国朝鮮となかよし」や、1・2年生を対象にフィリピンのクイズや遊び、衣装や言葉を学ぶ「フィリピンとなかよし」の実施、また6年生対象にハルモニと韓国朝鮮の伝統食キムチづくりを行った。

成果：長年これらの活動を継続していることで、児童が外国の文化に対して「特別」という意識がなく、このイベントを楽しみにしている。また、「ふれあい館」や地域の方々と一緒に活動を行うことで、地域での関わりも増えている。

課題：毎年同じ活動を同じ学年が行うことで、活動がマンネリ化していかないように、毎年の内容や反省をきちんと引き継ぎしていく。

4 「川崎市差別のない人権尊重のまちづくり条例」の取組

○4年・さくら学級「みんなかよし」

●総合的な学習の時間を使い、4年生とさくら学級の児童が年間を通して一緒に遊び、交流を深めていく。

成果：最初は、コミュニケーションの取り方がわからず戸惑っていた児童も、遊びや集会を重ねるうちに、相手との距離が縮まり、スキンシップや表情の読み取りなどを通して交流が深まっていった。

課題：本校において10年以上続いているこの活動をモチベーション高く続けていくことが課題。

5 性的マイノリティの理解を深める活動等

○隔年で性的マイノリティの出前授業を実施。来年度実施予定。

6 その他

○特になし

7 来年度に向けて

○性的マイノリティの出前授業を5・6年生で実施する。

○人権感覚向上チェックリストの活用と、日常の取り組みの継続。

I 人権尊重教育の実践推進校・研究推進校より

■人権尊重教育実践推進校 さくら小学校

1. 本校の人権尊重教育の目標

さくらっ子の笑顔はNO.1
～ちがいを生かし、ともに育つ子の育成～

2. 実践校としての歩み

本校のある桜本は川崎市の中でも、韓国・朝鮮につながる文化が定着している町であり、さくら小にも韓国・朝鮮、フィリピンや中国、ブラジルなど様々な国にルーツを持つ児童が多数在籍している。また、さくら小には田島支援学校さくら分教室があり、特別な支援を要する児童と日常的に関わりをもっている。



人権尊重教育についての研究は、1984年度、当時の川崎市立桜本小・東桜本小・桜本中が神奈川県教育委員会のふれあい教育委嘱研究校となったところからはじまった。1990年には川崎市人権尊重教育実践推進校となり、2010年、桜本小と東桜本小が合併しさくら小になった現在も、教育活動全体を通して人権尊重教育の取り組みを実践している。

3. 本校の取り組み

【韓国・朝鮮やフィリピンの文化を知る活動】

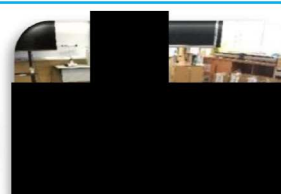
○1～2年生を対象にフィリピンのクイズや遊び、衣装や言葉を学び、外国に親しみをもつ。



○3年生を対象に韓国・朝鮮の伝統的な遊びや衣装、言葉を学び、文化を知る。



○6年生が韓国・朝鮮の伝統食キムチづくりをする。



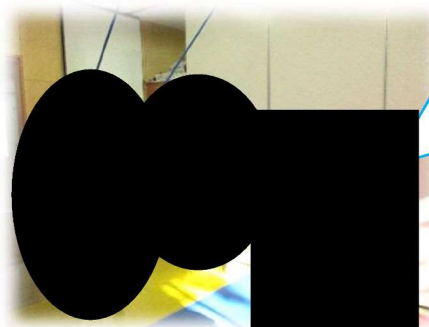
○1・2年生は韓国・朝鮮の楽器を実際に演奏し、その後、伝統的な踊りを運動会で披露する。(全校)



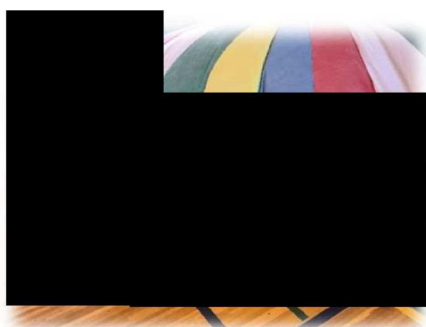
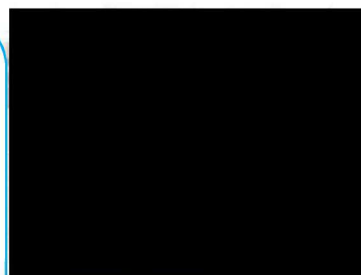
これらは毎年行っている活動で、学区にある「ふれあい館」の方々に講師として来ていただいている。児童と講師が互いに面識があるので、より意欲的に活動することができて

【さくら学級と4年生が一緒になって遊び、学ぶ総合的な学習の時間】

○さくら学級（さくら分教室・支援級）の児童と通常級（4年生）の児童が交流及び共同学習をする。



年間を通して、4年生とさくら学級の児童が触れ合う活動。遊びを重ねるうちに、自然なコミュニケーションができるようになっていく。



また、4年生は毎週さくら学級に給食・掃除交流を行ったり、さくら学級の教室や教具について体験しながら学んだり、登校から朝の会までを見学したりすることで、さくら学級の子どもたちのことをより深く知っていく。



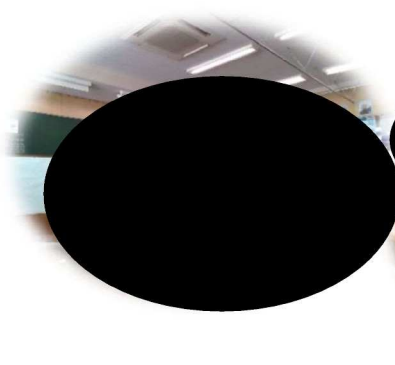
【全クラスでのさくらタイム】

○さくら学級の担任が、通常級で授業を行う「さくらタイム」は全クラスで実施している。さくら学級の様子や児童とのコミュニケーションのとり方などを具体的に伝えている。

【国際教室における児童の支援】

○国際教室では授業のフォローだけでなく、自国に誇りが持てるような支援、日本の文化を体験する活動などを行っている。

○夏休みの宿題では、自分のルーツの国を調べる課題を出し、家庭で話し合ういい機会となった。



1月に、日本文化の「おもちつき」の体験をした。より実感しやすいように、レプリカの杵を作り、実際にお餅をつく真似をするなど工夫している。

以上のような活動の中で、教員・児童は学校生活の中に当たり前にある異文化や多様性を自然に受け入れ、人権を尊重した関わりをしている。

4. 今年度の取り組みの様子

今年度は人権尊重教育実践推進校の公開授業を行った。全学年の公開で、さまざまな教科の公開授業を行い、たくさんの方々にさくら小の実践を参観していただいた。

【公開授業の内容】

<授業内容>

13:30~14:15

クラス	教科	内容	場所	授業者
1年1組	図画工作科	はこがへんしん!	1年1組	村松 啓
2年2組	図画工作科	いろ かたち い~ろいろ	音楽ホール	中川 李恵
3年1組	学級活動	さくらタイム	3年1組	T1 吉田 舞 T2 小島 美紀
6年1組	図画工作科	これぞ私の自分看板! ~This is me~	6年1組・廊下	奥田 哲史
6年3組	図画工作科	これぞ私の自分看板! ~This is me~	6年3組	今井 結

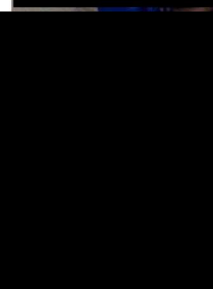
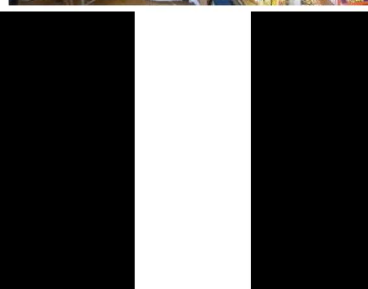
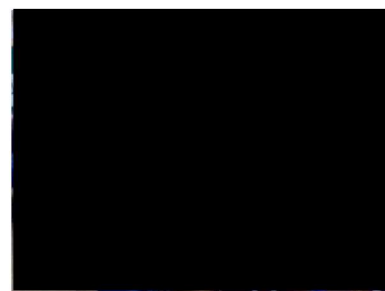
13:40~14:25

クラス	教科	内容	場所	授業者
4年2組	図画工作科	太郎さんと友だち	4年1組	小枝 直人
5年2組	かわさき共生＊ 共育プログラム	みんなであそぼう	校庭 (雨天時体育館)	T1 霜島 健雄 T2 平野 理紗
6年2組	図画工作科	これぞ私の自分看板! ~This is me~	図工室	渡邊 翼

<ご講演>

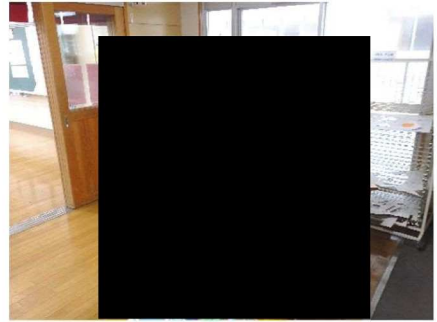
横浜国立大学 非常勤講師

講演テーマ 「子どもたちの自尊感情を育む授業づくり・学級づくり」



【公開授業を参観してくださった方からの感想】

- 人権尊重教育はすぐに浸透するものではないので、担当者になったけれど何をしたら良いのか戸惑っていたが、さくら小学校のチェックシートを参考にさせてもらって、本校でも毎月取り組めると思った。また、教員の人権尊重教育理解の第一歩になると感じた。
- どのクラスも自分らしさを最大限にさらけ出していたように感じる。学級の雰囲気やみんながみんなを尊重しあい、認め合うことができていた。自分の良いところもそうだがお互いの良いところを引き出し合っていて授業が流れていた。先生がではなくて子どもたち自身がそんな雰囲気を作り出すことができるように学校へ帰ってから生かしていきたいと思う
- 子どもたち一人ひとりに違いがある。だからこそ教師はそれぞれのニーズに合わせて授業づくりしていく必要があることを改めて感じた。また、互いに認め合う環境づくりも必要だと感じた。
- 本日の授業でも「その考え方もいいね。」「そう言ってあげる〇〇さんも素敵だね。」「こんなふうに表現できるなんて素敵だね。」など先生方が児童を認める声掛けをしていた。教師が児童を認める姿を示し、子どもたち同士で認め合う流れを作っていくことが大切だと感じた。



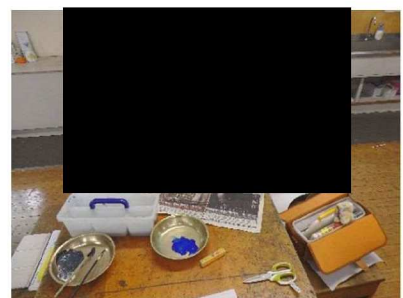
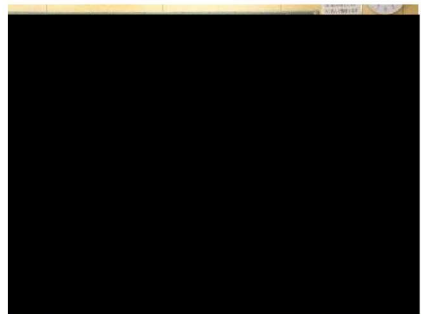
【取り組みのまとめ】

公開授業をするにあたり、事前に全職員で校内研修に取り組んだ。職員同士で日々の人権尊重教育の実践例を出し合い、共有した。その中で、人権尊重教育がよくわからないといった不安の声もあったが、アイデアを出し合い、何気ない活動が児童同士の交流につながっていることや、日常的な活動が実は一人ひとりを大切にしていることにつながるということを再確認することができた。さらに、職員同士の絆を深め、チームの団結力を強めるために、簡単な遊びを取り入れたワークショップも実施した。

また、職員の人権感覚の土台を築くために、さくら小オリジナルの『人権感覚チェックリスト』を作成し、取り組みを始めた。(次のページ参照)内容は、児童への声かけや意識、学校環境、そして職員同士の関係に関する 26 項目に分類されている。この取り組みを通して、自分の大切にしている人権感覚を再認識し、また改めて今後意識していきたいことを目標にすることができた。

以上のような今年度の取り組みを通して、気付いたことは、当たり前だと思っている日々の活動や接し方、態度を振り返り、それらを意識し、共有し、価値づけていくことが、本校の人権尊重教育の土台となっていくということだ。つまりは、教職員一人ひとりの姿勢が大切であり、そのことを、職員みんなでも再確認できたことが今年度の成果と言える。

来年度もチェックリストの活用をしていしながら、人権尊重教育の推進をしていきたい。



月

R6 さくら小 人権尊重教育実践推進校 チェックシート

☆ねらい 児童一人一人が安心・安全に過ごすことができる。児童一人一人を大切にした授業をする。
児童・職員一人一人を尊重する。

【声かけ】

1	自分から、元気のいいあいさつをしている。
2	一人一人の名前を「さん」づけて呼んでいる。呼び捨てでは呼ばない。
3	一人一人の児童のよいところを見つけ、認める声かけをしている。
4	児童に対し、丁寧な言葉遣いで接している。
5	感謝の気持ちを言葉にして伝えている。
6	児童に対して自分の非を認めることができる。

【授業・意識】

7	一方的な授業ではなく、児童同士が教えあったり学びあったりするよう工夫している。
8	同じ人ばかりを指名せず、意図的な指名や発言をしない児童への見取りを意識している。
9	他と異なる意見や、間違った意見を発言した児童がいやな思いをしないように配慮している。
10	授業のめあてや流れを示し、児童が見通しをもって学習に取り組めるようにしている。
11	板書やワークシートの文字の大きさや字体に配慮している。
12	注意をする前に「なぜそのような行動をとったのか」の要因を考えるようにしている。
13	全体の前で特定の児童ばかりを注意していない。(見せしめなどしていない)
14	後ろの席の児童まで聞こえる声で指示をしている。
15	住んでいる場所や保護者の国籍で思い込みや決めつけをしていない。

【環境】

16	そうじや給食の当番が分かりやすいように工夫している。
17	児童が一日の予定を確認できるようにしている。
18	学級目標を掲示している
19	ロッカーや机の横から物がはみ出ないように指導している。(探検バッグ、水筒、給食ナプキンのみもと)
20	黒板の周りはすっきりしている。
21	教室の教員の机上に物をあまり置かない。

【職場】

22	職員同士の会話で、子どもの名前を呼び捨てにしない。
23	職員室で子どもを失笑したり、ばかにしたりする話題をしない。
24	職員同士で丁寧な言葉遣いをする。
25	職員間で、子どもについて気軽に情報交換をすることができる。
26	相手の意見を聞き、話し合いをしながら仕事を進めている。

令和7年度 人権尊重教育推進事業計画

川崎市立さくら学校

校長名 治田 直美

担当吉田舞

1 今年度の人権尊重教育のねらい

○ちがいを生かし、一人一人が輝くために行動することができる子の育成

○お互いのちがいやよさを見つけ、認め合う子の育成

○かかわりを大切にし、仲間と共に考えようとする子の育成

2 今年度の人権尊重教育推進にかかわる計画

内容	実施時期、回数、学年等
① 人権尊重教育学習の実践 〔子どもの権利学習〕 「かがやき」 「みんな輝いているかい」 「子どもの権利条例」 〔国際理解教育〕 韓国の楽器に触れてみよう ブンムルノリ フィリピンとなかよし 〔各教科〕 ＜総合的な学習の時間＞ 韓国・朝鮮の文化にふれよう 福祉体験をしよう みんななかよし～さくら学級との交流～ 世界の人々とのつながりを広げよう ＜学活＞ さくらタイム	全学年 １１月 １・２年 １０月 運動会、希望児童が参加 １・２年 １２月 ３年 １１月 ４年 ９月 ４年さくら学級 通年 ６年 １１月 全学年 １１月
② 職員研修 ・人権にかかわる研修（性的マイノリティ研修） ・さくら交流部会 ・共生＊共育プログラム効果測定研修会の実施 ・校内委員会 ・国際教室部会 ・ケース会議	夏 年間を通して 年５回 ７月 随時
③ 地域とのかかわりを深める活動 ・ハルモ二との交流（キムチ作り） ・人権共生教育協議会 ・在日の思いに語る会参加	１月 教職員 年間２回

3 「川崎市差別のない人権のまちづくり条例」に関わる取組

3年 総合的な学習の時間「外国の文化に触れよう」

4年 総合的な学習の時間「みんななかよし」

4 人権尊重教育推進にかかわる本校の課題

- ・職員一人ひとりが意識をして、人権を大切にした教育活動を行う。
- ・心の教育を充実させて、安心して楽しく過ごせる学校づくり、学級づくりに取り組む。

第1学年 さくらタイム学習指導案

指導者：阿部 里美（1－1）
溝田 恭子（1－2）

1 日時・場所 9月 8日（月） 2校時 1－1教室
8月29日（金） 4校時 1－2教室

2 本時 「さくら学級ってどんなところ？」

3 本時のねらい

さくら学級の一日の流れやさくら学級の児童がどのような学習をしているかを知り、さくら学級の児童に親しみを感ずる。

4 本時の展開

	主な学習活動	・指導上の留意点
20分	1 始めのあいさつをする。	・ さくら学級のあいさつの方法で手話をつけたあいさつを一緒に行う。
	2 さくら学級の児童やさくら学級の一日の流れを知る。 【PPT、動画】 （ さくら学級の児童の紹介 さくら学級の先生の紹介 さくら学級の紹介動画 ）	・ 学習や生活の様子をまとめたパワーポイントを用意する。自分たちが普段何気なくしていることがさくら学級では大事な学習であるということを押さえる。
10分	3 「校歌」（手話付）を見る。（歌う。）	・ さくら小学校の校歌がなぜ手話がついているのか考えてもらう。さくら学級の子どもたちも挨拶や会話に手話を用いていることを知り、手話で歌うことで、楽しみながらさくら学級の友だちに親しみを感ずられるようにする。
5分	4 疑問に思ったことを質問したり感想を発表したりする。	・ 交流する児童と関わる時のコミュニケーションの仕方や好きなものなどを教員が具体的に伝えることで、よりよく関わろうとする態度を育てることができるようにする。
		・ 個人にかかわることは前もって保護者に許可を得たうえで返答する。
		・ 感想を聞き、繰り返したり膨らませたりすることで、さくら学級の児童により親しみがもてるようにする。
5分	5 終わりのあいさつをする。	・ もっと知りたいという気持ちを、さくら学級の朝の会見学につなげられるようにする。
		・ さくら学級のあいさつの方法で手話をつけたあいさつを一緒に行う。

準備物：テレビ、パソコン

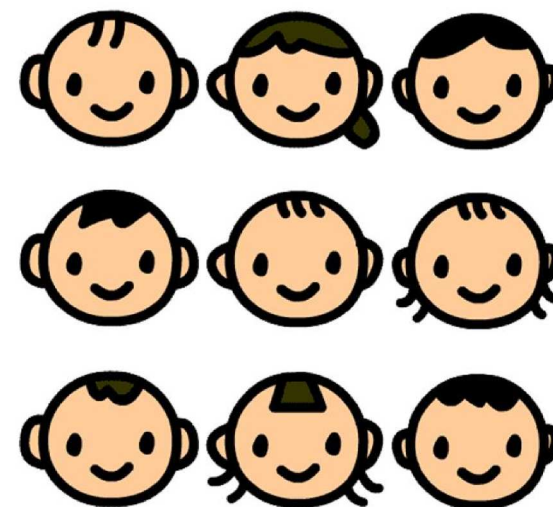


さくらタイム

～さくらがっきゅうと なかよし～

さくらがっきゅうの　ともだち

- 1 ねんせい　3 にん
- 2 ねんせい　3 にん
- 3 ねんせい　3 にん
- 4 ねんせい　4 にん
- 5 ねんせい　7 にん
- 6 ねんせい　3 にん



あわせて **2 3** にん

さくらがっきゅう 1ねんせい

さくら
1くみ

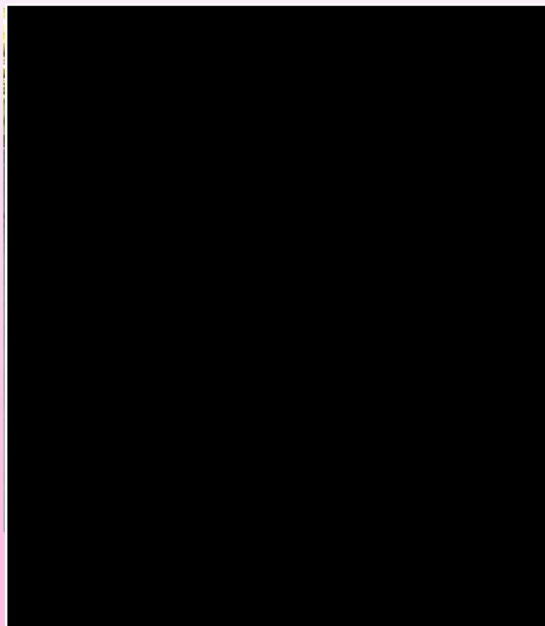
さくら
2くみ

さくら
3くみ

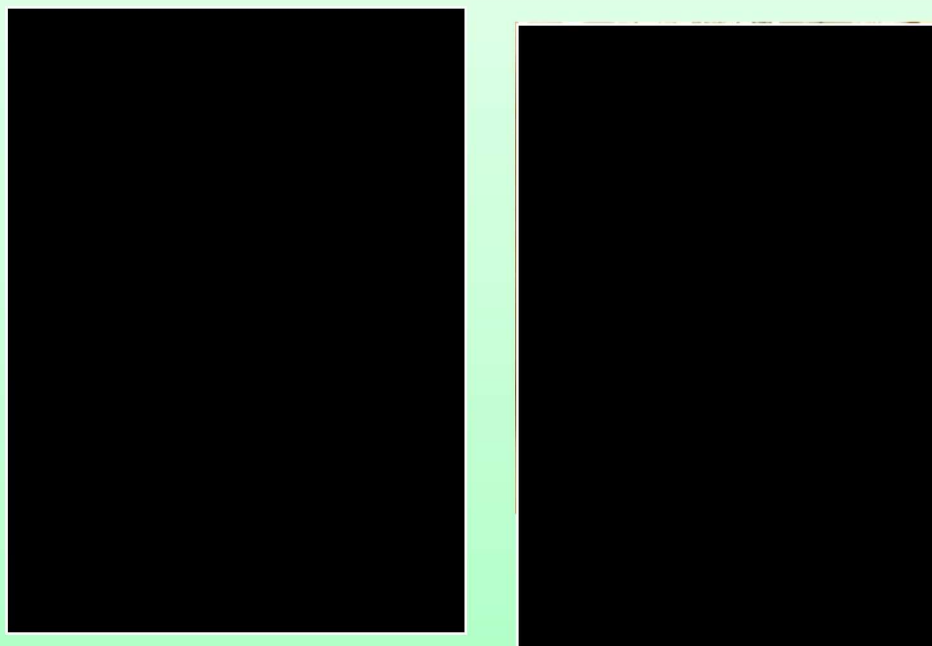
こうりゅうきゅう

1ねんせい

1 - 1



1 - 2



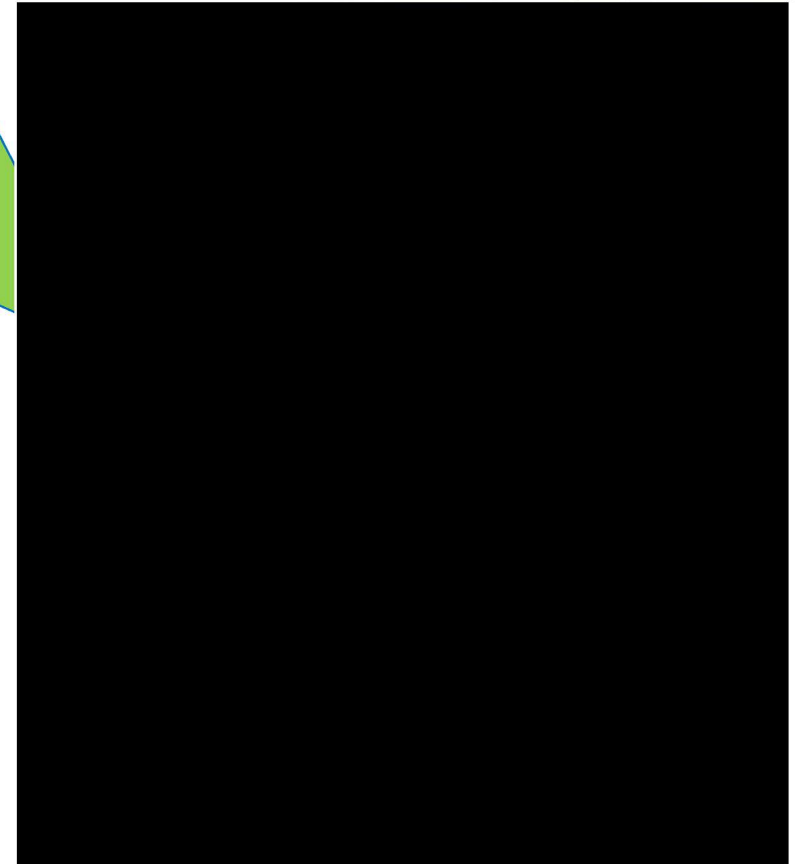
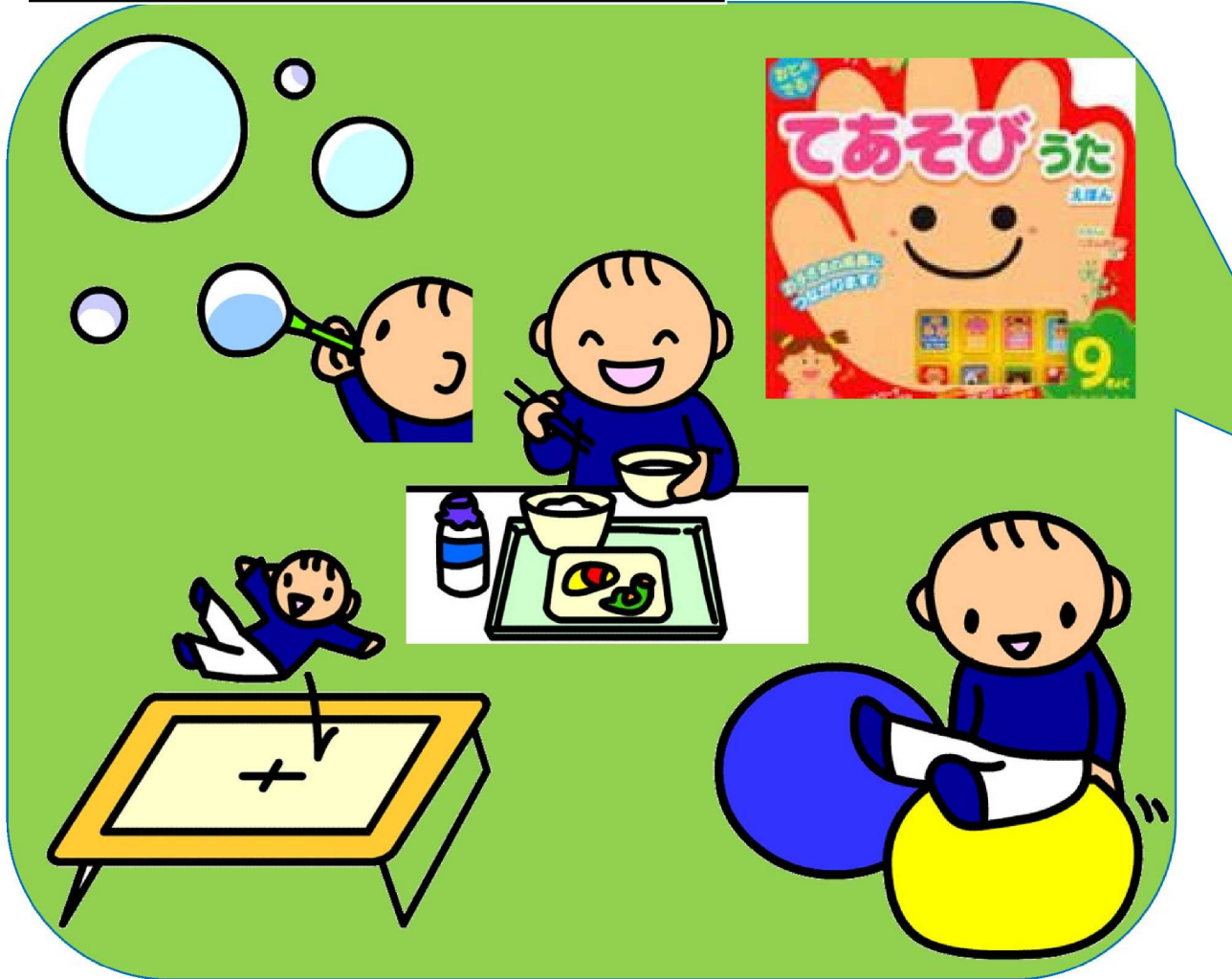
☆ えを かくことが
すきです。

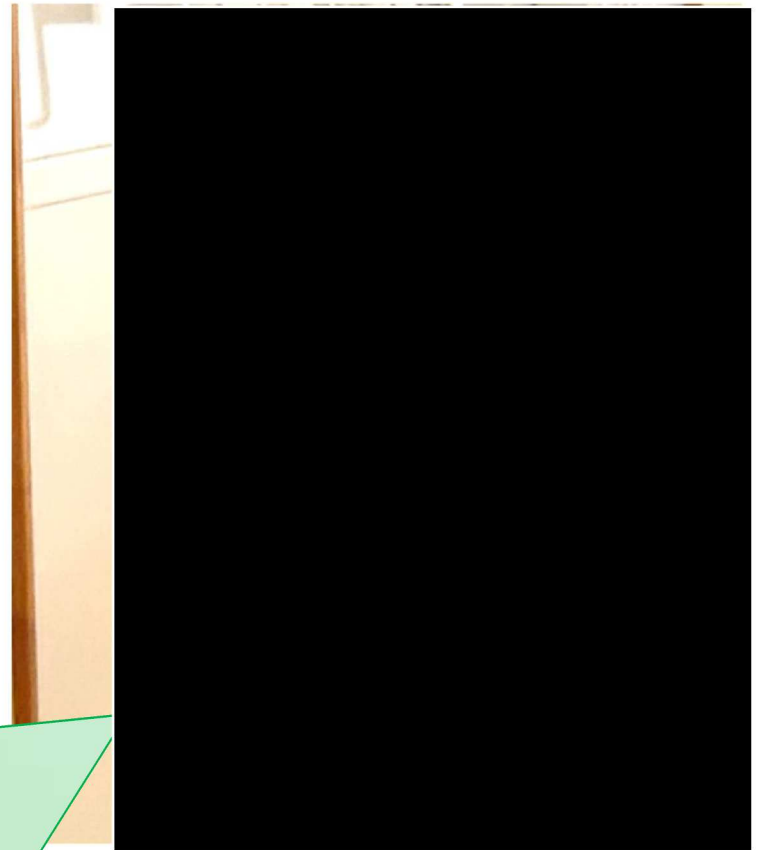
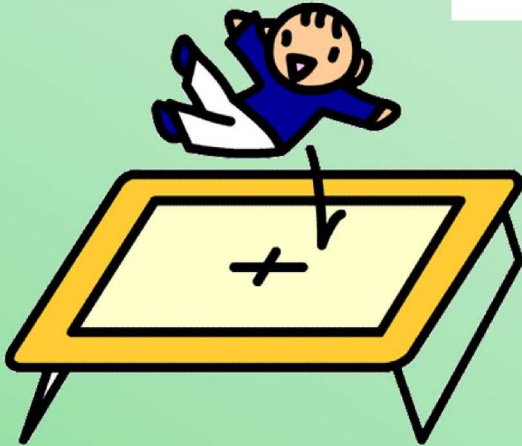
☆ さかなが すきです。

☆ すきな ゲームは
マイクラです。

☆ すきな べんきょうは
ずこうです。

☆ かんじの べんきょうを
がんばりたいです。





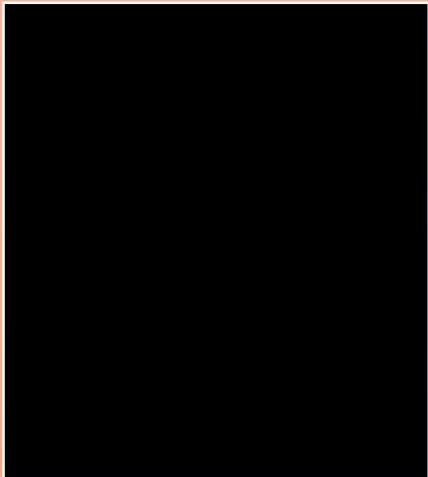
それぞれのクラスに なんにん いるかな？

クラス	こども	せんせい
1くみ	13にん	4にん
2くみ	5にん	3にん
3くみ	5にん	4にん

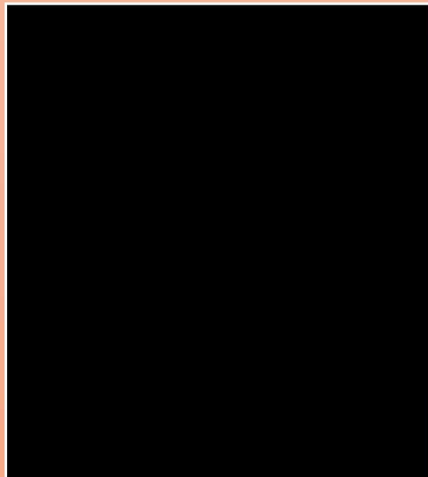
さくらがっきゅうのせんせい

さくら 1組

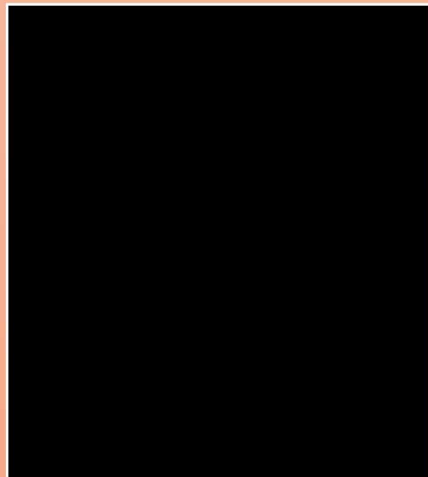
よしだ まい せんせい



こじま ちづる せんせい



あべ さとみ せんせい



すずき まり せんせい

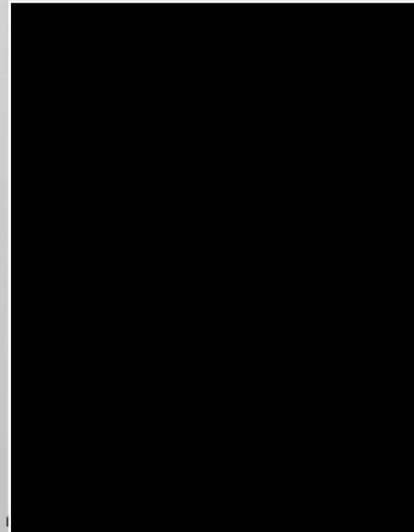


さくらがっきゅうのせんせい

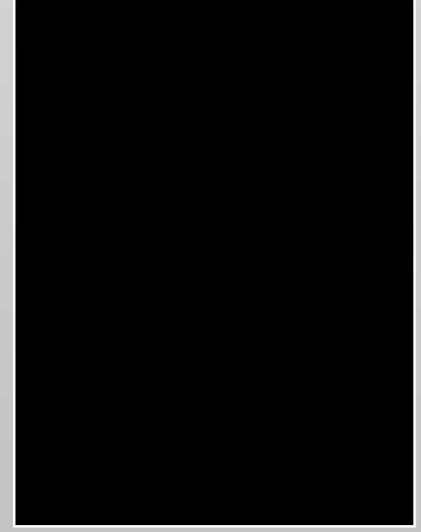
さくら 2くみ



みぞた せんせい



いちまん せんせい



いしやま せんせい

さくらがっきゅうのせんせい

さくら 3くみ

おくやま せんせい

さるき せんせい

ふくだ せんせい

いわた せんせい

さくらがっきゅうのせんせい

ほけんしつ

うじょう せんせい

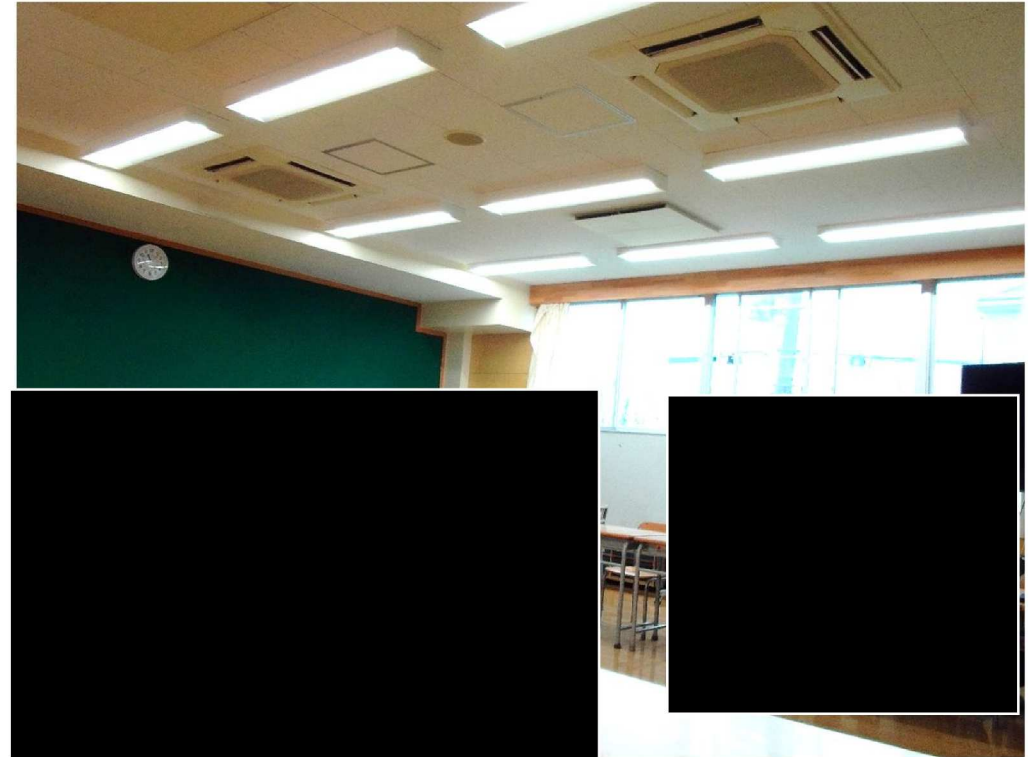
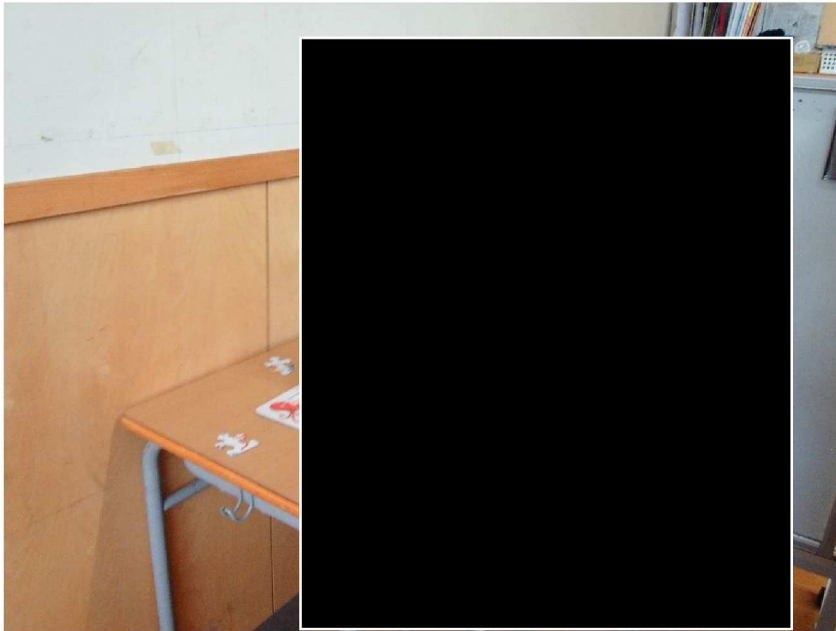
さくら1くみ

きょうしつが2つあります

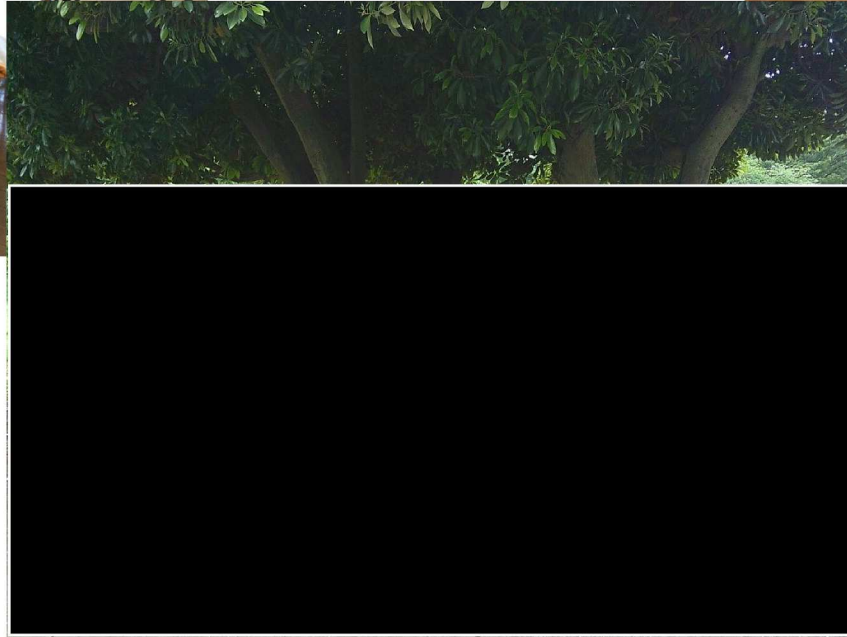
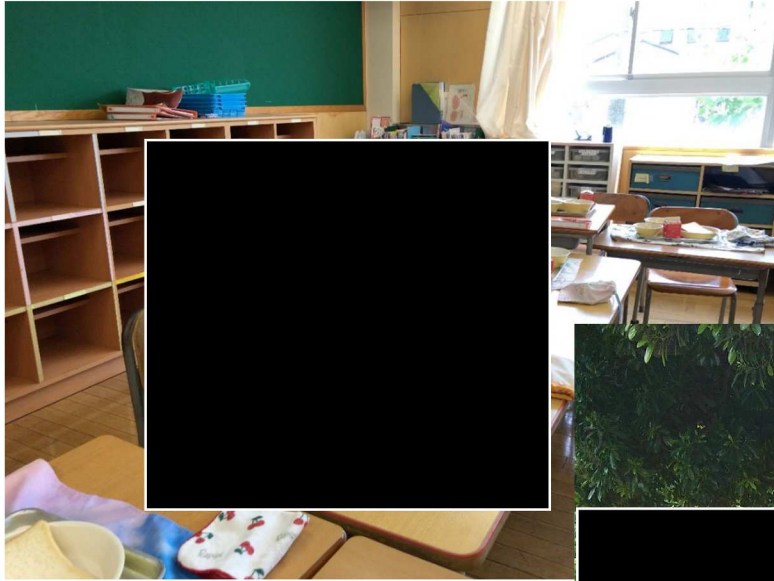


Bとう 2かい

がくしゅう



ひとりひとりにあった べんきょうや
グループでの かつどうをしています

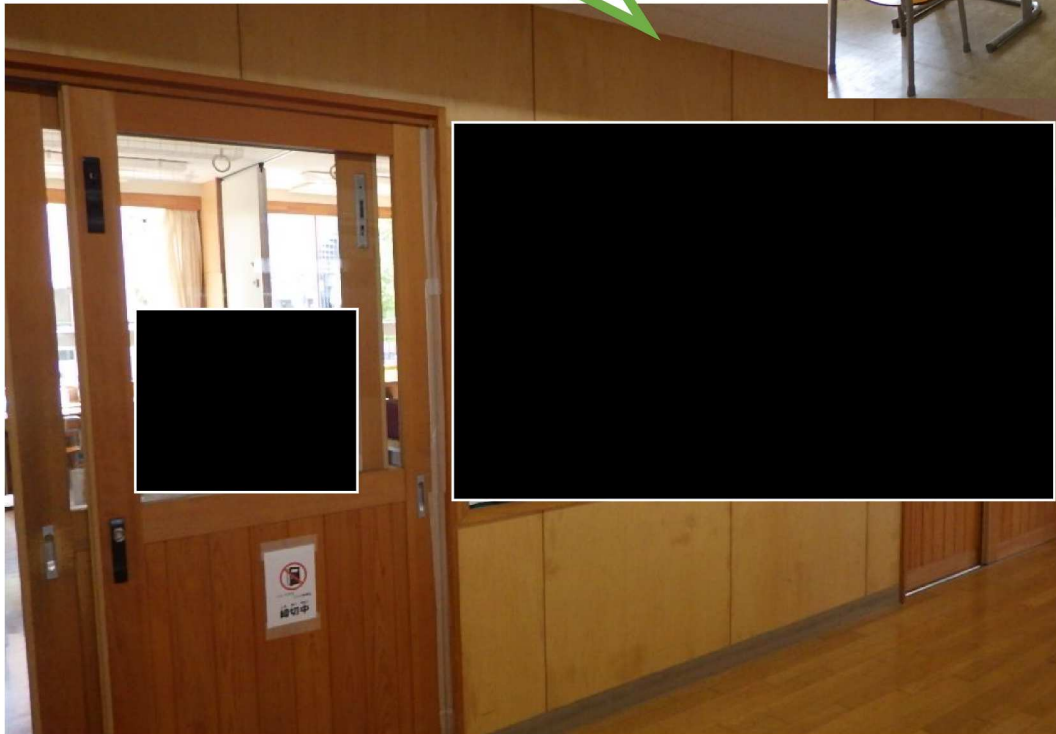
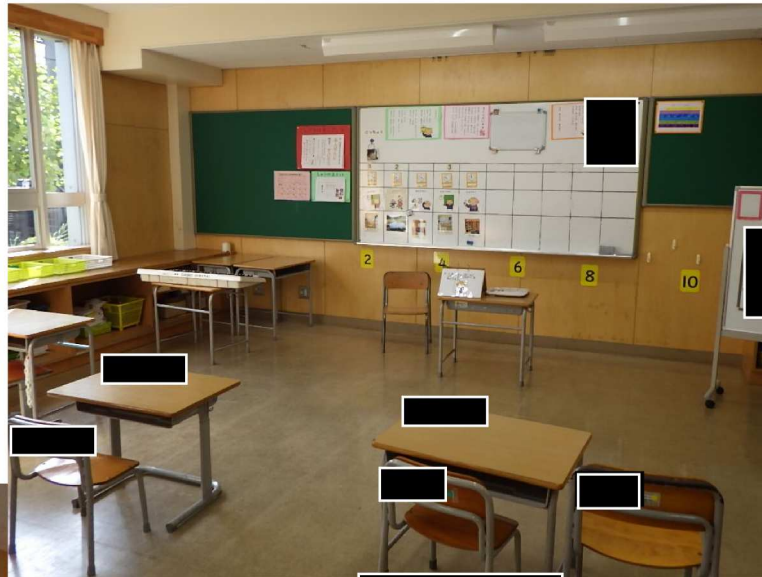


**さくら1くみで こうがい がくしゅうに いったい、
たいいくなどの がくしゅうを したり します！**

さくら2・3くみ

び

Bとう 1かい

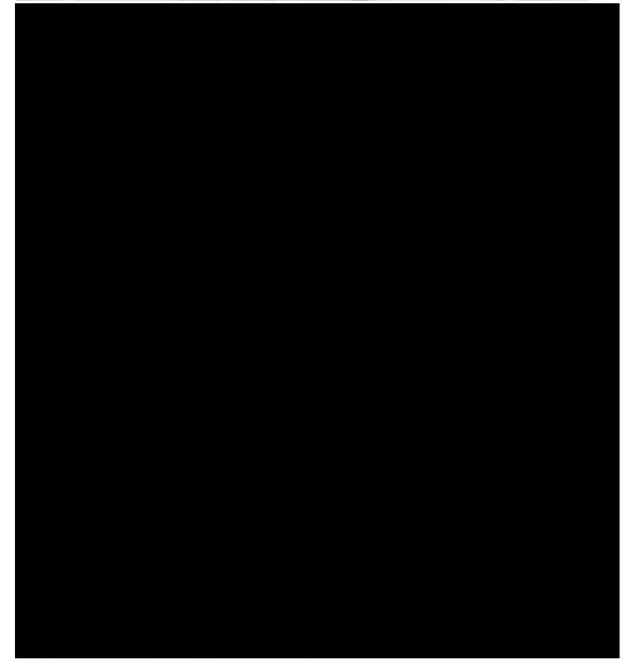


とうこう

コスモス ごと

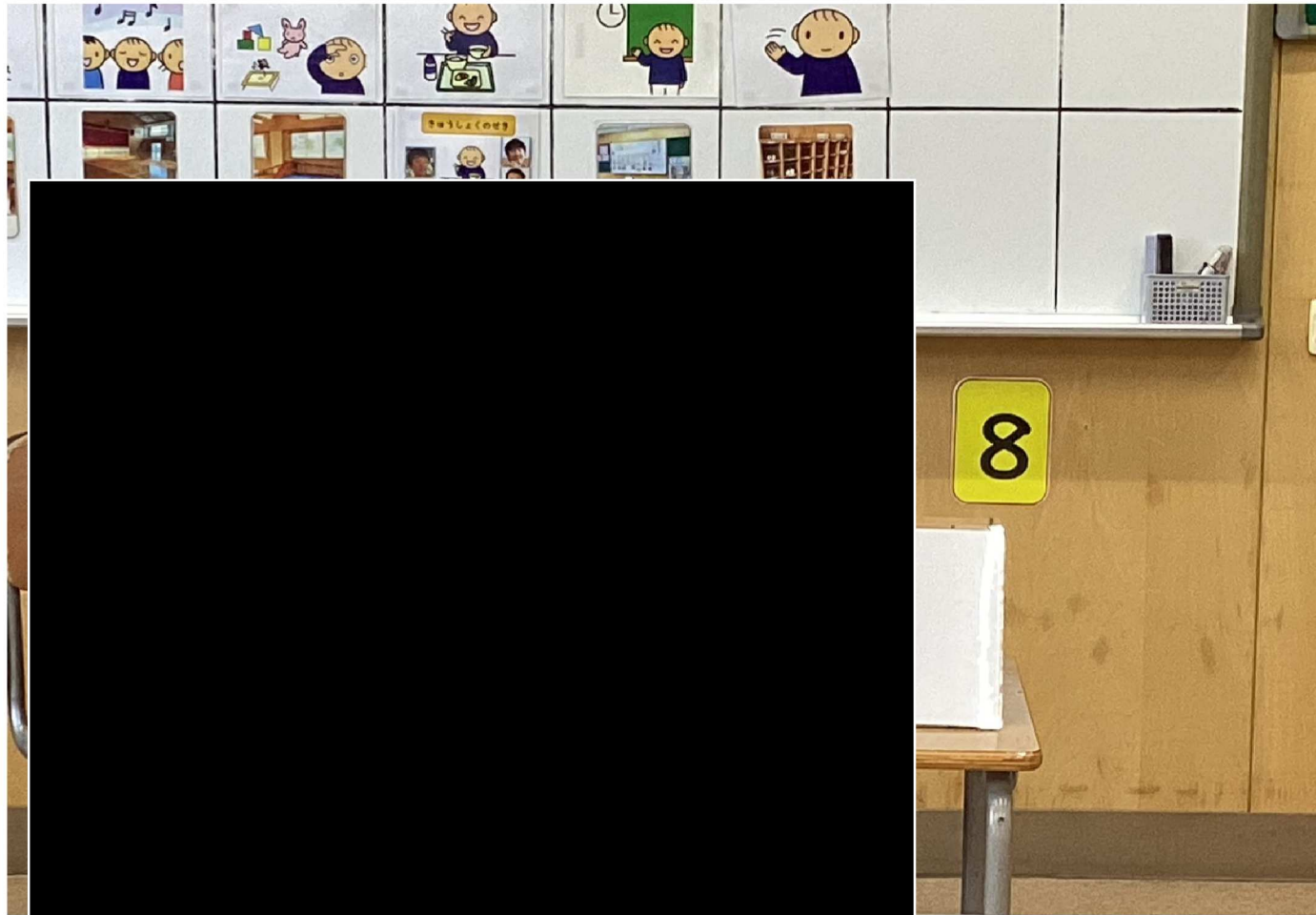


バスにのって
くるひともいるよ

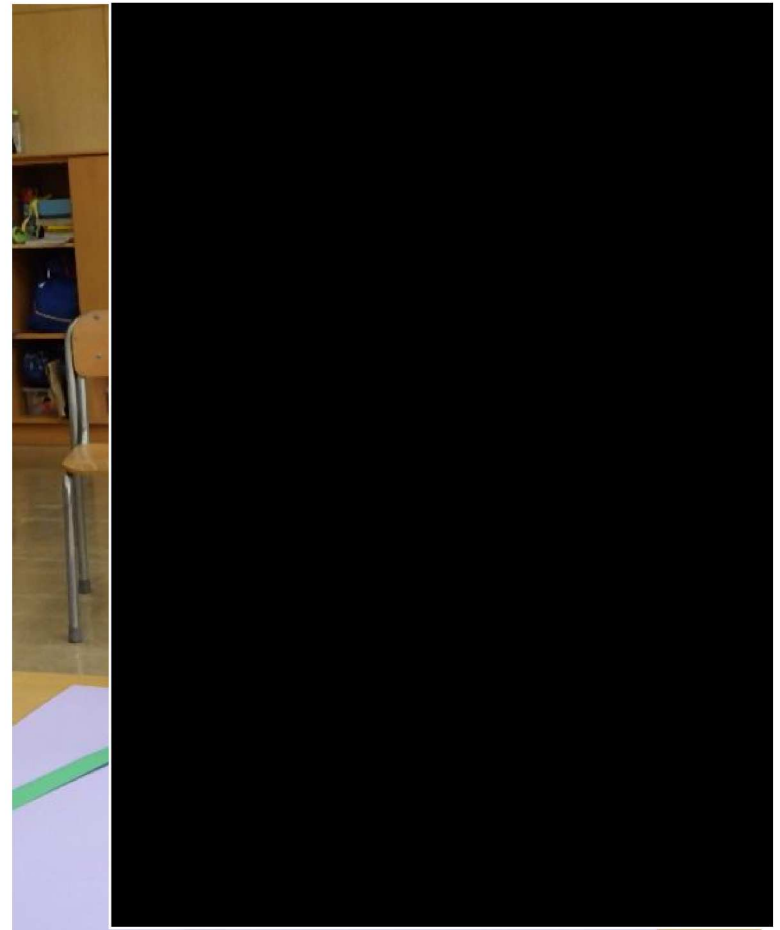


あさのかい

しゃしんや えのカードを つかって
いちにちの よていを かくにんします

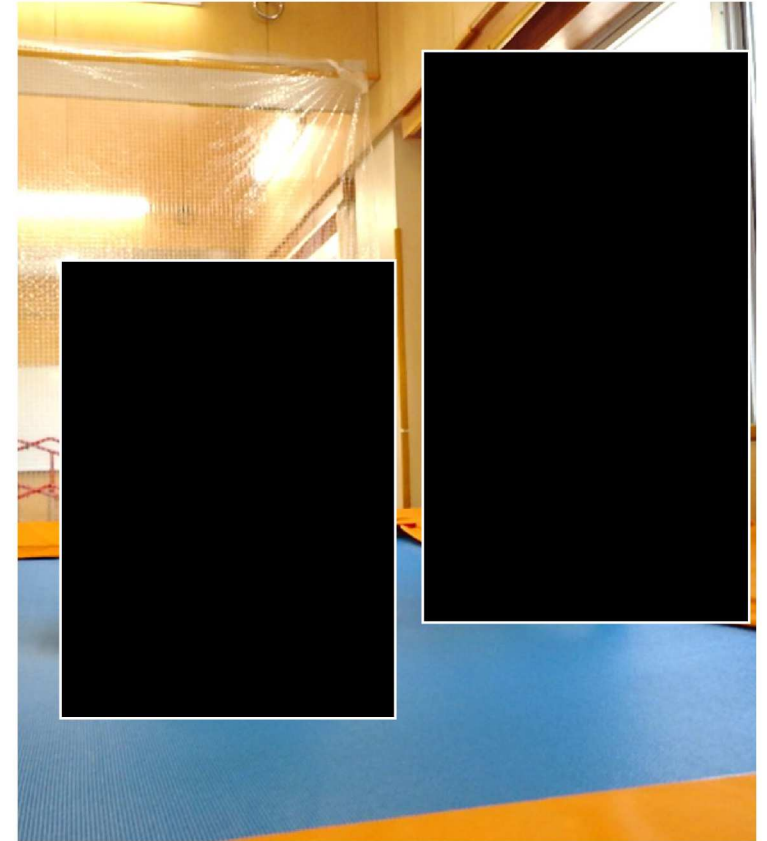
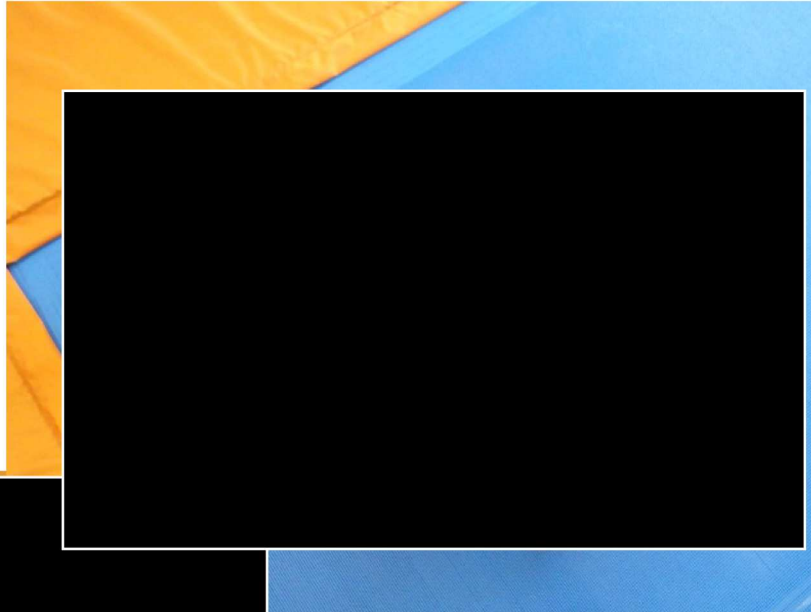


こべつがくしゅう



こくごや さんすうは ひといずつ
べんきょうをしています

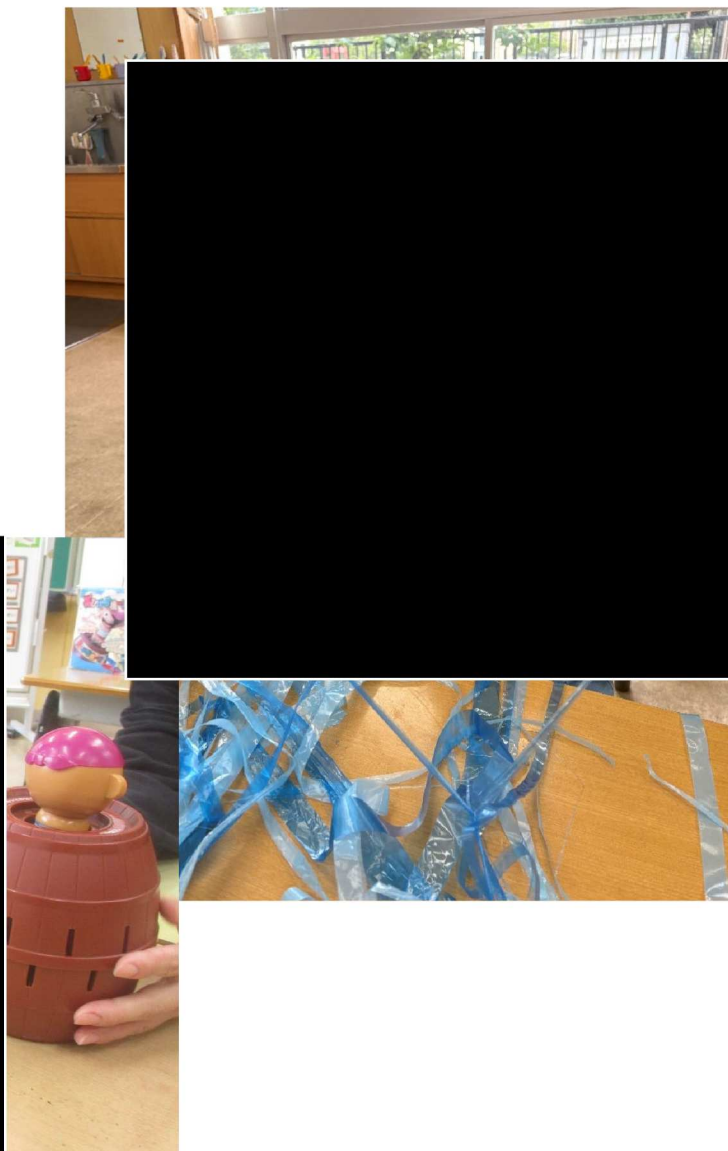
やすみじかん



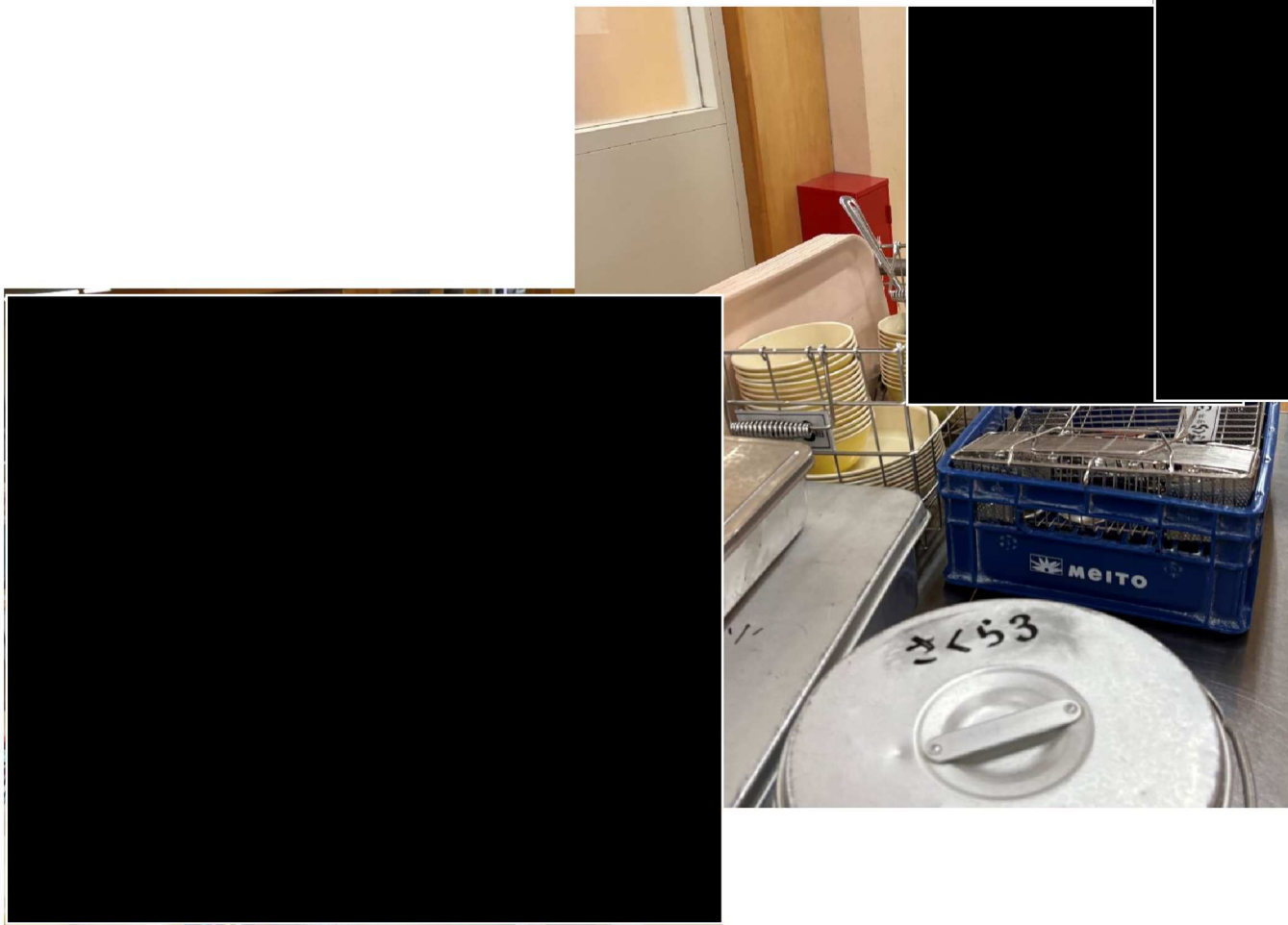
だいすきな うたえほんを きいたり、
ともだちとトランポリンをとんだり
してあそんでいます

がくしゅう

クラスや グループで
かつどうしています

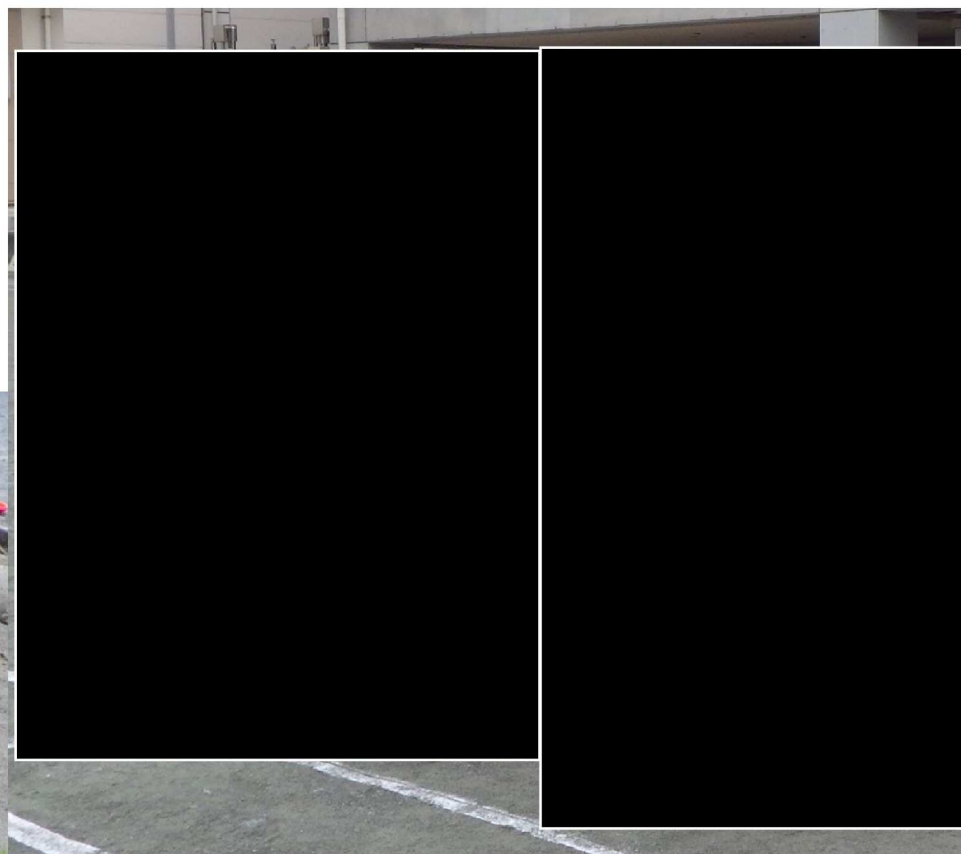
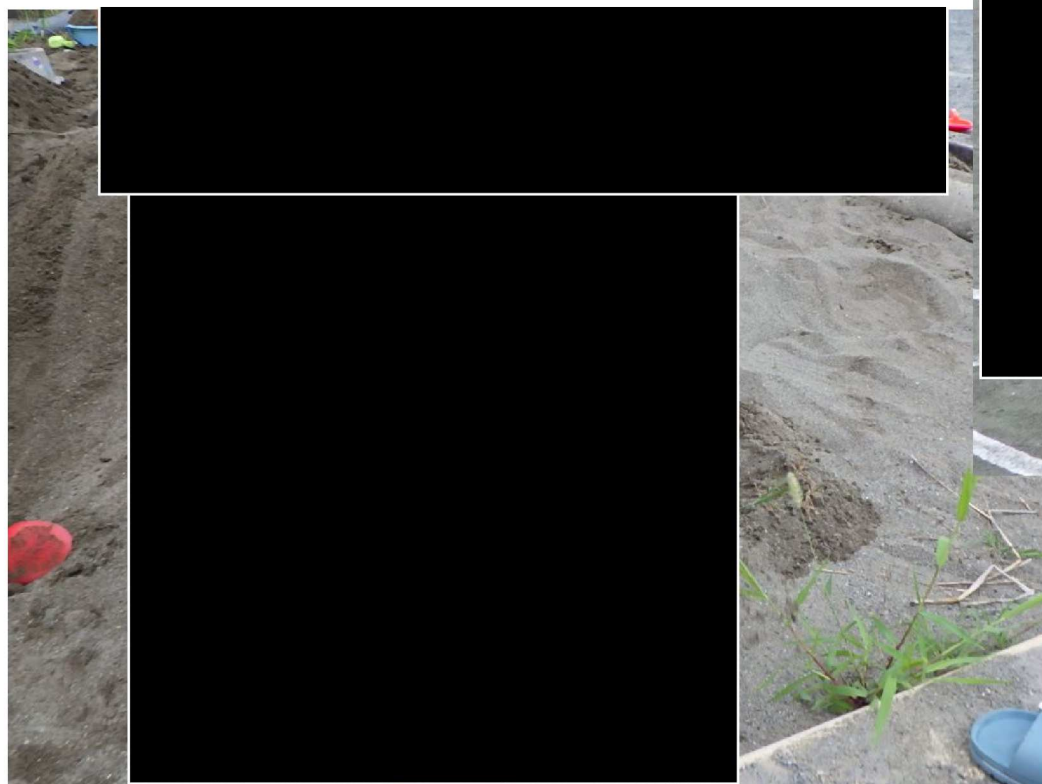


きゅうしょく・そうじ



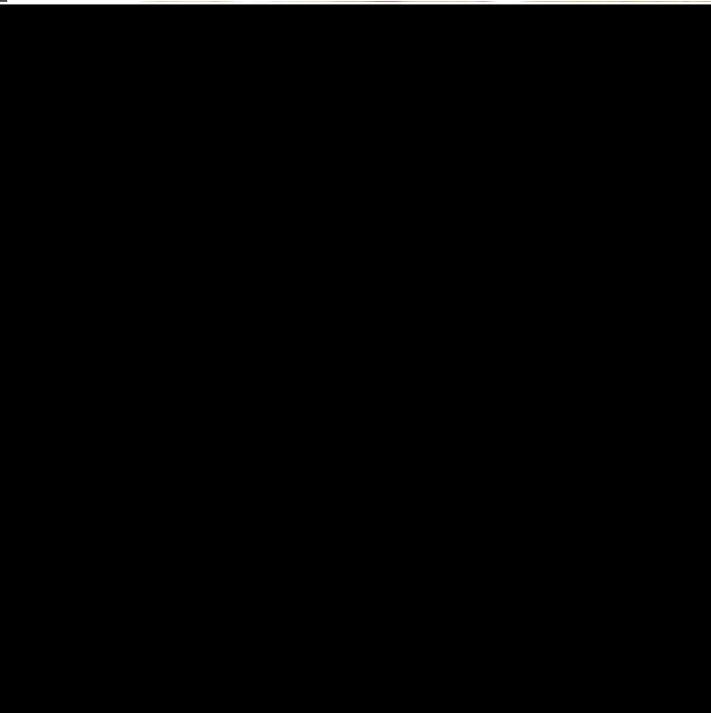
ワイパーとぞうきん
をつかって
そうじをします

こうりゅう



せいかつの じかに
こうりゅうきゅうで
がくしゅうします

ごうどうの
がくしゅう

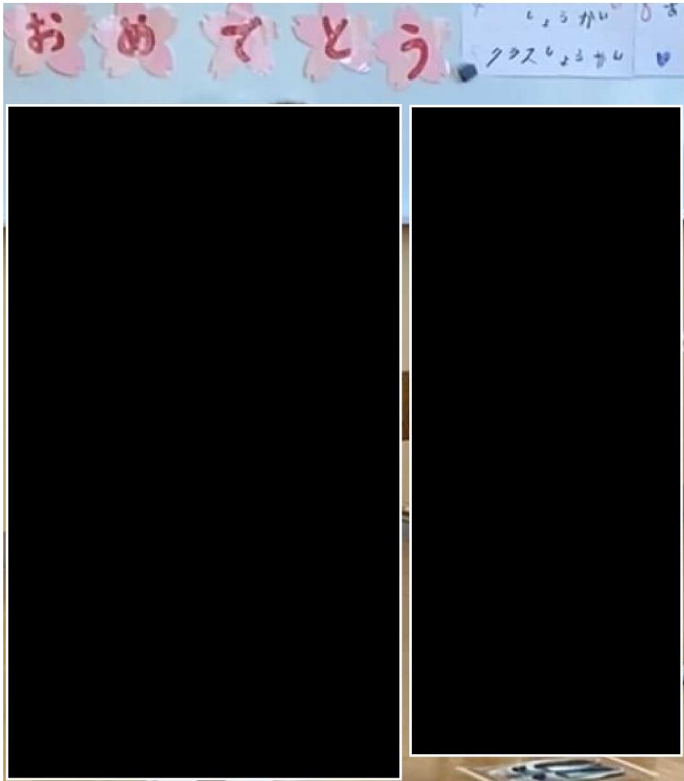


たてわりあそび
をしています

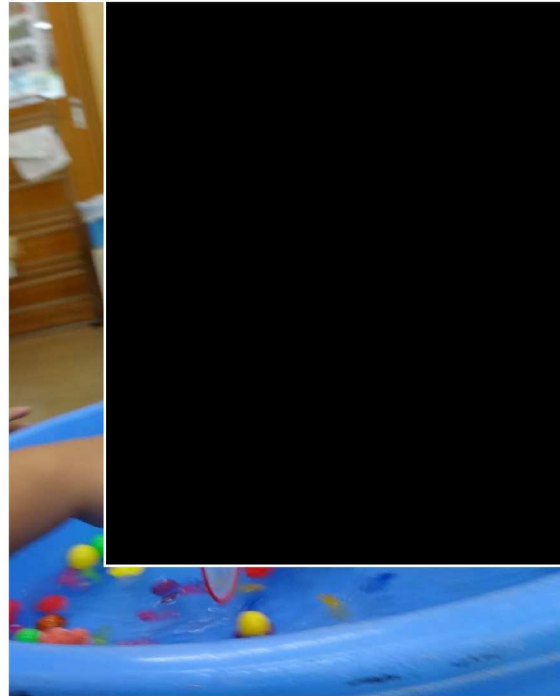
4ねんせいと
みんななかよし
をしています

ごうどうのがくしゅう

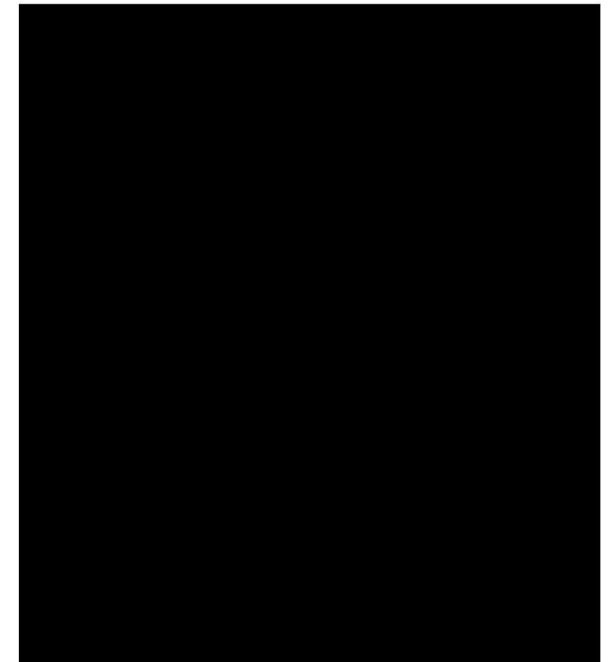
さくら 1 組
さくら 2 組
さくら 3 組



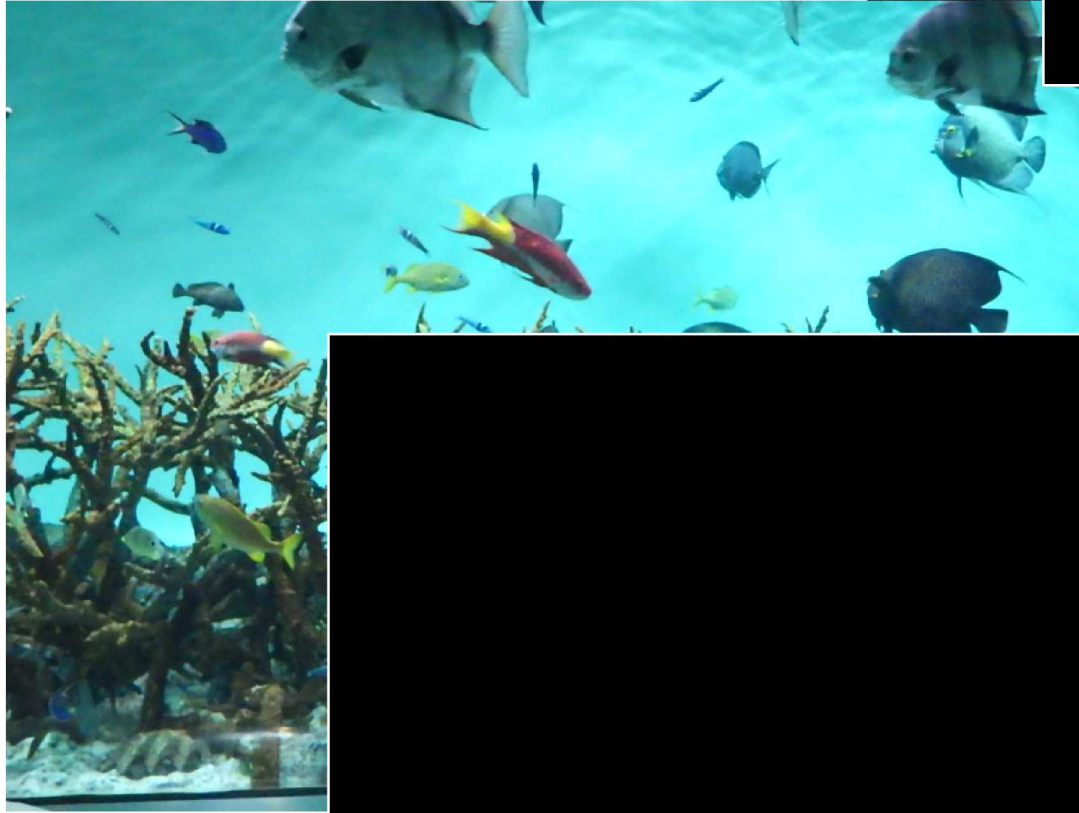
たんじょうかい
をしました



なつまつり をしました



えんそく



**1・2ねんせいの みんなと いっしょに
かさい りんかい すいぞくえんに いったね**



さくらのうた

みんな ともだち てをつなごう

にこにこえがおが うれしいね

みんなのえがおが あつまって

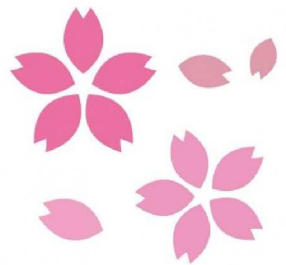
おおきなすてきな はながさく

さみしいときも てをつなごう

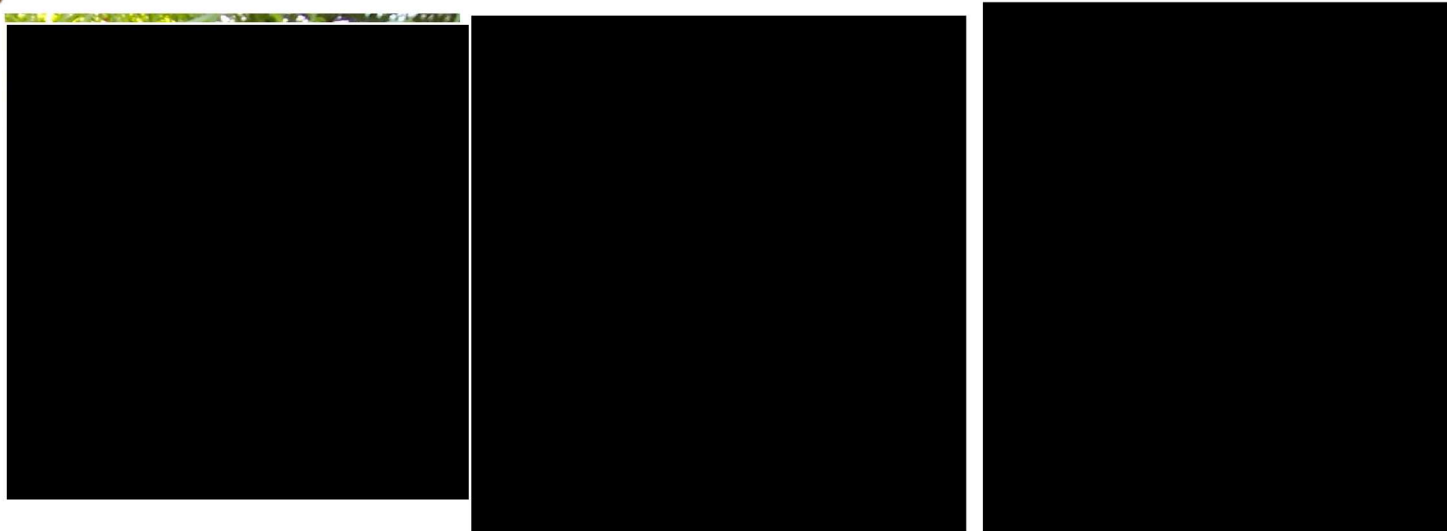
だいじょうぶ だいじょうぶ だいじょうぶ

さくら さくら さくらのなかま

さくら さくら みんなだいすき



これからも なかよくしてね



第2学年 さくらタイム学習指導案

1 日時・場所 令和7年10月16日(木)6時間目 2-1 (溝田) 2-2 (吉田)

2 本時 「さくら学級の友だちやさくら学級のことを知ろう」

3 本時のねらい

○さくら学級の友だちに興味をもち、相手を知ろうとする。

○さくら学級の活動の様子を知り、親しみを感ずる。

4 本時の展開

主な学習活動	・指導上の留意点
1 始めのあいさつをする。	・さくら学級のあいさつの方法で手話をつけたあいさつを一緒に行う。
2 さくら学級の児童やさくら学級の一日の流れを知る。 【PPT】	・さくら学級の人数や一日の様子などを、パワーポイントを使って紹介する。 ・クイズを取り入れながら、楽しく学習ができるようにする。
1年生の内容との違い ○なぜさくら学級に在籍をしているのか、苦手としていることも伝える。 ○どんなふうに声をかければよいのかも伝えたい。	・さくら学級2年生児童の好きなもの得意なことなどを、写真などを使って分かりやすく説明し、親しみがもてるようにする。 ・さくら学級児童についての部分に時間をかけて丁寧に説明をする。 ・だれにでも得意なこと、苦手なことがあることに触れる。 ・4年生になったら「みんななかよし」があることにふれる。
3 やってみよう	
① 「さくらのうた」を聞く。	① 「さくらのうた」を聞きながら、手話で表現できるように手本を示す。
② エビカニクスを踊る。 (時間がない時は省略)	② 机はそのまま、楽しく踊る。
4 疑問に思ったことを質問したり感想を発表したりする。	・感想を聞き、繰り返したり膨らませたりすることで、さくら学級の児童により親しみがもてるようにする。 ・これを機会にかかわりをもっていけるよう話をする。 (給食交流など)
5 終わりのあいさつ	・さくら学級のあいさつの方法で手話をつけたあいさつを一緒に行う。



さくらタイム

～さくら学級と なかよし～

クイズです！

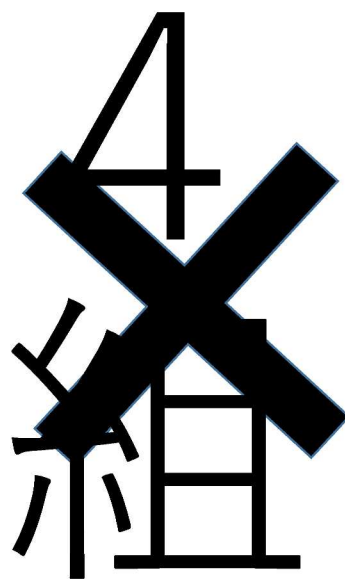
さくら学級はぜんぶ
で何組まであるので
しょうか？

A

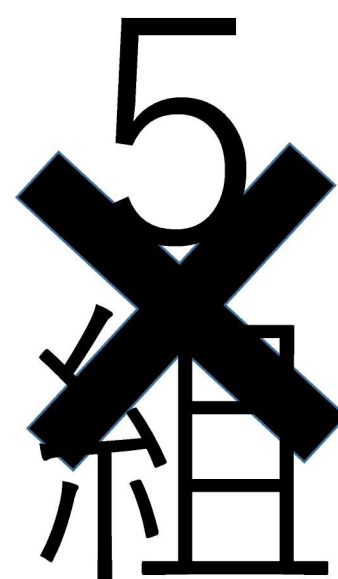


せいかい

B



C



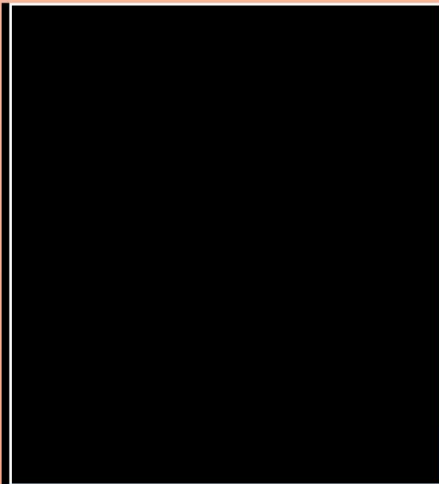
各クラスの人数は・・・

クラス	こども	せんせい
1くみ	13にん	4にん
2くみ	5にん	3にん
3くみ	5にん	4にん

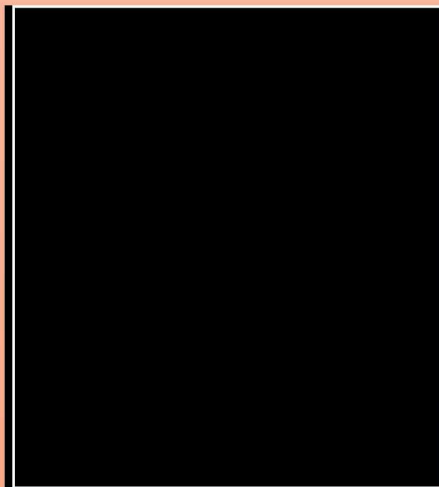
さくらがっきゅうのせんせい

さくら 1組

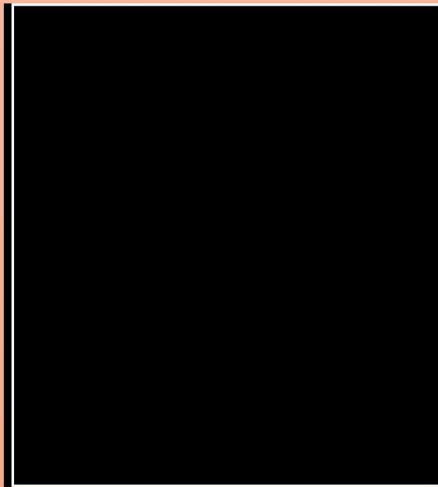
よしだ まい せんせい



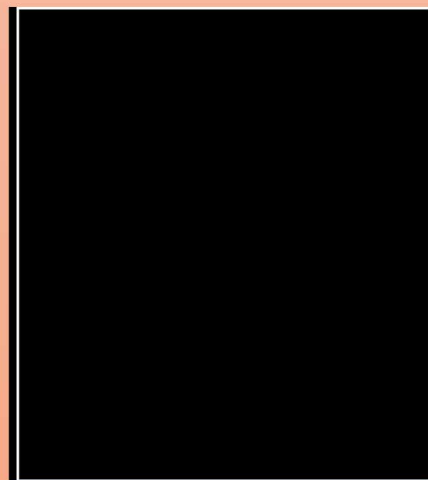
こじま ちづる せんせい



あべ さとみ せんせい

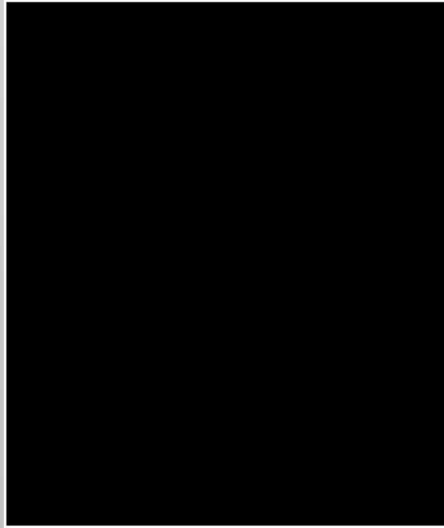


すずき まり せんせい

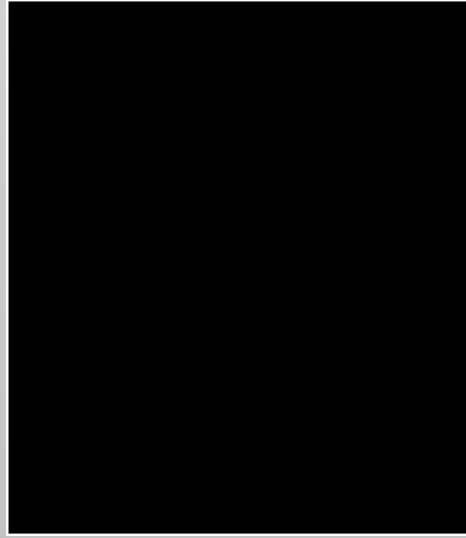


さくらがっきゅうのせんせい

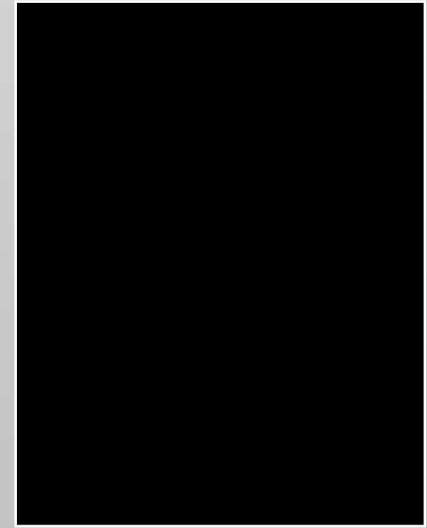
さくら 2くみ



みぞた せんせい



いちまん せんせい



いしやま せんせい

さくらがっきゅうのせんせい

さくら 3くみ

おくやま せんせい

さるき せんせい

ふくだ せんせい

いわた せんせい

さくらがっきゅうのせんせい

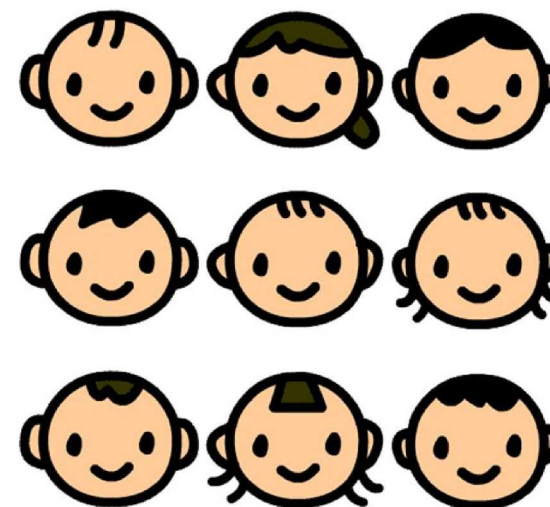
ほけんしつ



うじょう せんせい

さくらがっきゅうの　ともだち

- 1ねんせい　3にん
- 2ねんせい　3にん
- 3ねんせい　3にん
- 4ねんせい　4にん
- 5ねんせい　7にん
- 6ねんせい　3にん



あわせて **2 3** にん



どんな子がさくら学級にいるの？

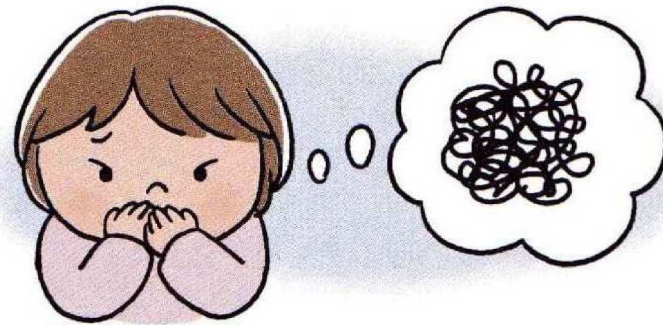




どんな子がさくら学級にいるの？



もちろん、



苦手なこともあります。



どんな子がさくら学級にいるの？



大きな
こえや音

にがてな
かつどう



たくさんの
人がいる



きんちょう



目

キ

け

先生や 友だちの たすけが ひつよう

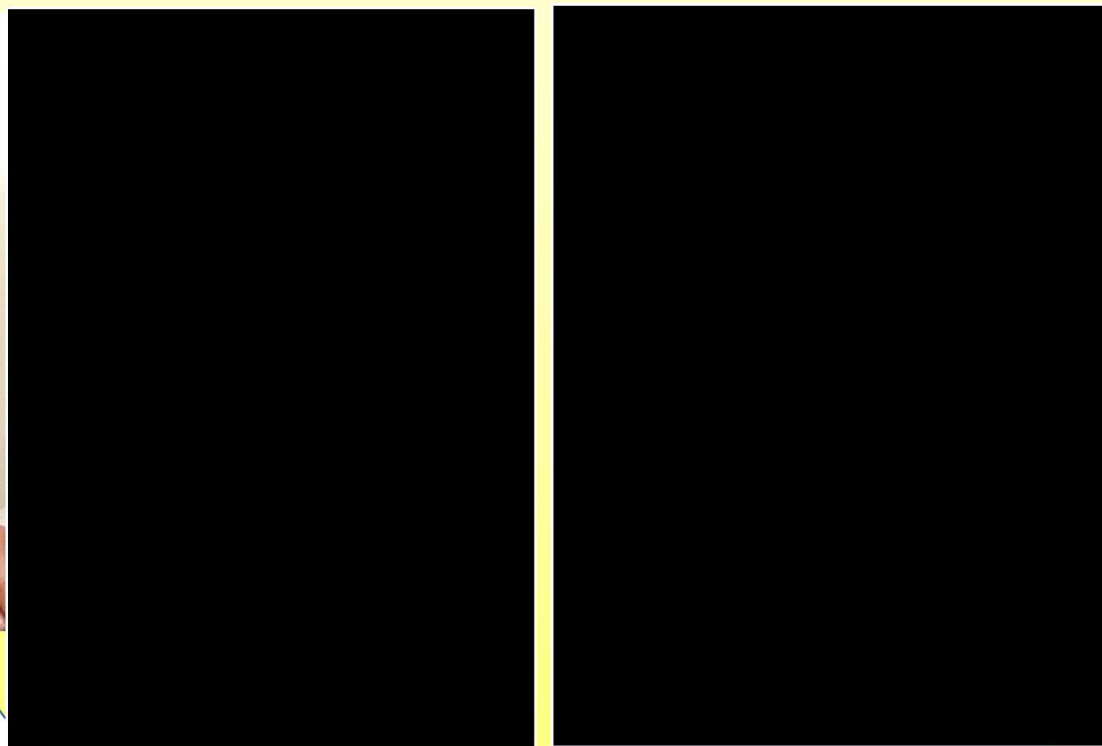


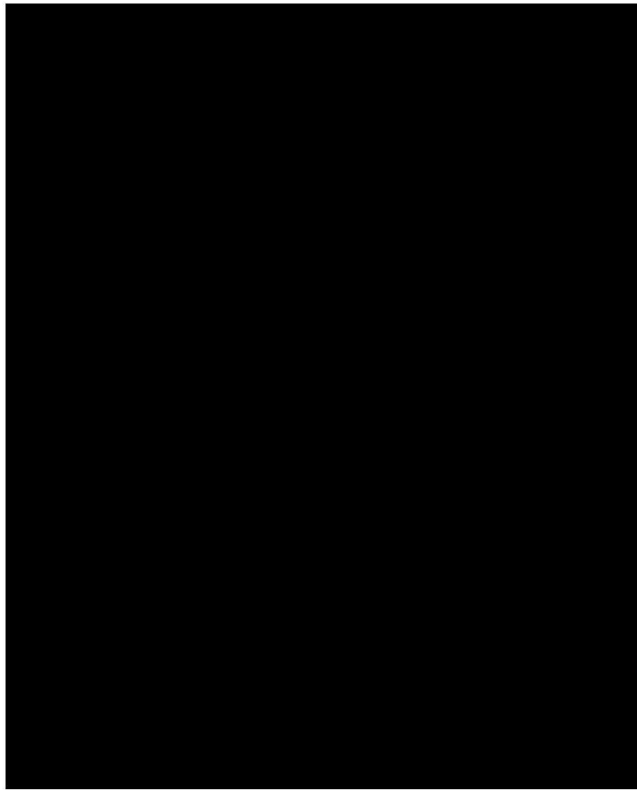
さくら学級の 2年生

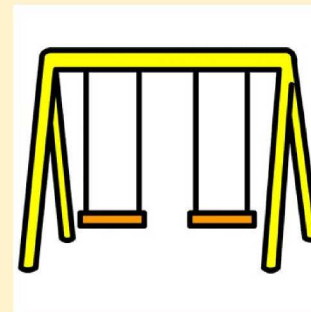
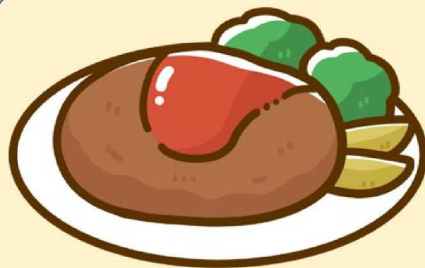
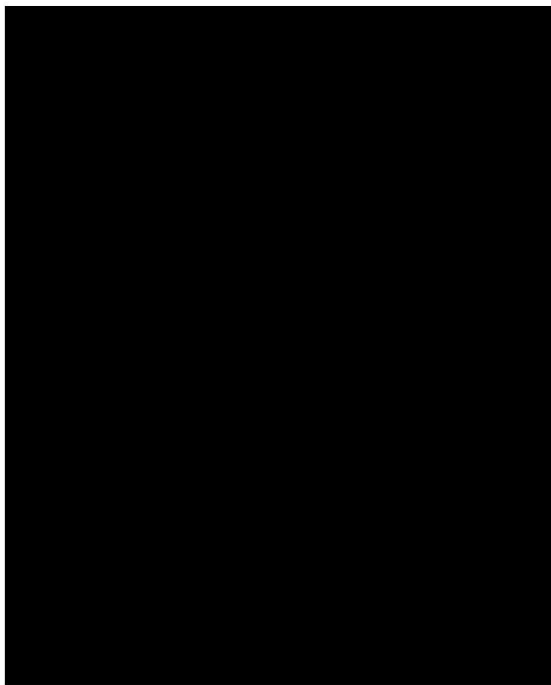
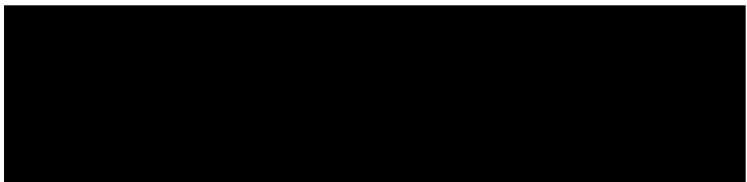
2 - 1

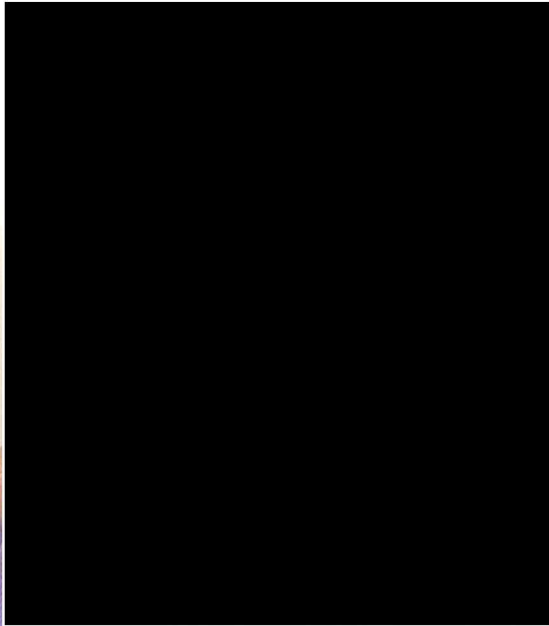


2 - 2









さん クイズ

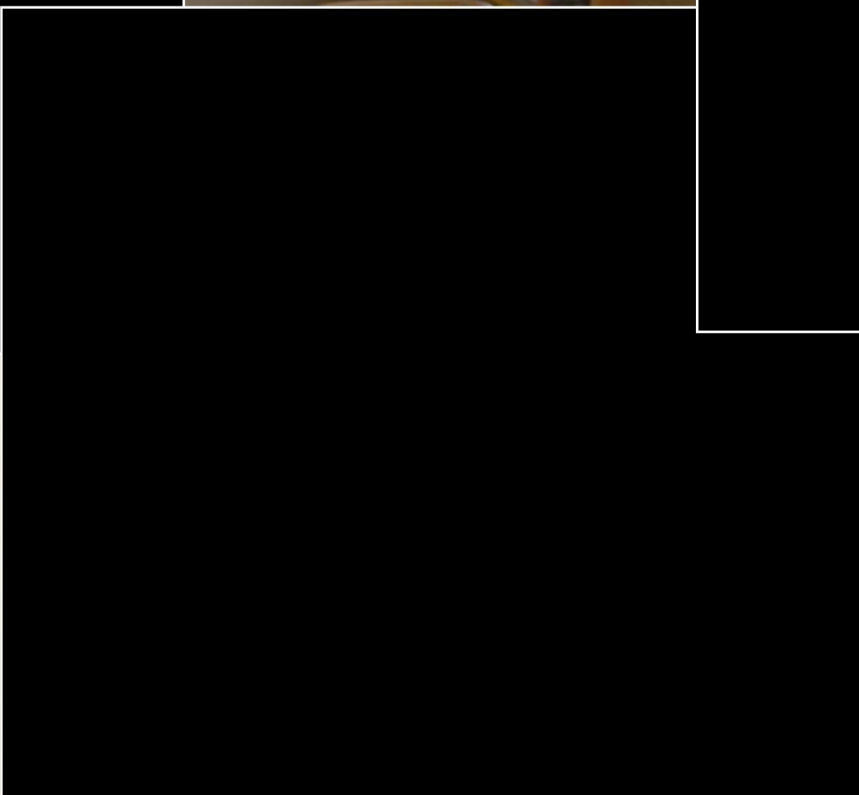
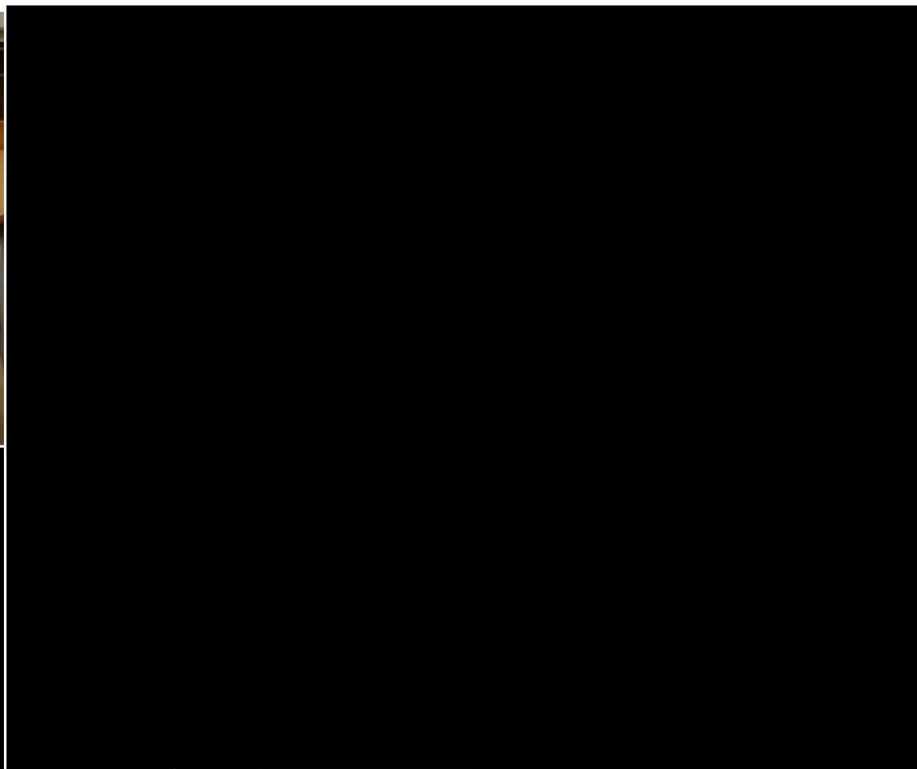
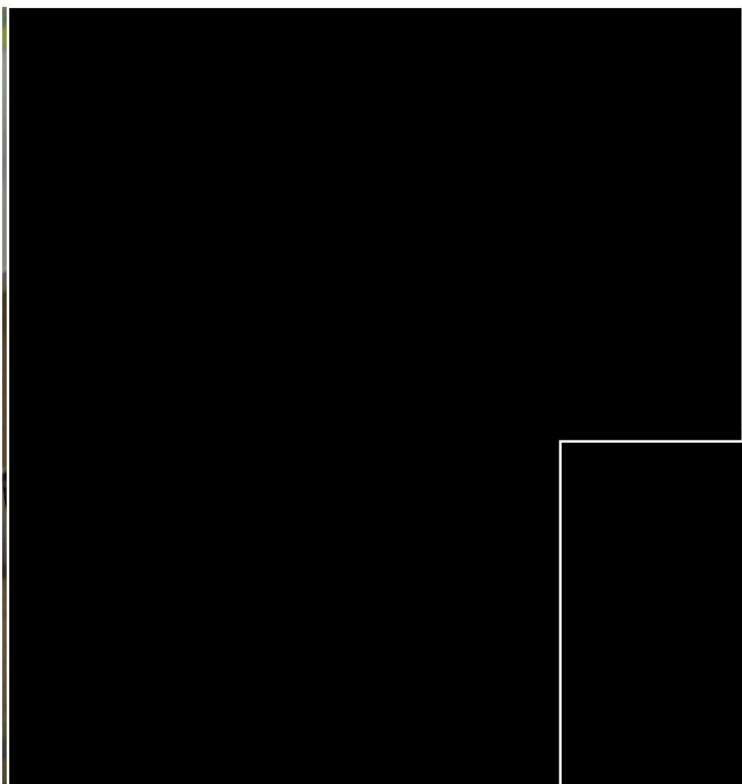
ぼくの すきな べんきょうは なんでしょう。

①おんがく

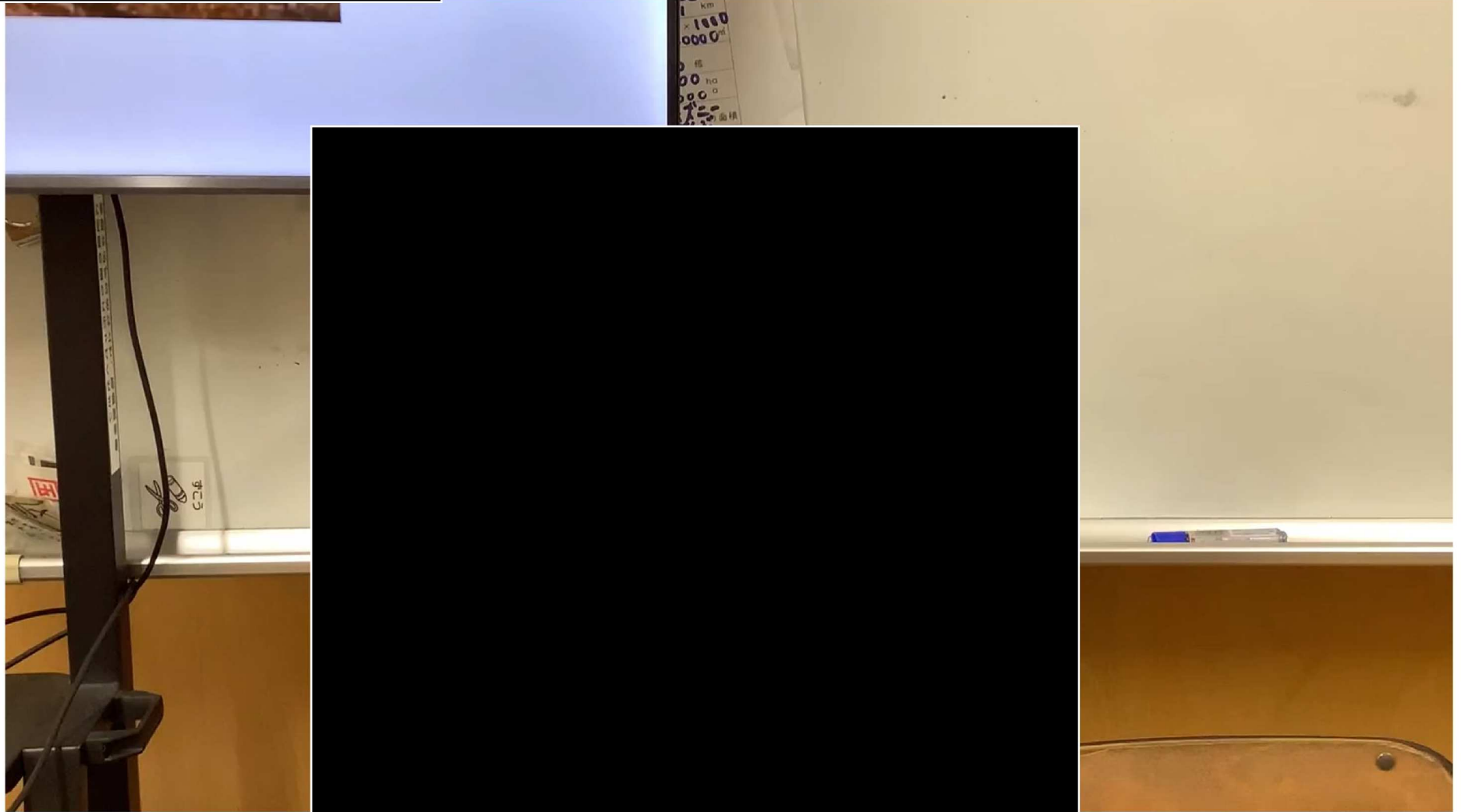
②たいいく

③ずこう

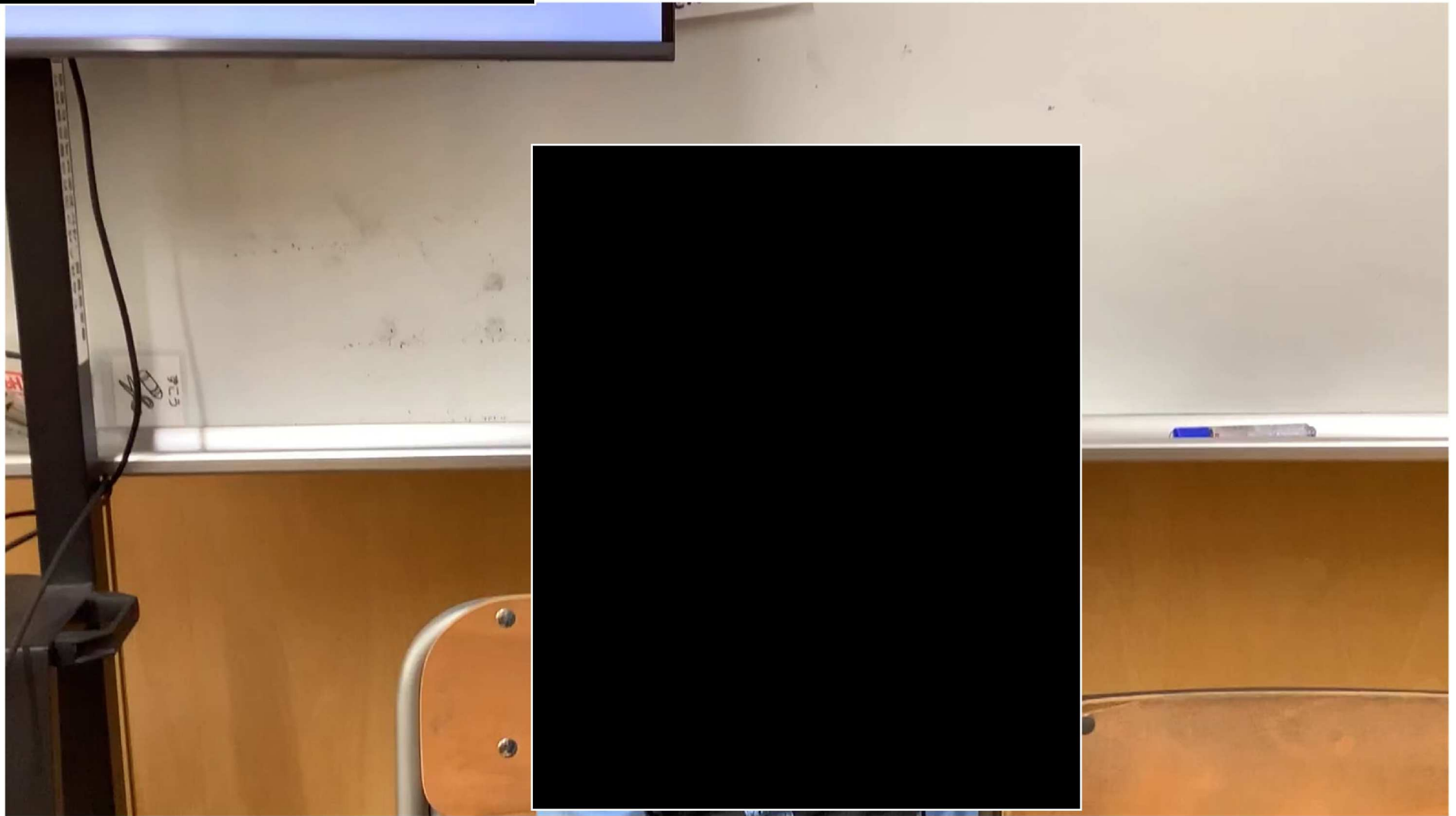
①おんがくと③ずこう



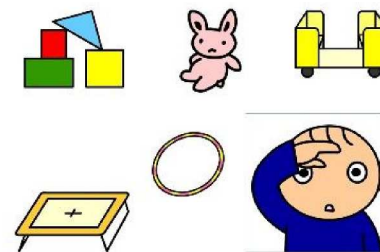
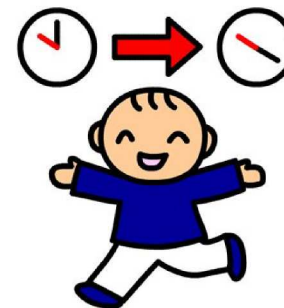
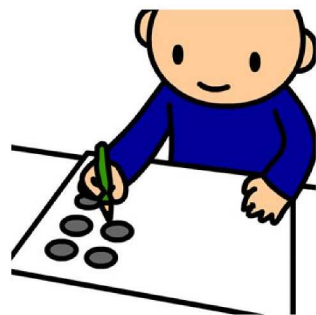
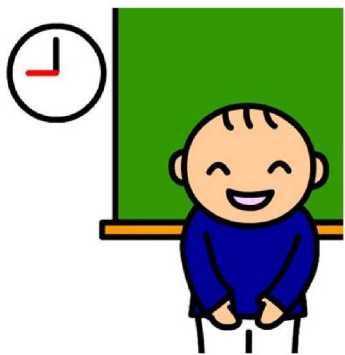
さん クイズ



さん クイズ



さくら学級の1日をしよう

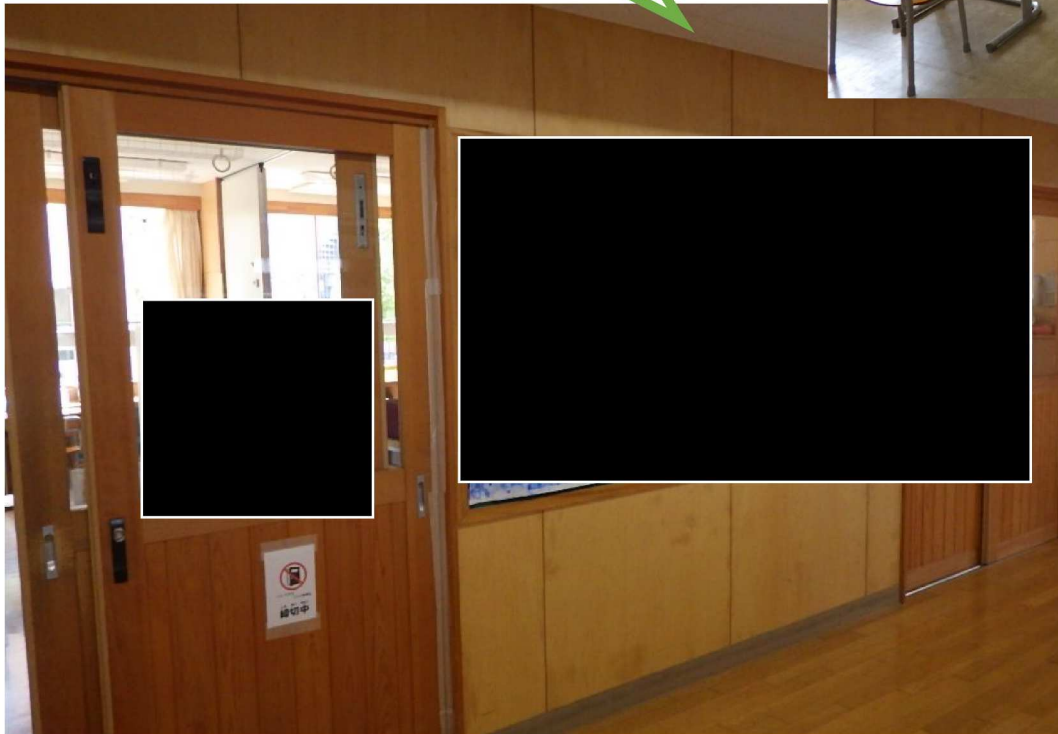
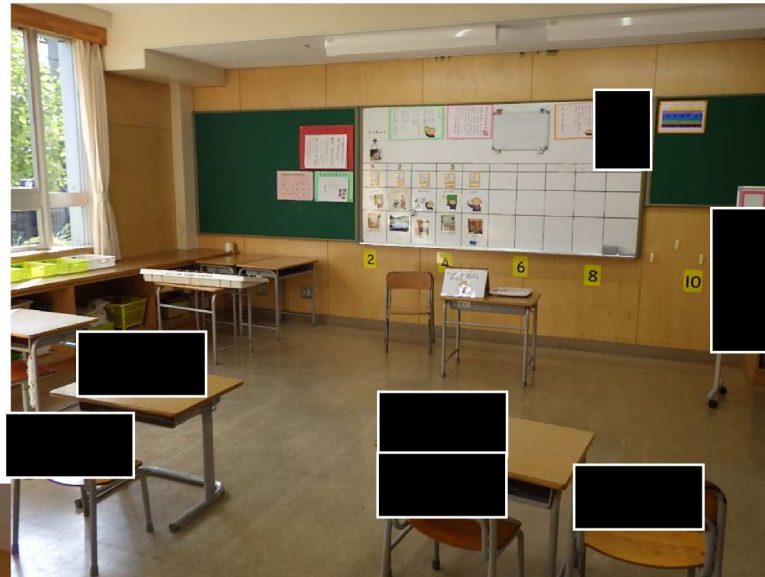


さくら1くみ

どうがで しょうかいするよ

さくら2・3くみ

Bとう 1かい



とうこう

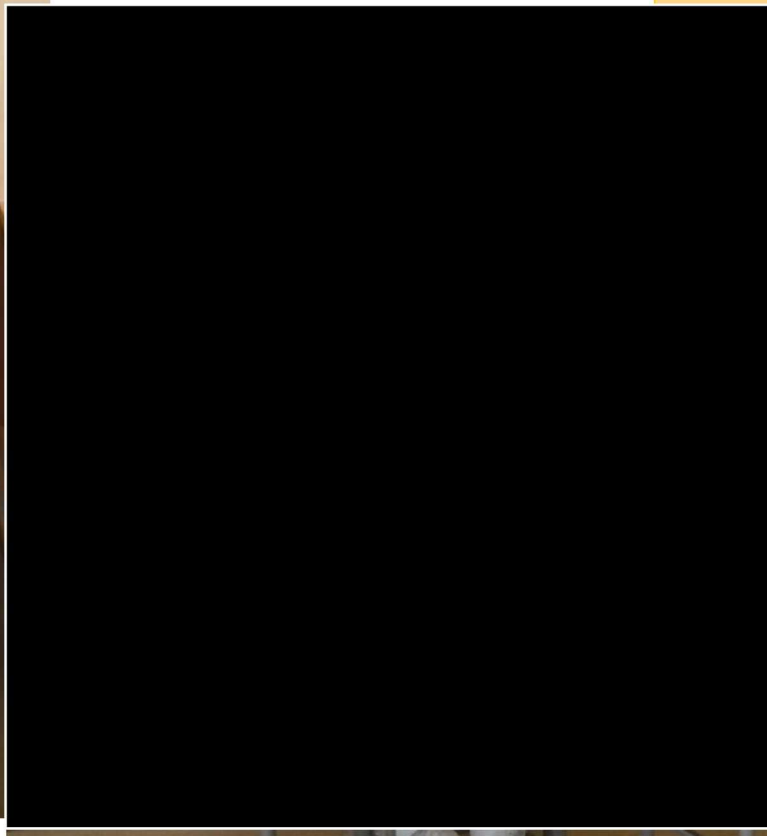
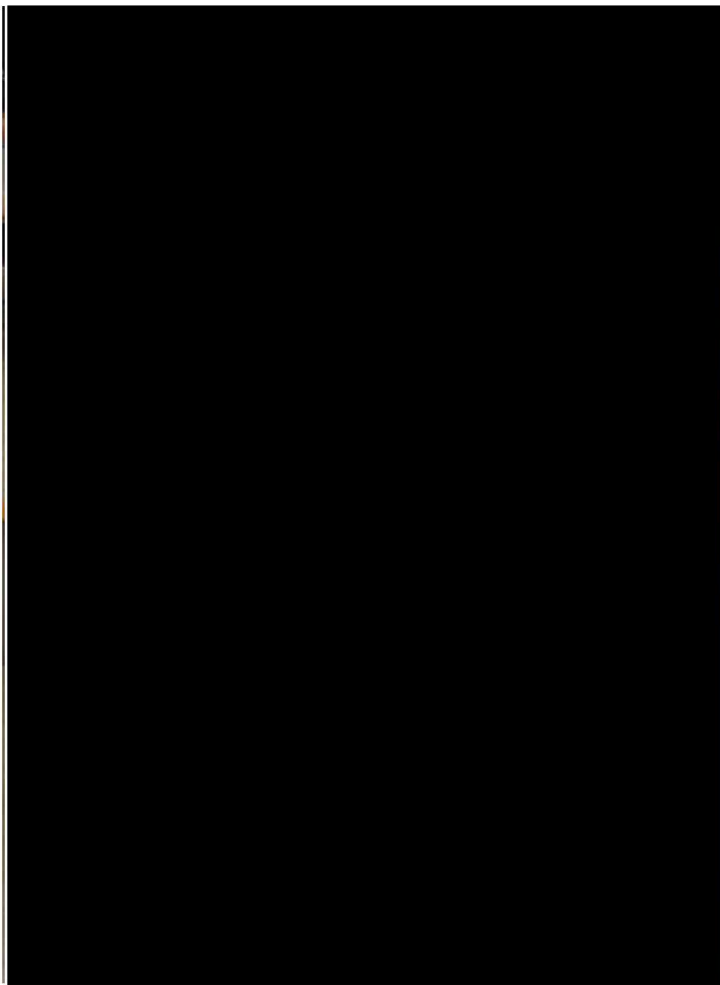
コスモス ごと



バスにのって
くるひともいるよ



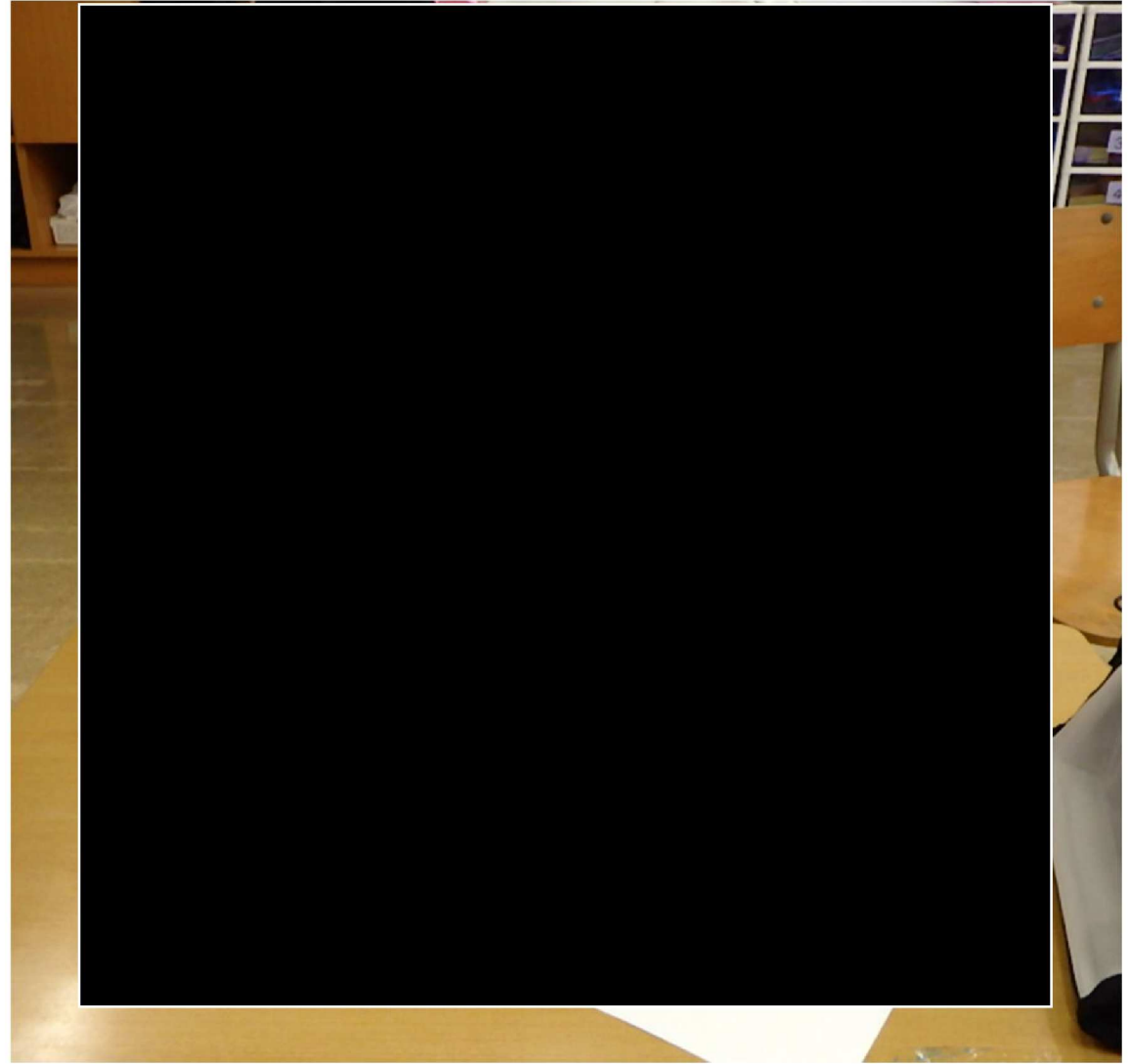
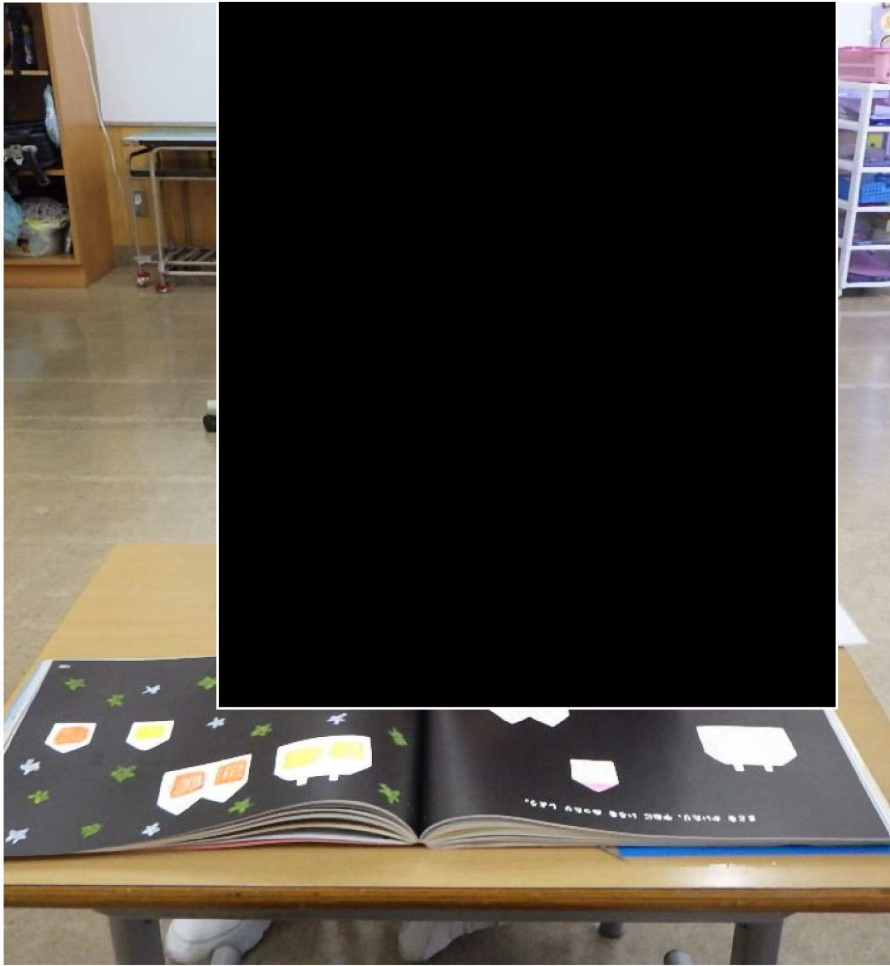
あさのかい



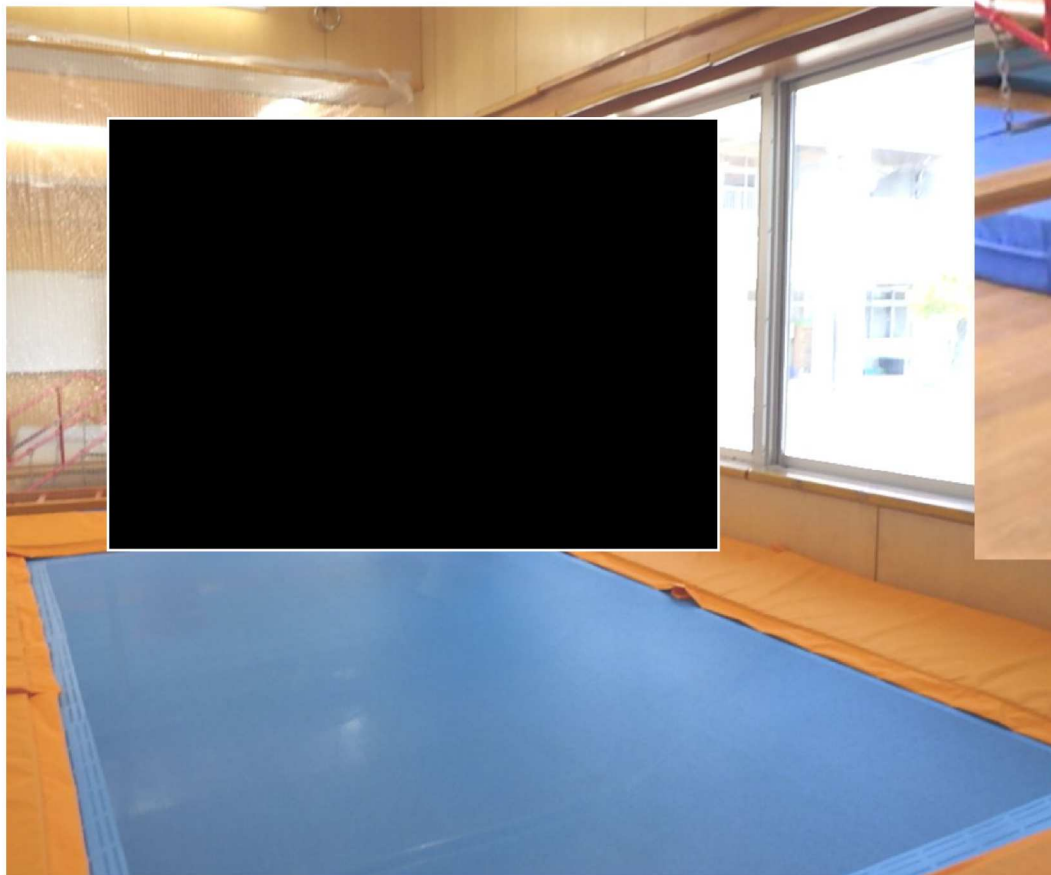
きかいをつかう
ともだちもいます



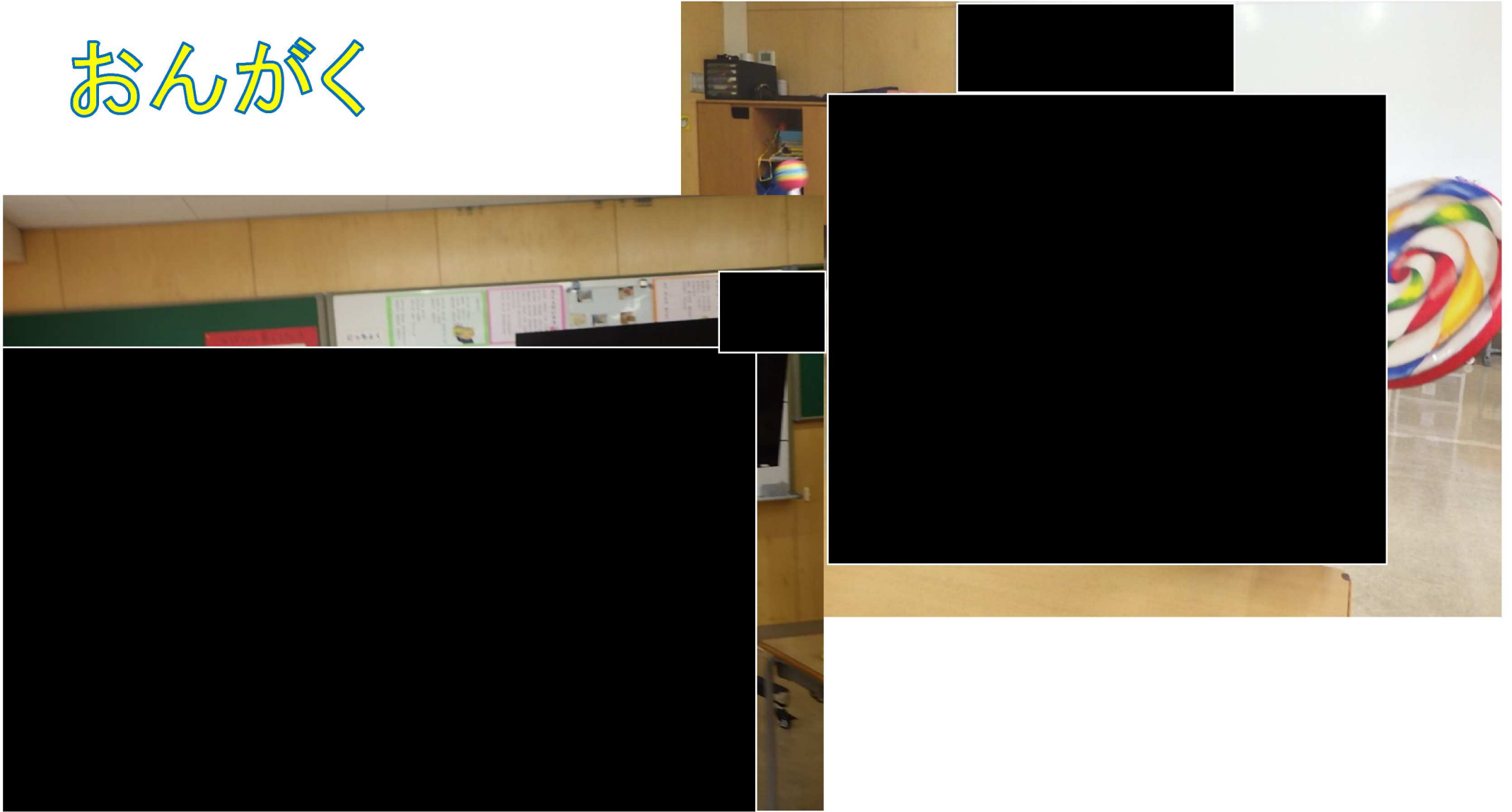
こべつがくしゅう



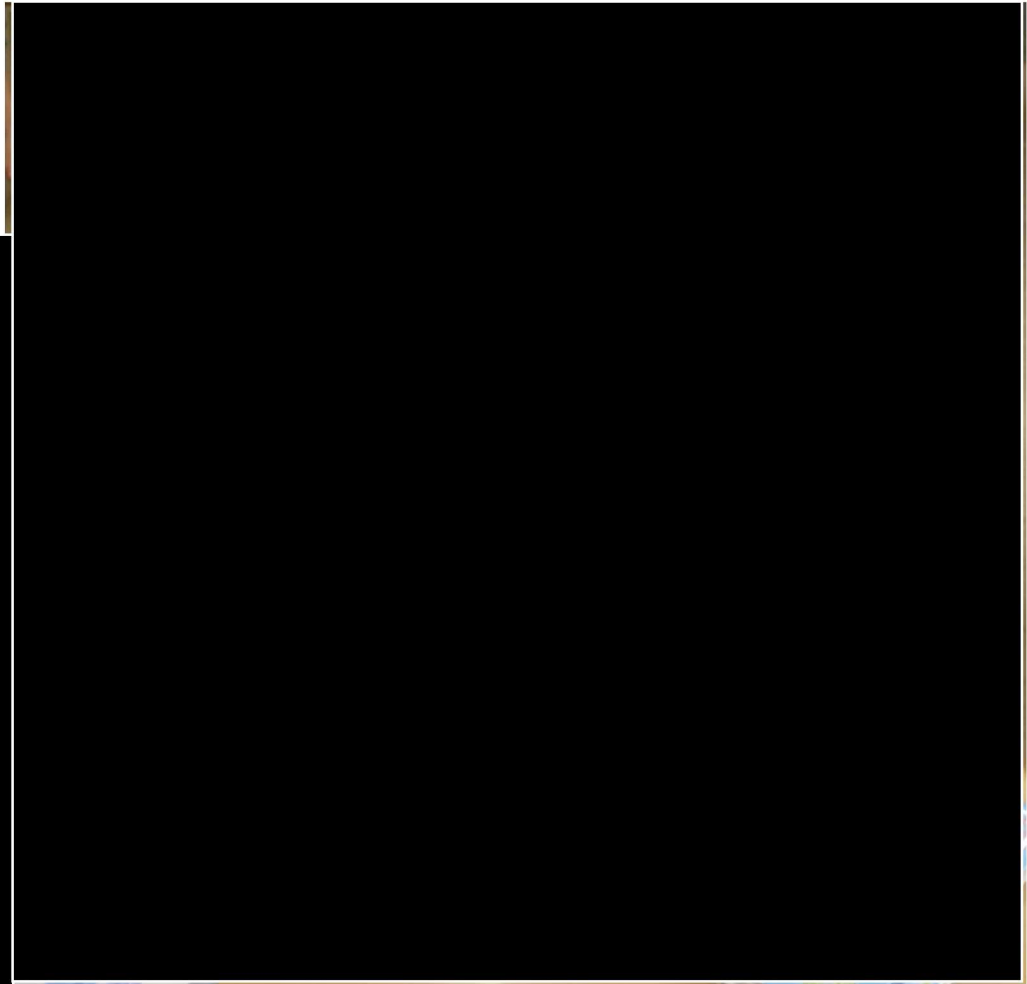
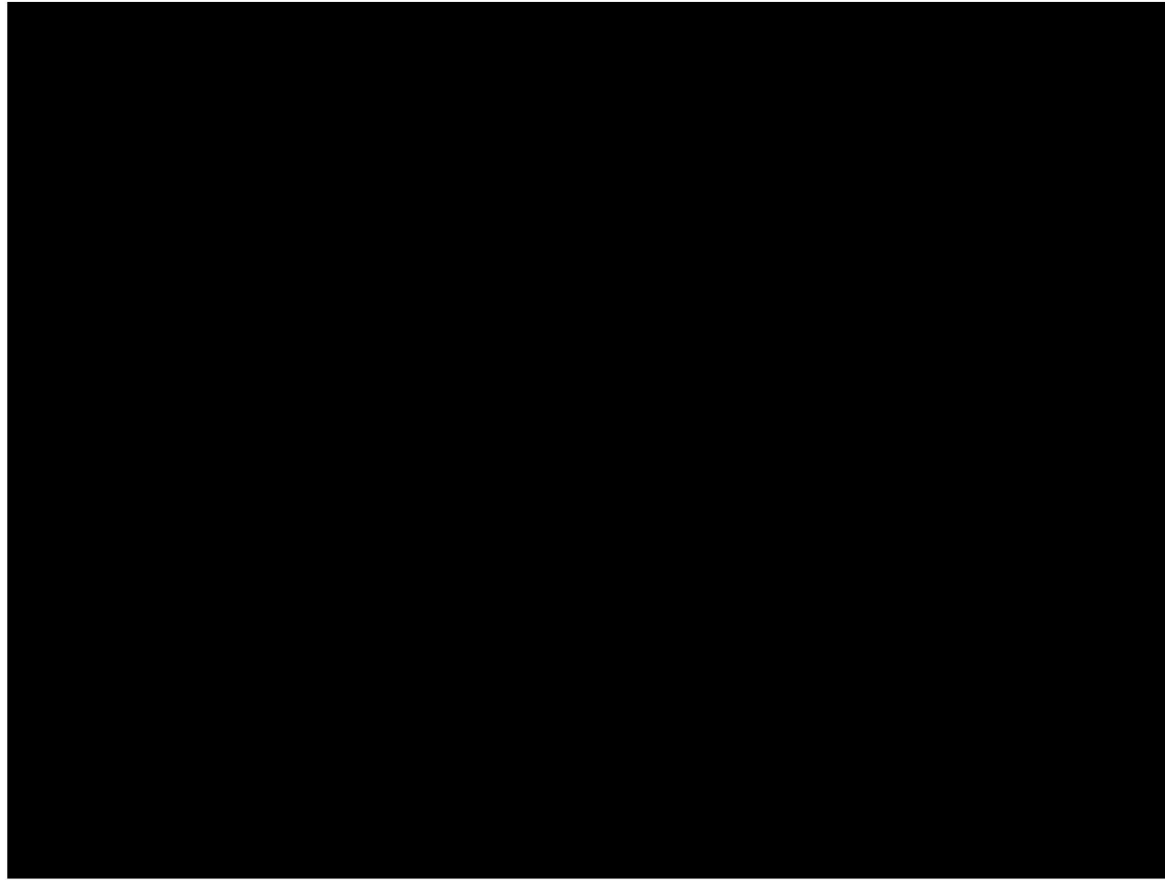
やすみじかん



おんがく



ずこう



たいいく

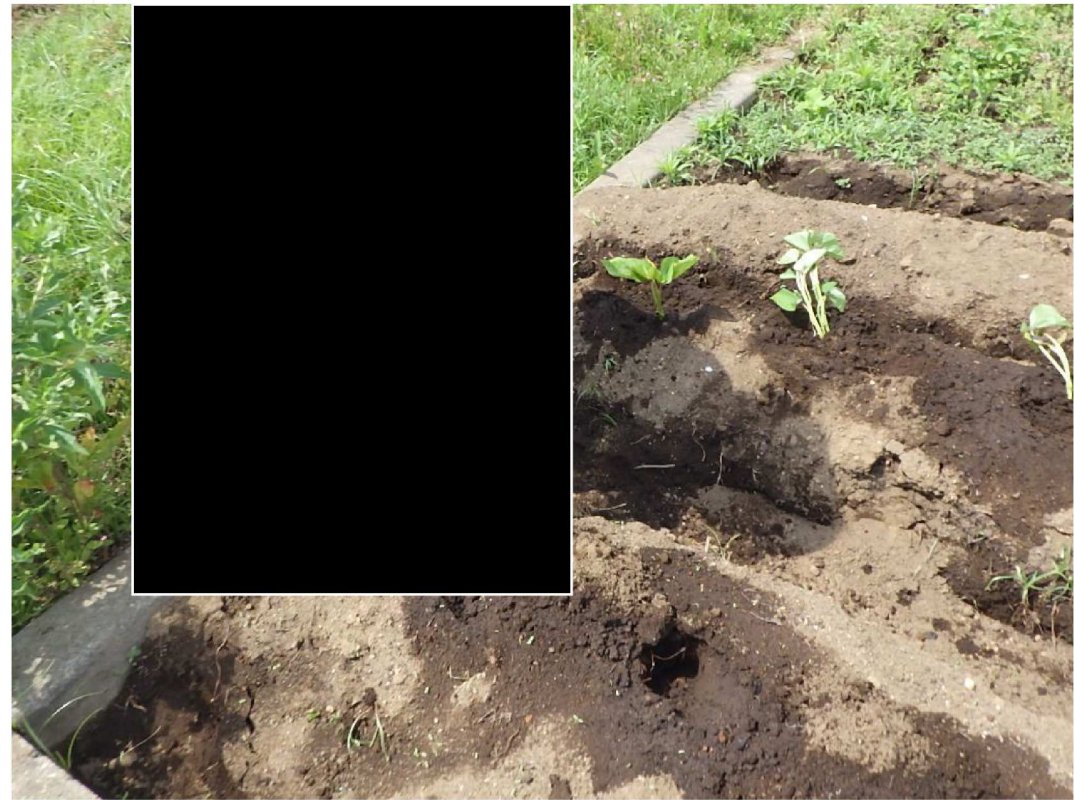


せいかつ

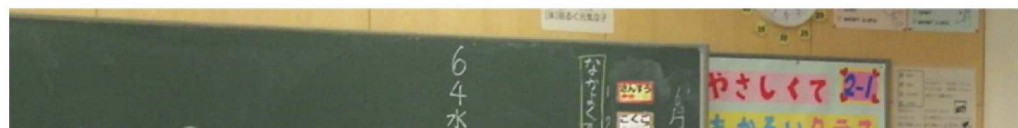
しゃぼんだま



さつまいも



きゅうしょく



そうじ



ごうどうのがくしゅう

さくら 1 組
さくら 2 組
さくら 3 組

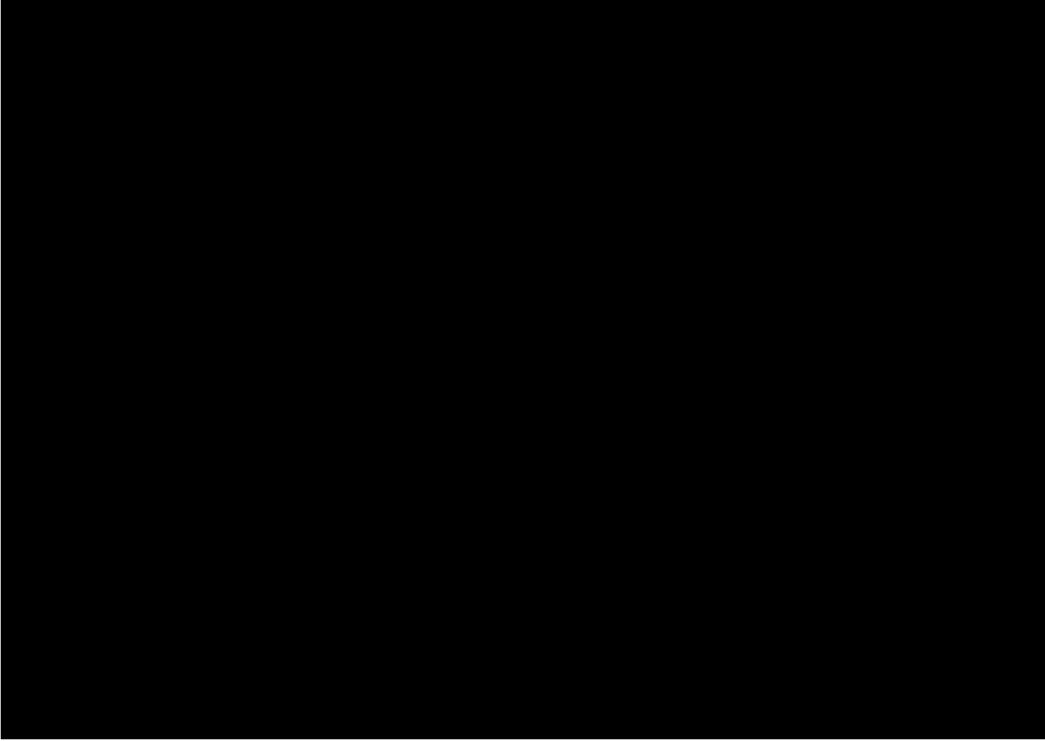
たんじょうかい をしました。

ごうどうのがくしゅう

さくら 1 組
さくら 2 組
さくら 3 組

なつまつり をしました。

ごうどうのがくしゅう



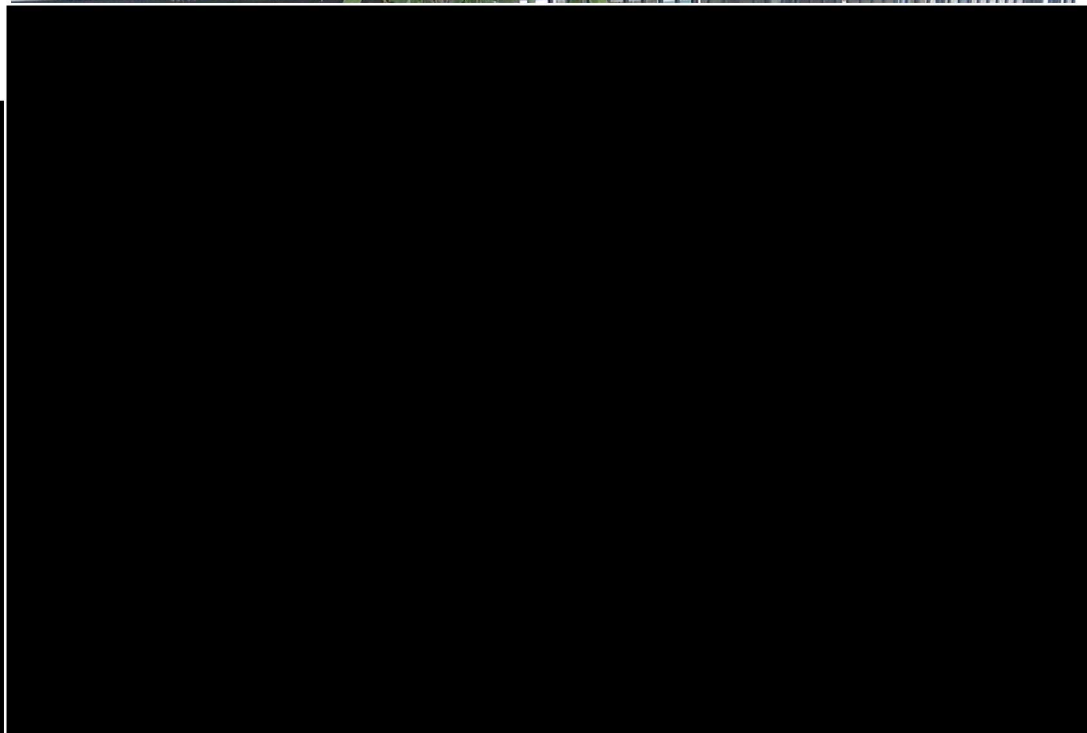
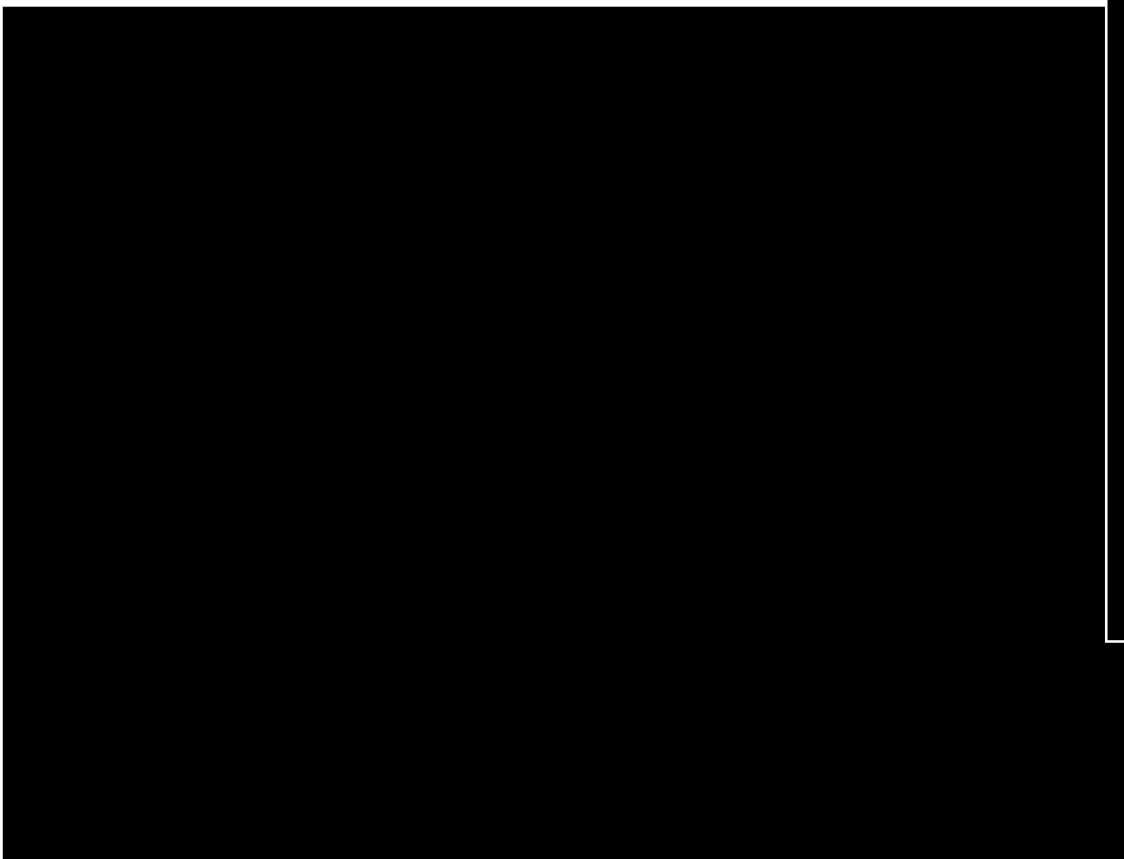
さくら 1 組
さくら 2 組
さくら 3 組

がいこくご・さくらおんがくをしています。

4 ねんせいになったら
「**みんななかよし**」というかつどうがあるよ



いっしょに あそぼう！



さくら学級のこと、
わかったかな？

つぎは、クイズでふりかえろう！

さくら 学級 クイズ

①さくら学級には、何人の友だちがいるでしょうか。

① 2 2 人

② 2 3 人

③ 2 6 人

② 2 3 人

さくら 学級クイズ

② 2年生のさくら学級の友だちは、何人いるでしょうか。

① 2人

② 3人

③ 4人

② 3人

さくら 学級クイズ

③スクールバスの名前は、何でしょうか。

①さくら号

②たんぽぽ号

③コスモス号



③コスモス号

さくら 学級クイズ

④わたしは、だれでしょうか。

①みぞた先生

②おくやま先生

③うじょう先生

①みぞた先生

さくら 学級クイズ

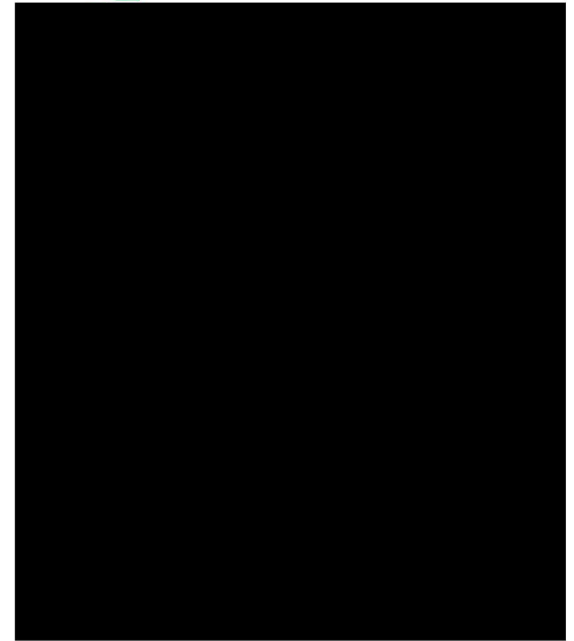
⑤わたしは、だれでしょうか。

①あべ先生

②よしだ先生

③こじま先生

②よしだ先生



さくら 学級クイズ

⑥ 4ねんせいでさくらのともだちといっしょにあそぶじゅぎょうのなまえは何でしょうか。

① みんなあつまれ

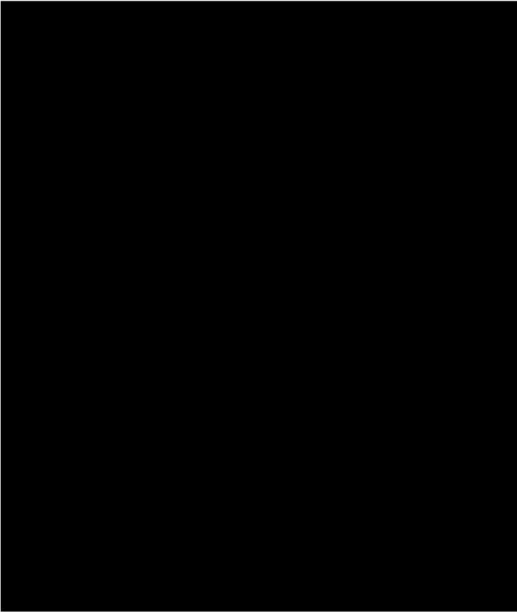
② みんなだいすき

③ みんななかよし

③ みんななかよし

みんななかよしを
たいけんしよう!!!

- さくらのうた
- エビカニクス



みんなで
やって
みよう!



さくらのうた

みんな　ともだち　てをつなごう
に　こ　に　こ　え　が　お　が　　うれしいね
みんなのえがおが　あつまって
おおきなすてきな　はながさく
さみしいときも　てをつなごう
だいじょうぶ　だいじょうぶ　だいじょうぶ
さくら　さくら　さくらのなかま
さくら　さくら　みんなだいすき



第3学年 さくらタイム学習指導案

指導者 小島 千鶴（3－1）

猿木 景帆（3－2）

1. 日時 2025年 2月 13日（金） 1校時（8時50分～9時35分） 3－1
 2月 19日（金） 6校時（14時15分～14時30分） 3－2

2. 場所 3年各教室

3. 教科 学活「さくら学級 ものしりはかせになろう」

4. 本時の目標 ○さくら学級の児童がどのような学習をしているかを知り、交流しているさくら学級の児童に親しみを感じるとともに、理解を深める。

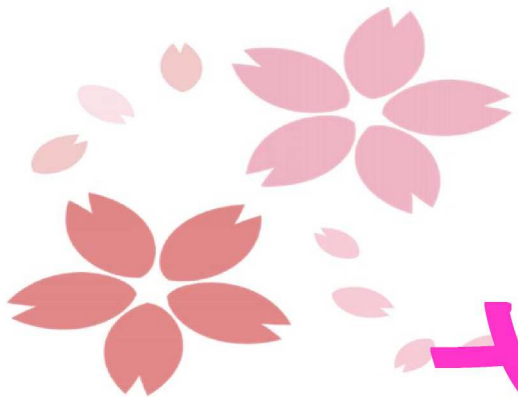
○さくら学級の友だちに自分から積極的にかかわろうとする気持ちをもつ。

5. 本時の展開

主な学習活動	指導上の留意点
1. はじめのあいさつをする。 「これから<u>(1)時間目</u>のべんきょうを はじめます」 2. さくら学級の児童や生活の様子について知っていることを発表する。 「朝の挨拶に来るよ。」「バスで学校に来ているよ。」 「1年生の時に音楽したり、給食食べたりしたよ。」 「さくら1組の友だちと理科や社会は一緒に勉強しているよ。」	・さくら学級のあいさつの方法で手話を使った挨拶を一緒に行う。 《準備するもの》 □スライド
さくら学級 ものしりはかせに なろう！	
3. さくら学級のことや、同じ学年のさくら学級の友だちの学習の様子、4年生での「みんななかよし」について知り、もっと知りたいこと、楽しみなことを考える。 (ワークシート) ①さくら学級は何組まである？ ②どんな友達がいるの？ ③どんな勉強をしているの？ ④「みんななかよし」ってなに？ ※エビカニクスを踊る 4. 今日のふりかえり 5. おわりの挨拶をする。	・児童の反応を見ながらゆっくりと進める。 ・スライドを見ながら、理解を深められるようにする。 ・来年度のみんななかよしにつながるような声掛けを心掛ける。 ・エビカニクスは心と体をほぐすための踊り。さくら1, 2, 3組の子どもたちも好きな曲と踊りということを伝える。 ・ワークシートを用意する。 ・さくら学級のあいさつの方法で手話を使った挨拶を一緒に行う。

<交流級の先生へお願い>

- ・スライドを使うのでテレビの準備をお願いします。
- ・あらかじめさくらタイムがあることを児童に知らせ、さくら学級について知っていることや聞きたいことなどを考えておくように声掛けをしてもらえると助かります。



さくらタイム



3年生



さくら学級のこと、
どれくらい
知ってるかな？



さくら学級 ものしりはかせに なろう！

- ① さくら学級は何組ある？
- ② さくら学級って どんな場所？
- ③ どんなおべんきょうをしているの？
- ④ 「みんななかよし」ってなに？

① さくら学級は
何組ある？



A



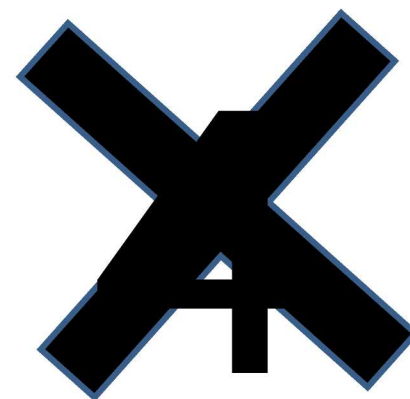
組

B



組

C



組

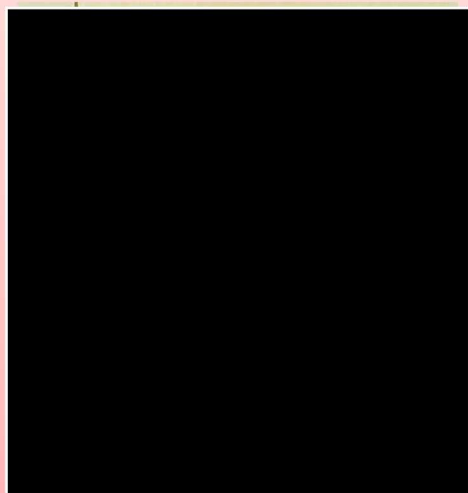
各クラスの人数は・・・

くみ	子ども(人)	先生(人)
1くみ	14人	3人
2くみ	5人	2人
3くみ	5人	3人

分教室

さくら学級の先生を紹介します

さくら Ⅰ組



よしだ まい
せんせい



こじま ちづる
せんせい



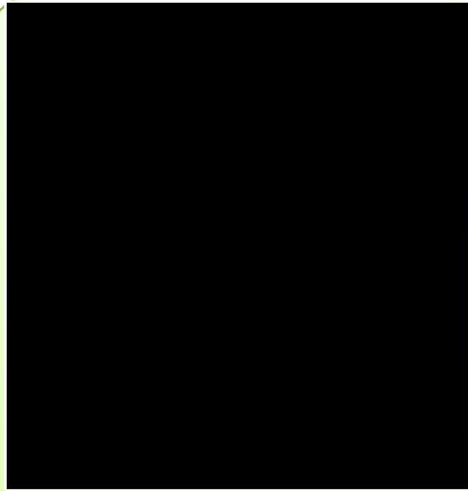
あべ さとみ
せんせい



すずき まり
せんせい

さくらがっきゅうのせんせい

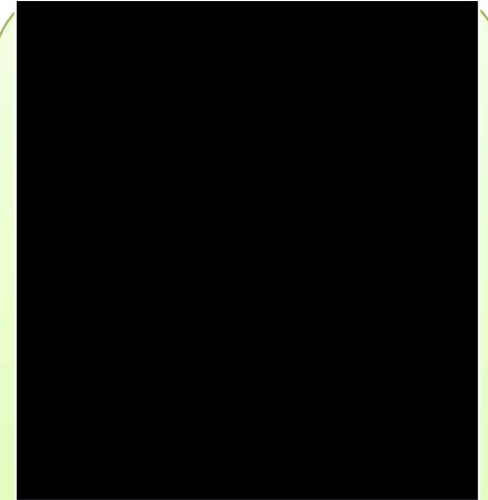
さくら 2くみ



みぞた せんせい
溝田 先生



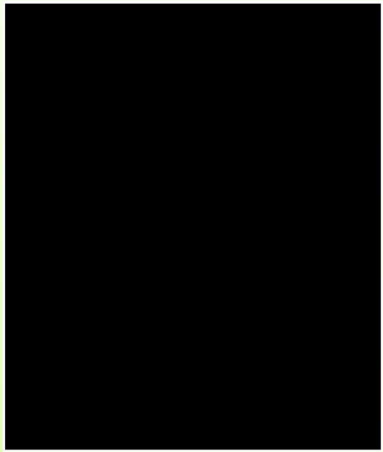
いちまん せんせい
一幡 先生



いしやま せんせい
石山先生

さくらがっきゅうのせんせい

さくら 3くみ



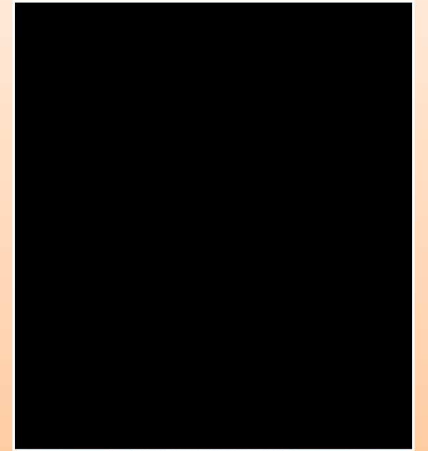
おくやま せんせい
奥山 先生



さるき せんせい
猿木 先生

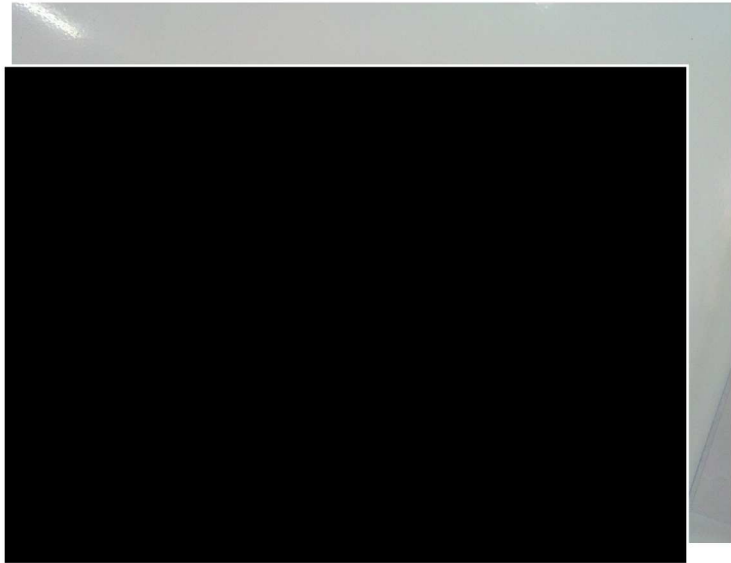


いわた せんせい
岩田先生

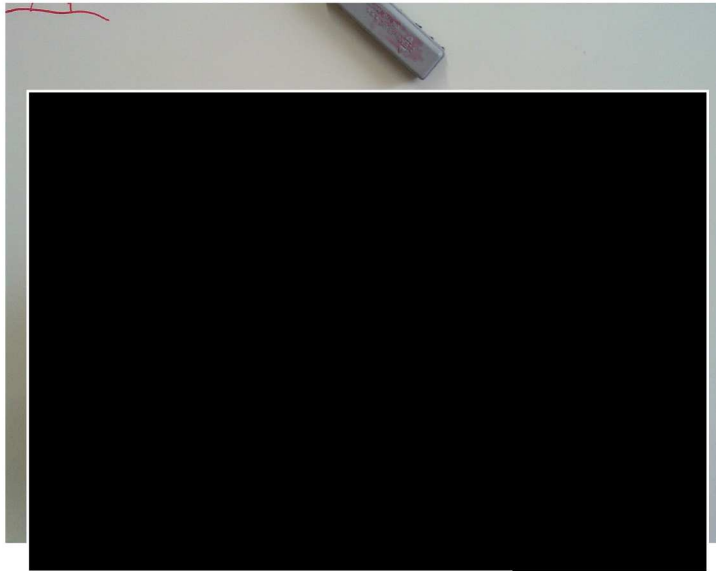


うじょう せんせい
宇條先生

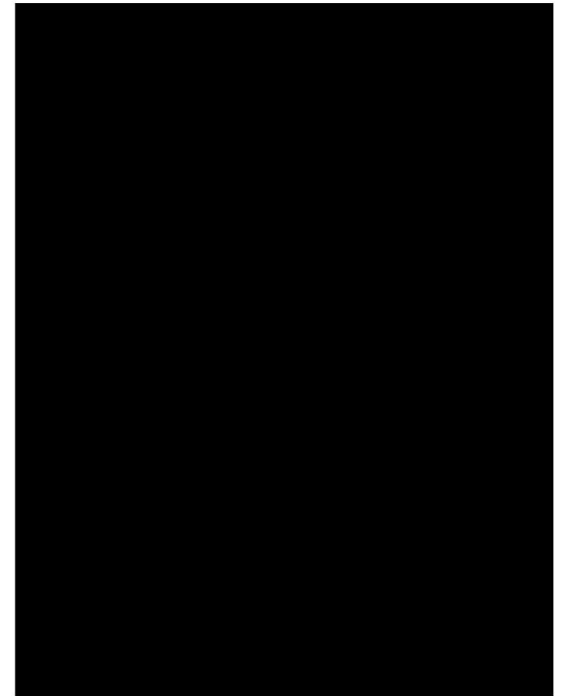
さくら学級の3年生は、**3人**いるよ



さん



さん



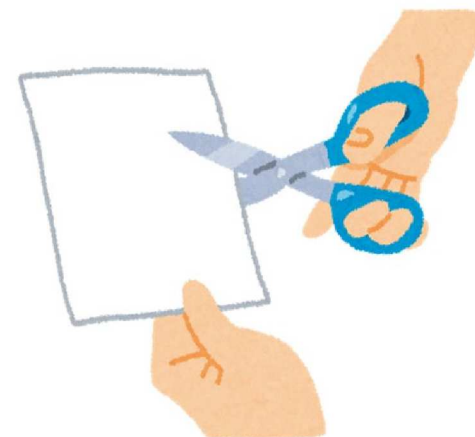
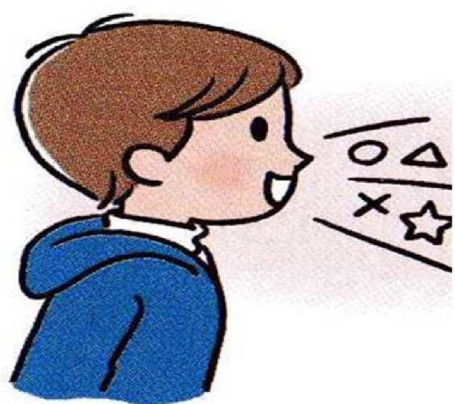
さん

② さくら学級って
どんな場所？





さくら学級ってどんな場所？

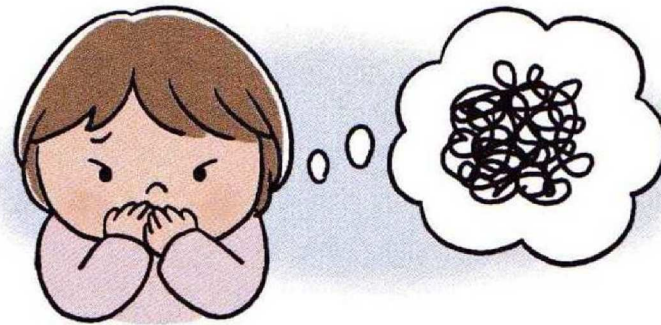




さくら学級ってどんな場所？



もちろん、



苦手なこともあります。



さくら学級ってどんな場所？



大きな
声や音

とつぜんの
よてい へんこう
予定変更



たくさん
人がいる場所



むずか かつどう
難しい活動

書く

聞く

話す





日常生活や勉強をする時に
安心してすごすことができる場所

③ どんな
べんきょうを
しているの？



個別の学習

みんなの
前で発表

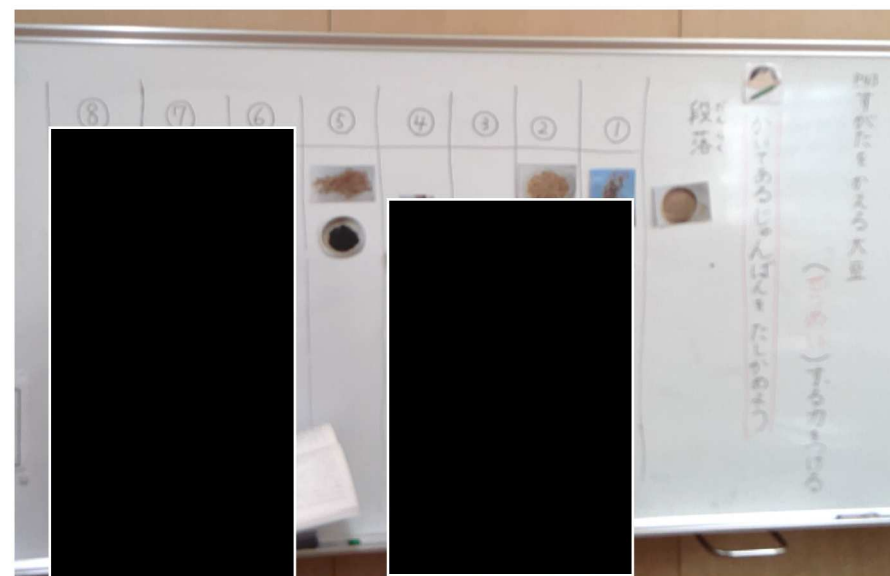
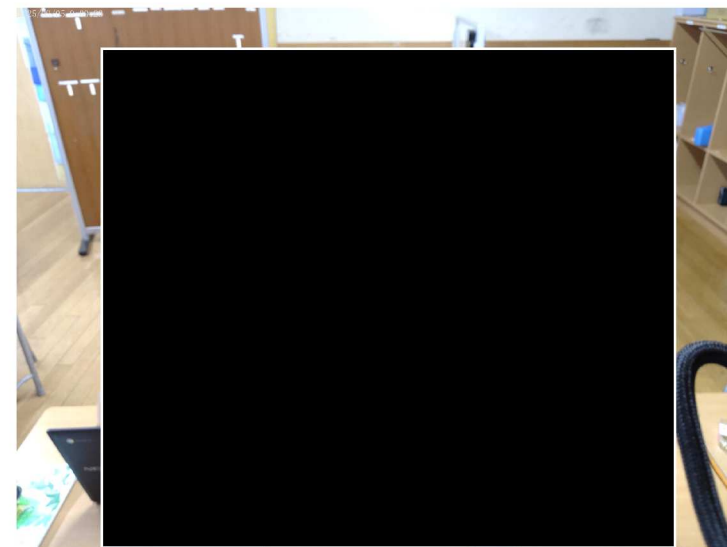
黒板を使
って説明

Handwritten math on a chalkboard:

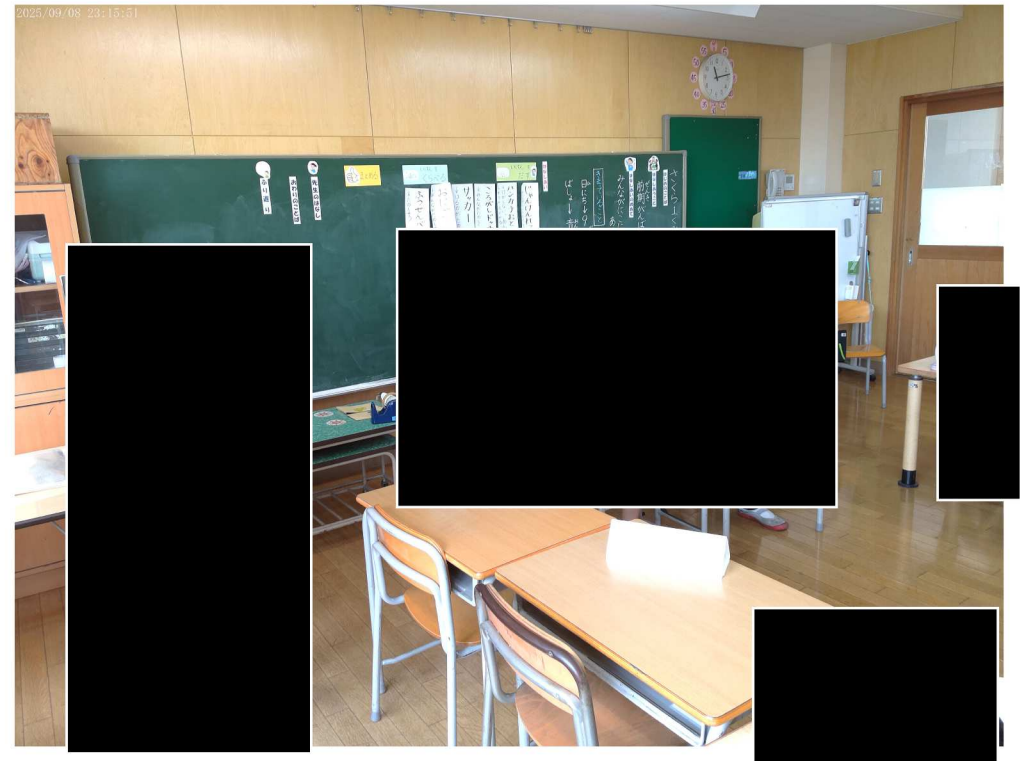
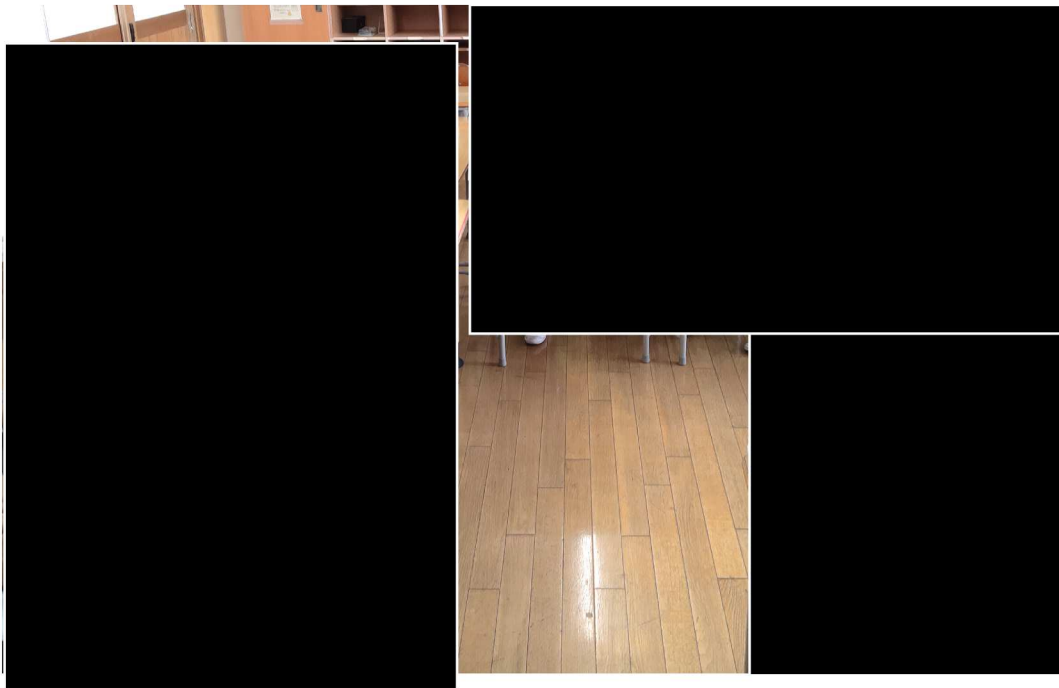
- Top: $31 \times 3 = ?$
- Tree diagram below: A vertical line from the '1' in '31' splits into two horizontal lines, each ending in a circled '1'.
- Right side calculations:
 - $30 \times 3 = 90$
 - $1 \times 3 = 3$

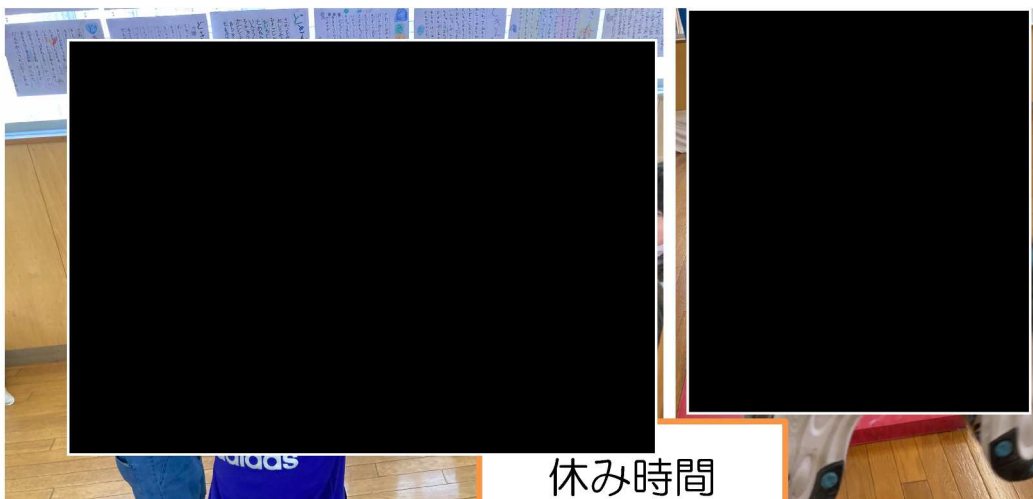
グループ学習

2025/10/07 22:04:20

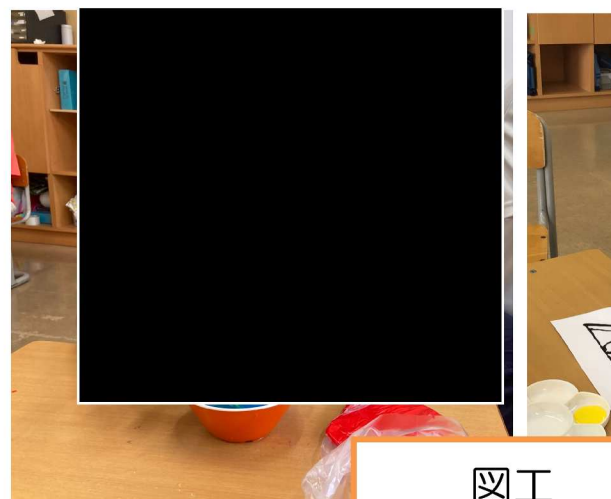


話し合い活動 ～ さくら1組かいぎ ～

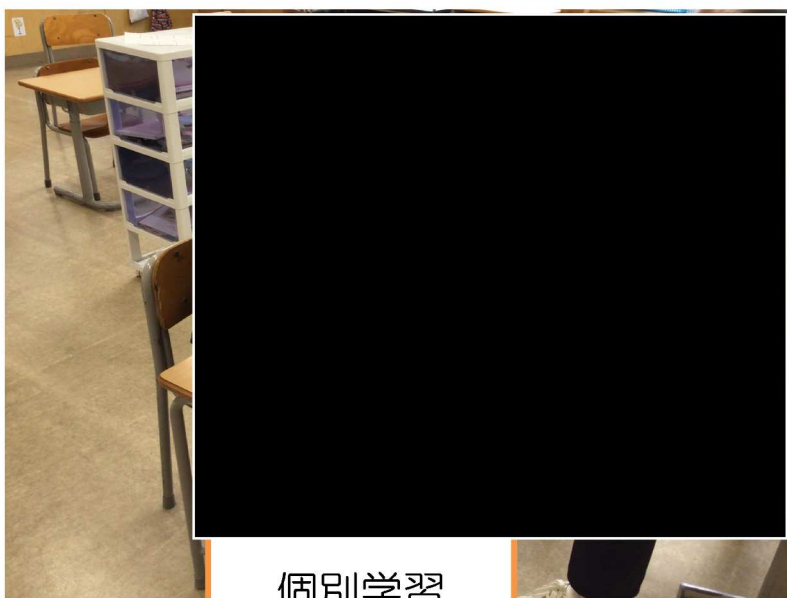
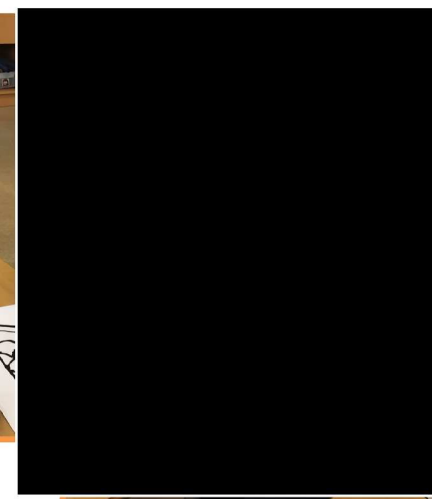




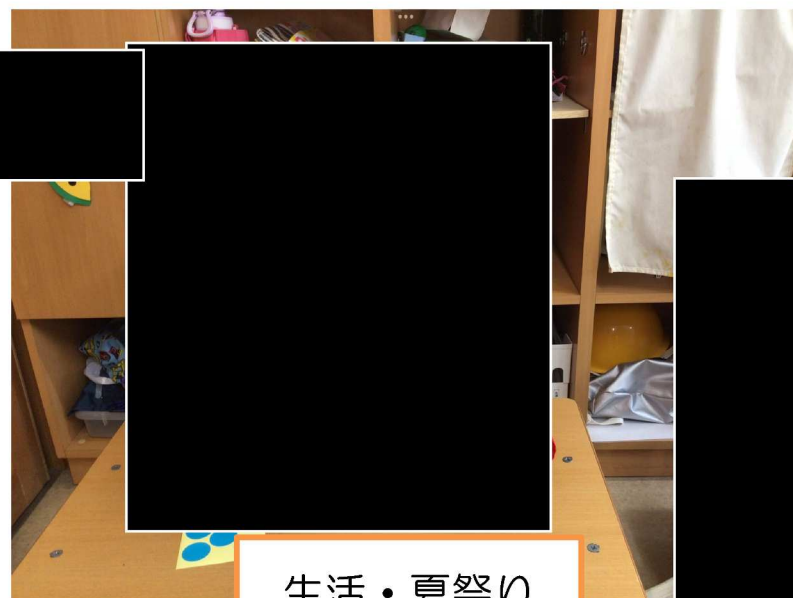
休み時間



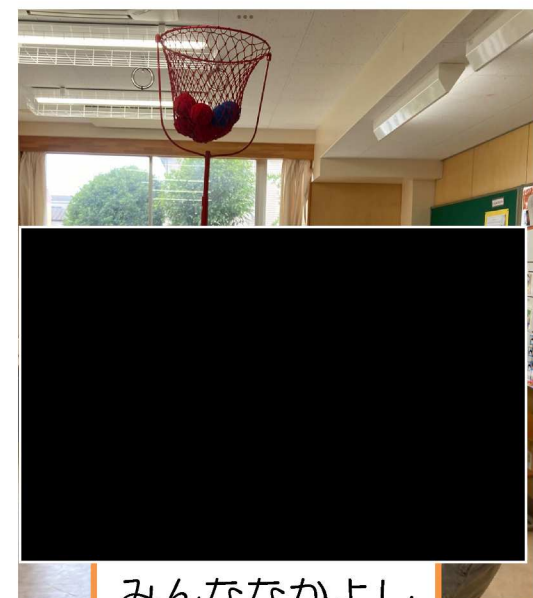
図工



個別学習

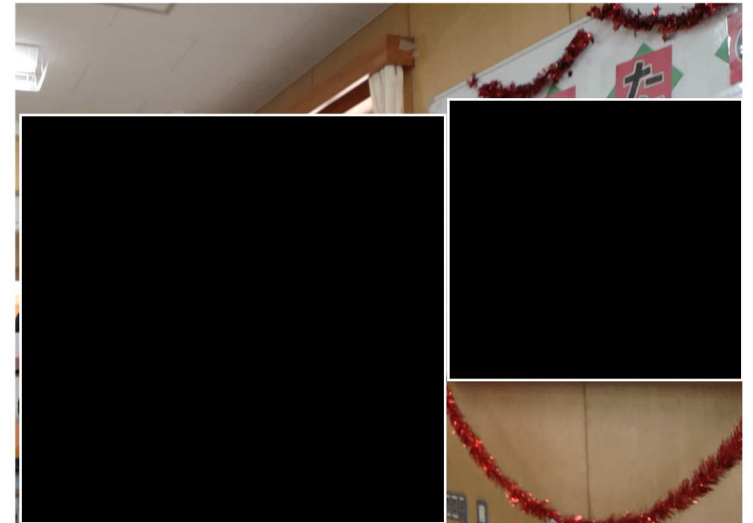
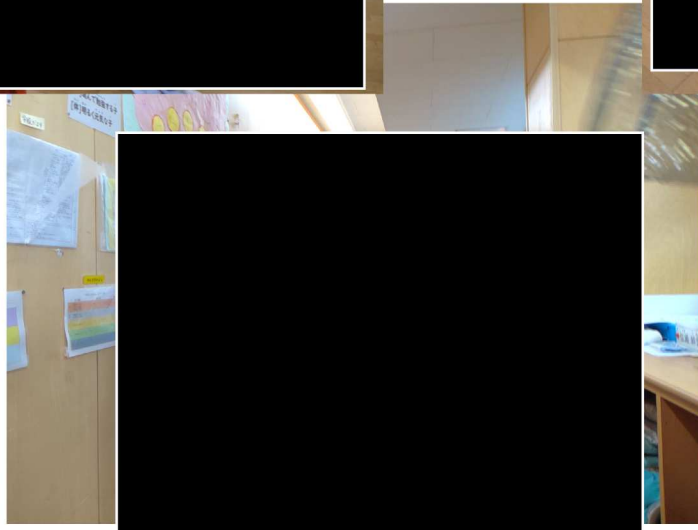
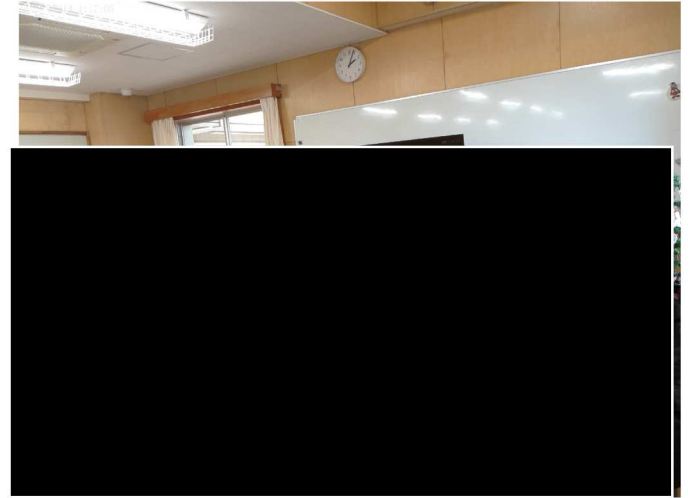
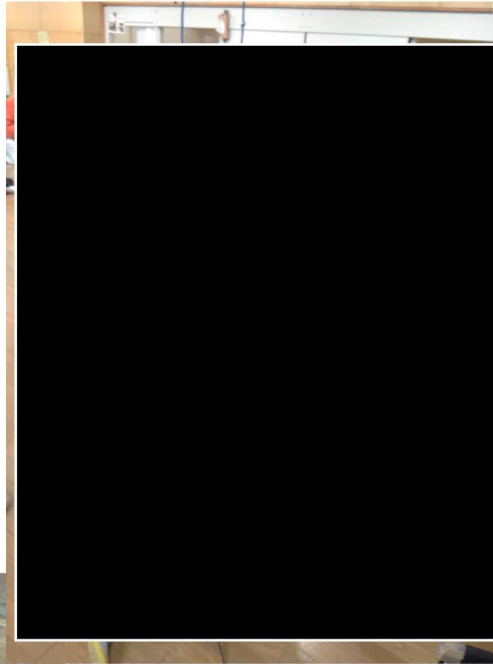
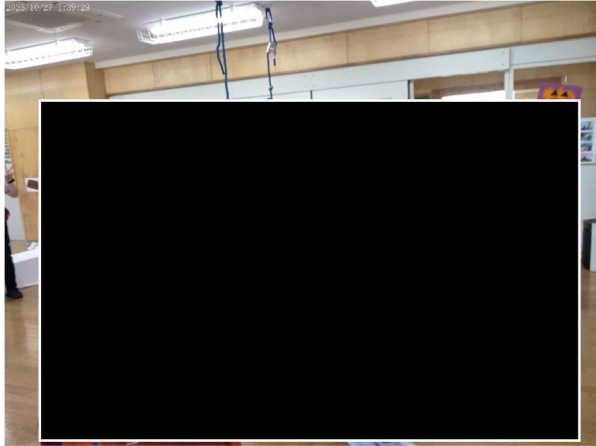


生活・夏祭り

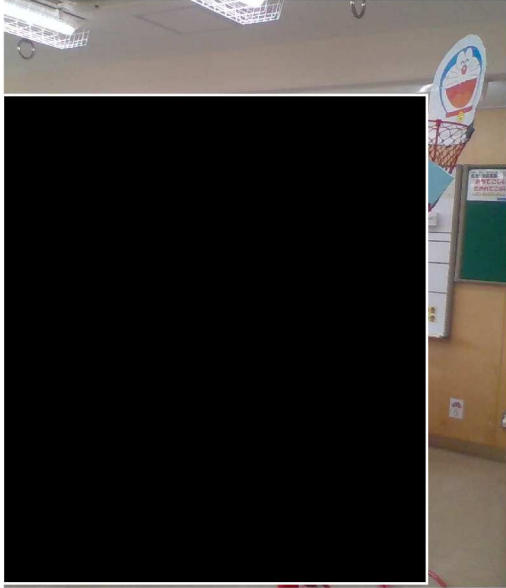
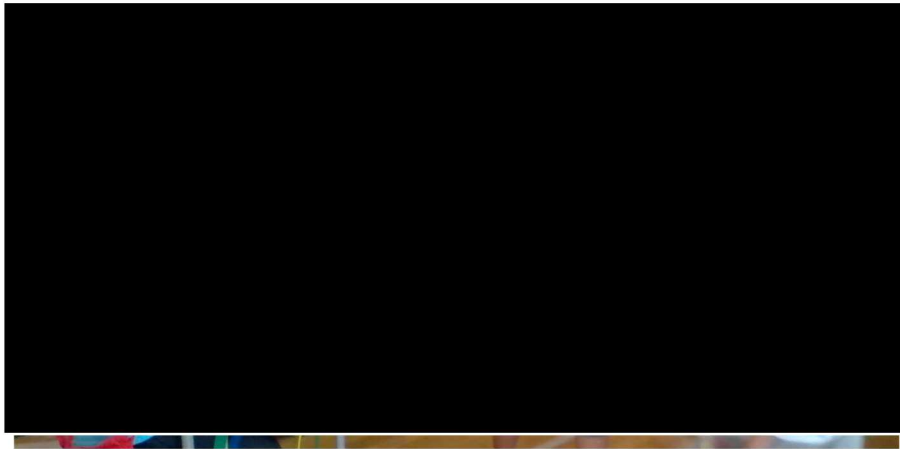
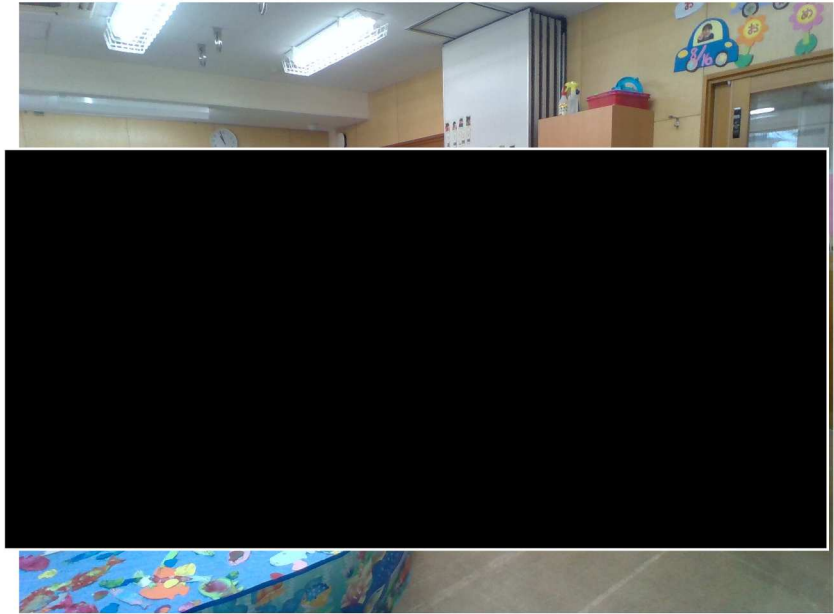
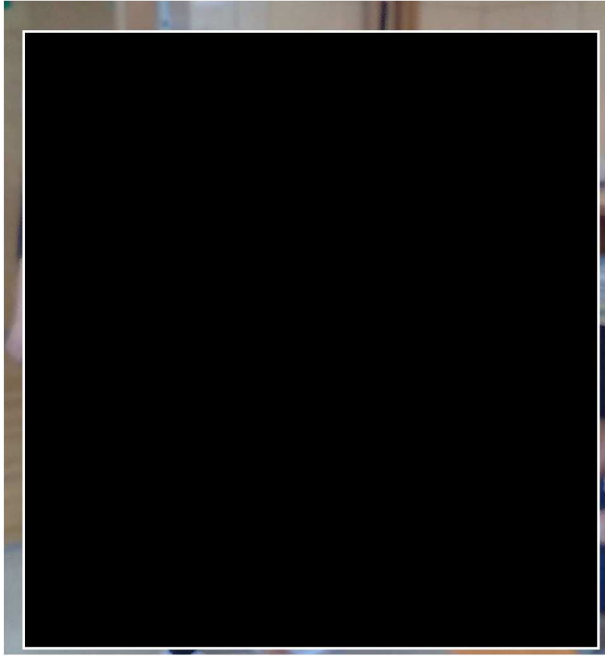


みんななかよし

さくら音楽



さくら夏祭り



さくら たんじょう日会 🎂



勉強



気持ちの
勉強



友だちパワーの
勉強



④ 4年生の学習

「みんな なかよし」

って???

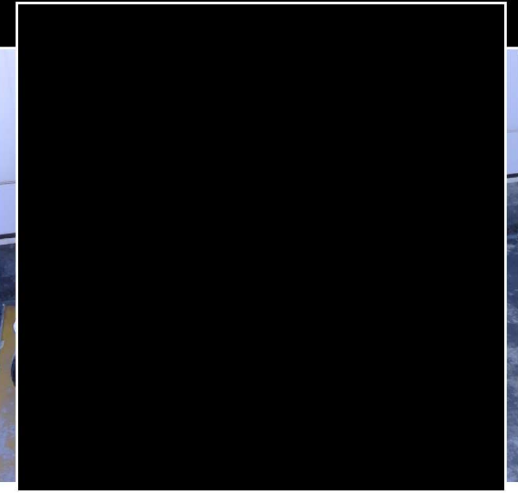
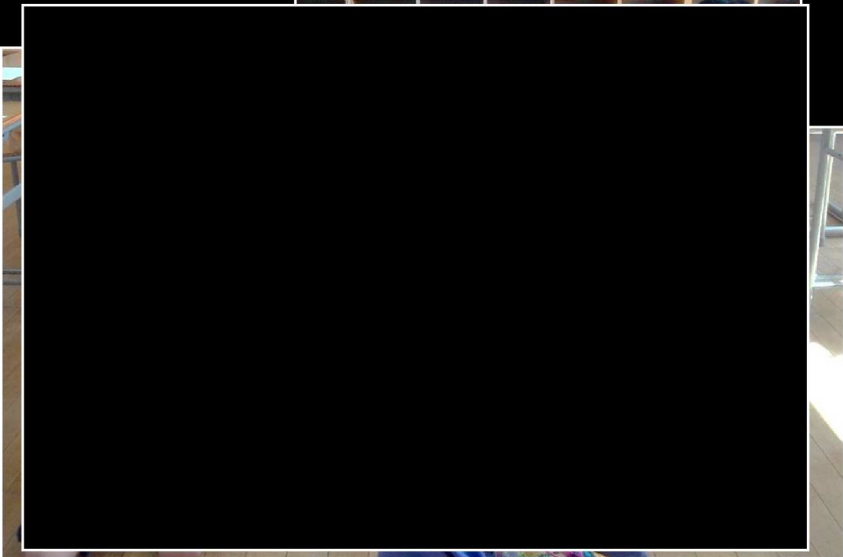
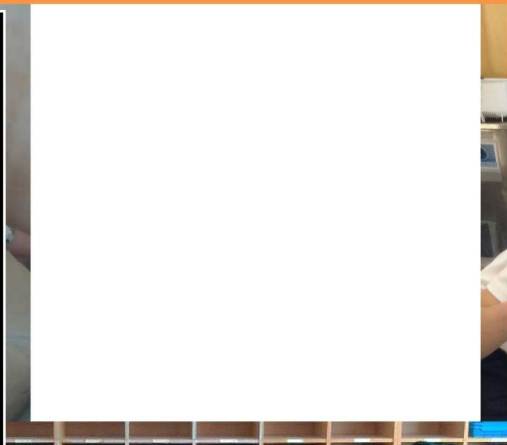
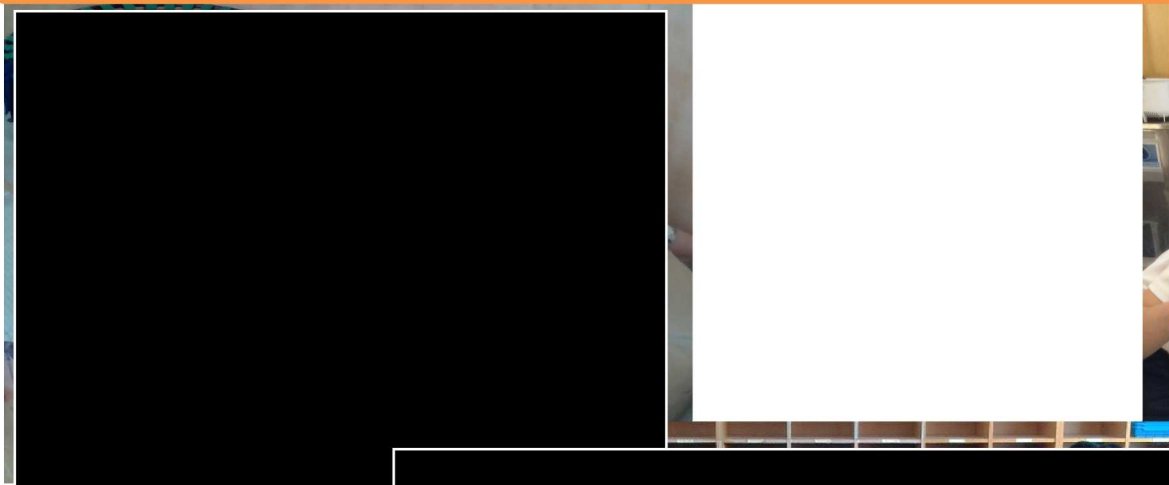


よろしくねの会

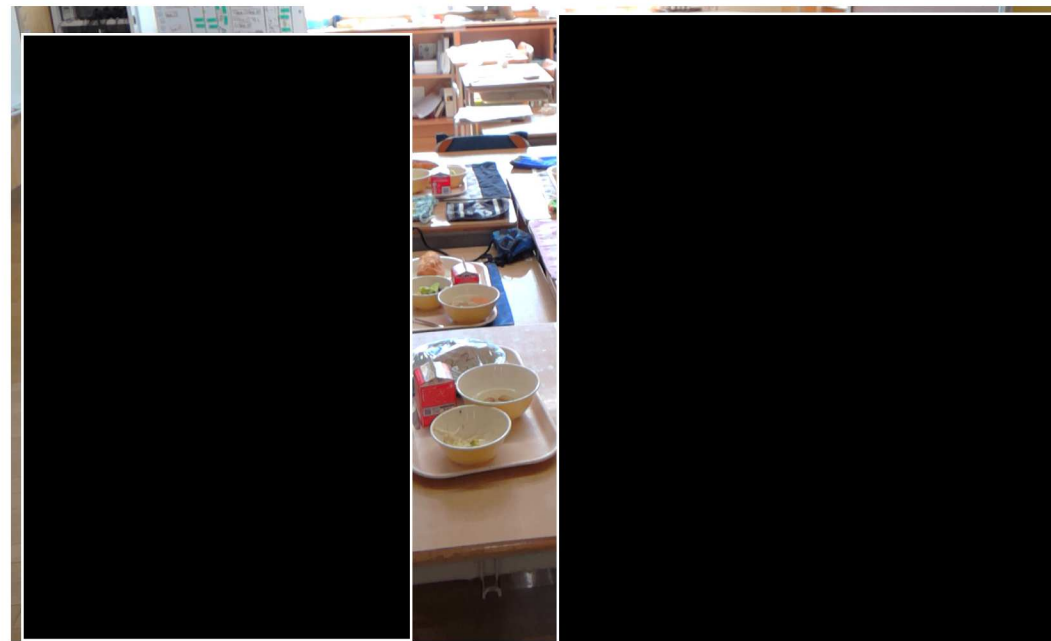
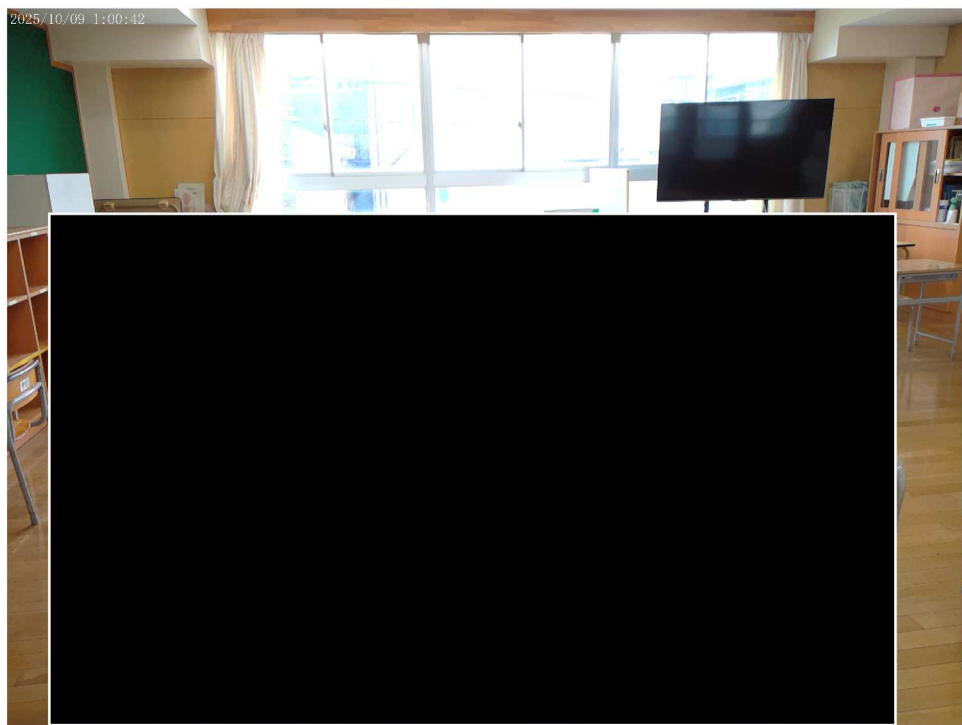
じこしょうかい

バスに乗って♪

みんなであそぼう



なかよし給食



運動会 ～バルーンダンス～

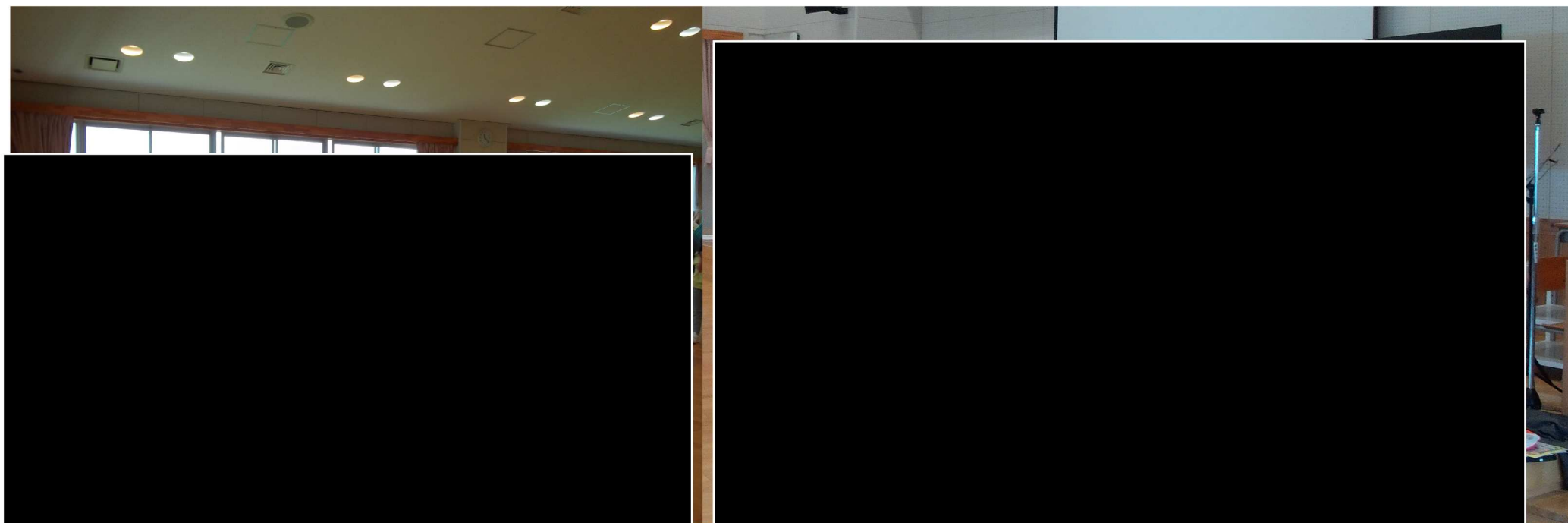


みんな なかよし

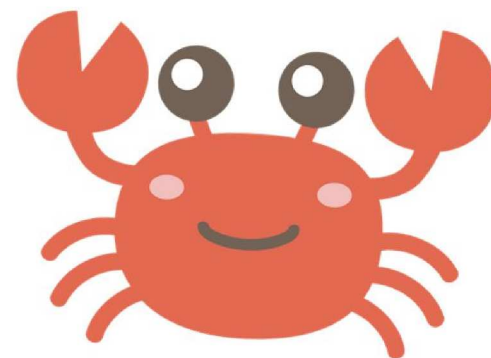
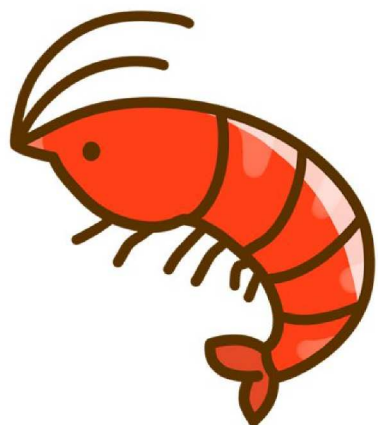
☆さくら学級の友だちの好きな
ことや、とくいなことを知れる!!

☆みんなで楽しむためには
どうすればいい?





みんなで
おどろう！



エビカニクス ケロポンズ



ふりかえり

はじめて知った！
もっと知りたい！

がんばりたいこと！
たのしみなこと！





さくらタイムふいかえり



年 組 名前()

感想

(はじめて知ったこと・もっと知りたいこと・)



さくらタイムふいかえり



年 組 名前()

感想

(はじめて知ったこと・もっと知りたいこと・)

みんな なかよしにむけて

(がんばりたいこと・楽しみなこと)



みんな なかよしにむけて

(がんばりたいこと・楽しみなこと)



感想、質問、もっと知りたいことなど

[illegible]

名前

第4学年 さくらタイム学習指導案

指導者：吉田（4－1）

佐藤（4－2）

- 1 日時・場所 10月16日（月）6校時 4年1組 教室
 10月16日（月）6校時 4年2組 教室
- 3 本時 「さくら学級のともだちとのかかわり方を知ろう」
- 4 本時のねらい
 - ・ さくら学級の様子を知る。
 - ・ 様々なコミュニケーション方法について知り、「みんななかよし」で関わっているさくら学級の友だちと積極的にコミュニケーションをとろうとする意欲をもつ。

5 本時の展開

主な学習活動	・指導上の留意点
1 始めのあいさつをする。	・ さくら学級のあいさつの方法で手話をつけたあいさつを一緒に行う。
2 さくら学級の児童やさくら学級について知る。	・ パワーポイントを使って紹介する。
3 さくら学級についての知識を深める。 ① どんな子がさくら学級にいるの？ ② どんな勉強をしているの？ ③ 言葉が出ないことどうやってお話しするの？	・ 具体的な例や写真などを使って、分かりやすく説明する。
4 言葉を使わずに、コミュニケーションをとってみよう（※引継メモ参照）	・ 隣の席の人とジェスチャーゲームをする。 ・ 言葉を使わずに伝える難しさや、またその気持ちを受け止める大切さを感じてもらう。
5 疑問に思ったことを質問したり感想を発表したりする。	・ 個人にかかわることは保護者に許可を得たうえで後日返答する。 ・ 感想を聞き、繰り返したり膨らませたりすることで、さくら学級の児童により親しみがもてるようにする。
6 終わりのあいさつ	・ さくら学級のあいさつの方法で手話をつけたあいさつを一緒に行う。

引継メモ 2022

さくら学級（主に分教室児童）の実態を考慮すると、普段のコミュニケーションを手話やジェスチャーで行う児童は、発信の方が主となる。よって、4年生側に考えてもらいたいことは、受信する側の態度である。

よって、ジェスチャーゲームを行う際は、以下の方法が考えられる。

【パターン① 発信は、あくまで教員が行う】

- ・こうすることで、4年生側は「受信すること」に集中させる。

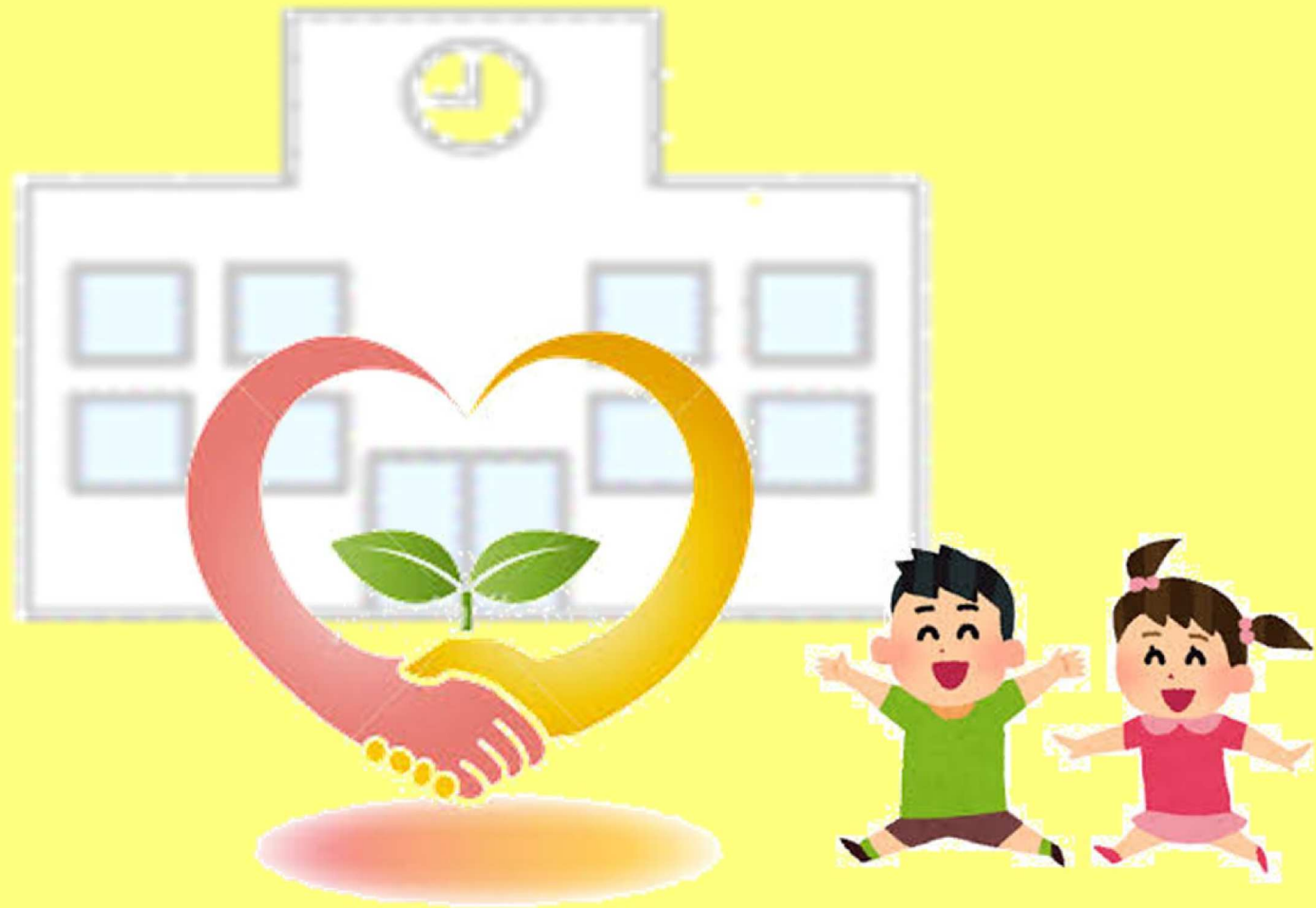
【パターン② 発信／受信とも、4年生に体験してもらう】

- ・活動後に、必ず「受信側」の気持ちや大切なポイントについて話題にし、振り返る。

引継メモ 2023

【きょうだい児】についてのことを考えられる内容がさくらタイムに限らず、みんななかよしやその他の交流などで取り上げられたら。

さくら学級のはなし



クイズです！

さくら学級はぜんぶで
何組まであるのでしょうか？

A

B

C

2
~~組~~

3
組

4
~~組~~

せいはい

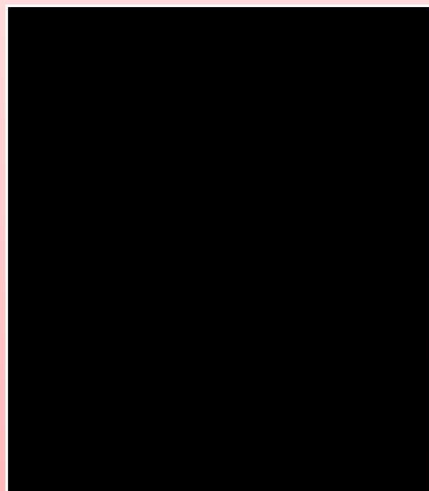
各クラスの人気は・・・

くみ	子ども (人)	先生(人)
1	13	3
2	5	3
3	5	4

分教室

さくら学級の先生を紹介します

さくら Ⅰ組



よしだ まい
せんせい



こじま ちづる
せんせい



あべ さとみ
せんせい



すずき まり
せんせい

さくらがっきゅうのせんせい

さくら 2くみ

ほけんしつ

みぞた せんせい
溝田 先生

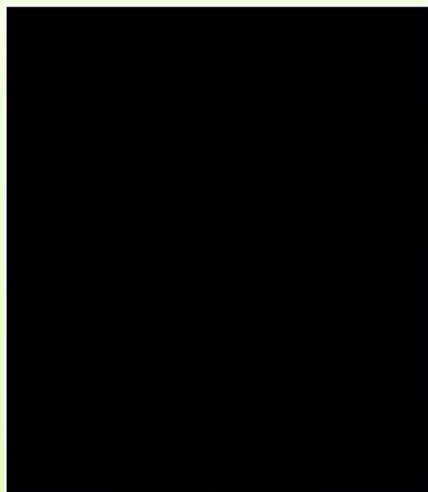
いちまん せんせい
一幡 先生

いわた せんせい
岩田 先生

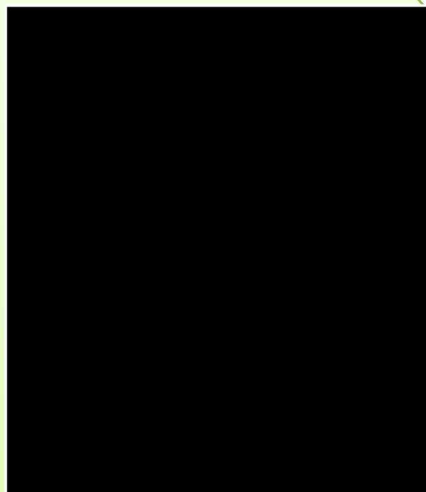
うじょう せんせい
宇條 先生

さくらがっきゅうのせんせい

さくら 3くみ



おくやま せんせい
奥山 先生



さるき せんせい
猿木 先生

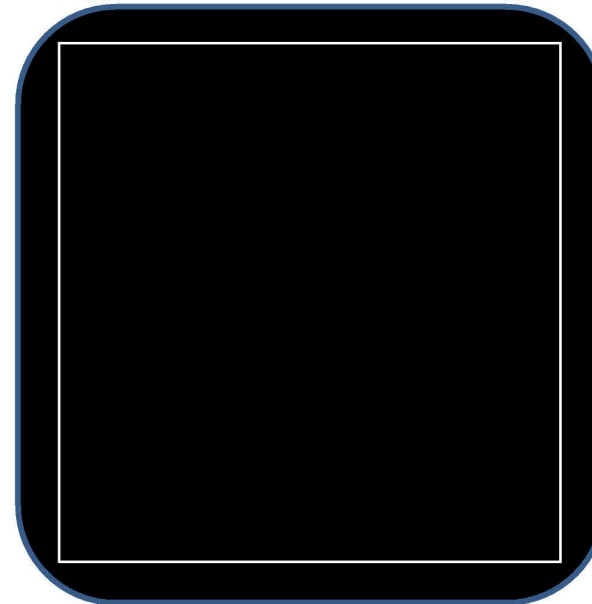
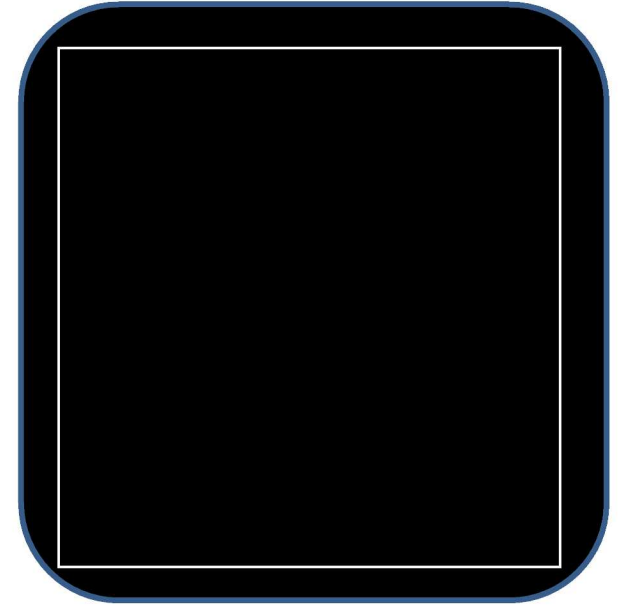
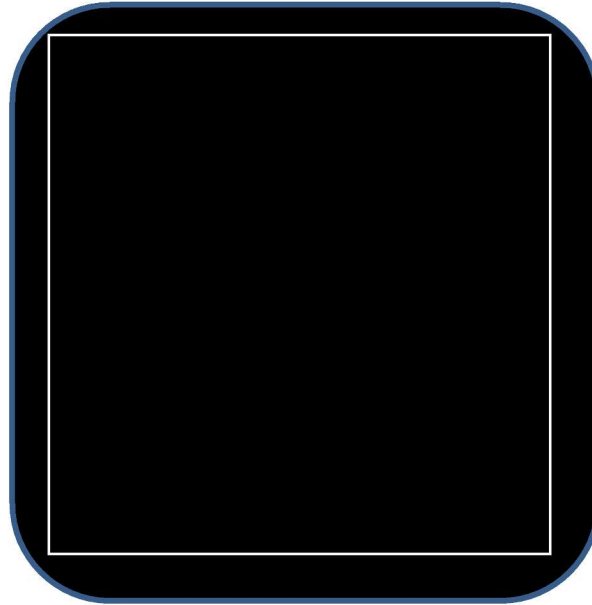
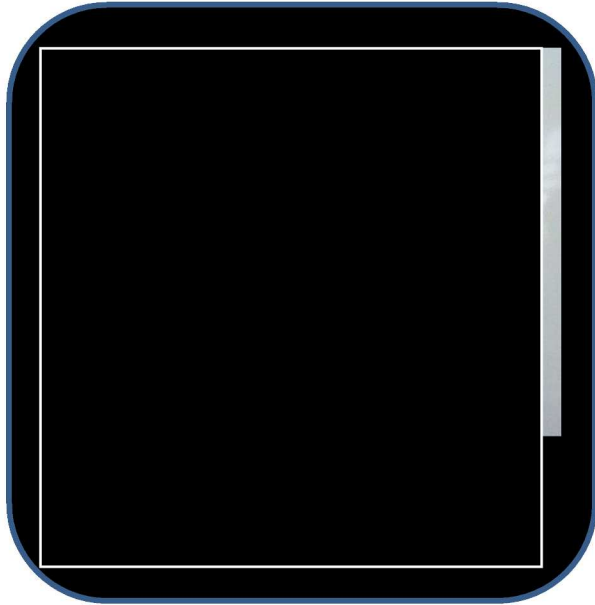


ふくだ せんせい
福田 先生



いしやま せんせい
石山 先生

さくら学級の4年生は、4人いるよ



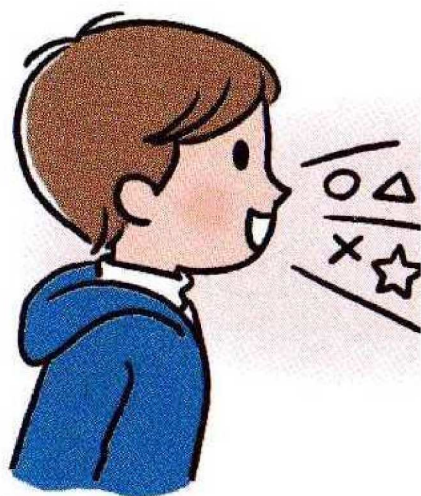
さくら学級ってどんなところ??

- ① どんな子がさくら学級にいるの?
- ② どんな勉強をしているの?
- ③ 言葉がでない子とどうやってお話するの?





どんな子がさくら学級にいるの？

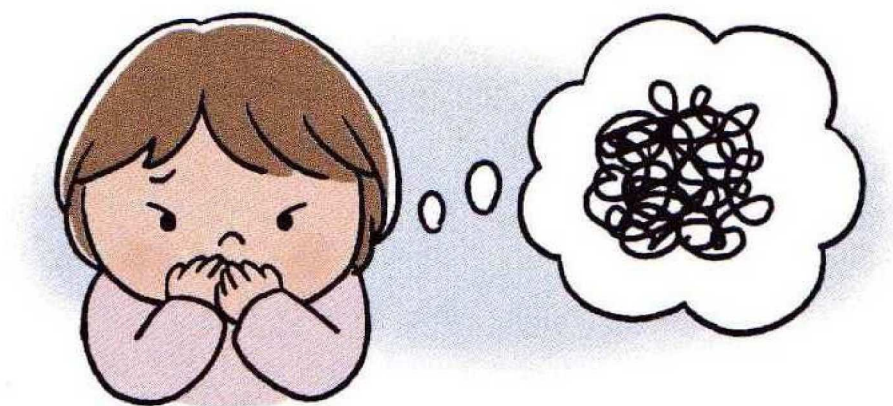




どんな子がさくら学級にいるの？



もちろん、



苦手なこともあります。



どんな子がさくら学級にいるの？



大きな
声や音

予定の
へんこう
変更



たくさん
の人がい
る場所

一日の
見通し



目

門

話す

日常生活や勉強をする時に

サポートが必要

さくら学級ってどんなところ??

① どんな子がさくら学級にいるの?

② どんな勉強をしているの?

③ 言葉がでない子とどうやってお話するの?





どんな勉強をしているの？



○みんなと同じ数字や文字などの勉強。

・文字を読む、書く、聞く、話す、計算、図形 など、、、

○苦手なことができるようになる勉強。

・大きな音が苦手 ・スケジュールの変更が苦手 ・人が多い所が苦手

○お仕事に必要な勉強。

・パソコン ・掃除 ・何かを作る(図工) ・野菜を育てる(生活・理科)

○日常生活で必要なことの勉強。

・トイレ ・ごはん(お箸の持ち方) ・ルール(順番) ・手洗い

さくら学級ってどんなところ??

- ① どんな子がさくら学級にいるの?
- ② どんな勉強をしているの?
- ③ 言葉がでない子とどうやってお話するの?



コミュニケーションのいろいろ

表じょう

視線

身ぶり
手ぶり

まば
たき

おしゃべり

スキンシップ

手話

指文字

点字

写真・絵カード
ド



さくら学級の子どもたちがとくいな
コミュニケーション方法は、人それぞれちがう！



言葉がでない子とどうやってお話するの？



～体験しよう～

言葉（音声）がなくても相手の伝えたいことがわかるようにするにはどうしたらよいでしょうか。



言葉がでない子とどうやってお話するの？



練習問題①

あたまが 痛いから

次の授業を 休みたい



言葉がでない子とどうやってお話するの？



練習問題 右

すきな ものを ペアの 人に

伝えて みよう。



言葉がでない子とどうやってお話するの？



練習問題 左

きれいな ものを ペアの 人に

伝えて みよう。



言葉がでない子とどうやってお話するの？



問題①

トイレに いきたい

言葉がでない子とどうやってお話するの？

問題②

お腹が 空いた



言葉がでない子とどうやってお話するの？



おまけ（目もつぶって）

わたしの名前は
「**〇〇**」を伝える。

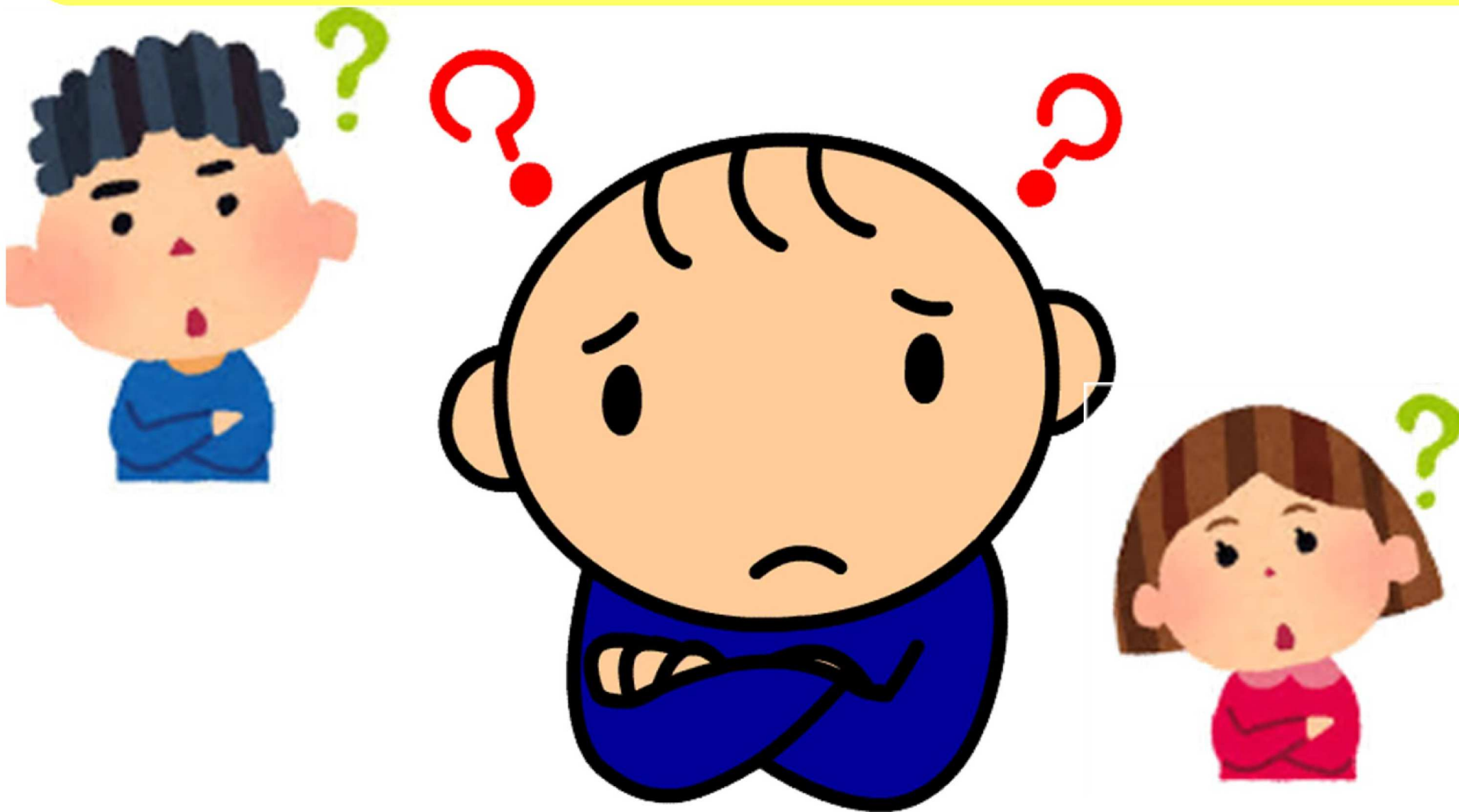
相手の思いを受け止める ためには・・・

- ① 相手のペースに合わせ、
- ② 相手の様子（表じょう）を
じっくりかんさつし、
- ③ 相手の心の声に耳を
かたむける。

※相手を【おもうこと】が大切!!



質問タイム👍



これからも、よろしくね!



第5学年 さくらタイム学習指導案

5年1組 一幡

5年2組 吉田

1. 日 時 10月 17日(金) 6校時
2. 場 所 5年各教室
3. 本 時 「相手との違いをみつけ、相手を理解する方法を考えよう」
4. 本時の目標 感じ方、考え方がそれぞれ違うことを知り、相手を理解しようとする気持ちを育てる。
5. 本時の流れ

	主な学習活動	○指導上の留意点・準備物
1分	1. はじめの挨拶をする。	
30分	2. いろいろな感じ方を体験する。 【体験1】不器用さ 軍手をつけて、紙を数える。  いつもより数えられない! 【体験2】聴覚処理の特異性 一斉に言葉を言って、聞き取る  聞き取れない! 【体験3】見通しのもてない不安や恐怖(☆指示は以下) ランダムにいつまでも指示を出す  いつまで続くの?先が見えない... 【体験4】視覚の特異性 たくさんの漢字の中から特定の字を見つける。  見つけるのが難しい。目が疲れる。 【体験5】うまく言葉にできない、表現できない 難しいイラストを言葉だけで伝える。  伝えたいのに、伝わらない!	・テレビ・パソコン・ワークシート・軍手・紙 ○わざと焦らす声掛けをする。 ・録音(スライド) ○簡単な問題から、徐々に難易度をあげていく。(単語→文章) ○教師が全体に指示を出す。 ・漢字一覧(スライド) ○焦らせる声掛けをする。 ・白紙 ○席の隣でペアになり、順番にお題を見せるようにする。お題は4つ(易→難)
5分	5. ふりかえり	○今日のワークについて、さくら学級児童の様子と関連付けて説明する。
8分	6. 感想を記入	・ワークシート ○何人か感想を発表してもらう。 ○今後の自分に活かせるような感想が出れば、価値づけしていく。
1分	7. 終わりの挨拶をする。	

- ①図書館・果汁グミ
 - ②山登りをする
廊下の掃除をする
 - ③アイランド
スポーツ
 - ④洗濯物を干す
海で泳ぐ
()

☆指示内容→立ってください。ジャンプを10回してください。両手をあげてください。右手を下げてください。あ、左手も下げてください。座ってください。あ、やっぱり、立って、、、ぐるぐる回ってください。など

☆準備するもの：軍手 人数分(なければ半分で交代) 紙 数える人数×15枚くらい(裏紙などでよい)

さくらタイム 感想用紙

5年 ()組 名前_____

○いろいろな感覚のちがいを、感じ取ることができましたか？(特にどの活動で？)

○今日の授業で、初めて知ったことや、驚いたこと、感じたことを教えてください。

さくらタイム 感想用紙

5年 ()組 名前_____

○いろいろな感覚のちがいを、感じ取ることができましたか？(特にどの活動で？)

○今日の授業で、初めて知ったことや、驚いたこと、感じたことを教えてください。



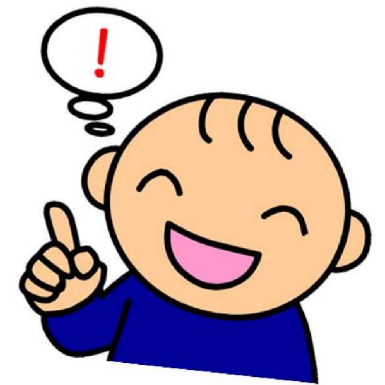


きょうの学習のめあて





いろいろな感じ方や
考え方があることを知ろう！





きょうのながれ



- ①体験してみよう
 - ②さくら学級のお友だちのこと
 - ③まとめ
- 
- 

体験してみよう！

体験①

手ぶくろをつけて紙を数えよう



1,2,3,4...

体験①

不器用さの体験



いつもより数えれない!

体験②

どんな言葉が聞こえるかな？

どんな言葉が聞こえるかな？①



どんな言葉が聞こえるかな？②



どんな言葉が聞こえるかな？③



どんな言葉が聞こえるかな？④



体験②

聞くことが苦手な人の体験



聞き取れない！

体験③

指示を聞いて動いてみよう！

体験③

見通しのもてない不安の体験



いつまで続くの...

体験④

同じ文字を見つけよう

れれれれれれれれれれれれれれれれ
れれれれれれれれれれれれれれれれ
れれれれわれれれれれれれれれれれ
れわれれれれれれれれれわれれれ
れれれれれれれれれれれれれれれ

魴 魷 魷 鮑 鰯 鮪 魷 魷 鰻 鰻 鰻
鰻 魷 鰻 鰻 鰻 鰻 鰻 鰻 鰻 鰻 鰻
鰻 鰻 鰻 鰻 鰻 鰻 鰻 鰻 鰻 鰻 鰻
鰻 鰻 鰻 鰻 鰻 鰻 鰻 鰻 鰻 鰻 鰻
鰻 鰻 鰻 鰻 鰻 鰻 鰻 鰻 鰻 鰻 鰻
鰻 鰻 鰻 鰻 鰻 鰻 鰻 鰻 鰻 鰻 鰻

𩺰	𩺱	𩺲	𩺳	𩺴	𩺵	𩺶	𩺷	𩺸	𩺹	𩺺	𩺻
𩺼	𩺽	𩺾	𩺿	𩻀	𩻁	𩻂	𩻃	𩻄	𩻅	𩻆	𩻇
𩻈	𩻉	𩻊	𩻋	𩻌	𩻍	𩻎	𩻏	𩻐	𩻑	𩻒	𩻓
𩻔	𩻕	𩻖	𩻗	𩻘	𩻙	𩻚	𩻛	𩻜	𩻝	𩻞	𩻟
𩻠	𩻡	𩻢	𩻣	𩻤	𩻥	𩻦	𩻧	𩻨	𩻩	𩻪	𩻫
𩻬	𩻭	𩻮	𩻯	𩻰	𩻱	𩻲	𩻳	𩻴	𩻵	𩻶	𩻷

魴	魷	魷	鮑	鰯	鮪	鮓	魷	鰻	鰻	鰻
魴	魷	鰻	鮑	鰯	鮪	鮓	魷	鰻	鰻	鰻
魴	魷	鰻	鮑	鰯	鮪	鮓	魷	鰻	鰻	鰻
魴	魷	鰻	鮑	鰯	鮪	鮓	魷	鰻	鰻	鰻
魴	魷	鰻	鮑	鰯	鮪	鮓	魷	鰻	鰻	鰻

体験④

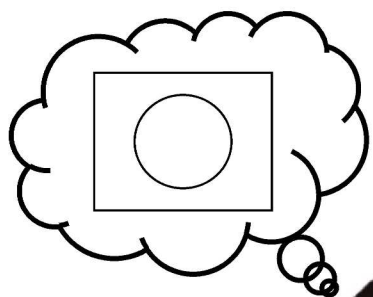
違いがすぐにわからない体験



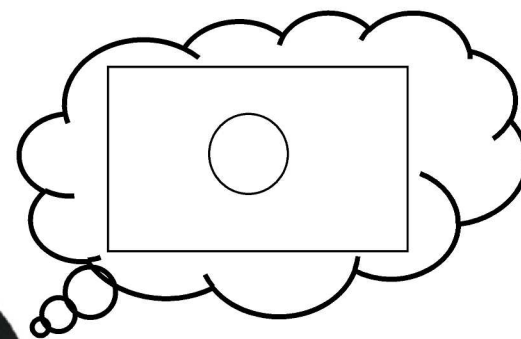
見つけるのが難しい...

体験⑤

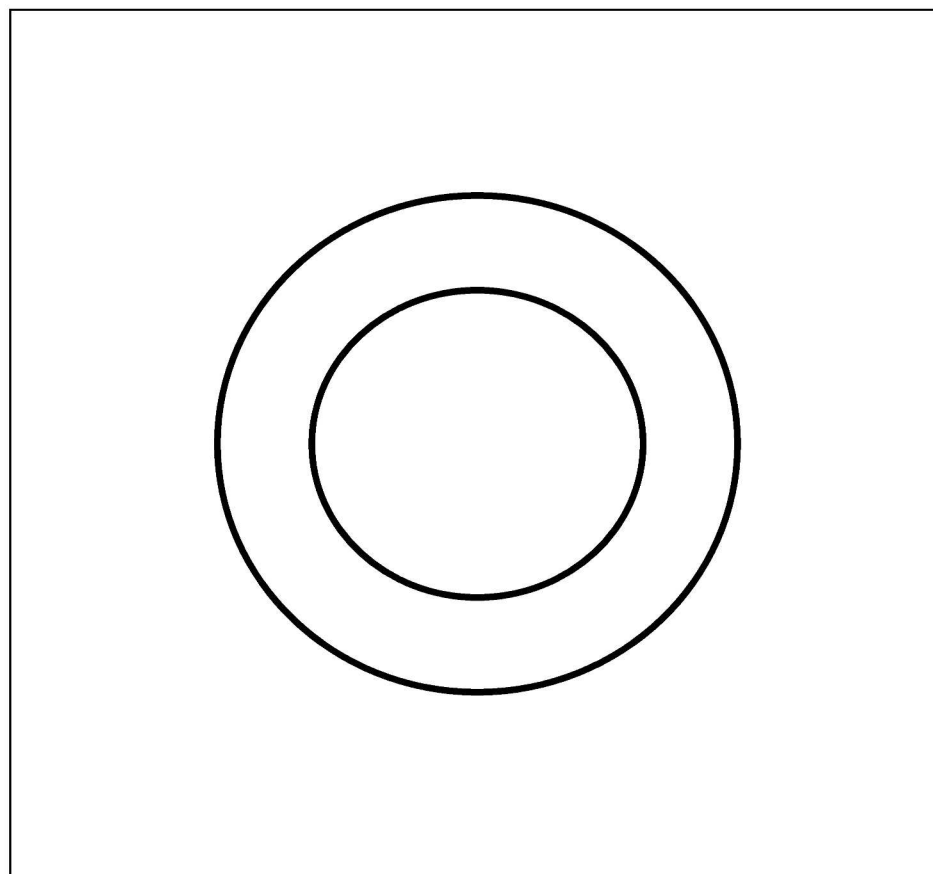
言葉で相手に伝えよう



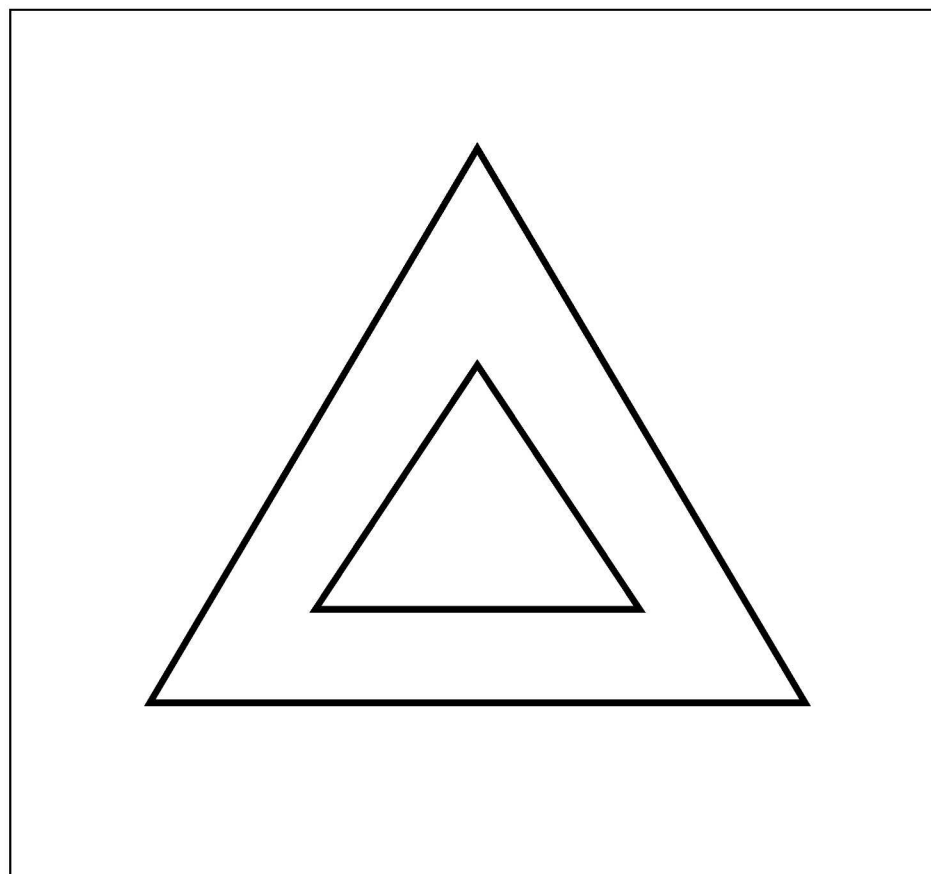
丸を書いてください



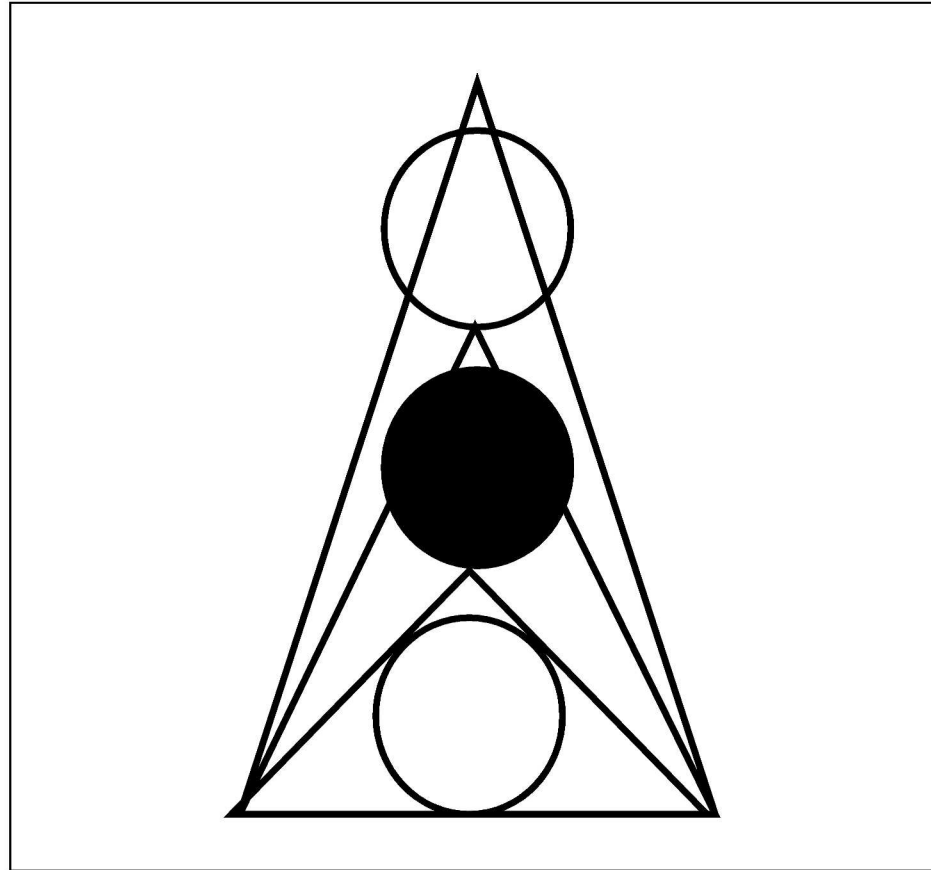
体験⑤-A



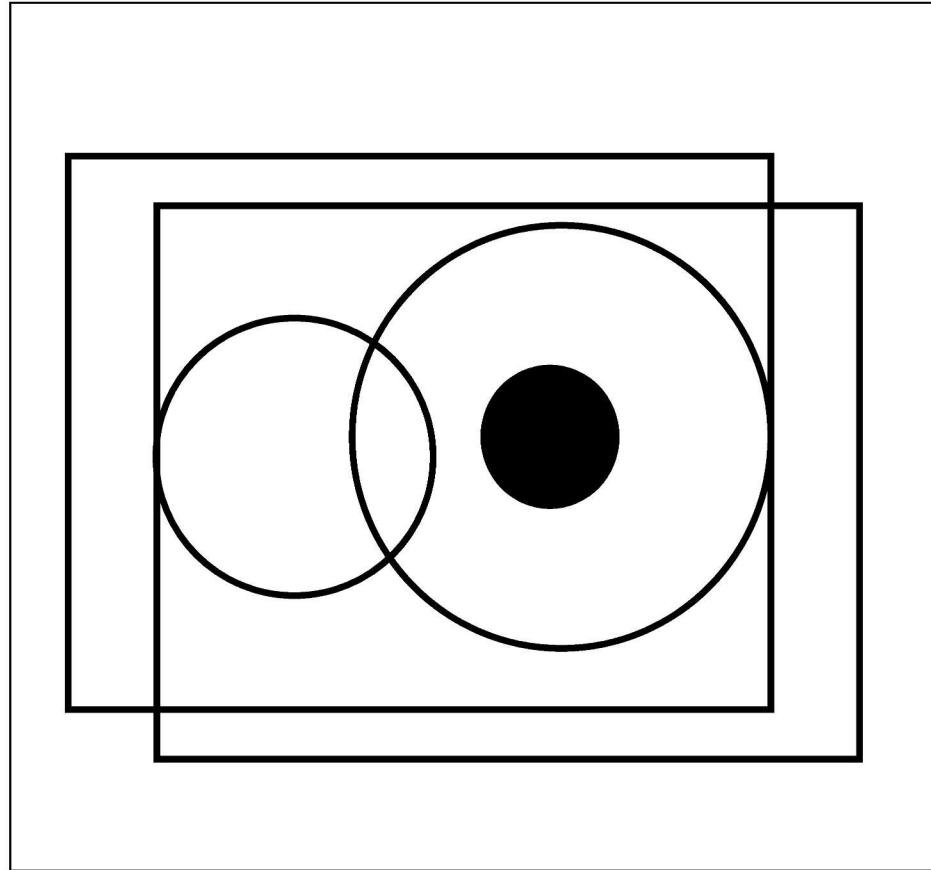
体験⑤-B



体験⑤-A



体験⑤-B



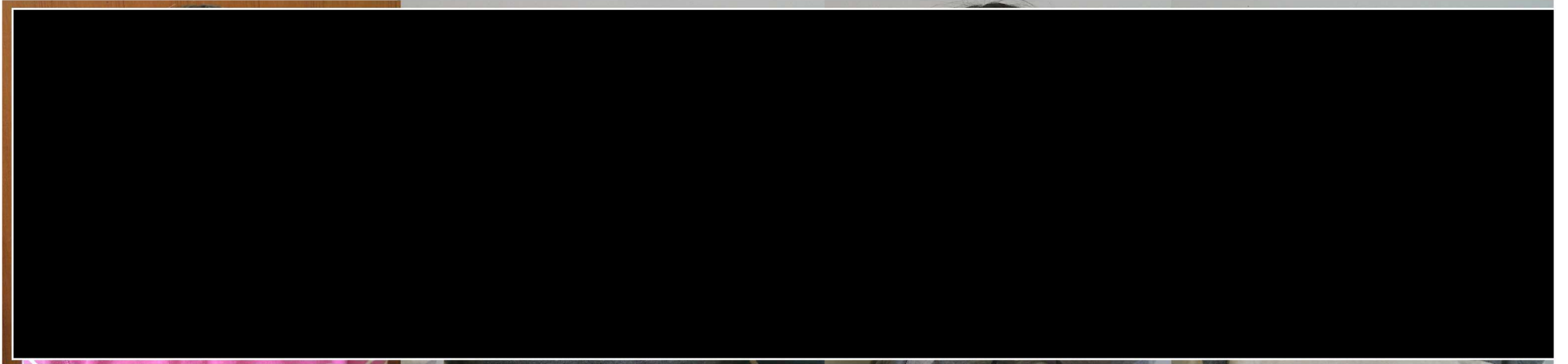
体験⑤

うまく説明できない体験



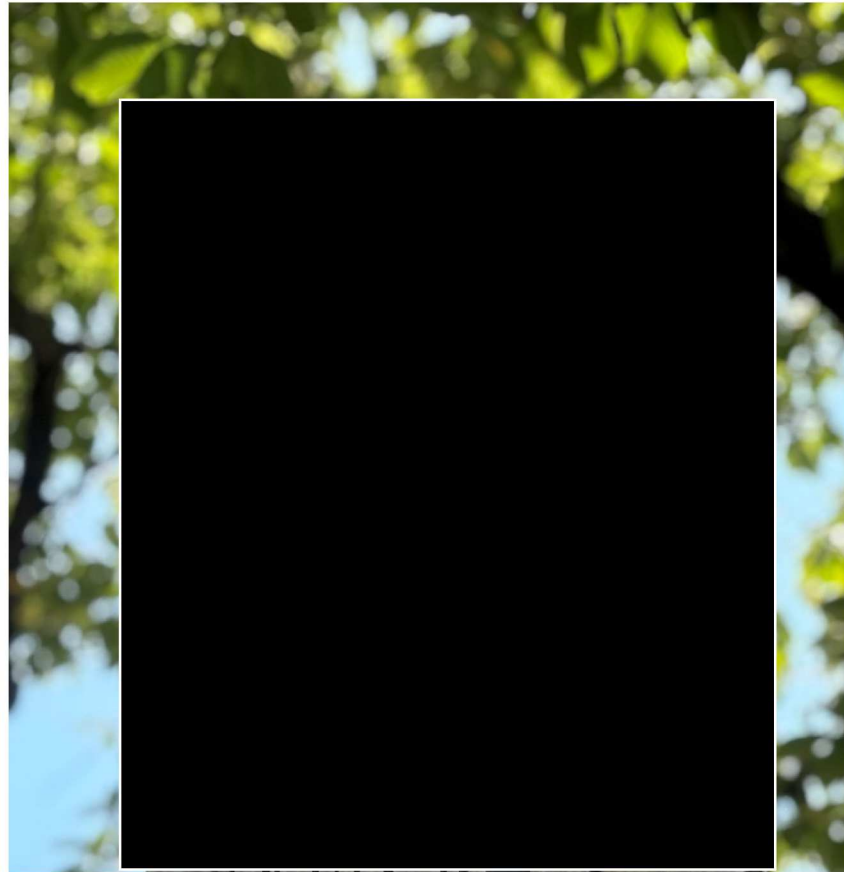
伝えたいのに、
伝わらない!!

○見通しがもてないと不安
（初めてのこと・苦手なこと）



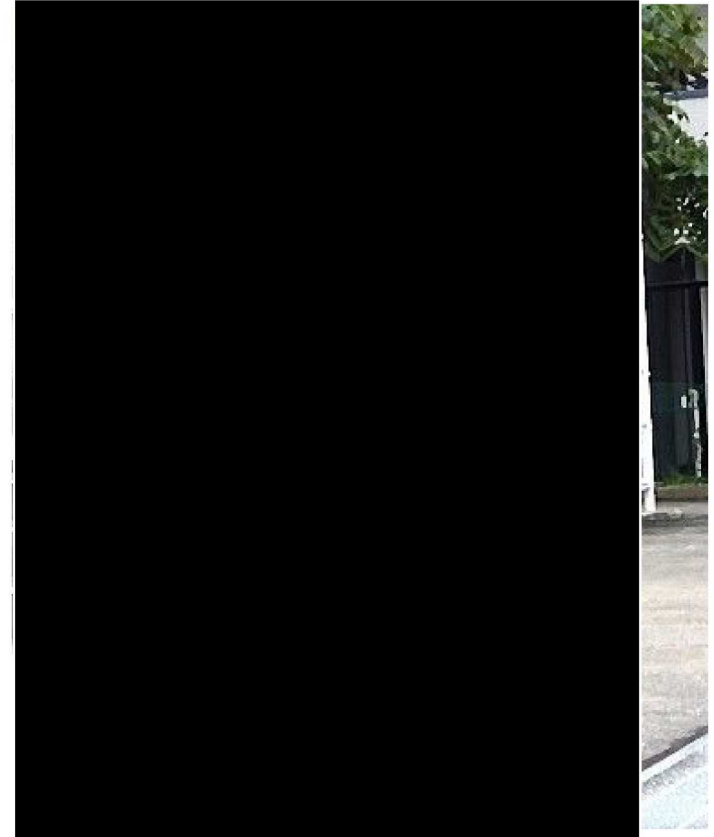
○見通しがもてないと不安

○説明できない



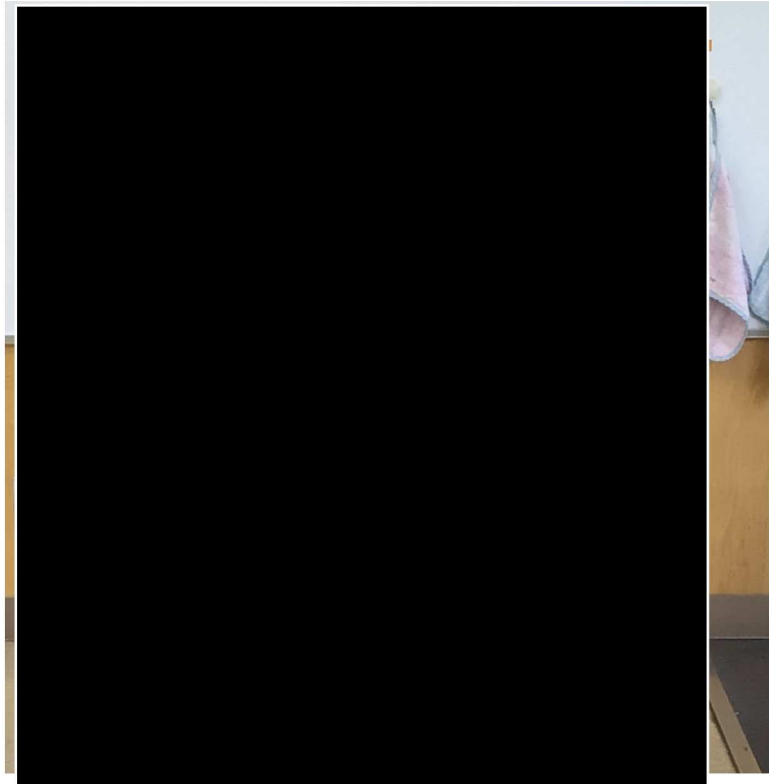
○見通しがもてないと不安

○不器用さ（細かいことが苦手）



○見通しがもてないと不安

○説明できない



体験① 不器用さの体験

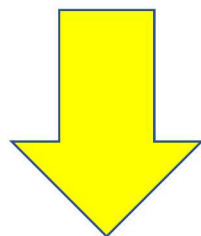
体験② 聞くことが苦手な人の体験

体験③ 見通しのもてない不安の体験

体験④ 違いがすぐにわからない体験

体験⑤ うまく説明できない体験

相手とちがうところを知る



相手の理解につながる



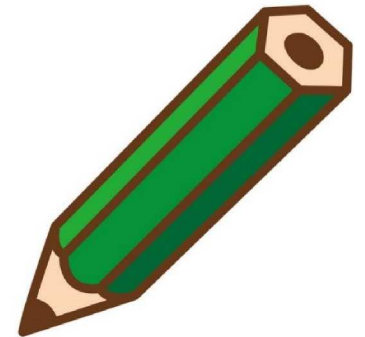
これからも

よろしくね！

今日の授業の感想を書きましょう

- ・初めて知ったこと
 - ・驚いたこと
 - ・感じたこと

などなど



第6学年 さくらタイム学習指導案

6年1組 奥山

6年2組 阿部

1. 日 時 3月 6日(金) 5校時

2. 場 所 6年各教室

3. 本 時 「さくらタイム6年間のまとめをしよう」

4. 本時の目標 ○これまでのかかわりを振り返り、さまざまな触れ合いを積み重ねてきたことに気づく。
○学習や生活に困り感がある人たちを知ること、相手を理解しようとする気持ちを深める。

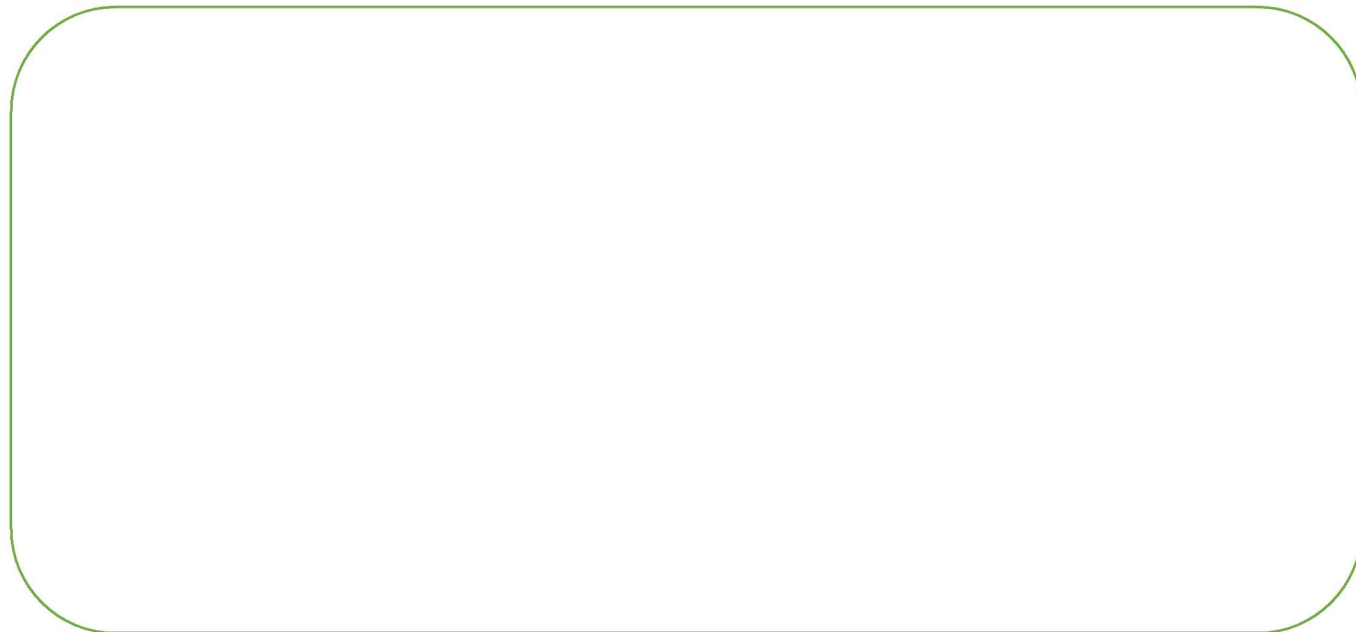
5. 本時の流れ

主な学習活動	○指導上の留意点・準備物
1. はじめの挨拶をする。	
2. さくら学級の児童とのかかわりについて振り返る。	「みんななかよし」の写真を提示し、かかわった児童のことを思い出せるようにする。
3. 今年のさくら学級とのかかわりを振り返る。	今年のさくら学級の児童の写真を見せながら、どんな関わりをしたかを振り返る。
4. ブラインドサッカーについて知る。 障害があってもプレイヤーに合わせてルールを工夫すればみんなと同じように活動ができることが理解する。	・動画 動画を見せながら紹介する。 どんなルールの違いがあるか気付けるようにする。
5. 様々な障害がある人と一緒にするサッカーのルールを考える。 ① 足に障害がある人と一緒にする場合 ② さくら学級の児童と一緒にする場合	自分たちが行っているサッカーとのルールの違いを踏まえて、なぜそのルールにする必要があるのかを考えられるようにする。 いくつかの項目を用意して、それぞれルールを考えられるようにする。
5. ふりかえり	スポーツに限らず、普段の生活でも、関わり方や環境を工夫することで同じ活動ができることを伝える。
6. 感想を記入	・ワークシート ○何人か感想を発表してもらう。 ○今後の自分に活かせるような感想が出れば、価値づけしていく。
7. 終わりの挨拶をする。	

さくらタイム ワークシート

6年 ()組 名前_____

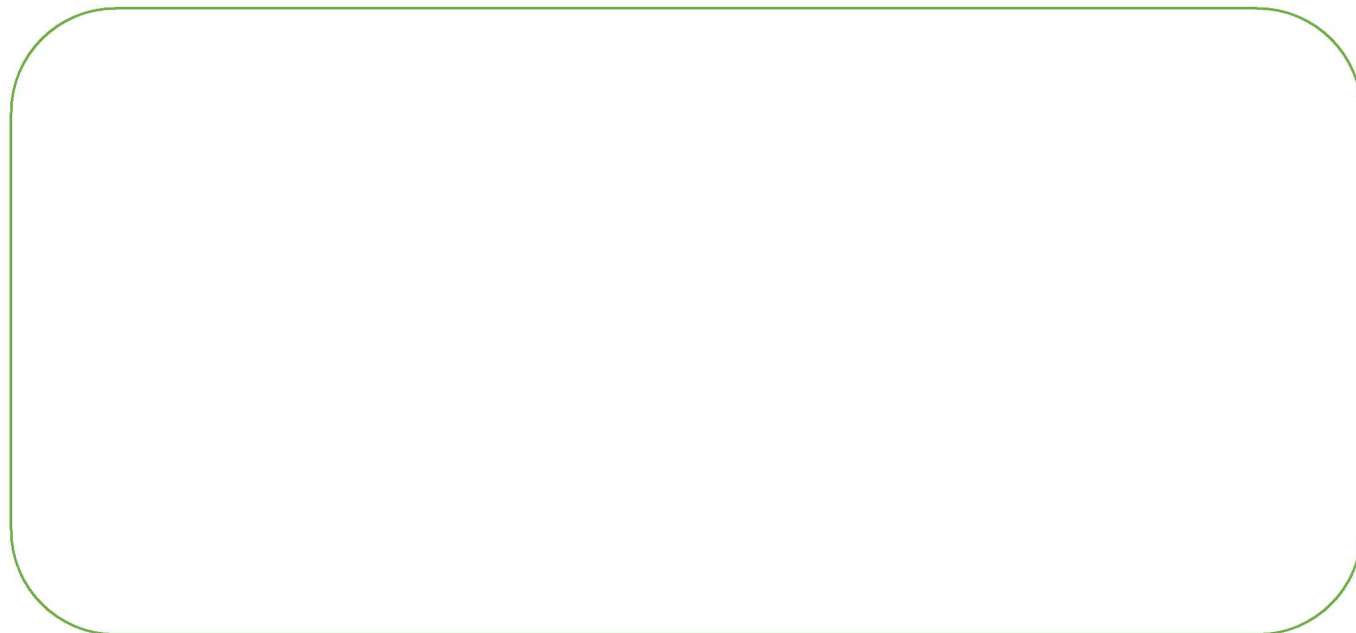
○今日のさくらタイムで、感じたこと、考えたことを教えてください。



さくらタイム ワークシート

6年 ()組 名前_____

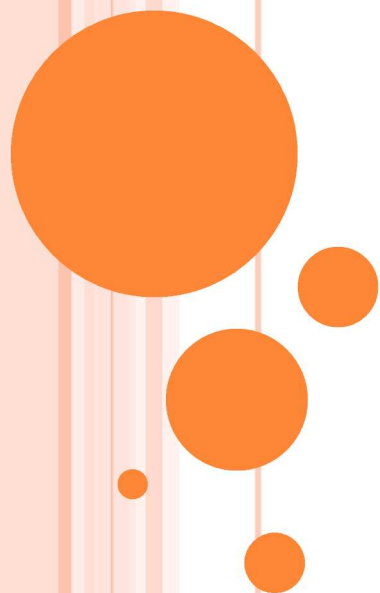
○今日のさくらタイムで、感じたこと、考えたことを教えてください。



みんな なかよし

はじまりの会

クラスごとに
ならびましょう！



はじまりの会

～きょうのながれ～

- 1 みんななかよしって？
- 2 ♪「さくらだいすき」をうたう
- 3 じこしょうかいをする
- 4 ♪「エビカニクス」
- 5 バルーンダンス
- 6 ぶりかえり



「みんななかよし」って？

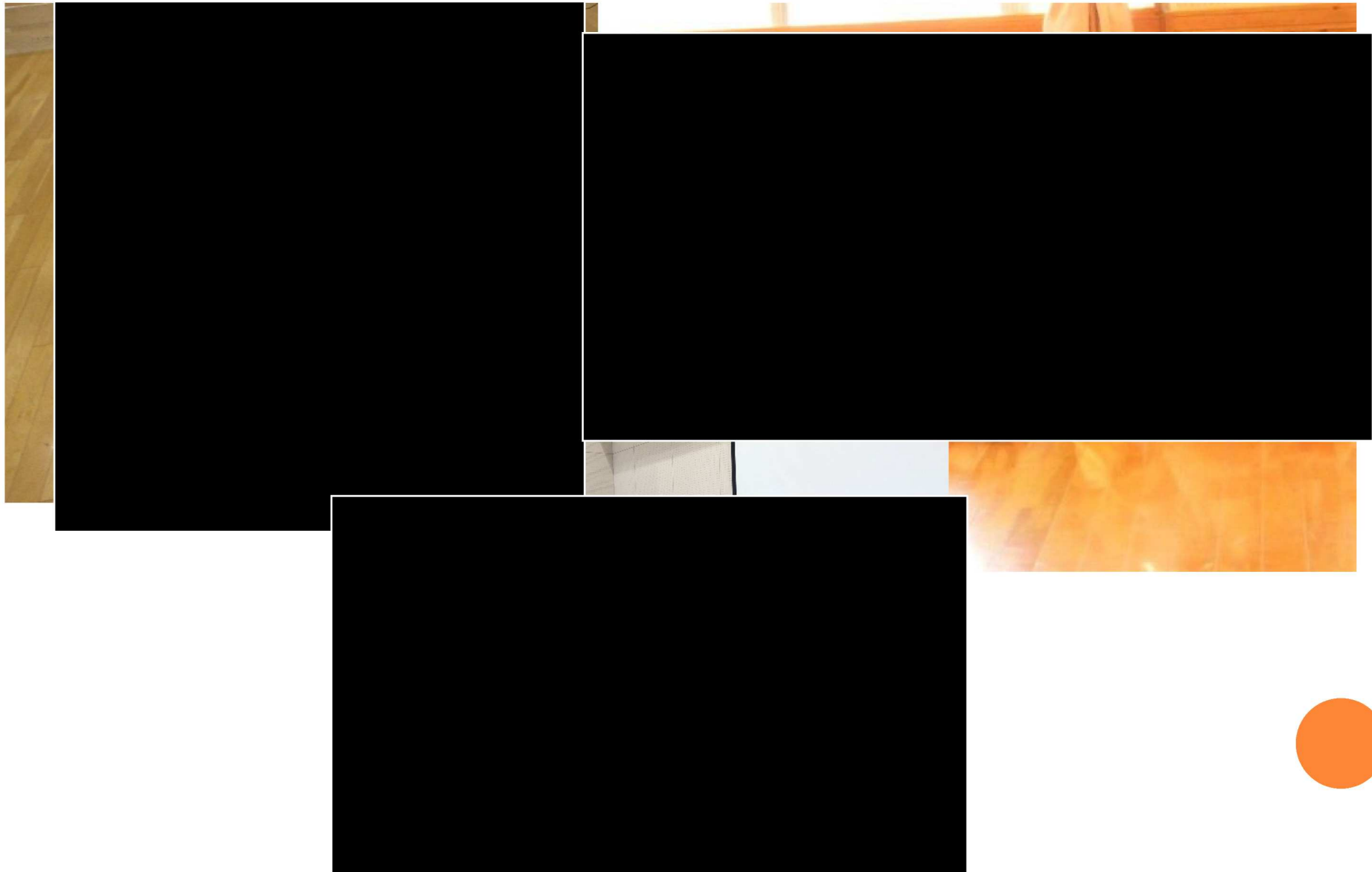
どんなことをするのかな



5月 はじまりの会



6月 よろしくねの会



いっしょにあそぼう！



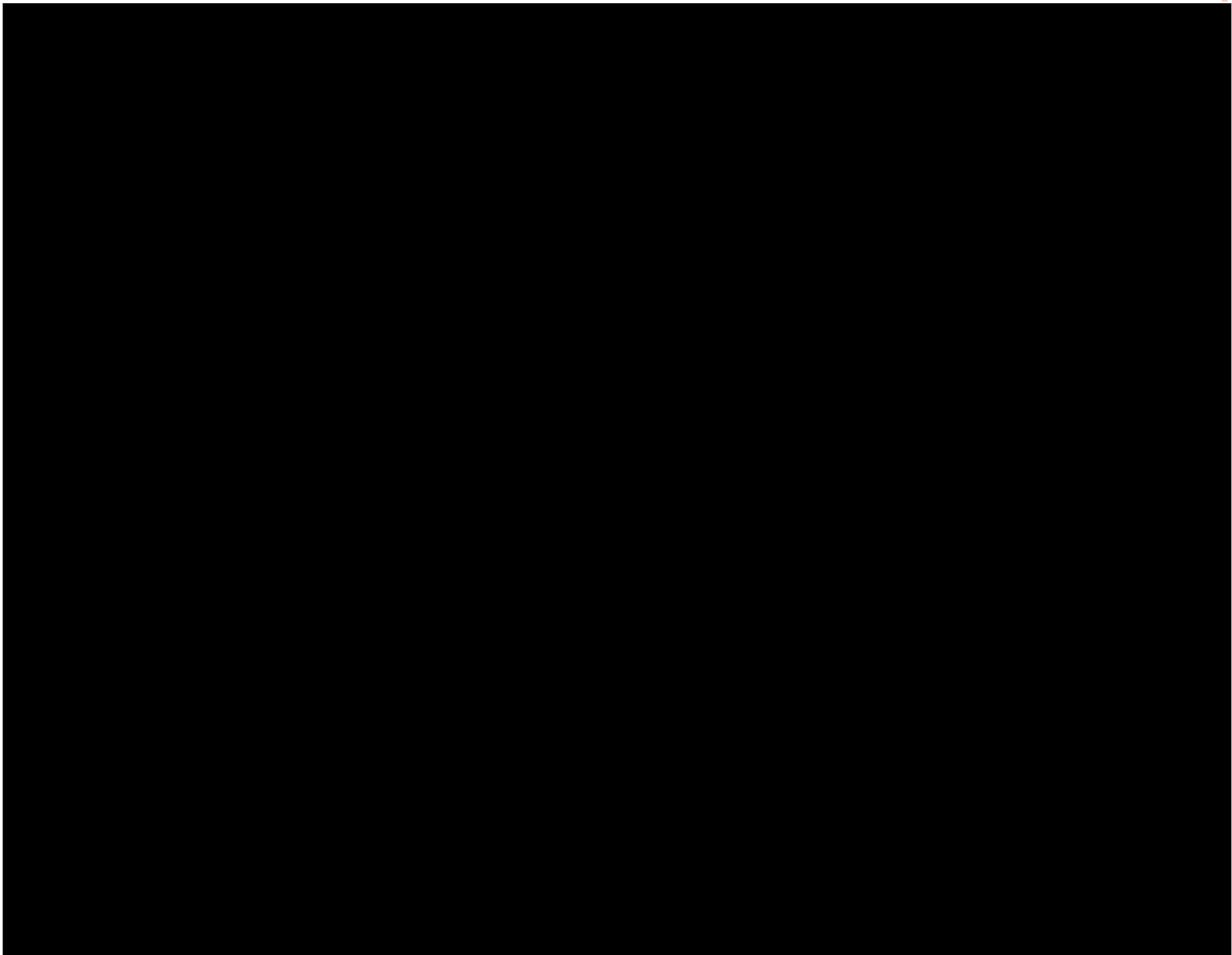
- ① 先生と4年生で話し合い
- ② あそぼう！

- ③ 次に向けて話し合い

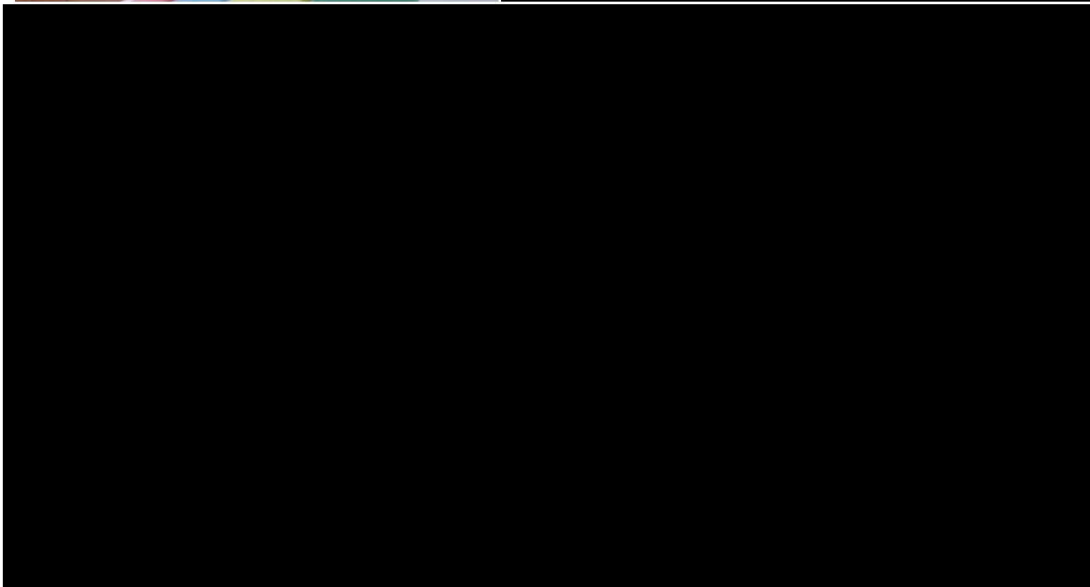


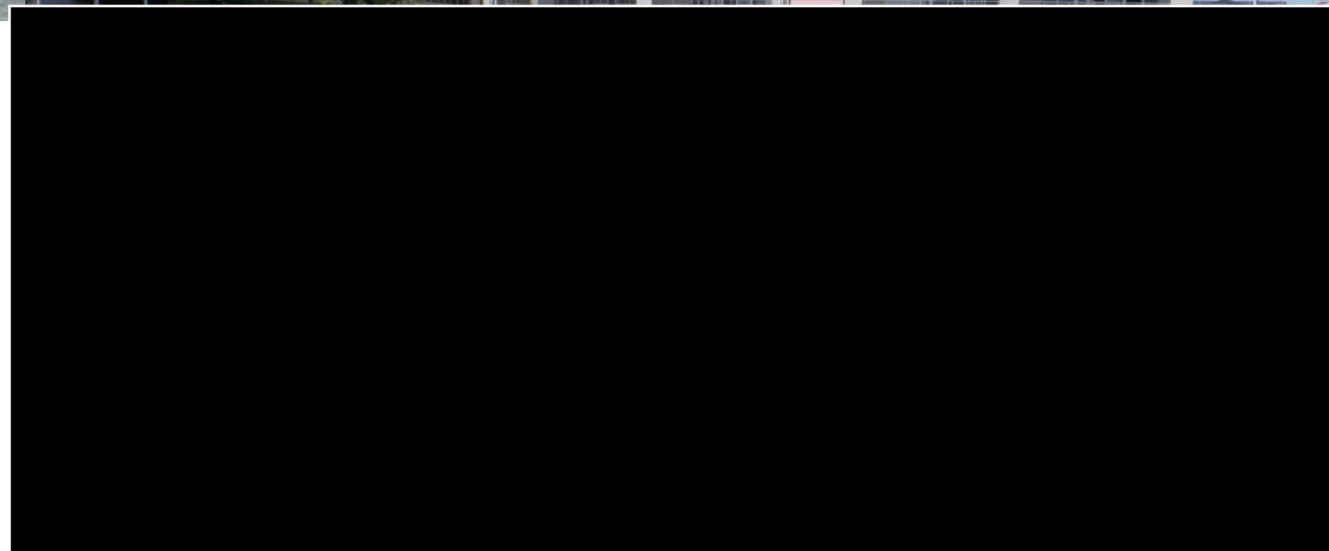
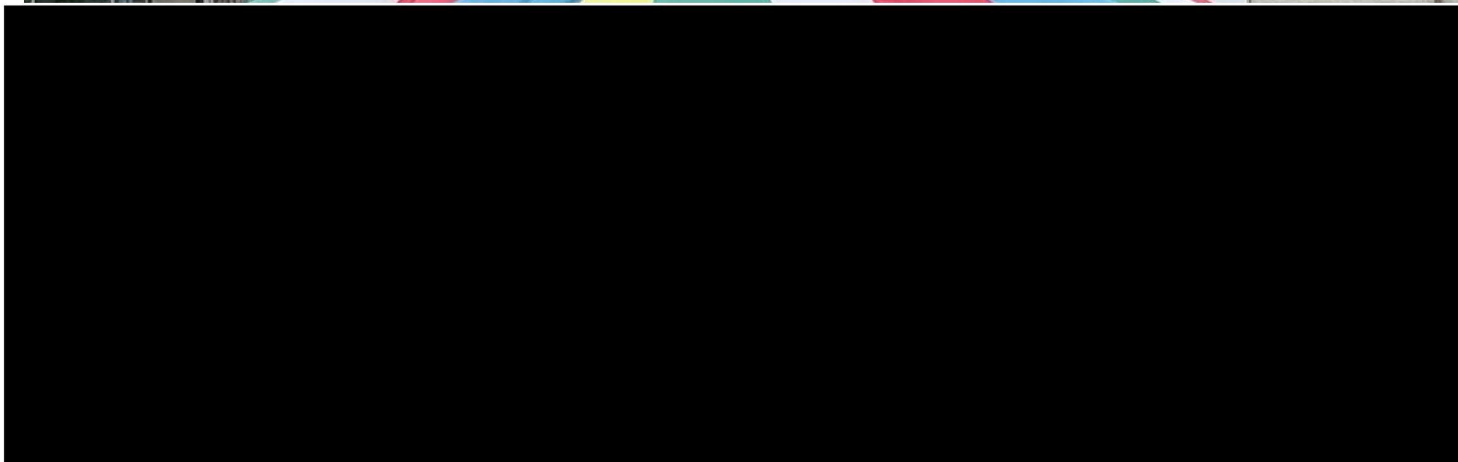
いっしょにあそぼう



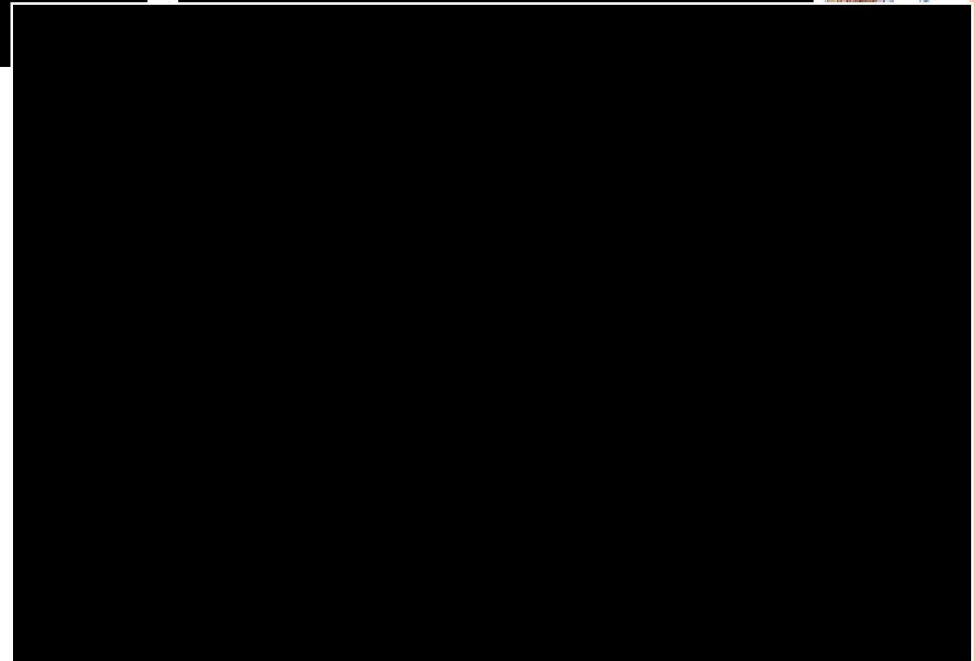
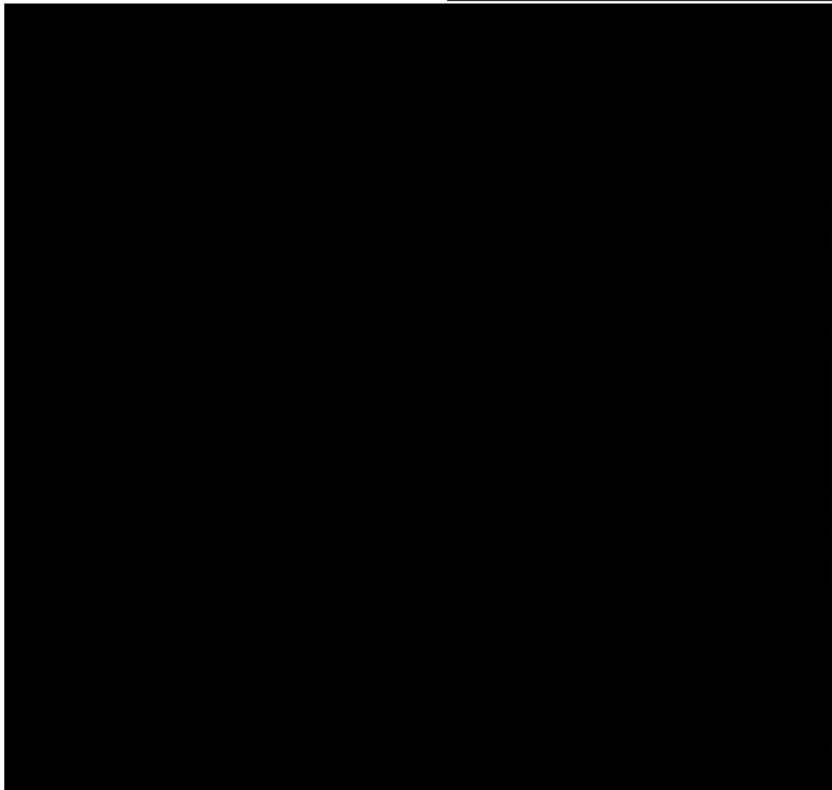
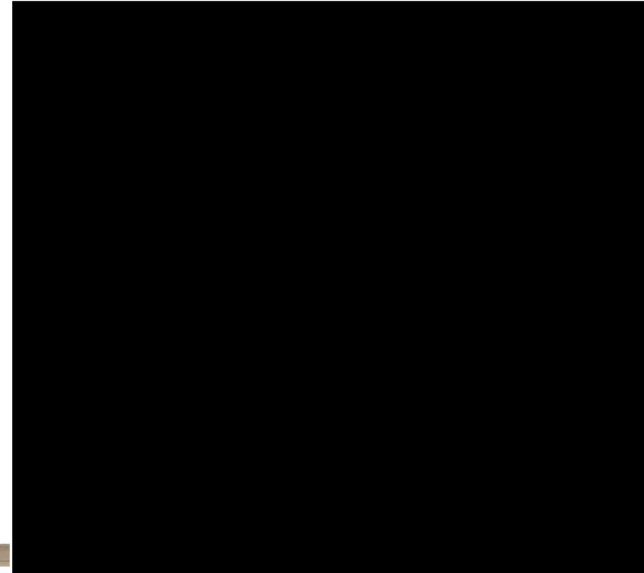
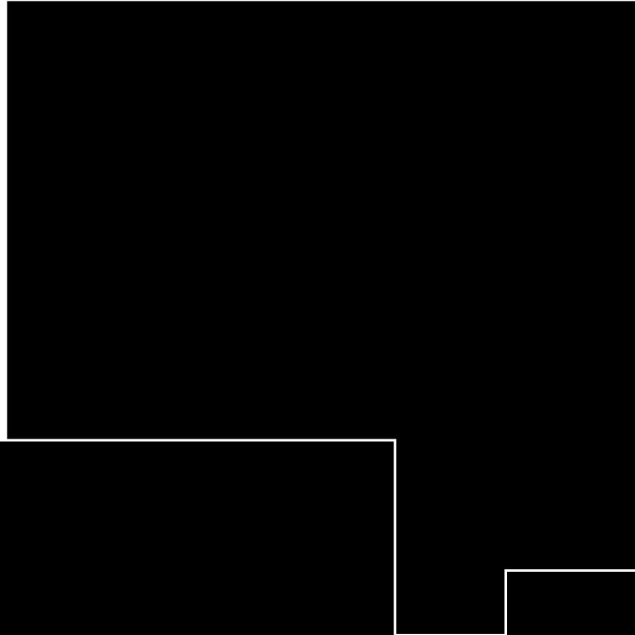


バレーンで遊ぼう





しゅうかい



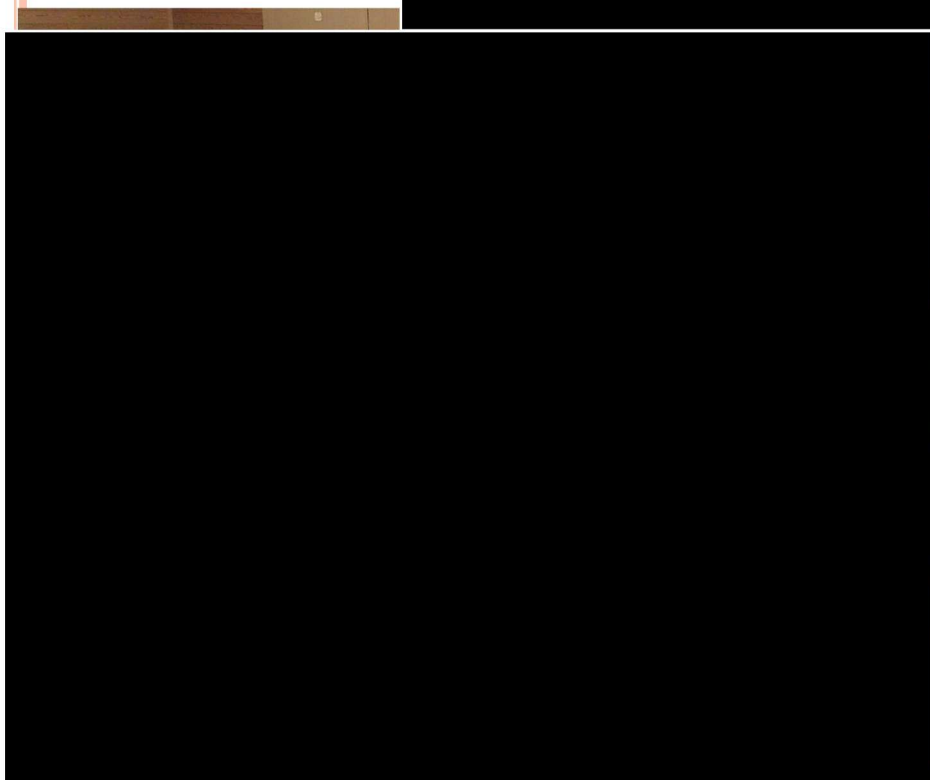
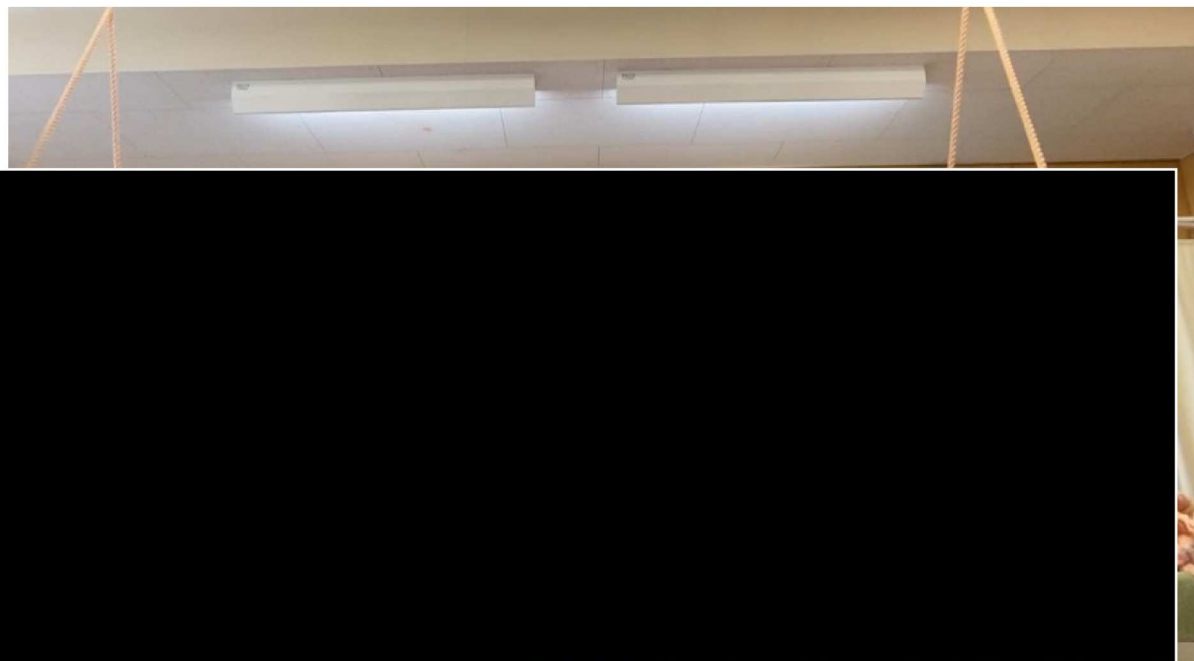
ねらい

いっしょにあそんで、
なかよくなろう！



わからないことは、
なんでもきいてね！

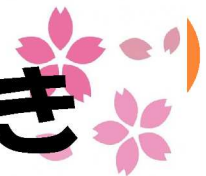
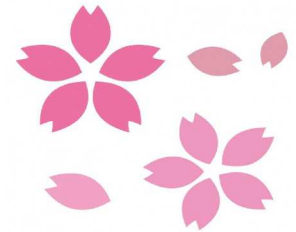




♪ 「さくらだいすき」



- みんなともだち てをつなごう
- にこにこえがおが うれしいね
- みんなのえがおが あつまって
- おおきなすてきな はながさく
- さみしいときも てをつなごう
- だいじょぶ だいじょぶ だいじょうぶ
- さくら さくら さくらのなかま
- さくら さくら みんな だいすき



さくらがっきゅうから

じこしょうかい



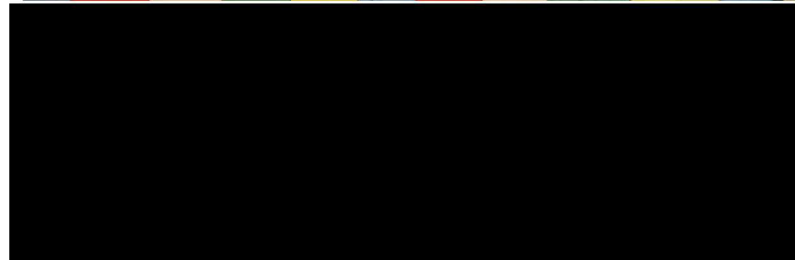
みんなでおどろう



エビカニクス ♪



やってみよう



バレーンダンス♪



ふいかえい



終わりのあいさつ



さくら学級・4年生 交流及び共同学習 「みんな なかよし」

- 1 日時・場所 2025年6月5日(木) 3校時 音楽ホール
- 2 単元名 「みんな なかよし」
- 3 本時 よろしくねの会
- 4 目標 ○グループのメンバーの顔や得意なことを知る。

5 展開 進行：吉田 司会：4年実行委員

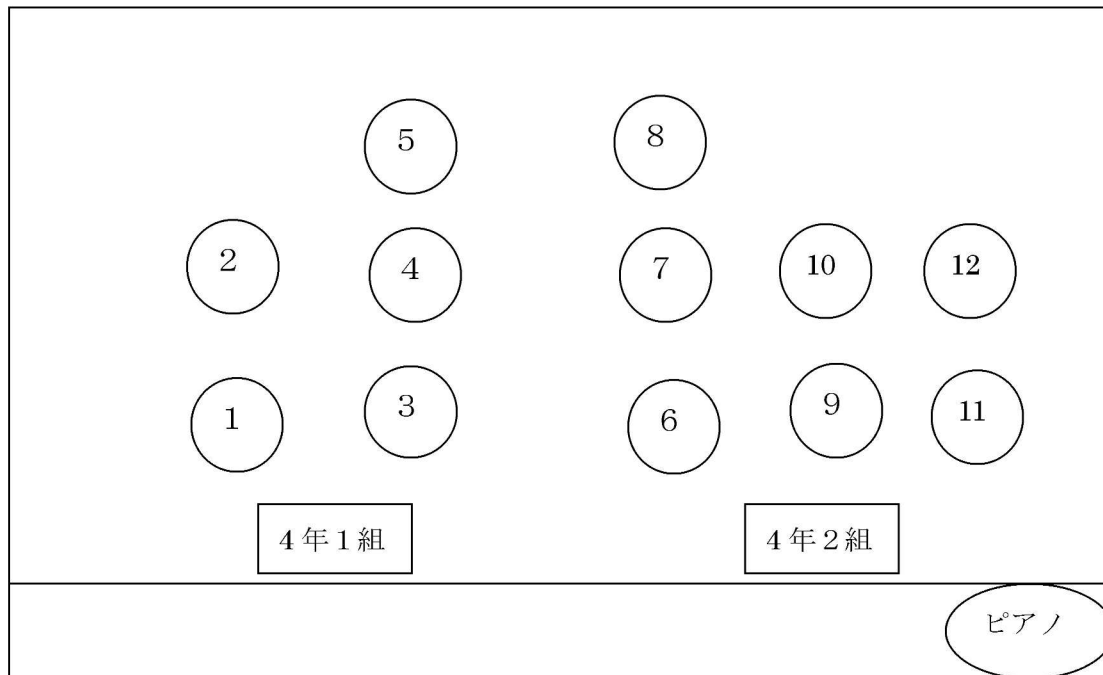
時間	学習活動	・指導上の留意点
10:50	※グループごとに集まった状態で始める。 1 はじめのあいさつをする。 「これからみんななかよしのべんきょうをはじめます。」 2 今日の活動内容を知る。 3 「さくらだいすき」を歌う。2回 4 「バスに乗って」の手遊びを行う。2回	・舞台に体を向ける。 ・4年生の実行委員とさくら学級の日直が前に出る。 ・わかりやすいよう絵や映像で表示する。(パワーポイントなど) ・グループごとに、円になり、手を繋いで行う。 ・グループごとに、1列か2列になり、肩につかまって行う。
11:05	5 互いのことを詳しく知るために自己紹介やクイズをする。 6 「エビカニクス」を踊る。 7 ふりかえりをする。	・さくら学級は、自己紹介カードを見せながら行う。 ・さくら学級の担任と4年の担任1名ずつ前で踊る。 ・実行委員とさくら各クラスの日直(実態に応じて、日直ではなくてもよい)から感想を聞き、楽しかったイメージを膨らませ、今後の活動に期待感や楽しさを持たせるようにする。
11:25	8 おわりのあいさつをする。 ・同じグループの友だちと教室まで一緒に戻る。	・4年生の実行委員とさくら学級の日直が前に出る。
11:35		

準備するもの

- ・学習活動の流れ・パワーポイント（奥山） ・iPad（奥山） ・アンプ（小島）
- ・パソコン・プロジェクター・マイク（吉田、小島、奥山）
- ・さくら学級自己紹介カード ※A4カラー（各担任）

並び方

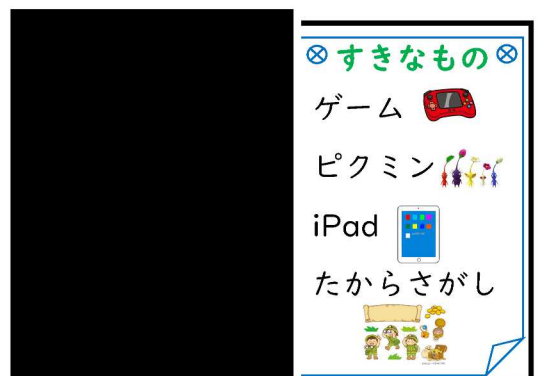
- ・活動1・2・3・4は、舞台に体を向け座る。
- ・活動5で、互いの発表を見えやすくするためにグループ内で向き合う。



※さくら学級の児童の実態により、指定通りの場所にならない場合もあります。
児童に合わせて丸くなるようにしてください。

自己紹介カードについて

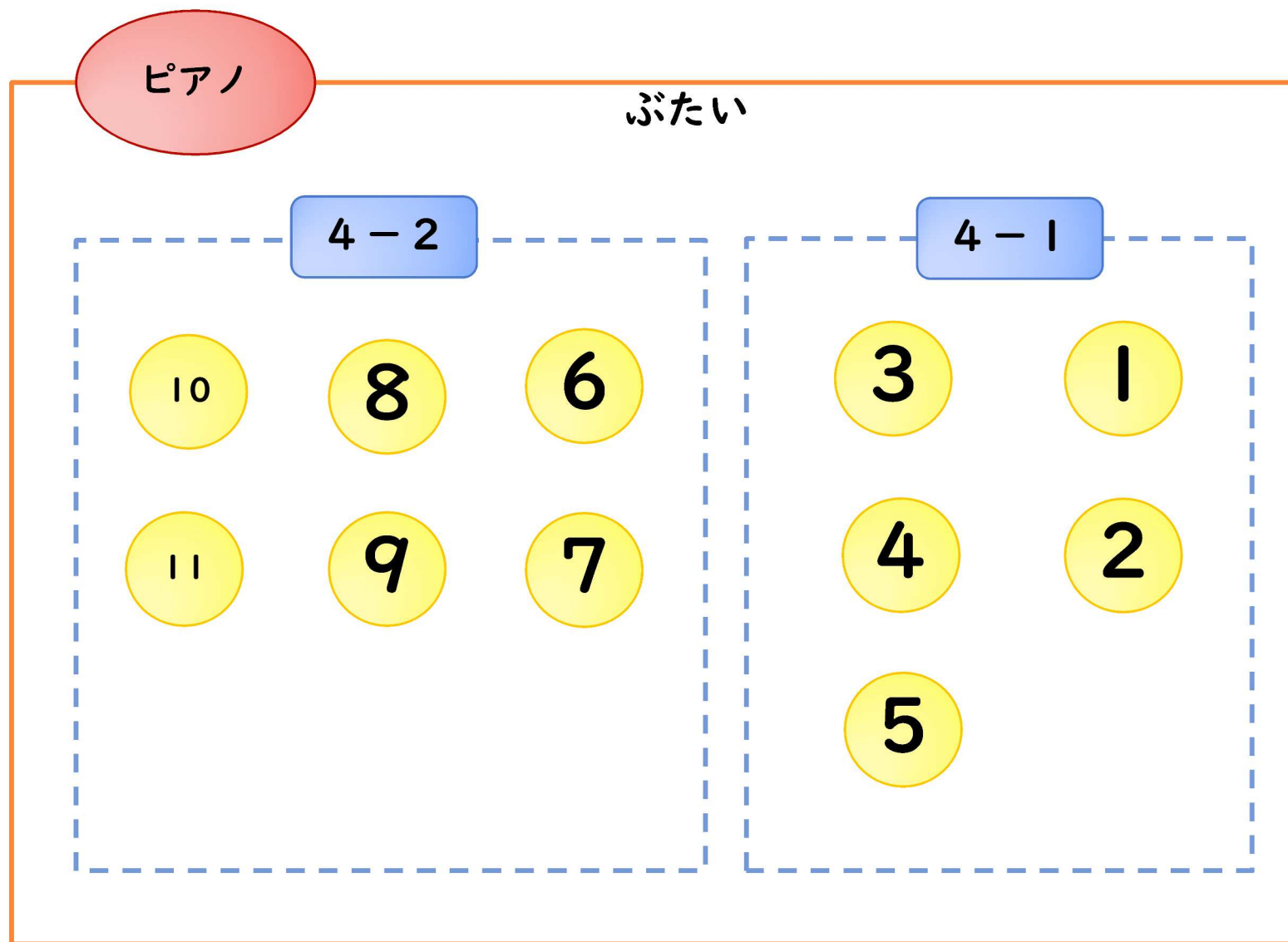
- ・本時で使用した自己紹介カードは、縮小して4年廊下に1年間掲示してもらう。
- ・A4の白黒コピーを、グループの4年生に配布し、ファイルに保管してもらう。（白黒コピーは、活動後にさくら学級担任が4年生担任へ渡す。）
- ・カードにのせる情報は、今後の「いっしょにあそぼう」で参考になりそうな情報がよい。



さくら学級クイズについて

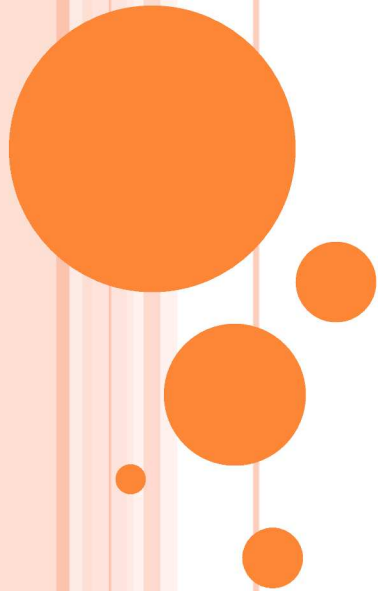
- ・さくら学級や児童個人に関するクイズを5問程度考えてくる。このクイズを通して、4年生がさくら学級児童との共通点を見い出したり、より興味をもってもらえるようになったりするとよい。

グループごとにあつまりましょう。



みんな なかよし

「よろしくねのかい」



よろしくねのかい

～きょうのながれ～

1. 「さくらだいすき♪」をうたう
2. 「バスにのって♪」のてあそび
3. じこしょうかい&クイズをする
4. 「エビカニクス♪」をおどる
5. ふりかえりをする



「さくらだいすき♪」

- みんなともだち てをつなごう
- にこにこえがおが うれしいね
- みんなのえがおが あつまって
- おおきなすてきな はながさく
- さびしいときも てをつなごう
- だいじょうぶ だいじょうぶ だいじょうぶ
- さくら さくら さくらのなかま
- さくら さくら みんな だいすき



「バスにのって♪」

バスにのって ゆられてる ゴーゴー
バスにのって ゆられてる ゴーゴー

- ①そろそろ みぎに まがります！
- ②そろそろ ひだりに まがります！
- ③そろそろ でこぼこみちです
- ④そろそろ とまります とうちゃく！



じこしょうかい&クイズ

をしよう



みんなでおどろう



エビカニクス♪

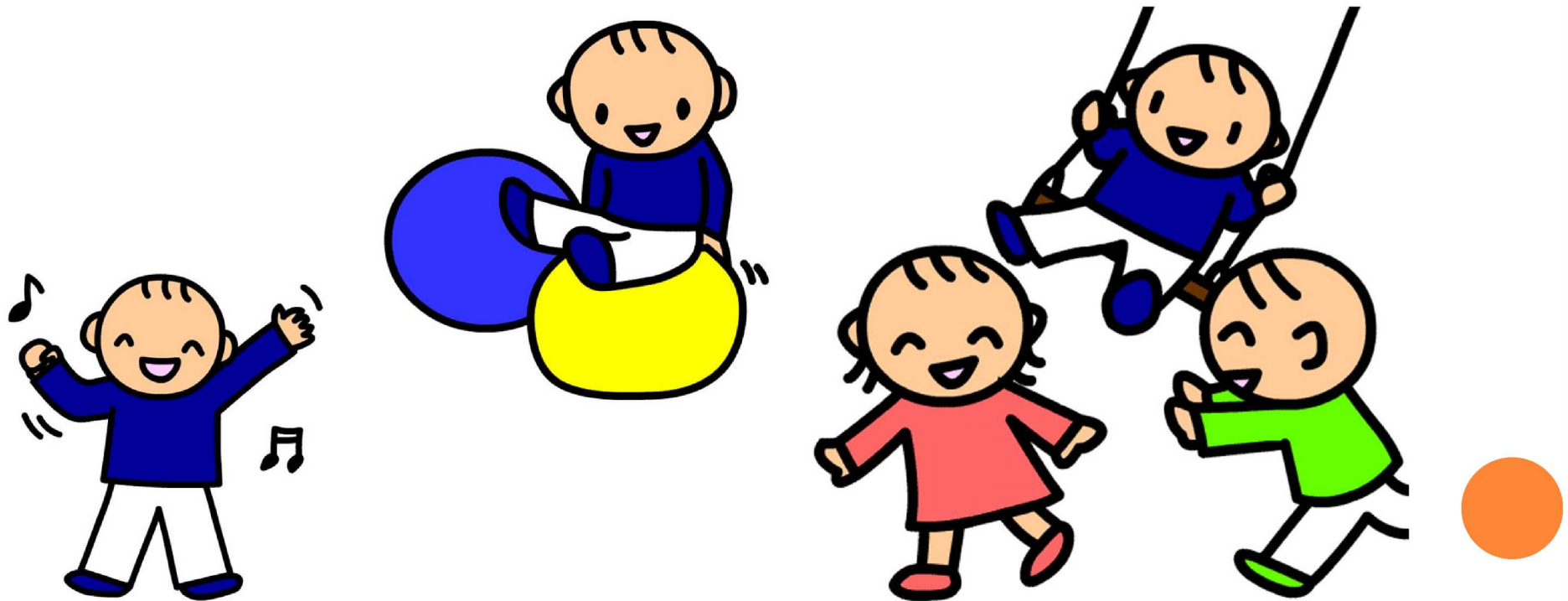


ふりかえり



じかいは ・ ・ ・

6 がっ 26 にち



さくら学級担任に相談（第1回「いっしょにあそぼう」）

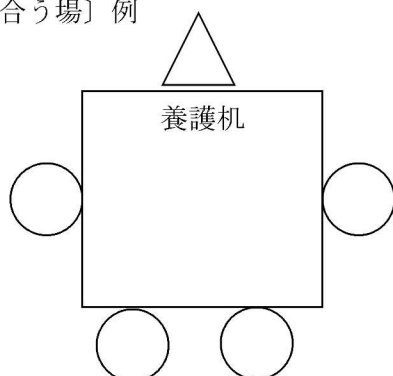
- 1 日時 6月19日（木）6時間目（14：30～15：00）
- 2 場所 さくら学級1、2、3組教室
- 3 単元 みんななかよし
- 4 本時 「遊びの計画を立てよう」
- 5 本時のねらい

楽しい遊びの活動にするために、さくら学級担任と遊びの計画を立てる。

6 展開

学習内容	*指導上の留意点
1 はじめのあいさつ	*あらかじめ決めてある教室に集まり、グループごとにはじめのあいさつをする。
2 遊びの計画を立て、かかわり方を知る。 (各グループ 10～15 分) ・グループごとに担当の大人と相談をする。 ・さくら学級の児童の興味のあることや個性、かかわり方、気を付けた方がよいことなどを教えてもらう。 ・決められた遊びにこだわらず、さくら学級の児童の表現や表情を大切に、一緒に楽しく過ごせればよいことを知る。 ・グループのめあてと必要な物、遊びの流れをワークシートに書き入れる。	*活動時間を確保するため、学習の流れと目的は教室で事前に指導しておく。 *指導者が重ならないよう、4年の担任がさくら学級にグループを送り出す。その他の児童は4年教室で待機する。 *話し合いができる場を用意する。 *基本、大人は自分が担当するグループと話し合いをする。 *大人は、担当する児童の適切な遊びやかかわり方について整理しておく。 *アドバイスをを行う時は、できる限り4年生の自主性を認めていくようにする。 *プレイルームは最初の計画にいれない。当日のさくら学級の児童の様子を見て必要な時にだけ使用する。 *話し合いの視点 ○準備するものは何か。 ○どういかかわり方をするとよいか。 「効果的な言葉かけ」や「接し方」について 4年生のめあてについて
3 おわりのあいさつ	*グループごとにおわりのあいさつをする。

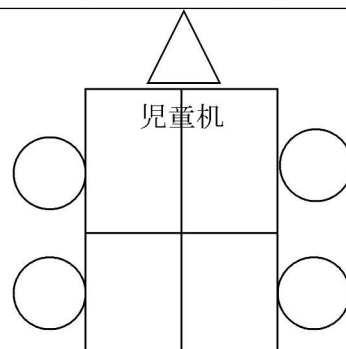
〔話し合う場〕例



○・・・4年生児童

△・・・指導者

もしくは



さくら学級・4年生 交流及び共同学習 「みんな なかよし」

- 1 日時・場所 2025年6月26日(木) 3時間目 体育館ほか
- 2 单元名 「みんな なかよし」
- 3 本時 「いっしょにあそぼう」(第1回)
- 4 目標

さくら学級	4年生
・4年生と一緒に活動することを楽しむ。 ・自分なりの表現の仕方で4年生に自分の思いを表したり伝えたりする。	・かかわりを通してそのよさや喜びを感じるとともに、所属感や仲間意識を高める。 ・みんなが楽しめる活動を通して、協力しながら活動する。

5 展開

時間	指導上の支援及び留意点 (さくら学級)	主な学習活動	指導上の支援及び留意点 (4年生)
10:50	・始まりがはっきりわかるよう身ぶりも取り入れたあいさつをする。	1. はじめのあいさつ 「これから、みんななかよしのべんきょうをはじめます。」	・司会はゆっくり間を取って話せるように事前に練習しておく。
いっしょにあそぼう (第1回)			
	・自然と体が動き、楽しで行えるよう、普段からクラスごとに繰り返し行っておく。	2. いっしょにうたおう 「♪さくら だいすき」 「♪バスにのって」	・全員がさくら学級の児童と触れ合えるよう、手をつないだり手遊びをしたりする人を交代する。
11:00	・活動への見通しをもち、4年生と一緒に遊ぶことを楽しみにできるよう、個々に事前に言葉かけや指導をしておく。 ・4年生とさくら学級児童とのかかわりを大事にし、安全面で問題がない限り見守るようにする。	3. いっしょにあそぼう グループごとに遊ぶ ＊体育館 ＊体育館通路 ＊校庭 ＊さくら学級各教室 ＊ピロティエ ＊音楽ホール ＊バス車庫 (＊プレイルーム)	・事前に遊びの内容を調整し、遊びに必要なものを準備しておく。 ・子どもたちの自主的な活動を見守り、必要に応じて支援する。 ・計画したことが終わらなくても決められた時間で動くように支援する。
		体育館に集合する時刻を伝える。 <u>11:25</u>	
11:25	・楽しく踊れる雰囲気をつくる。	4. みんなでおどろう 「♪エビカニクス」	・グループでまとまって踊るように促す。

11:34	・4年生の方を向いて聞けるよう促す。 ・やりとりや会話が広がるように支援する。 ・必要に応じて、さくら学級児童の気持ちを代弁する。 ・終わりがはっきりわかるよう身ぶりも取り入れたあいさつをする。	5. おはなしタイム グループごとに感想交流をする *遊びを振り返る *会話を楽しむ *握手やタッチなどのやりとりをする 6. おわりのあいさつ 「これでみんななかよしのべんきょうをおわります。お、し、まい！」 次回の活動日を伝える。 <u>7月17日（木）</u> <u>（第2回いっしょにあそぼう）</u>	・相手の目を見て、話しかけるように伝えることを事前に指導する。 ・なにが楽しかったか、どういう活動ができたかなどふりかえりを話すように声をかける。 ・身ぶりも取り入れたあいさつをする。 ・グループごとに教室に戻る。
-------	---	---	--

※グループごとに円になって集合しておく

さくら学級担任とふりかえり（第1回「いっしょにあそぼう」）

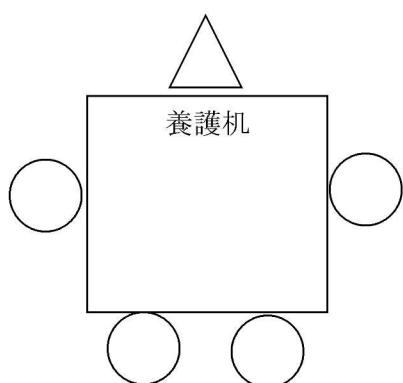
- 1 日時 6月26日（木）6時間目（14：30～15：00）
- 2 場所 さくら学級1、2、3組教室
- 3 単元 みんななかよし
- 4 本時 「活動のふりかえりをしよう」
- 5 本時のねらい

今後もよりよいかかわり方をするために、さくら学級担任と活動を振り返る。

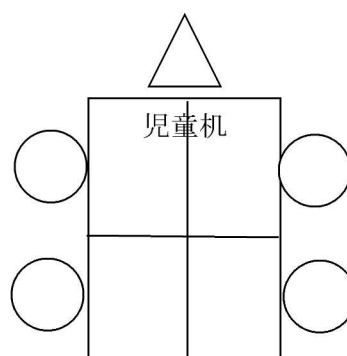
6 展開

学習内容	*指導上の留意点
1 はじめのあいさつ 2 遊びの活動を振り返る。 （10分～15分） ・4年生児童一人一人感想を発表する。 ・どんな言動がよかったのか、どうすればもっと楽しくかかわれるかなどのアドバイスを聞く。 ・次にどんな遊びをしてみたいか考える。 ・ワークシートのふりかえりの欄に記入する。	*大人は、伝える内容について整理しておく。 *4年生児童の一人一人の ① 大人が良いと感じた言動 ② よりよくかかわるためのアドバイス などを伝える。 *次に遊ぶことを話し合う。 *話し合いが終わったグループから順次教室に戻る。 *さくら学級児童が欠席した為にグループがばらばらになってしまった4年生児童は、遊びで入ったグループのところに入る。 *さくら1組担任は、4年生のワークシートにコメントを書く。 *次回の活動につながるように、良かった点をたくさん褒めてあげてください。

〔話し合う場〕例



もしくは



さくら学級担任に相談（第2回「いっしょにあそぼう」）

- 1 日時 7月10日（木）6時間目（14：30～15：00）
- 2 場所 さくら学級1、2、3組教室
- 3 単元 みんななかよし
- 4 本時 「遊びの計画を立てよう」
- 5 本時のねらい

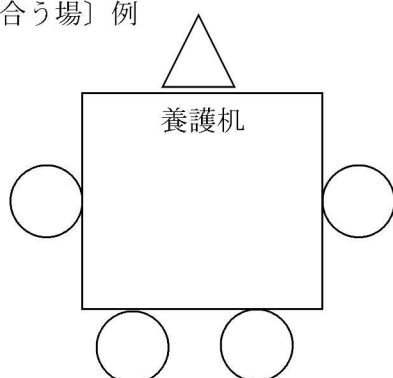
3班担当教員が自然教室引率のため、3班のみ7月7日（月）中休みに相談します。

楽しい遊びの活動にするために、さくら学級担任と遊びの計画を立てる。

6 展開

学習内容	*指導上の留意点
1 はじめのあいさつ	*あらかじめ決めてある教室に集まり、グループごとにはじめのあいさつをする。
2 遊びの計画を立て、かかわり方を知る。 (各グループ 10～15 分) ・グループごとに担当の大人と相談をする。 ・さくら学級の児童の興味のあることや個性、かかわり方、気を付けた方がよいことなどを教えてもらう。 ・決められた遊びにこだわらず、さくら学級の児童の表現や表情を大切に、一緒に楽しく過ごせればよいことを知る。 ・グループのめあてと必要な物、遊びの流れをワークシートに書き入れる。	*活動時間を確保するため、学習の流れと目的は教室で事前に指導しておく。 *指導者が重ならないよう、4年の担任がさくら学級にグループを送り出す。その他の児童は4年教室で待機する。 *話し合いができる場を用意する。 *基本、大人は自分が担当するグループと話し合いをする。 *大人は、担当する児童の適切な遊びやかかわり方について整理しておく。 *アドバイスをを行う時は、できる限り4年生の自主性を認めていくようにする。 *プレイルームは最初の計画にいれない。当日のさくら学級の児童の様子を見て必要な時にだけ使用する。 *話し合いの視点 ○準備するものは何か。 ○どういのかかわり方をするとよいか。 「効果的な言葉かけ」や「接し方」について 4年生のめあてについて
3 おわりのあいさつ	*グループごとにおわりのあいさつをする。

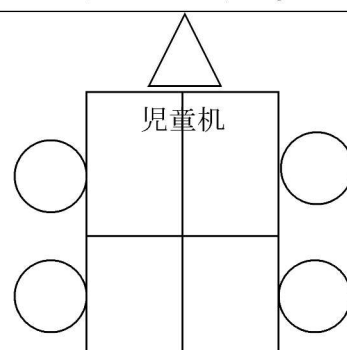
〔話し合う場〕例



○・・・4年生児童

△・・・指導者

もしくは



さくら学級・4年生 交流及び共同学習 「みんな なかよし」

- 1 日時・場所 2025年7月17日(木) 3時間目 **音楽ホール** (※暑さのためいつもと場所が違います) ほかに
2 单元名 「みんな なかよし」
3 本時 「いっしょにあそぼう」(第2回)
4 目標

さくら学級	4年生
・4年生と一緒に活動することを楽しむ。 ・自分なりの表現の仕方で4年生に自分の思いを表したり伝えたりする。	・かかわりを通してそのよさや喜びを感じるとともに、所属感や仲間意識を高める。 ・みんなが楽しめる活動を通して、協力しながら活動する。

5 展開

時間	指導上の支援及び留意点 (さくら学級)	主な学習活動	指導上の支援及び留意点 (4年生)
10:50	・始まりがはっきりわかるよう身ぶりも取り入れたあいさつをする。(日直は前に出てあいさつをする。)	1. はじめのあいさつ 「これから、みんななかよしのべんきょうをはじめます。」	・4年生の実行委員は前に出て、身ぶりも取り入れたあいさつができるようにする。
いっしょにあそぼう (第2回)			
11:00	・自然と体が動き、楽しで行えるよう、普段からクラスごとに繰り返し行っておく。	2. いっしょにうたおう 「♪さくら だいすき」 「♪バスにのって」	・全員がさくら学級の児童と触れ合えるよう、手をつないだり手遊びをしたりする人を交代する。
11:00	・活動への見通しをもち、4年生と一緒に遊ぶことを楽しみにできるよう、個々に事前に言葉かけや指導をしておく。 ・4年生とさくら学級児童とのかかわりを大事にし、安全面で問題がない限り見守るようにする。	3. いっしょにあそぼう グループごとに遊ぶ *体育館 *体育館通路 *校庭 *さくら学級各教室 *ピロティエ *音楽ホール *バス車庫 など (*プレイルーム)	・事前に遊びの内容を調整し、遊びに必要なものを準備しておく。 ・子どもたちの自主的な活動を見守り、必要に応じて支援する。 ・計画したことが終わらなくても決められた時間で動くように支援する。
11:25	・楽しく踊れる雰囲気をつくる。	4. みんなでおどろう 「♪エビカニクス」	・グループでまとまって踊るように促す。

音楽ホールに集合する時刻を伝える。

11:25

11:34	・4年生の方を向いて聞けるよう促す。 ・やりとりや会話が広がるように支援する。 ・必要に応じて、さくら学級児童の気持ちを代弁する。 ・終わりがはっきりわかるよう身ぶりも取り入れたあいさつをする。(日直は前に出てあいさつをする。)	5. おはなしタイム グループごとに感想交流をする *遊びを振り返る *会話を楽しむ *握手やタッチなどのやりとりをする 6. おわりのあいさつ 「これでみんななかよしのべんきょうをおわります。お、し、まい！」 次回の活動日を伝える。 10月 運動会に向けて バレーン練習	・相手の目を見て、話しかけるように伝えることを事前に指導する。 ・何が楽しかったか、どういう活動ができたかなどふりかえりを話すように声をかける。 ・4年生の実行委員は前に出て、身ぶりも取り入れたあいさつをする。 ・同じグループの友だちと教室まで一緒に戻る。
-------	---	--	---

※グループごとに円になって集合しておく

さくら学級担任とふりかえり（第2回「いっしょにあそぼう」）

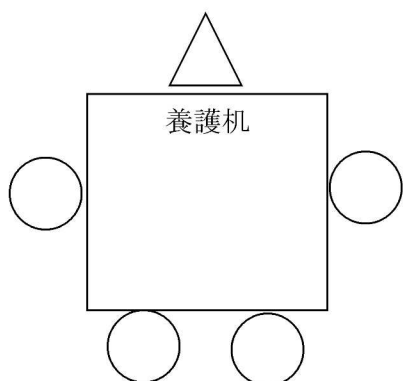
- 1 日時 7月17日（木）6時間目（14：30～15：00）
- 2 場所 さくら学級1、2、3組教室
- 3 単元 みんななかよし
- 4 本時 「活動のふりかえりをしよう」
- 5 本時のねらい

今後もよりよいかかわり方をするために、さくら学級担任と活動を振り返る。

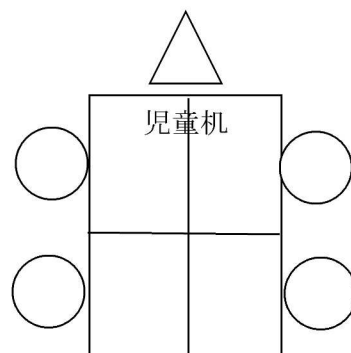
6 展開

学習内容	*指導上の留意点
1 はじめのあいさつ 2 遊びの活動を振り返る。 （10分～15分） ・4年生児童一人一人感想を発表する。 ・どんな言動がよかったのか、どうすればもっと楽しくかかわれるかなどのアドバイスを聞く。 ・次にどんな遊びをしてみたいか考える。 ・ワークシートのふりかえりの欄に記入する。	*大人は、伝える内容について整理しておく。 *4年生児童の一人一人の ① 大人が良いと感じた言動 ② よりよくかかわるためのアドバイス などを伝える。 *次に遊ぶことを話し合う。 *話し合いが終わったグループから順次教室に戻る。 *さくら学級児童が欠席した為にグループがばらばらになってしまった4年生児童は、遊びで入ったグループのところに入る。 *さくら1組担任は、4年生のワークシートにコメントを書く。 *次回の活動につながるように、良かった点をたくさん褒めてあげてください。

〔話し合う場〕例



もしくは



さくら学級担任とふりかえり（第2回「いっしょにあそぼう」）

指導者 さくら1組 吉田舞

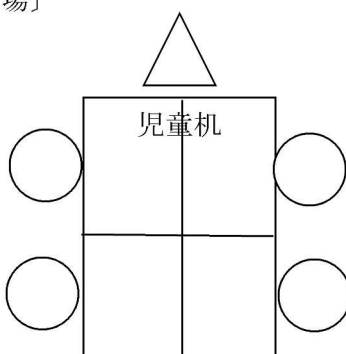
- 1 日時 7月17日（木）6時間目（14：30～15：00）
- 2 場所 さくら学級1組Bルーム
- 3 単元 みんななかよし
- 4 本時 「活動のふりかえりをしよう」
- 5 本時のねらい

今後もよりよいかかわり方をするために、さくら学級担任と活動を振り返る。

6 展開

学習内容	*指導上の留意点
1 はじめのあいさつ 2 遊びの活動を振り返る。 （10分～15分） ・4年生児童一人一人感想を発表する。（よかったこと・困ったこと） ・どんな言動がよかったのか、どうすればもっと楽しくかかわれるかなどのアドバイスを聞く。 ・次にどんな遊びをしてみたいか考える。 ・ワークシートのふりかえりの欄に記入する。	*大人は、伝える内容について整理しておく。 *4年生児童の一人一人の ① 大人が良いと感じた言動 ② よりよくかかわるためのアドバイス などを伝える。 *次に遊ぶことを話し合う。 *話し合いが終わった場合には、次の遊びがとても先になってしまうので（11月25日）、それまでに何ができるかを考える。 休み時間に遊びに行く、顔を見に行く、なかよし給食の時にどんな話をするかなど *さくら学級児童が欠席した為にグループがばらばらになってしまった4年生児童は、遊びで入ったグループのところに入る。 *さくら1組担任は、4年生のワークシートにコメントを書く。 *次回の活動につながるように、良かった点をたくさん褒める。

〔話し合う場〕



2025 さくら学級・4年生「みんななかよし」

「みんななかよし♪バルーンダンス」

【目標】

○バルーンダンスを通して、一緒に活動することの楽しさを味わったり、気持ちを合わせて行動しようとしたりする。

【構成】4年生 1組 24名（さくら1組含む） 2組 25名 教員2名

さくら学級・児童 23名 教員 13名

【当日までの流れ】

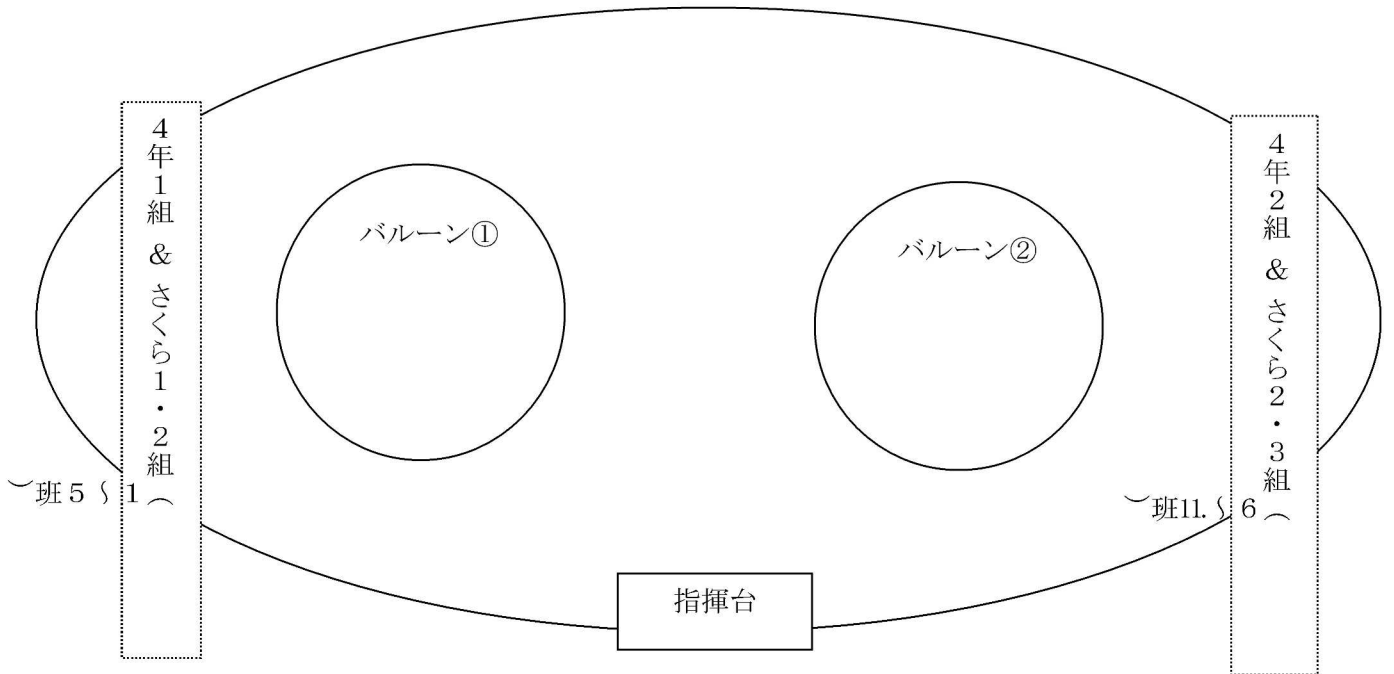
日にち	さくら学級	4年生	備考
10月 日()	さくら学級で、曲に合わせて練習		
10月 日()		実行委員でせりふを考える。	
10月15日(水) 3時間目	★合同練習(3h)体育館 今日のねらい、最終日への見通し。 基本のわざの練習。 一回、曲に合わせてみる。		どの時間も、さくら学級へのお迎え、お見送りを4年生にしてもらう。
10月20日(月) 3時間目	★合同練習(3h)校庭 入場・退場の仕方についての話。(お迎え・送りを決める) 入場・バルーンダンス・退場について説明しながら、曲に合わせてみる。 入場・ダンス・退場を通して1回行う。 うまくできなかったところ、覚えていなかったところを(ロケット・ケーキドームあたり)を練習する。		
11月4日(火) 3時間目	★最終日(3h)校庭 一回、曲に合わせてみる。 後半だけ(ロケット・ケーキドームあたり)練習する。 入場・ダンス・退場を通して1回行う。(ビデオ録画) 振り返り。		

【用具】・バルーン（大）2つ

・音源「Magic」（演技曲） 「さくらだいすき」（入場曲）

【服装】体操着

【演技位置】



さくら学級・4年生 交流及び共同学習「みんな なかよし」

1 日時・場所 2024年10月2日(水) 3校時・体育館

2 単元名 「みんな なかよし」

3 本時 「バルーンダンスを楽しもう①」

4 目標 ○4年生と一緒にバルーンダンスを楽しむ。

5 展開

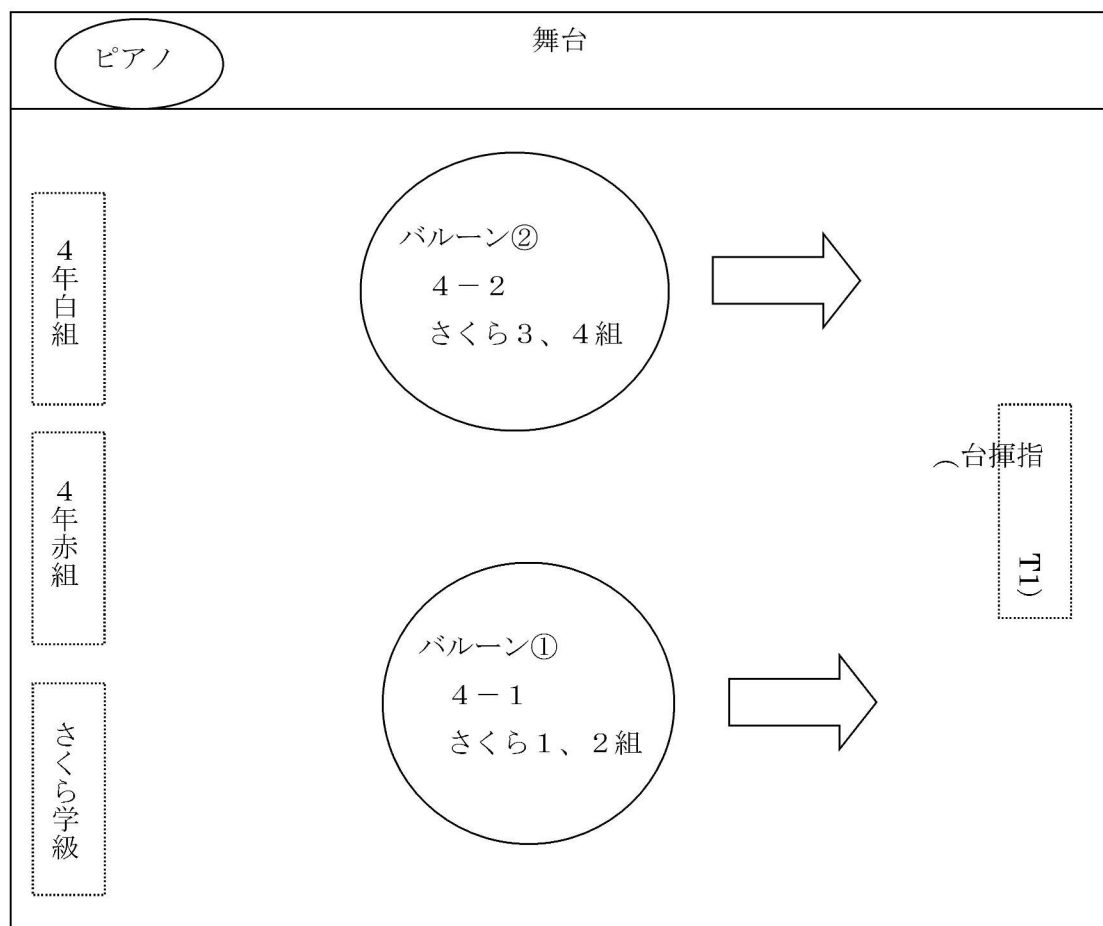
進行:平野

時間	学習活動	・指導上の留意点
10:40	0 さくら学級の友だちを迎えに行く。 1 はじめのあいさつをする。(実行委員) 「これから <u>みんな なかよし</u>の <u>勉強</u>を <u>始めます</u>。」 2 今日の学習内容を知る。 ①「さくらだいすき」を歌う。 ②バルーンダンスをする。 3 「さくらだいすき」を歌う。	・グループで座る。 ・さくら学級と4年生の日直が前に出られるようにする。 ・スライドで流れを表示する。
10:45	児童席の位置につく→バルーンを広げ、入場する。 4 バルーンダンスを踊る。♪「Magic」♪ ①合図とそれぞれの動き方を知る。(曲なし) ※実際にバルーンを動かしながら確認する。 ・ひよこ:しゃがんで小さく上下に動かす ・ペンギン:立って小さく上下に動かす ・鳥:左回りで右手をを伸ばして歩く ・上/下:頭より上まで、腰で止める ・右/真ん中/左:上下に動かさない ・かくれんぼ:中に入り、中から手でおさえる。 ・メリーゴーランド:中に棒を持った人が立ち、鳥。 ・ロケット:ふくらまして、前へ3歩、後ろへ3歩。 ・ケーキドーム:おしりで押さえる ②曲に合わせて、踊る。(1回)	※バルーンダンス注意事項※ ・優しく動かす ・バルーンの上に物をのせない ・動きを合わせる。
11:10	2回目ができればやる。	
11:15	5 グループごとに集まる。 終わりのあいさつをする。(実行委員) 「これで <u>みんな なかよし</u>の <u>勉強</u>を <u>終わります</u>。」	・次回は校庭で活動することを伝える。

準備するもの

- ・パソコン、学習の流れ…平野
- ・バルーン(大)2つ、アンプ(分教室教材室)、音源…分教室
- ・メリーゴーランド用の棒2本…分教室

ダンスの隊形(体育館)



さくら学級・4年生 交流及び共同学習 「みんな なかよし」

- 1 日時・場所 2023年10月31日（火）3校時・校庭（雨：体育館）
- 2 単元名 「みんな なかよし」
- 3 本時 「バルーンダンスを楽しもう②」
- 4 目標 ○4年生と一緒にバルーンダンスを楽しむ。

5 展開

進行：4年教員

時間	学習活動	指導上の留意点
10:50	0 さくら学級の友だちを迎えに行く 1 はじめのあいさつをする。	・バルーンの位置に座って待機をする。 ・さくら学級、4年生の日直が前に出るようにする
11:00	2 今日の学習内容を知る。 3 バルーンダンスをする。 ①ポイントを確認しながら踊る。 ②入場から通して踊る。	・バルーンをセットしておく。 ※バルーンダンス注意事項※ ・優しく動かす ・バルーンの中に入らない ・バルーンの上に物をのせない ・動きを合わせる。
11:25	4 振り返り 4年生希望者、さくら学級日直	・バルーンダンスをして楽しかったことや頑張ったことを発表。
11:35	5 おわりのあいさつをする。	・実行委員、さくら学級日直が前に出るようにする。

さくら学級・4年生 交流及び共同学習 「みんな なかよし」

- 1 日時・場所 2023年11月1日（水）3校時・校庭（雨：体育館）
- 2 単元名 「みんな なかよし」
- 3 本時 「バルーンダンスを楽しもう②」
- 4 目標 ○4年生と一緒にバルーンダンスを楽しむ。

5 展開

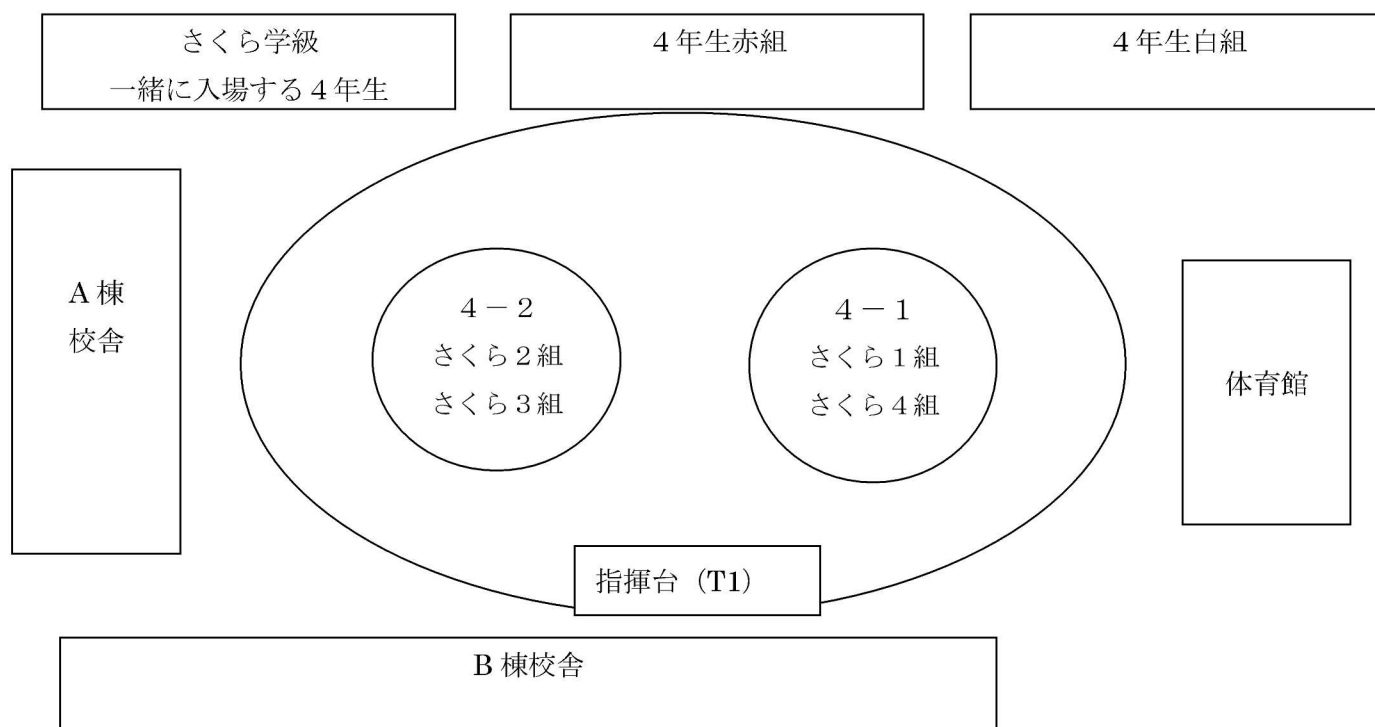
進行：4年教員

時間	学習活動	指導上の留意点
10:50	0 さくら学級の友だちを迎えに行く 1 はじめのあいさつをする。	・バルーンの<u>入場の位置</u>に座って待機をする。 ・さくら学級、4年生の日直が前に出るようにする
11:00	2 今日の学習内容を知る。 3 バルーンダンスをする。 入場から通して踊る。	・バルーンをセットしておく。 ※バルーンダンス注意事項※ ・優しく動かす ・バルーンの中に入らない ・バルーンの上に物をのせない ・動きを合わせる。
11:25	4 振り返り 4年生希望者、さくら学級日直	・バルーンダンスをして楽しかったことや頑張ったことを発表。
11:35	5 おわりのあいさつをする。	・実行委員、さくら学級日直が前に出るようにする。

準備するもの

- ・CD…分教室
- ・バルーン（大）2つ…分教室
- ・アンプ（職員室）…1組
- ・ワイヤレスマイク1本（校庭用）…1組

ダンスの隊形（校庭）※雨天時は体育館にて行う。



分教室のテントから入場する 4 年生

各グループ 2～3 人を目安に前プログラム(プンムルノリ)に出ない人が、分教室テントまでお迎えに行き一緒に入場する。退場は入場を一緒にしなかった児童 2～3 人で分教室テントに退場する。

分教室テントから入退場しない 4 年生は各組のテントから入退場する。

さくら 1 組は分教室テントから入場し、各組のテントに退場する。

4 年生にお願い

- ・力任せにバルーンを動かさない
- 低学年もいるため身長差がある。そのため 4 年生が思い切りバルーンを上を持ち上げると届かない子もいる。また、握力が弱い子もいるため激しく動かすとバルーンを持てない
- ・バルーン上にものをのせない。
- 特に外に出たとき、砂をのせる人がいます。

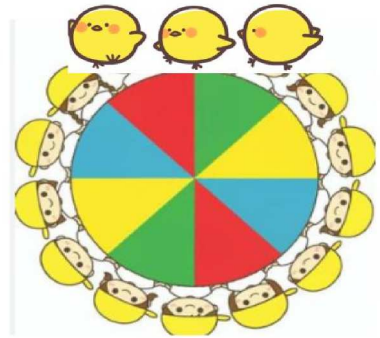
動画を参考にしてください

ギガ端末の学校共有「みんななかよし」に入っています

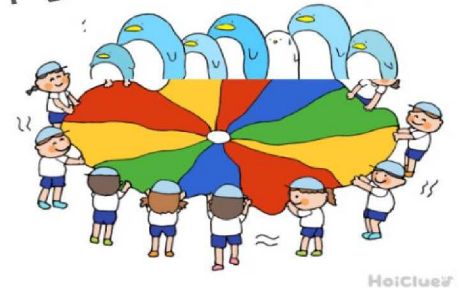
Magic

(前奏がながれる)

ひよこ



ペンギン



にが にが わたしゆらい むだ
AH, 苦 い苦 いの 私 由来の無駄なダメージ
こうふくじゅもん しじつ
AH, 「マインド1つです」 幸福 呪文 の史実

にが いがい しげき き
AH, 苦 い以外の刺激の効いたフックで
せかい わたし
世界をどうか 私 をどうか

早めにピー

へい！

はくちゅうむ
Hey! 白屋 夢スターライト

まぶ み お
眩 しいけど見る まだ終われない

へい！

へいき
平気なフリをしてない？

さみ よる かく きみ
寂 しい夜 隠 れるシャイな君 だけど

い
いいよ もっともっと良いように

じゅう い
いいよ もっと自由で良いよ

い
いいよ もっともっと良いように

たの ひび
いっそ楽 しょう Magicで日々を

とり



うえ (8びょう)
ちからぬく (8びょう)
うえ (8びょう)
ちからぬく (8びょう)

みぎ まんなか ひだり



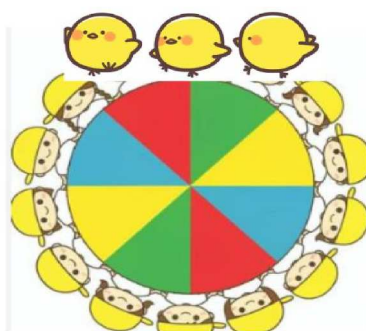
(間奏がながれる)

なに
AH, Should I 何 を?

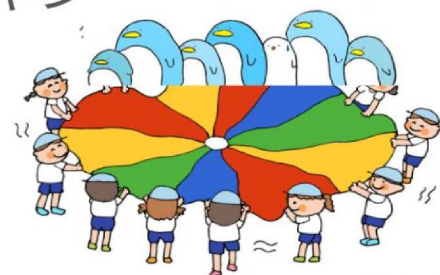
わたし なに でき
私 は何 が出来るんだろう

けん ふ
おもちゃの剣 を振りかざした One day

ひよこ



ペンギン



HoiClue

きたいいじょう ゆめ み
AH, 期待以上 の夢 にまで見たトリップをして
ひ えが にじいろ
あの日に描 いた 虹色 のドラゴンと

とり



©hoil

へい!

えいえん
Hey! 永遠 のトワイライト

やさ ひと い いた と
優 しい人 で居たいと痛 いが止まんない

へい!

へいわ ねが つづ
平和を願 い続 けたい

くる いみ わす きみ
苦 しい意味 忘 れた Busyな君 だけど

うえ(8びょう)
ちからぬく(8びょう)
うえ(8びょう)
ちからぬく(8びょう)

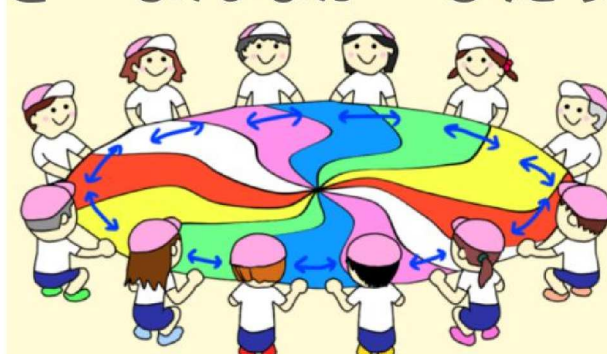
い
いいよ もっともっと良いように

きらく い
いいよ もっと気楽で良いよ

い
いいよ もっともっと良いように

たの あき ひび
いっそ楽 しもう 呆 れる日々を

みぎ まんなか ひだり



わたし ふる た
私 を奮 い立たせて
むりやり つ い
無理矢理連れて行って
こ かた こうら
凝り固 まったこの甲羅を
ひ は ほ
引き剥がして欲しいの

メリーゴーランド



いいよ もっともっと良いように
いいよ もっと自由で良いけども
かんたん い ぜんぶ
そう簡単 には行かないな全部
さが
探 すは Magic

うえ(4秒)
ピー
ふえのおとで、かくれんぼ

(Magicのあとに)
ピー
ふえのおとで、みんな出てくる

かくれんぼ



へい！

はくちゅうむ
Hey! 白屋 夢スターライト

まぶ み お
眩 しいけど見る まだ終われない

へい！

へいき
平気 なフリをしてない？

さみ よる かく きみ
寂 しい夜 隠 れるシャイな君 だけど

へい！

えいえん
Hey! 永遠 のトワイライト

やさ ひと い いた と
優 しい人 で居たいと痛 いが止まんない

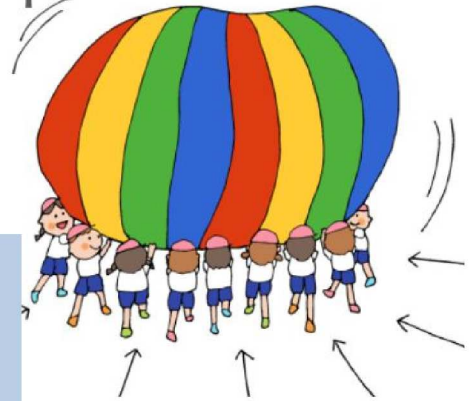
へい！

へいき
平気 なフリをしていたい

かな あし さき おど
哀 しいなら足 の先 まで踊 ろう

うえ (4びょう)
ピー 前へ3ぽ
うしろへ3ぽ
まってる 4びょう ×2回

ロケット



みぎ まんなか ひだり

いいよ もっともっと ^い良いように
いいよ もっと自由で ^{じゆう い}良いよ
いいよ もっと思 ^{おも}ってる以上 ^{いじょう}に
いっそ ^{たの}楽 ^{ひび}しもう Magicで日々を

Wow...o-o-o

いいよ もっともっと ^い良いように
いっそ ^{たの}楽 ^{ひび}しもう Magicで日々を

うえ (8びょう)
ちからぬく (8びょう)
うえ (8びょう)
ケーキドーム

となりのひとと 手をつないで
最後の Magic♪で
手をあげる

ケーキドーム



さくら学級担任に相談（第3回「いっしょにあそぼう」）

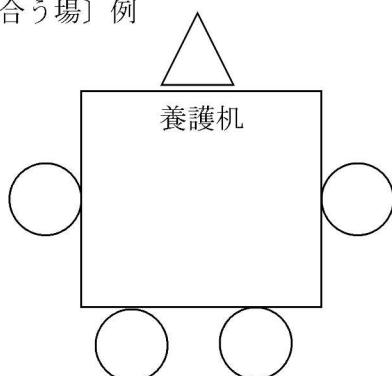
- 1 日時 11月18日（火）6時間目（14：30～15：00）
- 2 場所 さくら学級1、2、3組教室
- 3 単元 みんななかよし
- 4 本時 「遊びの計画を立てよう」
- 5 本時のねらい

楽しい遊びの活動にするために、さくら学級担任と遊びの計画を立てる。

6 展開

学習内容	*指導上の留意点
1 はじめのあいさつ	*あらかじめ決めてある教室に集まり、グループごとにはじめのあいさつをする。
2 遊びの計画を立て、かかわり方を知る。 (各グループ 10～15 分) ・グループごとに担当の大人と相談をする。 ・さくら学級の児童の興味のあることや個性、かかわり方、気を付けた方がよいことなどを教えてもらう。 ・決められた遊びにこだわらず、さくら学級の児童の表現や表情を大切に、一緒に楽しく過ごせればよいことを知る。 ・グループのめあてと必要な物、遊びの流れをワークシートに書き入れる。	*活動時間を確保するため、学習の流れと目的は教室で事前に指導しておく。 *指導者が重ならないよう、4年の担任がさくら学級にグループを送り出す。その他の児童は4年教室で待機する。 *話し合いができる場を用意する。 *基本、大人は自分が担当するグループと話し合いをする。 *大人は、担当する児童の適切な遊びやかかわり方について整理しておく。 *アドバイスをを行う時は、できる限り4年生の自主性を認めていくようにする。 *プレイルームは最初の計画にいれない。当日のさくら学級の児童の様子を見て必要な時にだけ使用する。 *話し合いの視点 ○準備するものは何か。 ○どういかかわり方をするとよいか。 「効果的な言葉かけ」や「接し方」について 4年生のめあてについて
3 おわりのあいさつ	*グループごとにおわりのあいさつをする。

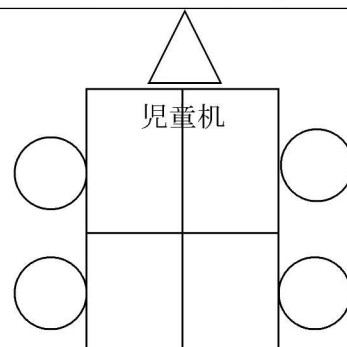
〔話し合う場〕例



○・・・4年生児童

△・・・指導者

もしくは



さくら学級・4年生 交流及び共同学習 「みんな なかよし」

- 1 日時・場所 2025年11月25日(火) 3時間目 体育館ほか
2 单元名 「みんな なかよし」
3 本時 「いっしょにあそぼう」(第3回)
4 目標

さくら学級	4年生
・4年生と一緒に活動することを楽しむ。 ・自分なりの表現の仕方で4年生に自分の思いを表したり伝えたりする。	・かかわりを通してそのよさや喜びを感じるとともに、所属感や仲間意識を高める。 ・みんなが楽しめる活動を通して、協力しながら活動する。

5 展開

時間	指導上の支援及び留意点 (さくら学級)	主な学習活動	指導上の支援及び留意点 (4年生)
10:50	・始まりがはっきりわかるよう身ぶりも取り入れたあいさつをする。(日直は前に出てあいさつをする。)	1. はじめのあいさつ 「これから、みんななかよしのべんきょうをはじめます。」	・司会はゆっくり間を取って話せるように事前に練習しておく。
いっしょにあそぼう (第3回)			
	・自然と体が動き、楽しで行えるよう、普段からクラスごとに繰り返し行っておく。	2. いっしょにうたおう 「♪さくら だいすき」 「♪バスにのって」	・全員がさくら学級の児童と触れ合えるよう、手をつないだり手遊びをしたりする人を交代する。
11:00	・活動への見通しをもち、4年生と一緒に遊ぶことを楽しみにできるよう、個々に事前に言葉かけや指導をしておく。 ・4年生とさくら学級児童とのかかわりを大事にし、安全面で問題がない限り見守るようにする。	3. いっしょにあそぼう グループごとに遊ぶ *体育館 *体育館通路 *校庭 *さくら学級各教室 *ピロティエ *音楽ホール *バス車庫 (*プレイルーム)	・事前に遊びの内容を調整し、遊びに必要なものを準備しておく。 ・子どもたちの自主的な活動を見守り、必要に応じて支援する。 ・計画したことが終わらなくても決められた時間で動くように支援する。
11:25	・楽しく踊れる雰囲気をつくる。	4. みんなでおどろう 「♪エビカニクス」	・グループでまとまって踊るように促す。

体育館に集合する時刻を伝える。

11:25

11:34	・4年生の方を向いて聞けるよう促す。 ・やりとりや会話が広がるように支援する。 ・必要に応じて、さくら学級児童の気持ちを代弁する。 ・終わりがはっきりわかるよう身ぶりも取り入れたあいさつをする。(日直は前に出てあいさつをする。)	5. おはなしタイム グループごとに感想交流をする *遊びを振り返る *会話を楽しむ *握手やタッチなどのやりとりをする 6. おわりのあいさつ 「これでみんななかよしのべんきょうをおわります。お、し、まい！」 次回の活動日を伝える。 <u>12月16日</u> <u>なかよし集会</u>	・相手の目を見て、話しかけるように伝えることを事前に指導する。 ・なにが楽しかったか、どういう活動ができたかなどふりかえりを話すように声をかける。 ・4年生の実行委員は前に出て、身ぶりも取り入れたあいさつをする。 ・同じグループの友だちと教室まで一緒に戻る。
-------	--	---	---

※グループごとに円になって集合しておく

さくら学級担任とふりかえり（第3回「いっしょにあそぼう」）

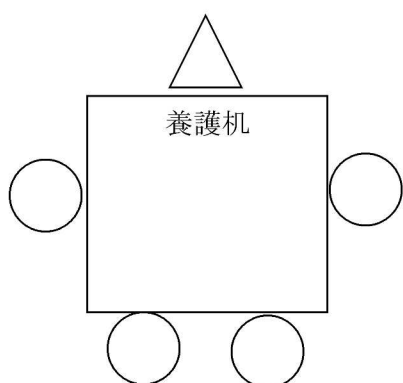
- 1 日時 11月25日（火）6時間目（14：30～15：00）
- 2 場所 さくら学級1、2、3組教室
- 3 単元 みんななかよし
- 4 本時 「活動のふりかえりをしよう」
- 5 本時のねらい

今後もよりよいかかわり方をするために、さくら学級担任と活動を振り返る。

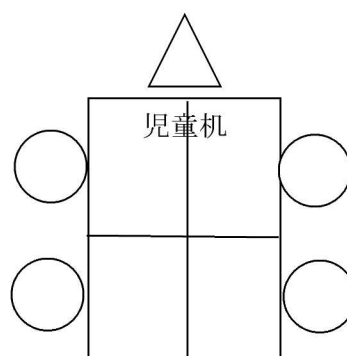
6 展開

学習内容	*指導上の留意点
1 はじめのあいさつ 2 遊びの活動を振り返る。 （10分～15分） ・4年生児童一人一人感想を発表する。 ・どんな言動がよかったのか、どうすればもっと楽しくかかわれるかなどのアドバイスを聞く。 ・次にどんな遊びをしてみたいか考える。 ・ワークシートのふりかえりの欄に記入する。	*大人は、伝える内容について整理しておく。 *4年生児童の一人一人の ① 大人が良いと感じた言動 ② よりよくかかわるためのアドバイス などを伝える。 *次に遊ぶことを話し合う。 *話し合いが終わったグループから順次教室に戻る。 *さくら学級児童が欠席した為にグループがばらばらになってしまった4年生児童は、遊びで入ったグループのところに入る。 *さくら1組担任は、4年生のワークシートにコメントを書く。 *次回の活動につながるように、良かった点をたくさん褒めてあげてください。

〔話し合う場〕例



もしくは



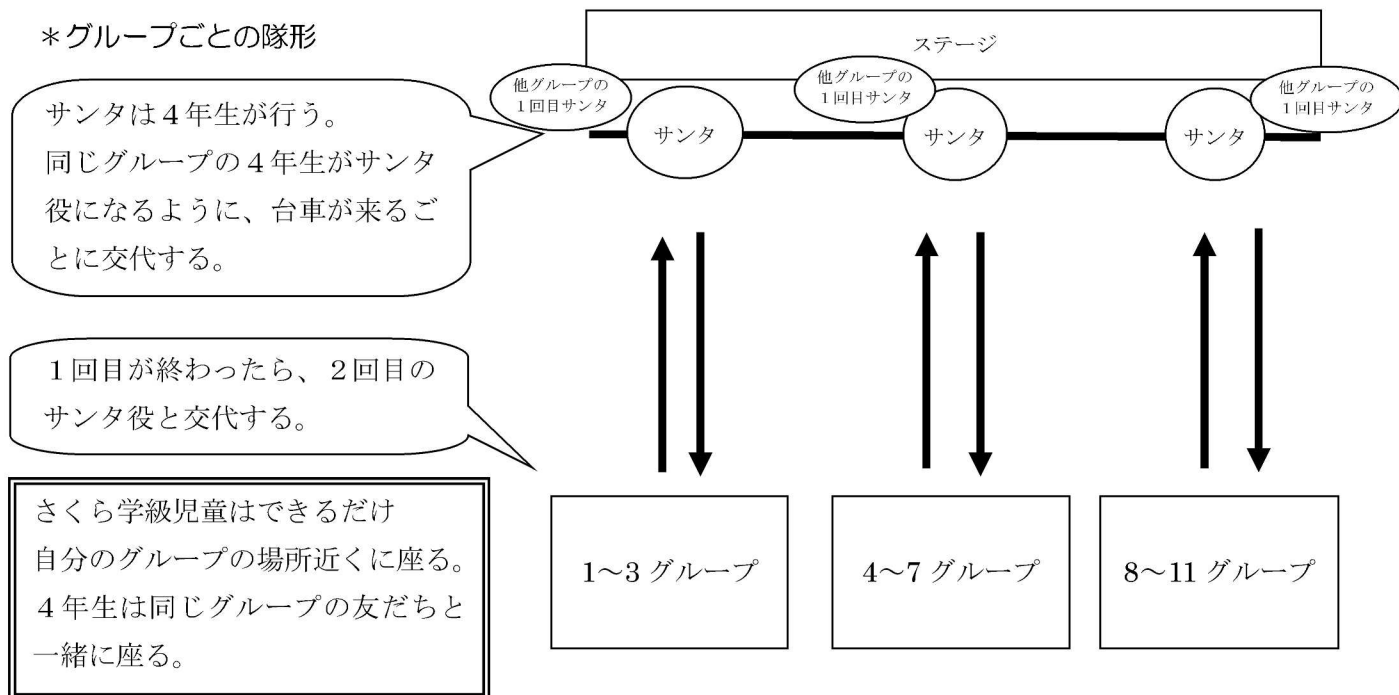
みんななかよし 学習指導案

1. 日時 2025年12月16日(火) 3校時
2. 場所 音楽ホール
3. 単元 みんななかよし
4. 本時 「なかよし集会をしよう」
5. 本時のめあて
 - ・なかよし集会を通して、グループとの親睦を図ったりかかわりを深めたりする。(全体)
 - ・さくら学級の児童とかかわりながら、歌を歌ったりゲームをしたりする。(4年生)
 - ・人とかかわって過ごす楽しさを味わうと共に、相手に自分の思いを表したり伝えたりする。(さくら)

6. 本時の流れ *隊形については下記参照

時間	児童の活動	・留意点	*担当
10:50	①始めのあいさつ ②集会の流れの確認	・4年生はさくら学級へお迎えをする。 ・さくら学級の日直と4年生の実行委員が前に出てあいさつをする。	
10:55	③みんなで歌おう ♪「さくらの歌」 ♪「バスにのって」	・さくら学級の大人は担当の児童のグループを見る。事前に分担しておく。	*音楽ながす (4年担任)
11:00	④みんなで遊ぼう ○「ためろ、なかよしボール!ゲーム」を行う。 →さくら学級の児童と4年生の児童が台車に乗ってボール(1人1つずつ持つ)を運び、サンタさんの持っているかごに入れる。 →台車に乗っていない児童は、台車を押す。 →かごに入れたら台車に乗って戻ってくる。 →戻ってきたら、次のグループにバトンタッチする。 →待機場所のボールがなくなったら、おわり 台車①: 1~3グループ 台車②: 4~7グループ 台車③: 8~11グループ	・台車に乗る時の安全指導をする。 ・各グループ、サンタさん役2名(1回目と2回目)を決めておく。 ・各グループ、さくら学級の児童と一緒に台車に乗る人(1回目と2回目)を決めておく。 ・子どもたち同士で協力したり、声をかけ合ったりできるように促す。	*ゲームの説明 (4年実行委員) *音楽ながす (4年担任)
11:20	⑤みんなで踊ろう ♪「エビカニクス」	・空いている先生は子どもたちと一緒に、元気よく踊ってもらいたいです!	*音楽ながす (4年担任)
11:25	⑥さくら学級からプレゼントを渡す。		
11:30	⑦終わりのあいさつ	・さくら学級の日直と4年生の実行委員が前に出てあいさつをする。 ・4年生はさくら学級まで送る。	

*グループごとの隊形



*ゲーム時の隊形（上図↑）

*プレゼントについて

- ・さくら学級からは、クリスマスカード。
- （4年生から担当の児童の子へ。毎年任意です、なくても大丈夫です。）

準備する物

- ・さくら学級からクリスマスカード
- ・台車3台
- ・音楽（さくらの歌・バスにのって・エビカニクス）
- ・音楽（ゲーム中、ゆっくりめのクリスマスっぽい曲）
- ・デッキ、ギガ端末、マイク
- ・テープ（スタートライン）
- ・サンタの帽子6こ
- ・かご6こ（待機場所ボール入れ3こ、サンタ用3こ）
- ・ボールプールのボール

前日までの仕事

4年生

- ・当日のゲーム内容を伝える。
- ・グループごとにサンタ役2名（1回目と2回目を決める）。
- ・グループごとにさくら学級の児童と一緒に台車に乗る人（1回目と2回目）を決める。

さくら

- ・クリスマスカード
- ・司会の練習（4年生実行委員）
- ・会場準備

さくら学級教室・教具見学

1 日時 1 月 15 日 (木) 6 時間目 (14:30～14:45) (④⑤⑥⑧⑨⑩班)
(14:45～15:00) (①②③⑦⑪班)

2 場所 さくら学級各教室 (2 組、3 組)

3 単元 みんななかよし

4 本時 「さくら学級の教室や教具を知ろう」

5 本時のねらい

見学を通して、さくら学級児童の生活や学習の様子を知る。

6 展開

時間	学習内容	*指導上の留意点
14:30	(前半組スタート) 1. はじめのあいさつをする 2. 見学する (15 分) ・ 基本的な流れは、 さくら学級担任の話 ↓ 見る、ふれる ↓ 時間があれば質問 (10 分見学、5 分振り返り)	◎前半組 (2 組: ④⑤⑥、3 組: ⑧⑨⑩) *クラスを 2 グループ (2 組/3 組) に分けておく。 *部屋ごとにはじめのあいさつをする。 *活動時間を確保するため、学習の流れと目的は 4 年生担任が事前に指導しておく。 *15 分で前半/後半を入れ替える。 *効果的な活動になるよう、各部屋で話題にすることを決めておく。 2 組 (溝田、一幡) 3 組 (奥山、猿木) ・ 個別学習の教材、教具について ・ 絵カードや手話について ・ 教室環境について *さくら学級担任は話す内容を事前に整理しておく。 *一見ただ遊んでいるように見えることがさくら学級児童の成長にとって大切な学習であることに気付くよう話す。 *振り返りは、その場で書く。
14:44	3. おわりのあいさつをする (1 分)	*最後の場所 (教室) でおわりのあいさつをする。
14:45	(後半組スタート) 以下前半組と同様の流れ	◎後半組 (2 組: ③⑦、3 組: ①②⑪)
15:00		

さくら学級教室・教具見学

月 日 () 名前 ()

見学した日 1月 日 ()

めあて

さくら学級の教室や教具を知ろう。

知りたいこと・質問

はじめて知ったこと・わかったこと・考えたこと

[illegible]

さくら学級・4年生 交流及び共同学習 「みんな なかよし」

- 1 日時・場所 2026年1月22日(木) 3時間目 体育館ほか
- 2 单元名 「みんな なかよし」
- 3 本時 「いっしょにあそぼう」(第4回)
- 4 目標

さくら学級	4年生
・4年生と一緒に活動することを楽しむ。 ・自分なりの表現の仕方で4年生に自分の思いを表したり伝えたりする。	・かかわりを通してそのよさや喜びを感じるとともに、所属感や仲間意識を高める。 ・みんなが楽しめる活動を通して、協力しながら活動する。

5 展開

時間	指導上の支援及び留意点 (さくら学級)	主な学習活動	指導上の支援及び留意点 (4年生)
10:50	・始まりがはっきりわかるよう身ぶりも取り入れたあいさつをする。	1. はじめのあいさつ 「これから、みんななかよしのべんきょうをはじめます。」	・司会はゆっくり間を取って話せるように事前に練習しておく。
いっしょにあそぼう (第4回)			
	・自然と体が動き、楽しで行えるよう、普段からクラスごとに繰り返し行っておく。	2. いっしょにうたおう 「♪さくら だいすき」 「♪バスにのって」	・全員がさくら学級の児童と触れ合えるよう、手をつないだり手遊びをしたりする人を交代する。
11:00	・活動への見通しをもち、4年生と一緒に遊ぶことを楽しみにできるよう、個々に事前に言葉かけや指導をしておく。 ・4年生とさくら学級児童とのかかわりを大事にし、安全面で問題がない限り見守るようにする。	3. いっしょにあそぼう グループごとに遊ぶ ＊体育館 ＊体育館通路 ＊校庭 ＊さくら学級各教室 ＊ピロティエ ＊音楽ホール ＊バス車庫 (＊プレイルーム)	・事前に遊びの内容を調整し、遊びに必要なものを準備しておく。 ・子どもたちの自主的な活動を見守り、必要に応じて支援する。 ・計画したことが終わらなくても決められた時間で動くように支援する。
		体育館に集合する時刻を伝える。 <u>11:25</u>	

11:25	・楽しく踊れる雰囲気をつくる。 ・4年生の方を向いて聞けるよう促す。 ・やりとりや会話が広がるように支援する。 ・必要に応じて、さくら学級児童の気持ちを代弁する。	4. みんなでおどろう 「♪エビカニクス」 5. おはなしタイム グループごとに感想交流をする *遊びを振り返る *会話を楽しむ *握手やタッチなどのやりとりをする	・グループでまとまって踊るように促す。 ・相手の目を見て、話しかけるように伝えることを事前に指導する。 ・なにが楽しかったか、どういう活動ができたかなどふりかえりを話すように声をかける。
11:34	・終わりがはっきりわかるよう身ぶりも取り入れたあいさつをする。	6. おわりのあいさつ 「これでみんななかよしのべんきょうをおわります。お、し、まい！」 次回の活動日を伝える。 2月13日（金） <u>たのしかったね集会</u>	・身ぶりも取り入れたあいさつをする。 ・グループごとに教室に戻る。

※グループごとに円になって集合しておく

さくら学級担任とふりかえり（第4回「いっしょにあそぼう」）

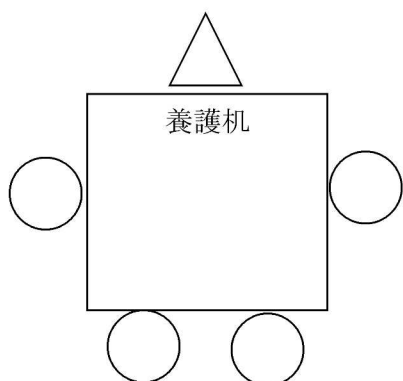
- 1 日時 1月22日（木）6時間目（14：30～15：00）
- 2 場所 さくら学級1、2、3組教室
- 3 単元 みんななかよし
- 4 本時 「活動のふりかえりをしよう」
- 5 本時のねらい

今後もよりよいかかわり方をするために、さくら学級担任と活動を振り返る。

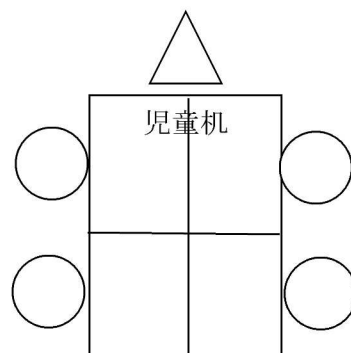
6 展開

学習内容	*指導上の留意点
1 はじめのあいさつ 2 遊びの活動を振り返る。 （10分～15分） ・4年生児童一人一人感想を発表する。 ・どんな言動がよかったのか、どうすればもっと楽しくかかわれるかなどのアドバイスを聞く。 ・ワークシートのふりかえりの欄に記入する。	*大人は、伝える内容について整理しておく。 *4年生児童の一人一人の ① 大人が良いと感じた言動 ② よりよくかかわるためのアドバイス などを伝える。 *次回「たのしかったね集会」があることを伝える。 *話し合いが終わったグループから順次教室に戻る。 *さくら学級児童が欠席した為にグループがばらばらになってしまった4年生児童は、遊びで入ったグループのところに入る。 *さくら1組担任は、4年生のワークシートにコメントを書く。 *次回の活動につながるように、良かった点をたくさん褒めてあげてください。

〔話し合う場〕例



もしくは



R7 年度 たのしかったね集会 学習指導案

1. 日時 2026年2月13日(金) 3校時
2. 場所 音楽ホール
3. 単元 4年生となかよし
4. 本時 「楽しかったね集会をしよう」
5. 本時のめあて

- ・楽しかったね集会を通して、グループの友だちとの活動を振り返ったりかかわりを深めたりする。
- ・さくら学級の児童とかかわりながら、歌を歌ったりお話やダンスをしたりする。(4年生)
- ・人とかかわって過ごす楽しさを感じ、相手に自分の思いを表したり伝えたりする。(さくら)

6. 本時の流れ

時間	児童の活動	・留意点	＊♪担当
10:40	☆グループごとにかたまって座る ①始めのあいさつ ②集会の流れの確認 ③心&体ほぐし ♪「さくらの歌」 ♪「バスに乗って」	・4年生は、さくら学級に行って、グループの仲間に声をかけて一緒にホールに行く。 ・さくら学級の日直と4年生の代表が前に出る。 ・スライドで流れを確認する。 ・グループごとに輪になることを伝える。 ・各グループで <u>縦に並び</u> 、バスになる。	＊司会(4年生担任・4年実行委員) ＊スライド(さくら担任) ♪4年生担任 ♪4年生担任
10:50	④4年生実行委員から 一年の振り返り	・これまでの活動を写真と共にふりかえる。 スライド作成はさくら学級担任	＊スライド(さくら担任)
11:00	⑤みんなで踊ろう ♪「エビカニクス」	・最後の活動になるので、元気いっぱいに踊ること楽しい気持ちで終われるようにする。	♪4年生担任
11:10	⑥お手紙交換 4年生 さくらの友だちに一人一言 さくら 楽しかったことなどを話す。	・メッセージカードを事前に作成する。 ・相手の目を見て、話しかけるように伝えることを事前に指導する。 ・やりとりや会話が広がるように支援する。	♪オルゴール (4年生担任)
11:15	⑦終わりのあいさつ	・さくら学級の日直と4年生の代表が前に出る。 ・4年生はさくら学級の教室まで一緒に付き添って帰る。	

準備する物

・マイク ・パソコン ・プロジェクター ・ワイヤレススピーカー ・手紙

☆休み時間に4年生実行委員さんはホールでリハーサルをする。

みんな なかよし

「たのしかったねのかい」

たのしかったねのかい

～きょうのながれ～

1. 「さくらだいすき♪」
「バスにのって♪」
2. いちねんの ふりかえり
3. エビカニクス♪
4. おてがみこうかん

「さくらだいすき ♪」

- ・みんなともだち てをつなごう
- ・にこにこえがおが うれしいね
- ・みんなのえがおが あつまって
- ・おおきなすてきな はながさく
- ・さびしいときも てをつなごう
- ・だいじょぶ だいじょぶ だいじょうぶ
- ・さくら さくら さくらのなかま
- ・さくら さくら みんな だいすき

「バスにのって」

バスにのって ゆられてる ゴーゴー
バスにのって ゆられてる ゴーゴー

- ①そろそろ みぎに まがります！
- ②そろそろ ひだりに まがります！
- ③そろそろ でこぼこみちです
- ④そろそろ とまります とうちゃく！

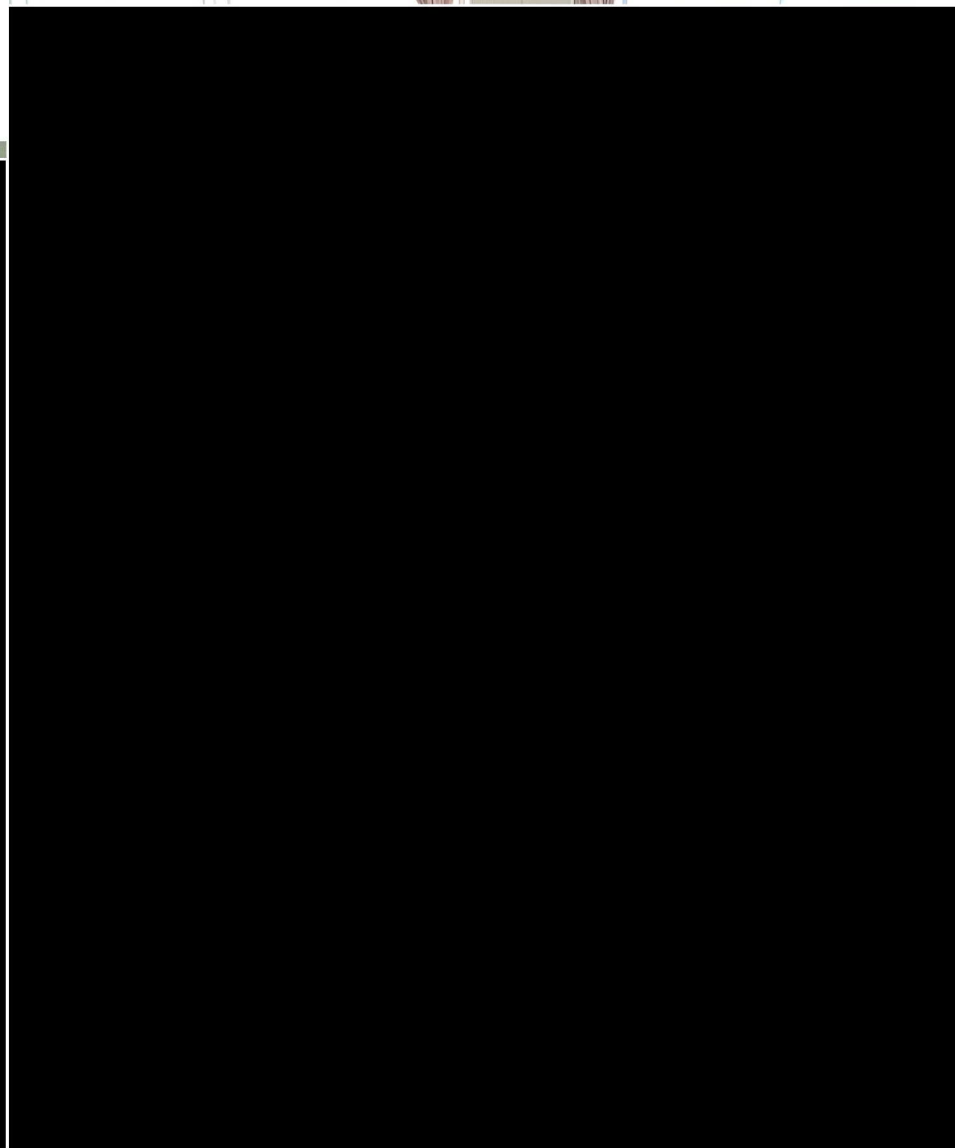
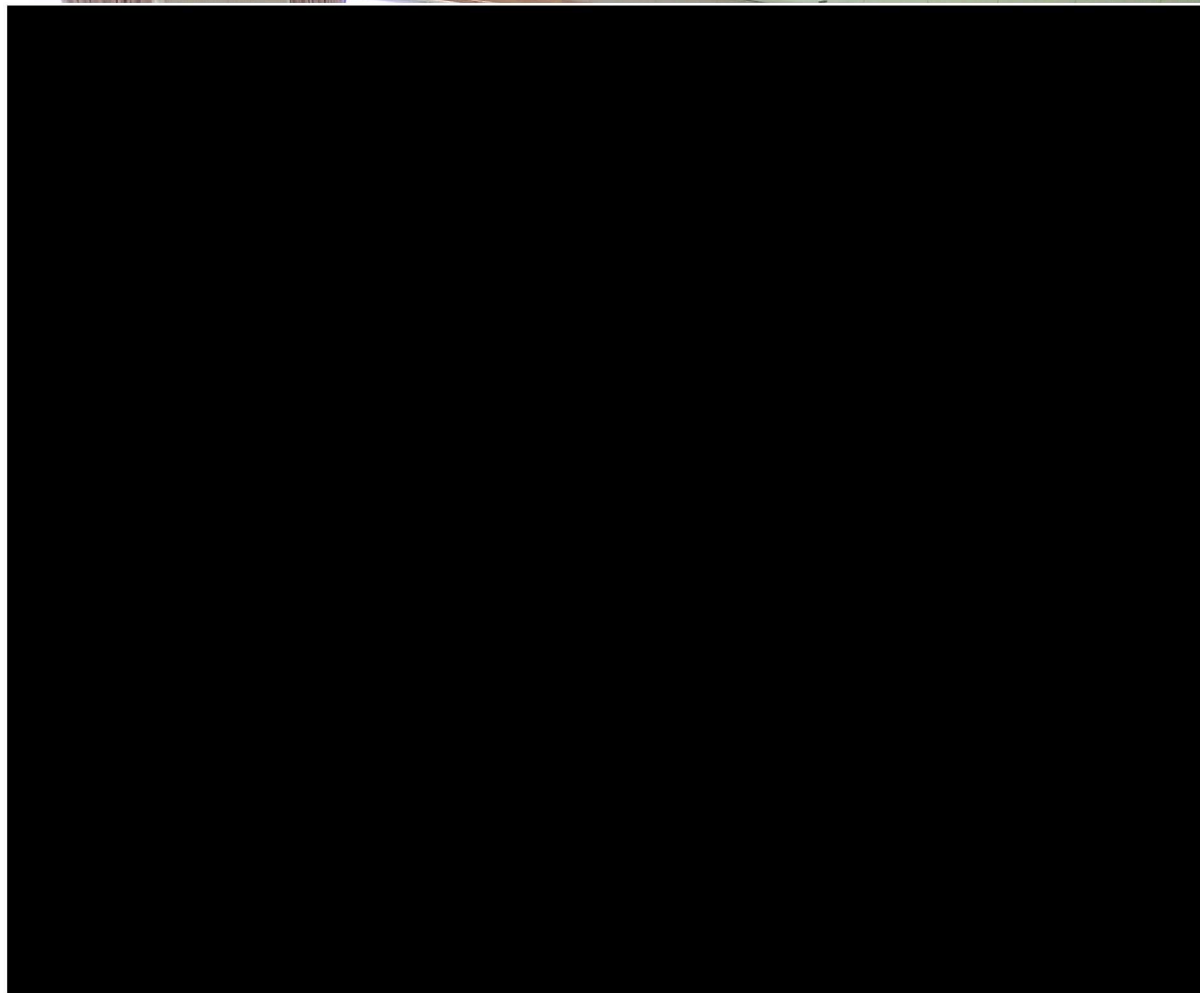
いちねんのふりかえり



みんななかよし

一年間をふりかえって

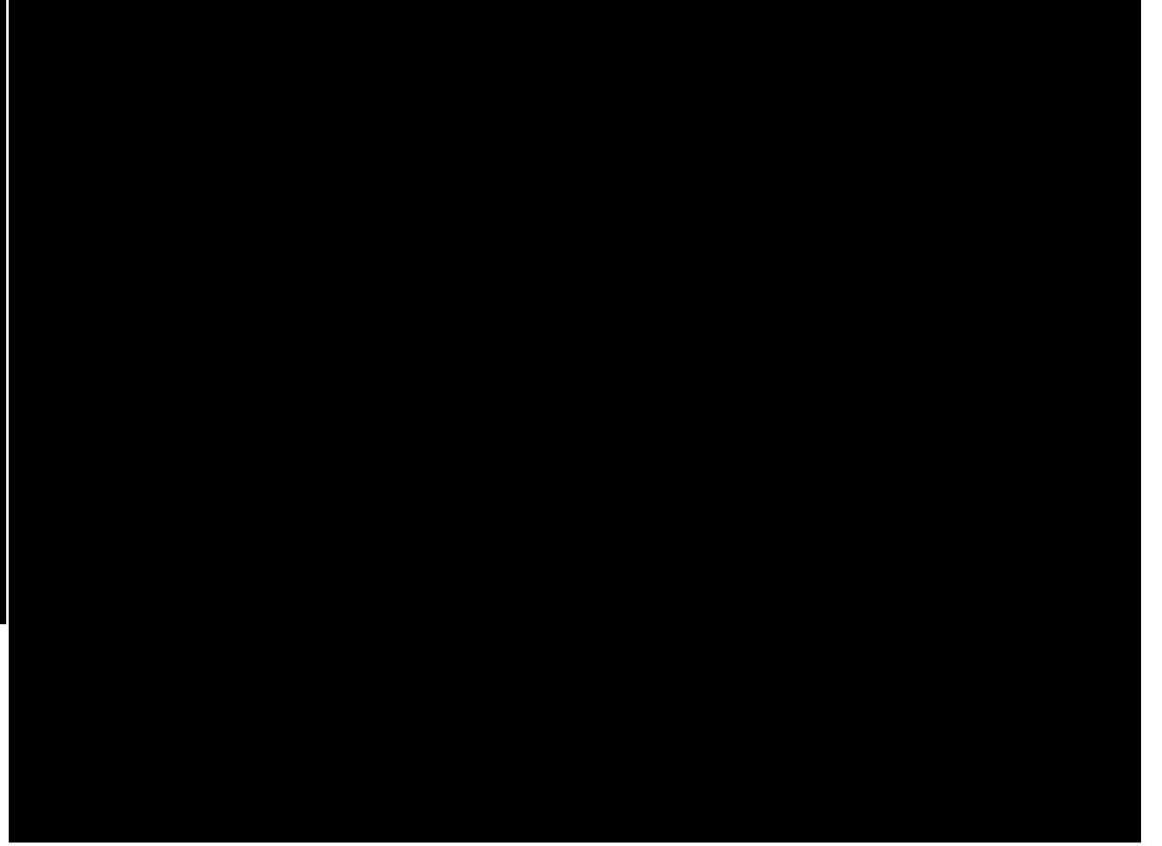
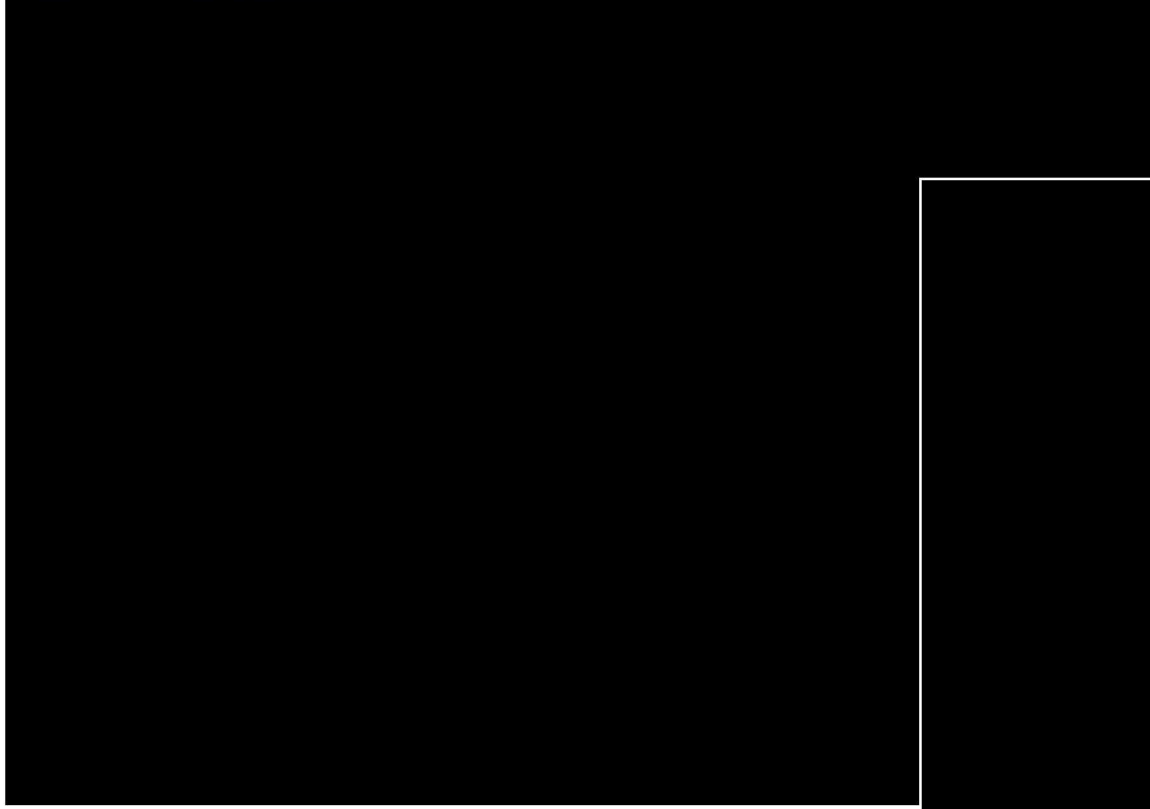
はじまりの会

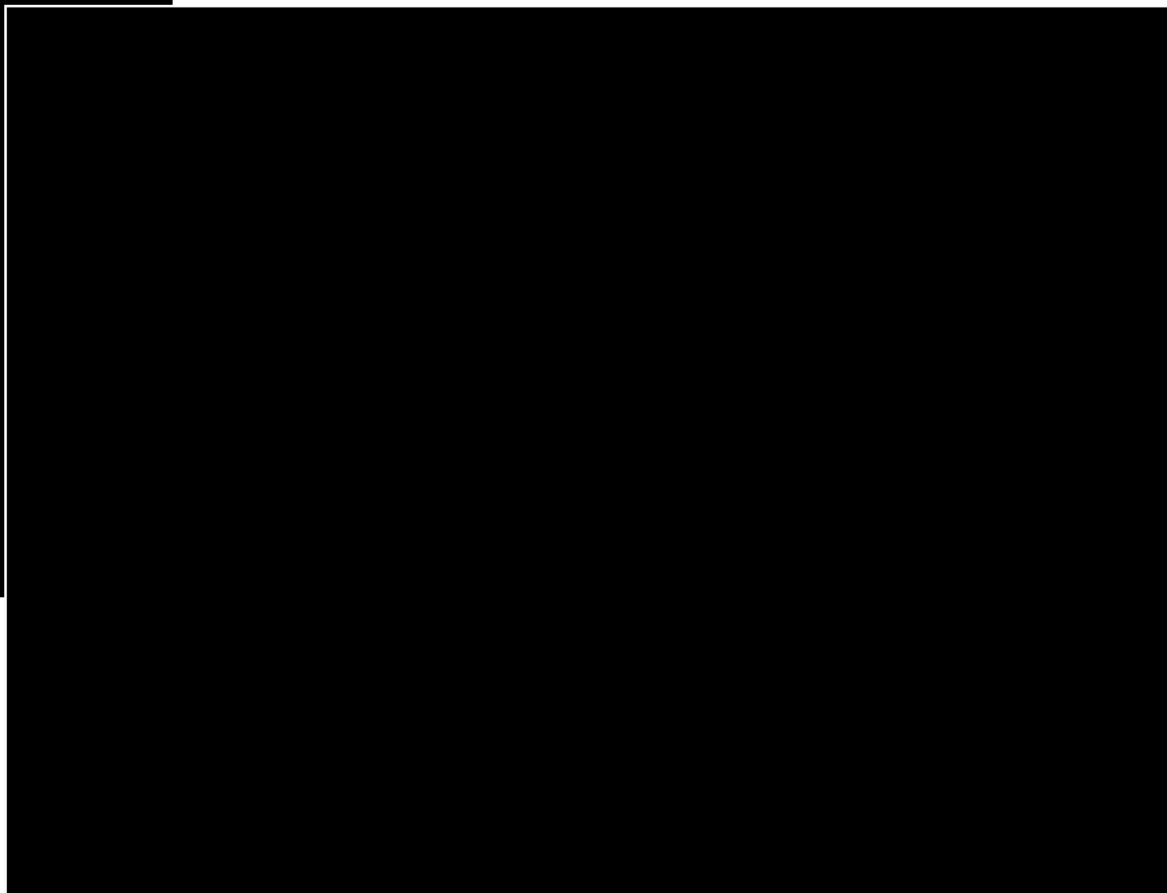
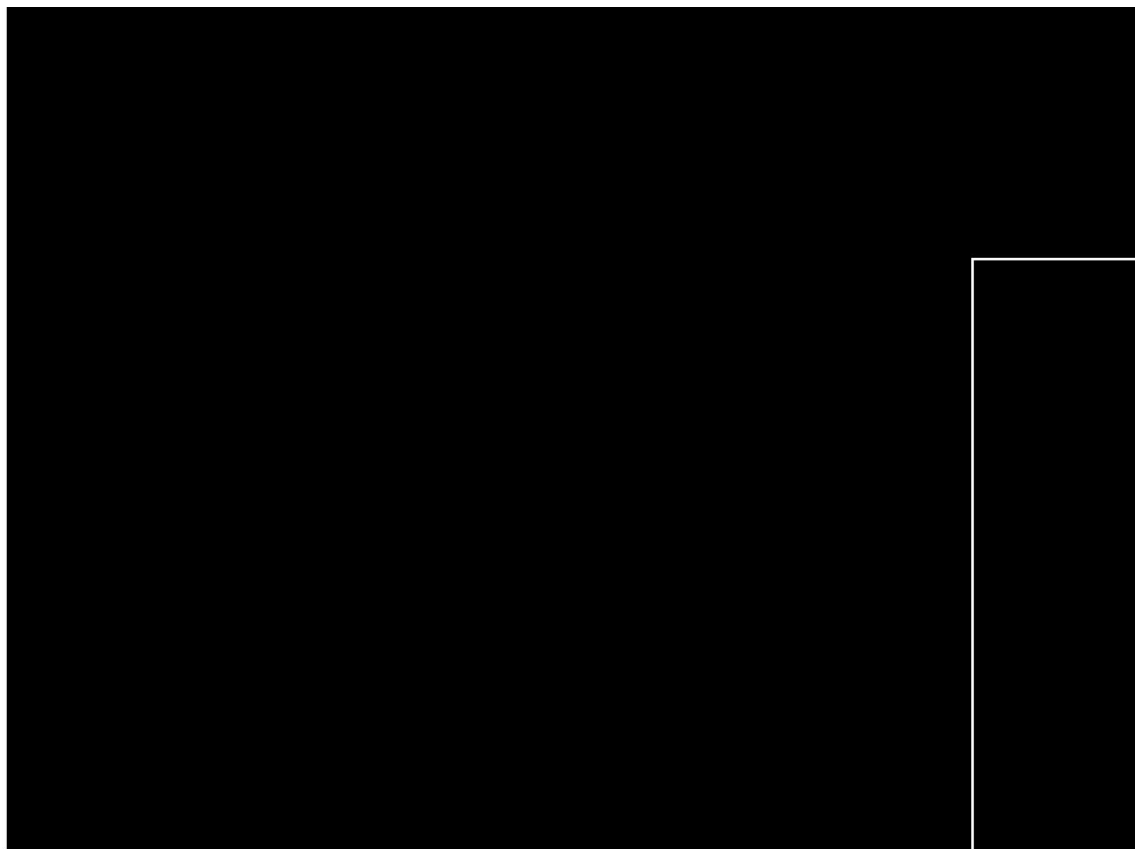


よろしくねの会

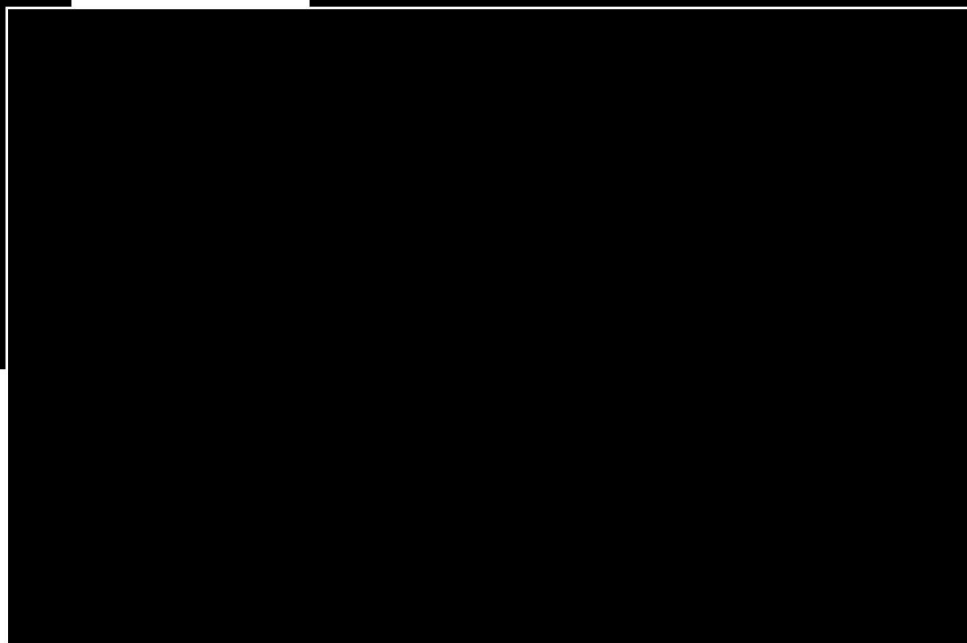
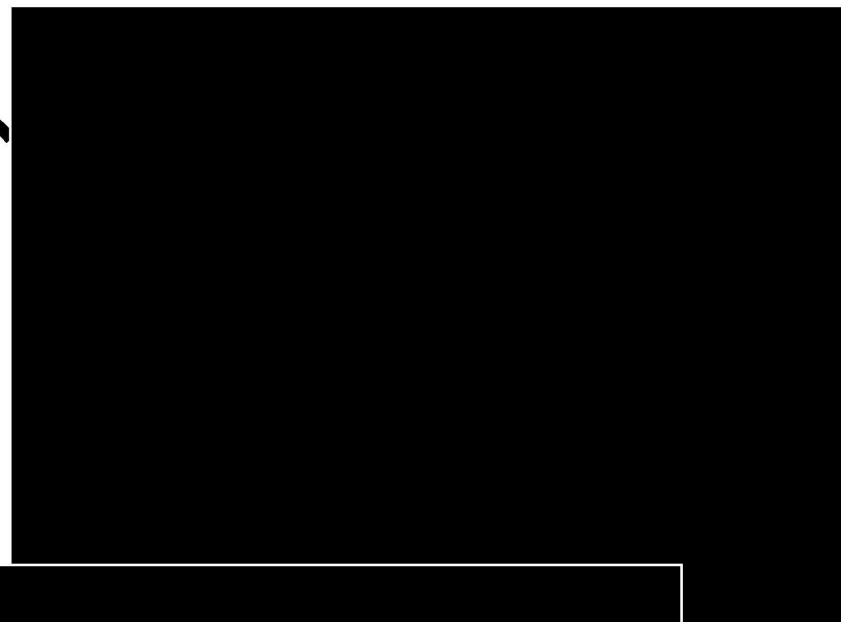
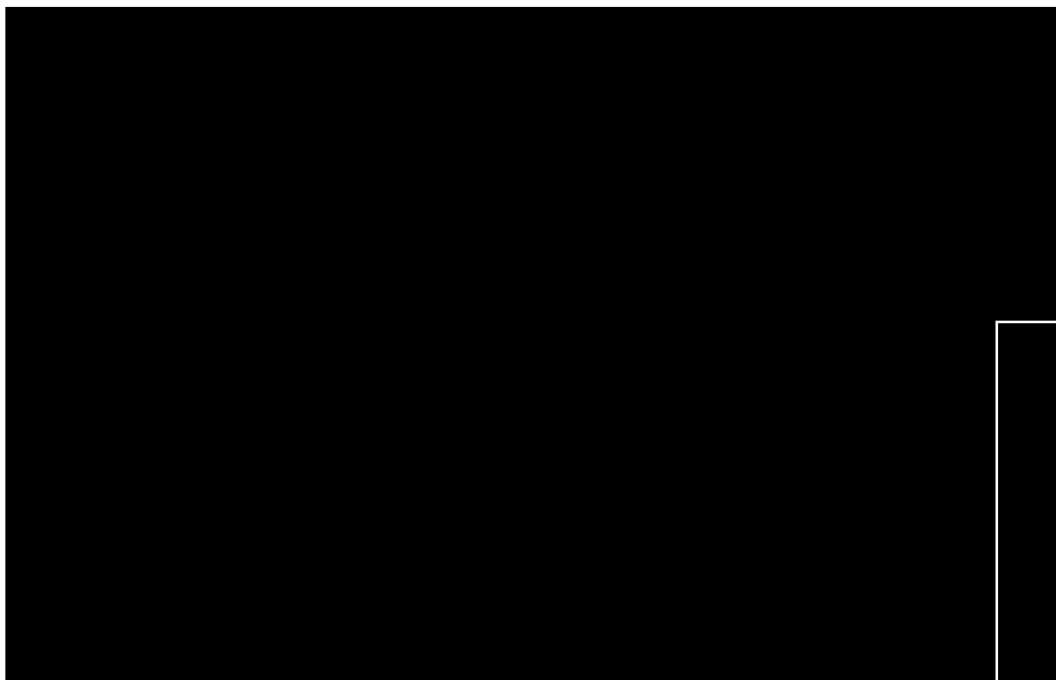


みんなであそぼう！





運動会のバルーンダンス

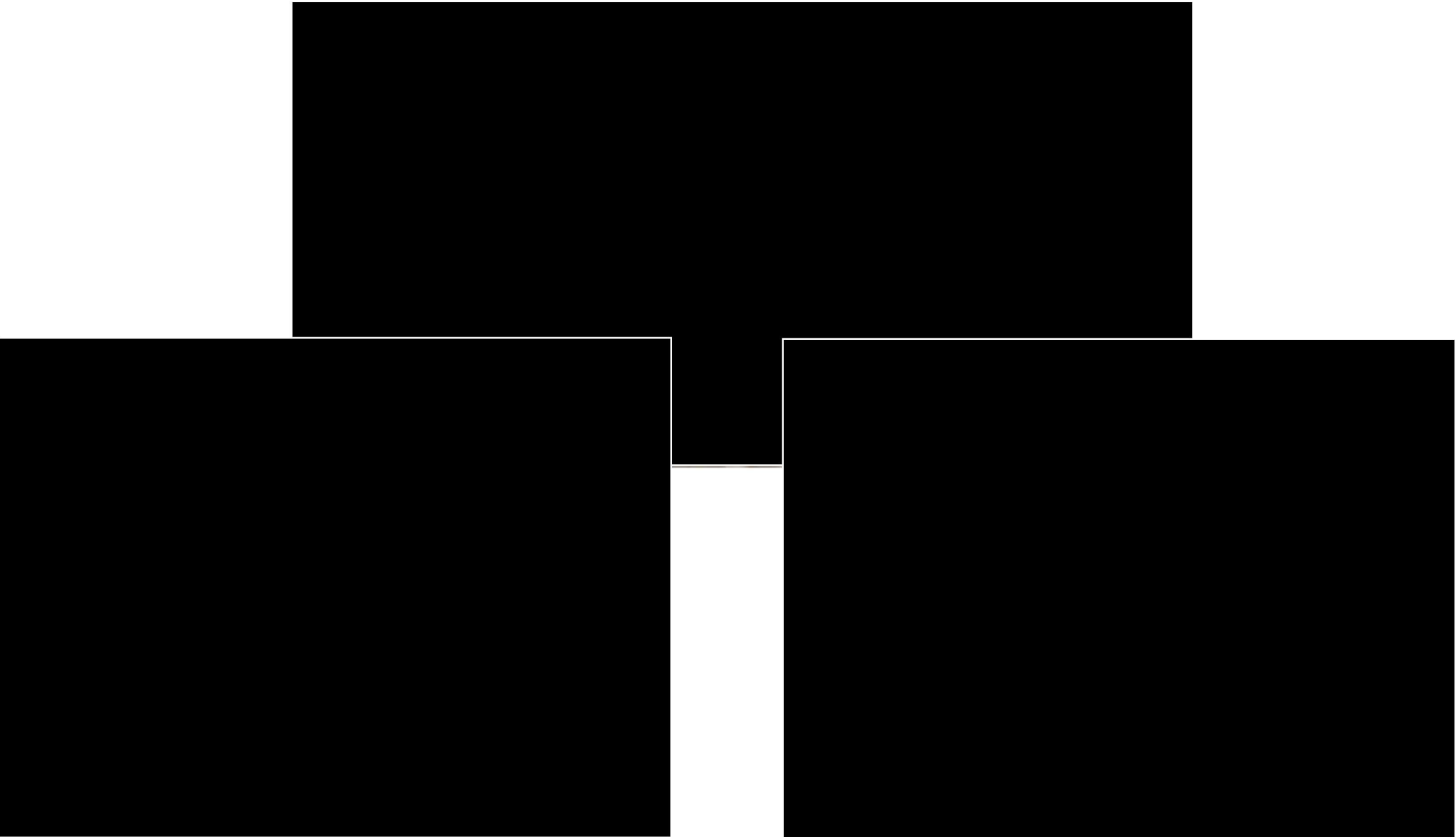




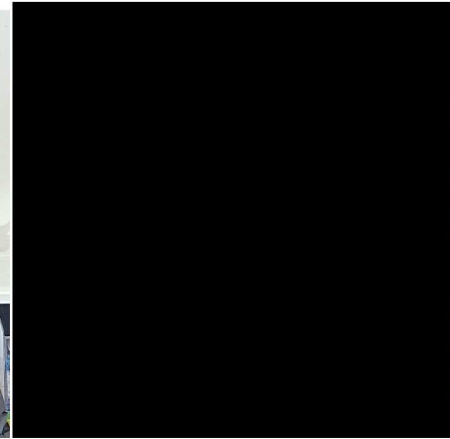
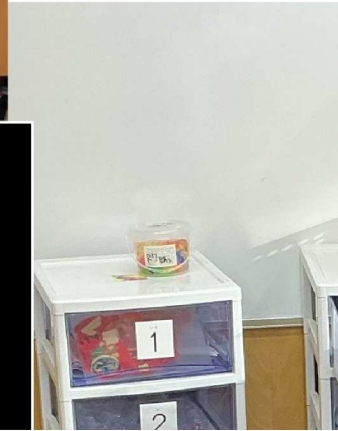
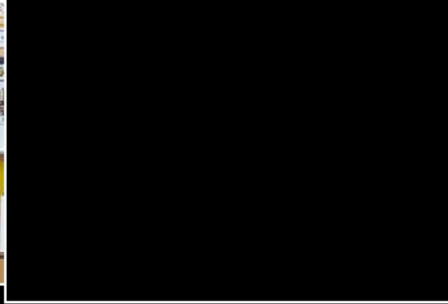


なかよし集会

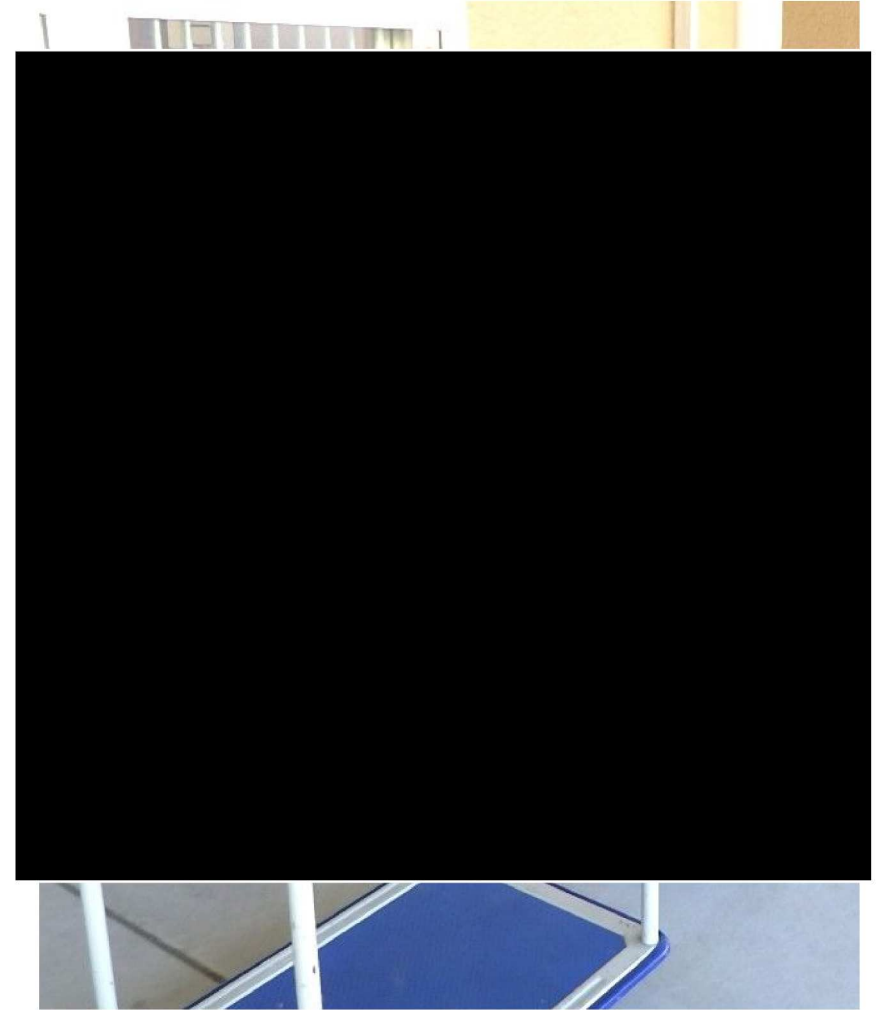
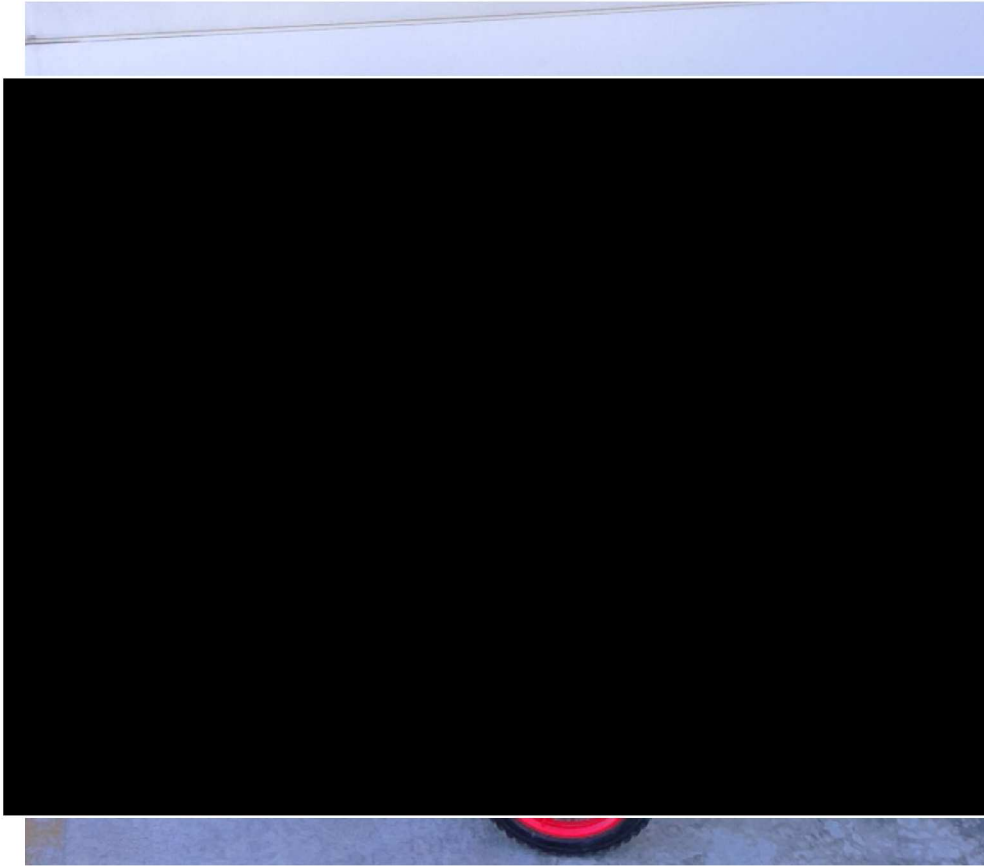


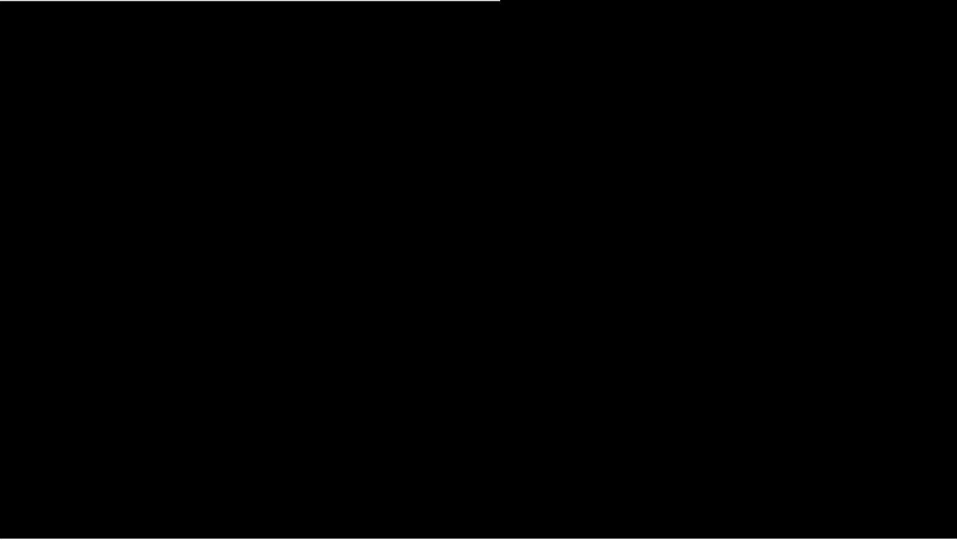
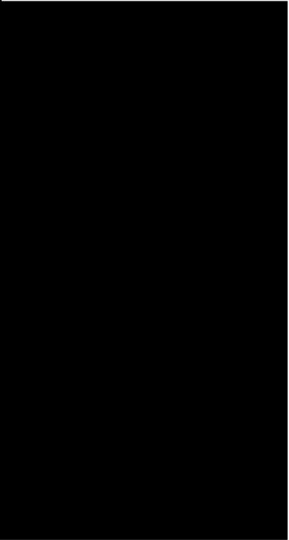
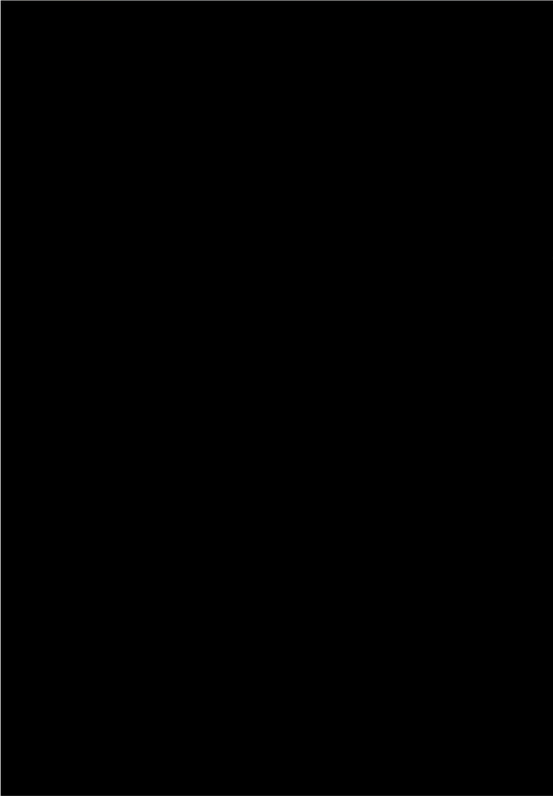
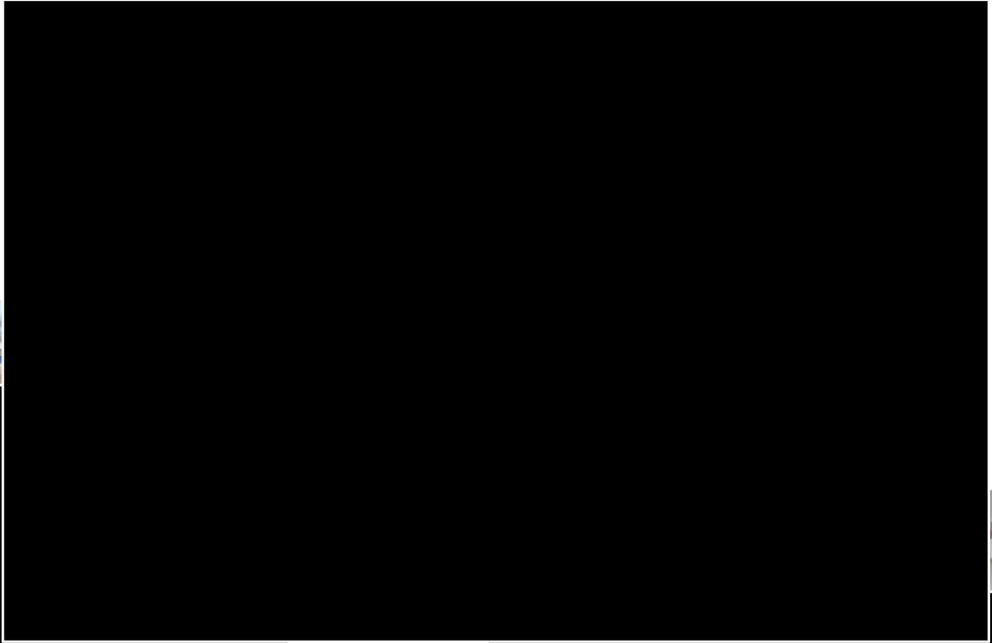


さくらタイム 教室見学



みんなあそぼう





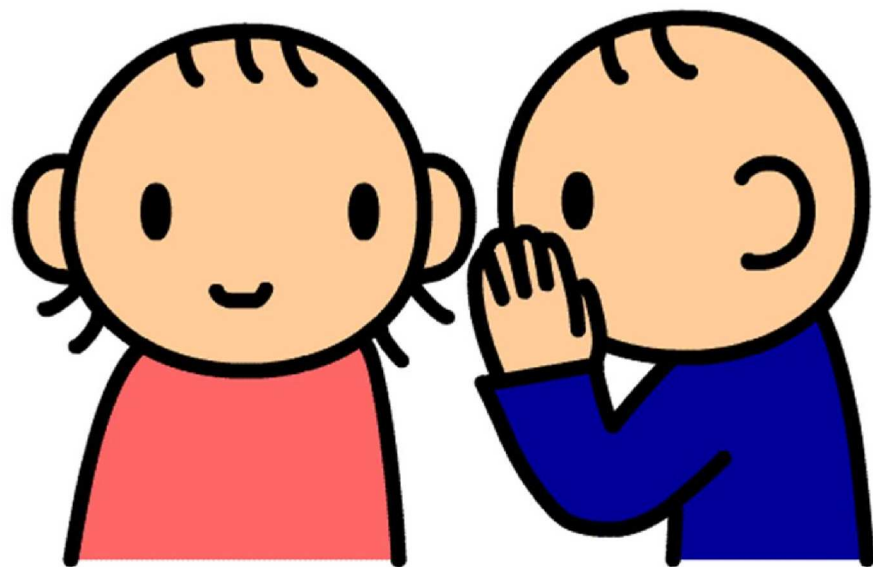


みんなでおどろう



エビカニクス ♪

て がみ
お手紙こうかん



総合的な学習の時間

みんななかよし



月 日 4年 組 番名前

さんと遊ぶ計画を立てよう！！

☆自分のめあて☆

場所	遊び

○必要な物



使うもの	置いてある場所	分担

○45分間の動き

	時間	やること
10 分間	0	・始まりのあいさつ
	10	・手遊び歌
25 分間	15	・遊び
	20	
	25	
	30	
10 分間	35	・体育館集合 ・エビカニクス
	45	・お話タイム ・終わりのあいさつ

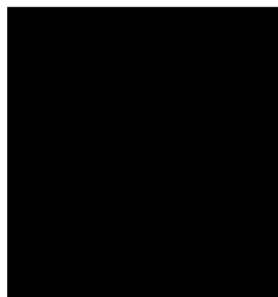
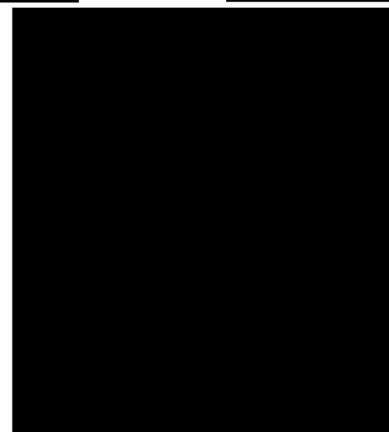
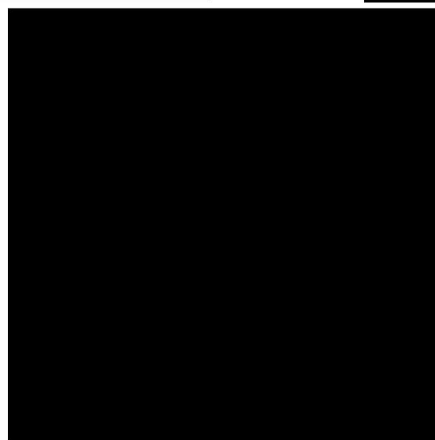
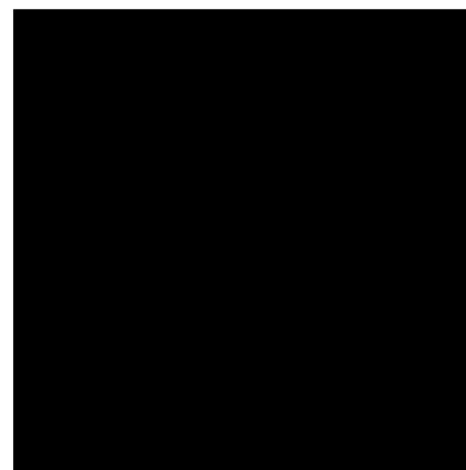
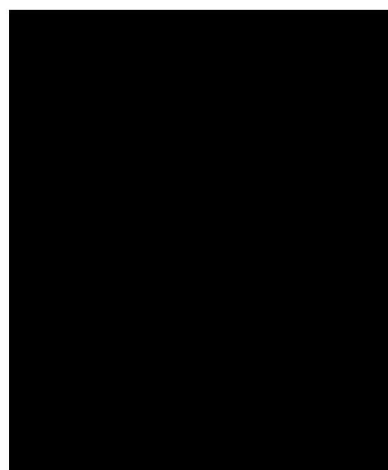
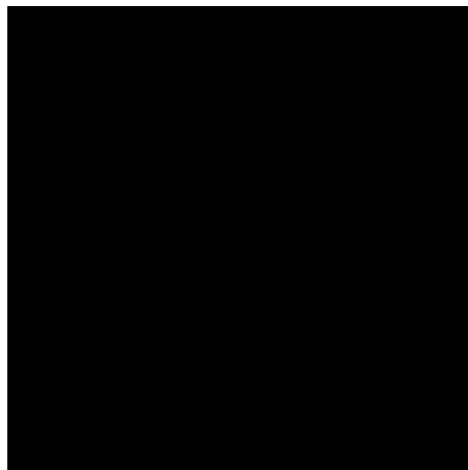
○よかったこと・楽しかったこと

自分のめあてを振り返ろう！

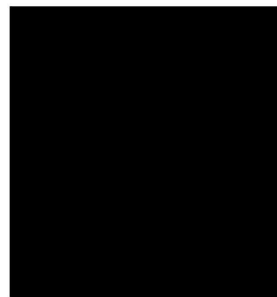
○こまったこと・これから相だんしたいこと

○次回やってみたいこと

さくらⅠ組



よしだ せんせい



あべ せんせい



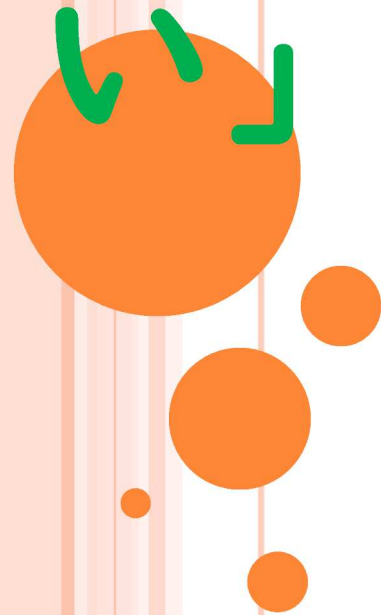
こじま せんせい

グループごとに
すわりましょう



みんな なかよし

「なかよししゅうか



なかよししゅうかい

～きょうのながれ～

1. 「さくらだいすき♪」をうたう
2. 「バスにのって♪」のてあそび
3. 「ためろ！なかよしボール」
ゲームをする
4. 「エビカニクス♪」をおどる



「さくらだいすき♪」

- みんなともだち てをつなごう
- にこにこえがおが うれしいね
- みんなのえがおが あつまって
- おおきなすてきな はながさく
- さびしいときも てをつなごう
- だいじょうぶ だいじょうぶ だいじょうぶ
- さくら さくら さくらのなかま
- さくら さくら みんな だいすき



「バスにのって♪」

バスにのって ゆられてる ゴーゴー
バスにのって ゆられてる ゴーゴー

- ①そろそろ みぎに まがります！
- ②そろそろ ひだりに まがります！
- ③そろそろ でこぼこみちです
- ④そろそろ とまります とうちゃく！



「ためろ！なかよしボール」 ゲームをしよう



みんなでおどろう



エビカニクス♪



さくら学級から

プレゼント ♪

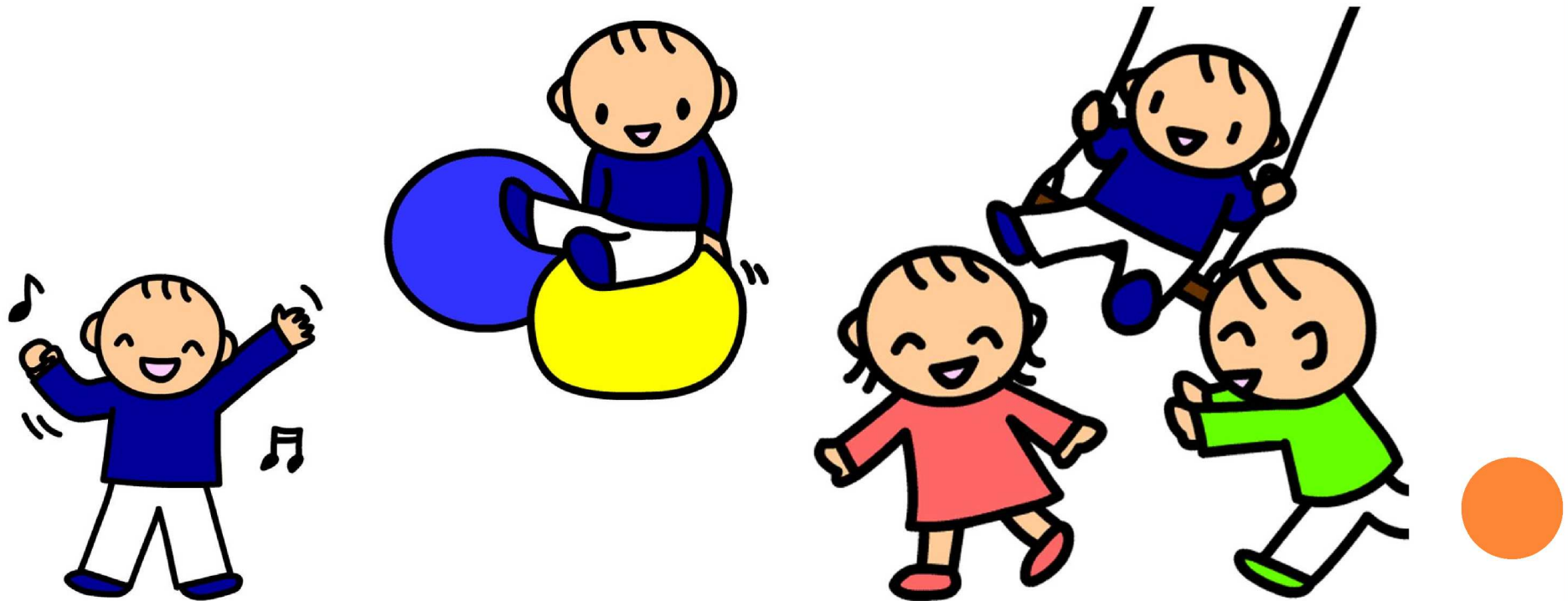


かんそう



じかいは ・ ・ ・

1 がっ 22 にち



提出書類①

SAINS-WEB や classroom にデータがあります。

2025年(令和7年)10月2日

校種・学校番号

小学校・07

たぶん かきょうせい じぎょうけいかくしよ
多文化共生ふれあい事業計画書

でんわ 電話 044 - 266 - 4601/FAX044 - 287 - 4067 学校名 [川崎市立さくら小学校]

たんとうきょうゆめい 担当教諭名 [今井 結] こうちょうめい 校長名 治田直美

じっしにちじ 1. 実施日時 : 2025 年 (令和7年) 11月28日 (金曜日)

じっしじかんたい 実施時間帯 : 午前10時30分 ~ 12時15分

きょうか たんげんめい 教科・単元名 [総合的な学習の時間 外国の文化にふれよう「韓国・朝鮮となかよし」]

たいしょうじどうせいと 2. 対象児童生徒 学年 [3年] 約64名 (支援級2名、分教室1名含む)

くるま はんにゆうぐち 3. 車の搬入口 正門

かつどう たんげんもくひょう 4. 活動のねらい (単元目標)

自分たちの住むさくらのまちが、韓国・朝鮮などの外国の文化を大切にしていることを知り、自分たちも地域の一員として外国の文化に触れ、大切にしていこうとする態度を育てる。

かつどう なか てんかい 5. 活動の流れ (展開)

①講師到着 10:00 正門より車1台、楽器搬入 (搬入補助: 教頭、教務主任)

②全体会 10:30~10:55 場所: 音楽ホール

・講師自己紹介、あいさつ→紙芝居 (三年とうげ) →スケジュール確認

③ (11:00~11:25) コーナーに分かれてのワークショップ (前半)

たんとう	ないよう	かつどうばしよ	にんずう 人数 ぜんはん こうはん 前半・後半
今井	伝承遊び	ホール	
島村	ことば	3-1	
小島	打楽器体験	音楽室	
今井	衣装	A棟3階 学習室	

④ (11:30~11:55) コーナーに分かれてのワークショップ (後半)

⑤ (12:00~12:15) 全体会 場所: 音楽ホール

質疑応答、講師の先生からのメッセージ

※仮のものを、事前打ち合わせの際にお持ちください (手書きでもかまいません)

実施日の3週間前までに、教育委員会人権・多文化共生教育担当には原本を提出してください。

実施日の3週間前までに、講師にはコピーを提出してください。

6. 活動の流れ

時間	活動の流れ（展開）	教師の支援と留意点
10：20	1. 児童は音楽ホールに集合	・ 児童の誘導と整列を行う。
10：30	2. 全体会①（はじめの会） ・ 講師の方の紹介 ・ 紙芝居（三年とうげ） ・ スケジュールの確認 《ワークショップ（前半）の場所に移動》	・ スケジュールの確認（今井）
10：55	3. ワークショップ（前半）を開始	・ 児童の移動を確認し、必要に応じて対応する。
11：00	伝承遊びグループ ・ 韓国の伝承遊びをする。 ことばグループ ・ 韓国・朝鮮語であいさつを知る。 ・ ハングル文字を教わり、自分の名前を書く。 打楽器体験グループ ・ 民族楽器の演奏の仕方を知り、演奏する。 ・ 舞踊の方法を教えてもらい、リズムに合わせて体を動かしてみる。 衣装グループ ・ 民族衣装を着る。 ・ 日常生活の様子や年中行事などの話を聞く。	・ 各グループに教師がつき活動がスムーズに進むように補助を行う。 ・ 各体験の場所 【伝承遊び】：音楽ホール（今井） 【ことば】：3－1（島村） 【打楽器体験】：音楽室（小島） 【衣装】：PC ルーム（今井）
11：25	《ワークショップ（後半）の場所に移動》	・ 韓国・朝鮮の音楽や衣装、言葉をきっかけにほかの国についても調べてみたいという気持ちをもたせたい。
11：30	4. ワークショップ（後半）を開始 ※流れや留意点は、前半と同様。	・ 足りないものや必要なものがあつた場合には、各担当の教員が準備を行う。
11：55	《活動を終えて音楽ホールに移動》	
12：00	5. 全体会②（おわりの会）	
12：15	・ 質疑応答、講師の先生からのメッセージ 《活動終了》	・ 楽器の片づけを行う（級外対応）。

【事後の活動】

- ・ 活動のふり返し→当日もしくは後日、総合の学習にて行う。

そう合 いろんな国となかよし

名前()

絵

絵

絵

そう合「^{かんこく}韓国・^{ちようせん}朝鮮となかよし」

名前（ ）

11月28日(金)にそう合の学習で「^{かんこく}韓国・^{ちようせん}朝鮮となかよし」をします。

ここでは、^{かんこく}韓国や^{ちようせん}朝鮮の文化や服、^{ぶんか}言葉などについて学習します。

自分がとくに知りたいな!と思うグループに分かれて学習をします。

下の4つの中から、1番、2番、3番でやりたいものに^{じゆんい}順位をつけます。

^{じゆんい} 順位	内容	
	昔遊び	昔からつたわる遊びをする
	言葉	ハングルを教えてもらう
	いしょう	^{かんこく} 韓国・ ^{ちようせん} 朝鮮のいしょう(服)を着る
	^{がっき} 楽器	^{かんこく} 韓国・ ^{ちようせん} 朝鮮の ^{がっき} 楽器をえんそうする

※「いしょう」と「^{がっき}楽器」は、20人が定員です。また、「いしょう」は服の数にかぎりがあるので、男女10人ずつくらいにします。

そう合 「かん国・ちょうせんとなかよし」 名前（ ）

㊟ かん国・ちょうせんについて知ろう

調べること

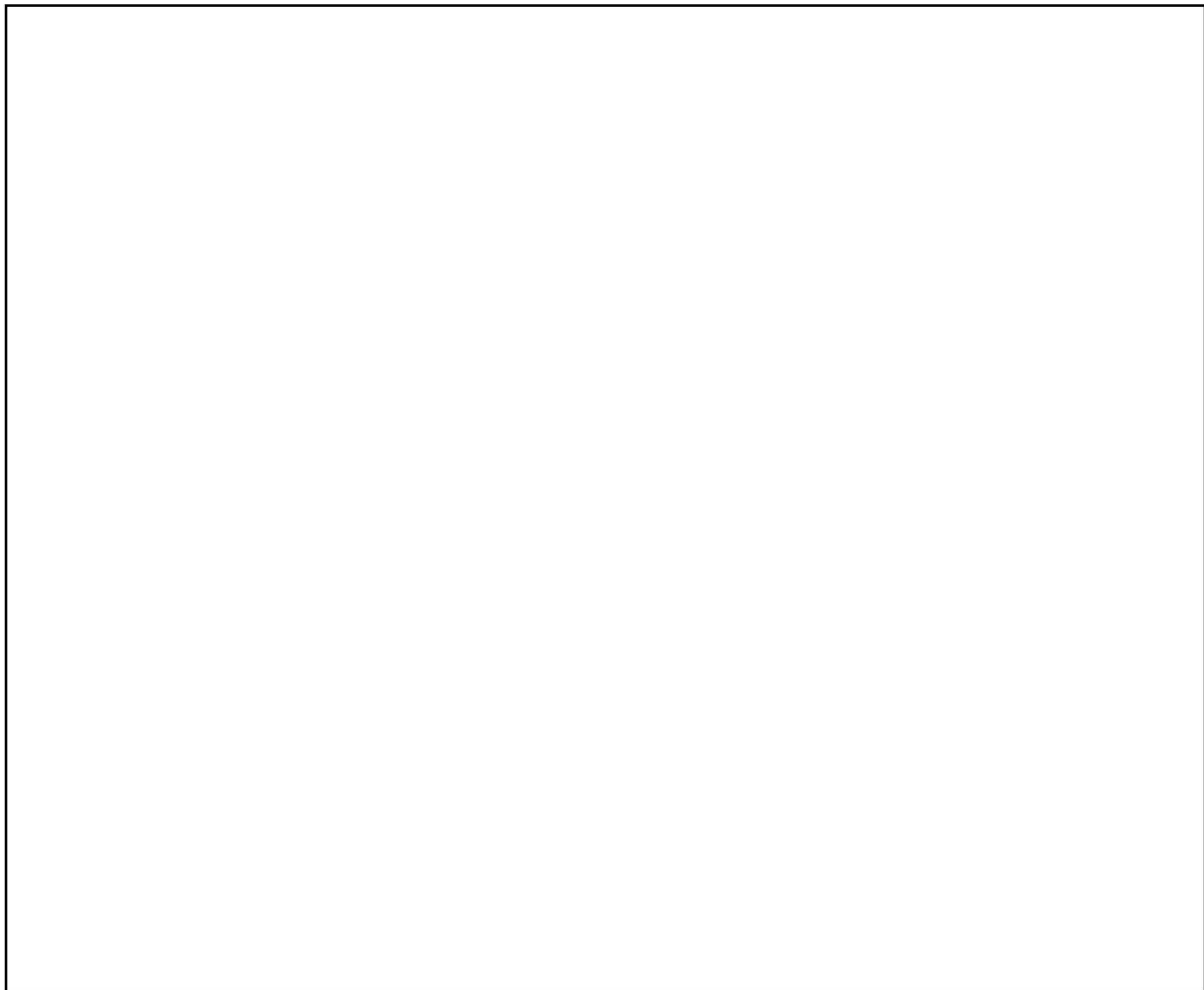
分かったこと （言葉や絵などでまとめて書いてみましょう。）

そう合 「かん国・ちょうせんとなかよし」 名前（ ）

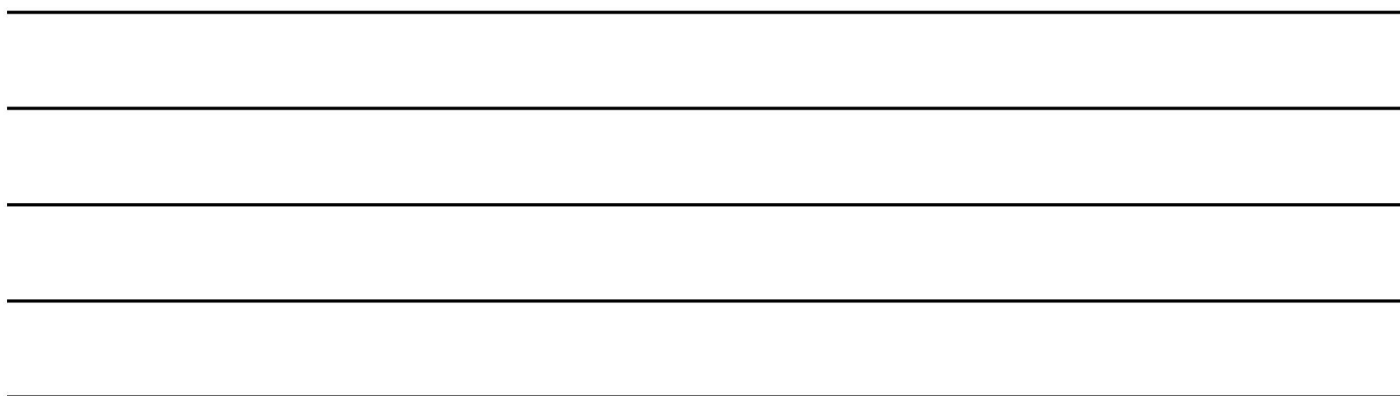
㊟ 「かん国・ちょうせんとなかよし」のふり返ししよう

分かったこと

（言葉と絵でまとめて書いてみましょう）



分かったこと・もっと調べたいと思ったこと



そう合 いろんな国となかよし

名前()

☆どここの国について知りたいですか？

☆とくに、その国の何について知りたいですか？

(たとえば、有名な食べ物、むかしからつたわる服、遊び、音楽、行事やイベントなど)

☆なぜ、その国について知りたいのですか？

★国が決まった人は、下のことについて調べてみよう！(地図帳にも書いてあるよ！)

①国の広さ(めんせき)

②国に住んでいる人の数(人口)

③国のはた

かいてみよう！→

選んだ食事	【

世界の人々のつながりを広げよう②

6年 組 番 名前 _____

1. 桜本の特色について、イメージマップを使って考えよう。

桜本の特色(食文化)

2. 韓国の食文化について調べよう。

--

3. キムチの作り方について、PCや副読本を使って調べよう。

令和7年度 人権尊重教育実践報告書

川崎市立 さくら小学校
 (校長名) 治田 直美
 (担当者名) 吉田 舞

1 人権尊重教育にかかわる実践

○子どもが安心して過ごせる学級・学校づくりの取組

●昨年度行っていた人権感覚チェックリストによるチェックを、今年度も継続して行った。
 成果：すべての項目に◎をつけることが目的ではなく、自分ができていることに自信を持ち、足りないと感じる部分には意識を向け、改善につなげることが目的であった。毎月自分の過ごし方を確認することで、意識して行動できた。

課題：振り返りをどう次に生かしていくかが課題。今後も継続し、検討していきたい。

2 職員研修で取り組んだ内容

○体罰や不祥事防止についての取組

●講師の先生をお呼びして、アンガーマネージメントについての研修を実施した。アンガーマネージメントとは『『怒り』をなくすことではなく、上手に扱う（コントロールする）こと』という基本から教えていただいた。そして、なぜ「怒り」が起こるのか、その「怒り」をどうコントロールすればよいのかを、よく学級で起きそうな事例をもとに考えていった。

成果：自分の価値観と他人の価値観のズレが怒りの原因であること、また、怒りは自然な感情であり、上手にコントロールすればよいということを理解できた。そして、具体的なテクニックも知ることができた。

課題：学校全体で取り組む必要があるが、怒りは、心や体の状態によって現れやすくなるため、教員の日々の多忙な業務の中で実践し続けることへの難しさがある。実際の場面で、どのように怒りをコントロールすればよ

3 地域とのかかわりを深める活動等

○ふれあい共生事業の実施や、地域の「ふれあい館」との活動の取組

●3年生を対象に韓国朝鮮の伝統的な遊びや衣装・言葉を学ぶ「韓国朝鮮となかよし」や、1・2年生を対象にフィリピンのクイズや遊び、衣装や言葉を学ぶ「フィリピンとなかよし」の実施、また6年生対象にハルモニと韓国朝鮮の伝統食キムチづくりを行った。

成果：外国にルーツをもつ児童・家庭が多い地域でもあるので、長年これらの活動を継続していることで、児童が外国の文化に対して「特別」という意識がなくなっている。教えてくれる方々が「ふれあい館」やワクワクのスタッフさん、保護者・地域の方々なので、すんなりと活動に入ることができ、地域での関わりも増えている。

課題：毎年同じ活動を同じ学年が行うことで、活動がマンネリ化していかないよう、毎年の内容や反省をきちんと引継ぎしていく。また、6年生のキムチ作りについては、衛生面についての心配もあり、来年度以降は代わりとなる取り組みを検討中。

4 「川崎市差別のない人権尊重のまちづくり条例」の取組

○4年・さくら学級「みんななかよし」

●総合的な学習の時間を使い、4年生とさくら学級の児童が年間を通して一緒に遊び、交流を深めていく。

成果：最初は、コミュニケーションの取り方がわからず戸惑っていた児童も、遊びや集会を

重ねるうちに、相手との距離が縮まり、スキンシップや表情の読み取りなどを通して交流が深まっていった。

課題：本校において10年以上続いているこの活動をモチベーション高く続けていくことが課題。

5 性的マイノリティの理解を深める活動等

○性の多様性に関する取組

●講師の先生をお呼びして、7月に教職員への研修、9月に5、6年児童への出前授業（性の多様性プログラム）を行った。研修では、いろいろな性があることについて話を聞いたり、自分の性について考えたりした。また、性的マイノリティの方の実体験や感じたことなども伺い、教員は実際に性的マイノリティの児童がいた時にどう対応できるか考えた。

成果：子どもたちへの授業をしたことで、必要のない性別での分け方や差別が減ってきている。「男だから・・・女だから・・・」という言い方をしたり考え方をしたりすることがなくなってきた。

課題：着替えやトイレなど、普段の学校生活で安心して生活できるための対応を考えたが、学校としてどう対応していくか考え、共通理解していくことが必要。

6 その他

○特になし

7 来年度に向けて

○公開授業に向けた校内研修や検討会の実施

○人権感覚橋上チェックリストの活用と、日常の取り組みの継続

1. 本校の人権尊重教育の目標

さくらっ子の笑顔はNO.1
～ちがいを生かし、ともに育つ子の育成～

2. 実践校としての歩み

本校のある桜本は川崎区の中でも、韓国・朝鮮につながる文化が定着している町であり、さくら小にも韓国・朝鮮、フィリピンや中国、ブラジルなど様々な国にルーツを持つ児童が多数在籍している。また、さくら小には田島支援学校さくら分教室があり、特別な支援を要する児童と日常的に関わりをもっている。



人権尊重教育についての研究は、1984年度、当時の川崎市立桜本小・東桜本小・桜本中が神奈川県教育委員会のふれあい教育委嘱研究校となったところからはじまった。1990年には川崎市人権尊重教育実践推進校となり、2010年、桜本小と東桜本小が統合しさくら小になった現在も、教育活動全体を通して人権尊重教育の取り組みを実践している。

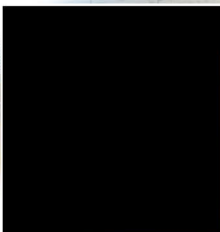
3. 本校の取り組み

【韓国・朝鮮やフィリピンの文化を知る活動】

『フィリピンとなかよし』



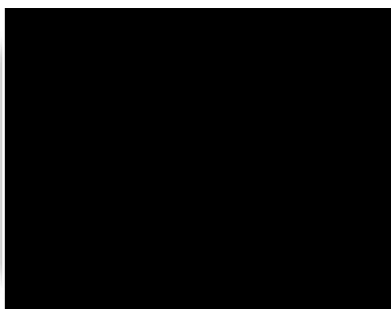
○3年生を対象に韓国・朝鮮の伝統的な遊びや衣装、言葉を学び、文化を知る。



『韓国・朝鮮となかよし』

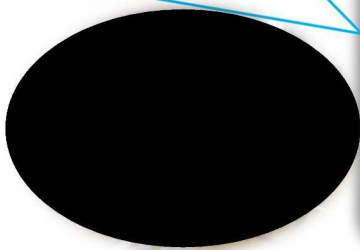
○6年生が在日コリアンのハルモニの方々と韓国・朝鮮の伝統食キムチづくりをする。

○1、2年生を対象にフィリピンのクイズや遊び、衣装や言葉を学び、外国に親しみをもつ。



『キムチづくり』

○1、2年生を対象に韓国・朝鮮の楽器の演奏体験をする。
その後運動会で、全校有志が伝統的な踊りを披露する。



『フンムルノリ』

これらは毎年行っている活動で、学区にある「ふれあい館」の方々や保護者の方々に講師として来ていただいている。児童と講師が互いに面識があるので、より意欲的に活動することができている。

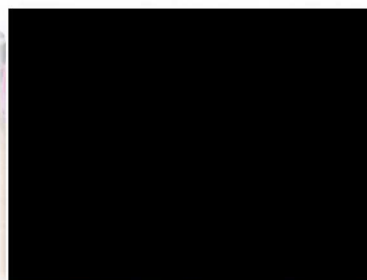
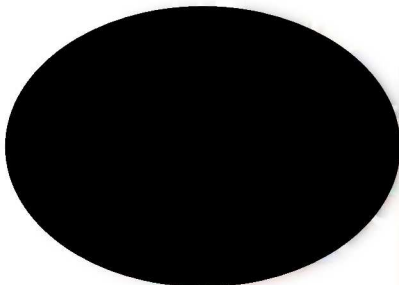
【子どもの権利学習派遣事業（性の多様性プログラム）出前授業】

○性の多様性に関する職員研修を行い、学校全体で性的マイノリティについての理解を深めた。
また、5、6年生児童を対象に性的マイノリティ当事者による講演会を行った。

【さくら学級と4年生が一緒になって遊び、学ぶ総合的な学習の時間】

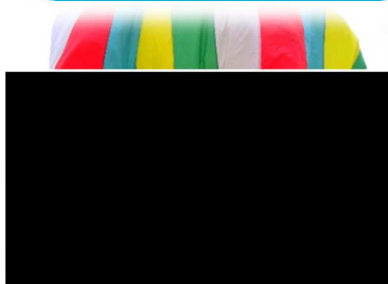
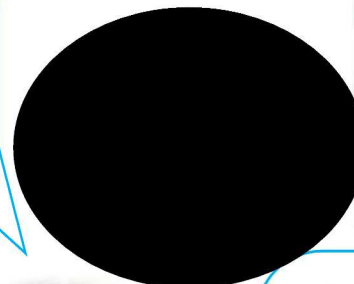
○さくら学級（さくら分教室・支援級）の児童と通常級（4年生）の児童が交流及び共同学習をする。

『みんななかよし』



年間を通して、4年生とさくら学級の児童が触れ合う活動。遊びを重ねるうちに、自然なコミュニケーションができるようになっていく。

運動会では、4年生とさくら学級の児童が一緒にバレーダンスを披露する。この頃には、当たり前のように、優しく声をかけ、そっと手を引いて歩くようになる。



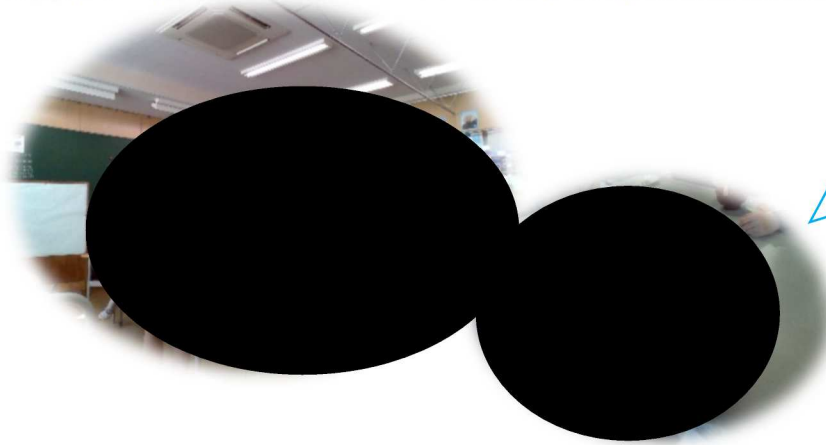
4年生がさくら学級に給食・掃除交流を行ったり、さくら学級の教室や教具について体験しながら学んだりすることで、さくら学級の子どもたちのことをより深く知っていく。給食・掃除交流は年間通して行われ、仲良くなるにつれて、掃除の後の昼休みにも一緒に遊ぶ姿が見られる。

【全クラスで、さくら学級児童や障害の理解の授業：さくらタイム】

○さくら学級の担任が、通常級で授業を行う「**さくらタイム**」は全クラスで実施している。さくら学級の様子や児童とのコミュニケーションのとり方などを具体的に伝えている。高学年になるにつれて、個別の児童についてではなく、障害の理解や多様性について知り、社会に出て役立つような学習をする。

【国際教室における児童の支援】

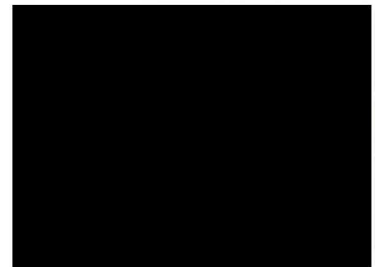
- 国際教室では授業のフォローだけでなく、自国に誇りが持てるような支援、日本の文化を体験する活動などを行っている。
- 夏休みの宿題では、自分のルーツの国を調べる課題を出し、家庭で話し合ういい機会となった。



1月に、日本文化の「おも
ちつき」の体験をした。よ
り実感しやすいように、レプ
リカの杵を作り、実際にお
餅をつく真似をするなど
工夫している。

【たてわり活動】

- 1～6年生で構成されたメンバーで、年間を通してグループ活動をする。年度初めは6年生が、そして、年度終わりには引き継いだ5年生がリーダーになり、みんなが楽しく活動できるようにと遊びを考え、活動する。異学年の交流を通して、リーダー性、協力性、創造性、向上心を育てる。



【人権感覚チェックリスト】

- 職員の人権感覚の土台を築くために、昨年度、さくら小オリジナルの『人権感覚チェックリスト』を作成し、今年度も継続して取り組んだ。(最後のページ参照)内容は、児童への声かけや意識、学校環境、そして職員同士の関係に関する26項目に分類されている。

【アンガーマネージメント研修】

- アンガーマネージメントに関する職員研修を行った。職員全体で「『怒り』をなくすことではなく、上手に扱う(コントロールすること)」という基本を知り、なぜ「怒り」が起こるのか、その「怒り」をどうコントロールすればよいのかを、よく学級で起きそうな事例をもとに考え、理解を深めた。

3. まとめ

本校では、学校生活の中に異文化や多様性が当たり前であり、教員・児童は、それらを自然に受け入れている。そして、無意識のうちに、人権を尊重した関わりをしているように感じる。当たり前だと思っている日々の活動や接し方、態度を振り返り、それらを意識し、共有し、価値づけていくことが、本校の人権尊重教育の土台となっていくと考える。

人権感覚チェックリストを行うことで、自分の大切にしている人権感覚を再認識し、また改めて今後意識していきたいことを目標にすることができる。これからも、このチェックリストの活用をしていながら、学校全体で人権尊重の意識を高め、意識的に児童たちが安心して学べる環境を作り、人権尊重教育の推進をしていきたい。

月

R8 さくら小 人権尊重教育実践推進校 チェックシート

☆ねらい 児童一人一人が安心・安全に過ごすことができる。児童一人一人を大切に授業をする。

児童・職員一人一人を尊重する。

【声かけ】

1	自分から、元気のいいあいさつをしている。
2	一人一人の名前を「さん」づけて呼んでいる。呼び捨てでは呼ばない。
3	一人一人の児童のよいところを見つけ、認める声かけをしている。
4	児童に対し、丁寧な言葉遣いで接している。
5	感謝の気持ちを言葉にして伝えている。
6	児童に対して自分の非を認めることができる。

【授業・意識】

7	一方的な授業ではなく、児童同士が教えあったり学びあったりするよう工夫している。
8	同じ人ばかりを指名せず、意図的な指名や発言をしない児童への見取りを意識している。
9	他と異なる意見や、間違った意見を発言した児童がいやな思いをしないように配慮している。
10	授業のめあてや流れを示し、児童が見通しをもって学習に取り組めるようにしている。
11	板書やワークシートの文字の大きさや字体に配慮している。
12	注意をする前に「なぜそのような行動をとったのか」の要因を考えるようにしている。
13	全体の前で特定の児童ばかりを注意していない。(見せしめなどしていない)
14	後ろの席の児童まで聞こえる声で指示をしている。
15	住んでいる場所や保護者の国籍で思い込みや決めつけをしていない。

【環境】

16	そうじや給食の当番が分かりやすいように工夫している。
17	児童が一日の予定を確認できるようにしている。
18	学級目標を掲示している
19	ロッカーや机の横から物がはみ出ないように指導している。(探検バッグ、水筒、給食ナプキンのひもなど)
20	黒板の周りはすっきりしている。
21	教室の教員の机上に物をあまり置かない。

【職場】

22	職員同士の会話で、子どもの名前を呼び捨てにしない。
23	職員室で子どもを失笑したり、ばかにしたりする話題をしない。
24	職員同士で丁寧な言葉遣いをする。
25	職員間で、子どもについて気軽に情報交換をすることができる。
26	相手の意見を聞き、話し合いをしながら仕事を進めている。

令和8年度 人権尊重教育推進事業計画

川崎市立さくら小学校

校長名 松原 晴美

担 当 吉田 舞

1 今年度の人権尊重教育のねらい

○ちがいを生かし、一人一人が輝くために行動することができる子の育成

○お互いのちがいやよさを見つけ、認め合う子の育成

○かかわりを大切にし、仲間と共に考えようとする子の育成

2 今年度の人権尊重教育推進にかかわる計画

内 容	実施時期、回数、学年等
① 人権尊重教育学習の実践 [子どもの権利学習] 「かがやき」「みんな輝いているかい」「子どもの権利条例」 [国際理解教育] 韓国の楽器に触れてみよう（ソゴ体験） プンムルノリ フィリピンとなかよし [各教科] <総合的な学習の時間> 韓国・朝鮮、ベトナムの文化にふれよう・福祉体験をしよう みんななかよし～さくら学級との交流～ 世界の人々とのつながりを広げよう <学活> さくらタイム	全学年 11月 1・2年 10月 運動会、希望児童が参加 1・2年 1月 3年 9・10月 4年 9月 4年さくら学級 通年 6年 11月 全学年 9～11月
② 職員研修 ・人権にかかわる研修 ・さくら交流部会 ・共生＊共育プログラム効果測定研修会の実施 ・校内委員会 ・国際教室部会 ・ケース会議	7月 年間を通して 6月 年5回 6月 随時
③ 地域とのかかわりを深める活動 ・人権共生教育協議会 ・在日の思いに語る会参加	1月 教職員 年間1回
④ その他	

3 「子どもの権利に関する条例」に関わる取組

全学年 11月「かがやき」「みんな輝いているかい」「子どもの権利条例」を使つての学習

4 「川崎市差別のない人権尊重のまちづくり条例」に関わる取組

3年 総合的な学習の時間「外国の文化に触れよう」

4年 総合的な学習の時間「みんななかよし」

5 人権尊重教育推進にかかわる本校の課題

- ・職員一人ひとりが意識をして、人権を大切にした教育活動を行う。
- ・心の教育を充実させて、安心して楽しく過ごせる学校づくり、学級づくりに取り組む。

さくら学級・4年生 交流及び共同学習 「みんな なかよし」

- 1 日時・場所 2026年5月13日(水) 3校時 音楽ホール
- 2 単元名 「みんな なかよし」
- 3 本時 はじまりの会のリハーサル
- 4 目標 ○4年生とはじまりの会を知ることを知る。
○バルーンに興味をもち音楽や動きを楽しむ。

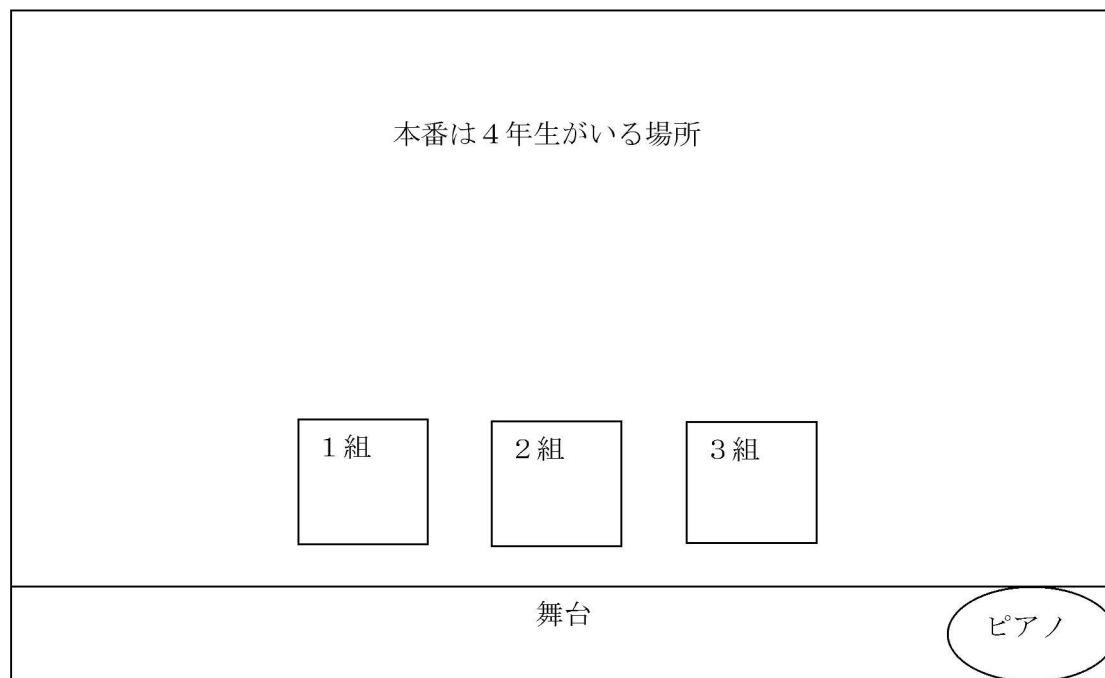
5 展開

進行：吉田

時間	学習活動	・指導上の留意点
10:35	1 はじめのあいさつをする。 「これから3時間目のべんきょうをはじめます。」 2 明日のはじまりの会の流れを知る。 3 「さくらだいすき」を歌う。 4 自己紹介と写真を渡す練習をする。 ・クラス写真を渡す人(各クラス1名) 5 「エビカニクス」を踊る。 6 みんなでバルーンで遊ぶ。	・全クラスいるか確認する。 ・さくら学級各クラスの日直が前に出られるようにする。始めのあいさつの手話を紹介する。 ・4年生の方を向くので、後ろを向いて歌うよう伝える。 ・クラスごとに学年と名前を言う。教員も自己紹介をする。 ・自己紹介が全クラス終わってから、写真を渡す児童が前に出るように声をかける。 ・いくつか簡単な動きをする。 ・本番は4-1とさくら1, 3組 4-2とさくら1, 2組で分かれることを伝える。
11:10	7 ふりかえりをする。	・前に出て感想が言える人がいたら、出て言ってもらう。 ・明日3時間目に4年生と一緒に行くことを確認する。
11:15	8 おわりのあいさつをする。 「これで3時間目のべんきょうをおわります。」	・各クラスの日直が前に出られるようにする。終わりのあいさつの手話を紹介する。

準備するもの

- ・学習活動の流れ・パワーポイント（吉田）　・iPad（奥山）　・アンプ（相澤）
- ・バルーン（村上）　・4年生へ渡すクラス写真（各クラス）
- ・パソコン・プロジェクター・マイク（吉田、相澤、奥山、村上）



さくら学級・4年生 交流及び共同学習 「みんな なかよし」

- 1 日時・場所 2023年5月14日（木）3校時 音楽ホール
- 2 単元名 「みんな なかよし」
- 3 本時 はじまりの会
- 4 目標
 - 1年間の交流の見通しをもつ。
 - 互いの顔や得意なことを知る。
 - 一緒にバルーンダンスを楽しむ。

5 展開

進行：吉田

時間	学習活動	・指導上の留意点
10:50	1 はじめのあいさつをする。 「これからみんななかよしのべんきょうをはじめます。」 2 1年間の交流の目的や内容を知る。 3 さくら学級 ① 「さくらだいすき」 ② 自己紹介（教員も） 顔写真を4年生実行委員に渡す みんな 「エビカニクス」を踊る 4 みんなでバルーンで遊ぶ。 5 ふりかえりをする。	・さくら学級、4年生の各クラスの日直（実行委員）が前に出られるようにする。 始めのあいさつの手話を紹介する。 ・わかりやすいよう絵や映像で表示する。 パワーポイント使用 ・さくら学級の児童は4年生の方に体を向ける。 ・自己紹介は各クラスで順番に行う。 ・顔写真を受け取る4年生（4名） ・さくら学級の担任と4年の担任1名ずつ前に出て踊る。 ・バルーンを用いる。さくら学級の児童の間に4年生が入るように並ぶ。1クラスごと順番に行う。 ① 4-1とさくら1・3組 ② 4-2とさくら1・2組 ・簡単な動きをして楽しむ。 ・各クラス代表1名（日直など）から感想を聞き、楽しかったイメージを膨らませ、今後の活動に期待感や楽しみを持たせるようにする。 ・実態に応じて、事前に発表者を決めておく。（さくら各クラス1名ずつ・実行委員）時間によって4年生が人数の調整を行う。 ・各クラスの日直（実行委員）が前に出られるようにする。終わりのあいさつの手話を紹介する。
11:30	6 おわりのあいさつをする。 「これでみんななかよしのべんきょうをはじめます。」	

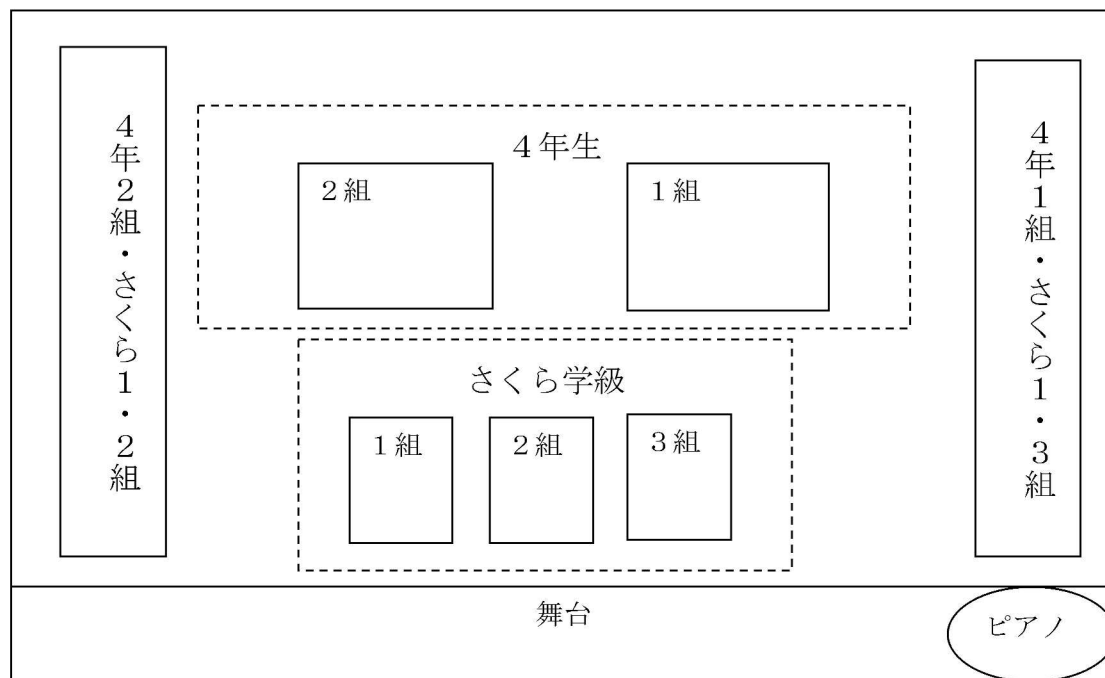
準備するもの ※可能であれば、前日の放課後に音楽ホールへ持っていく。

- ・学習活動の流れ・パワーポイント（吉田） ・iPad（奥山） ・アンプ（相澤）
- ・バルーン（村上） ・4年生へ渡すクラス写真（各クラス）
- ・パソコン・プロジェクター・マイク（吉田、相澤、奥山、村上）

並び方

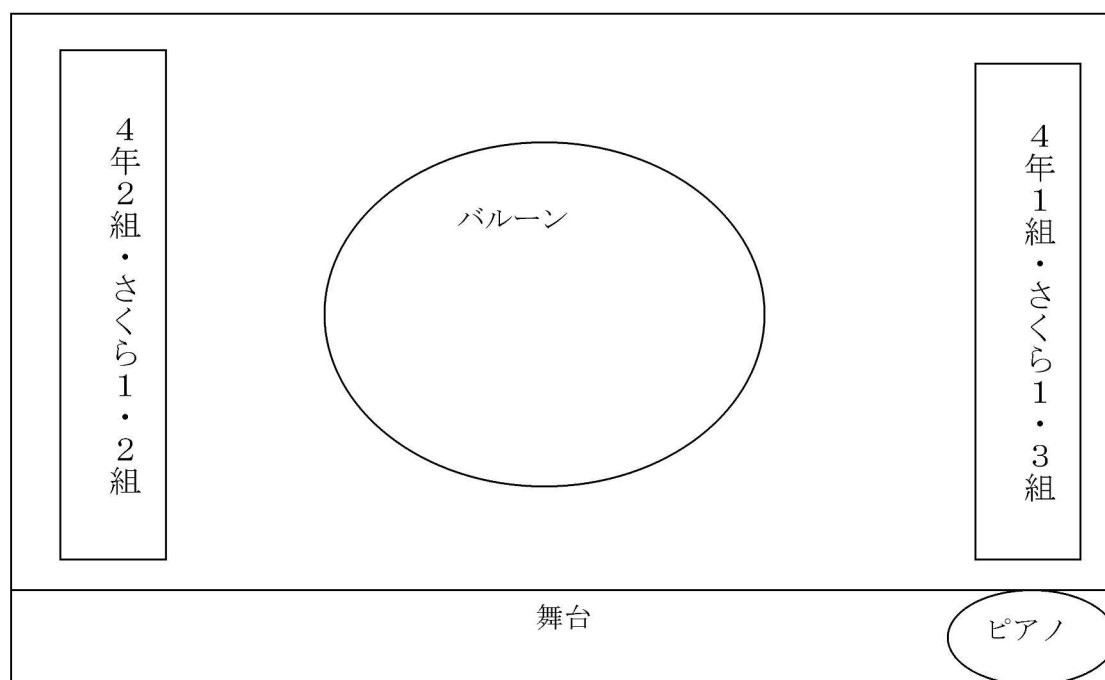
活動1・2は、舞台に体を向け座る。

活動3で、互いの発表を見えやすくするために向き合う。



活動4で、バルーンを行うクラス以外は、壁に沿って座って待つ。

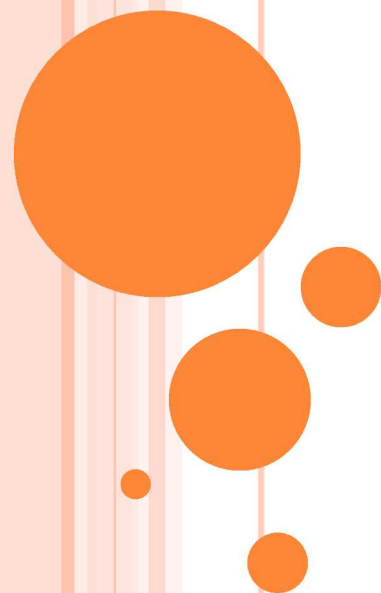
バルーンは中央で、一クラスずつ行う



みんな なかよし

はじまりの会

クラスごとに
ならびましょう！



はじまりの会

～きょうのながれ～

- 1 みんななかよしって？
- 2 ♪「さくらだいすき」をうたう
- 3 じこしょうかいをする
- 4 ♪「エビカニクス」
- 5 バルーンダンス
- 6 ふりかえり

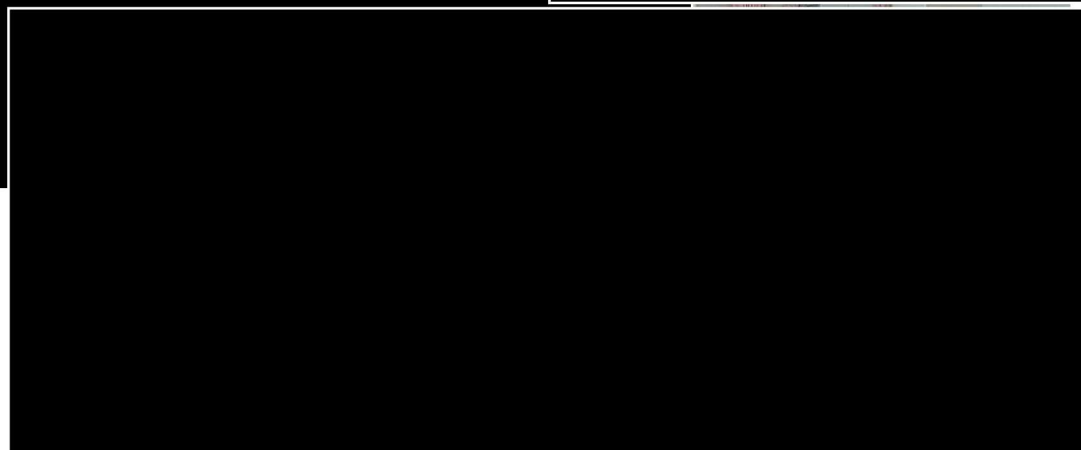
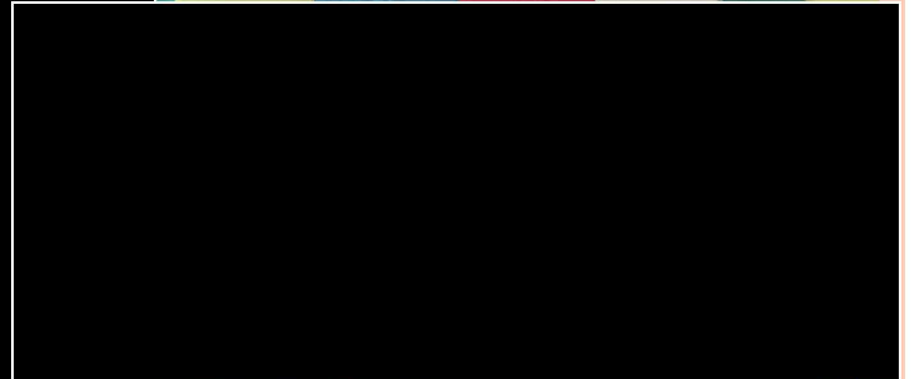


「みんななかよし」って？

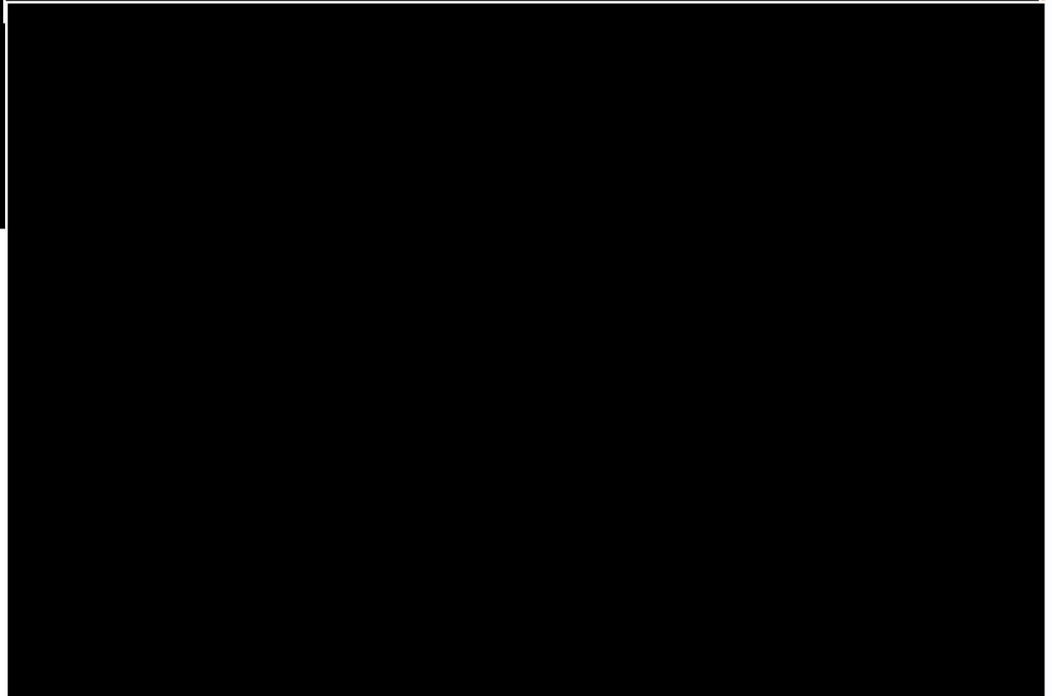
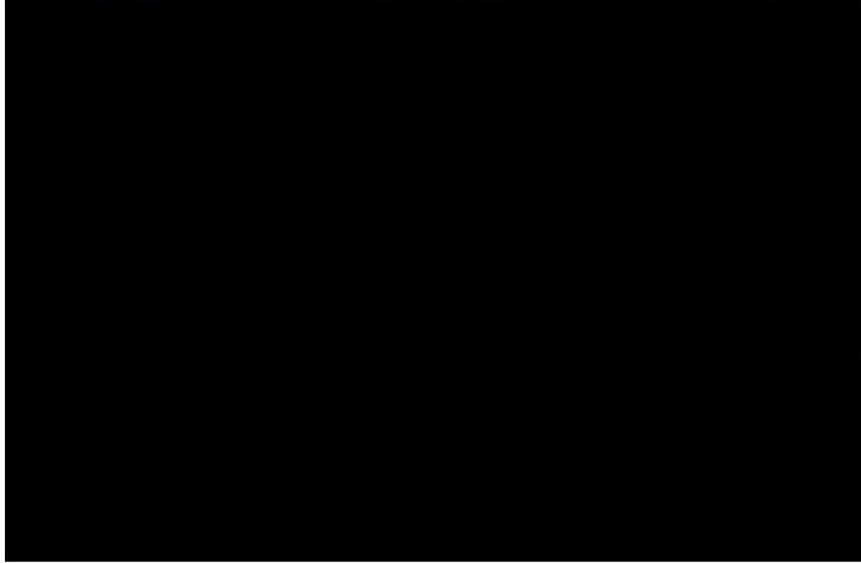
どんなことをするのかな



5月 はじまりの会



5月 よろしくねの会

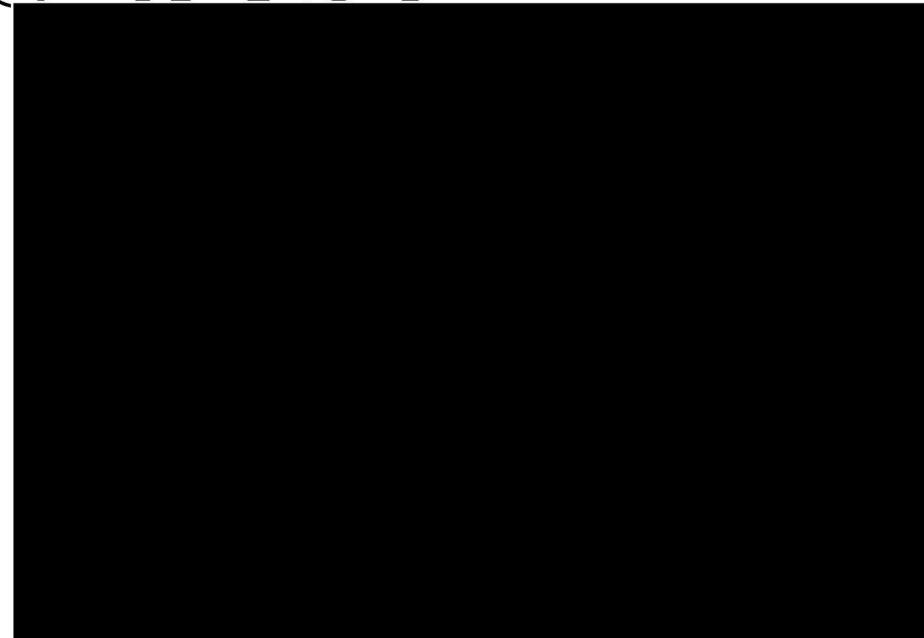


いっしょにあそぼう！

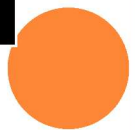


① 先生と4年生で話し合い

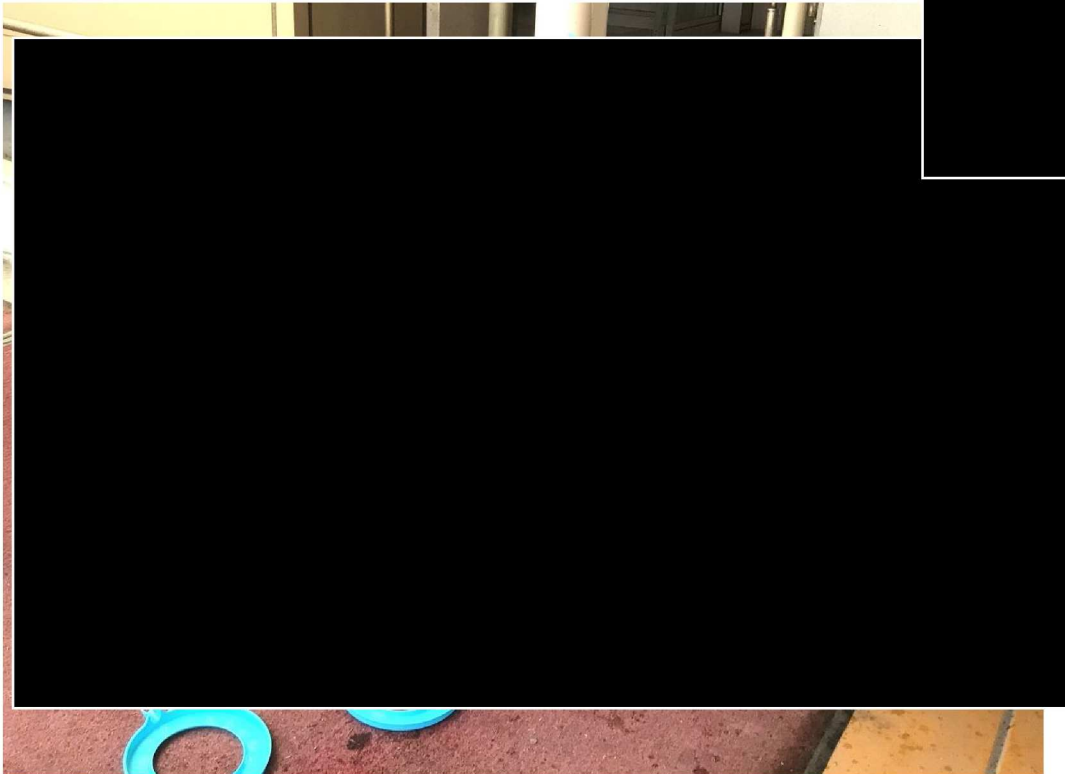
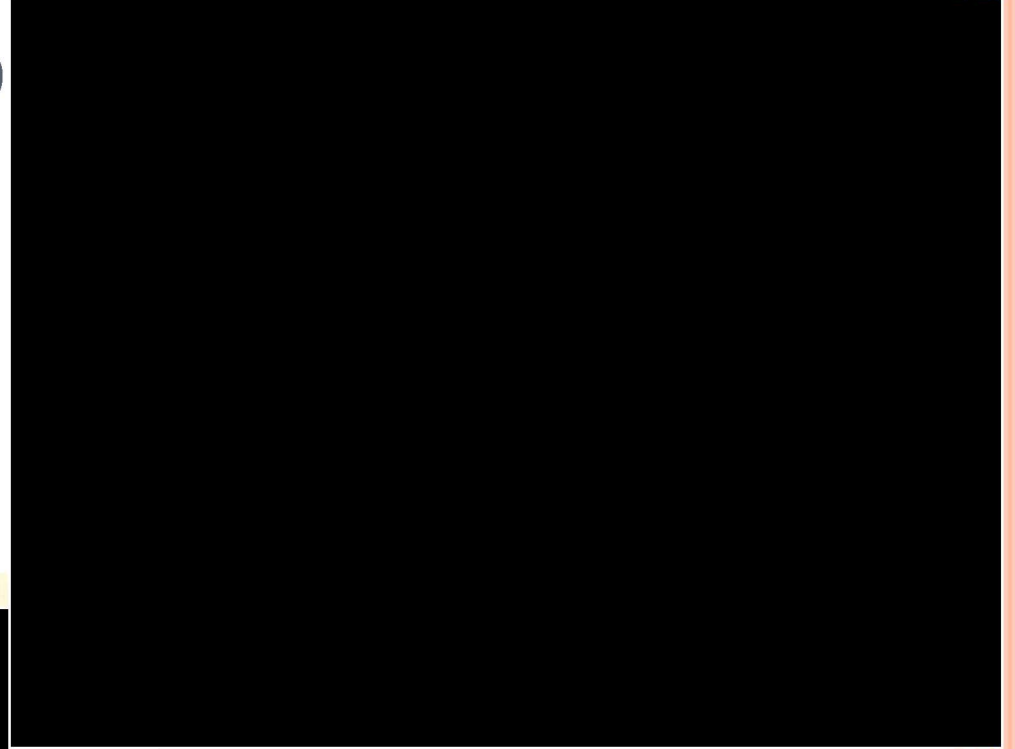
② あそぼう！

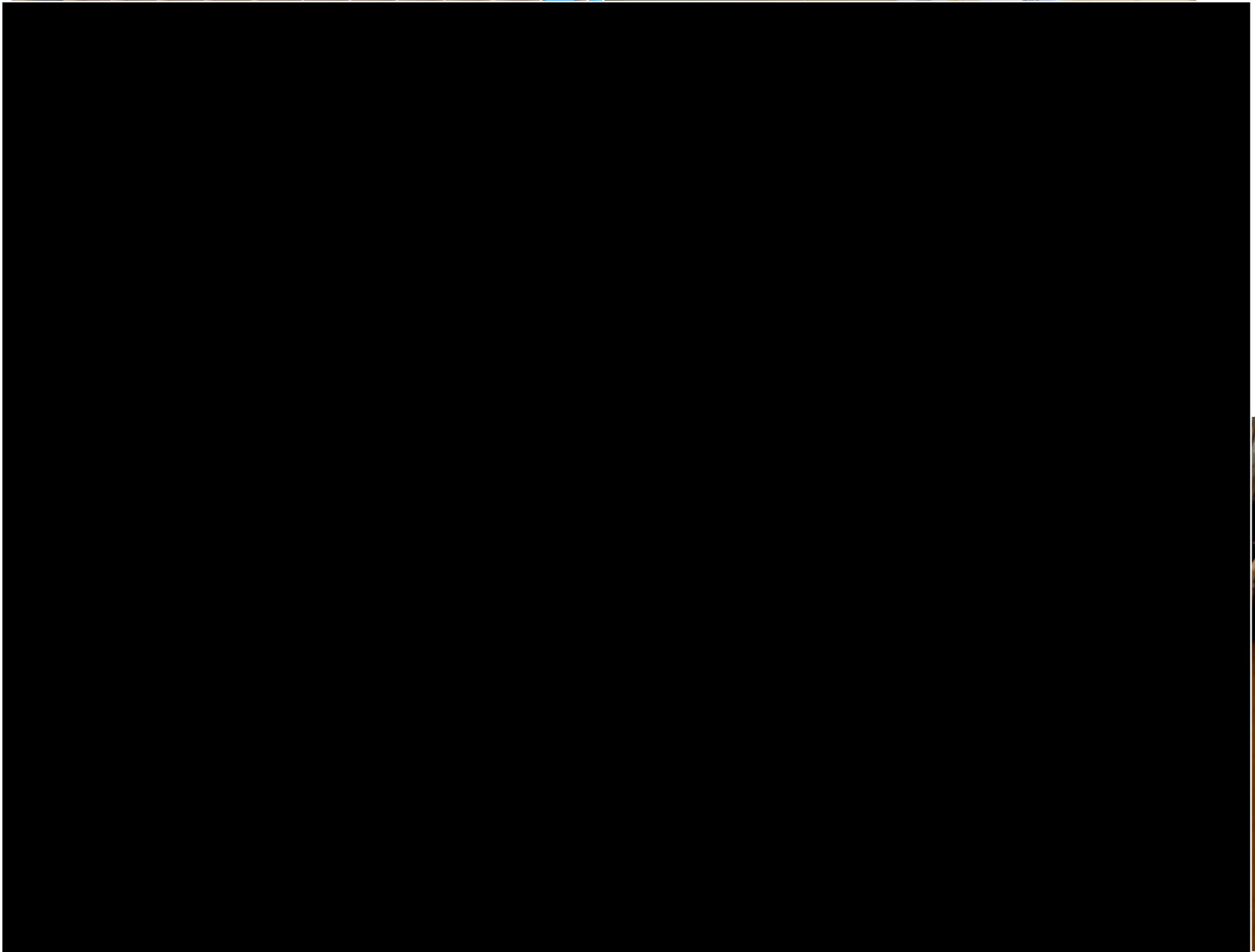


③ 次に向けて話し合い

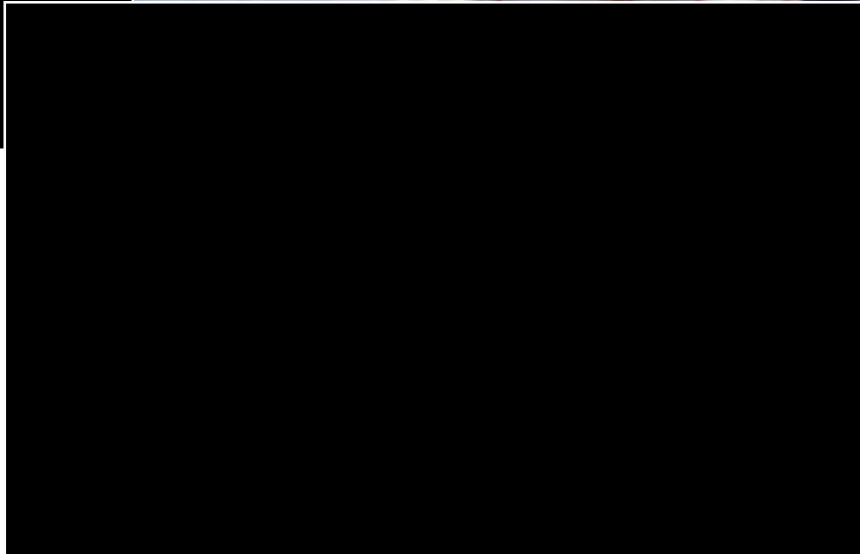
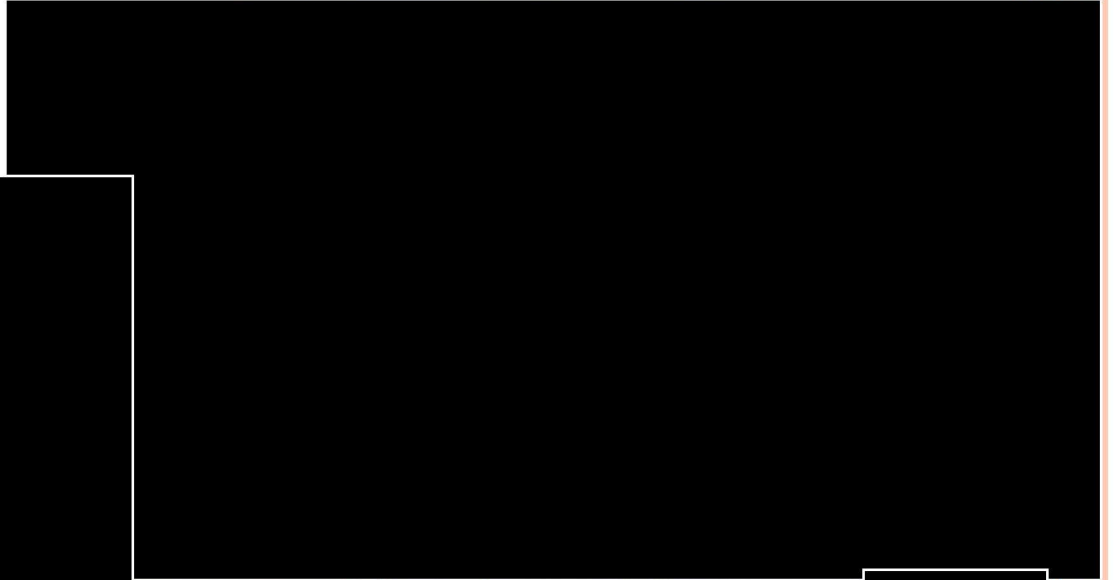


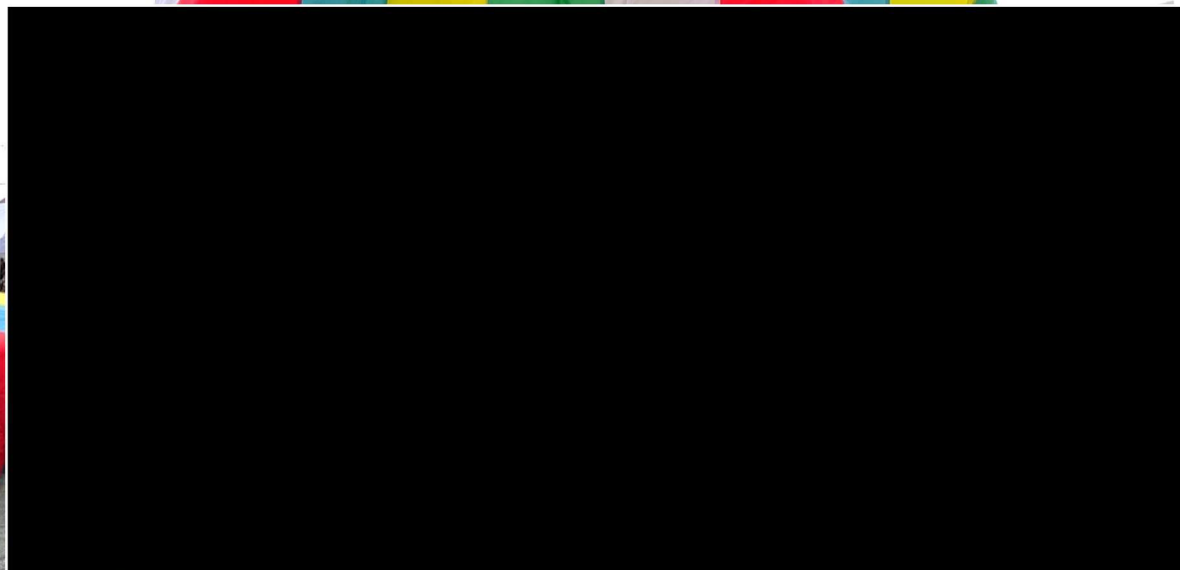
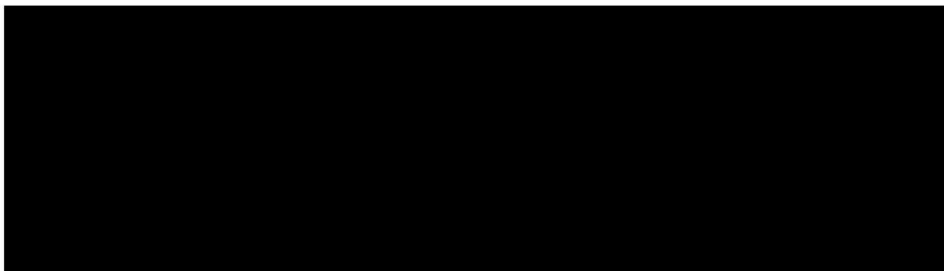
いっしょにあそぼう



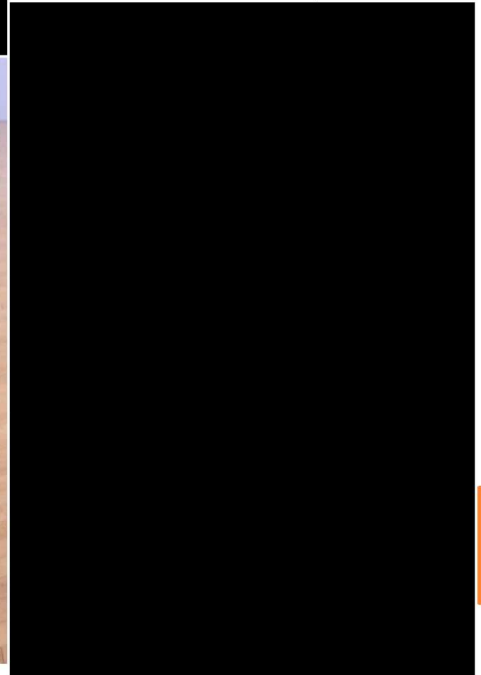
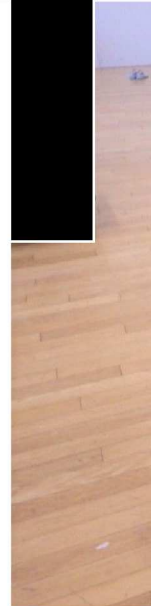
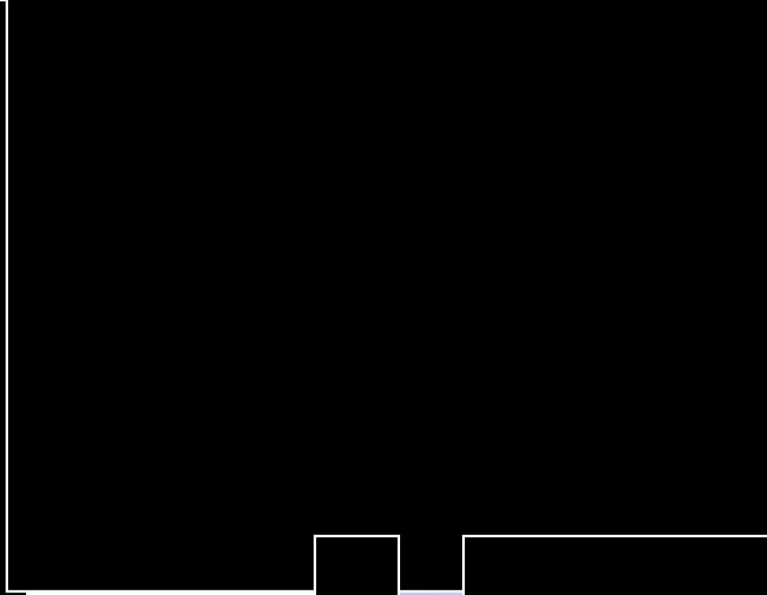
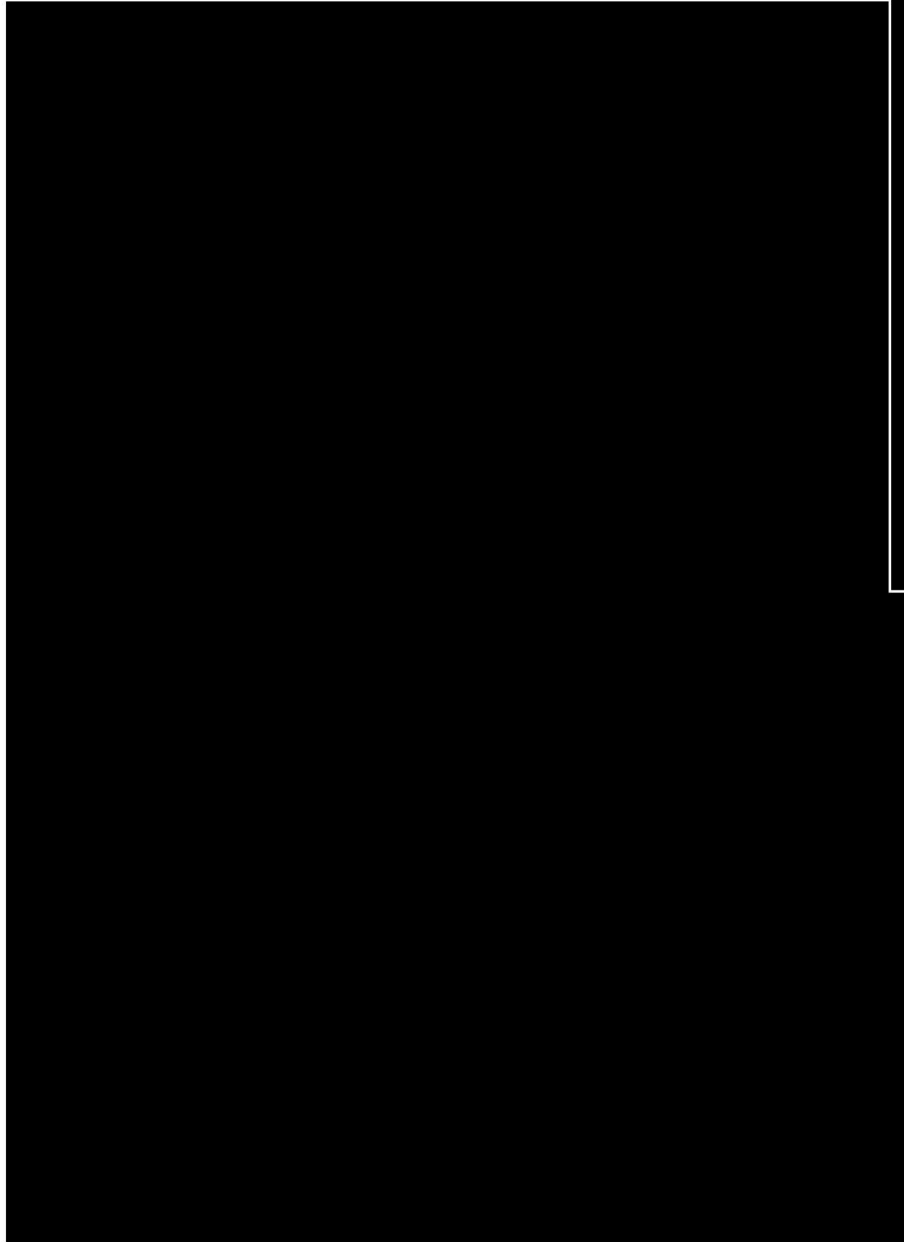


バルーンで遊ぼう





しゅうかい



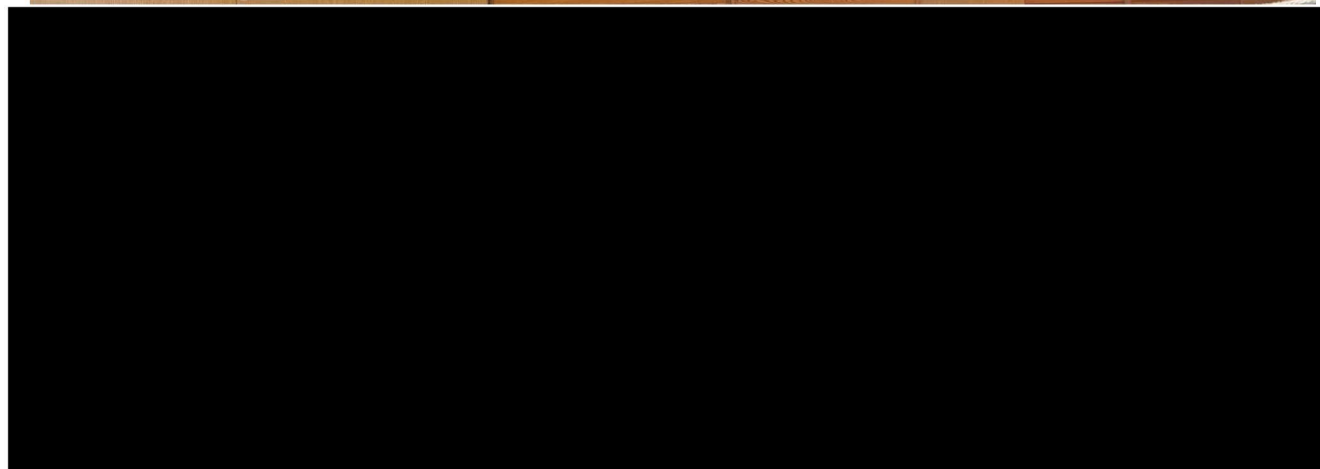
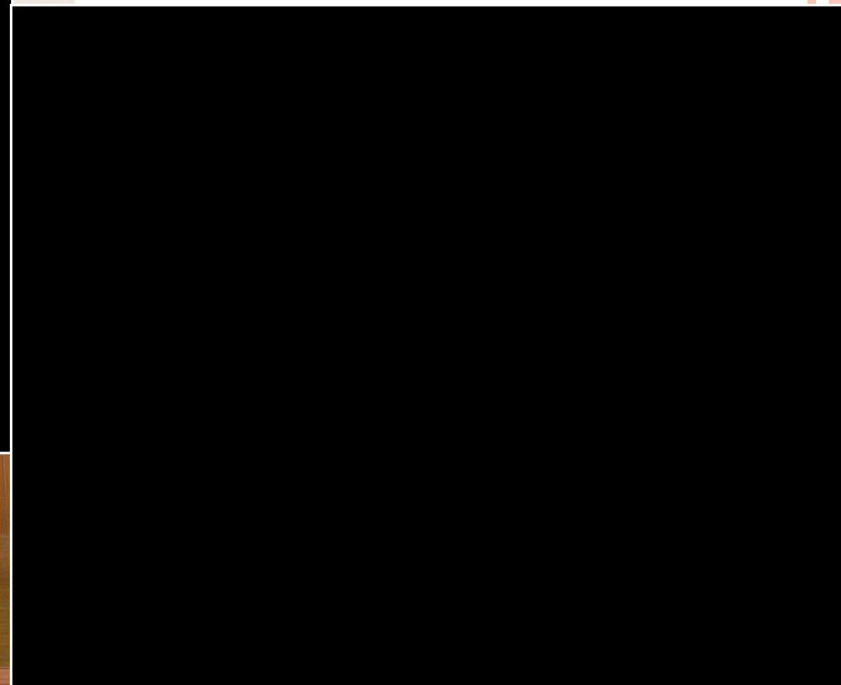
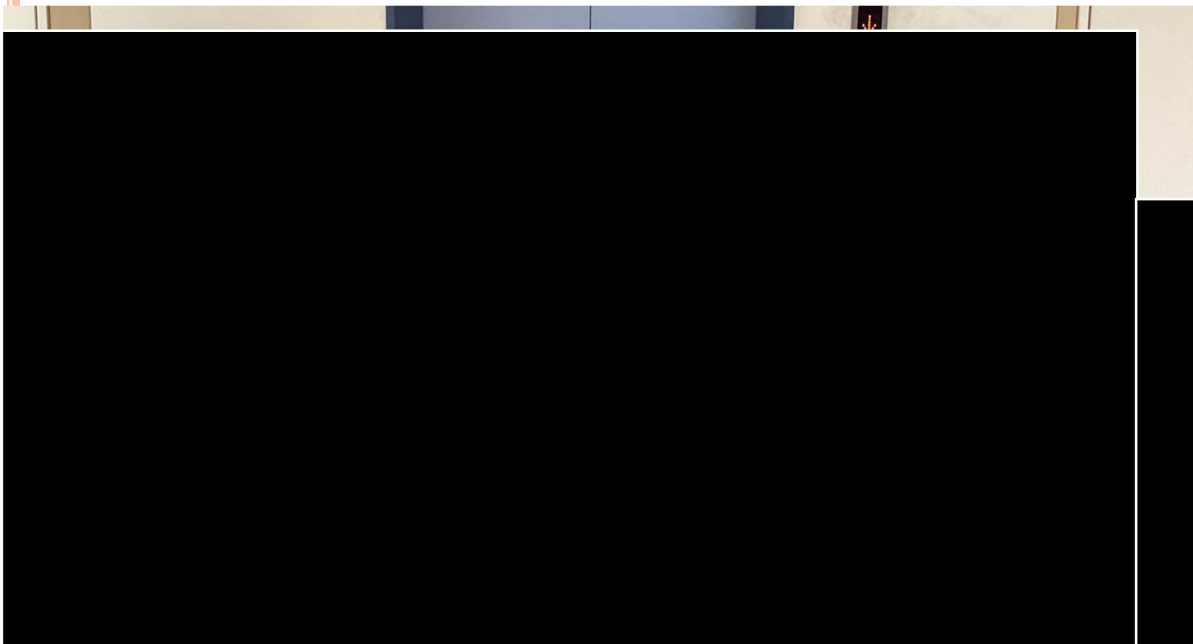
ねらい

いっしょにあそんで、
なかよくなろう！



わからないことは、
なんでもきいてね！

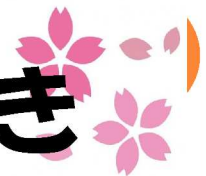
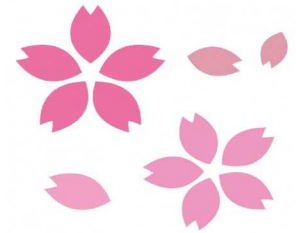




♪ 「さくらだいすき」



- みんなともだち てをつなごう
- にこにこえがおが うれしいね
- みんなのえがおが あつまって
- おおきなすてきな はながさく
- さみしいときも てをつなごう
- だいじょぶ だいじょぶ だいじょうぶ
- さくら さくら さくらのなかま
- さくら さくら みんな だいすき



さくらがっきゅうから

じこしょうかい



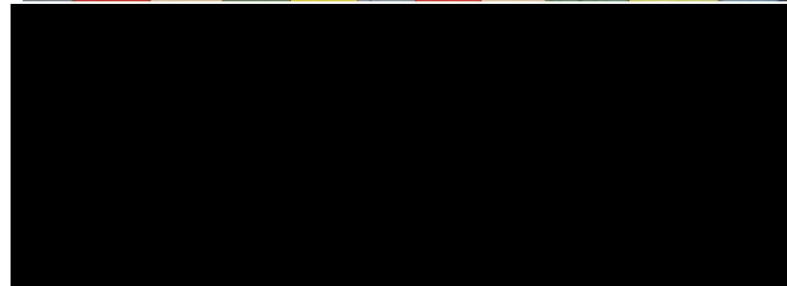
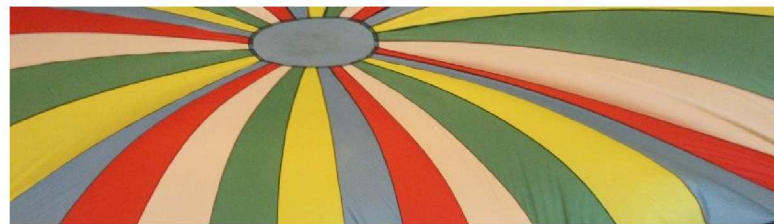
みんなでおどろう



エビカニクス ♪



やってみよう



バレーンダンス♪



ふいかえい



終わりのあいさつ



さくら学級・4年生 交流及び共同学習 「みんな なかよし」

1 日時・場所 2026年5月27日(水) 3校時 音楽ホール

2 単元名 「みんななかよし」

3 本時 よろしくねの会

4 目標 ○グループのメンバーの顔や得意なことを知る。

5 展開 進行：吉田 司会：4年実行委員

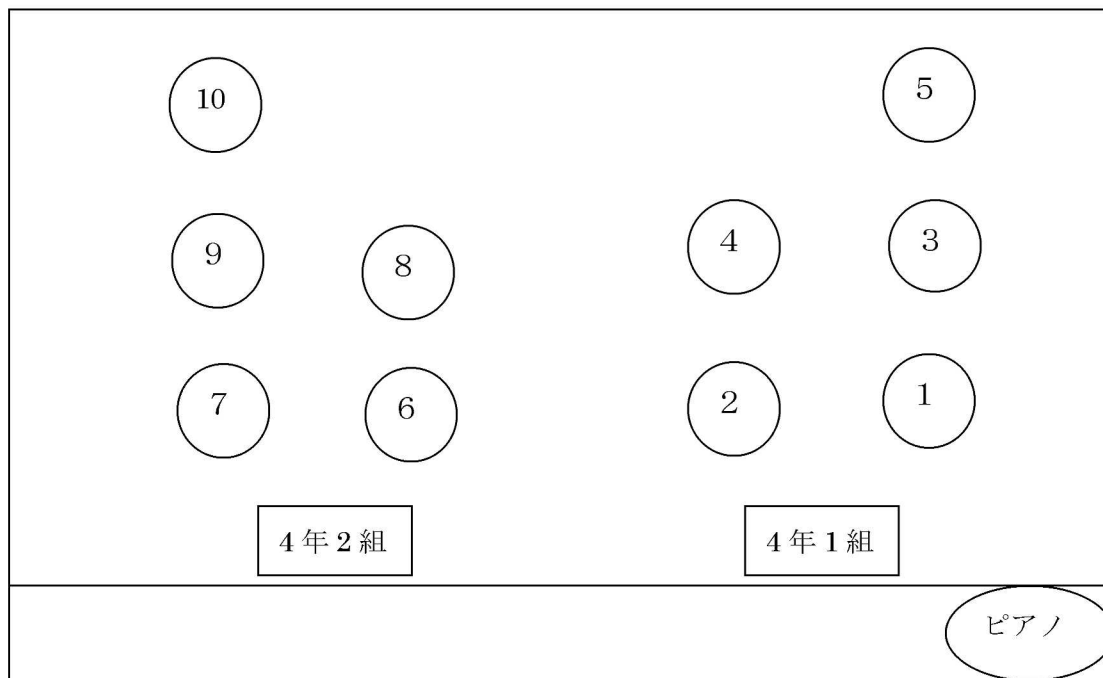
時間	学習活動	・指導上の留意点
10:50	※グループごとに集まった状態で始める。 1 はじめのあいさつをする。 「これからみんななかよしのべんきょうをはじめます。」 2 今日の活動内容を知る。 3 「さくらだいすき」を歌う。2回 4 「バスに乗って」の手遊びを行う。2回	・舞台に体を向ける。 ・4年生の実行委員とさくら学級の日直が前に出る。 ・わかりやすいよう絵や映像で表示する。(パワーポイントなど) ・グループごとに、円になり、手を繋いで行う。 ・グループごとに、1列か2列になり、肩につかまって行う。
11:05	5 互いのことを詳しく知るために自己紹介やクイズをする。 6 「エビカニクス」を踊る。 7 ふりかえりをする。	・さくら学級は、自己紹介カードを見せながら行う。 ・さくら学級の担任と4年の担任1名ずつ前で踊る。 ・実行委員とさくら各クラスの日直(実態に応じて、日直ではなくてもよい)から感想を聞き、楽しかったイメージを膨らませ、今後の活動に期待感や楽しさを持たせるようにする。
11:25	8 おわりのあいさつをする。 ・同じグループの友だちと教室まで一緒に戻る。	・4年生の実行委員とさくら学級の日直が前に出る。
11:35		

準備するもの

- ・学習活動の流れ・パワーポイント（奥山） ・iPad（奥山） ・アンプ（小島）
- ・パソコン・プロジェクター・マイク（吉田、小島、奥山）
- ・さくら学級自己紹介カード ※A4カラー（各担任）

並び方

- ・活動１・２・３・４は、舞台に体を向け座る。
- ・活動５で、互いの発表を見えやすくするためにグループ内で向き合う。



※さくら学級の児童の実態により、指定通りの場所にならない場合もあります。
児童に合わせて丸くなるようにしてください。

自己紹介カードについて

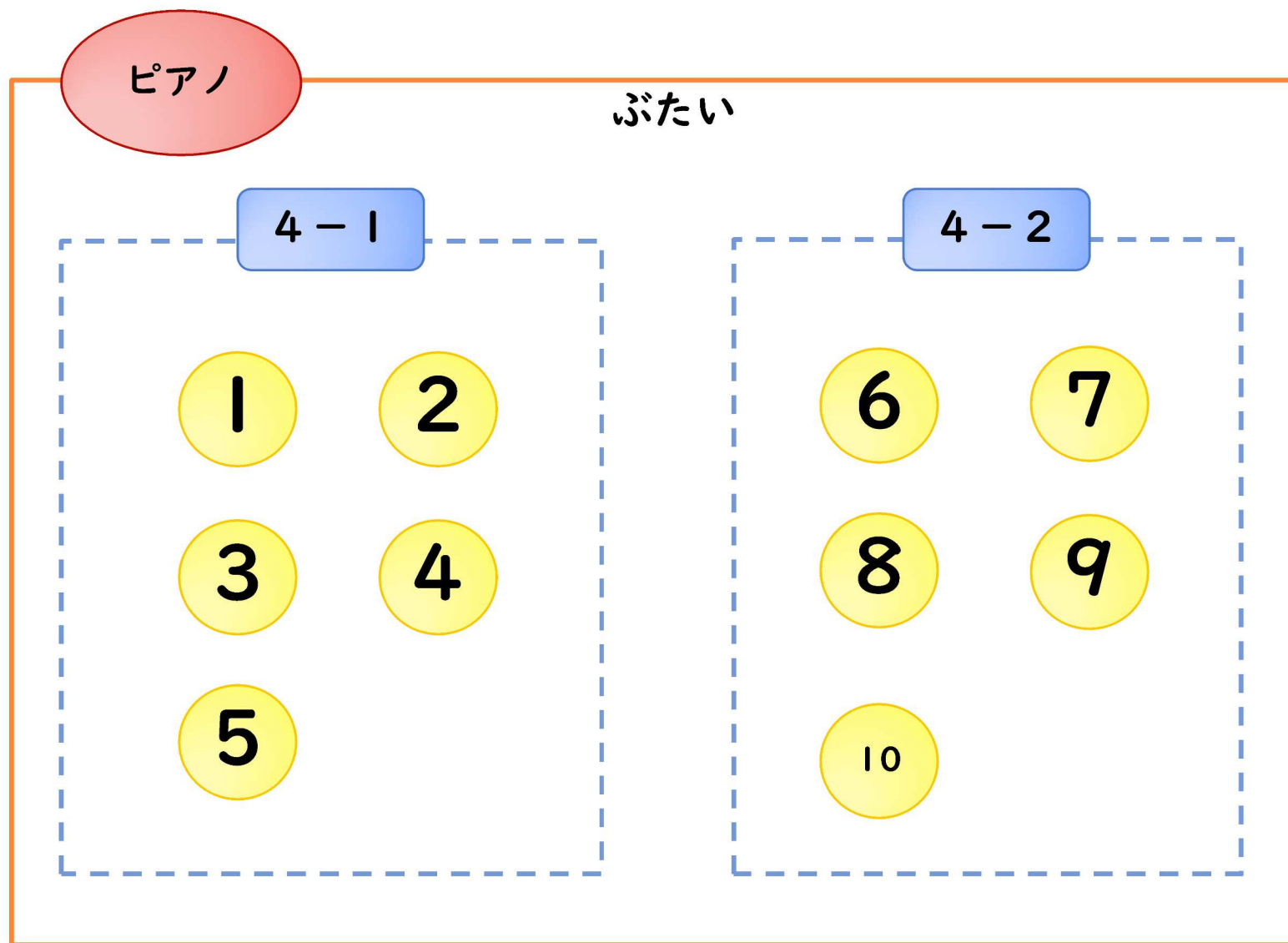
- ・本時で使用した自己紹介カードは、縮小して4年廊下に1年間掲示してもらう。
- ・A4の白黒コピーを、グループの4年生に配布し、ファイルに保管してもらう。（白黒コピーは、活動後にさくら学級担任が4年生担任へ渡す。）
- ・カードにのせる情報は、今後の「いっしょにあそぼう」で参考になりそうな情報がよい。



さくら学級クイズについて

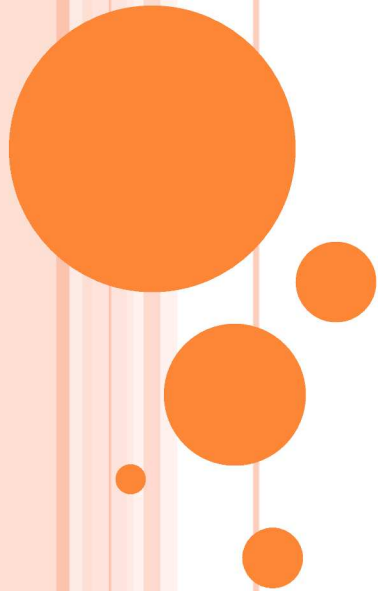
- ・さくら学級や児童個人に関するクイズを5問程度考えてくる。このクイズを通して、4年生がさくら学級児童との共通点を見い出したり、より興味をもってもらえるようになったりするとよい。

グループごとにあつまりましょう。



みんな なかよし

「よろしくねのかい」



よろしくねのかい

～きょうのながれ～

1. 「さくらだいすき♪」をうたう
2. 「バスにのって♪」のてあそび
3. じこしょうかい&クイズをする
4. 「エビカニクス♪」をおどる
5. ふりかえりをする



「さくらだいすき♪」

- みんなともだち てをつなごう
- にこにこえがおが うれしいね
- みんなのえがおが あつまって
- おおきなすてきな はながさく
- さびしいときも てをつなごう
- だいじょうぶ だいじょうぶ だいじょうぶ
- さくら さくら さくらのなかま
- さくら さくら みんな だいすき



「バスにのって♪」

バスにのって ゆられてる ゴーゴー
バスにのって ゆられてる ゴーゴー

- ①そろそろ みぎに まがります！
- ②そろそろ ひだりに まがります！
- ③そろそろ でこぼこみちです
- ④そろそろ とまります とうちゃく！



じこしょうかい&クイズ

をしよう



みんなでおどろう



エビカニクス♪



ふりかえり



じかいは ・ ・ ・

6 がっ 30 にち

